

都内事業所における温暖化対策の取組状況

～地球温暖化対策報告書のデータ集計・分析結果～

データの集計条件等について

① 集計

本冊子のデータは、令和6年度に提出された令和5年度実績値を含め、令和7年1月22日時点で集計した結果を示します。

② 原単位

原単位は、建物の延床面積1㎡当たりの数値です。

- ・ CO₂排出原単位は、事業所のCO₂排出量を当該事業所の延床面積で除した値です。
- ・ エネルギー消費原単位は、事業所のエネルギー消費量を当該事業所の延床面積で除した値です。

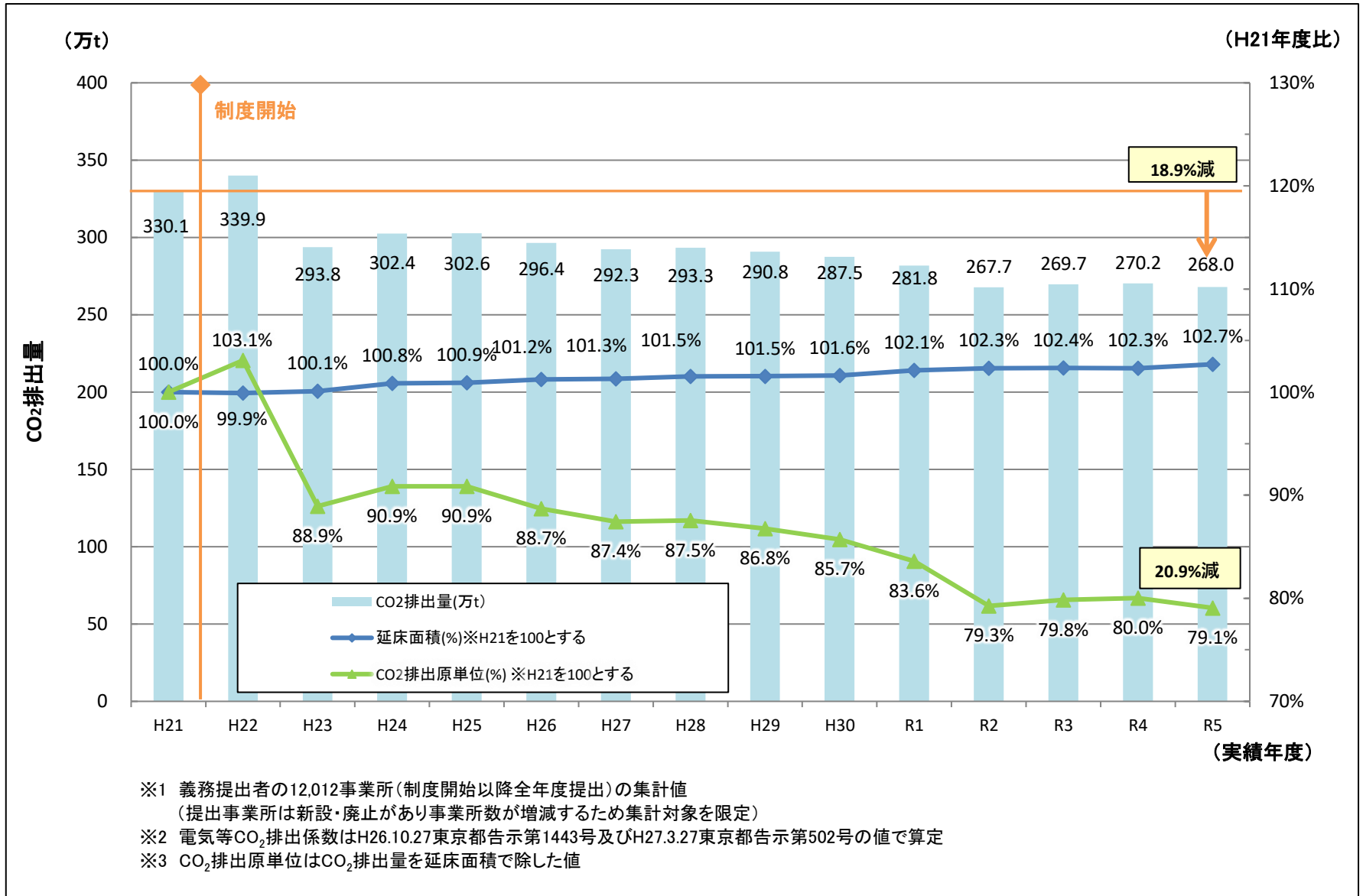
③ 集計データの見方

電気等CO₂排出係数は、H26.10.27 東京都告示第1443号及びH27.3.27 東京都告示第502号の値で算定しております。

例) 電力：0.489 t-CO₂/千 kWh

地球温暖化対策報告書 集計結果〈全体概要〉

1 15ヵ年連続提出中小規模事業所(12,012)の総CO₂排出量及びCO₂排出原単位の推移



2 提出事業者数・事業所数の推移

提出事業者数															
実績年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
義務	285	312	314	284	288	290	286	283	289	285	278	272	250	251	257
任意	1,220	1,335	1,552	1,799	1,990	1,935	1,866	1,851	1,826	1,804	1,652	1,669	1,794	2,463	2,376
合計	1,505	1,647	1,866	2,083	2,278	2,225	2,152	2,134	2,115	2,089	1,930	1,941	2,044	2,714	2,633

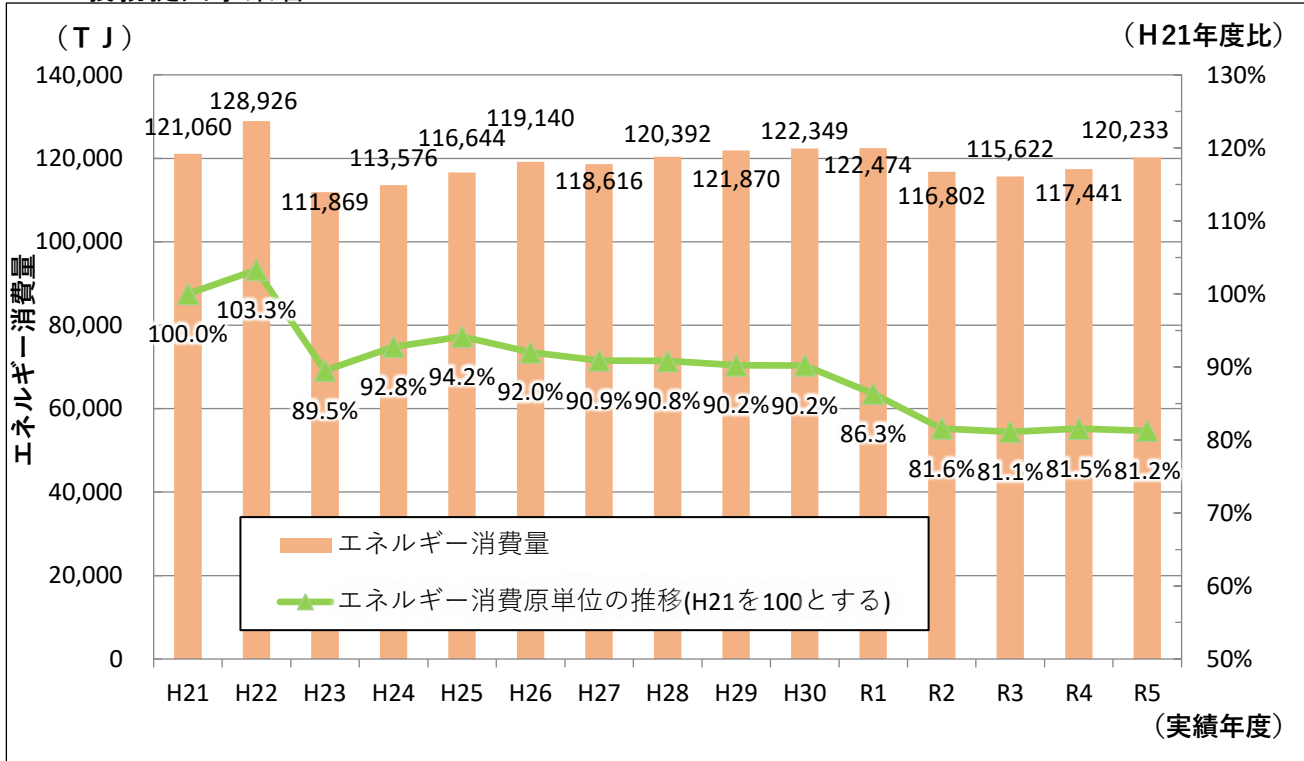
提出事業所数															
実績年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
義務	21,276	22,743	21,875	22,304	22,355	23,002	22,915	22,967	23,251	23,228	23,497	22,325	21,528	22,251	22,558
任意	11,104	11,504	11,442	11,320	11,976	11,576	11,421	11,226	10,891	10,898	10,885	11,850	10,964	10,865	10,577
合計	32,380	34,247	33,317	33,624	34,331	34,578	34,336	34,193	34,142	34,126	34,382	34,175	32,492	33,116	33,135

※ 令和5年度実績は令和7年1月22日時点

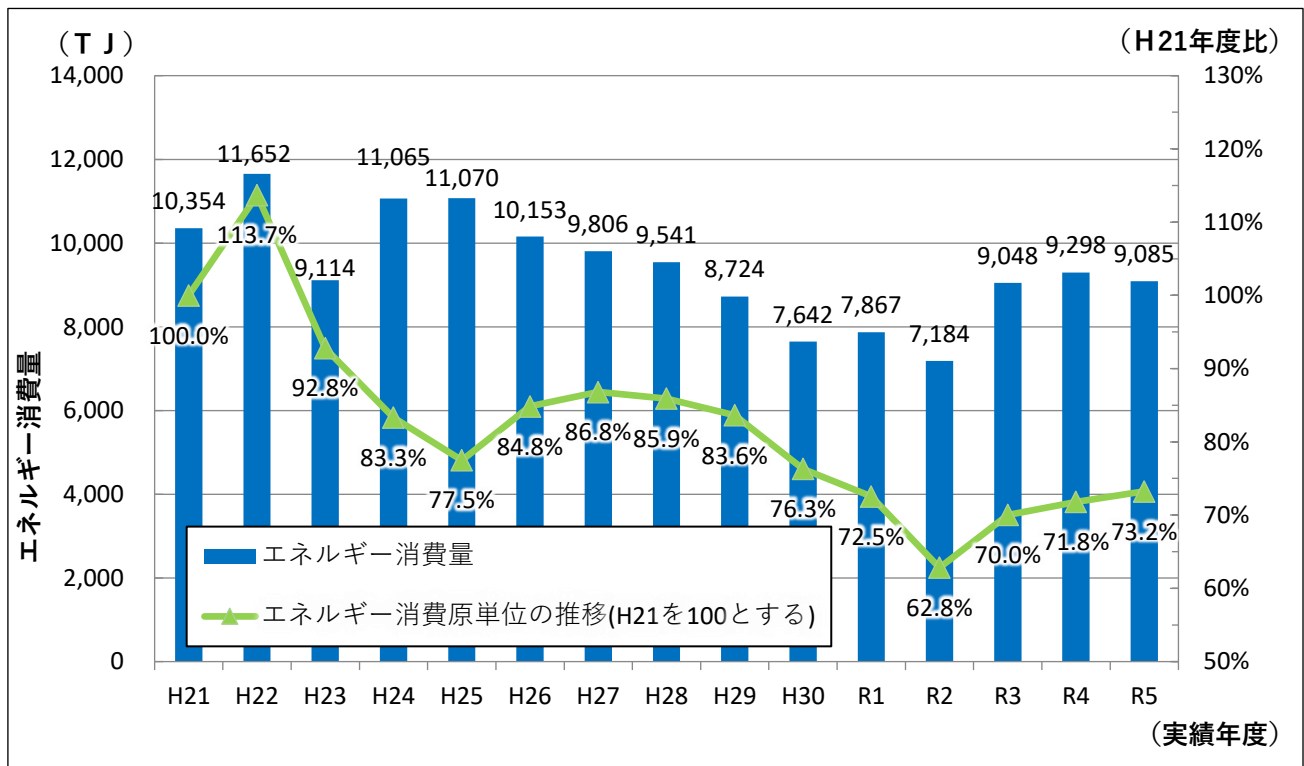
地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

3 提出者区分(義務・任意)ごとのエネルギー消費量とエネルギー消費原単位の推移

■ 義務提出事業者



■ 任意提出事業者

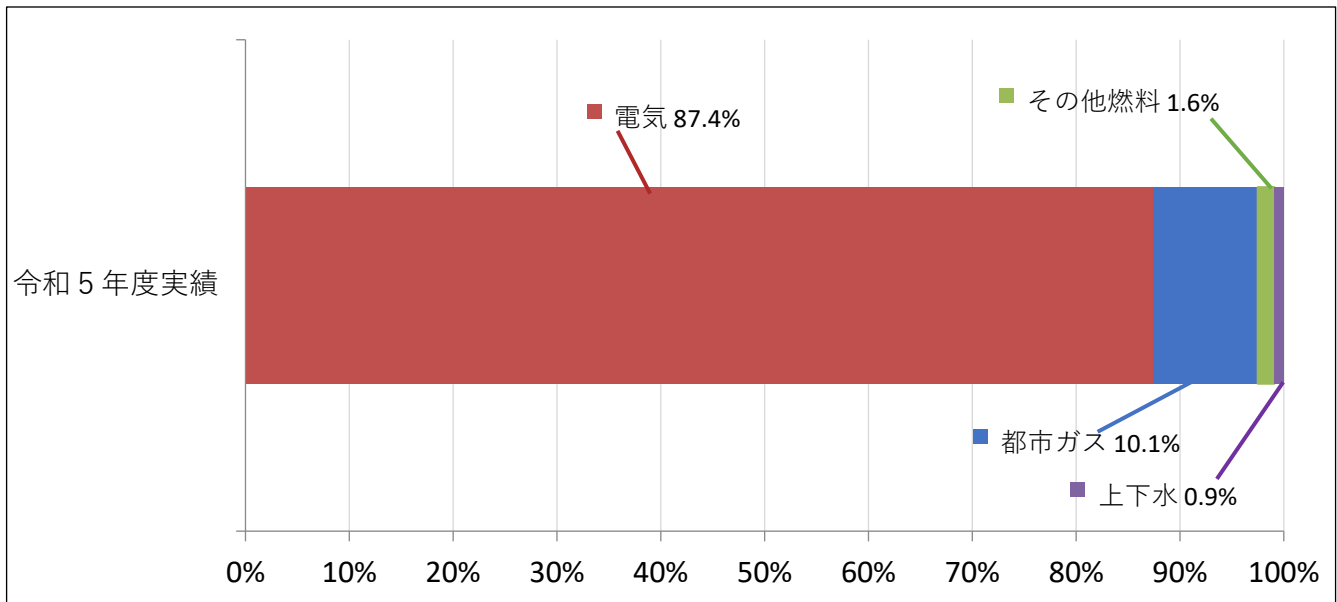


15カ年度連続提出事業所のCO₂排出量は合計268万トンとなり、制度開始前年度の平成21年度と比べると18.9%削減されました。また、排出原単位は制度開始前年度の平成21年度を100とすると79.1%となり、20.9%改善されました。

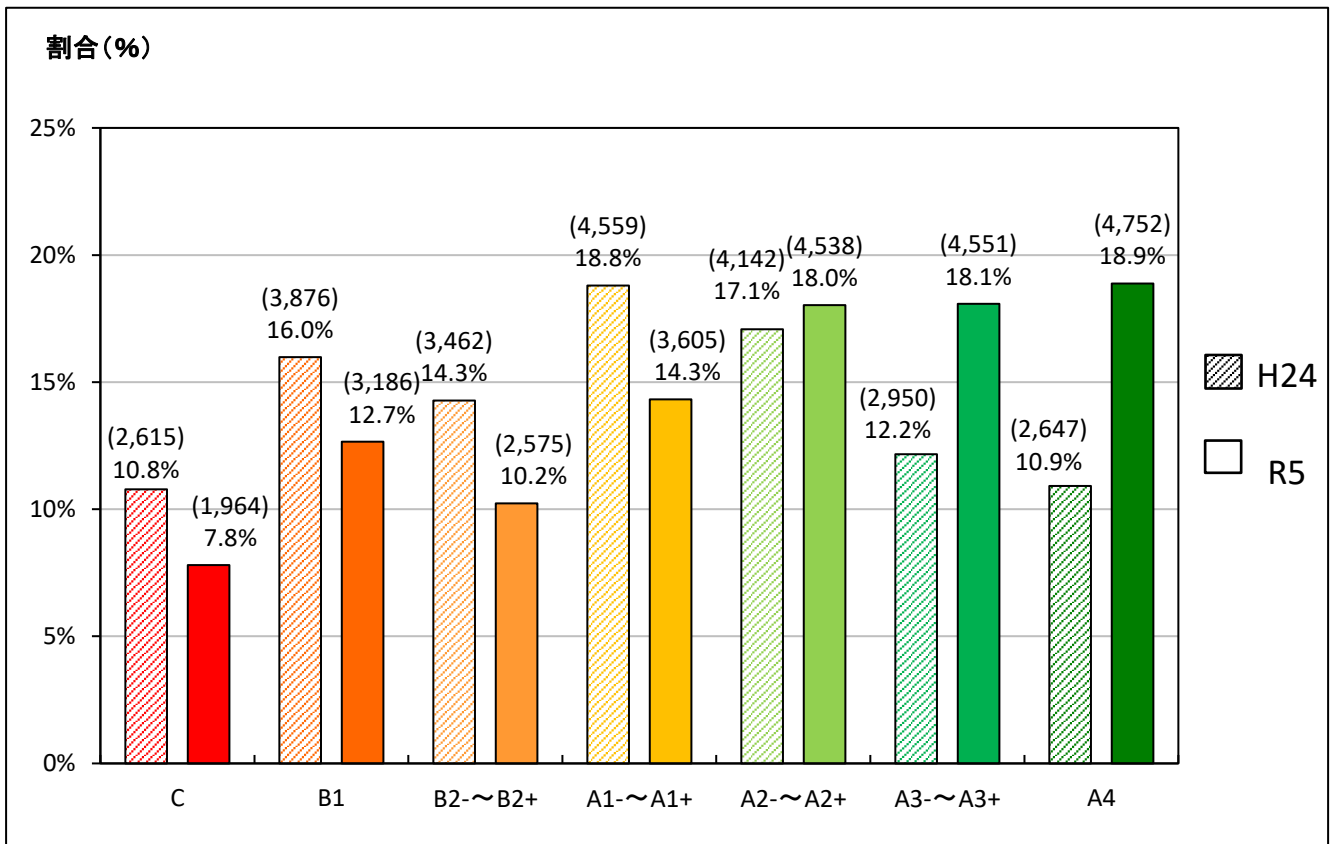
令和5年度の排出原単位は、前年度とほぼ同程度となり、事業所における省エネルギーが定着したことが伺えます。

地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

4 CO₂排出量の構成比(上下水道の使用に伴う排出量を含む)



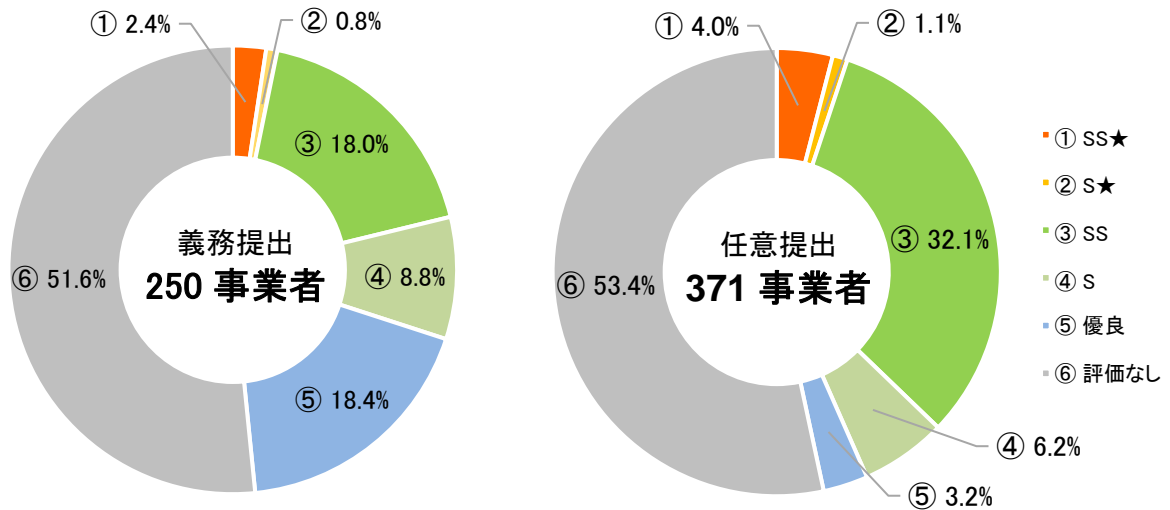
5 ベンチマーク区分ごとの報告事業所率(H24とR5比較)



※ エネルギー使用期間が一年未満の事業所は除く

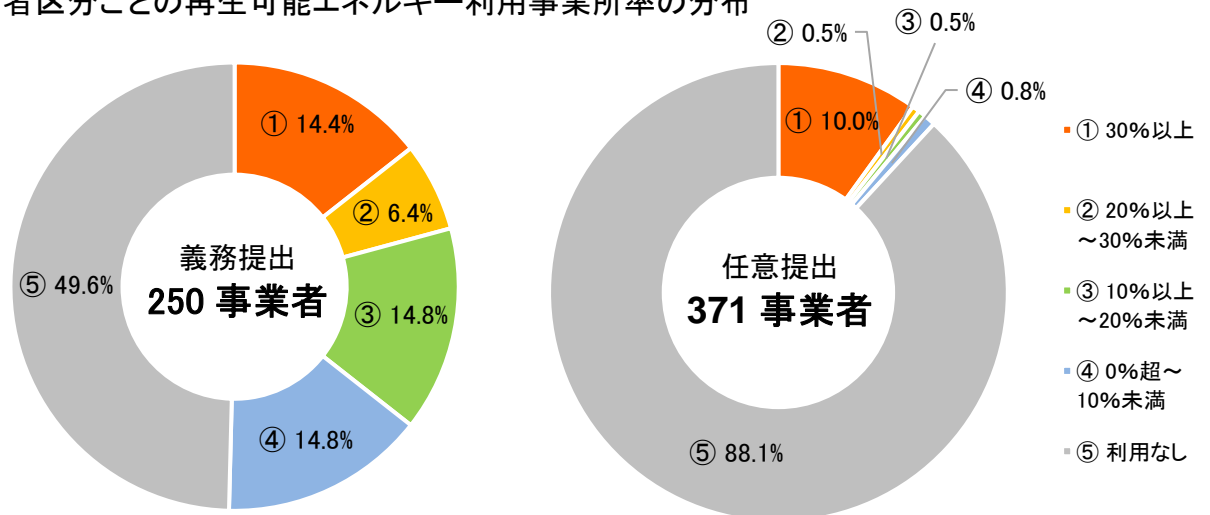
地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

6 提出者区分ごとの評価結果別事業者数



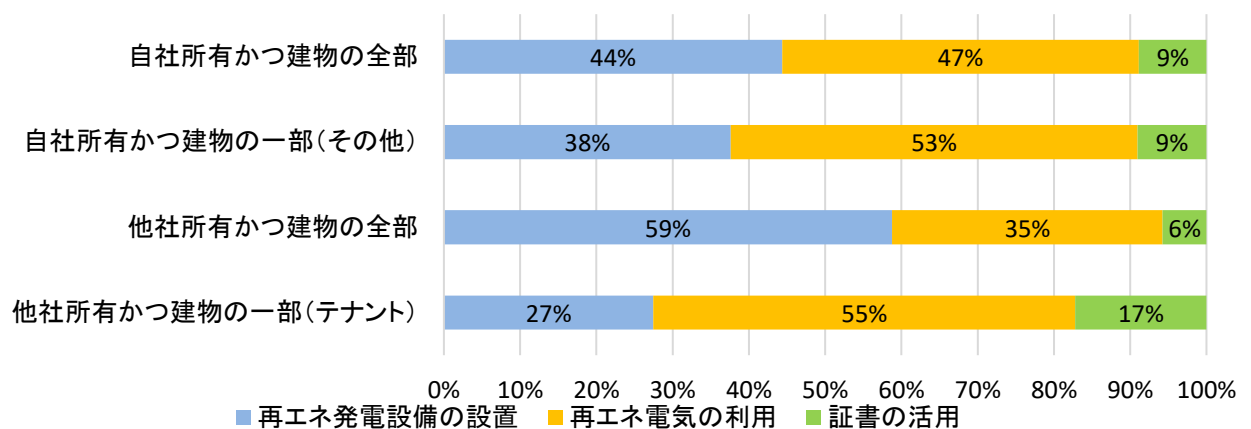
※令和7年1月22日審査終了時点の評価です。

7 提出者区分ごとの再生可能エネルギー利用事業所率の分布



※「事業者」単位毎の再生可能エネルギーの導入事業所率のグラフです。

8 所有形態・報告範囲別再生可能エネルギー利用状況



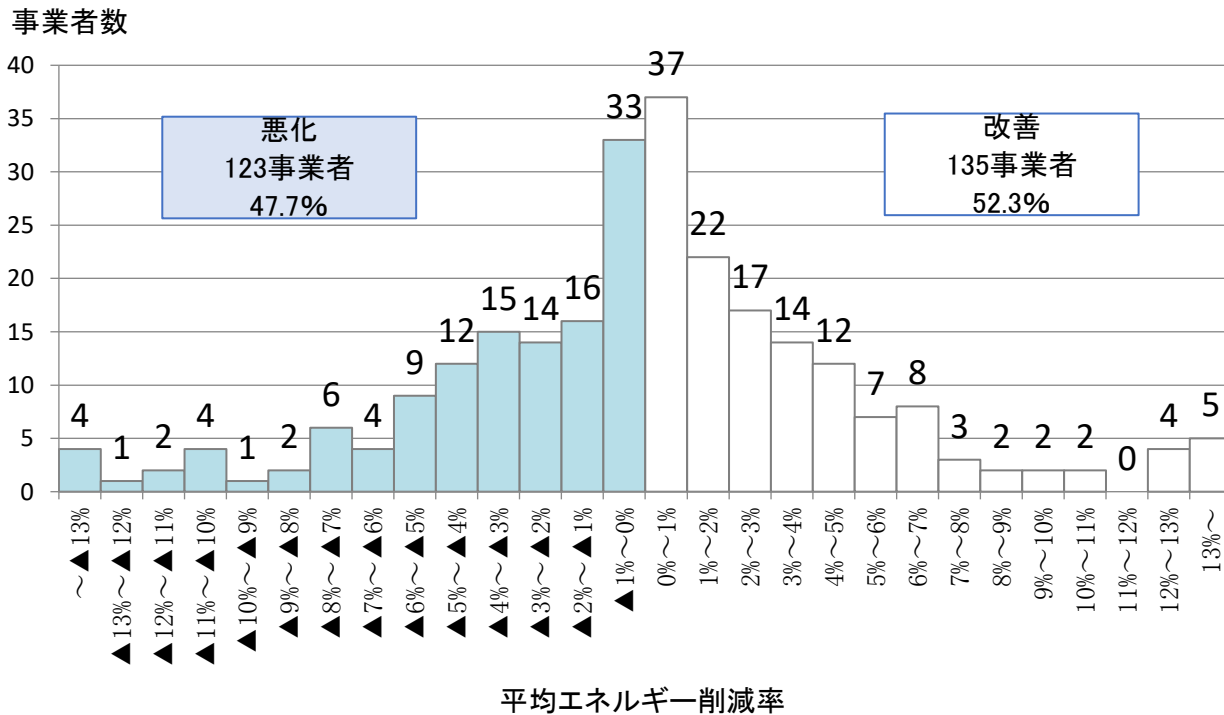
※再生可能エネルギーを導入している「事業所」を所有形態・報告範囲別に分類し、その分類毎の再生可能エネルギー利用状況の内訳のグラフです。

地球温暖化対策報告書 集計結果〈全体概要〉

9 直近5カ年度の義務提出事業者の平均エネルギー削減率(※1)の分布

集計対象は直近5カ年度(R1～R5実績)の義務提出事業者(258事業者)

(※1)平均エネルギー削減率：直近5カ年度における1カ年度当たりの削減率(幾何平均)

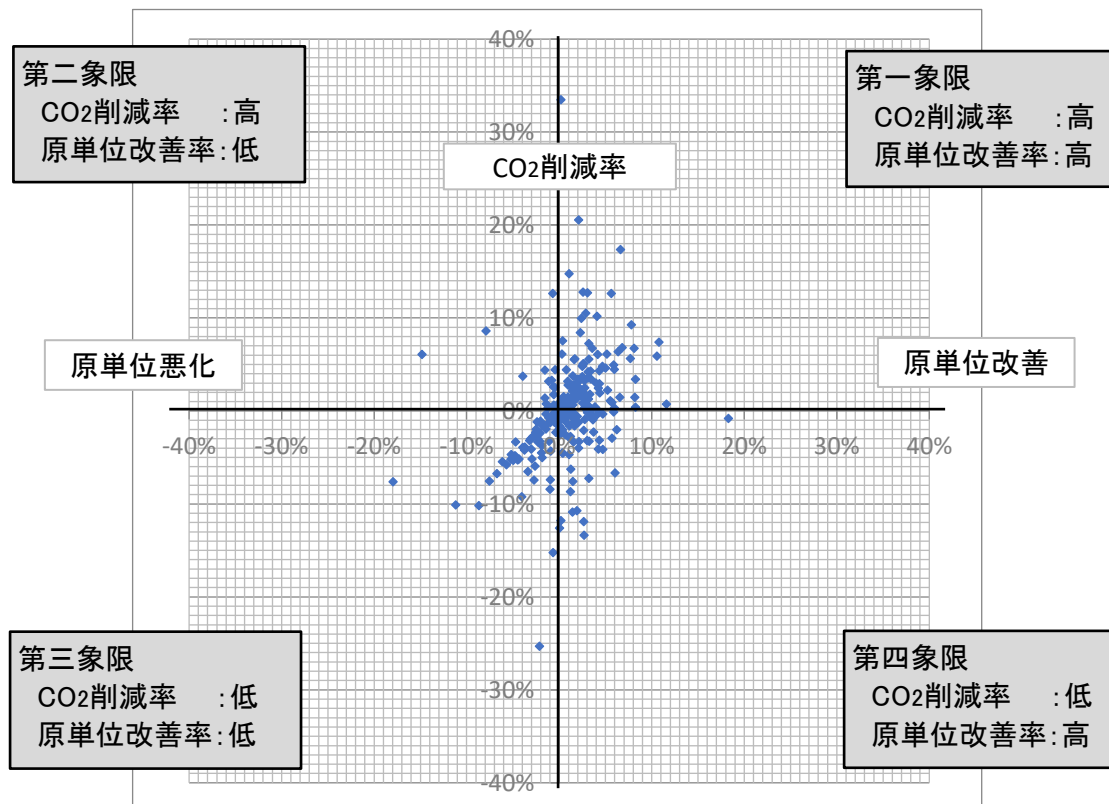


10 直近5カ年度の義務提出事業者の平均CO₂削減率(※2)と平均原単位改善率(※3)の分布

集計対象は直近5カ年度(R1～R5実績)の義務提出事業者(258事業者)

(※2)平均CO₂削減率：直近5カ年度における1カ年度当たりのCO₂の削減率(幾何平均)

(※3)平均原単位改善率：直近5カ年度における1カ年度当たりの原単位の改善率(幾何平均)

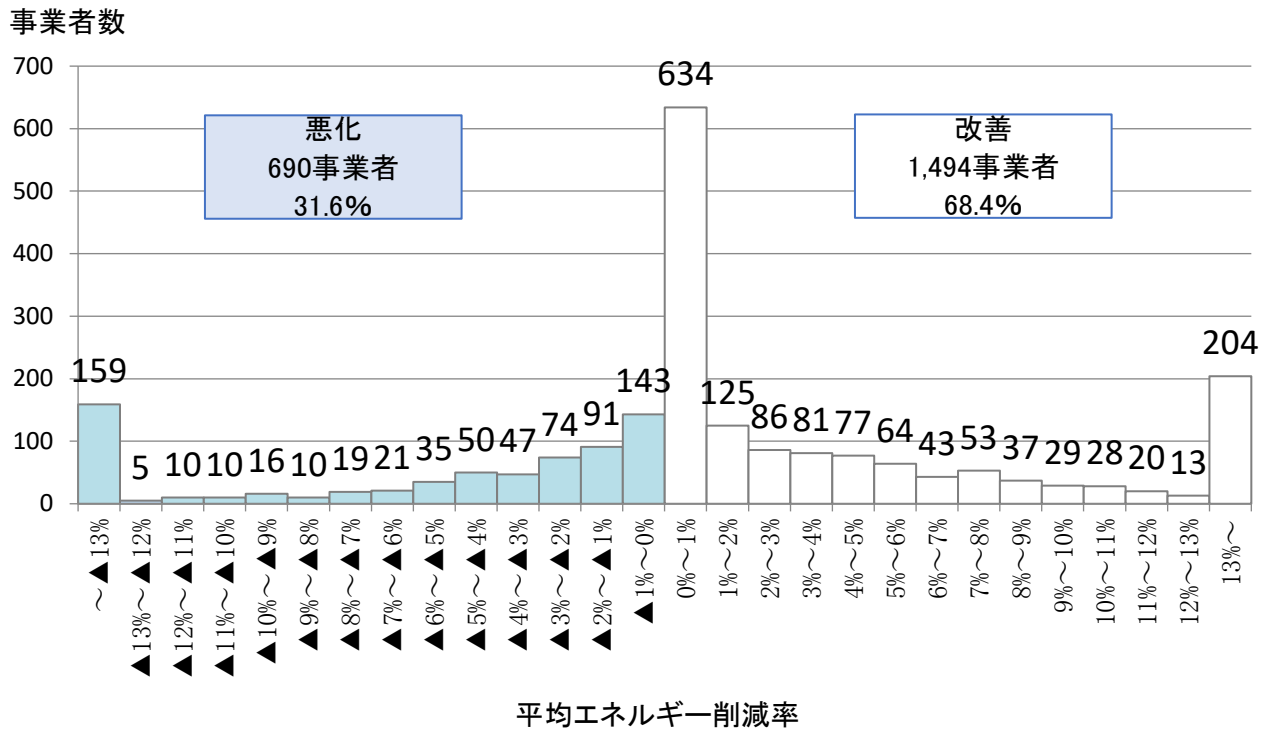


グラフ9及び10については、義務提出事業者単位で、補正前の実績数値をもとに集計しております。事業者からご提出いただく事業所数の増減によって合計CO₂排出量、合計延床面積が変化します。そのためCO₂削減率だけでなく、CO₂排出原単位(単位延床面積当たりのCO₂排出量)の改善率を合わせて評価する必要があります。グラフ10においては、CO₂削減率が改善すると上に、CO₂排出原単位が改善されると右へプロットされます。

地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

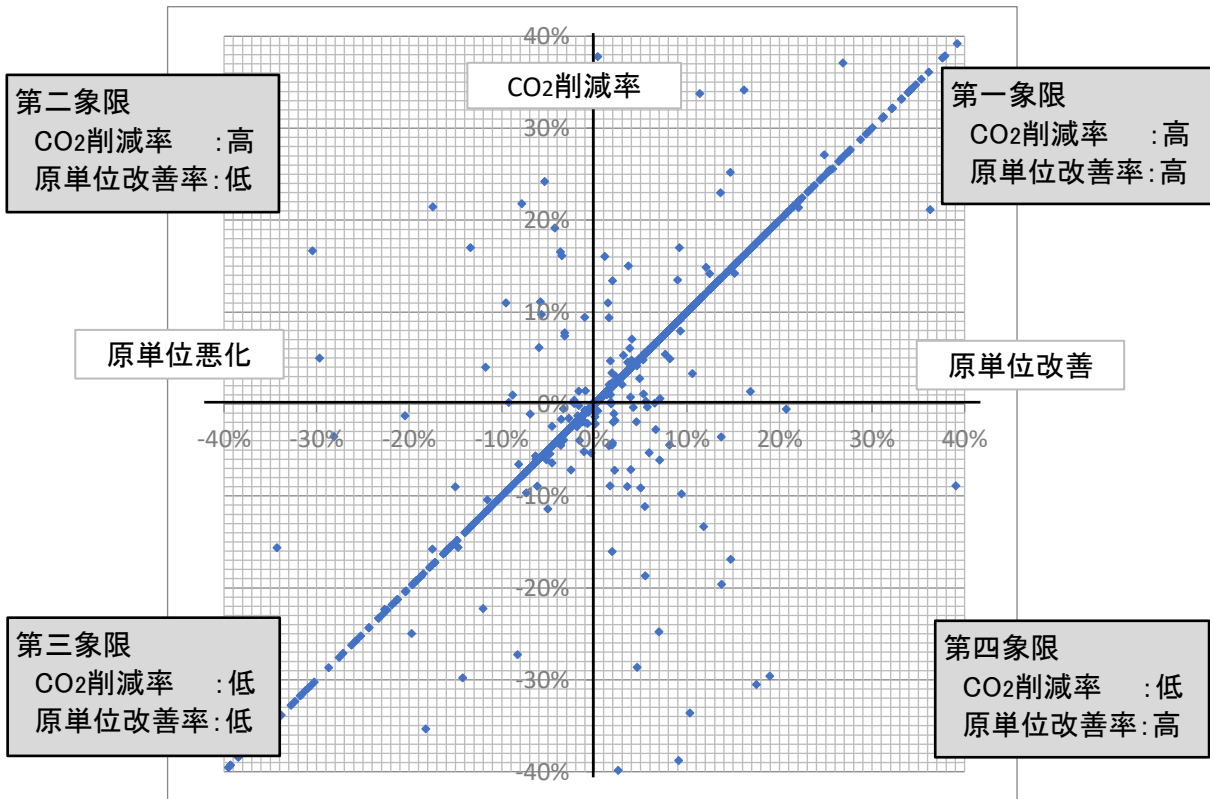
11 直近5カ年度の任意提出事業者の平均エネルギー削減率(※1)の分布

集計対象は直近5カ年度(R1～R5実績)の任意提出事業者(2,184事業者)
 (※1)平均エネルギー削減率：直近5カ年度における1カ年度当たりの削減率(幾何平均)



12 直近5カ年度の任意提出事業者の平均CO2削減率(※2)と平均原単位改善率(※3)の分布

集計対象は直近5カ年度(R1～R5実績)の任意提出事業者(2,184事業者)
 (※2)平均CO2削減率：直近5カ年度における1カ年度当たりのCO2の削減率(幾何平均)
 (※3)平均原単位改善率：直近5カ年度における1カ年度当たりの原単位の改善率(幾何平均)



グラフ11及び12については、任意提出事業者単位で、補正前の実績数値をもとに集計しております。
 事業者からご提出いただく事業所数の増減によって合計CO2排出量、合計延床面積が変化します。そのためCO2削減率だけでなく、CO2排出原単位(単位延床面積当たりのCO2排出量)の改善率を合わせて評価する必要があります。
 グラフ12においては、CO2削減率が改善すると上に、CO2排出原単位が改善されると右へプロットされます。なお、1事業所のみ事業者の場合、原単位改善率とCO2削減率が同率となるため、グラフにおいて直線状の分布となります。

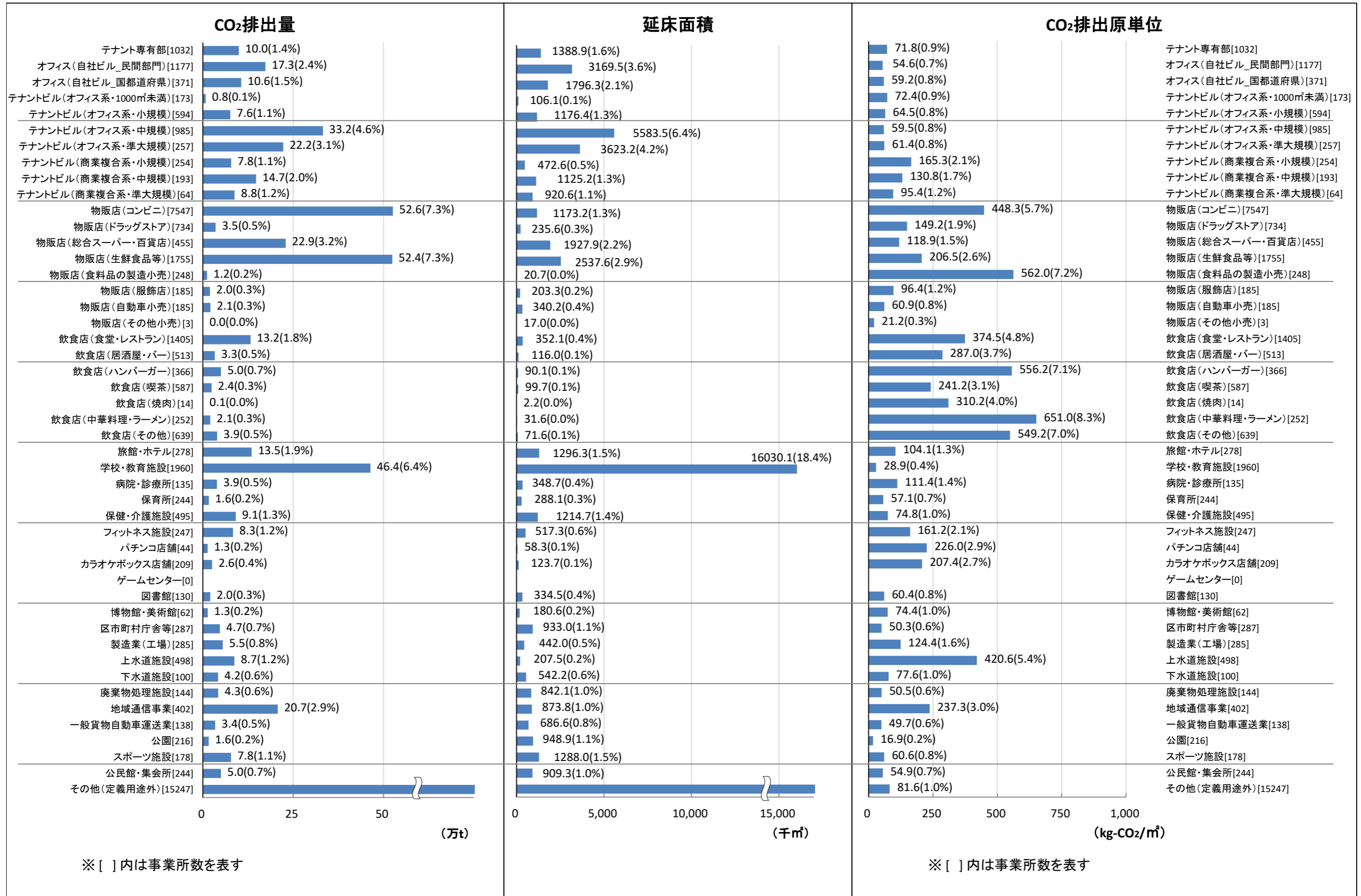
地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

13 5年連続提出事業所の用途区分ごとのエネルギー消費原単位改善率(R1とR5の比較)

1	テナント専有部 17.6%	19	-1.0%	飲食店(その他)
2(1)	オフィス(自社ビル_民間部門) 6.4%	20	-4.9%	旅館・ホテル
2(2)	オフィス(自社ビル_国都道府県) 4.8%	21	-12.4%	学校・教育施設
3(1)	テナントビル(オフィス系・1000㎡未満) 7.2%	22		病院・診療所 0.1%
3(2)	テナントビル(オフィス系・小規模) 11.6%	23	-2.7%	保育所
3(3)	テナントビル(オフィス系・中規模) 10.6%	24		保健・介護施設 0.5%
3(4)	テナントビル(オフィス系・準大規模) 11.5%	25		フィットネス施設 10.5%
4(1)	テナントビル(商業複合系・小規模) 6.4%	26		パチンコ店舗 11.2%
4(2)	テナントビル(商業複合系・中規模) 8.5%	27		カラオケボックス店舗 3.3%
4(3)	テナントビル(商業複合系・準大規模) 5.8%	28	0.0%	ゲームセンター
5	物販店(コンビニ) 2.7%	29		図書館 3.3%
6	物販店(トラックストア) 25.2%	30	-5.3%	博物館・美術館
7	物販店(総合スーパー・百貨店) 11.0%	31		区市町村庁舎等 2.8%
8	物販店(生鮮食品等) 2.5%	32		製造業(工場) 15.4%
9	物販店(食料品の製造小売) 15.4%	33		上水道施設 0.4%
10	物販店(服飾店) -1.3%	34		下水道施設 1.8%
11	物販店(自動車小売) -4.6%	35		廃棄物処理施設 4.6%
12	物販店(その他小売) 83.4%	36	-3.9%	地域通信事業
13	飲食店(食堂・レストラン) 9.7%	37	-5.1%	一般貨物自動車運送業
14	飲食店(居酒屋・バー) 9.0%	38		公園 21.0%
15	飲食店(ハンバーガー) -1.1%	39	-10.4%	スポーツ施設
16	飲食店(喫茶) 10.2%	40		公民館・集会所 3.8%
17	飲食店(焼肉) -22.3%	41		その他(定義用途外) 4.5%
18	飲食店(中華料理・ラーメン) 7.6%			

地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

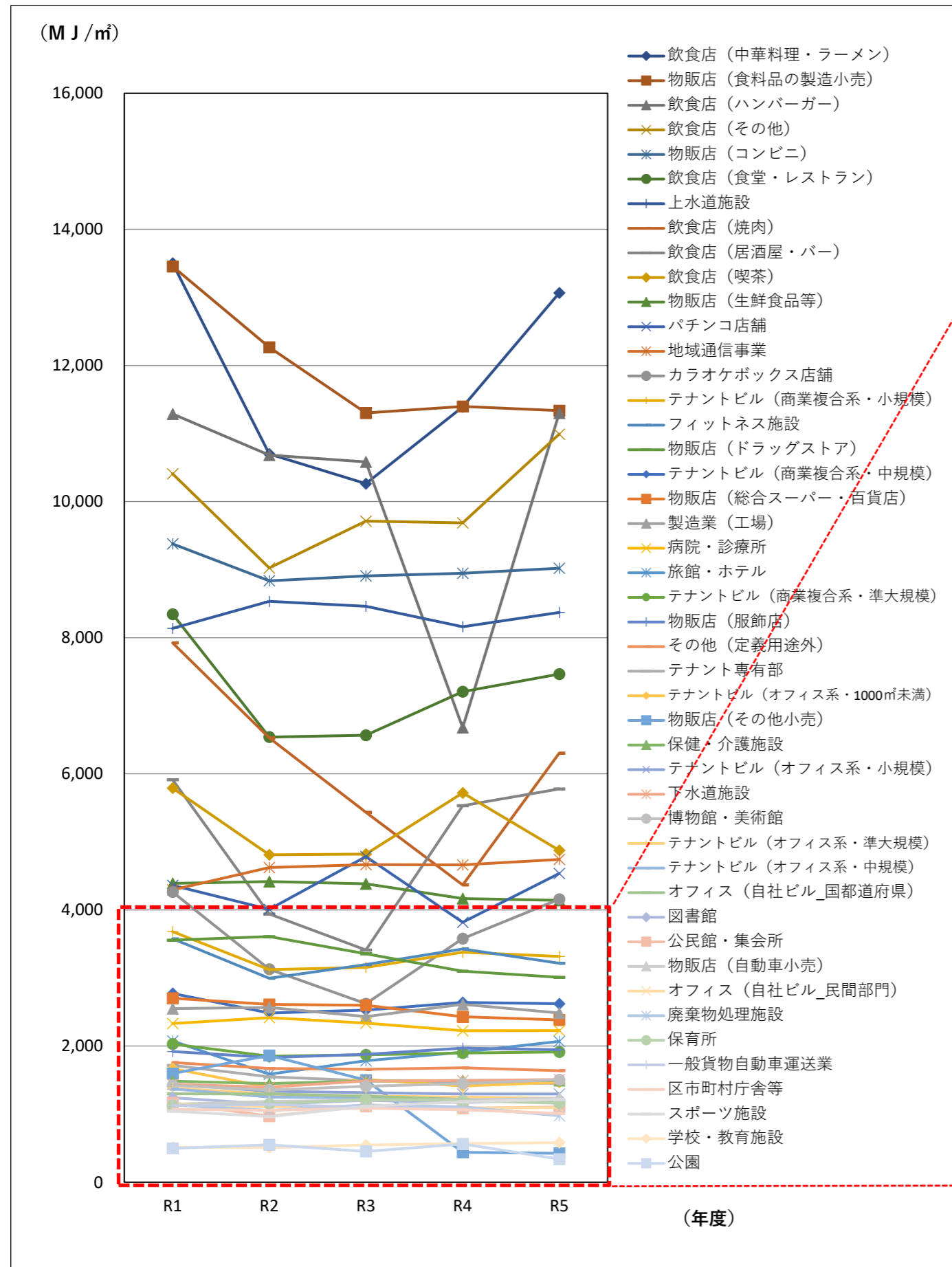
14 事業所の用途区分ごとのCO₂排出量、延床面積、CO₂排出原単位<令和5年度実績報告事業所>



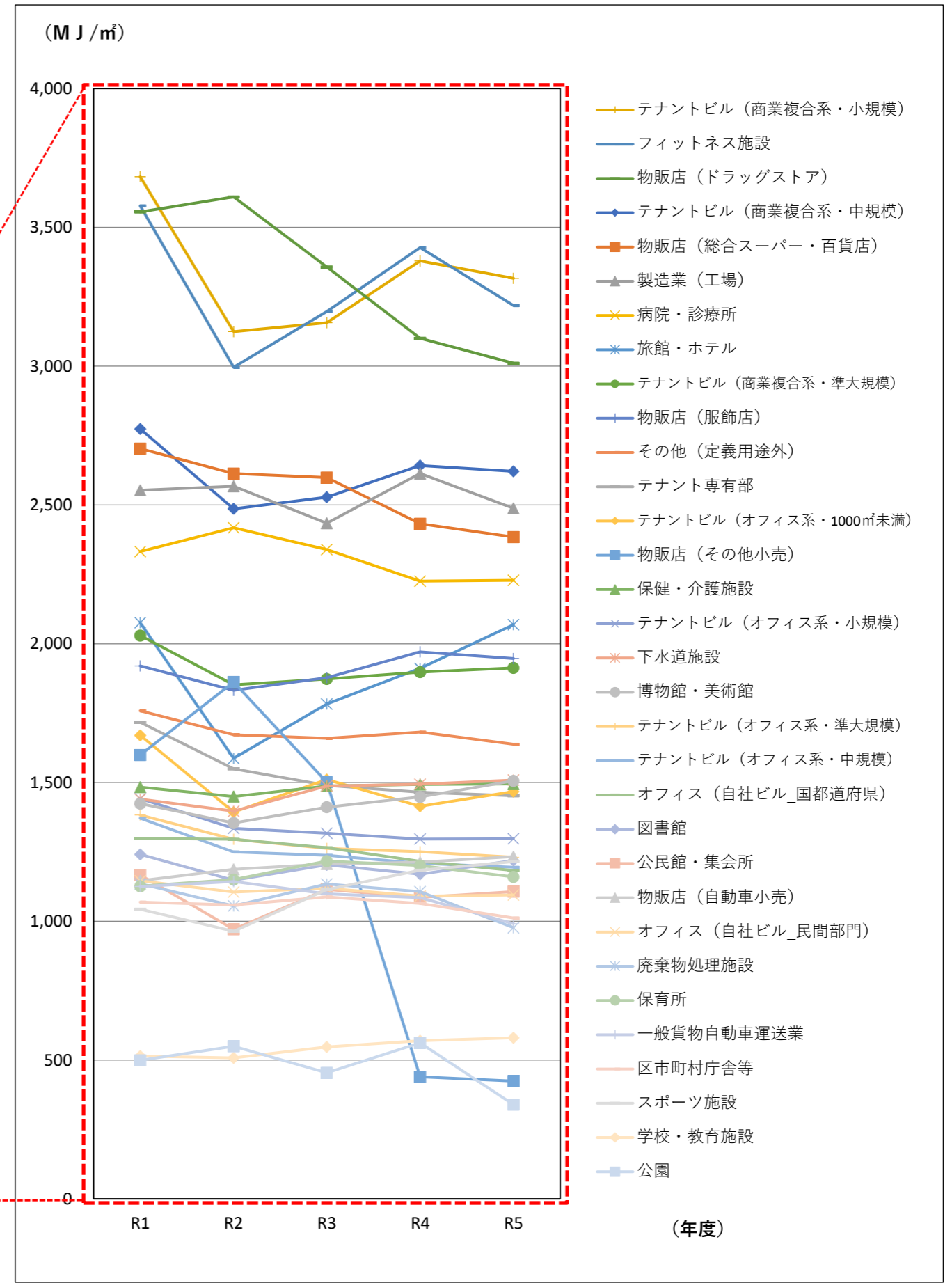
地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

15 事業所の用途区分ごとのエネルギー消費原単位の推移

■ 平均値の推移

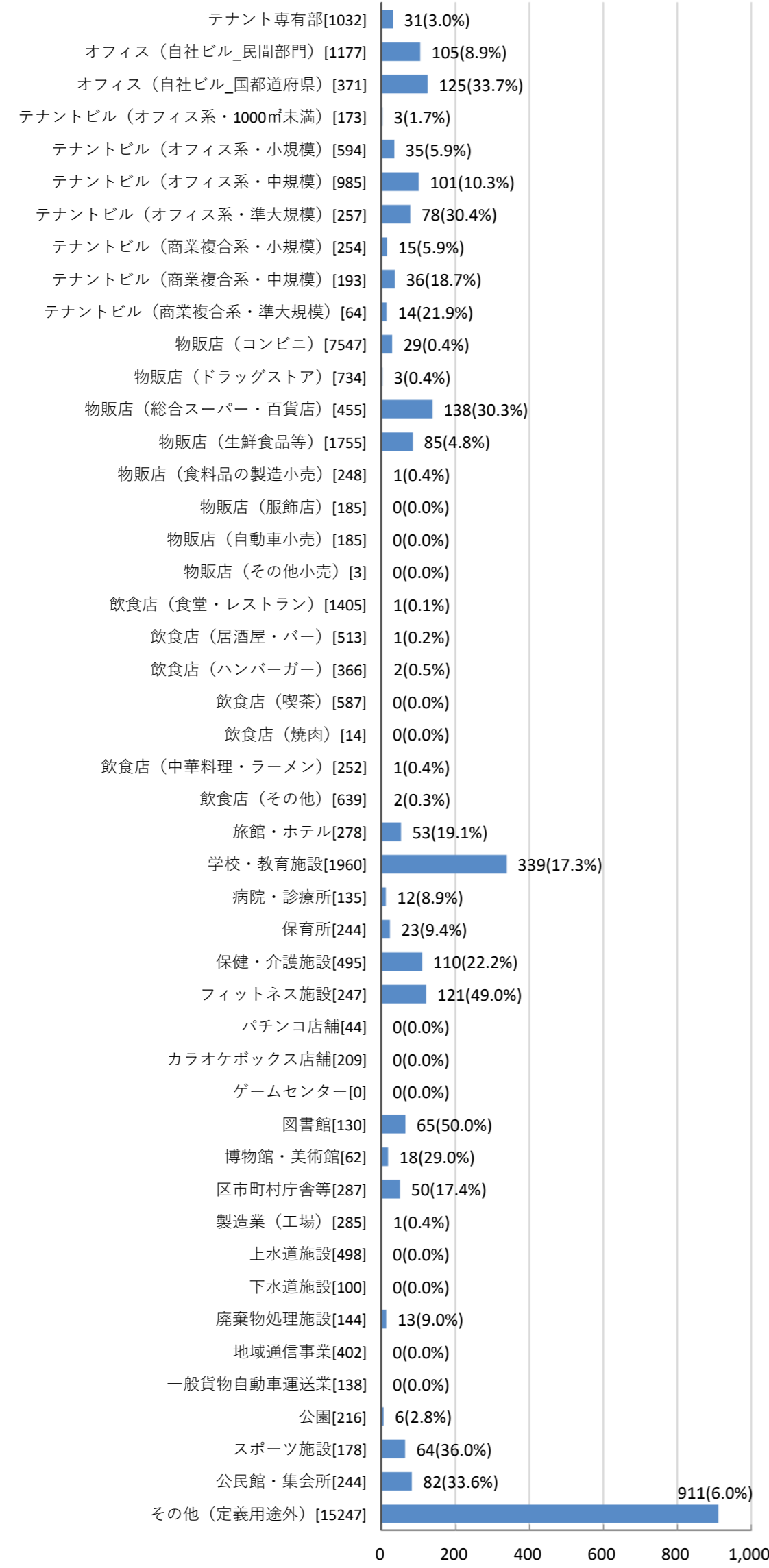


■ 平均値の推移(拡大版)



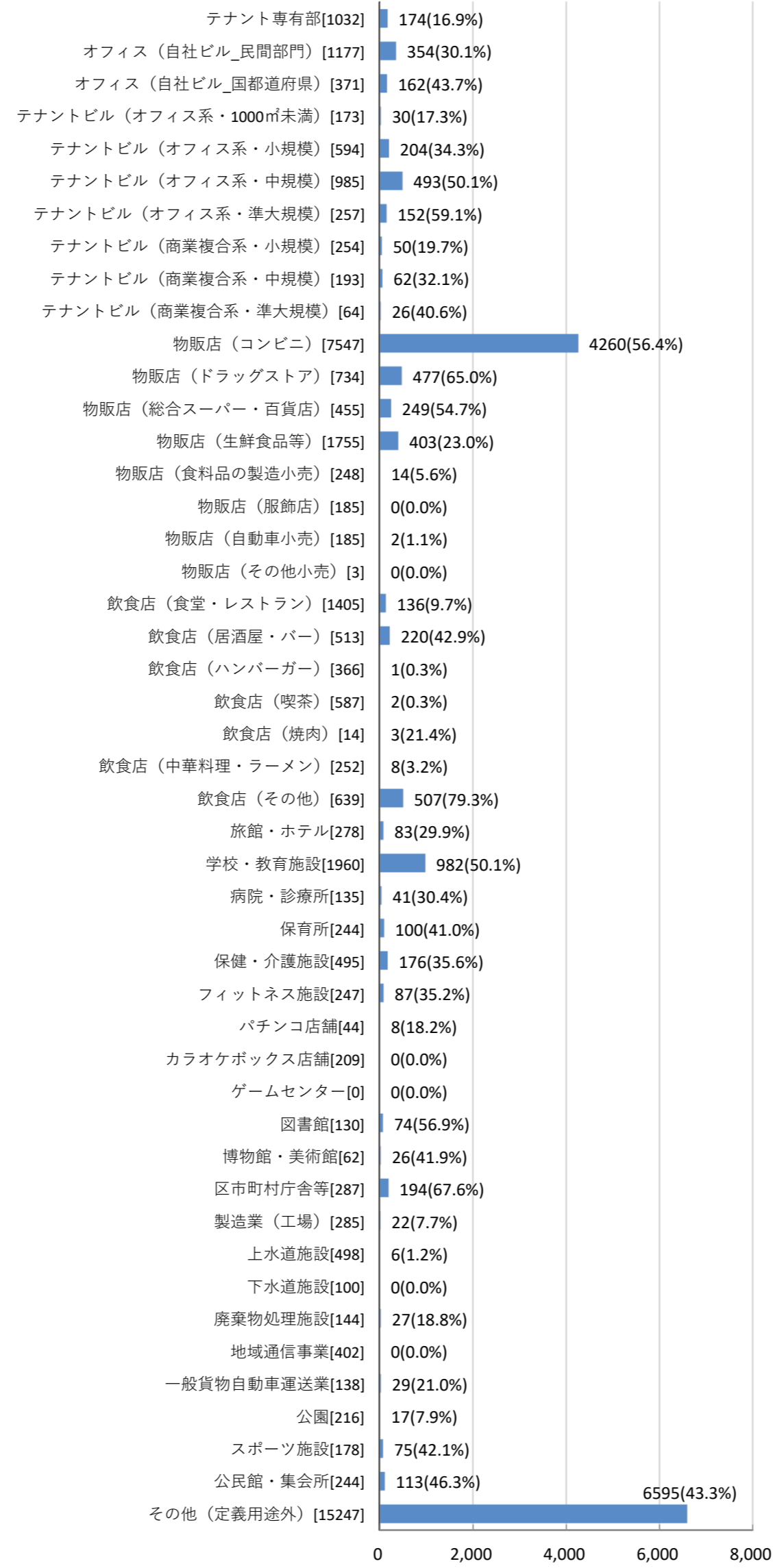
16 事業用途区分ごとの空調、換気設備の保守対策および導入対策の実施状況

D103 業務部門 中央熱源方式空調設備 中央熱源機器等の定期点検の実施



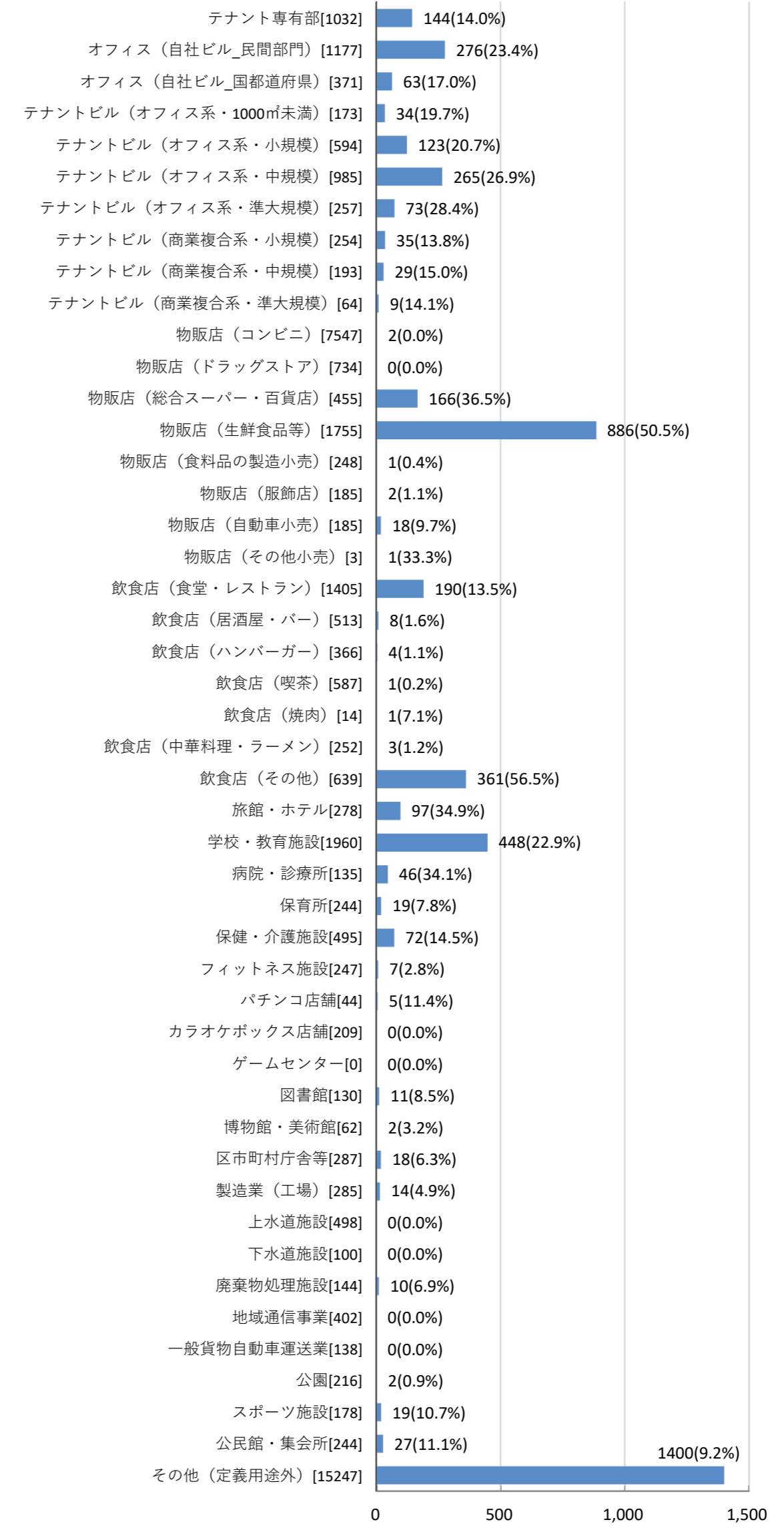
※ []内は事業所数を表す

D104 業務部門 個別方式空調設備 空調フィルターの清掃・点検



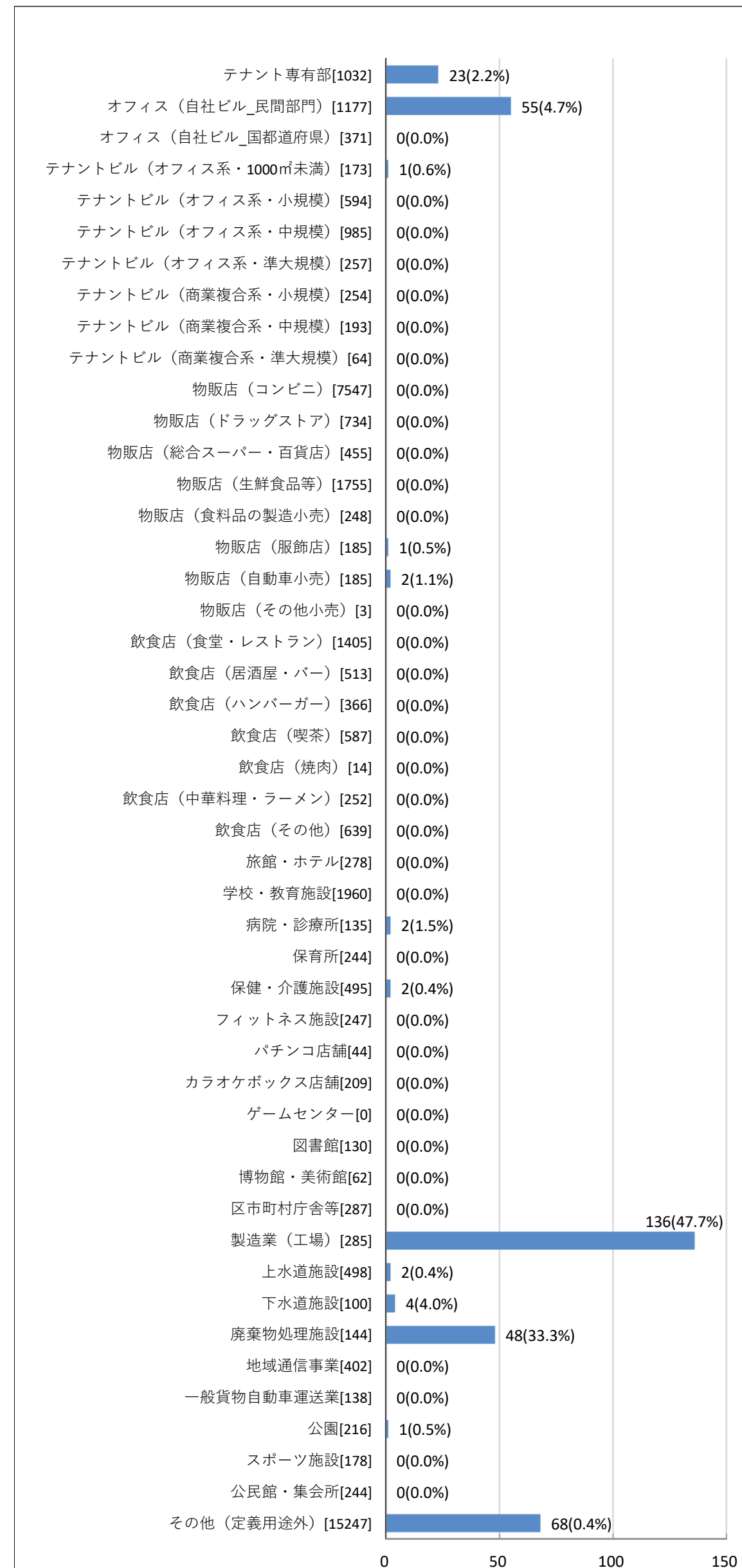
※ []内は事業所数を表す

D105 業務部門 換気設備 換気フィルターの清掃・点検



※ []内は事業所数を表す

E114 業務部門 空調機の効率化 高効率パッケージの採用



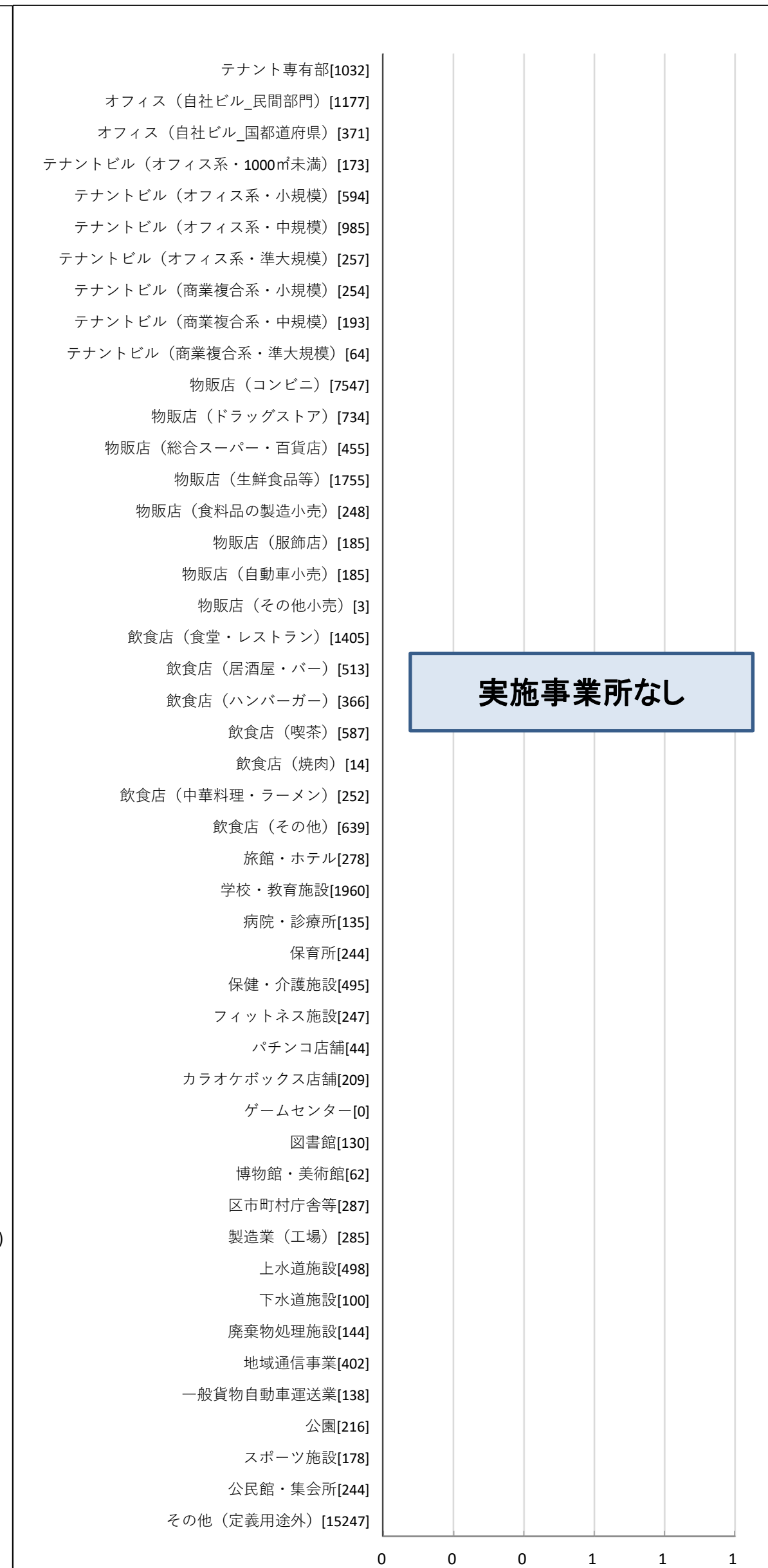
※ []内は事業所数を表す

D204 産業部門 個別方式 空調設備 空調フィルターの清掃・点検



※ []内は事業所数を表す

E214 産業部門 空調機の効率化 高効率パッケージの採用

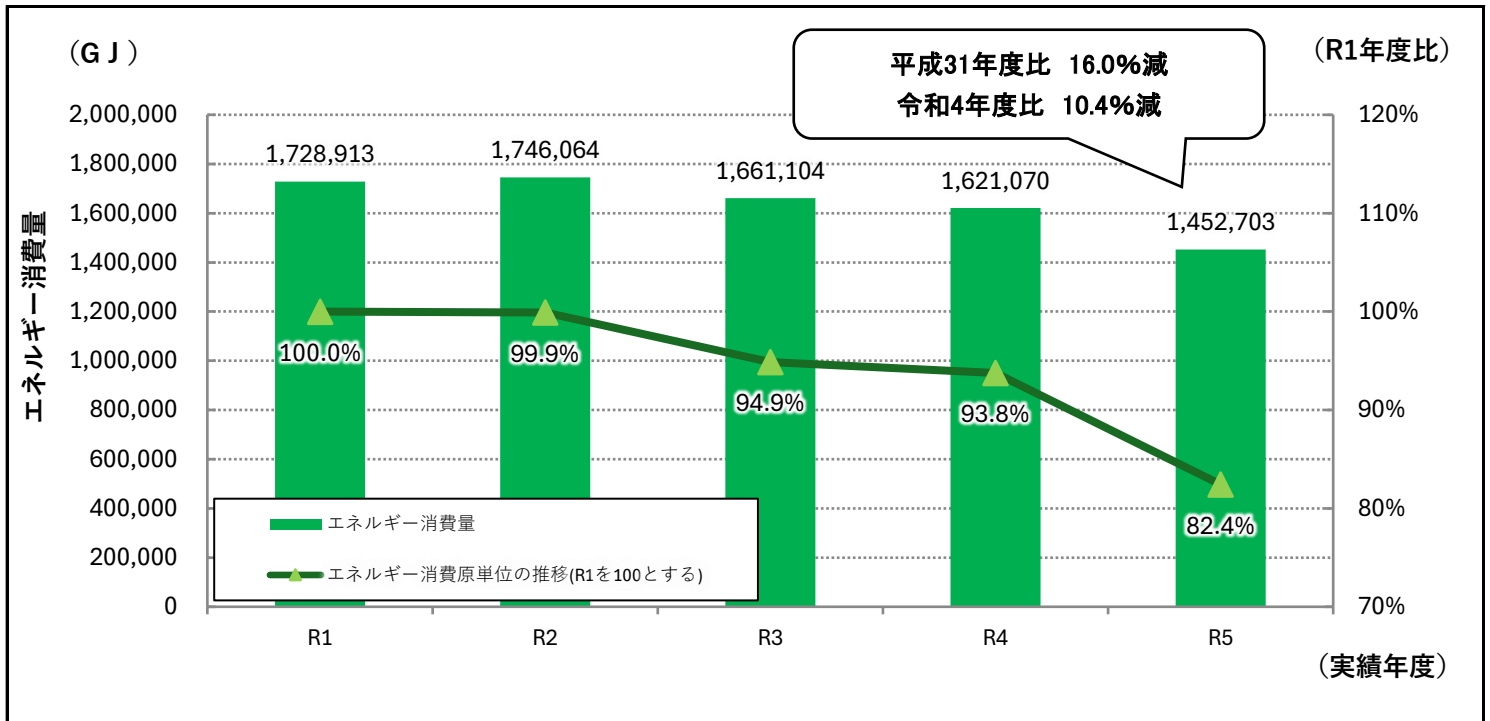


※ []内は事業所数を表す

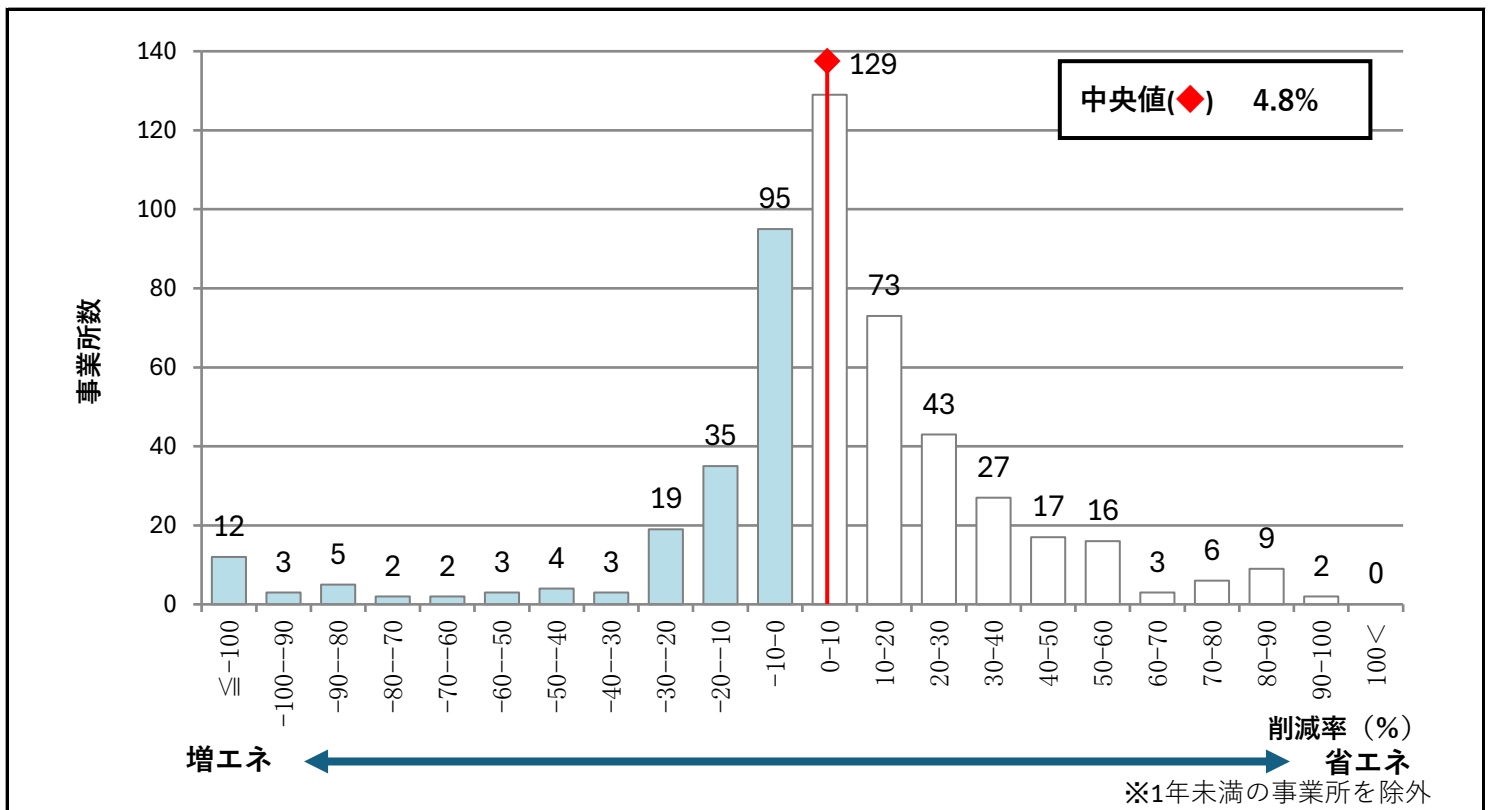
実施事業所なし

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」「96** 外国公務」等を除く全ての産業分類 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「他者所有」 ・報告範囲「建物の一部(テナント)」
テナント専有部	1,032	1,030	

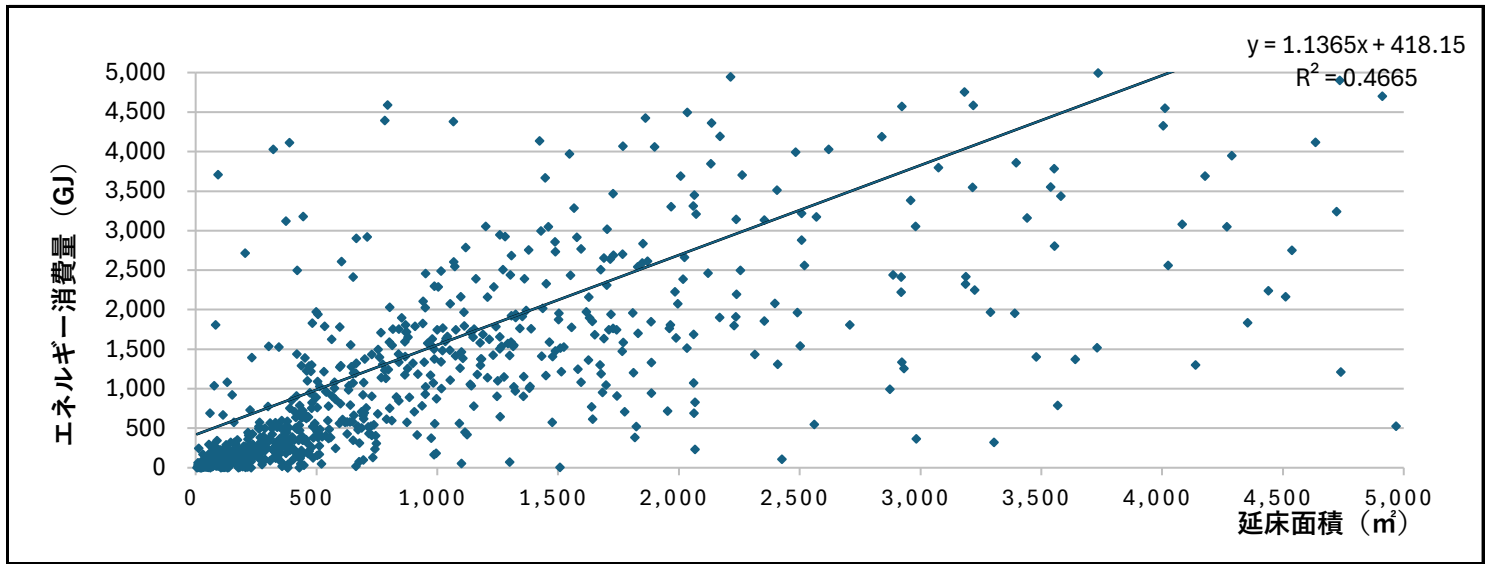
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:560)



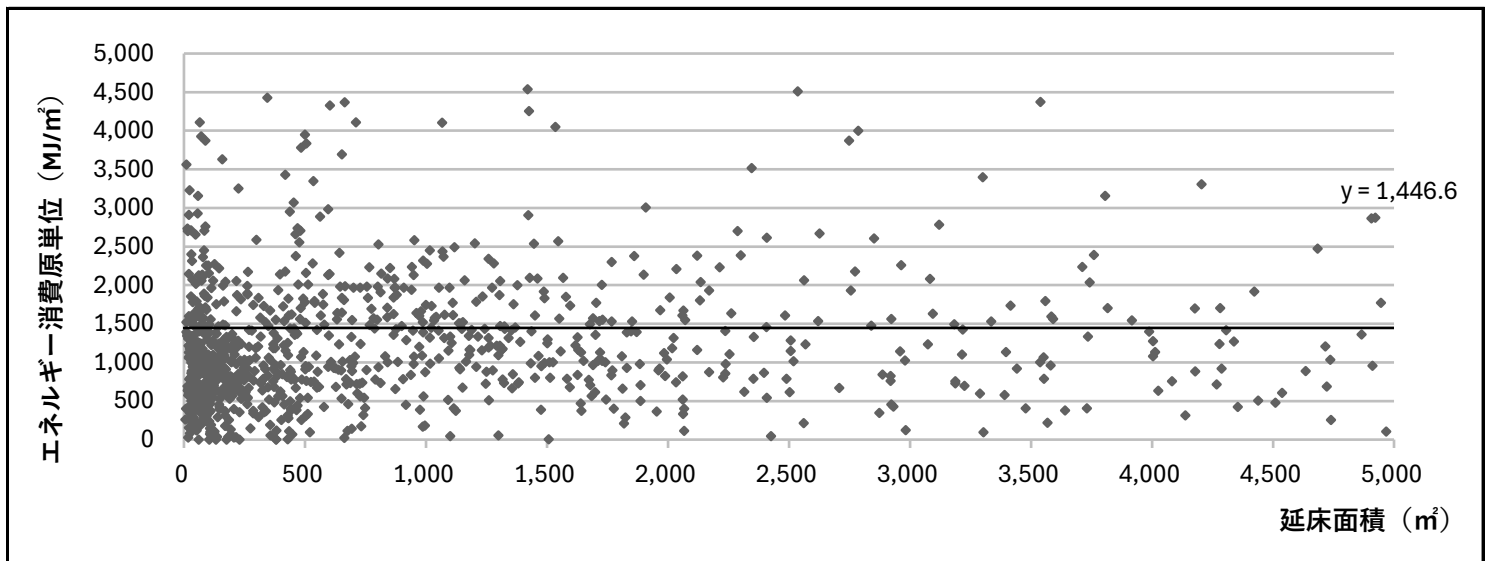
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:508)



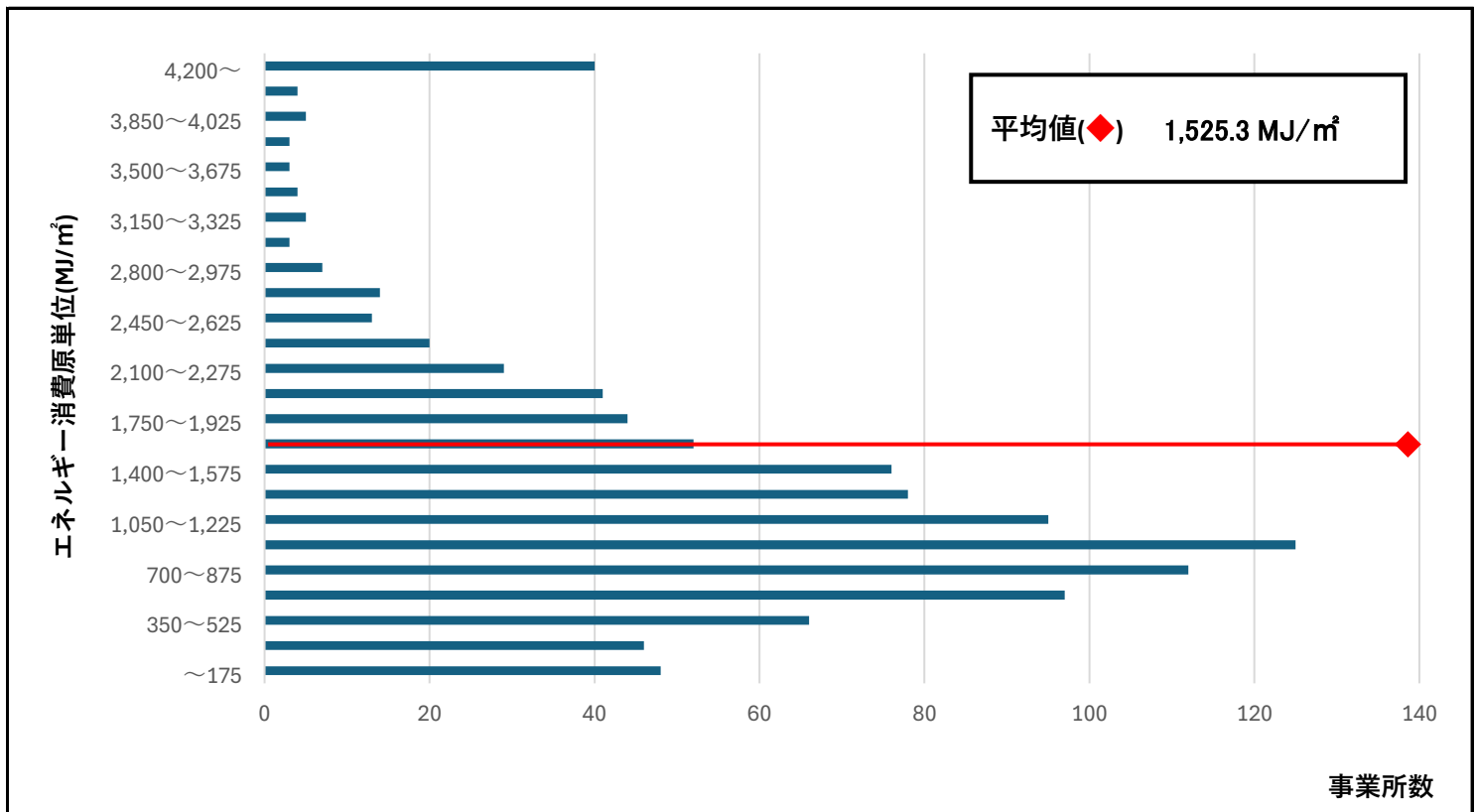
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



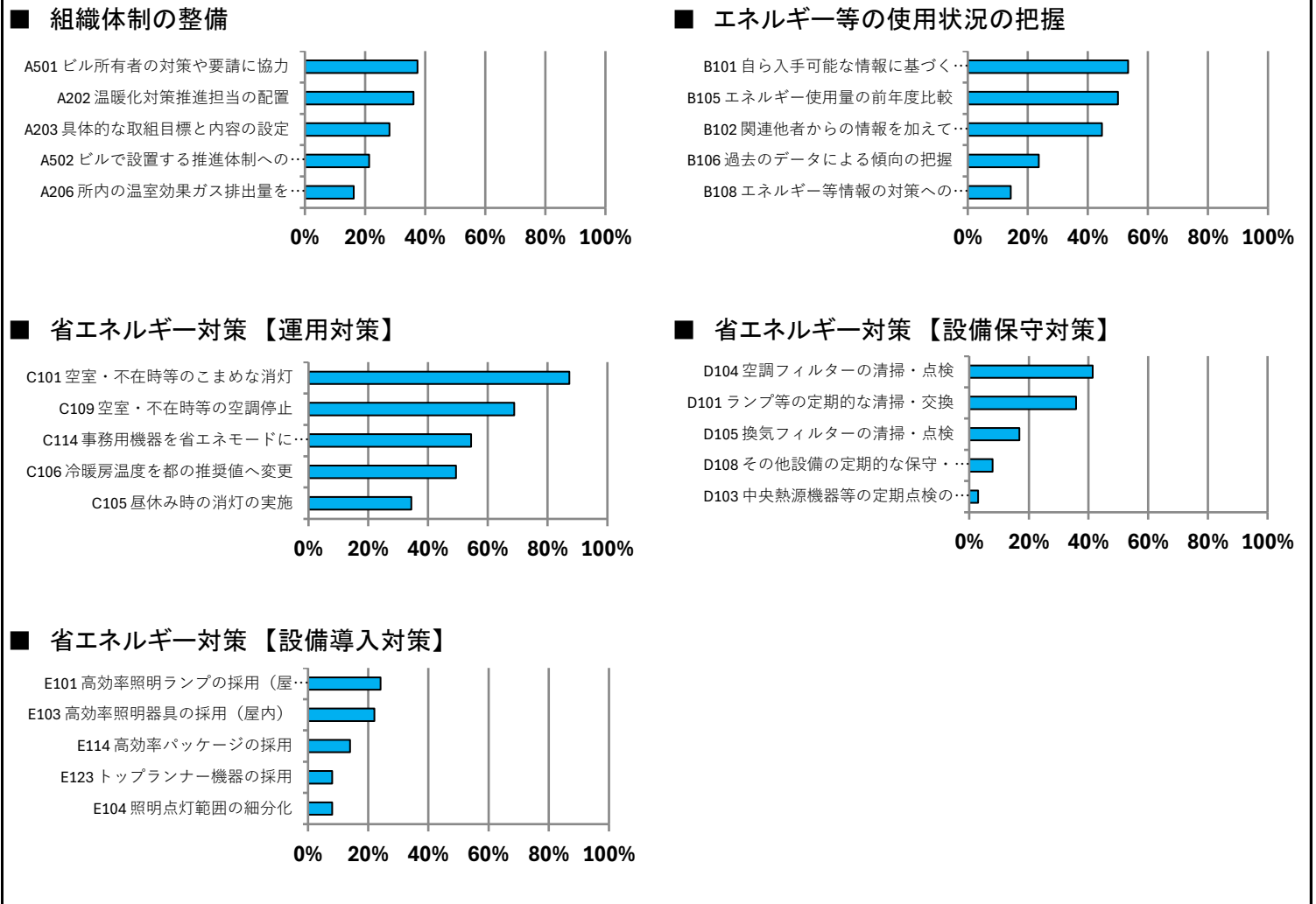
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

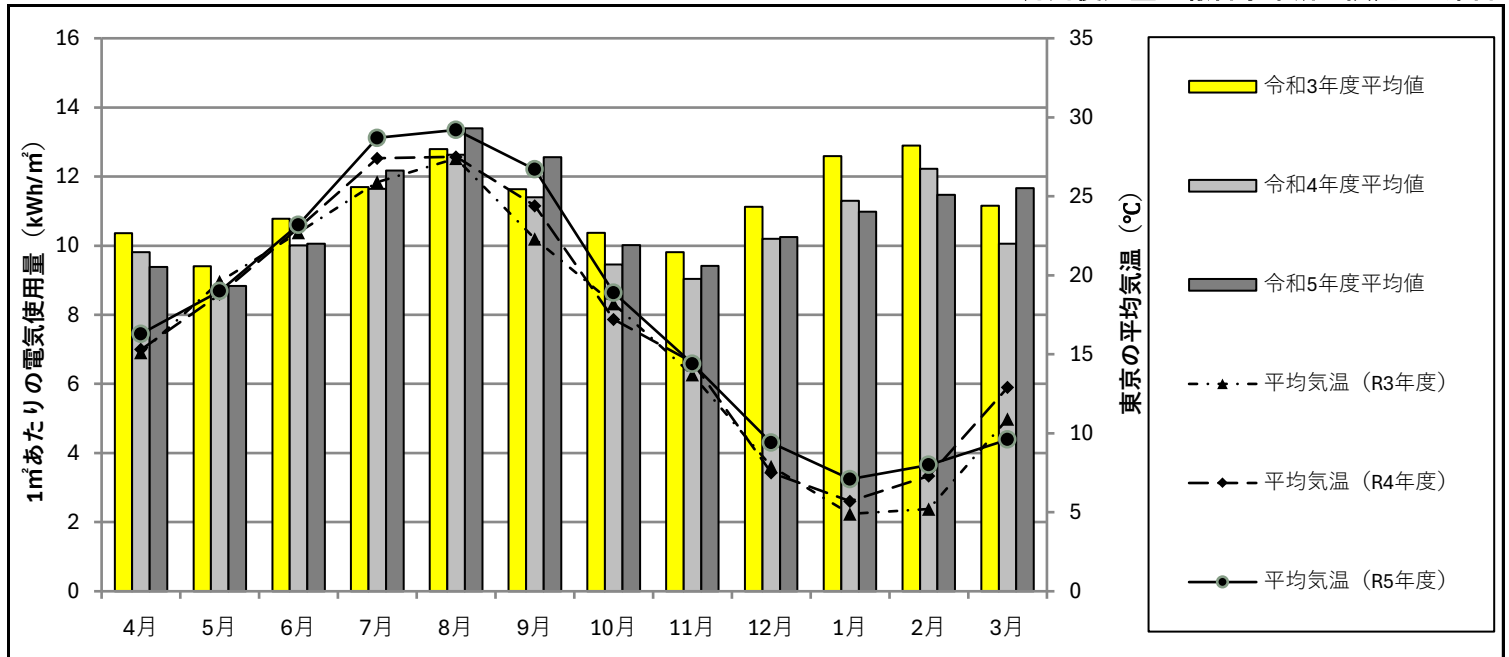


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

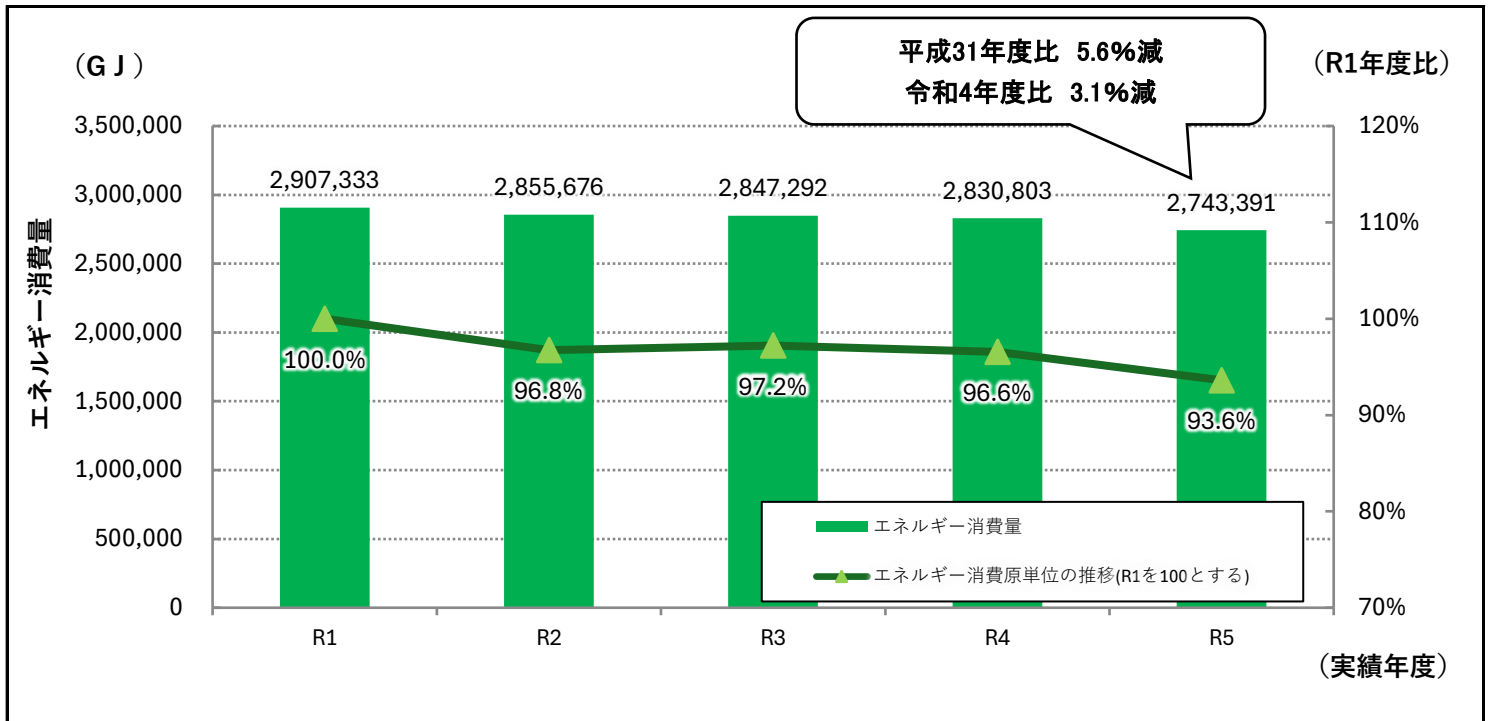
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



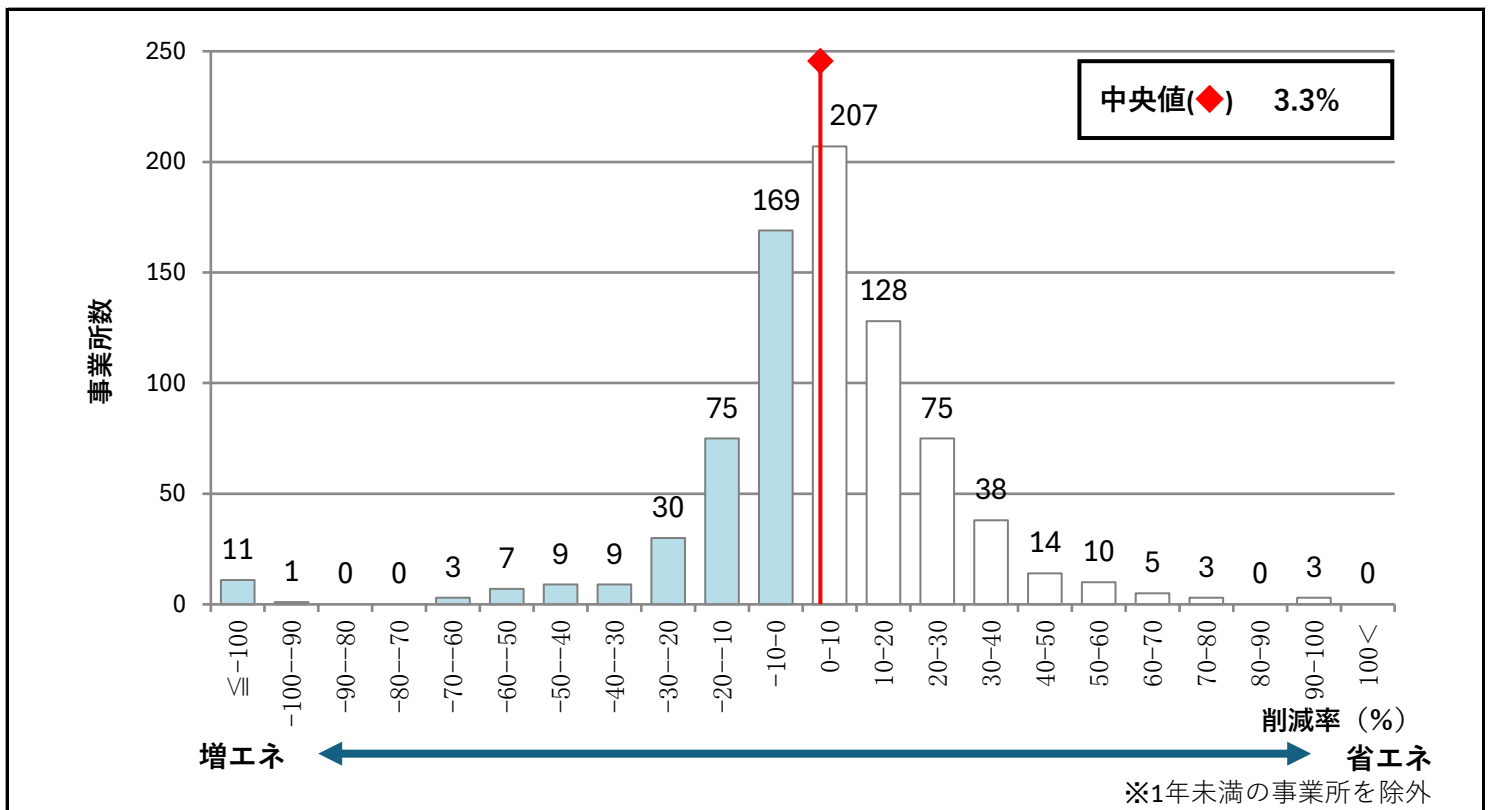
パソコンやプリンター、冷蔵庫などの備品は省エネ型に変えましょう。パソコンはできるだけ電力消費の少ないノート型をお勧めします。またエアコン・照明等の主要な設備はビルオーナー資産である場合が多く、退去時原状復旧の義務が生じるため、独自の設備改善は実施しにくい環境にあります。そのため省エネ対策は運用改善が主体になり、照度の適正化や空調設定温度の緩和などが求められ、晴天時の窓際消灯も省エネ効果が期待できます。省エネ推進チームの立ち上げなど継続的な運用改善活動が重要です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」「96** 外国公務」「97** 国家公務」「98** 地方公務」を除く ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」
オフィス(自社ビル_民間部門)	1,177	1,151	

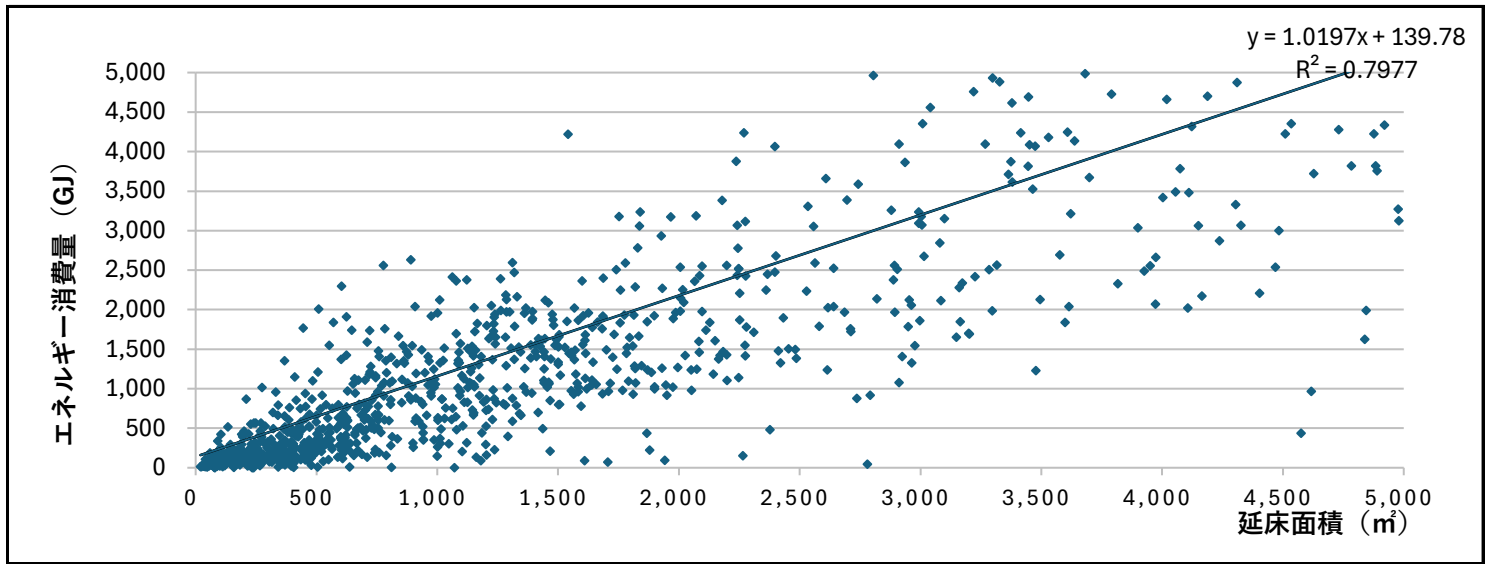
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:812)



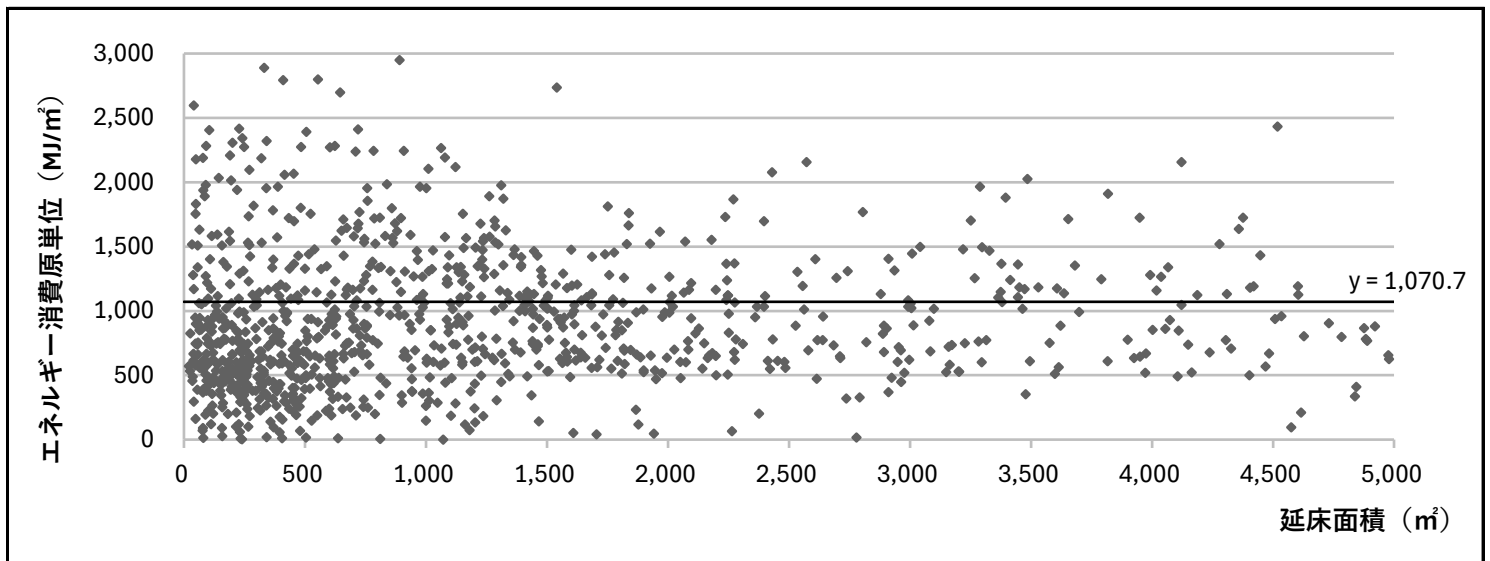
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:797)



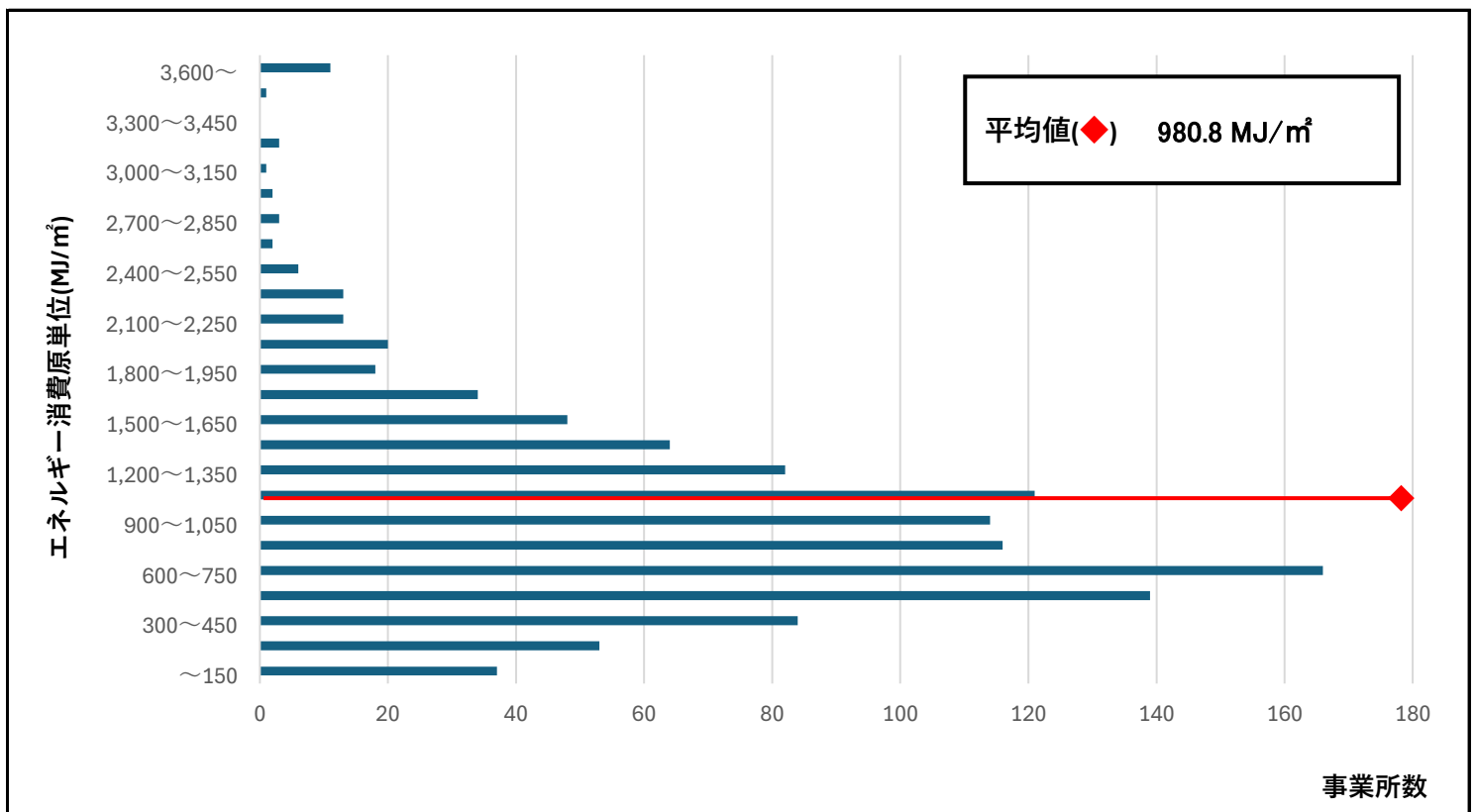
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



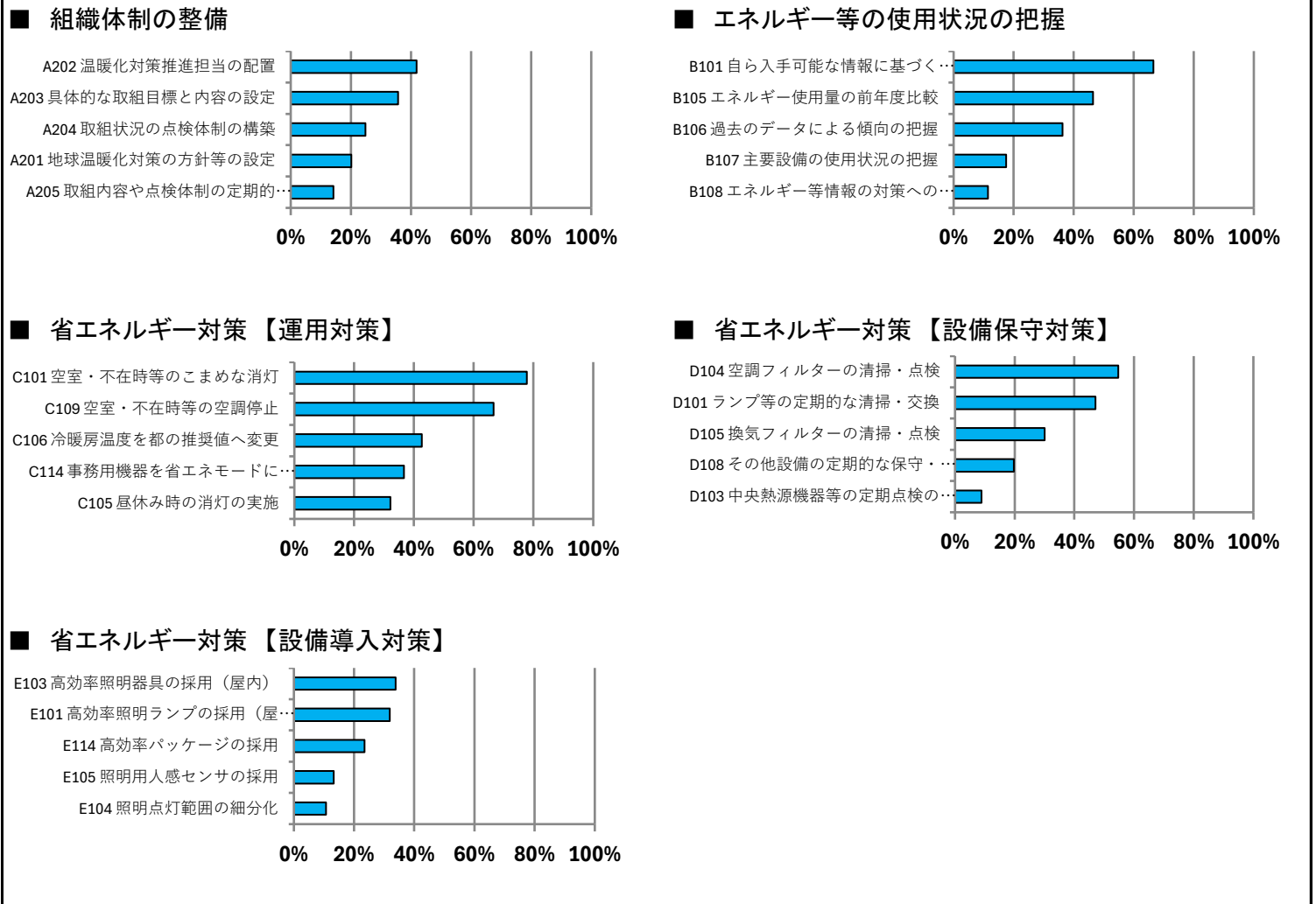
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

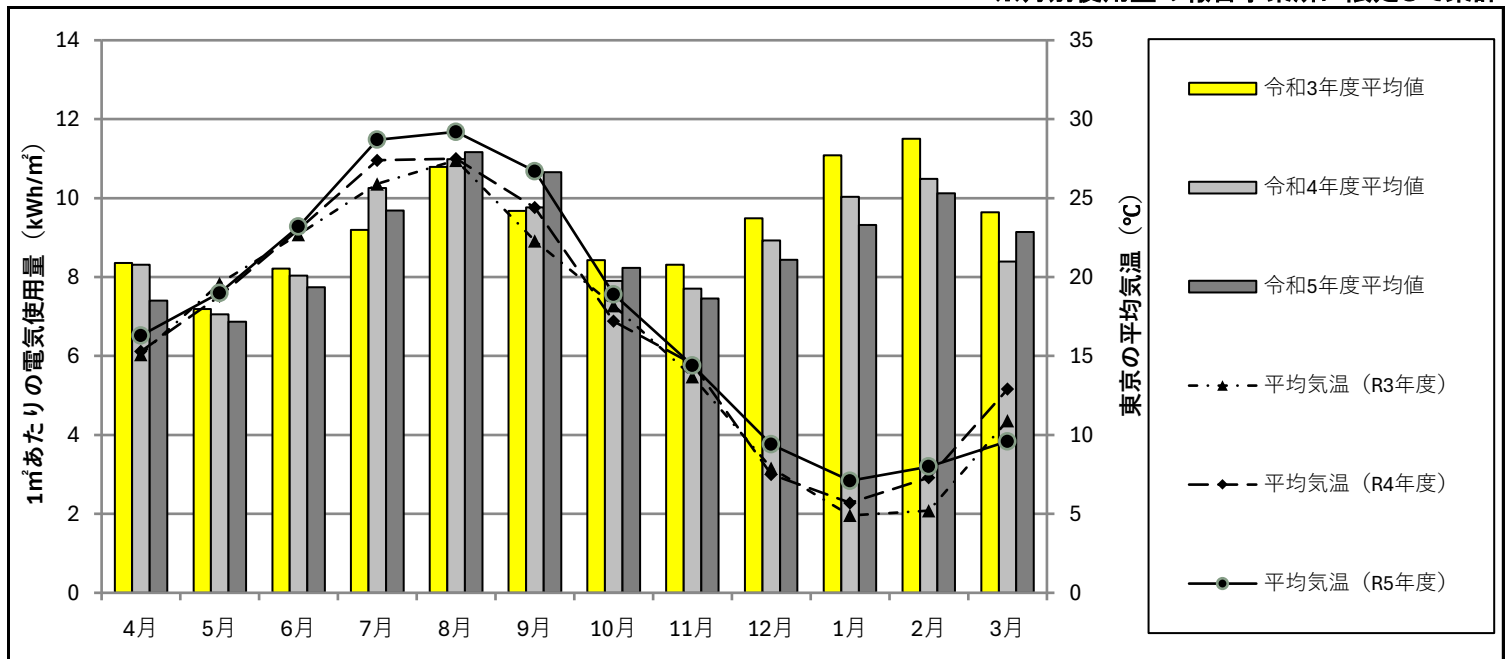


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

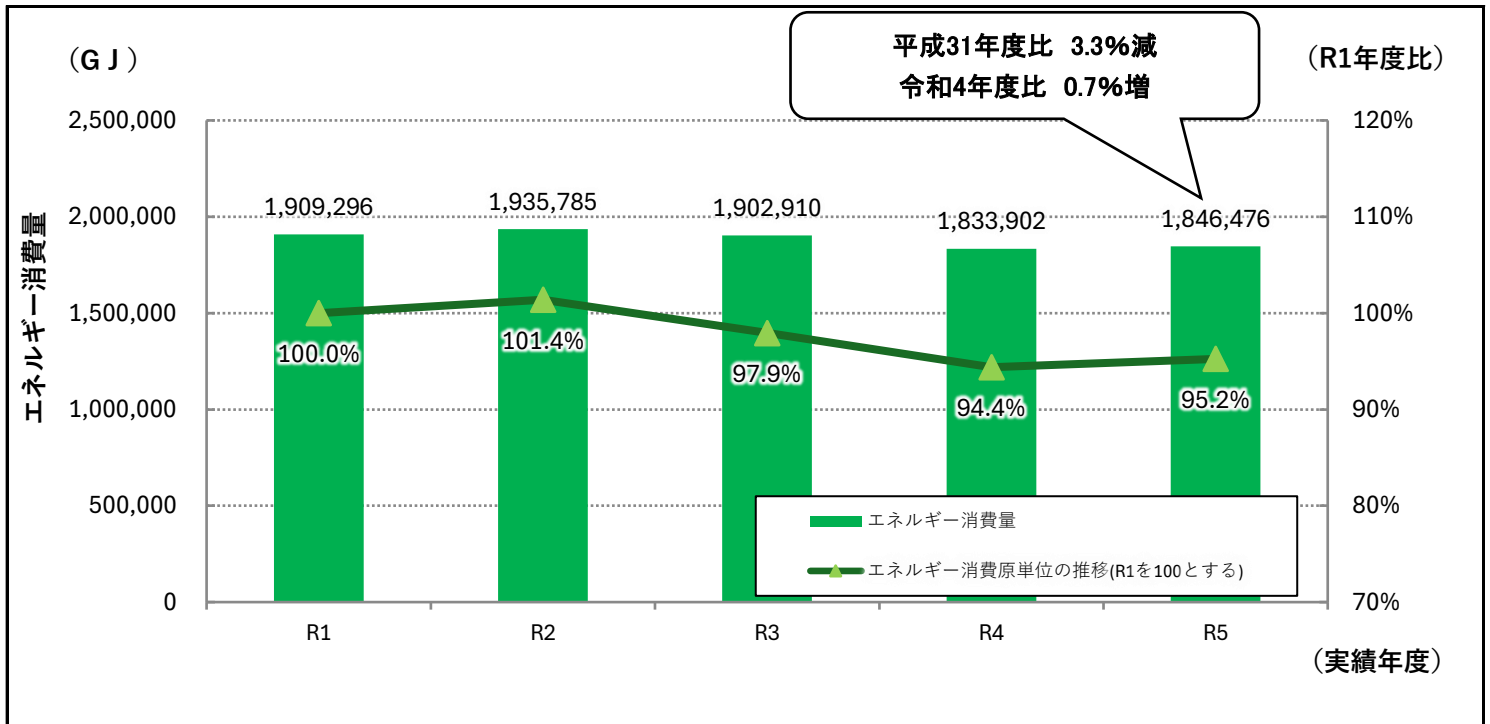
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



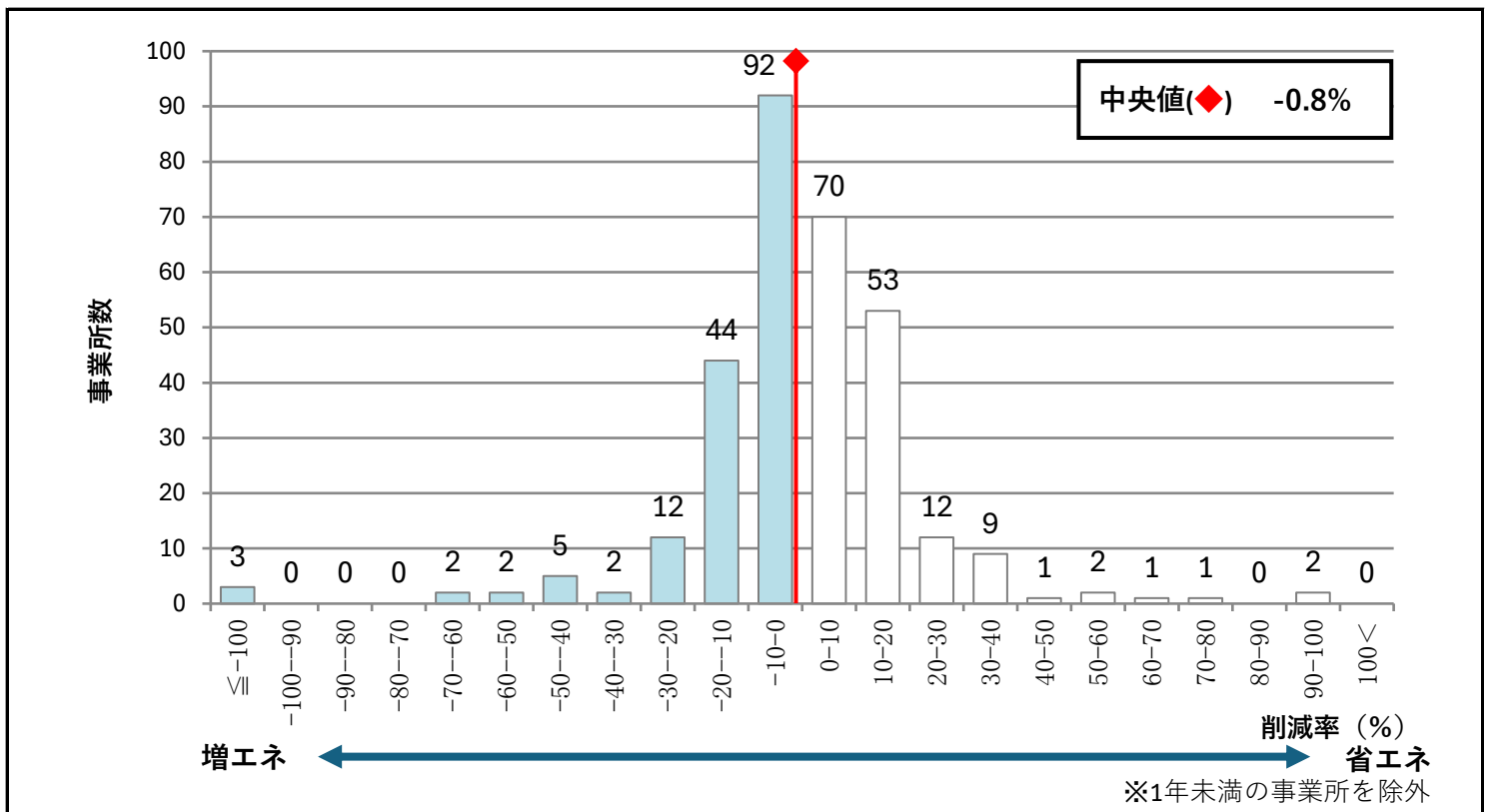
自社ビルの場合、設備改善の権限は自社にあるため省エネ対策は自由に進められます。まずは空調設定温度の緩和や照度の適正化などの運用改善を徹底し、エアコンなど老朽化した設備があれば早めに高効率設備の導入を進めましょう。併せて経営トップを責任者とする省エネ推進体制を構築し、リーダーシップと全員参加で省エネ活動を進め、太陽光発電の導入などの創エネも積極的に検討してください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「96** 外国公務」「97** 国家公務」「981* 都道府県機関」 ・「6911 貸事務所業」を除く ・報告範囲の主たる用途「事務所」、「その他」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」
オフィス(自社ビル_国都道府県)	371	367	

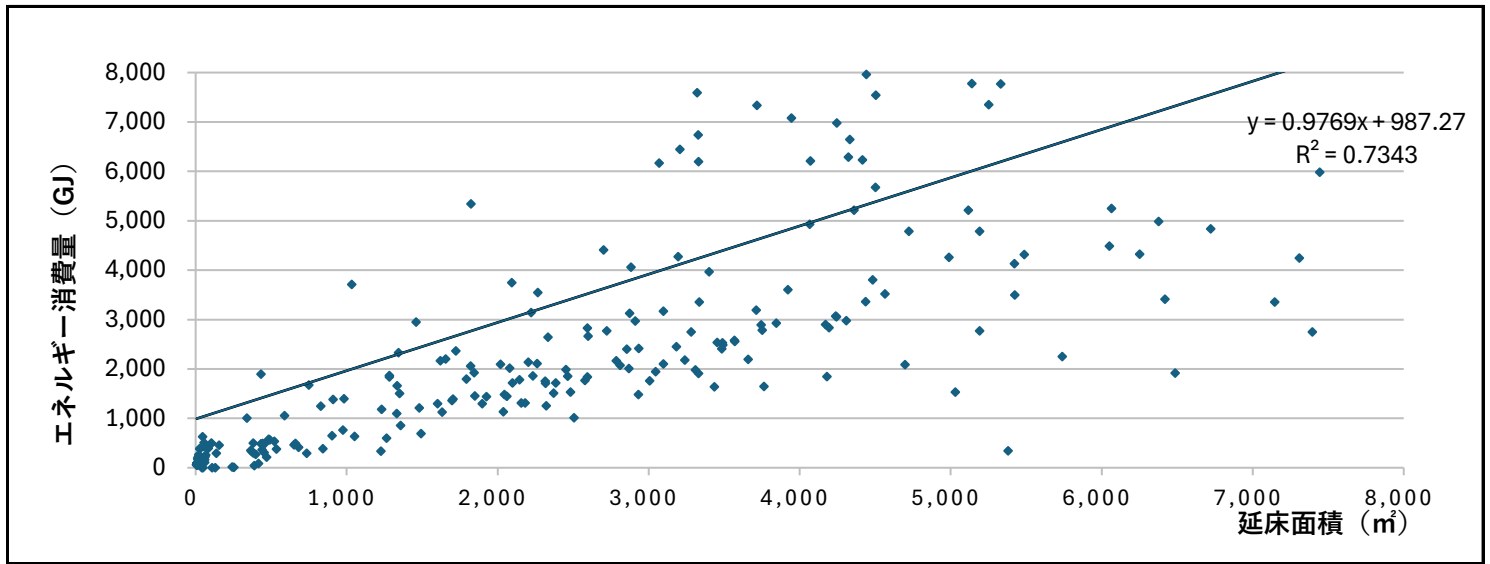
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:317)



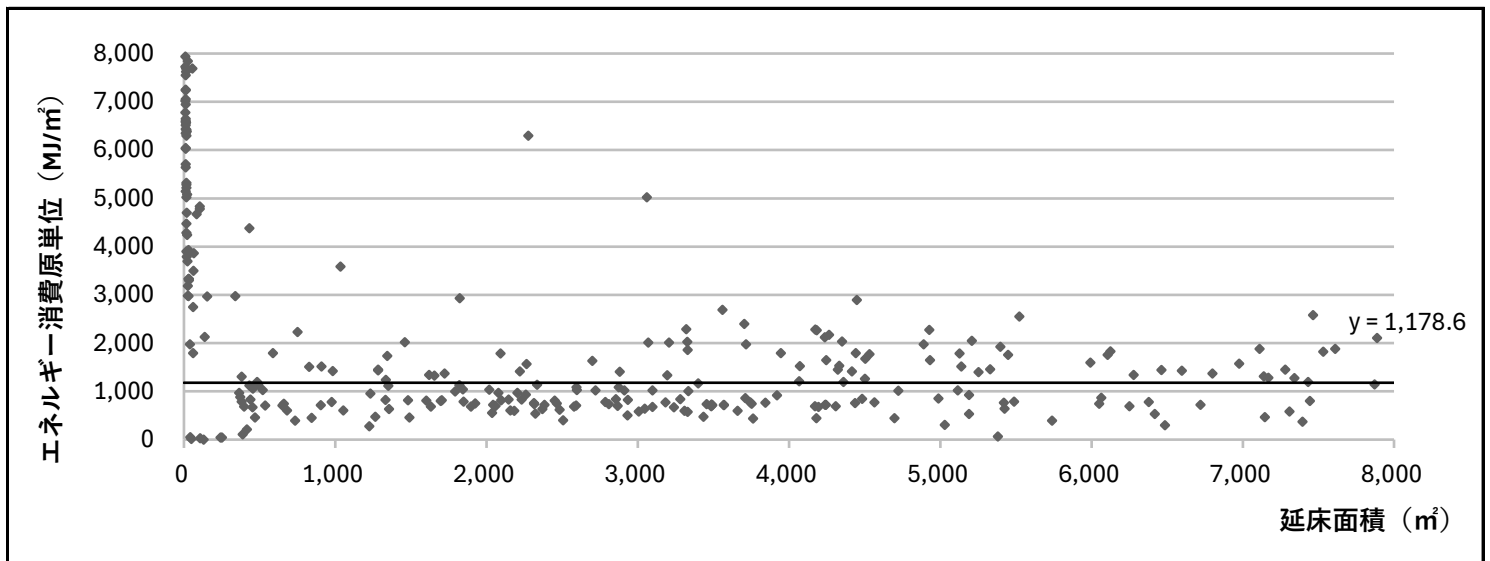
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:313)



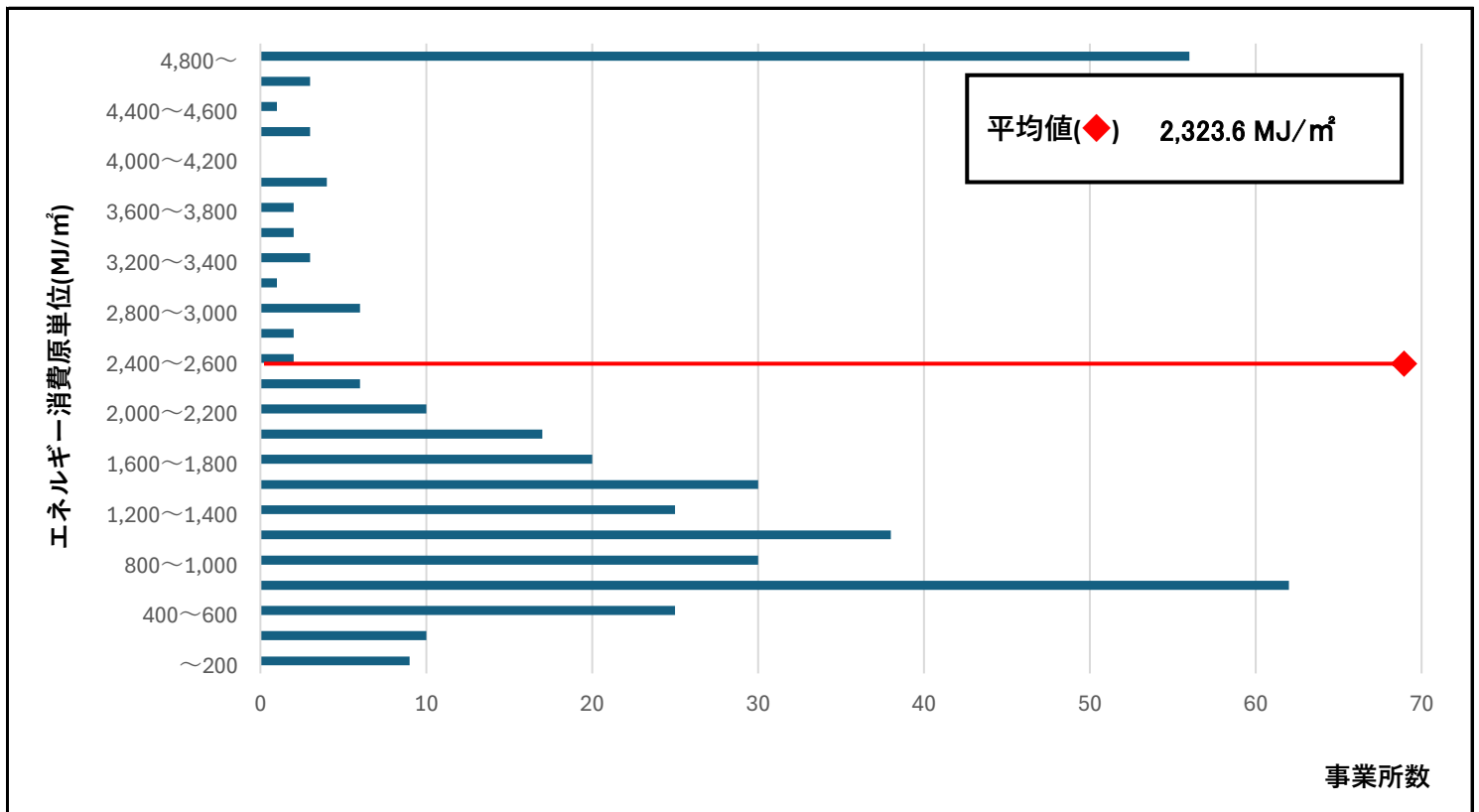
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



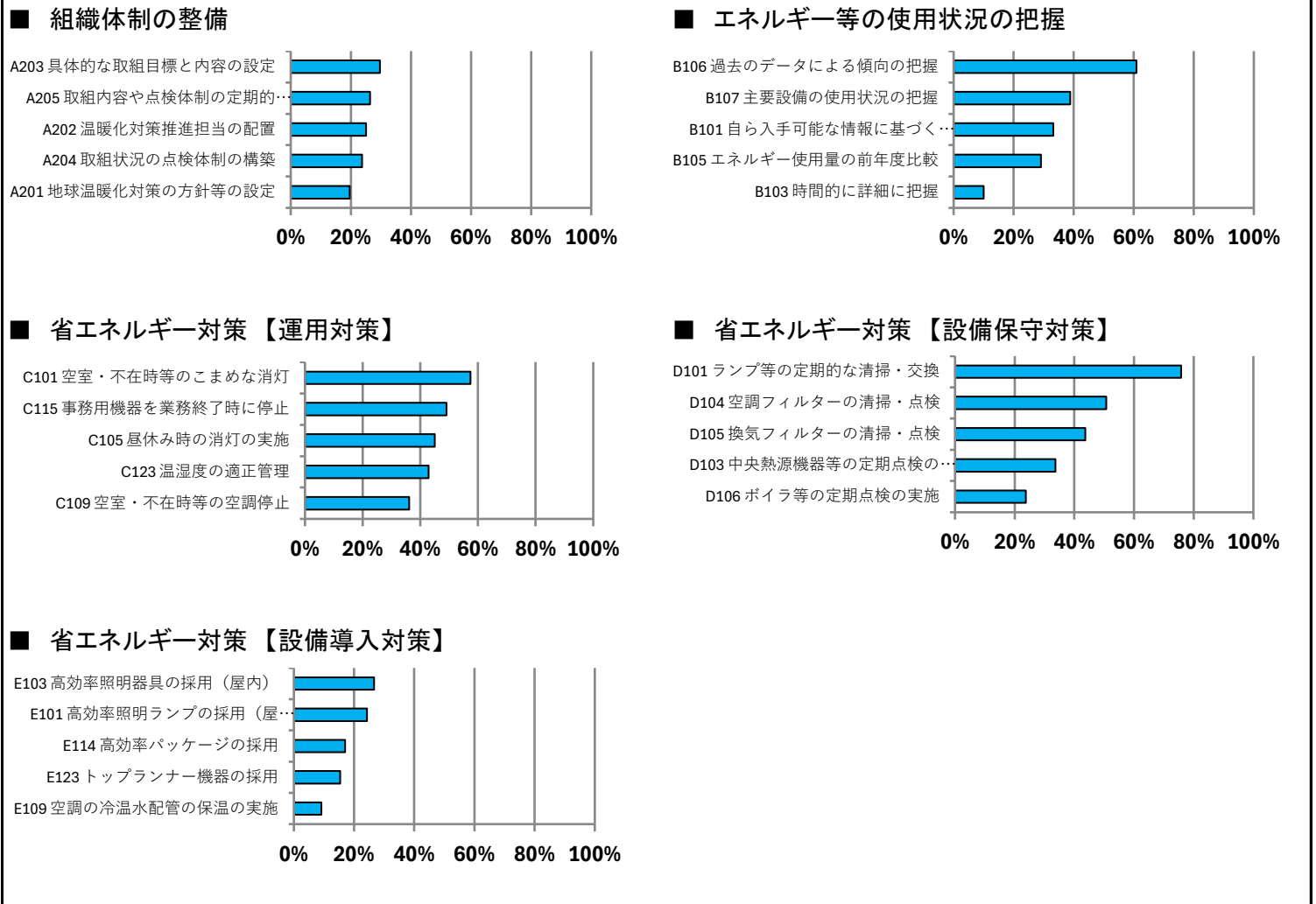
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

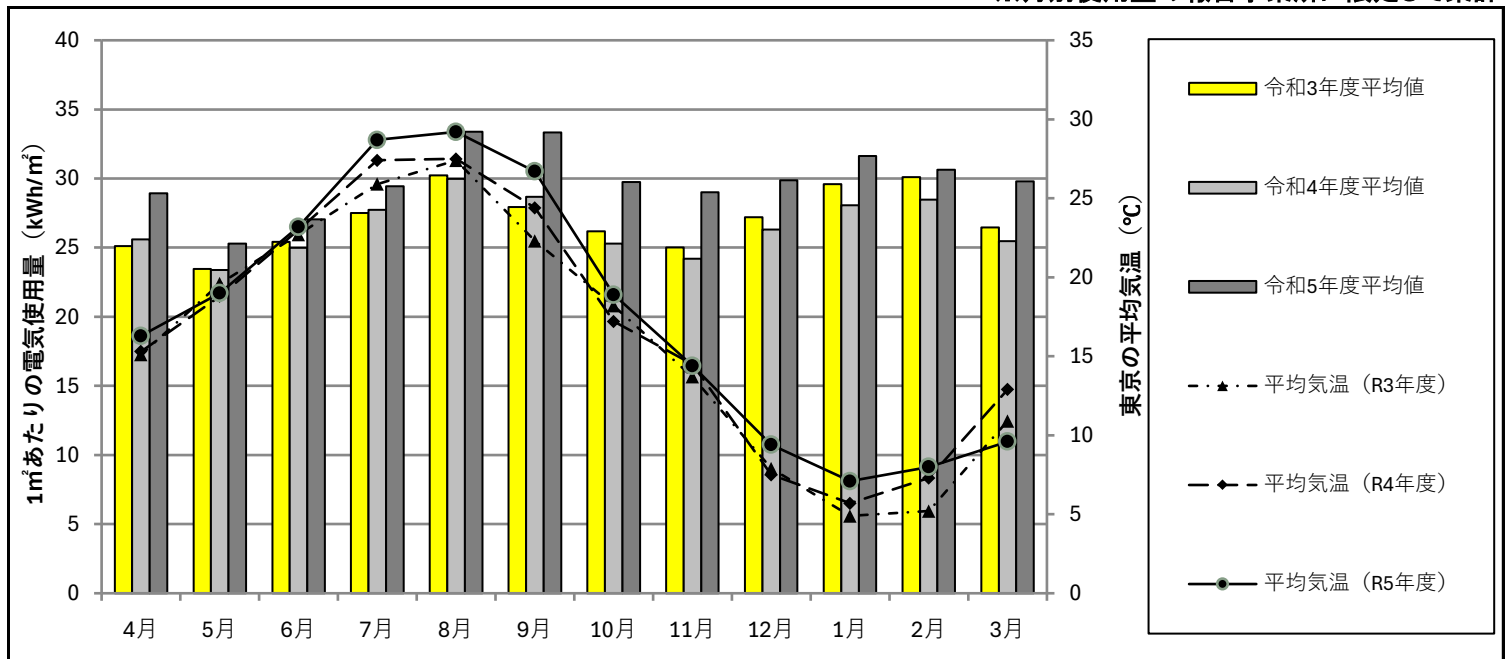


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

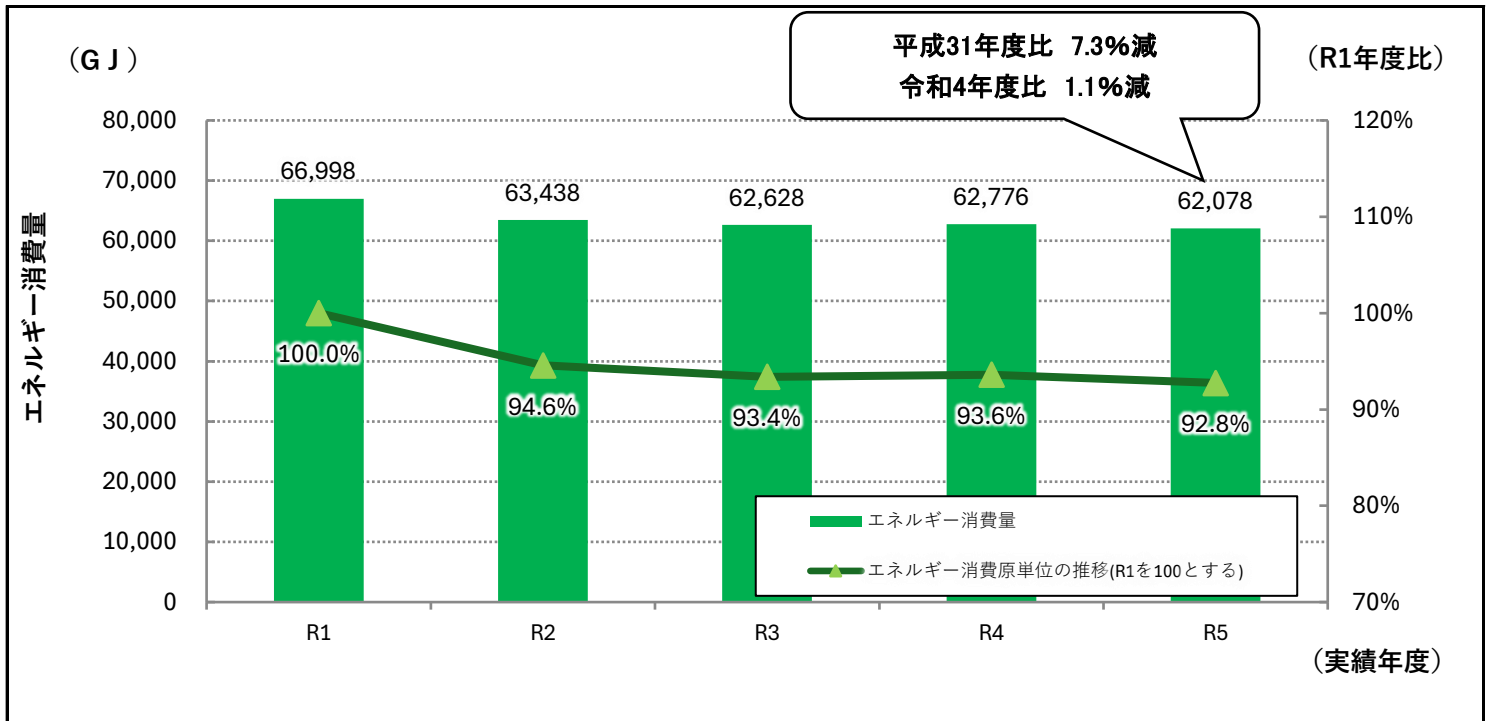
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



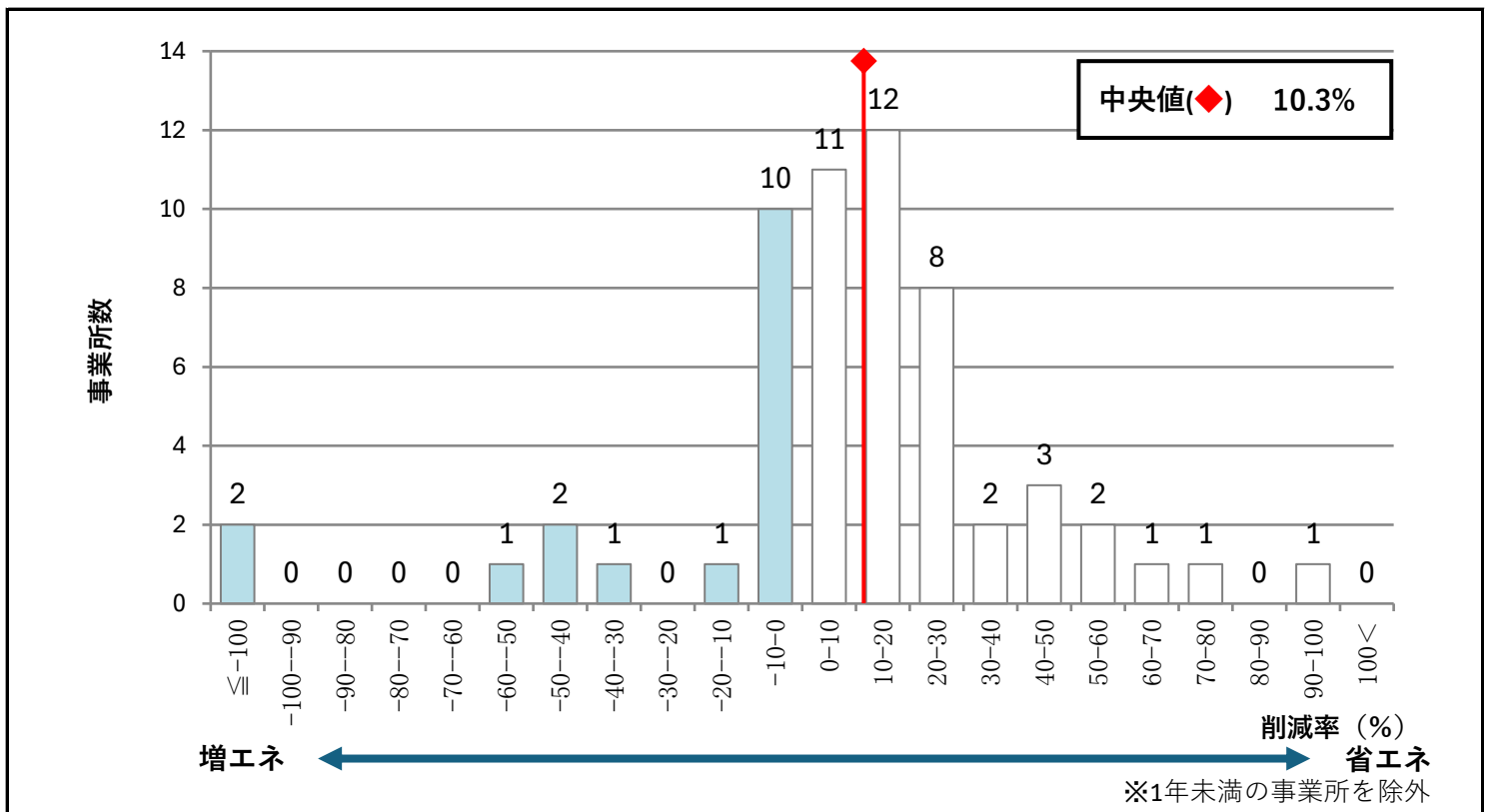
民間のオフィスビルと比較すると省エネの進みがやや悪い傾向にあります。設備更新に必要な予算取りが難しいケースもあるようで、エネルギー消費原単位は高止まりしています。省エネ管理体制の見直しや、エネルギー多消費設備を優先した効率的な設備改善を進めることが望まれます。同種の庁舎とエネルギー消費原単位などを比較をすることで自庁舎の特徴や傾向などを知ることができます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 1,000㎡未満
テナントビル(オフィス系・1000㎡未満)	173	171	

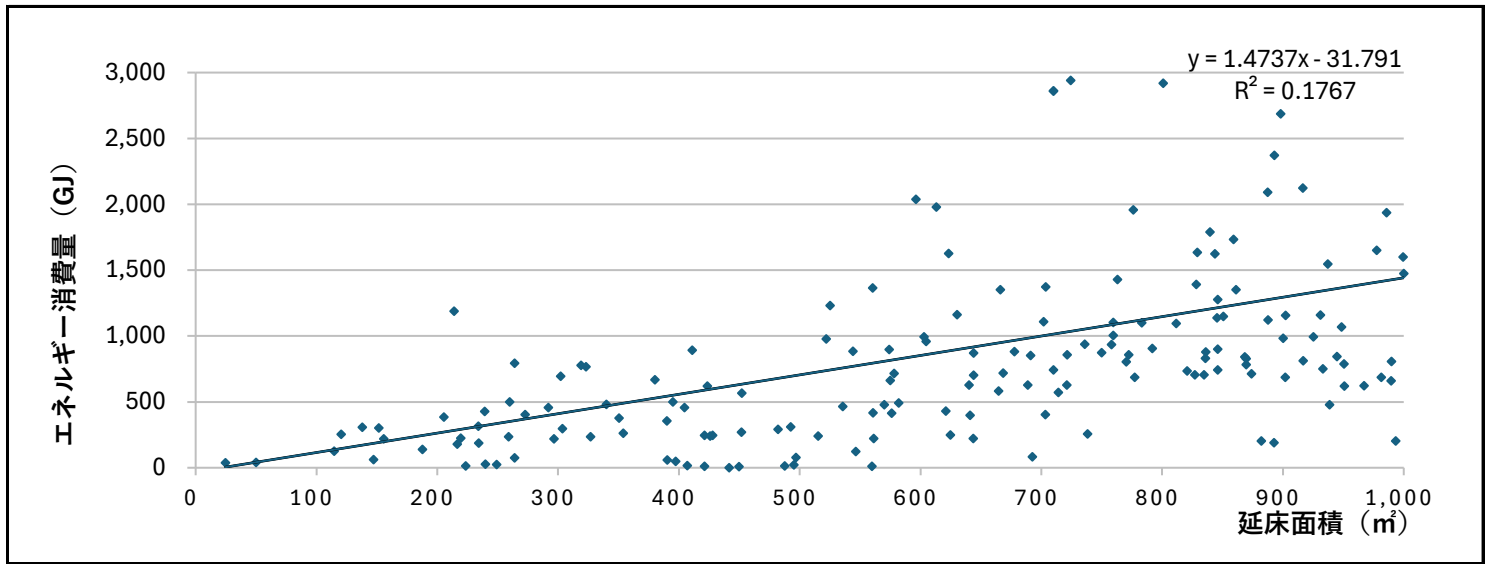
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:65)



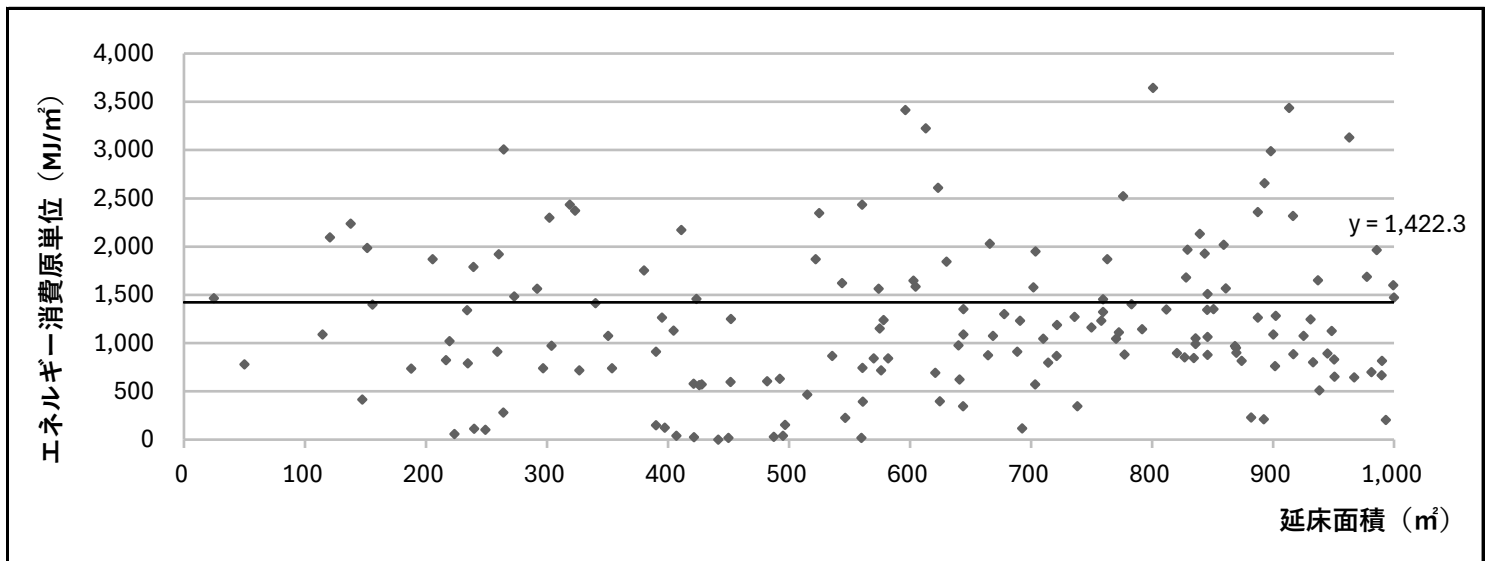
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:58)



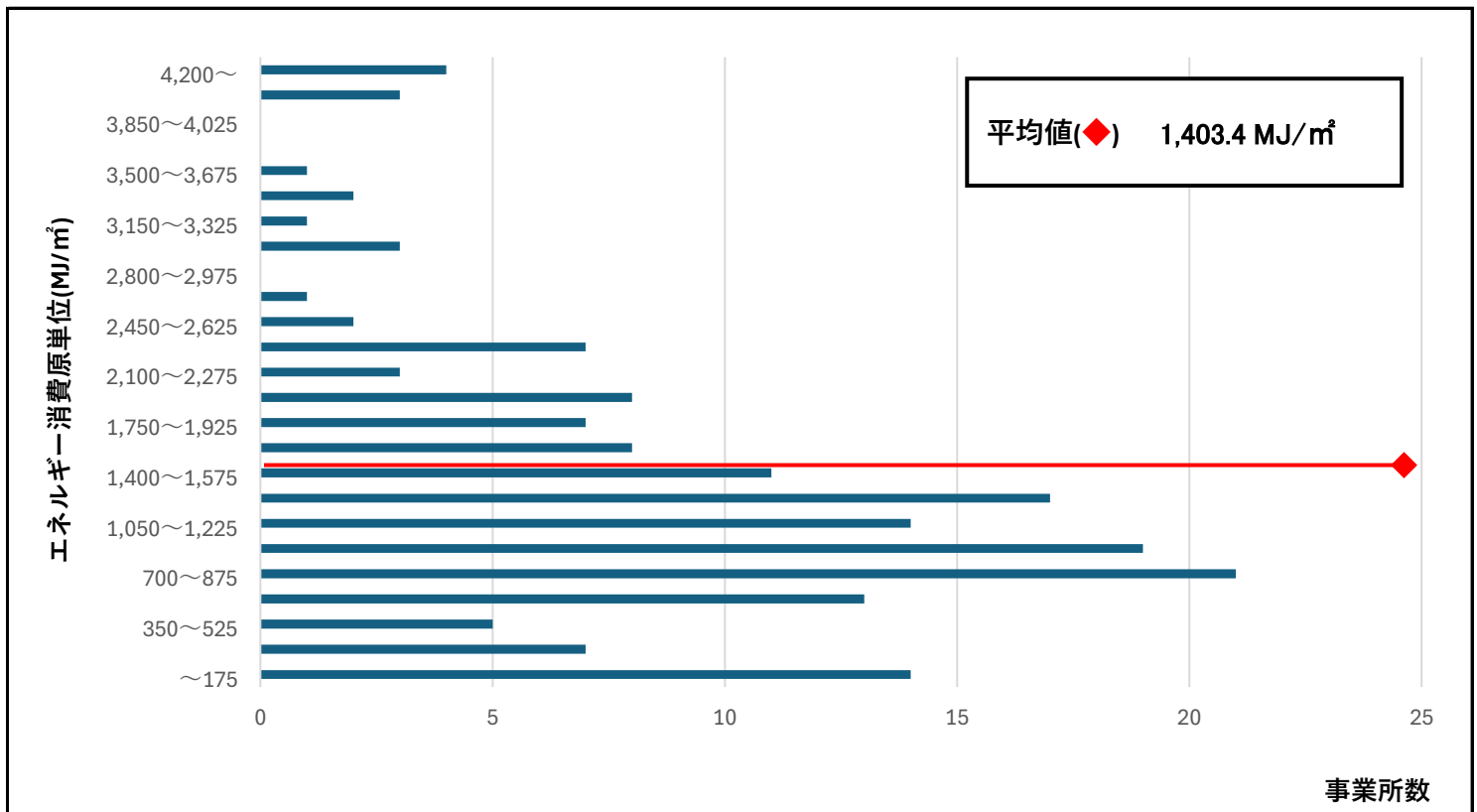
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



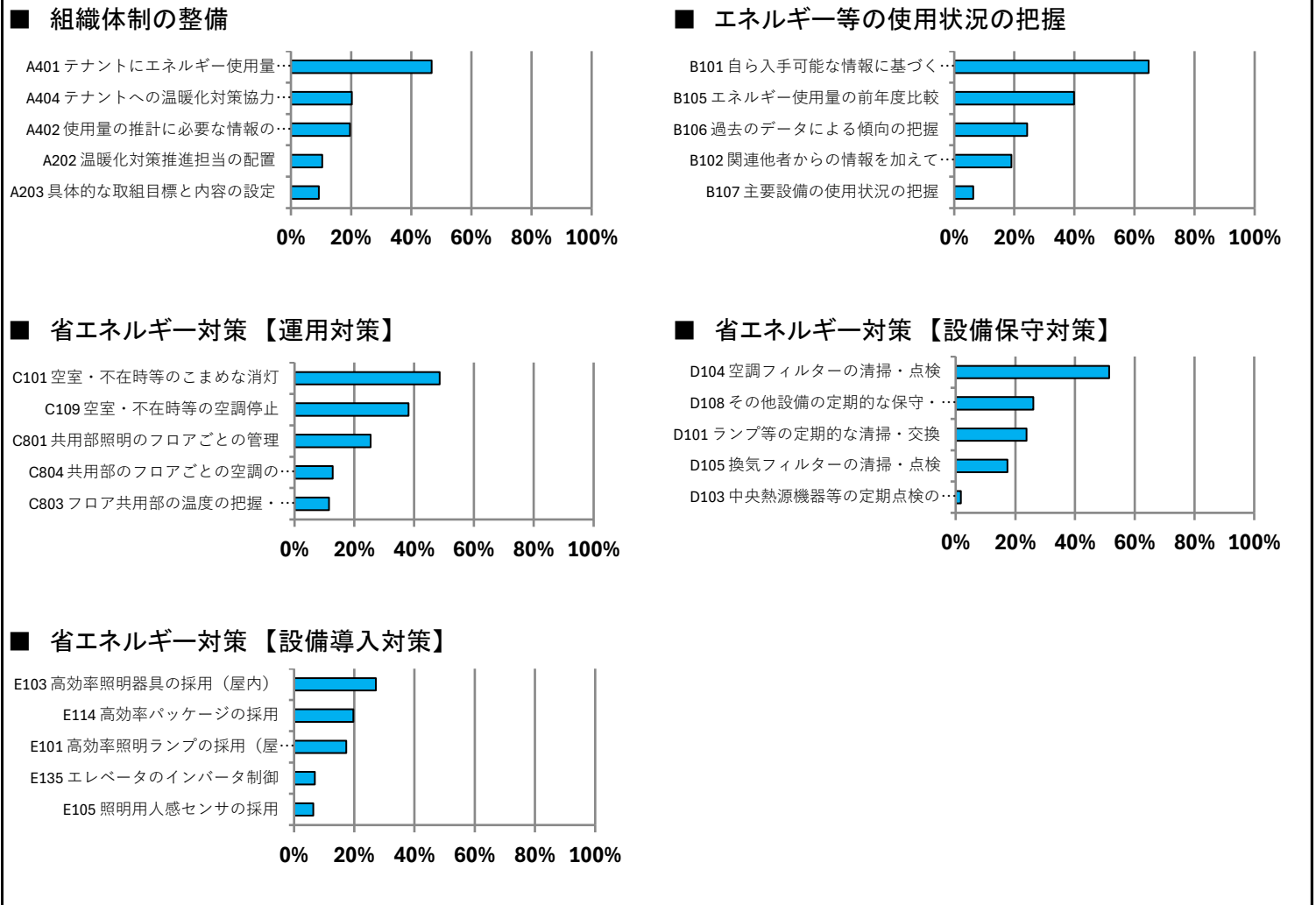
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

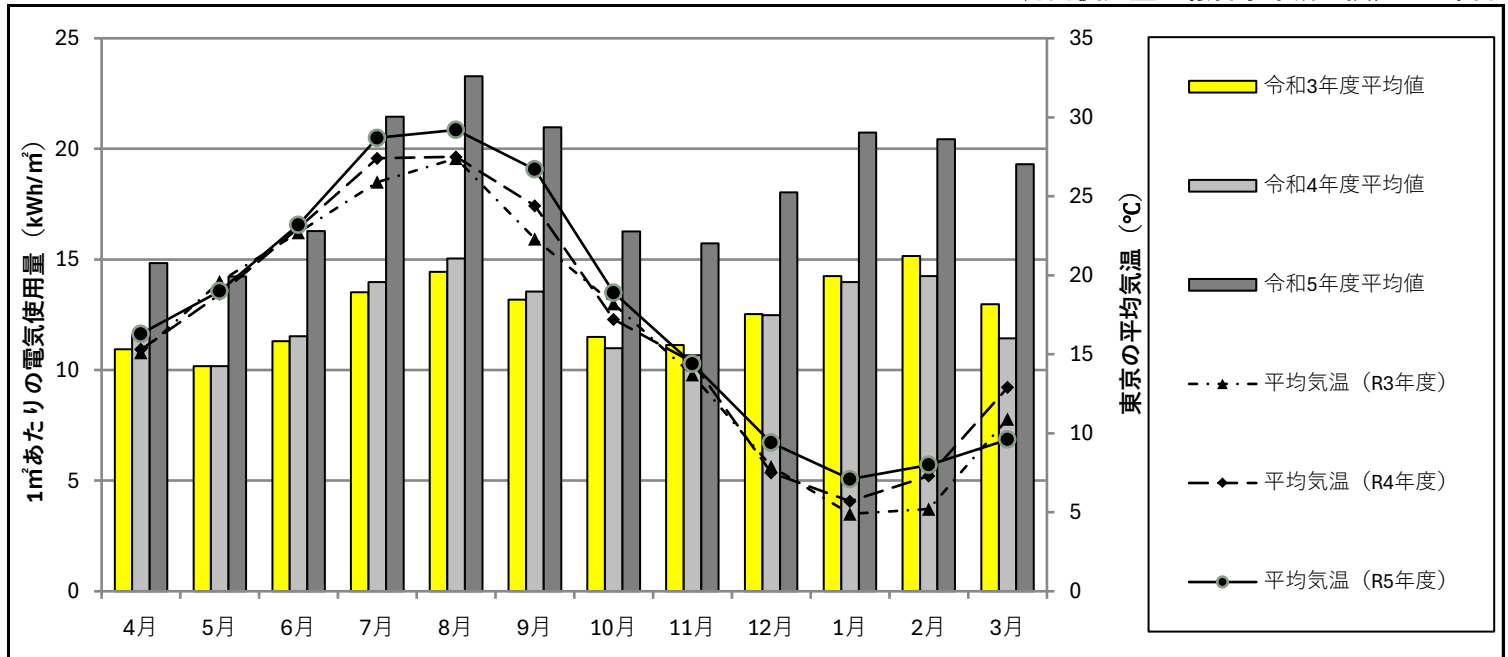


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

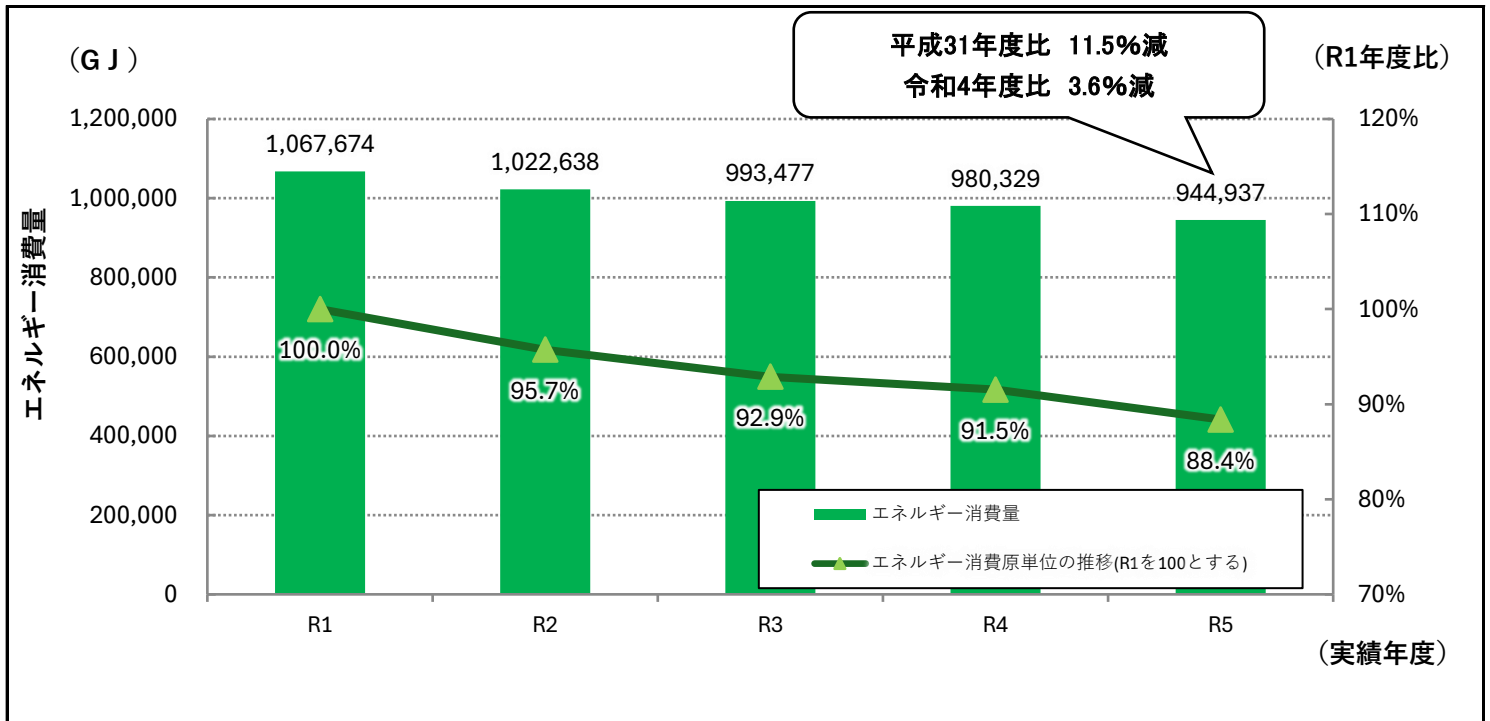
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



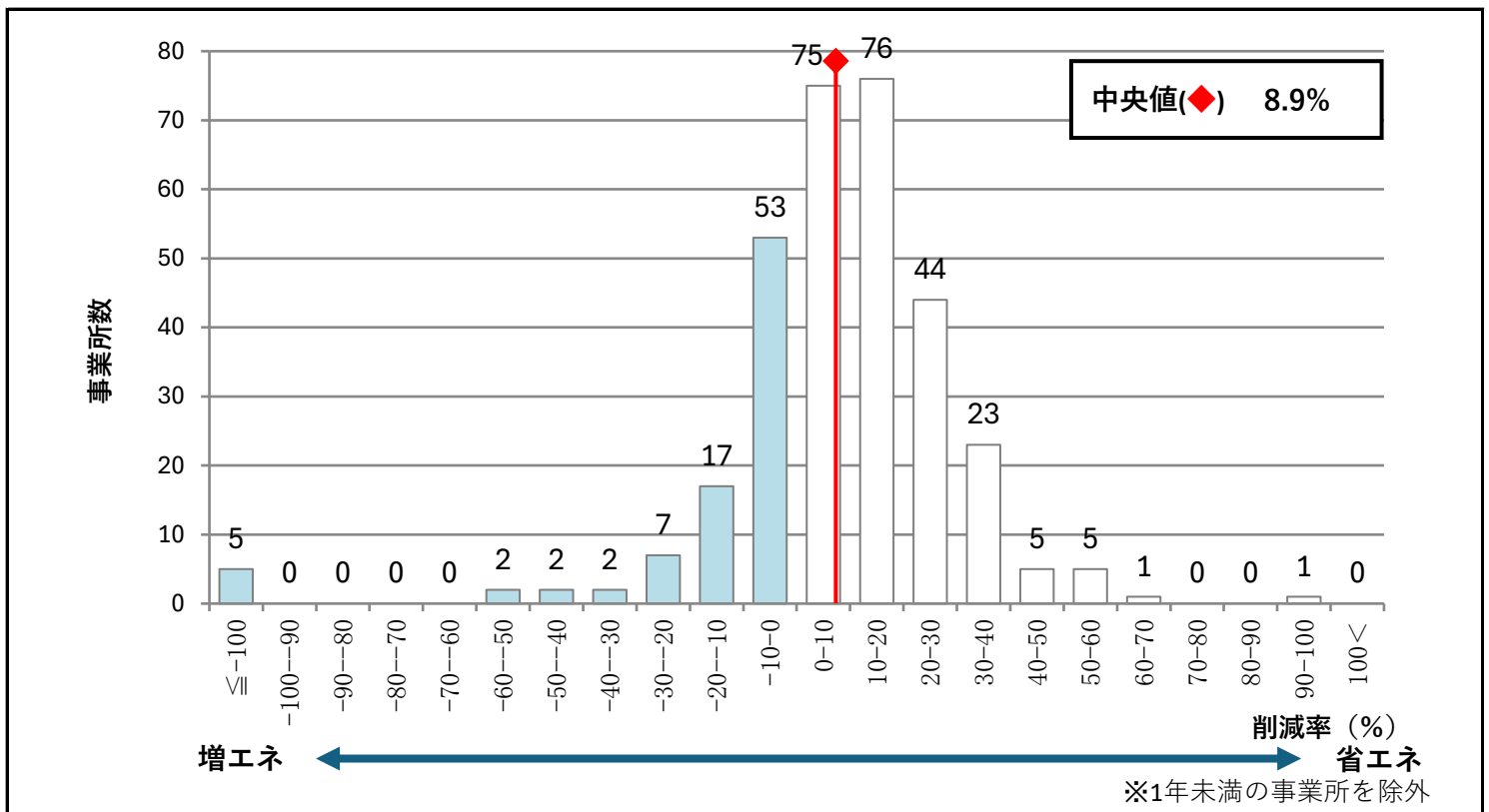
小規模なオフィスビルでは一般に奥行が狭く、部屋面積に対する窓や壁面積の割合が増加するため、空調消費エネルギーの原単位が大きくなりがちです。サーキュレータ等を利用して設定温度の緩和を図るなど空調負荷の低減の工夫が求められます。またトイレや階段に人体センサーを導入したり、晴天時の屋光利用として、専用スイッチで窓際照明をこまめに消灯することで大きな省エネが期待できます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 1,000㎡以上3,000㎡未満
テナントビル(オフィス系・小規模)	594	581	

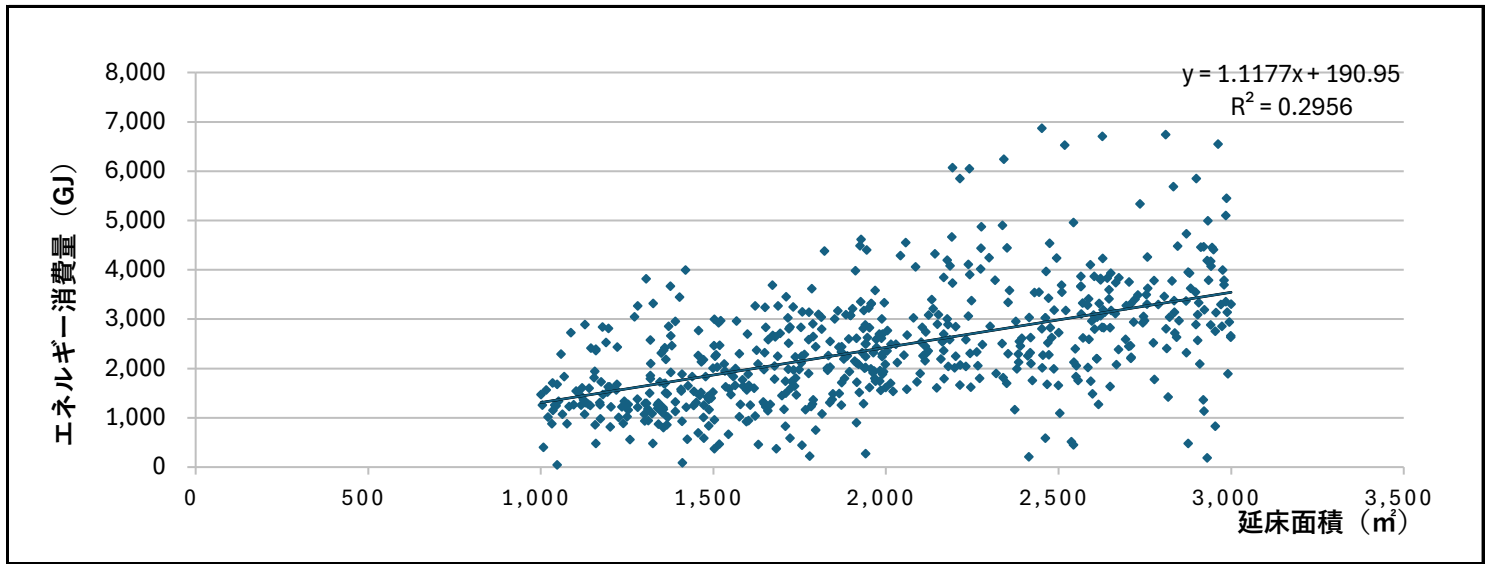
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:347)



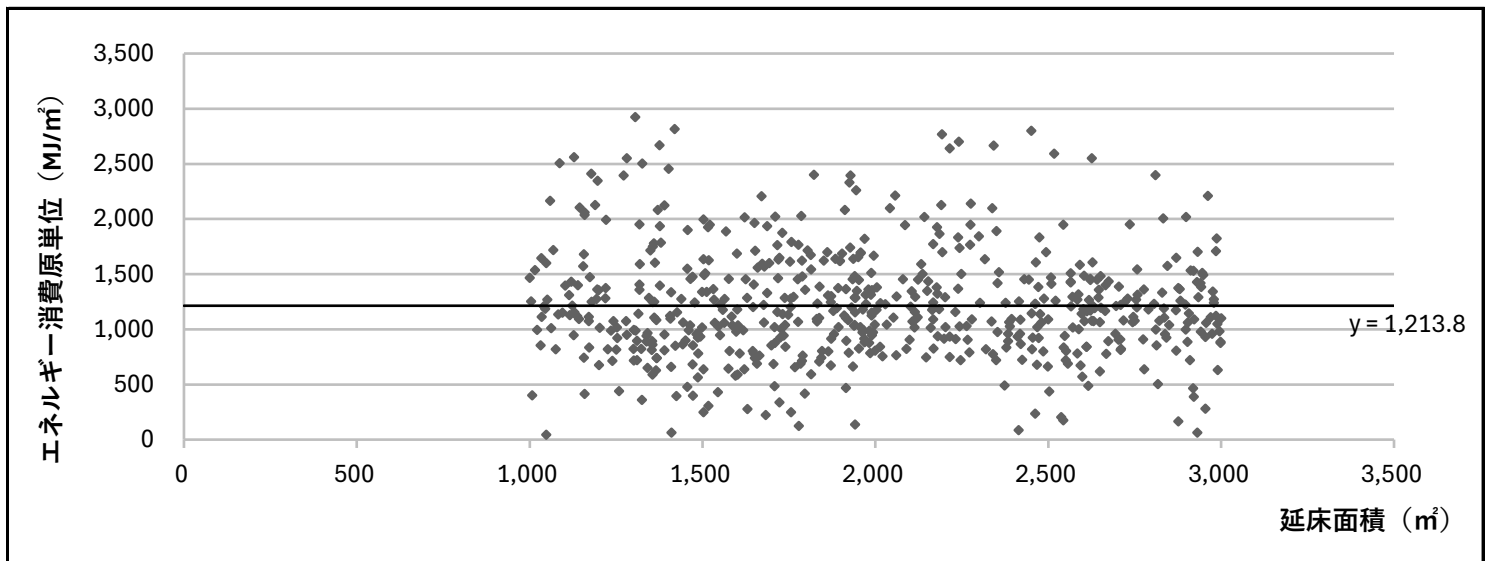
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:318)



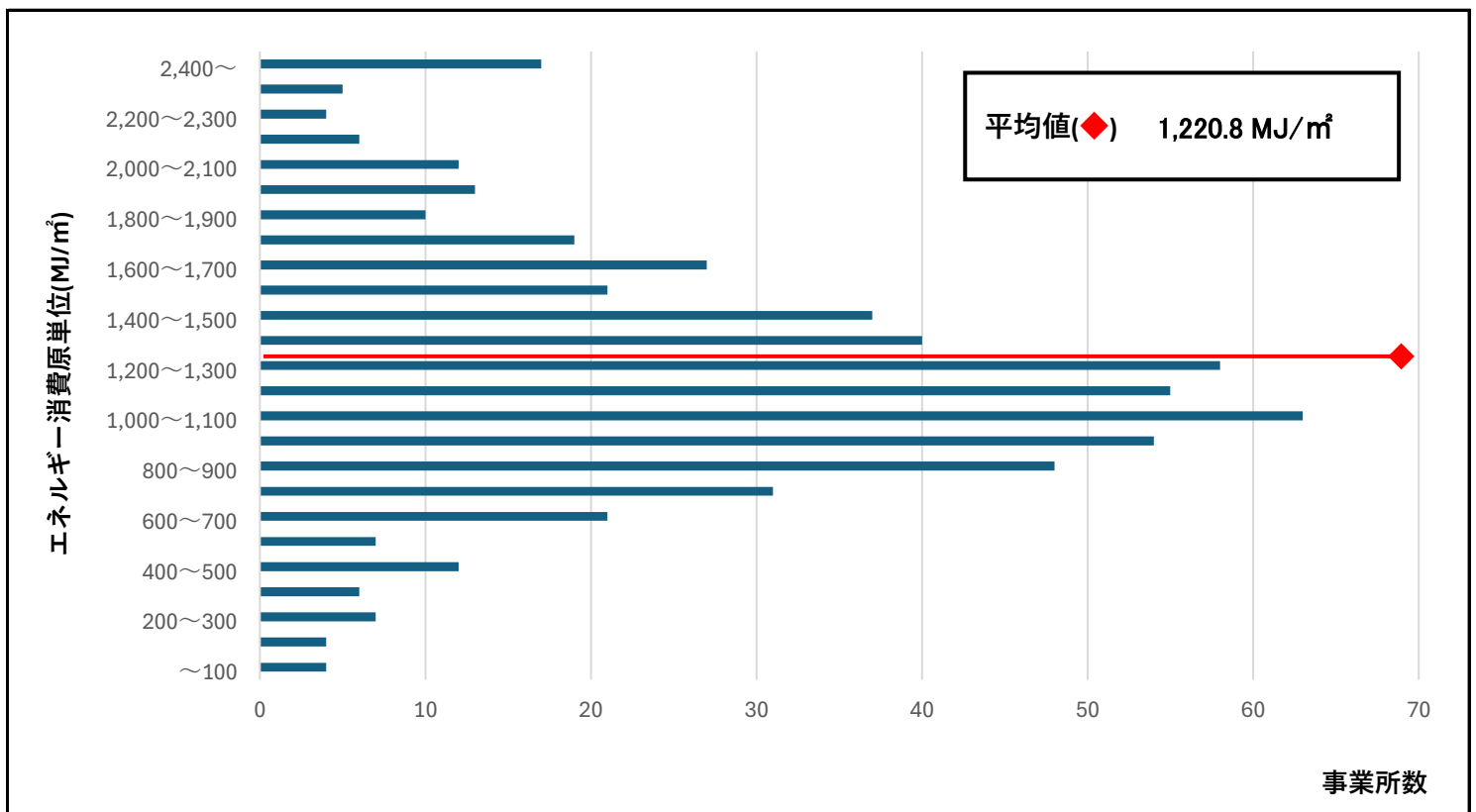
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



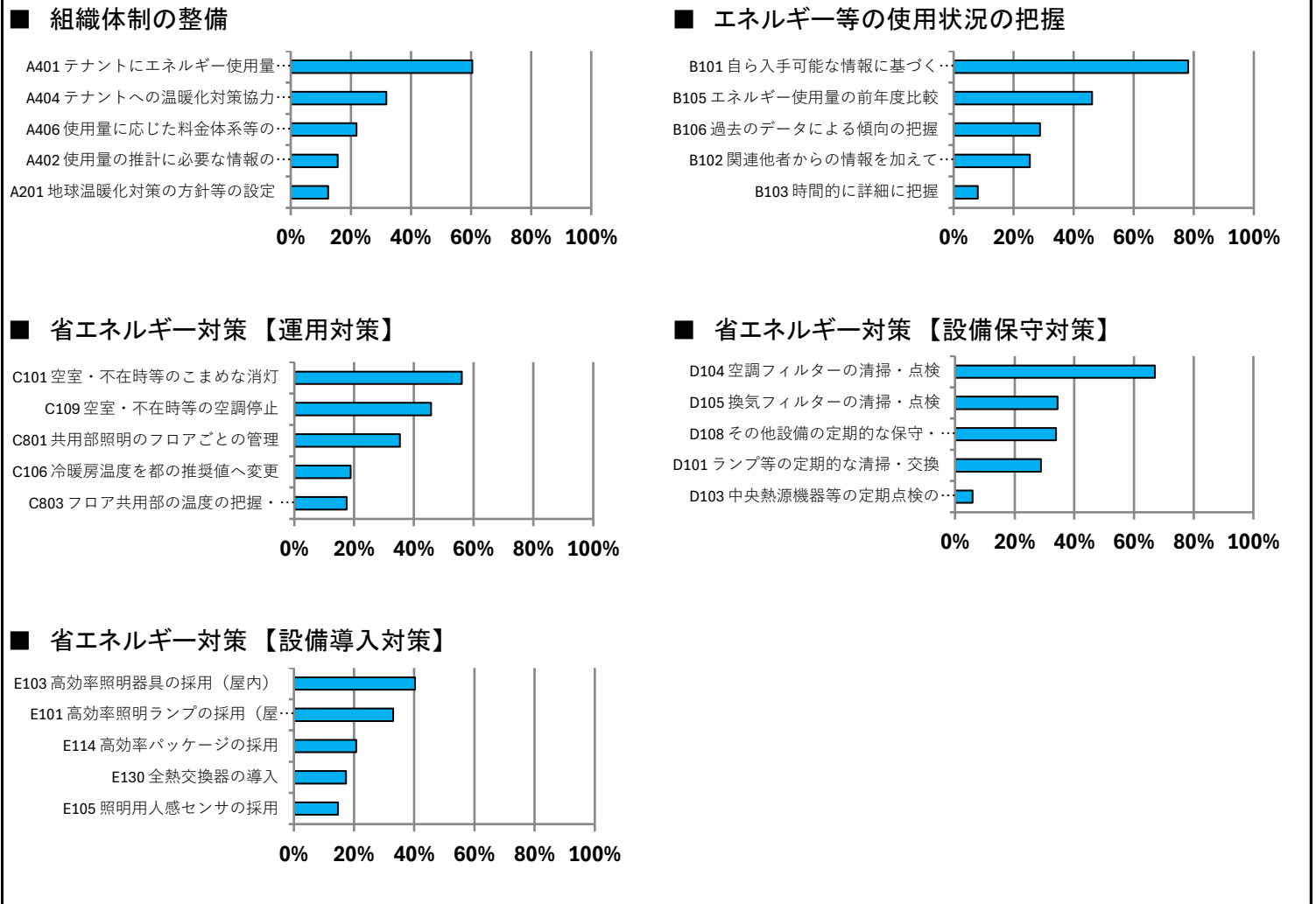
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

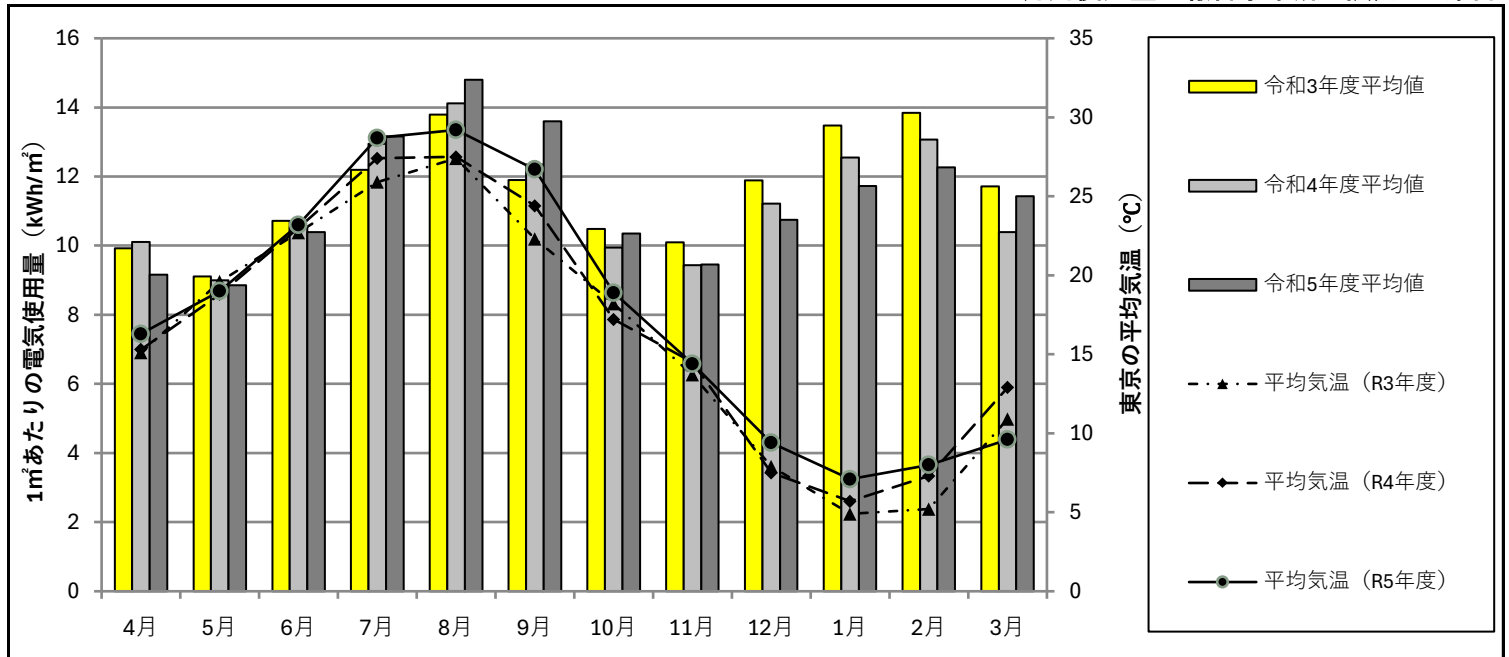


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

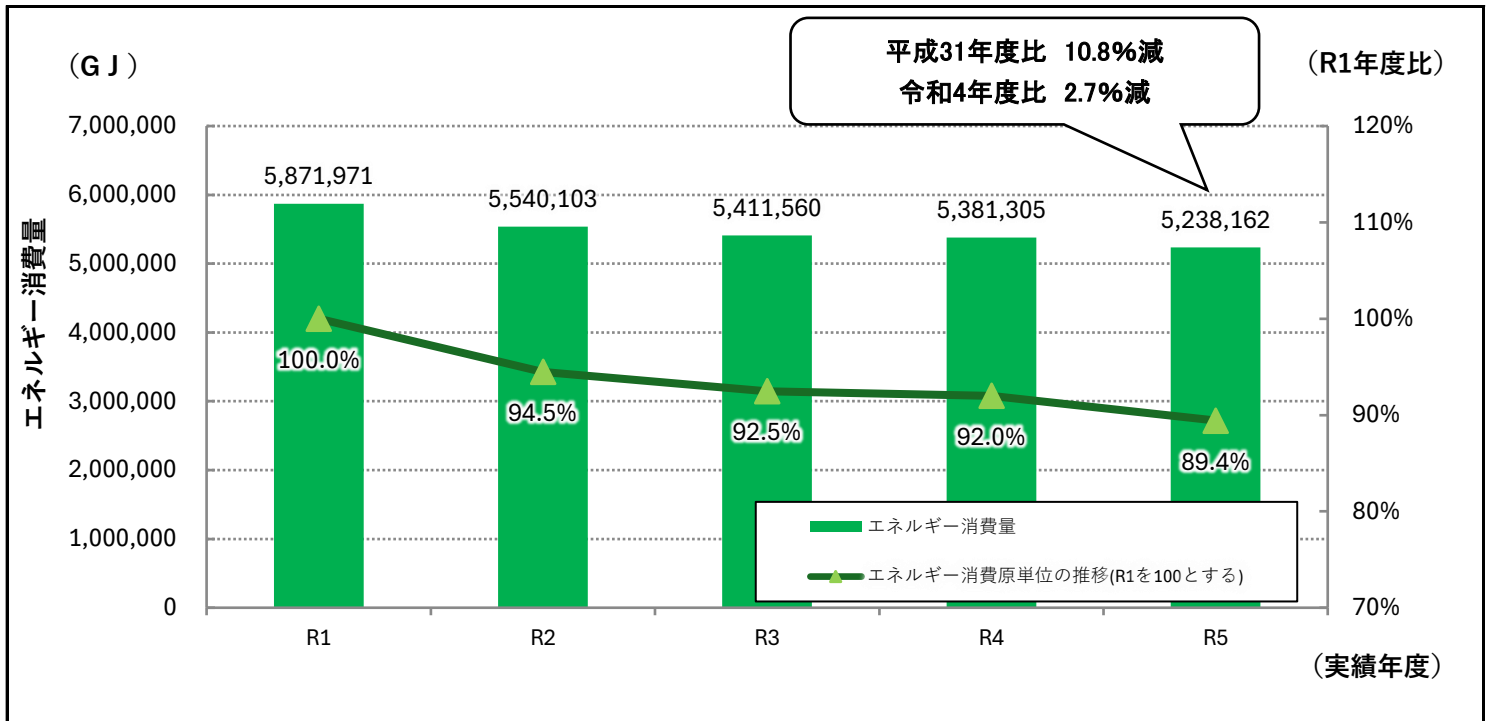
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



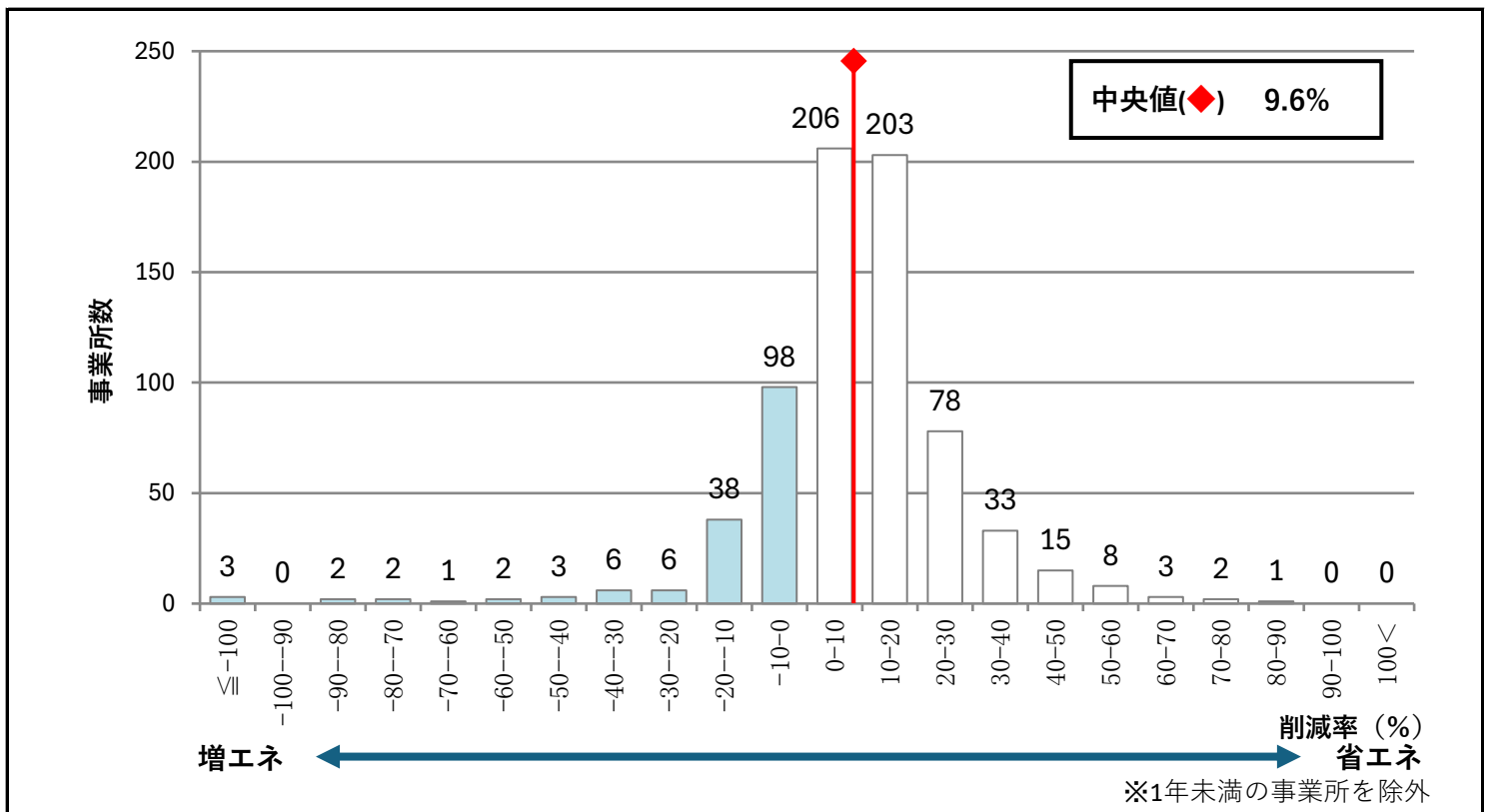
奥行が狭く、部屋面積に対する窓や壁面積の割合が大きい傾向があり、空調消費エネルギーの原単位が大きくなりがちです。サーキュレータ等を利用して設定温度の緩和を図るなど空調負荷の低減の工夫が求められます。またトイレや階段に人感センサーを導入したり、晴天時の昼光利用として専用スイッチで窓際照明をこまめに消灯することで大きな省エネが期待できます。昼間の在室人数が少ない場合は照明スイッチの細分化による不要ゾーンの消灯やタスク・アンビエント照明の導入も有効です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 3,000㎡以上10,000㎡未満
テナントビル(オフィス系・中規模)	985	941	

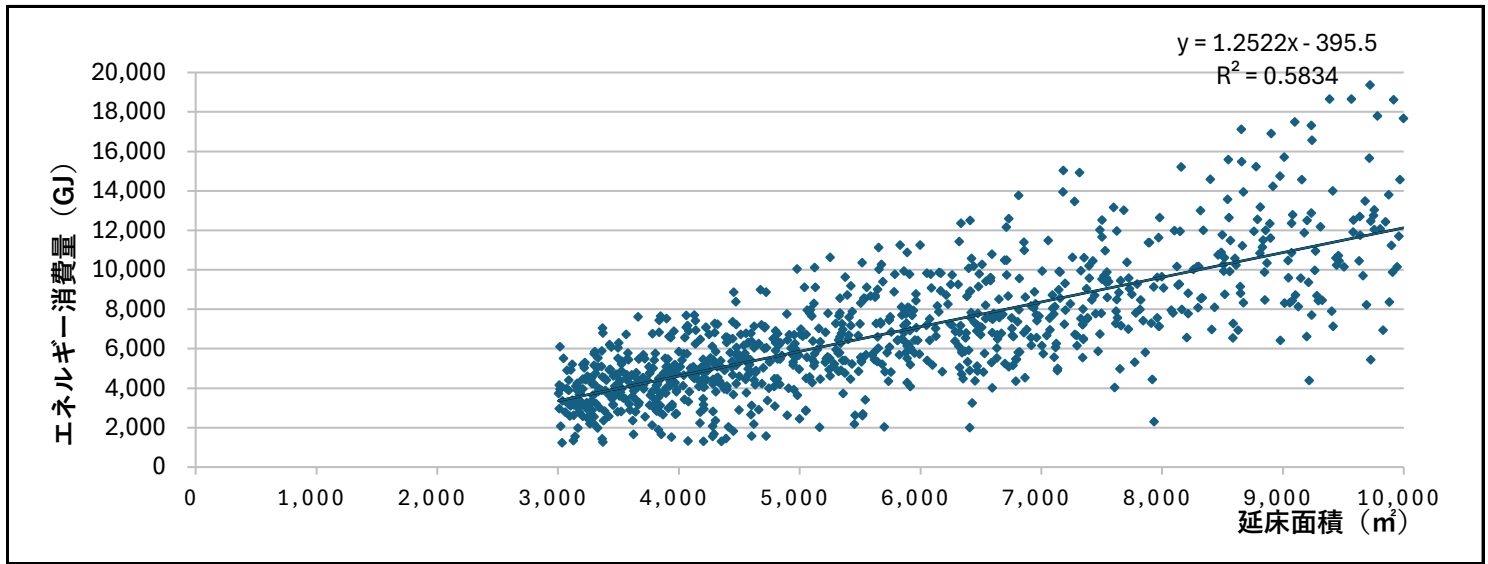
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:743)



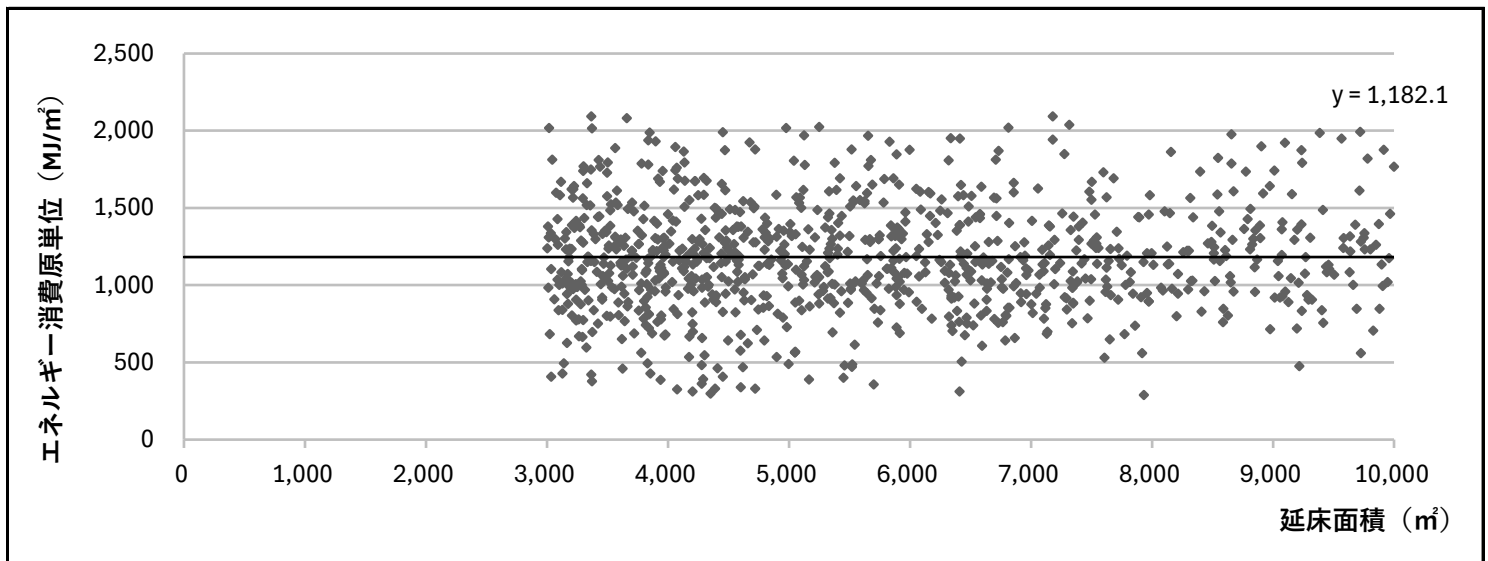
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:710)



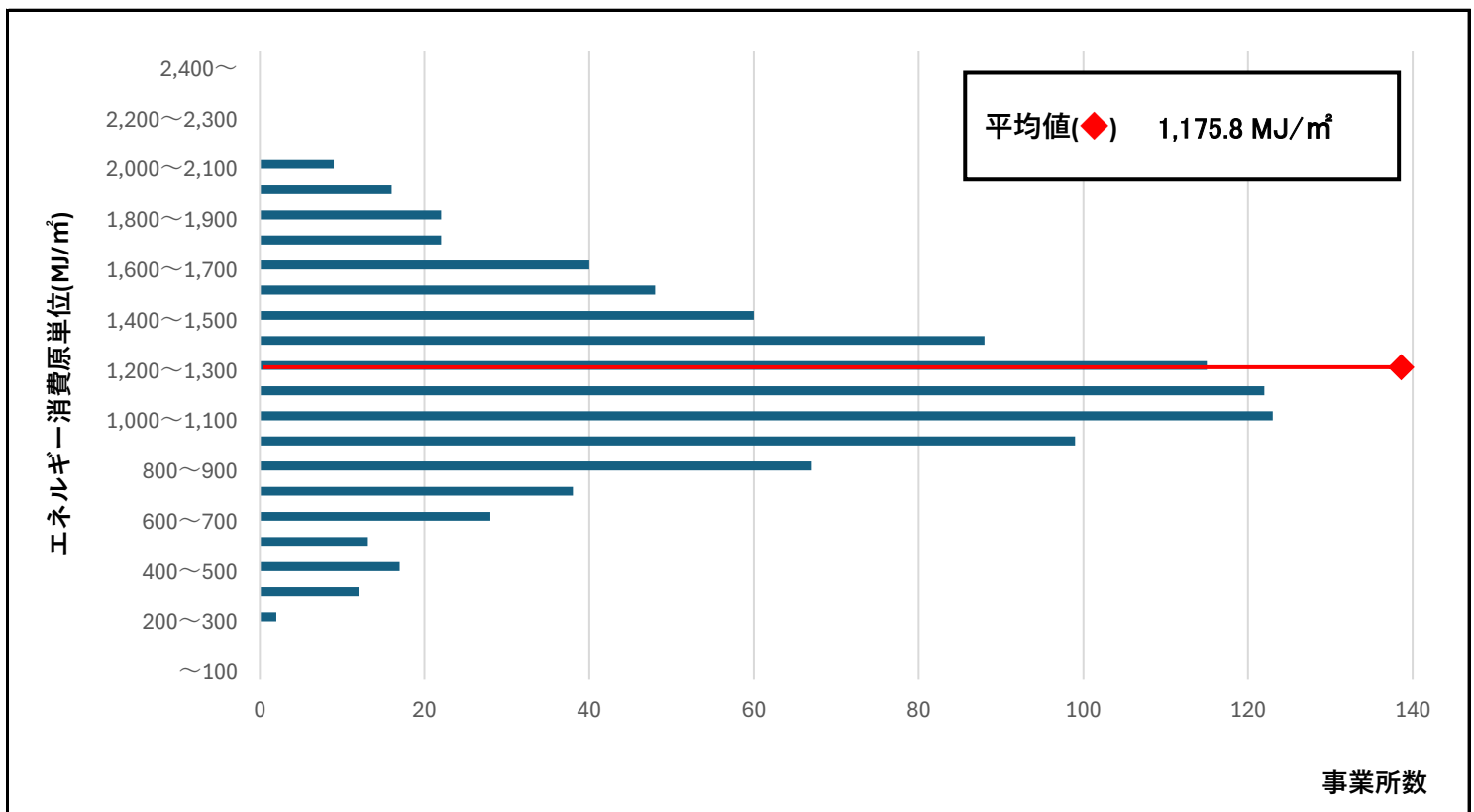
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



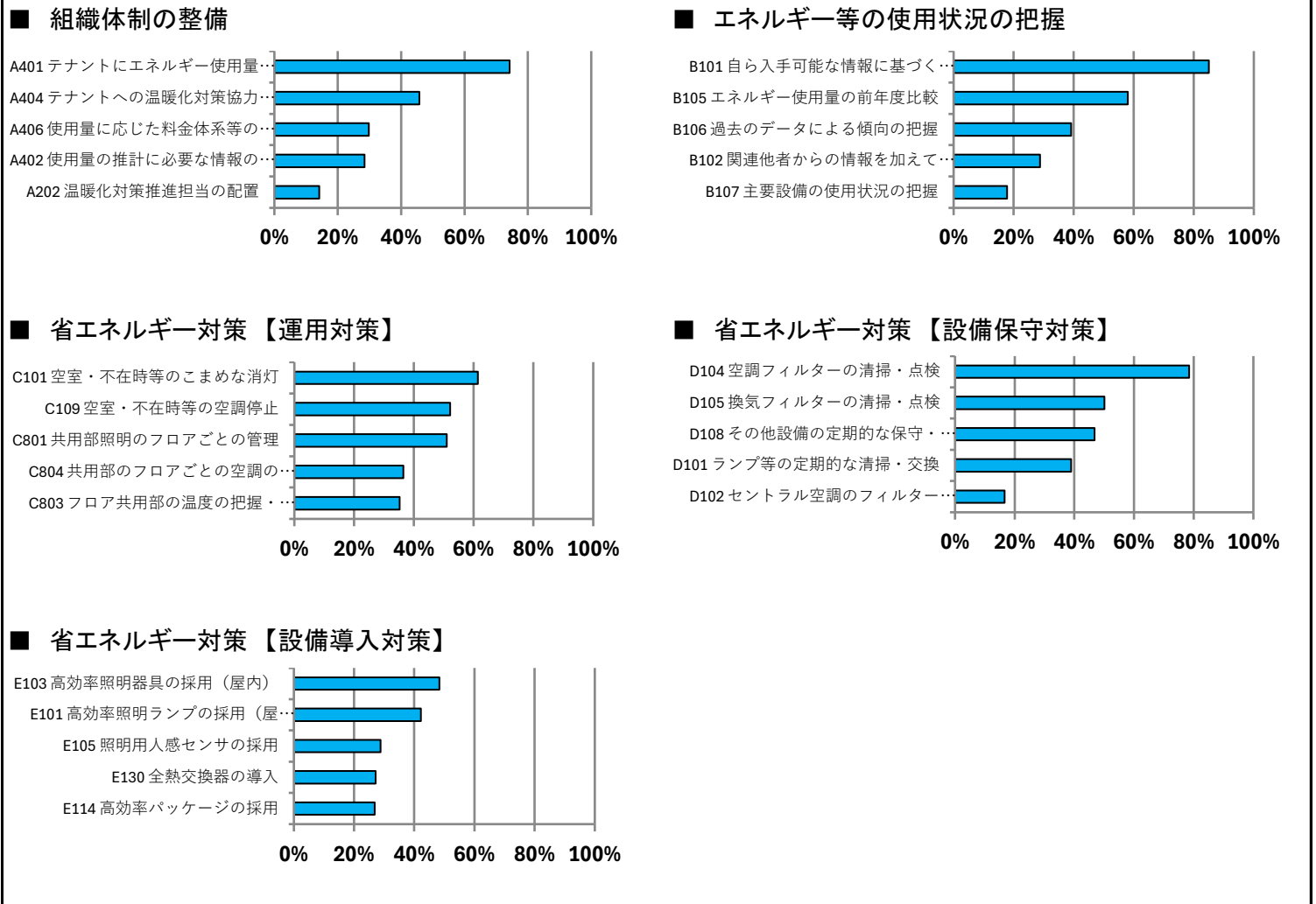
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

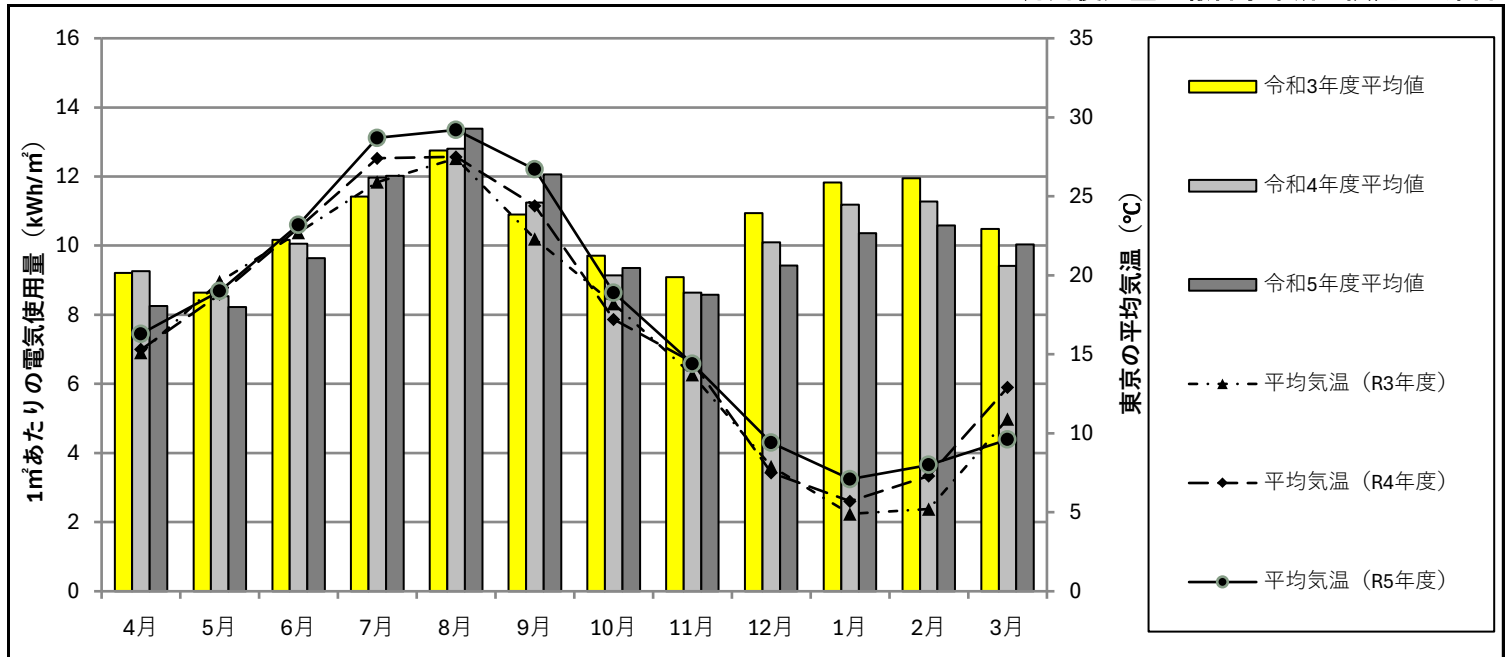


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

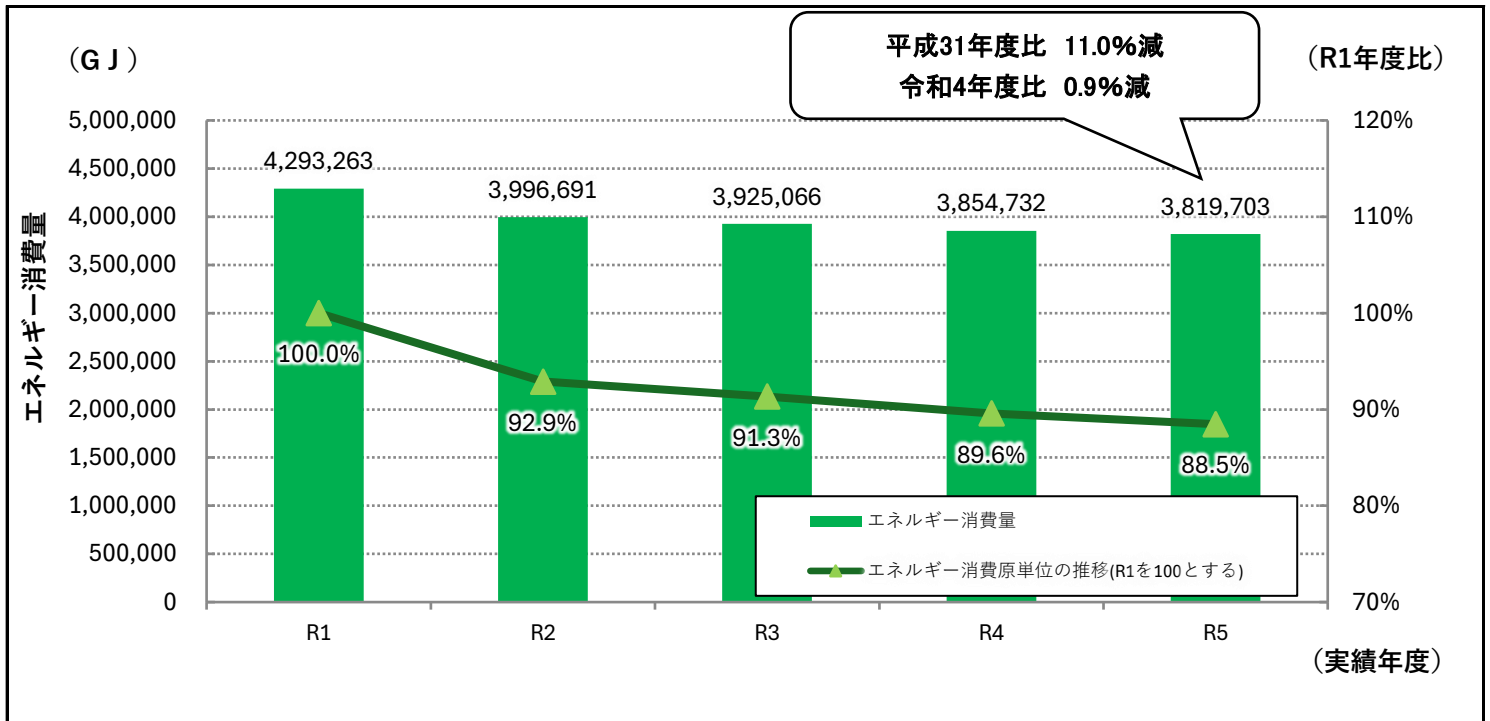
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



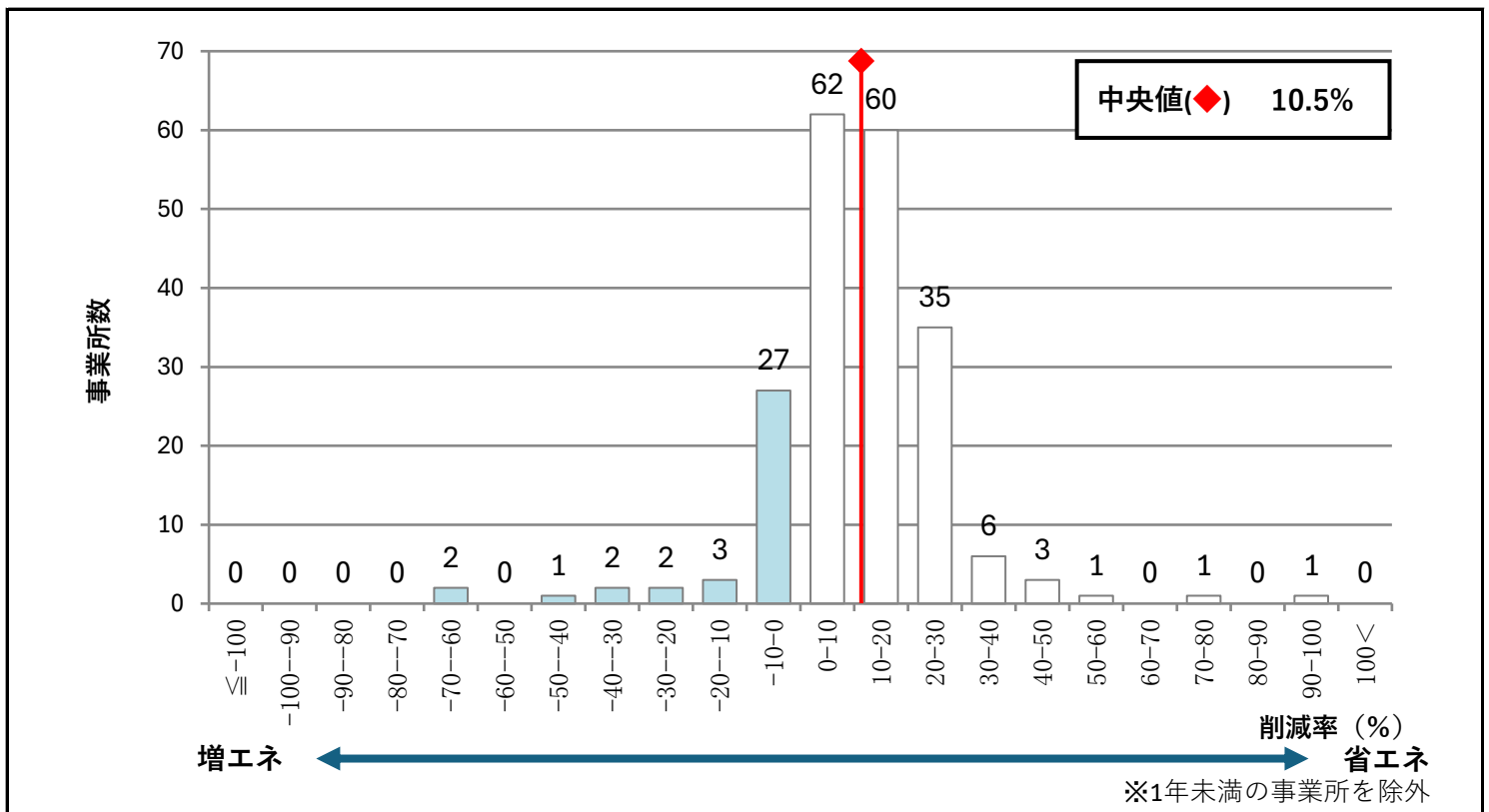
室内の換気については、導入外気と排気で熱交換を行い空調負荷を削減する全熱交換器(空調換気扇)の導入をご検討ください。また湯沸し・トイレなどの共用部には消し忘れ防止のための人感センサー導入が効果的です。非常階段は使用者が少ないにも関わらず照明が連続点灯となっている事が多いので、オフのときは照度が1/3程度に減光する調光式人感センサーの導入を推奨します。照明のLED化などの設備改善は独自では難しいので、グリーンリース契約を活用してください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 10,000㎡以上20,000㎡未満
テナントビル(オフィス系・準大規模)	257	241	

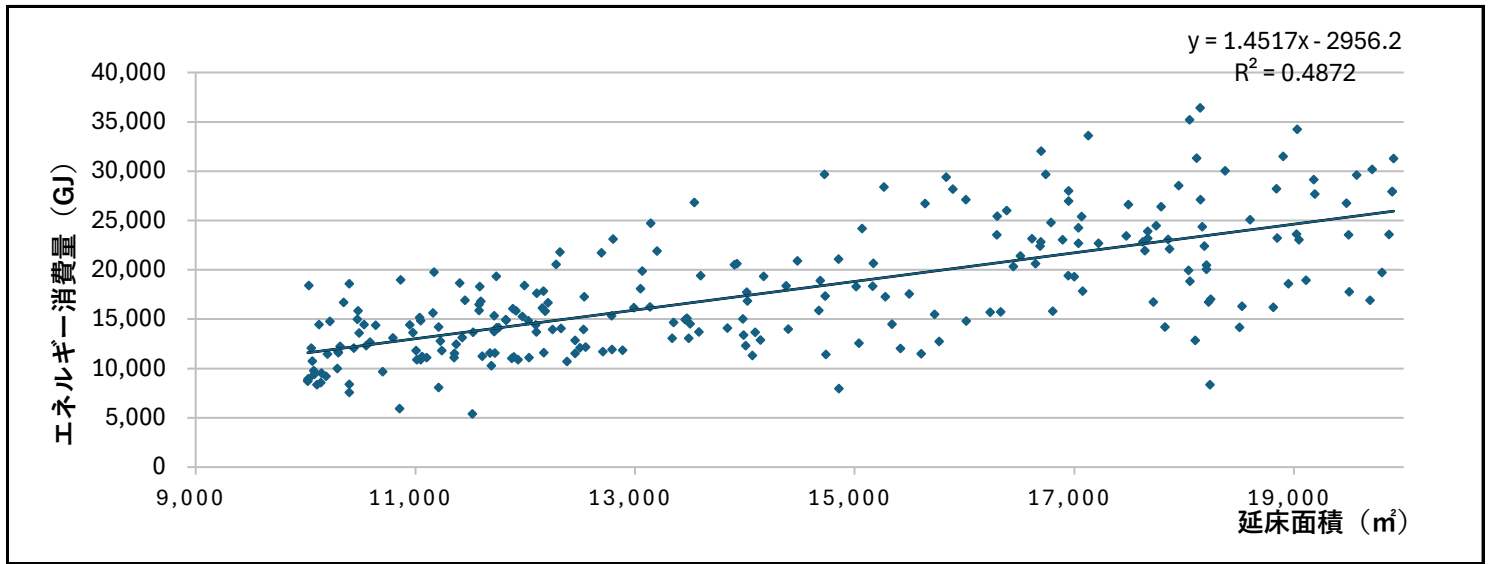
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:214)



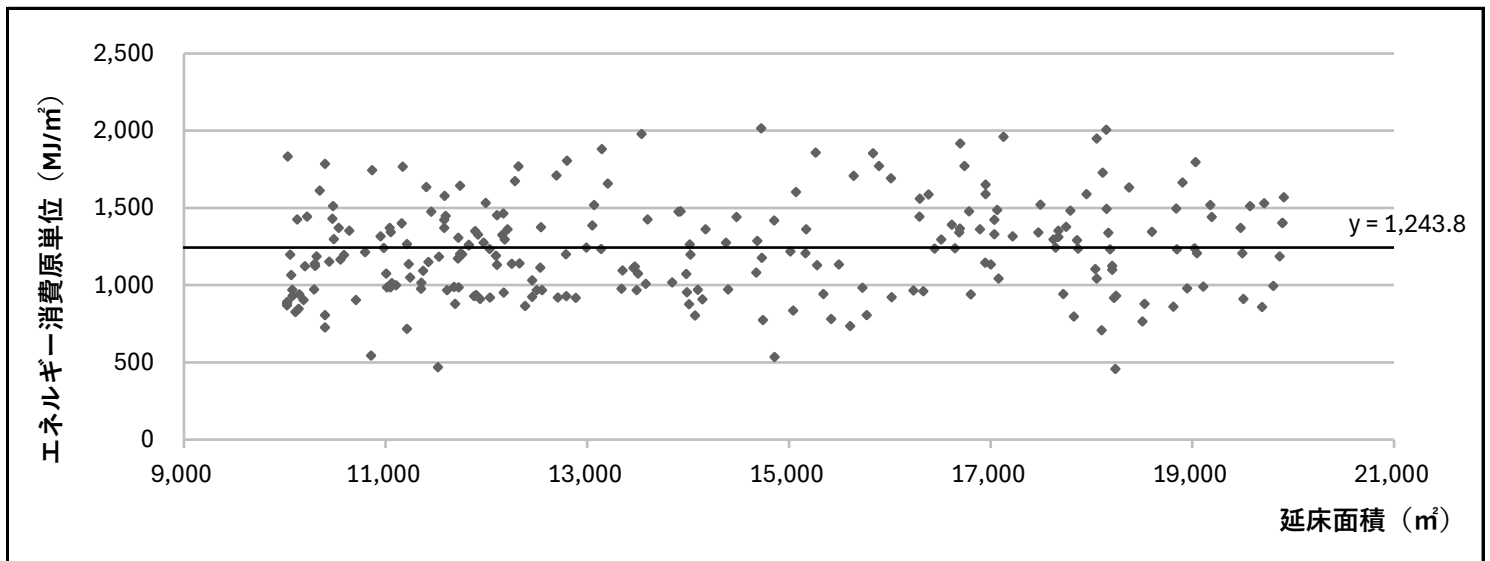
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:206)



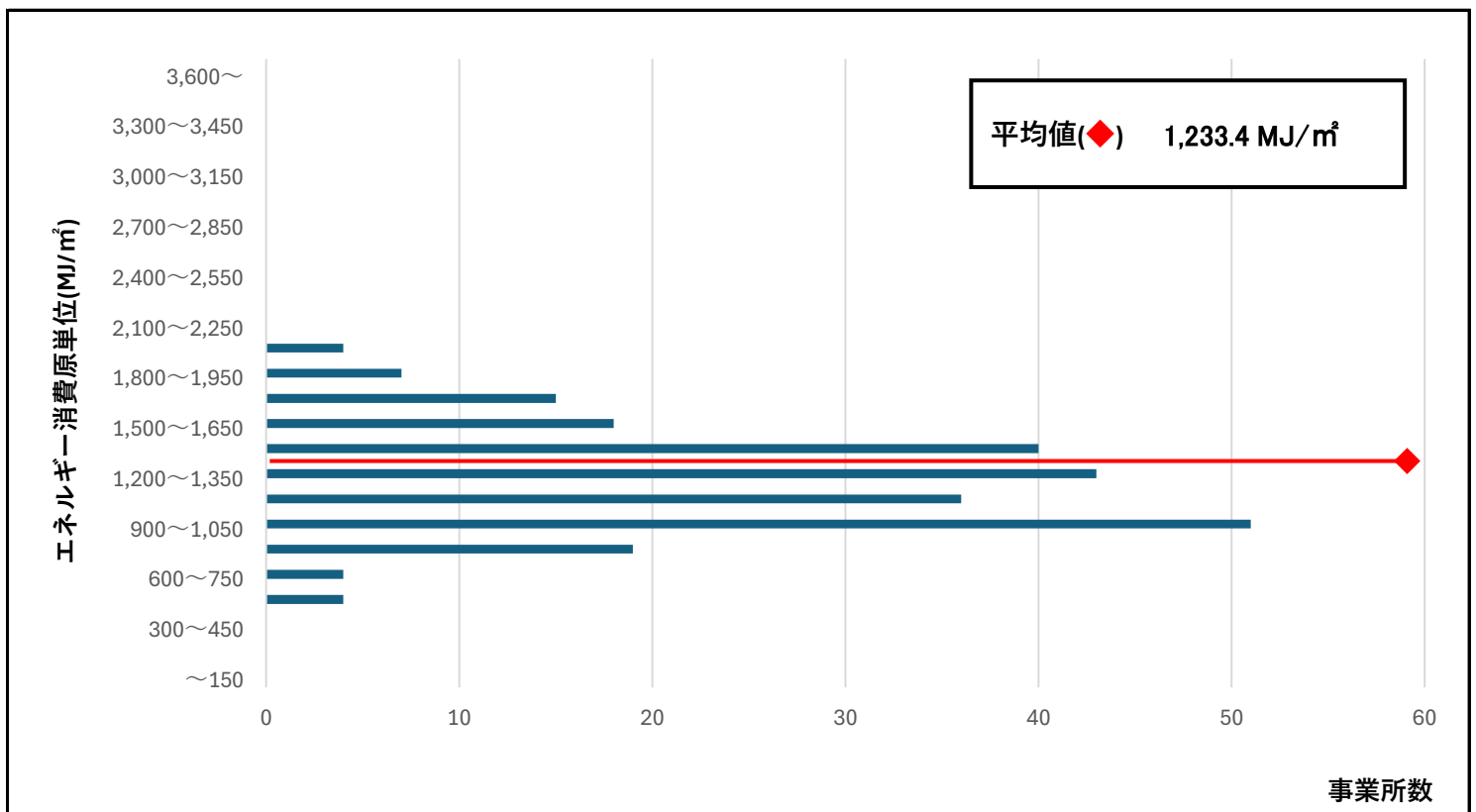
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



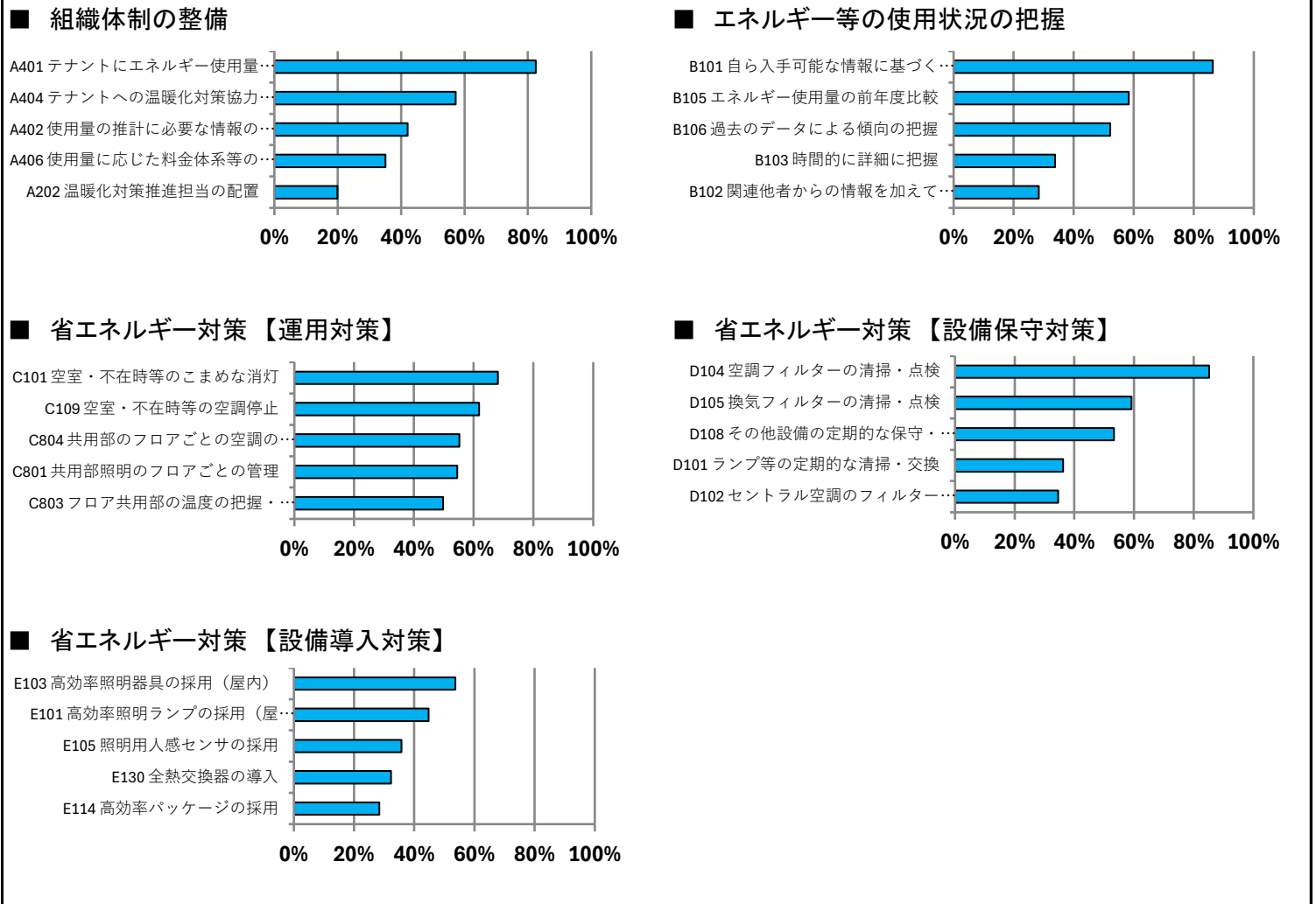
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

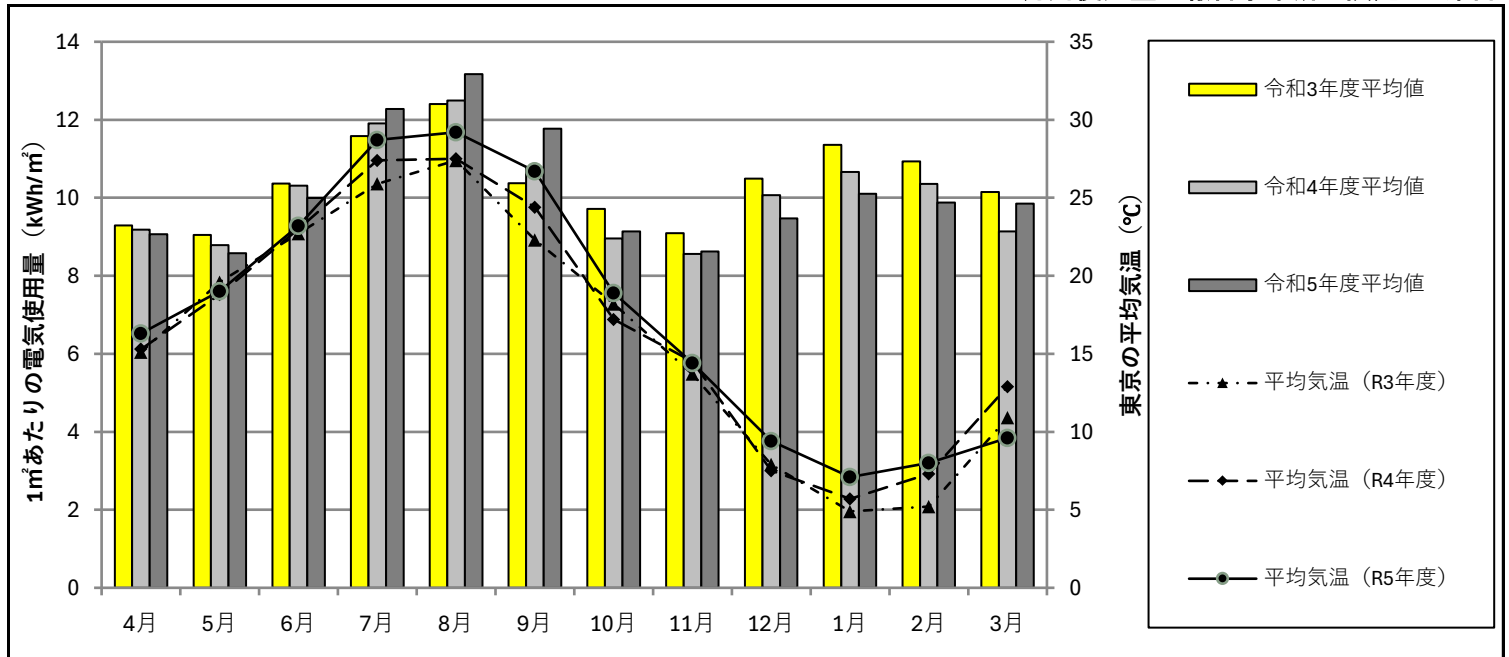


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

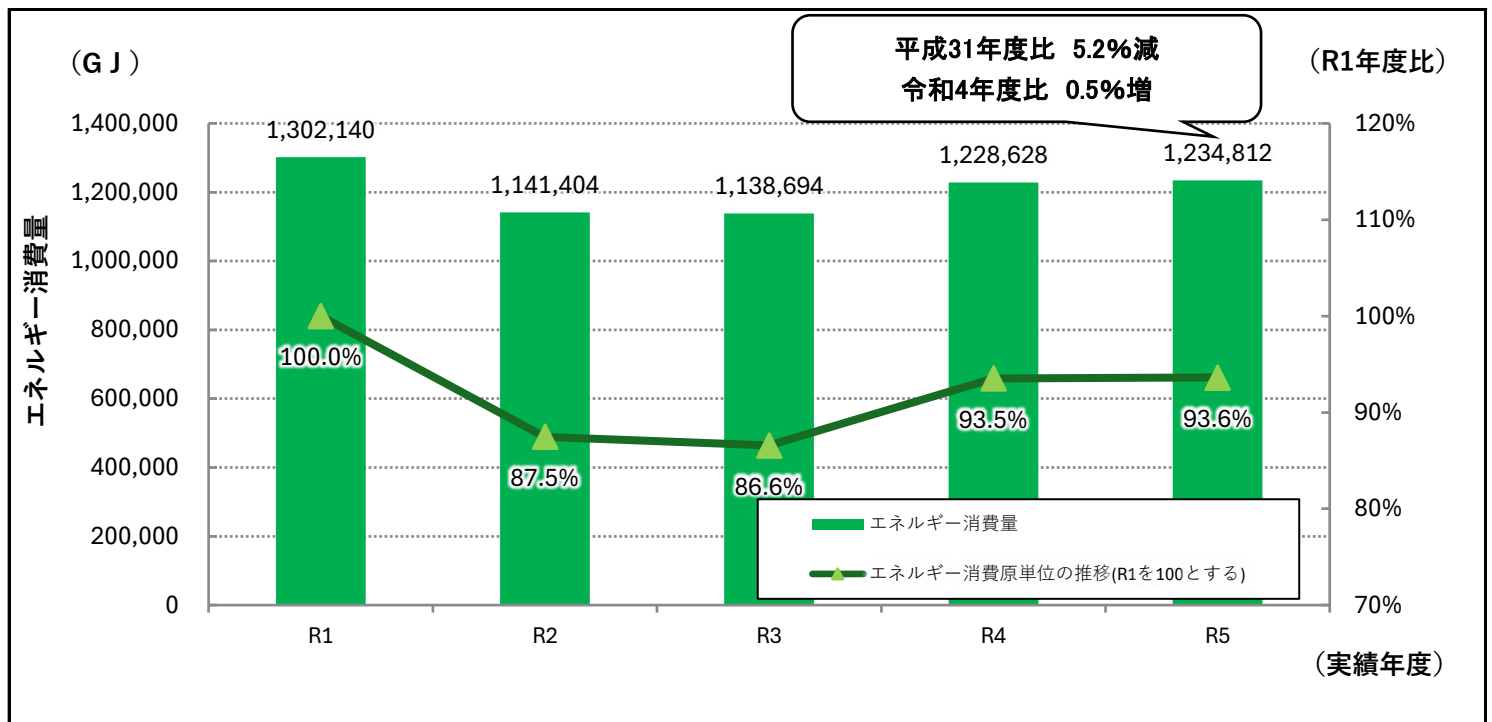
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



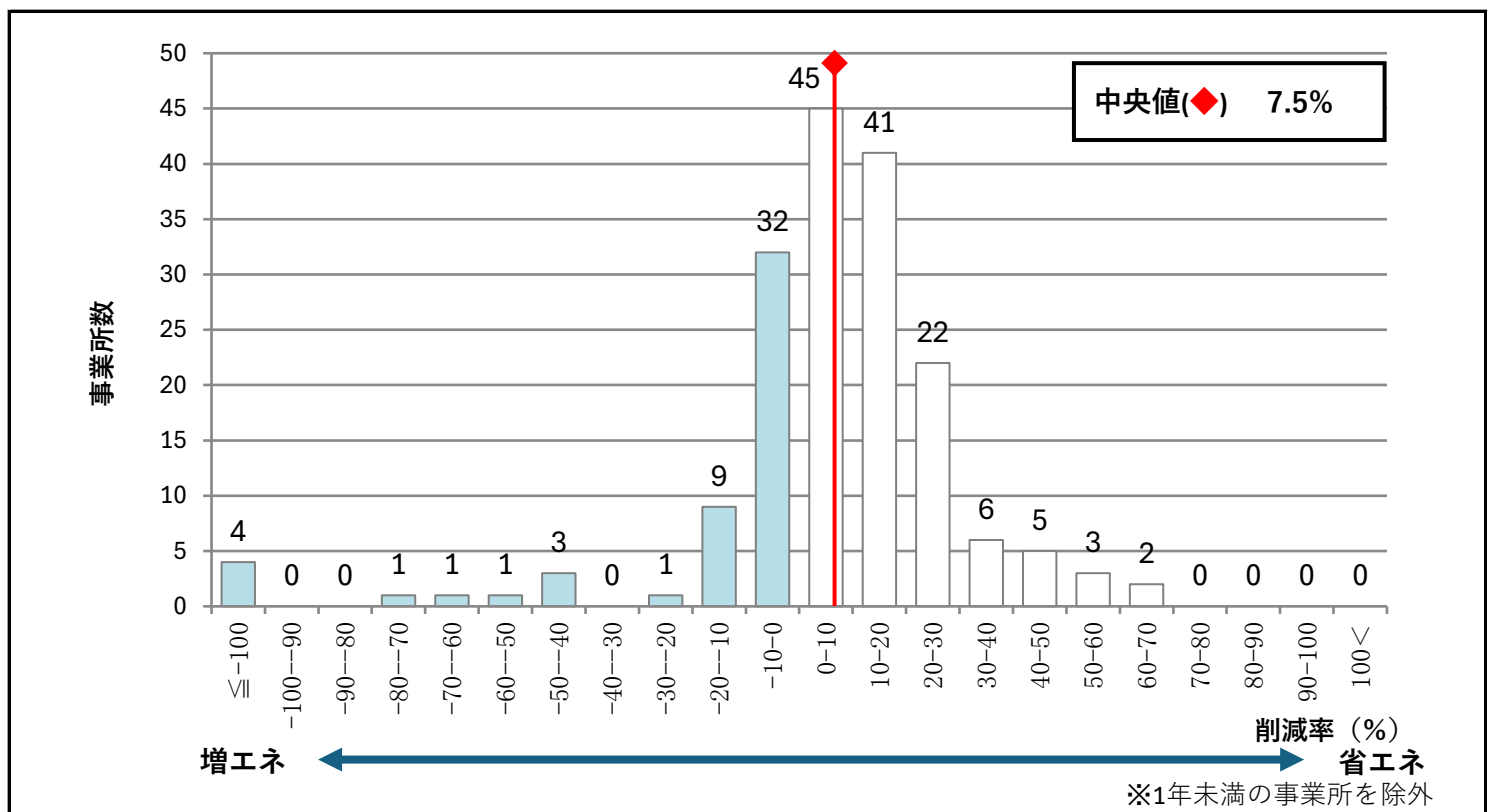
地球温暖化対策報告書を提出することで、ビルの省エネ性能をアピールすることができる「カーボンレポート」を作成できますので、テナントの誘致に効果的です。また室内への外気導入をセントラル方式で行っている場合は、室内のCO2濃度が低い場合、換気量をファンのインバータ制御で削減するシステムを検討しましょう。ビル全体の省エネはテナントの協力が不可欠となります。テナント会議等を通して省エネ活動の啓蒙を図ることがポイントになります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」 「商業施設(飲食)」 「複合施設」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 1,000㎡以上3,000㎡未満
テナントビル(商業複合系・小規模)	254	245	

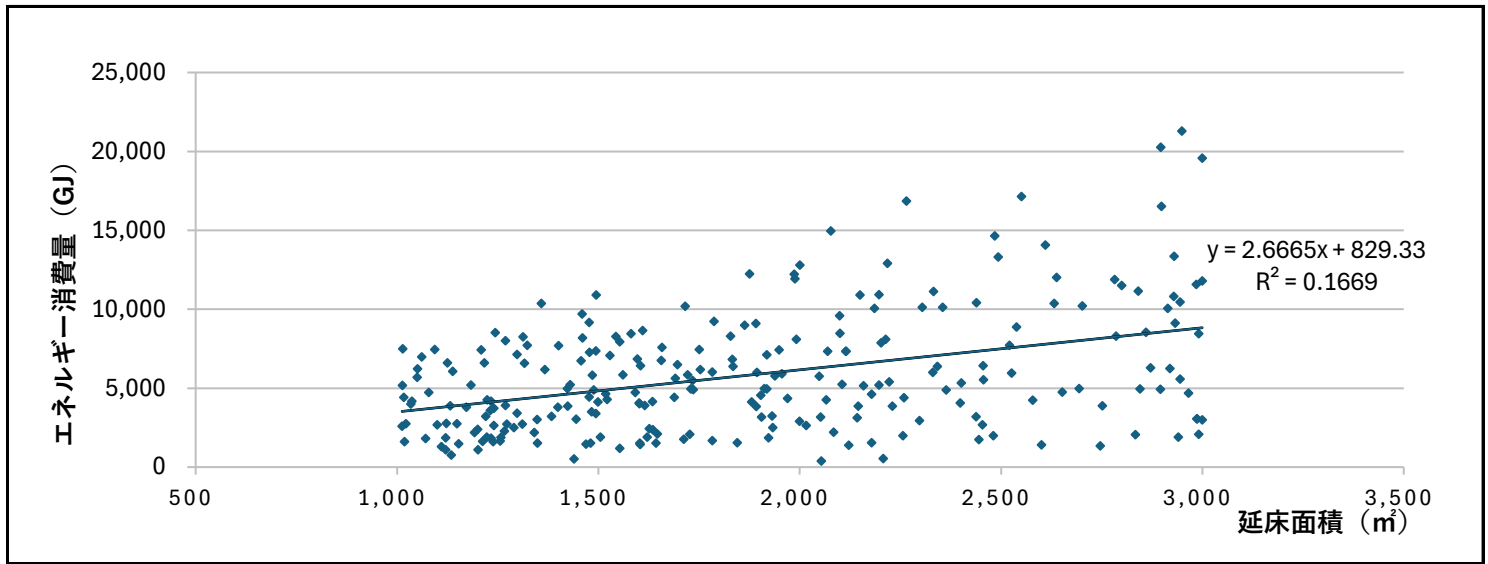
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:188)



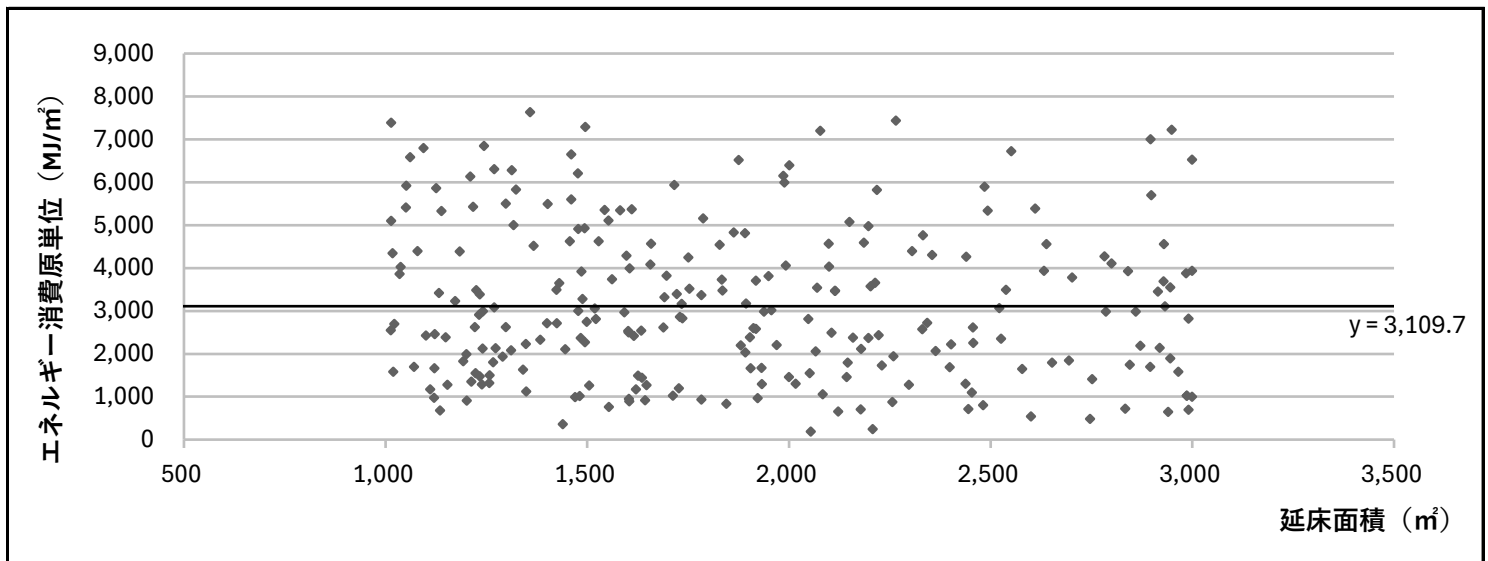
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:176)



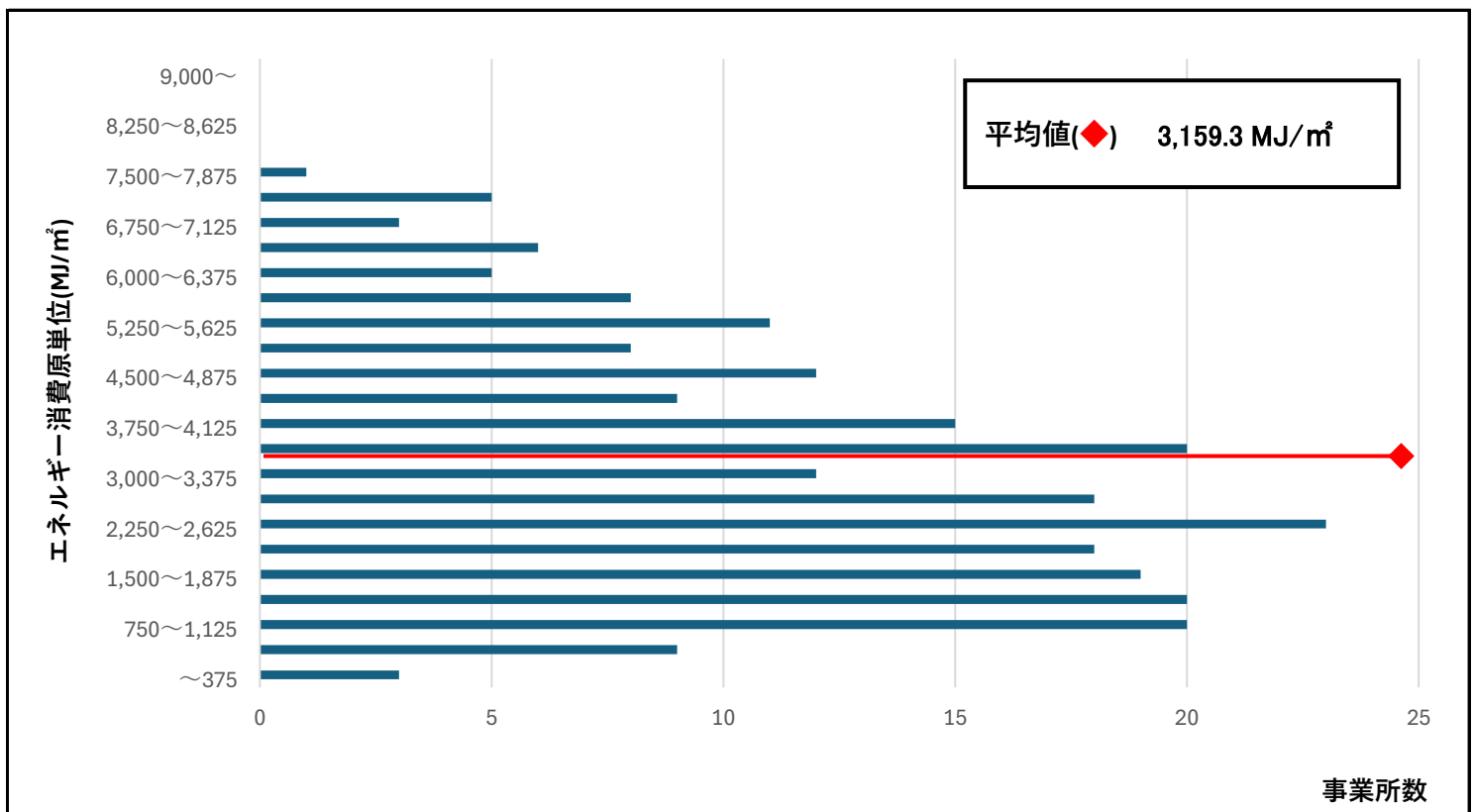
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



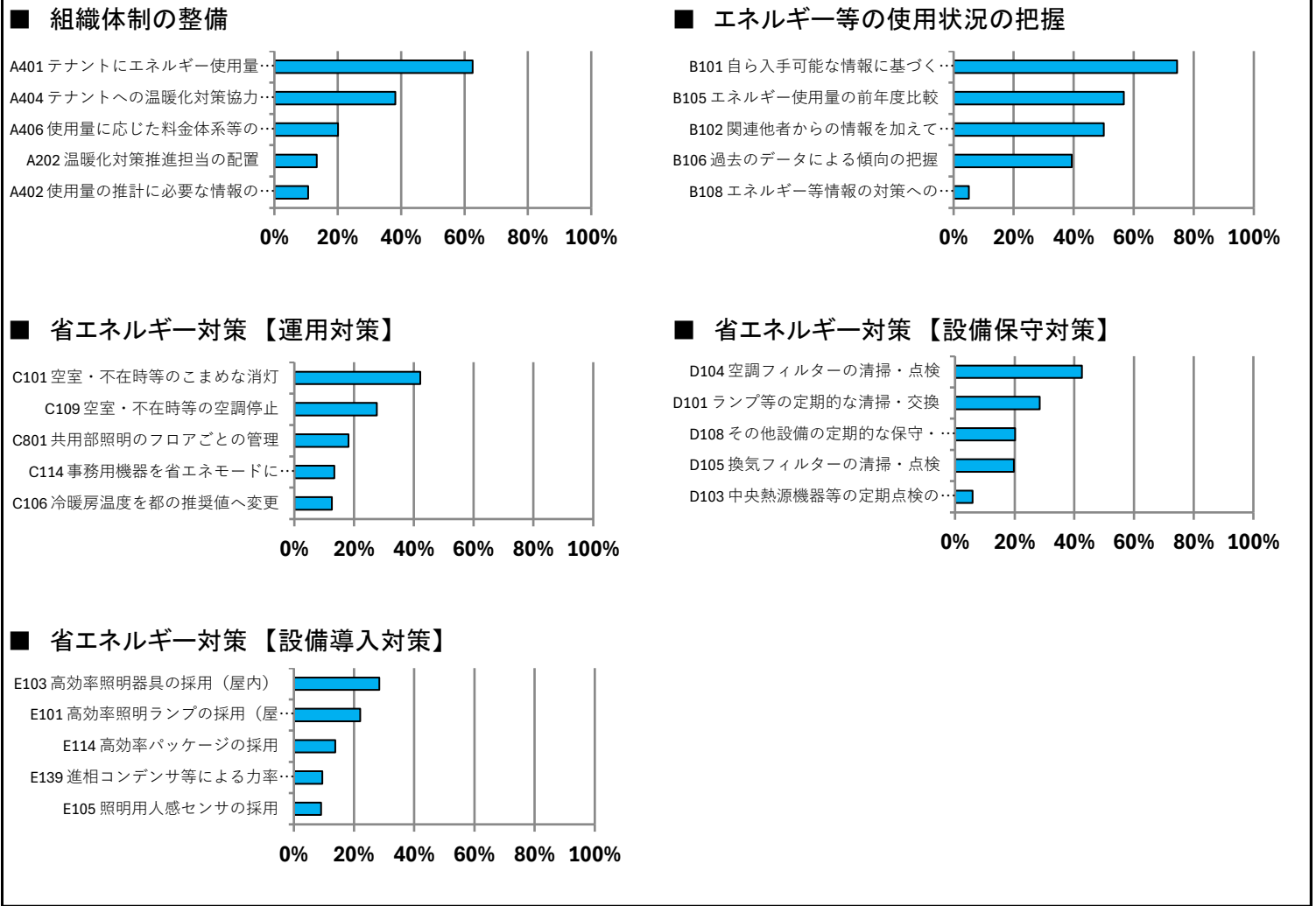
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

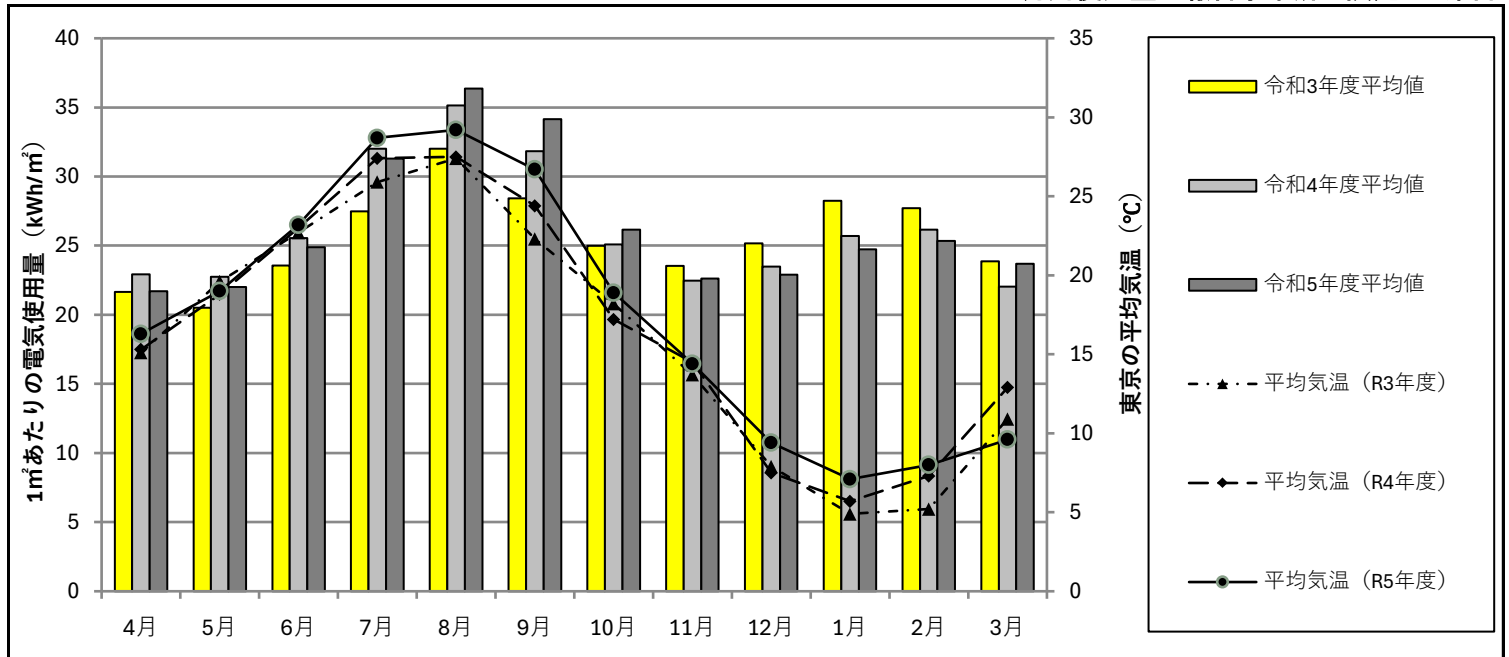


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

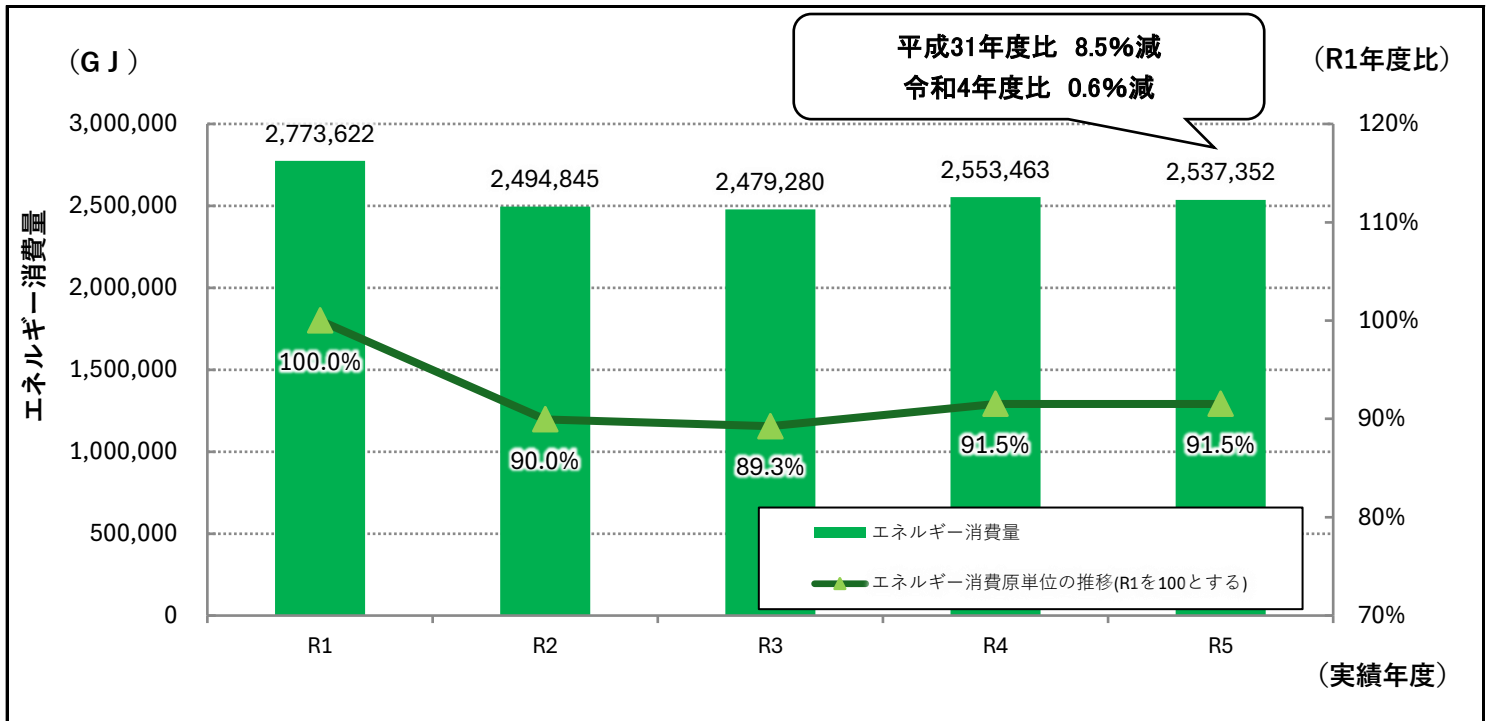
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



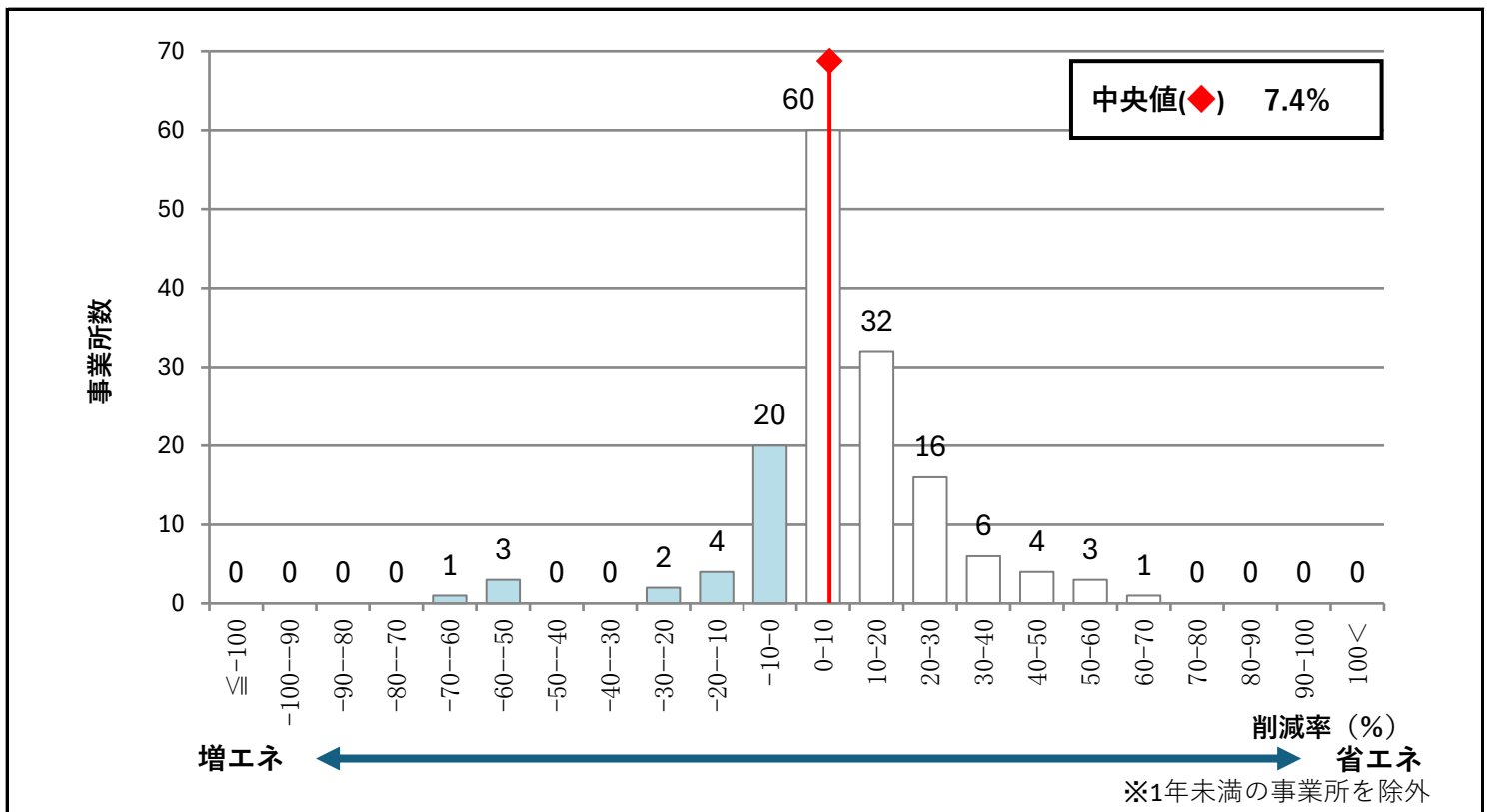
使用エネルギーの原単位はコロナの落ち着きに伴い増加傾向にあります。複合ビルでは使用エネルギーの7~8割がテナント由来となっていますが共用部については、オーナーサイドで省エネが進められます。業態が多様になるためテナント部分の省エネ対策は一律にはなりません。各テナントが工夫をして省エネを進めていく必要があるため、テナント会議(防災会議の中で少しの時間を割いて行っても可)を開催し、経営に与える省エネ活動のメリットや具体的な省エネ策の紹介等を行うことで、ビル全体の省エネが進みます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」 「商業施設(飲食)」 「複合施設」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 3,000㎡以上10,000㎡未満
テナントビル(商業複合系・中規模)	193	187	

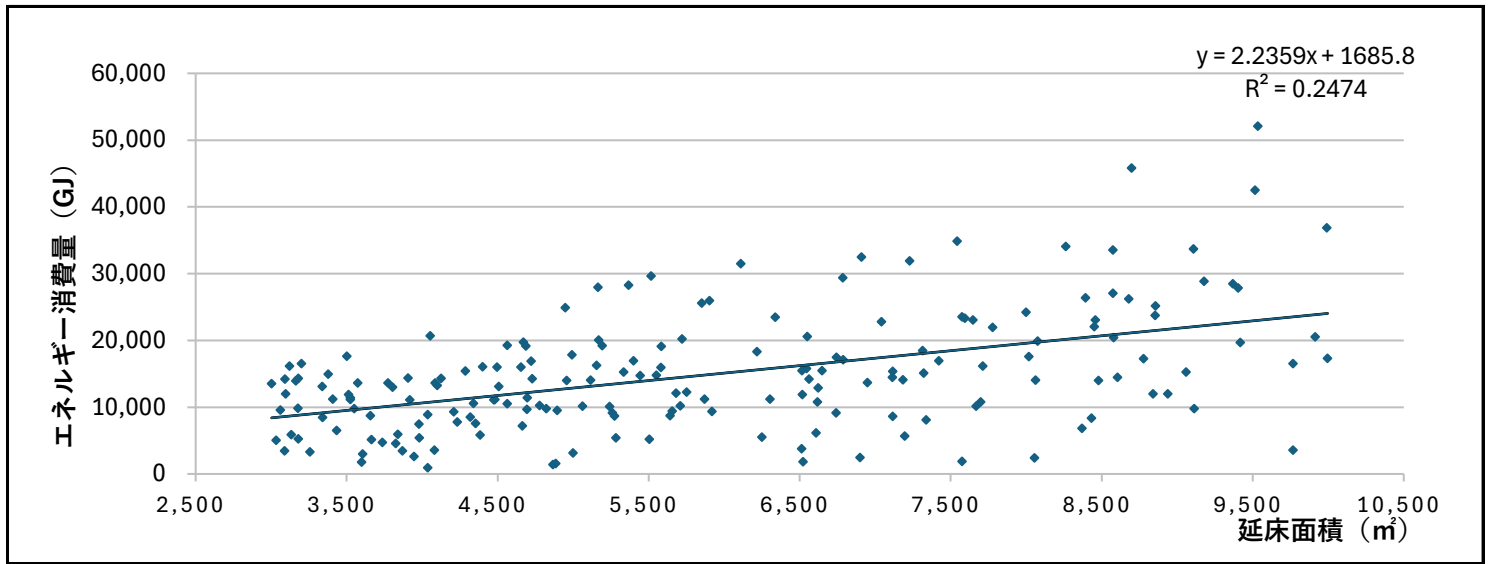
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:158)



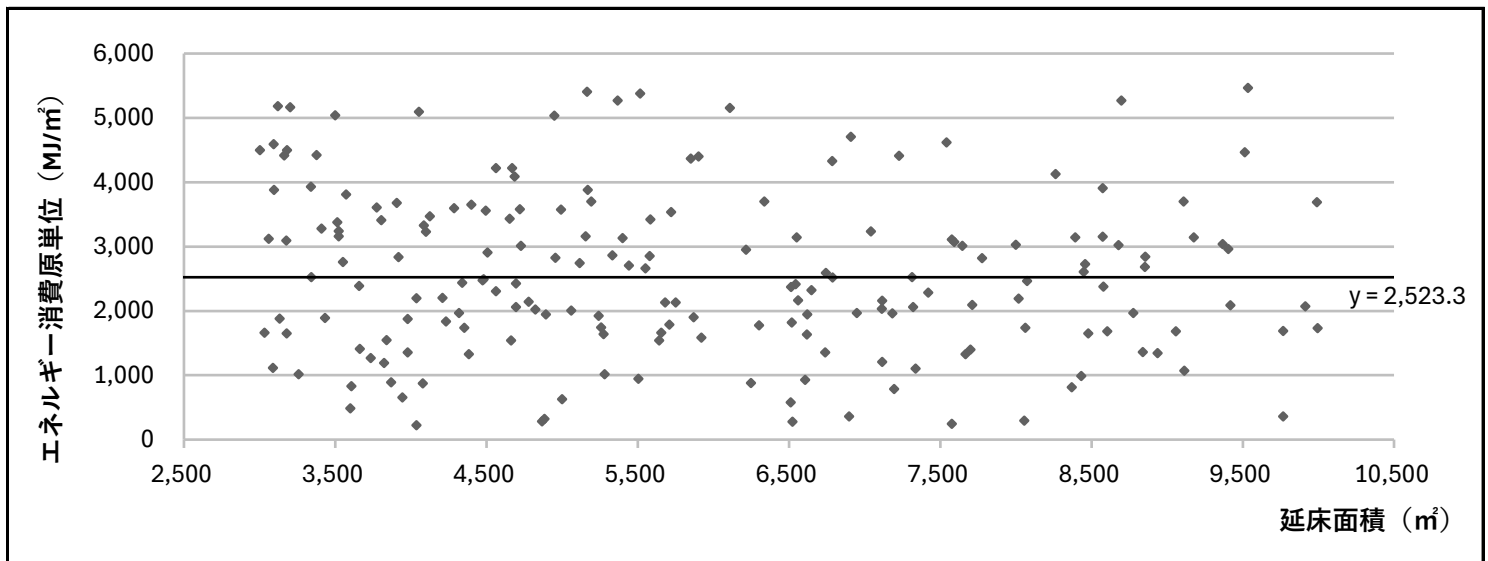
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:152)



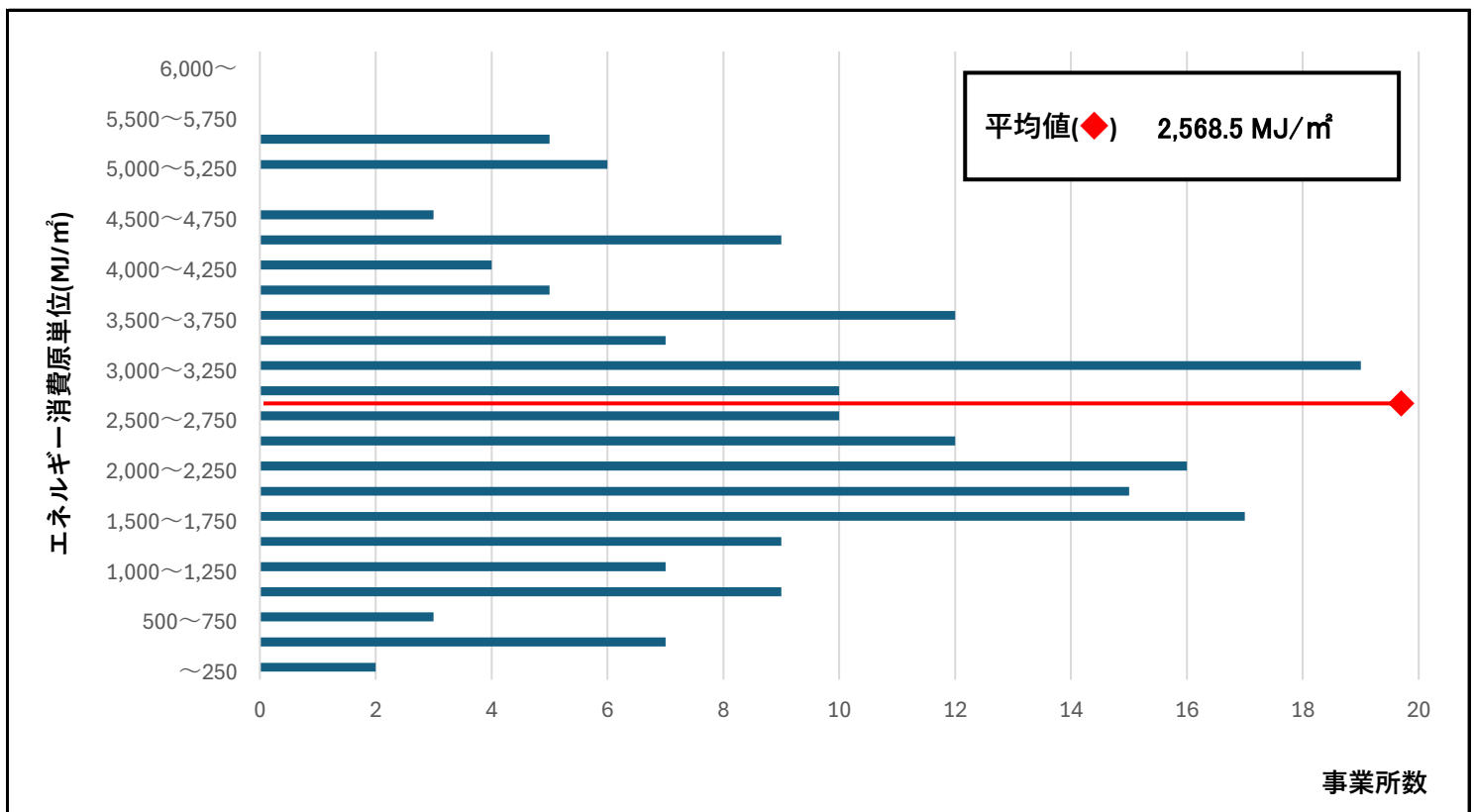
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



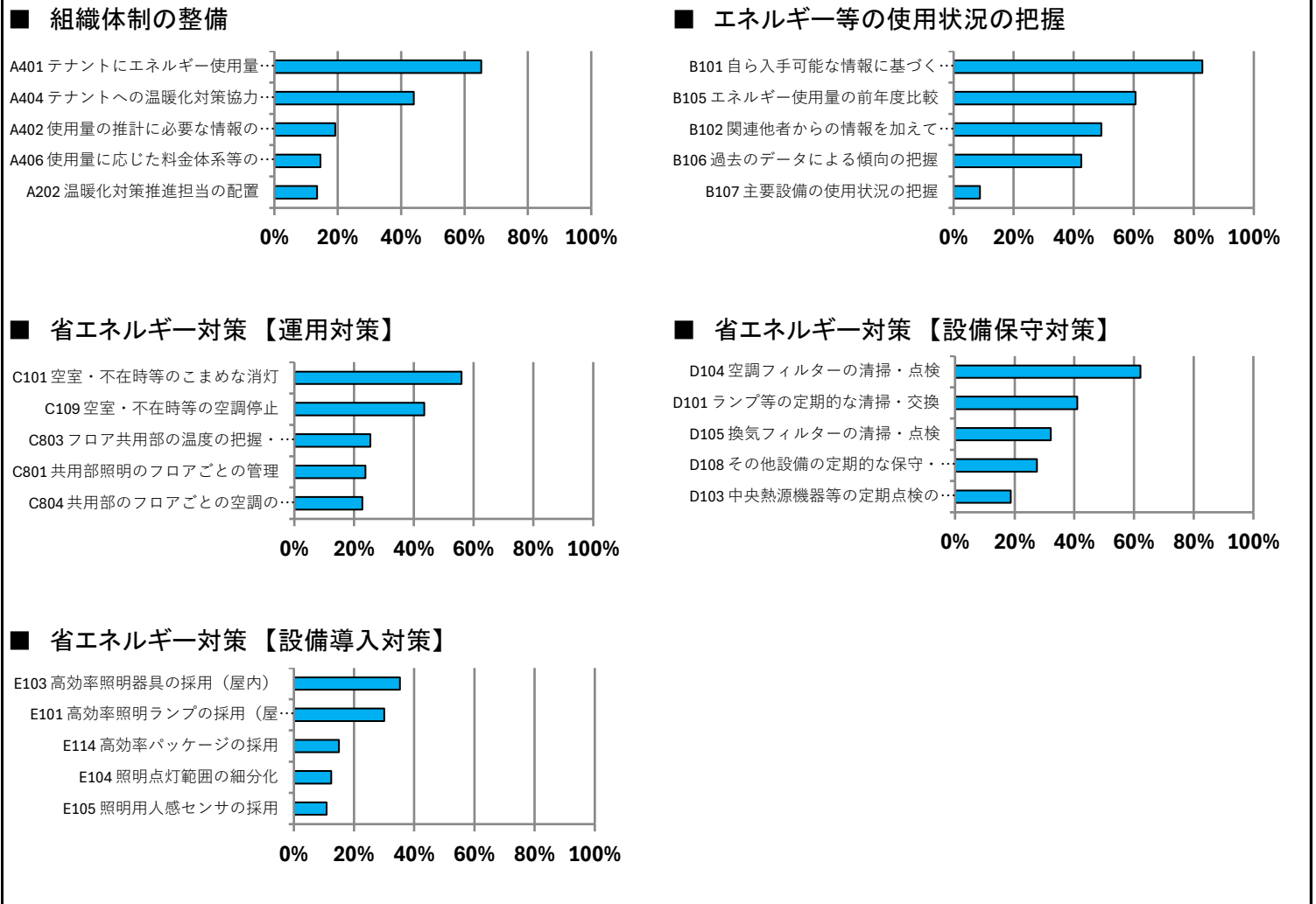
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

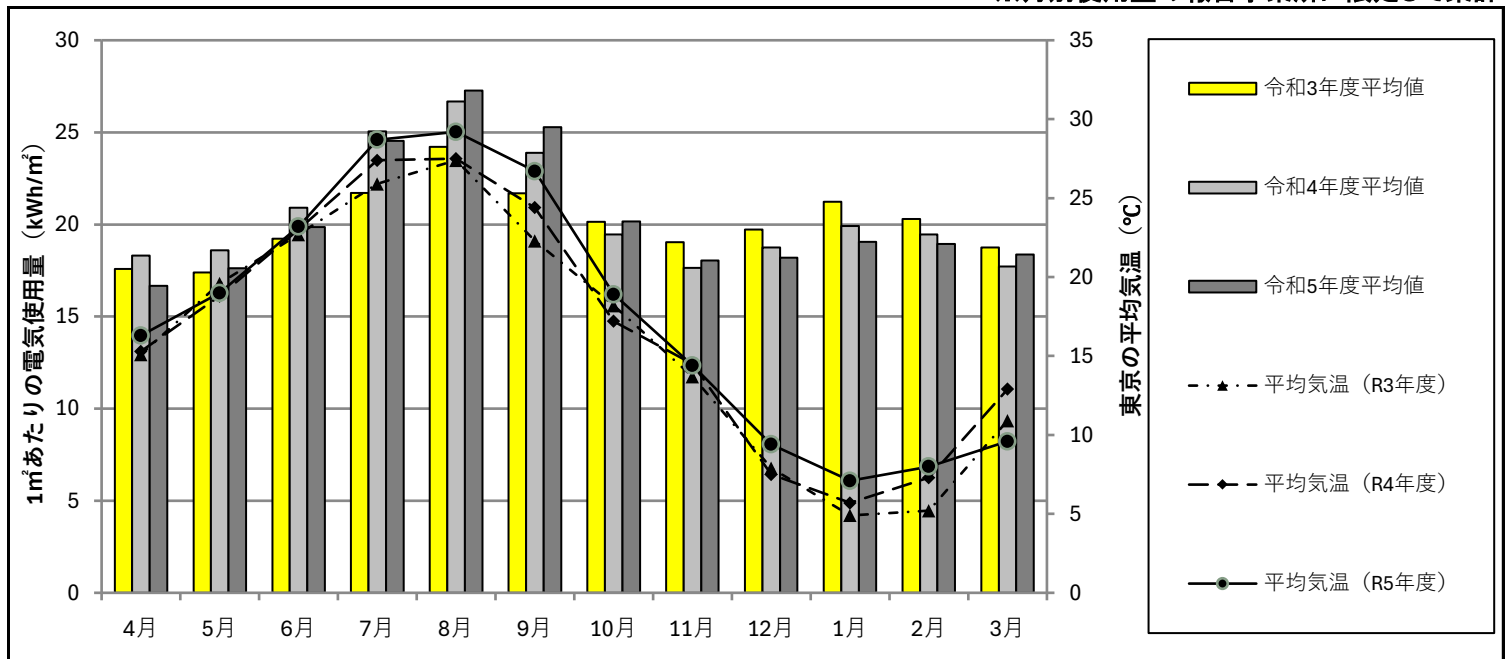


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

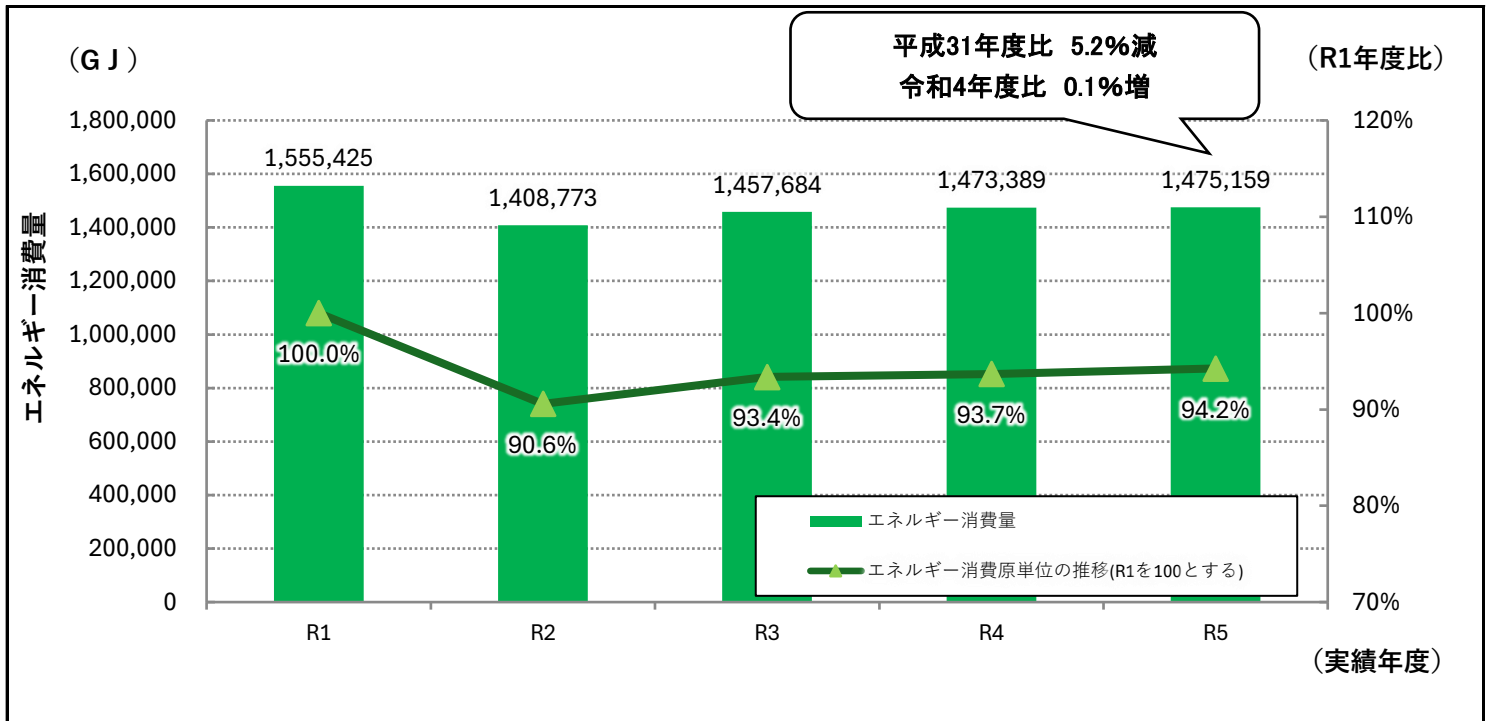
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



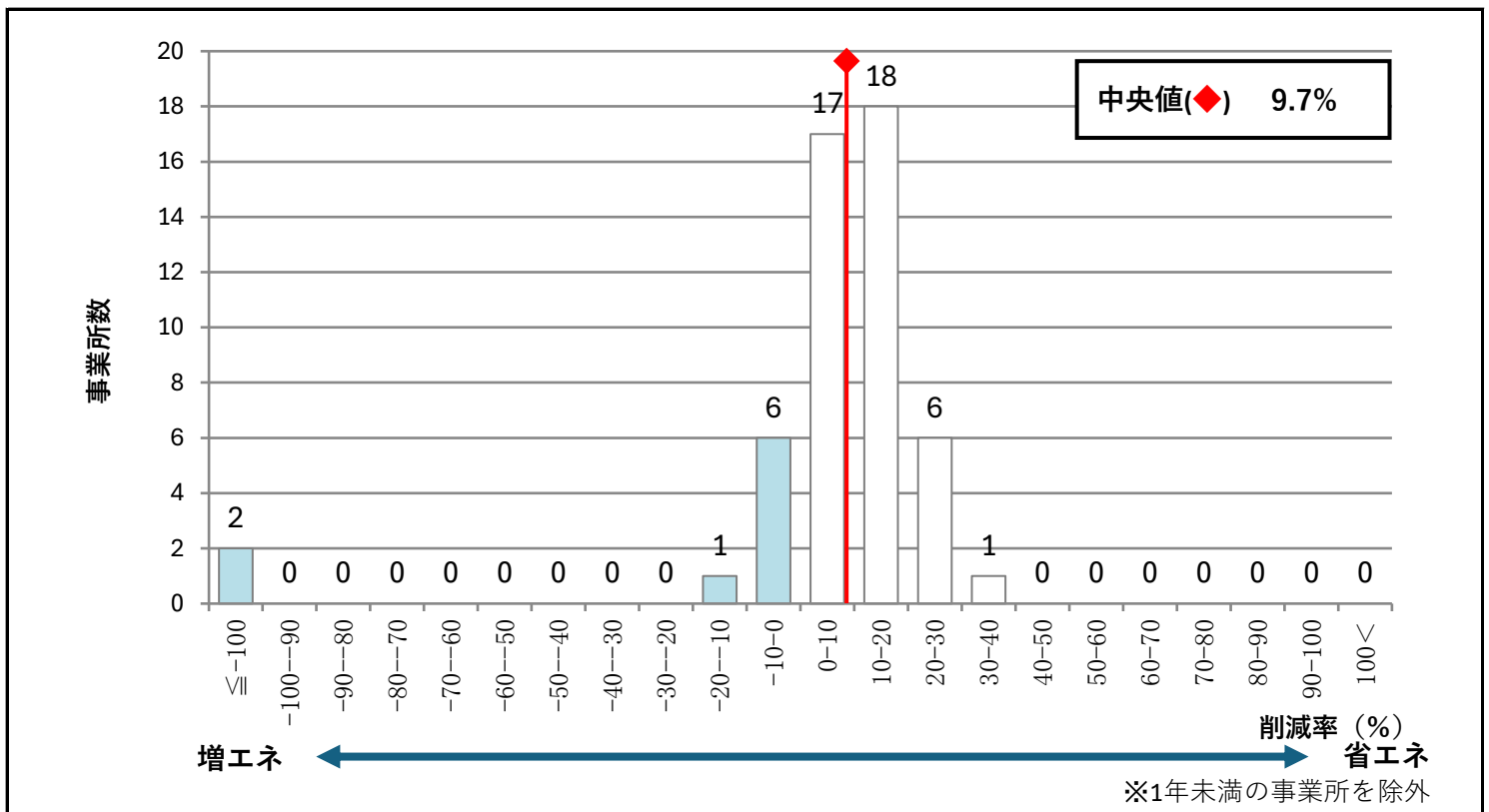
使用エネルギーの原単位はほぼ変わらず推移しています。複合ビルでは使用エネルギーの7～8割がテナント由来となっています。共用部については、オーナーサイドで省エネが進められますが、業態が多様になるためテナント部分の省エネ対策は一律にはなりません。各テナントが工夫をして省エネを進めていく必要があるため、テナント会議(防災会議の中で少しの時間を割いて行っても可)を開催し、経営に与える省エネ活動のメリットや具体的な省エネ策の紹介等を行うことで、ビル全体の省エネが進みます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」 「商業施設(飲食)」 「複合施設」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 10,000㎡以上20,000㎡未満
テナントビル(商業複合系・準大規模)	64	62	

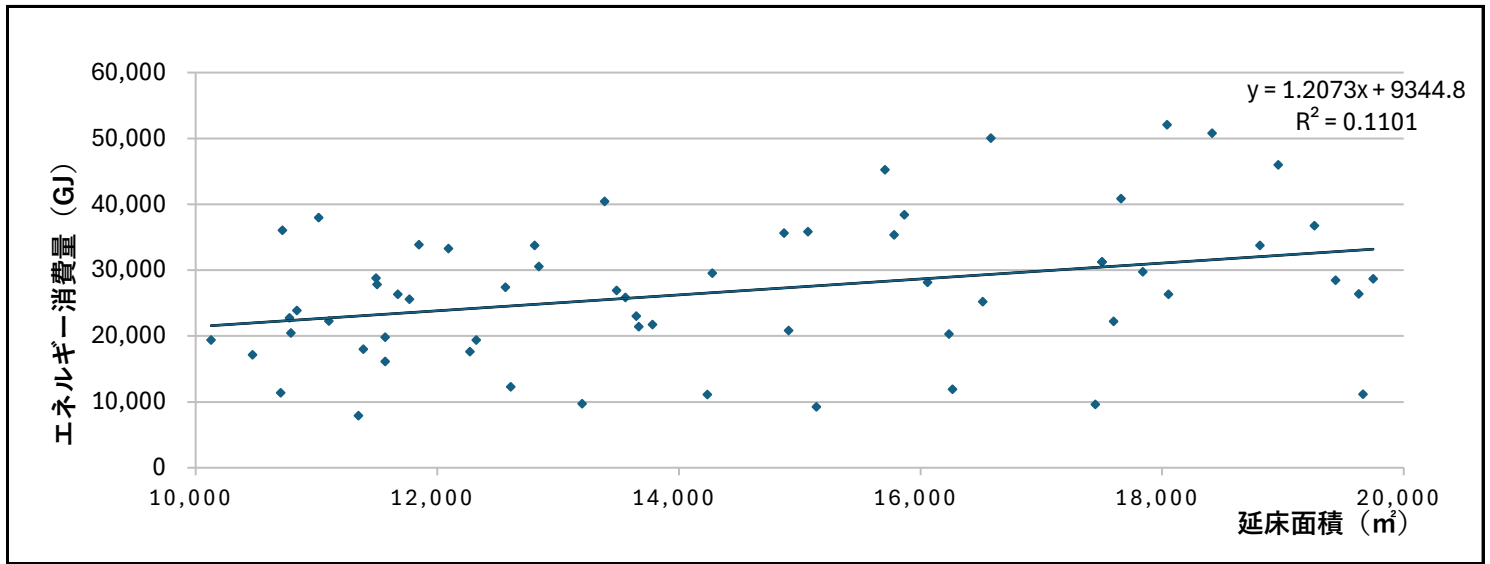
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:53)



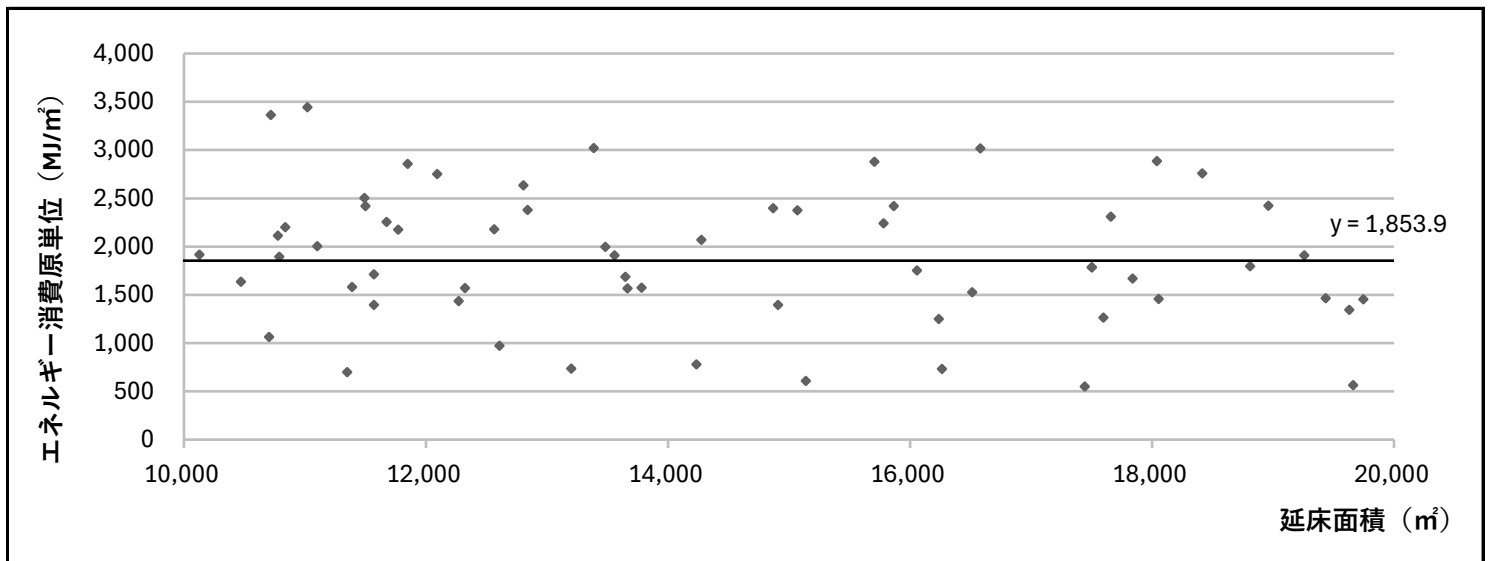
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:51)



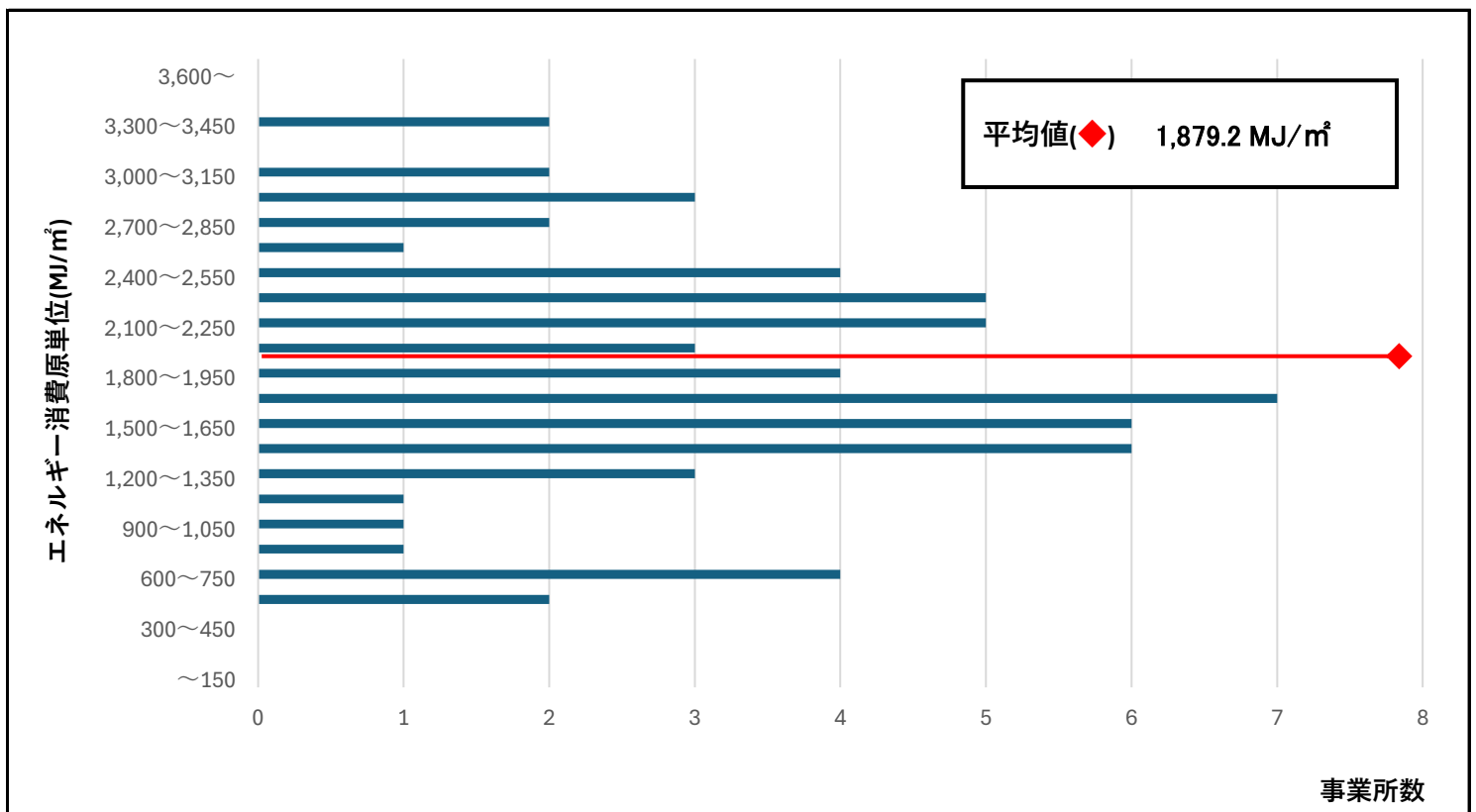
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



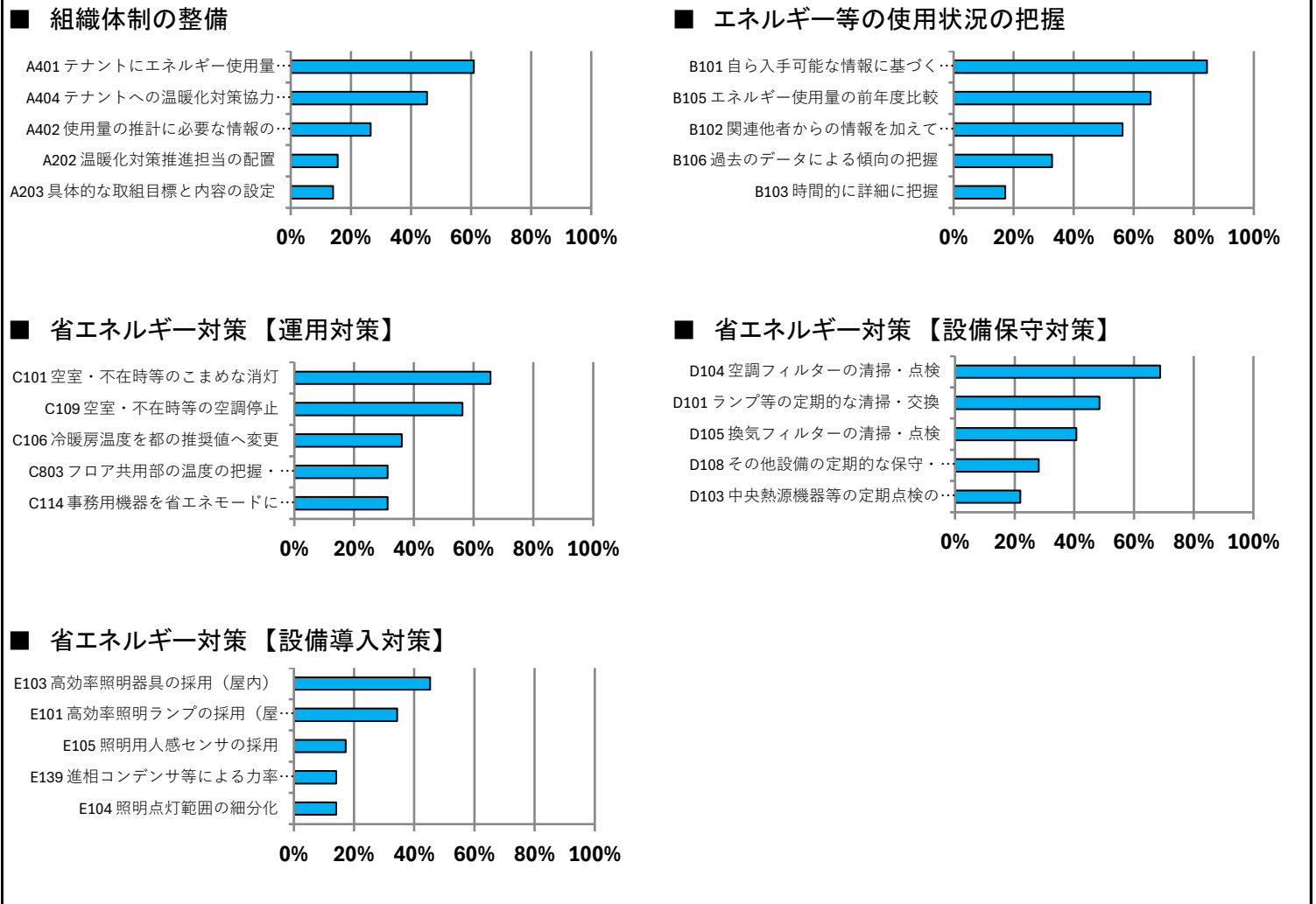
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

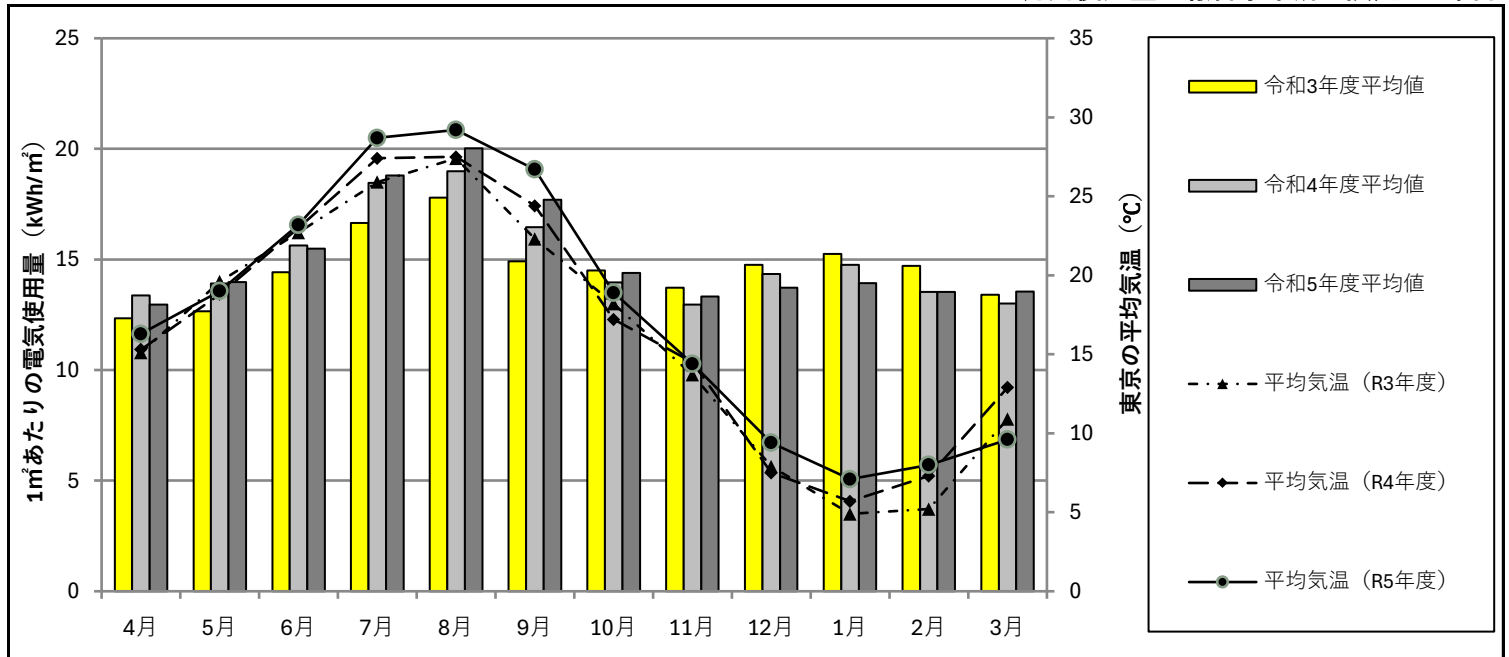


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

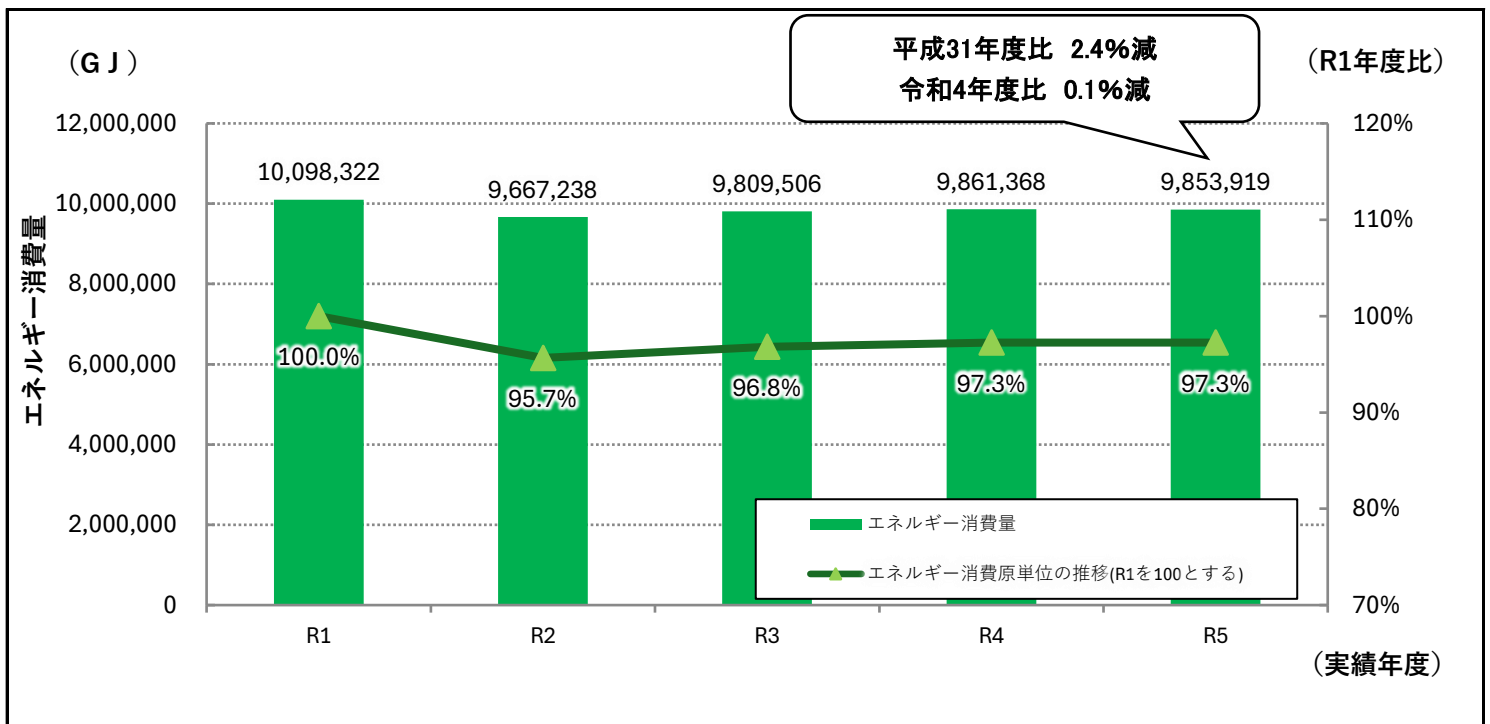
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



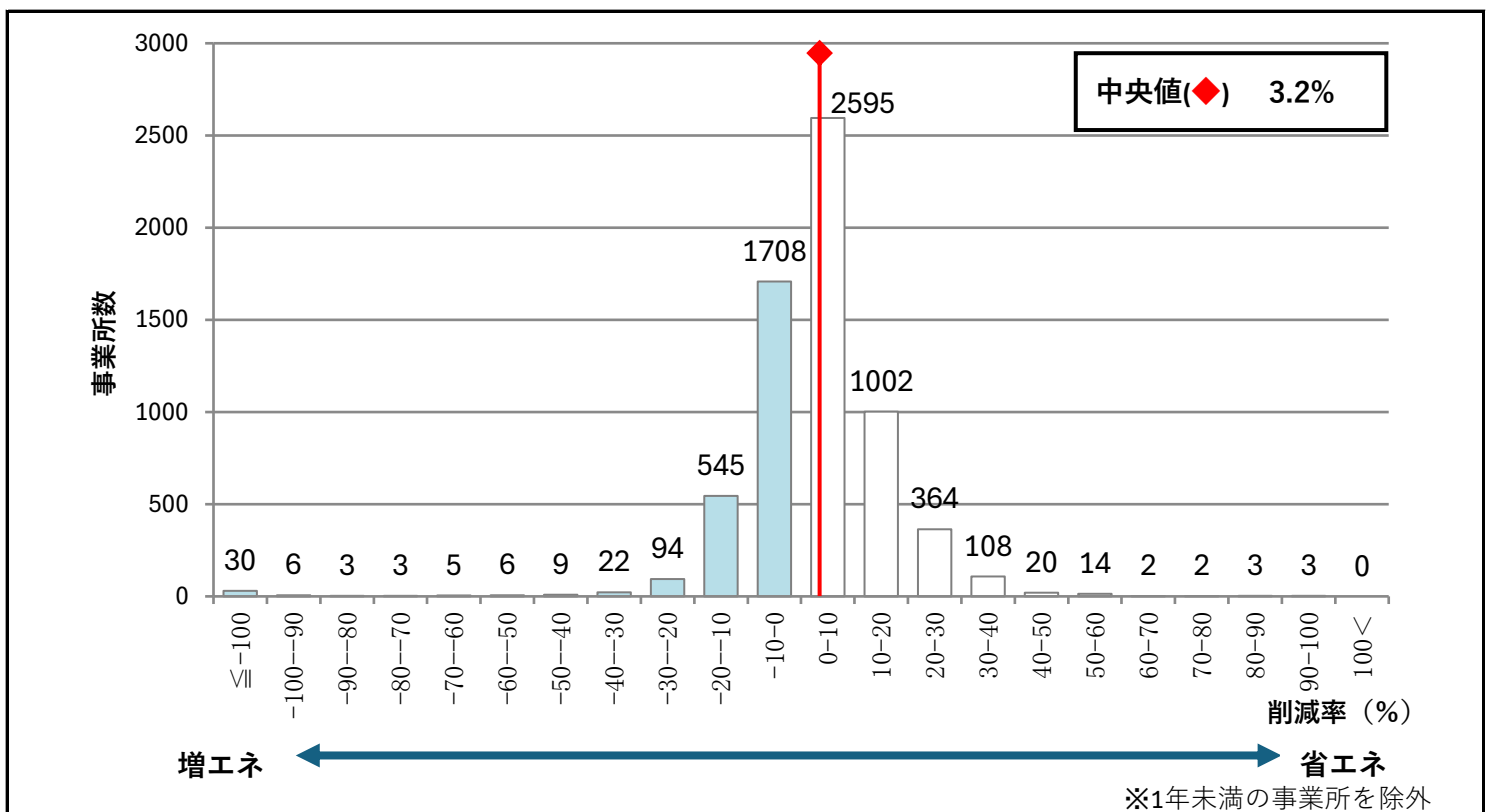
準大規模商業ビルでは外気導入量が極めて多くなります。客数の少ない午前中など、店内のCO2濃度を検知して導入外気量をファンのインバータ制御などで削減するCO2制御を検討しましょう。給排気ファンの動力だけでなく、空調の外気負荷も削減されるので有効な省エネ策となります。併せて大型全熱交換機の導入も検討してください。また近年エスカレーターにインバータを導入して不要時に停止する対策が多く取られています。テナント会議の開催も実施してください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5631 コンビニエンスストア」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（物販）」
物販店(コンビニ)	7,547	7,403	

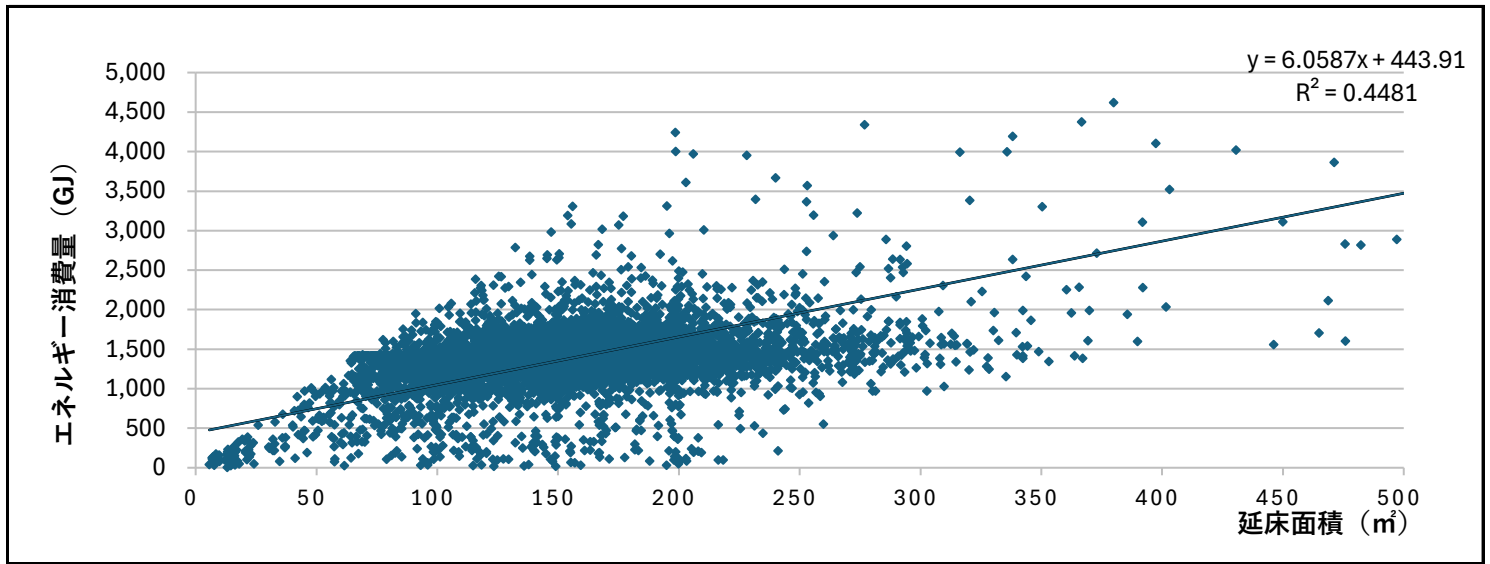
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:6870)



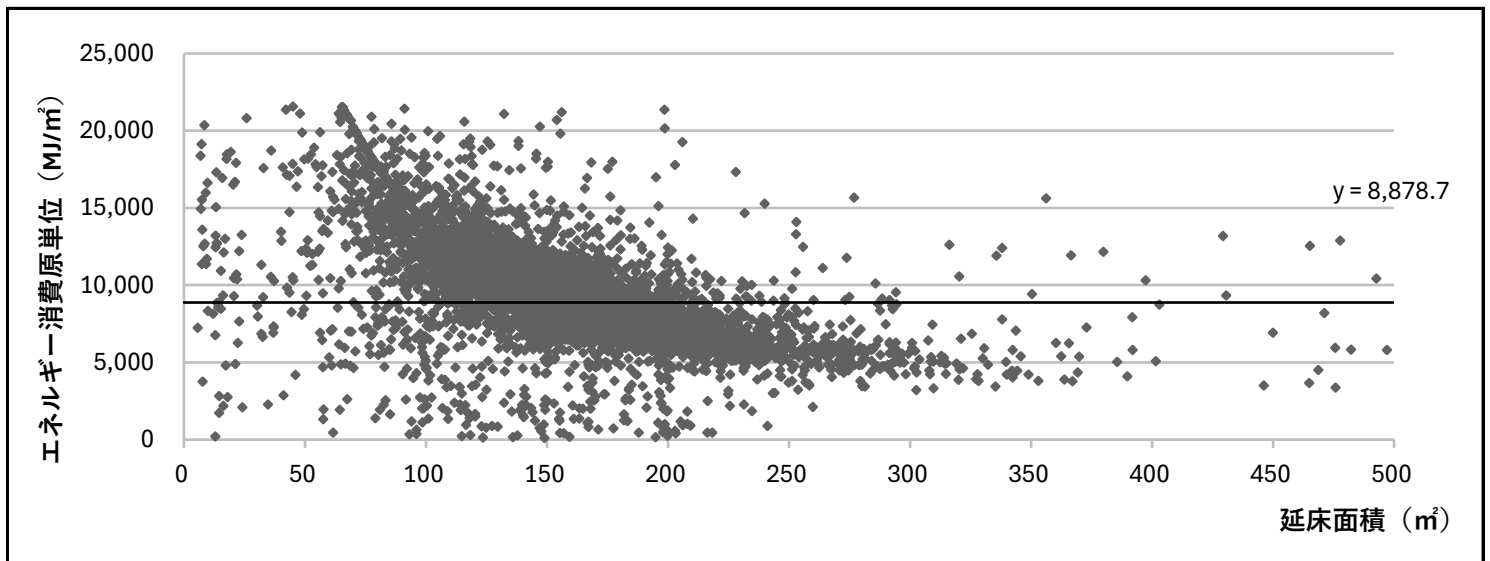
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:6544)



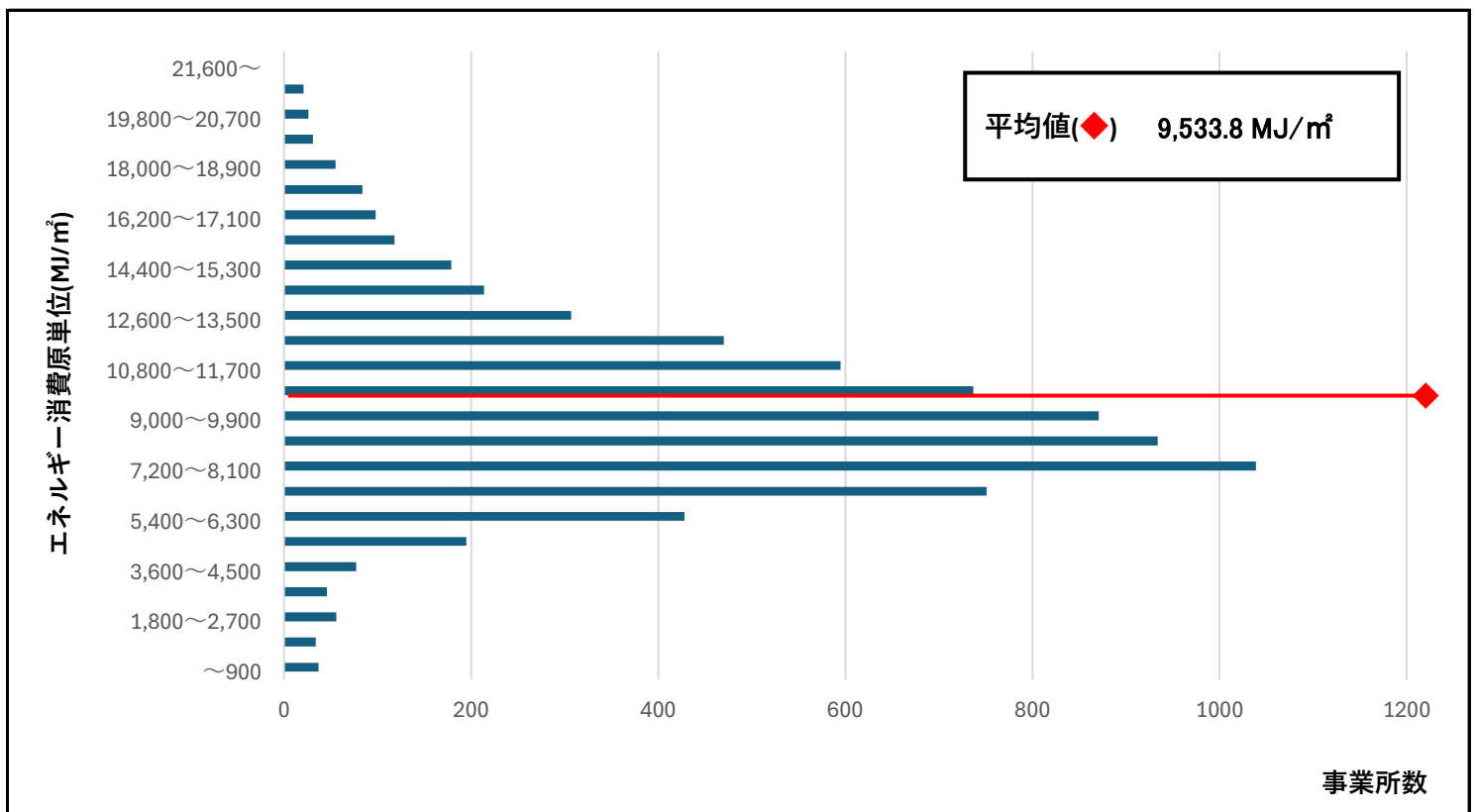
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



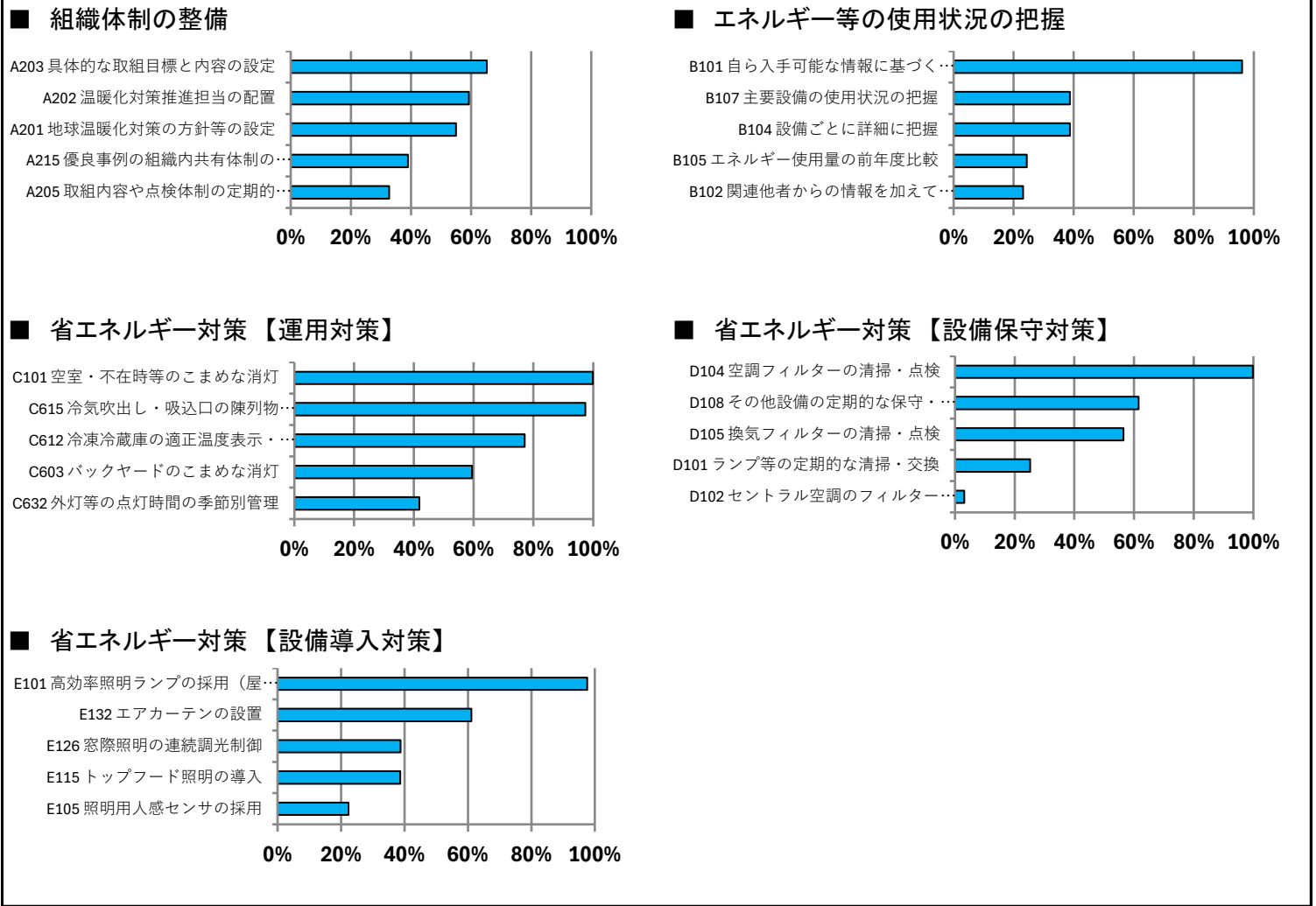
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

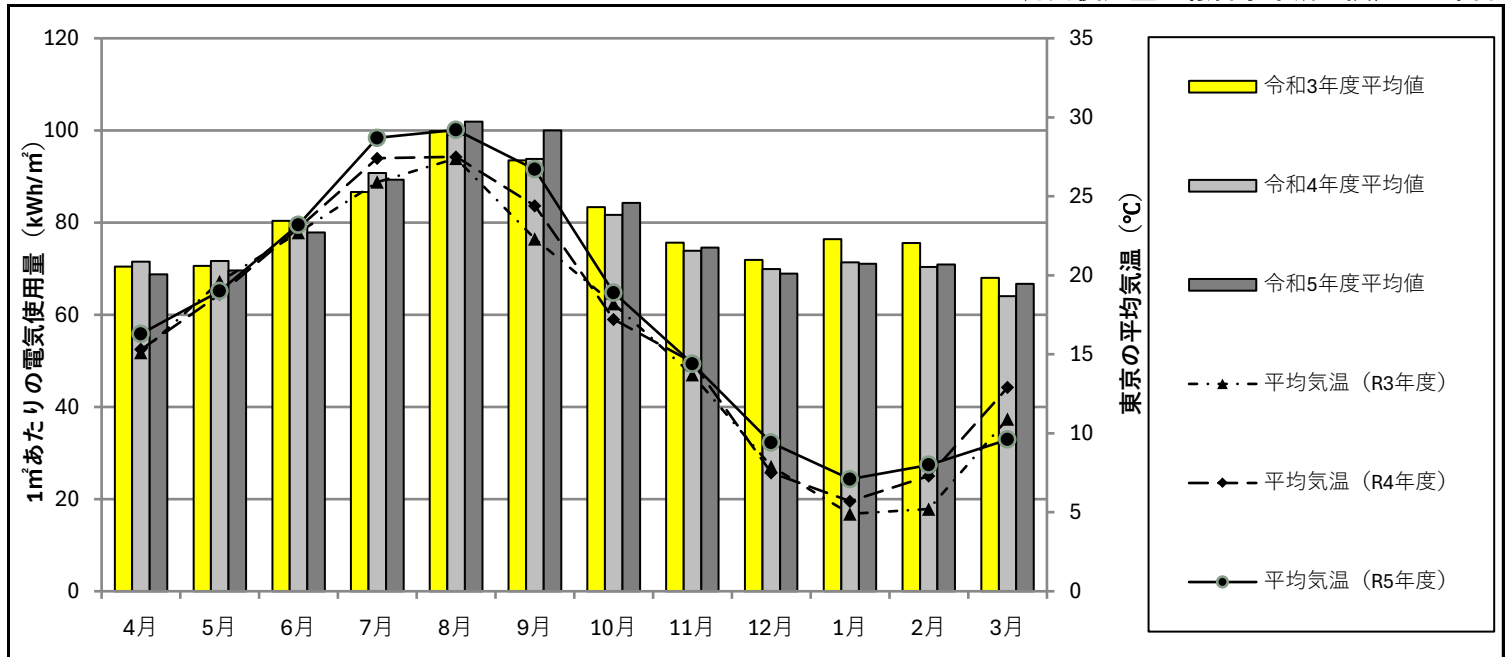


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

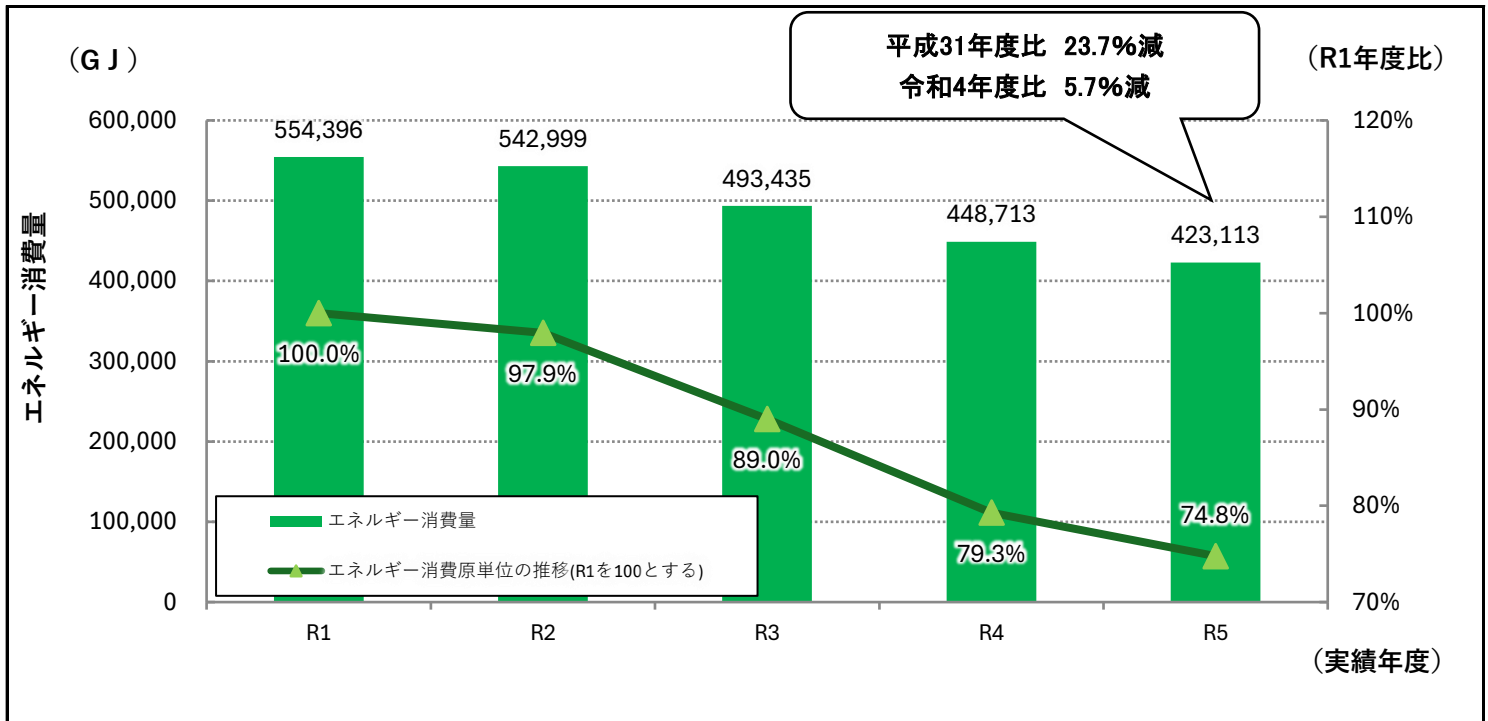
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



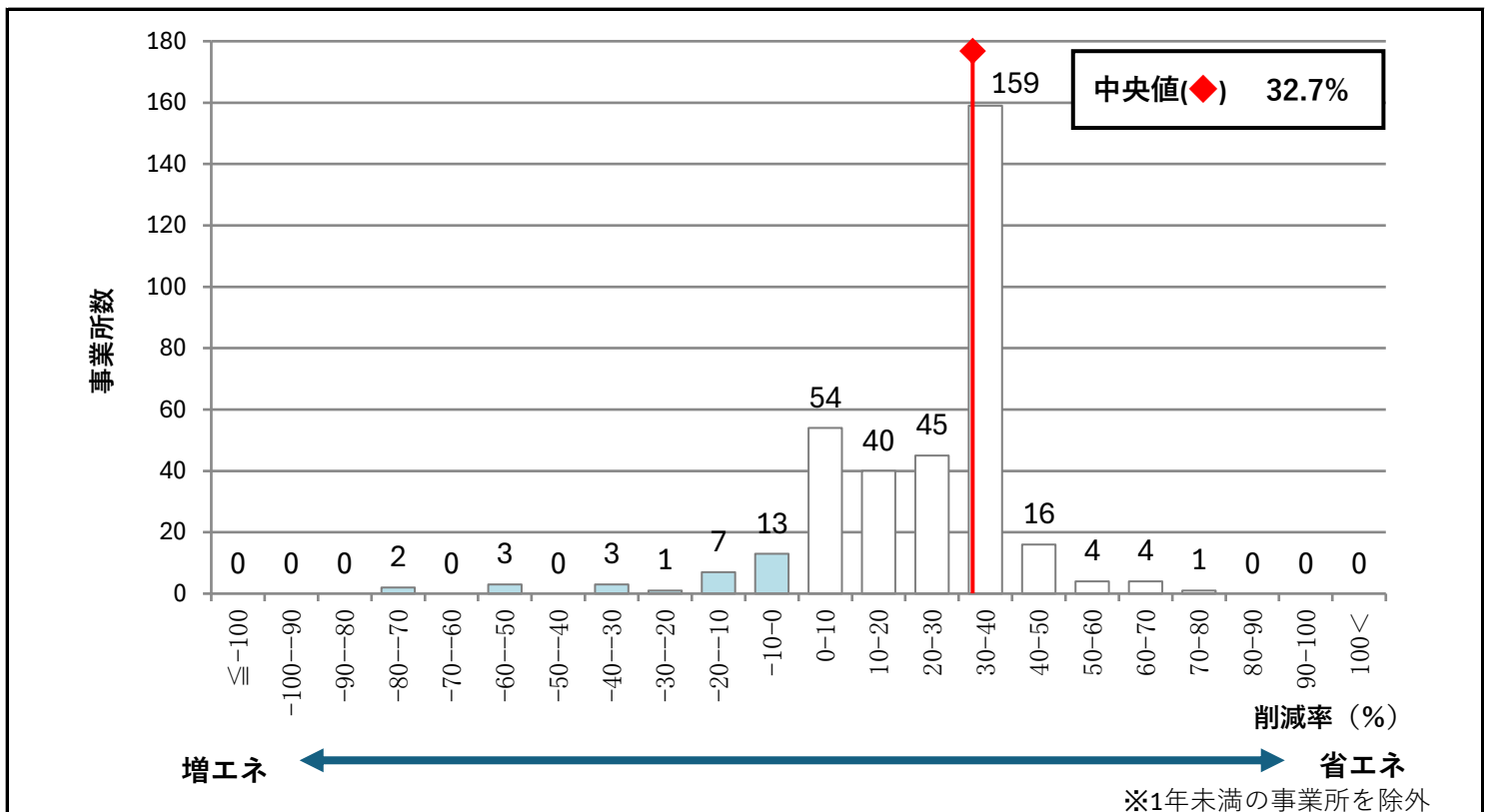
コンビニでは、空調・照明のほかに、冷蔵庫や冷凍ショーケース等の冷凍冷蔵機器が大きなエネルギーを消費しています。最近では照明のLED化やリーチインショーケースの導入などで、省エネは進んでいますが、冷凍冷蔵機器は庫内温度が下がるほど消費電力が増えるので、冷やし過ぎの防止がポイントになります。定期的に庫内温度を記録するなどして、適正温度の保持に努めましょう。独立建屋の店舗は屋根からの日射熱で空調が効きにくくなることがあるので、屋根の遮熱塗装や太陽光発電パネルの設置等も検討しましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5641 ドラッグストア」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（物販）」
物販店（ドラッグストア）	734	701	

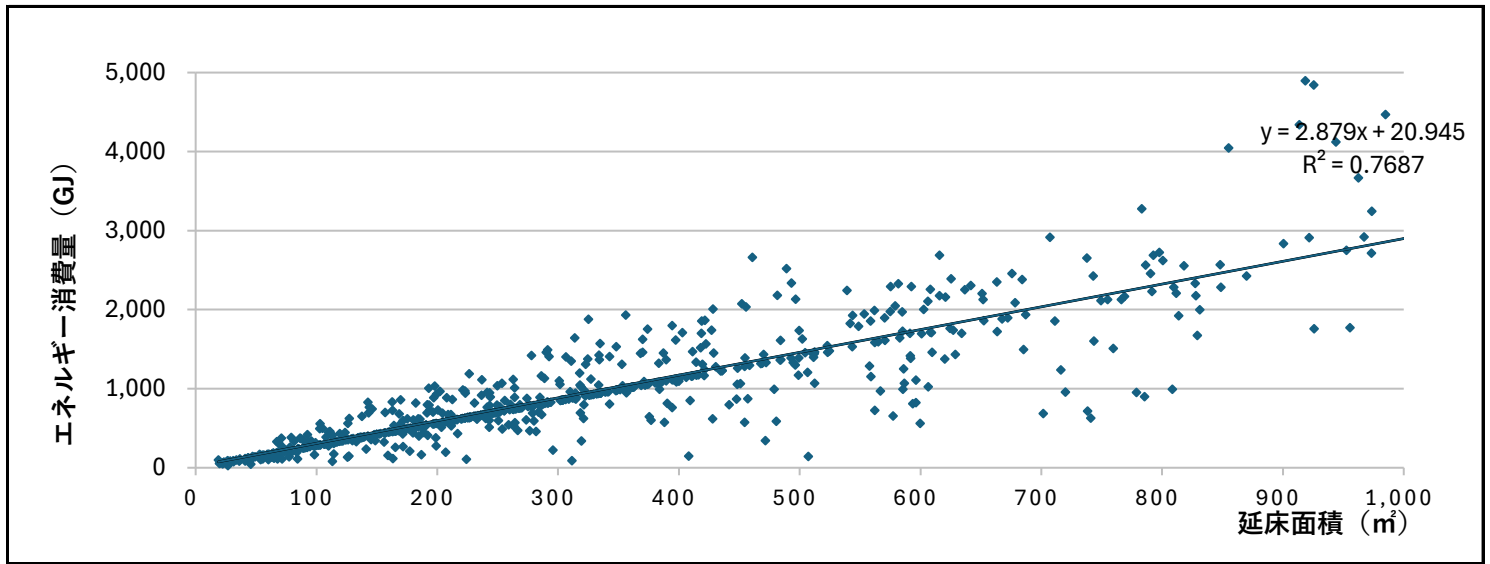
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:359)



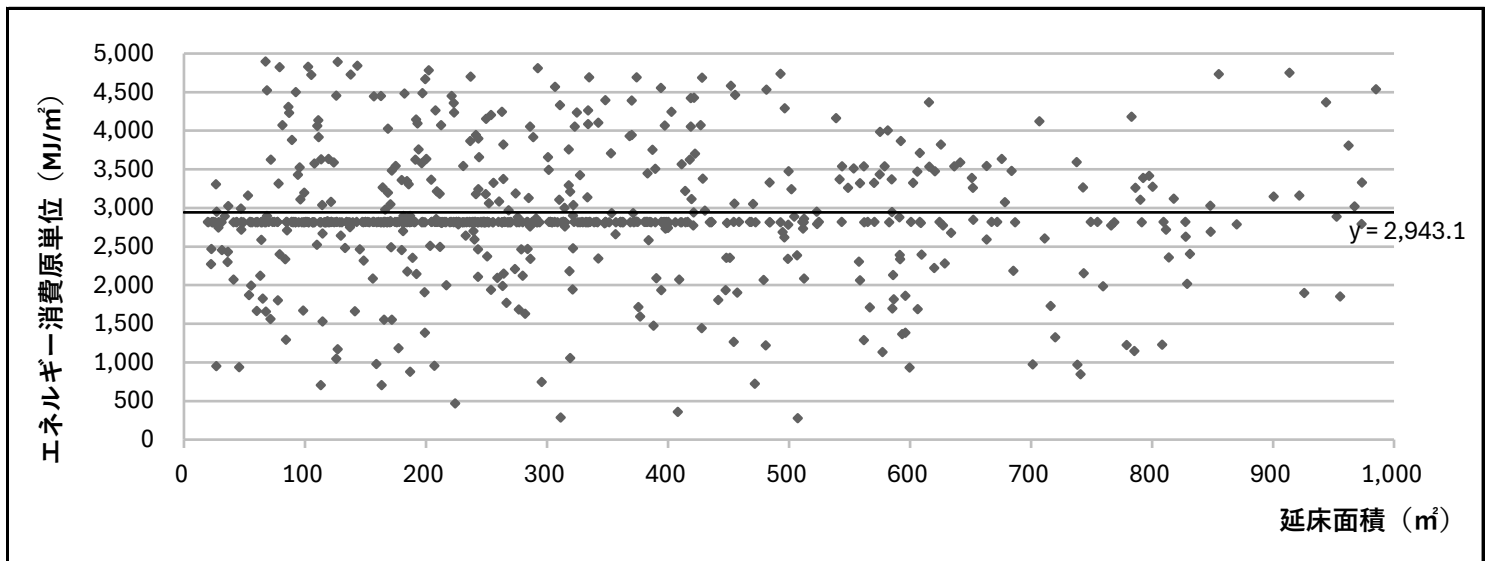
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:352)



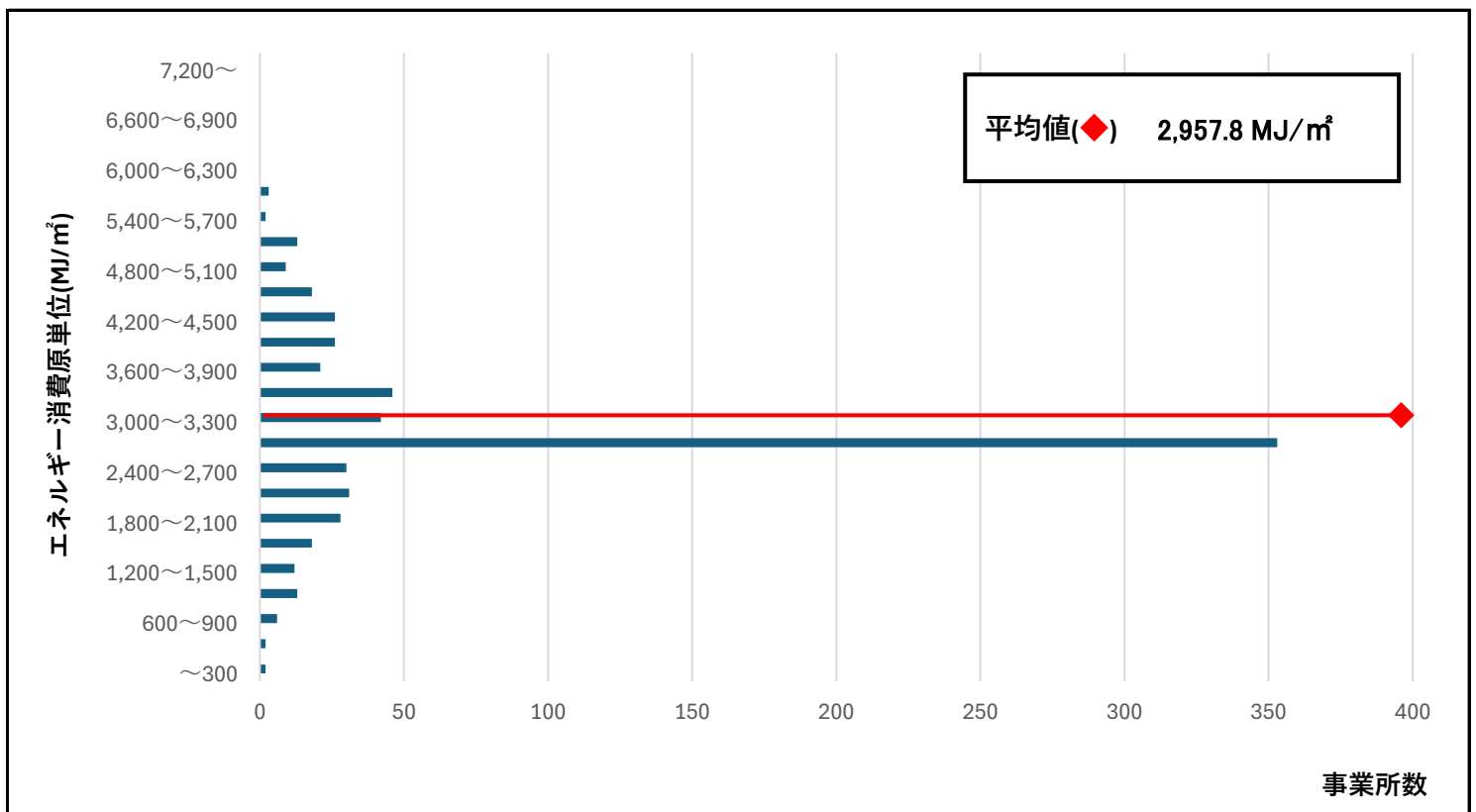
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



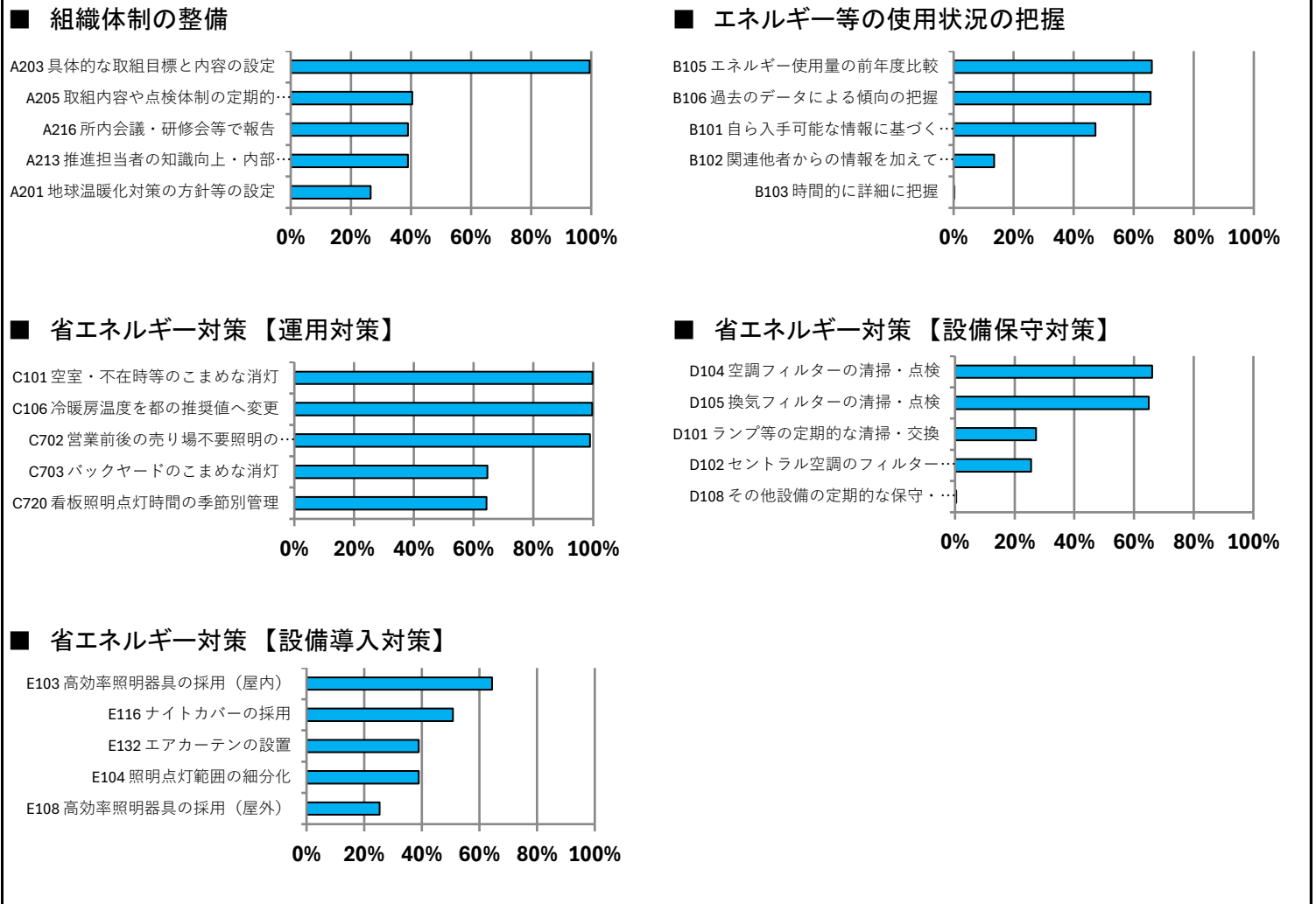
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

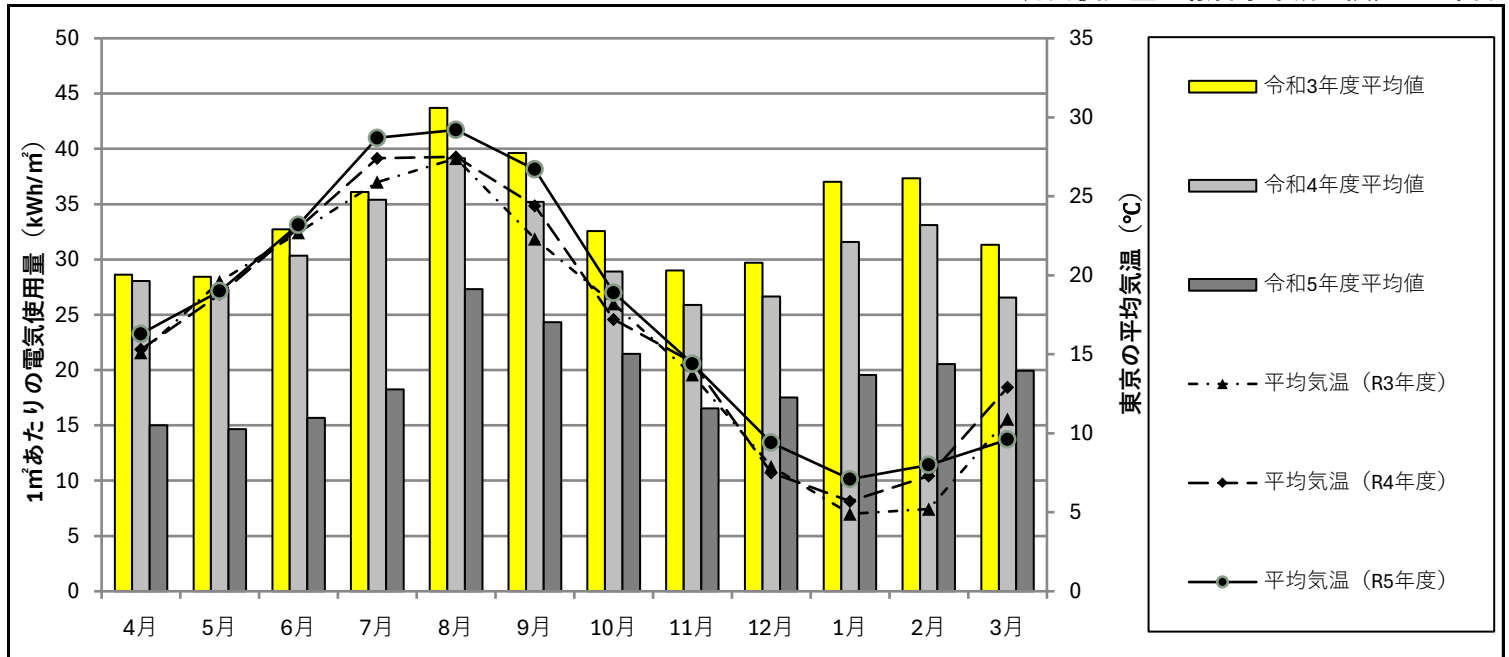


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

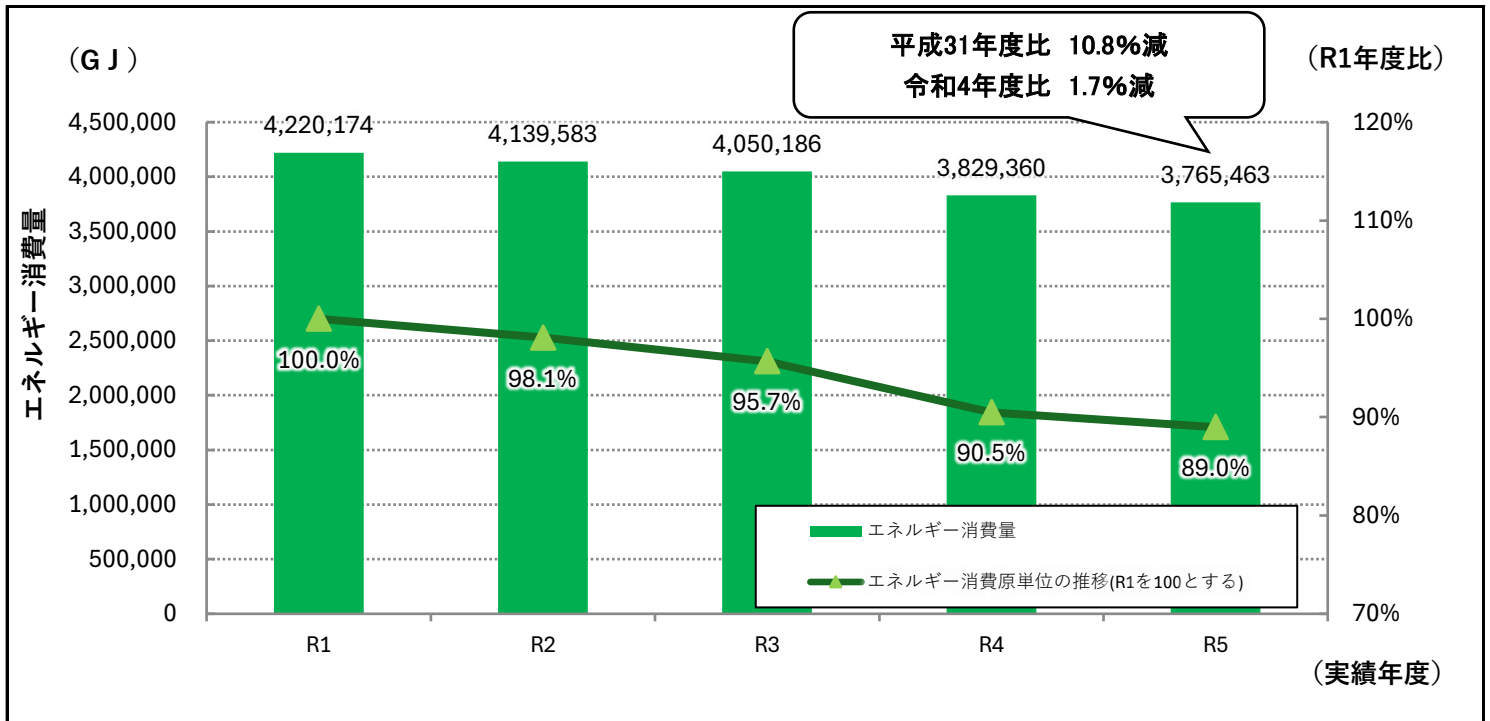
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



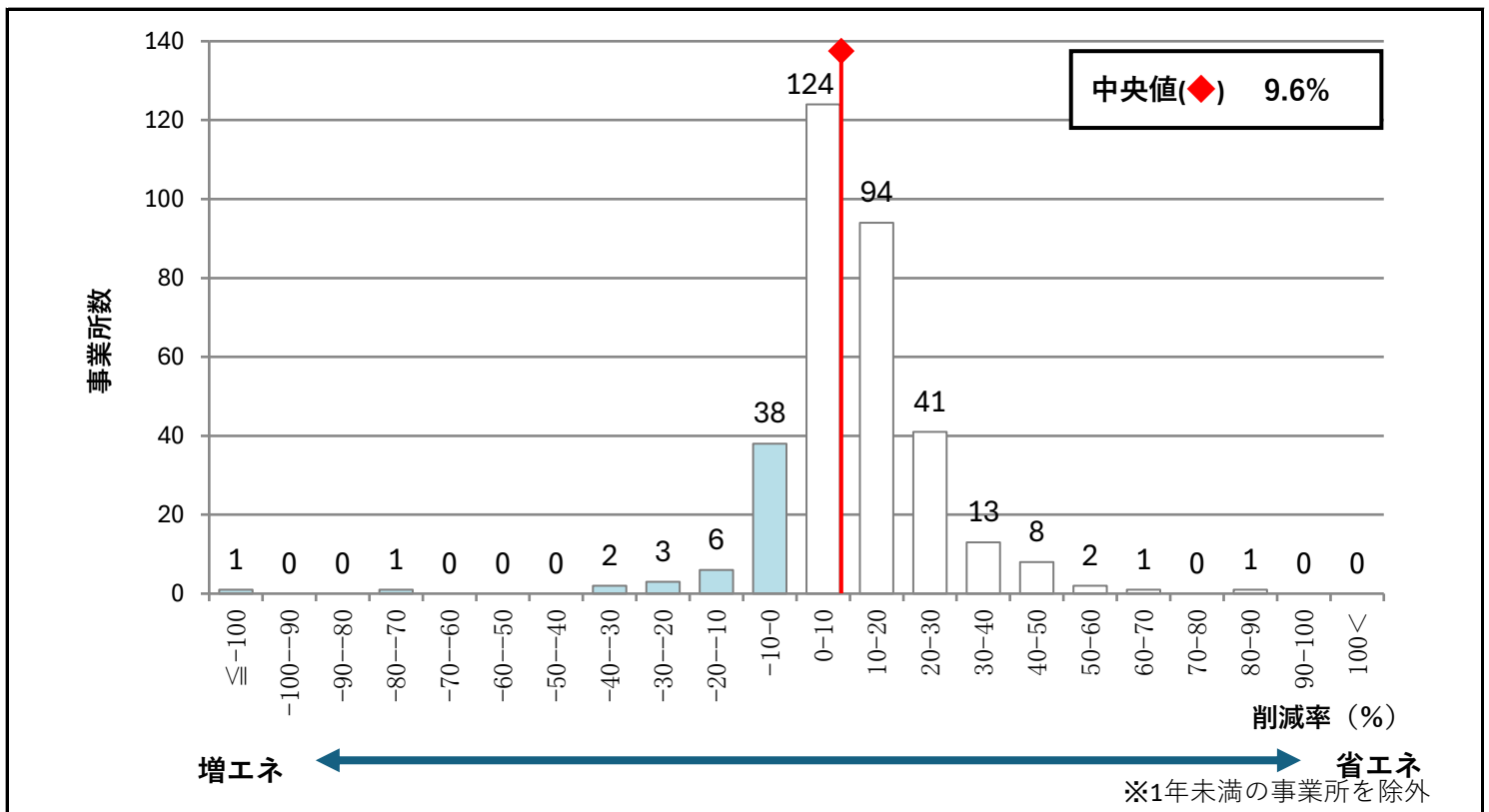
店舗の入り口から余分な外気が侵入すると空調負荷が増大します。自動ドアや風除室(インナードア)を導入するなど外気侵入防止の対策が求められます。また営業終了後の清掃時などで売り場の照明が全点灯していないかも確かめましょう。店舗内のエネルギー消費状況をリアルタイムで把握・管理するシステム(EMS)の導入も効果的です。スタンドアロンの店舗ではぜひ太陽光発電の導入を検討してください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5611 百貨店」「5621 総合スーパーマーケット」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」
物販店(総合スーパー・百貨店)	455	442	

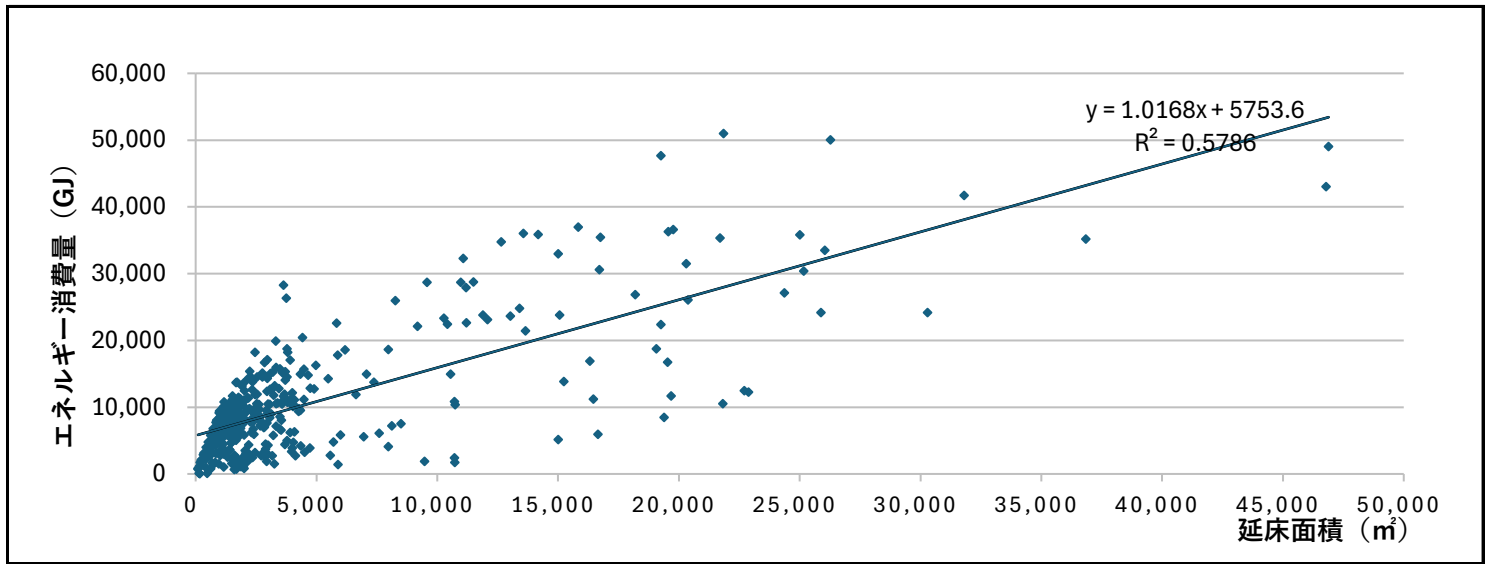
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:361)



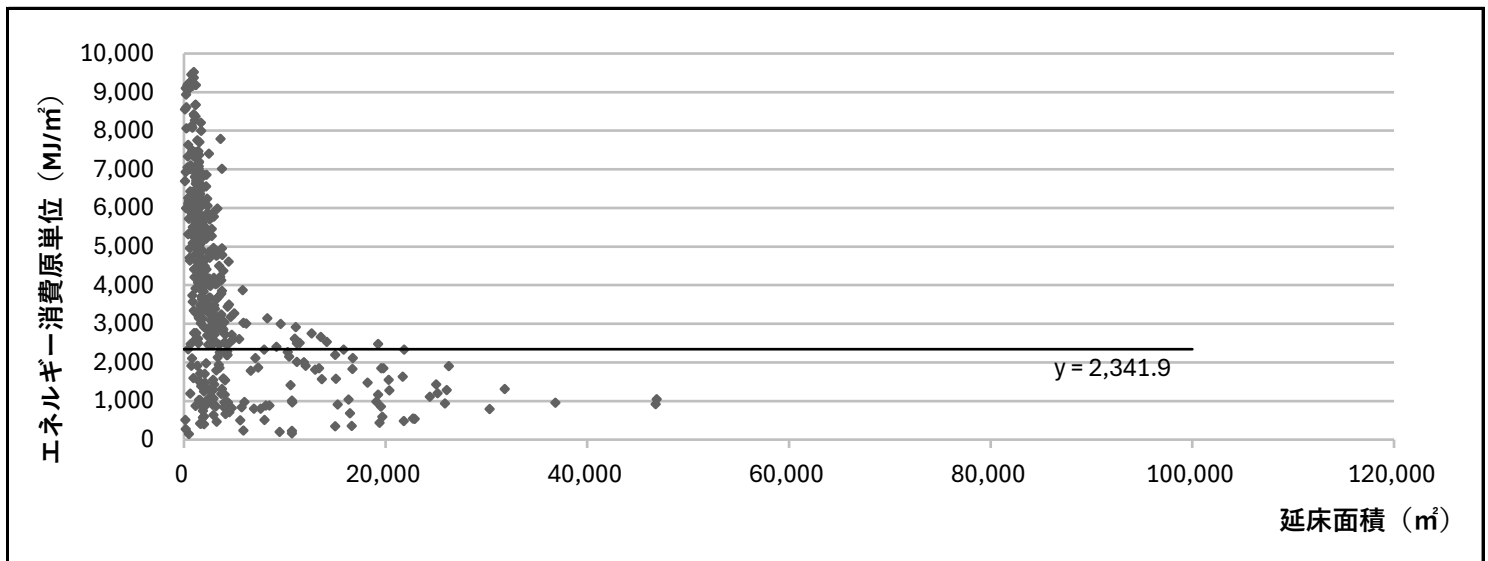
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:335)



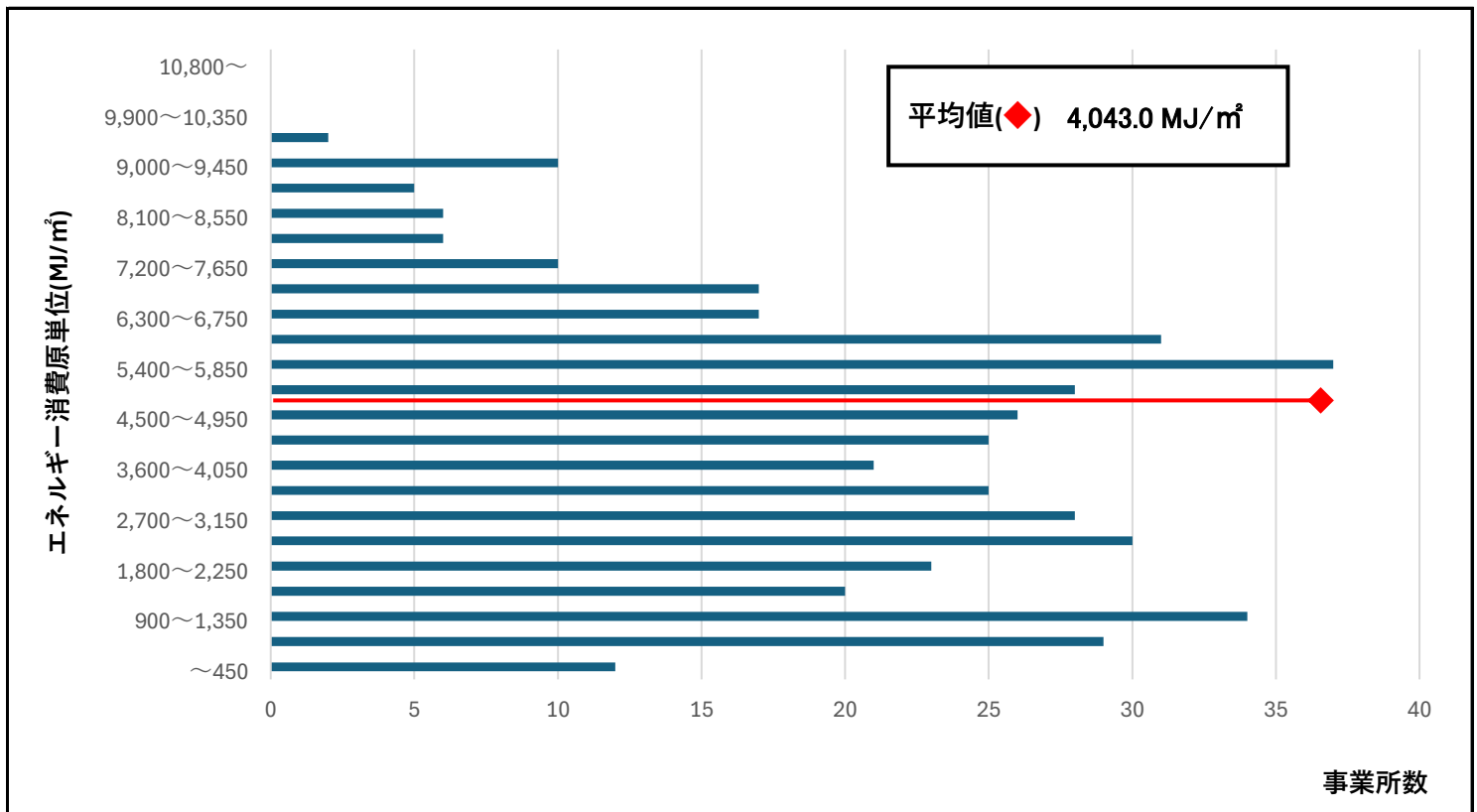
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



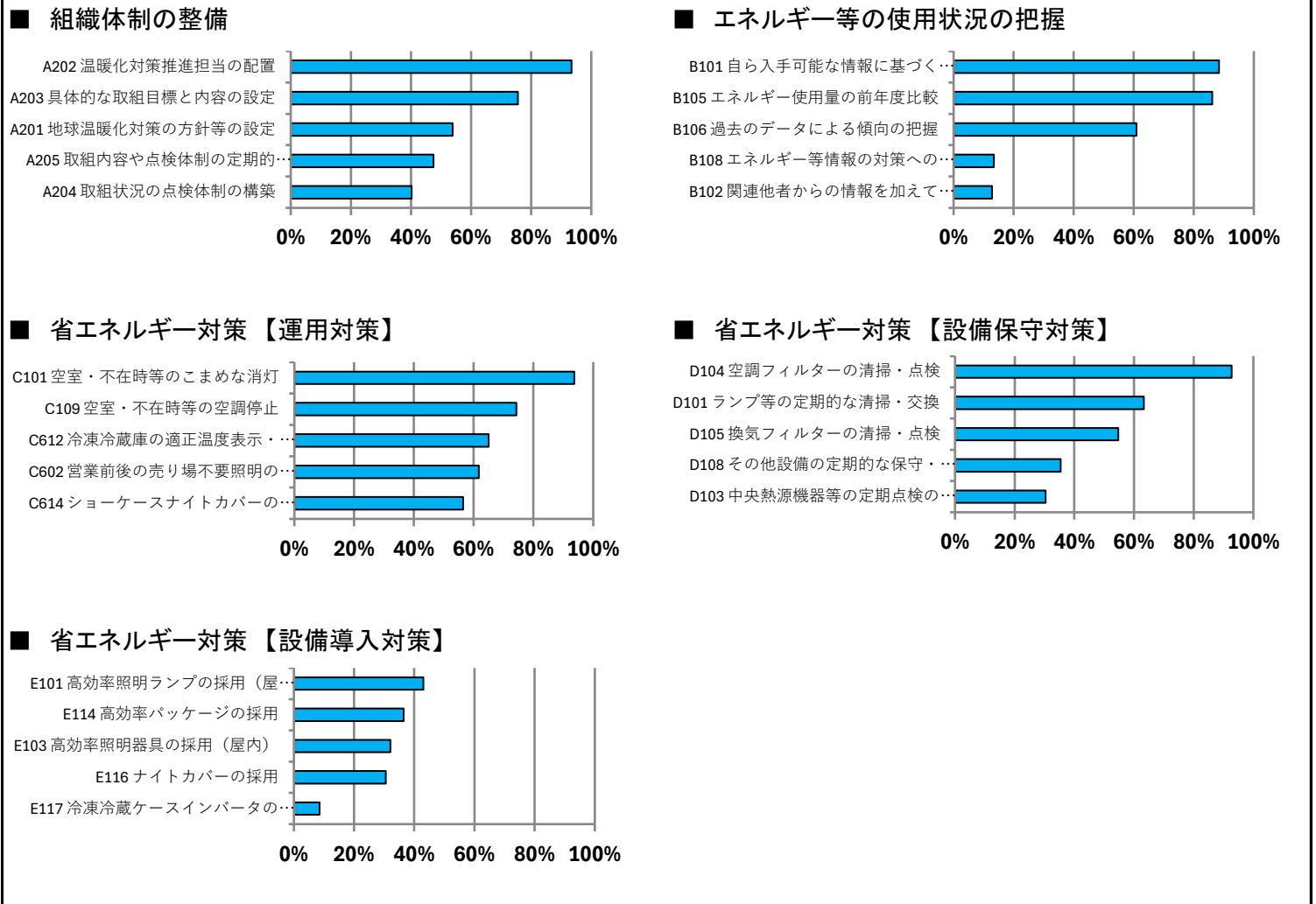
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

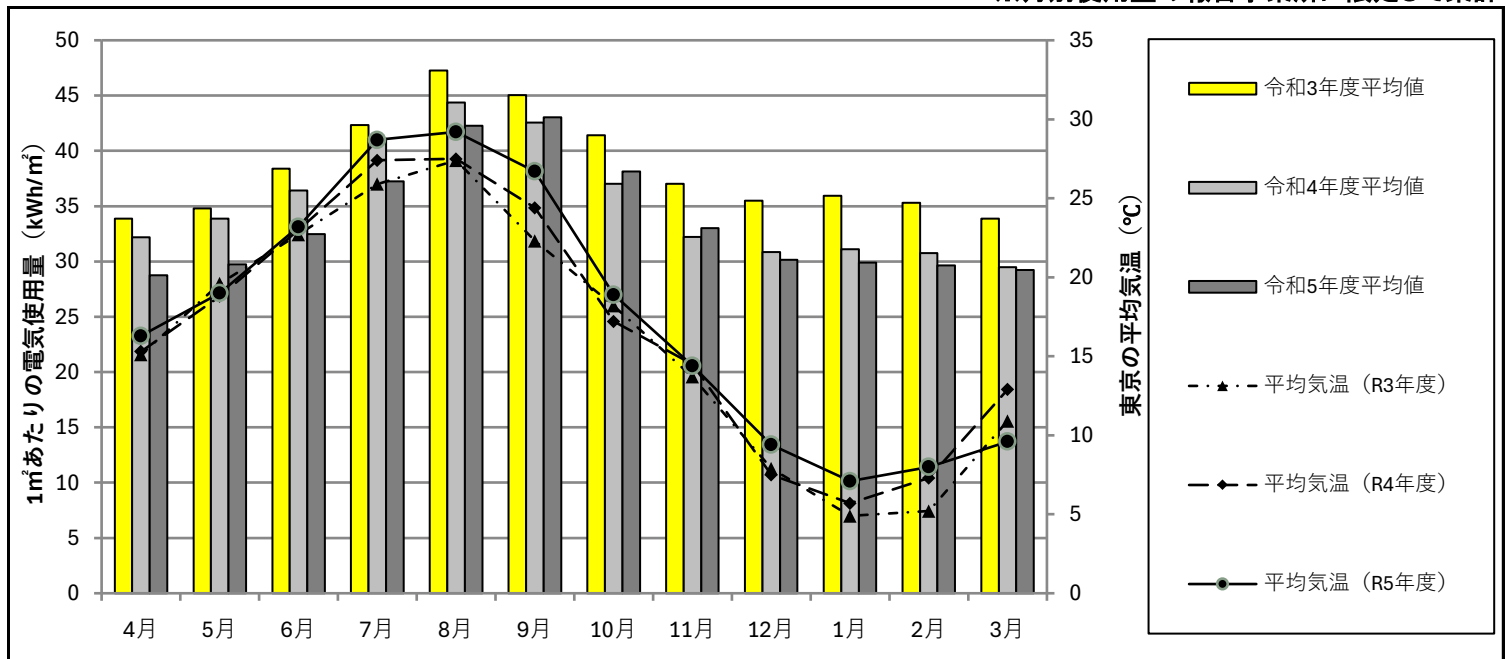


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

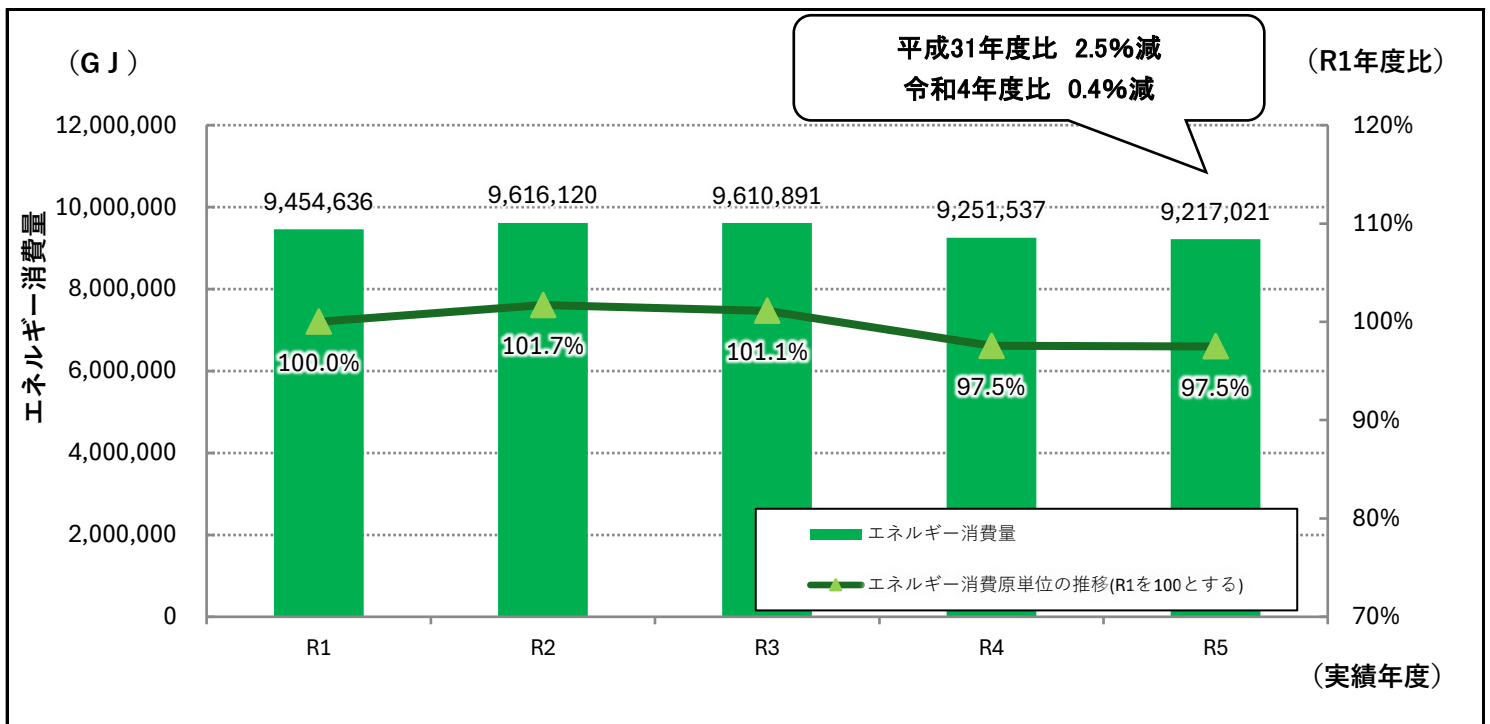
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



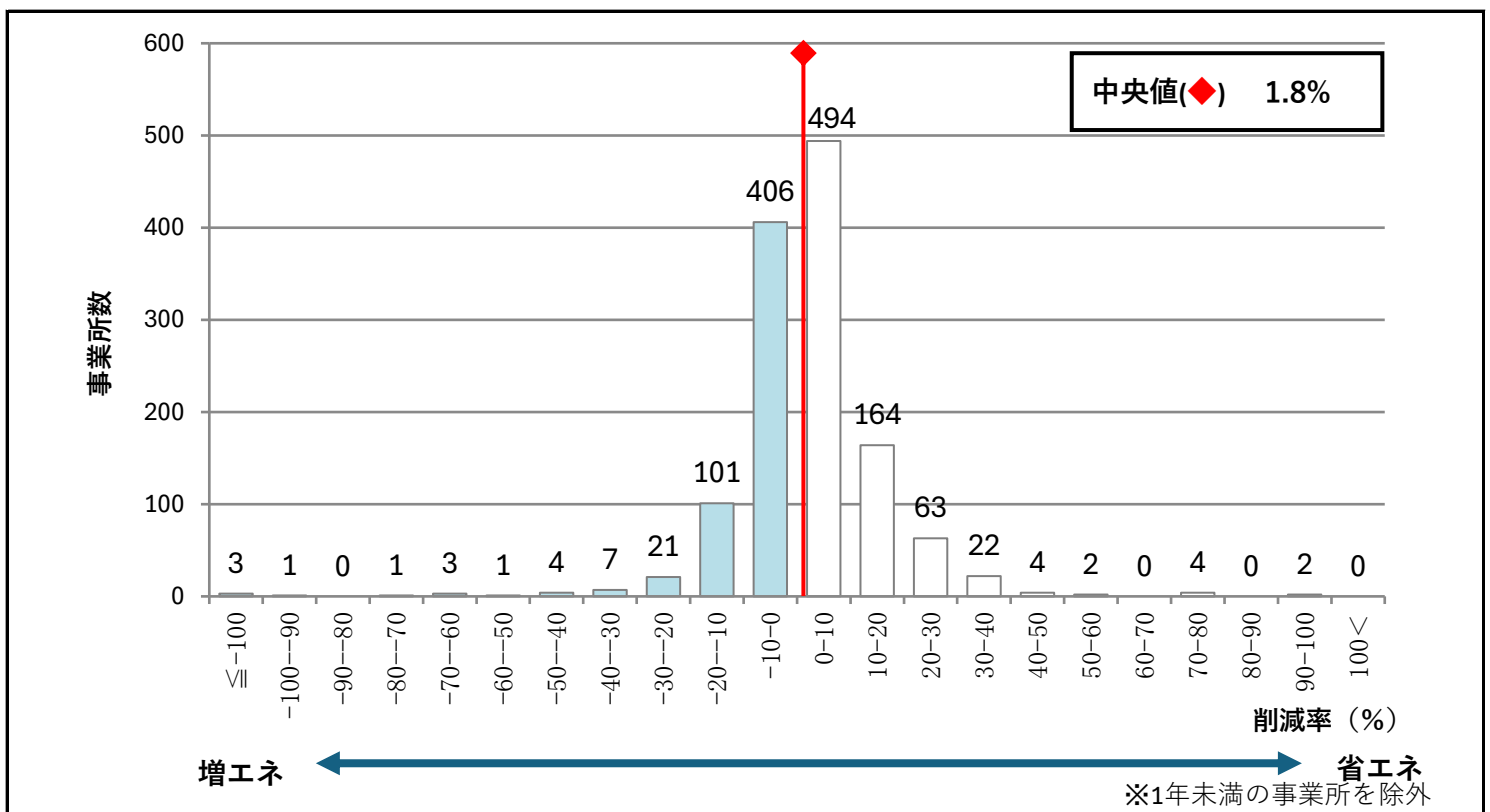
店舗内のエネルギー消費状況をリアルタイムで把握・管理するシステム(EMS)の導入が効果的です。スタンドアロンの店舗ではぜひ太陽光発電の導入を検討してください。また店内の照度は、場所により演色照明と天井のベース照明が重なり、照度過多となっているゾーンが見られます。間引きを検討しましょう。通路や雑貨陳列棚周りは500Lx程度に抑えるよう照度計画を立て、メリハリのある店内照明の配置が有効です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5811 食料品スーパーマーケット」 「5821 野菜小売業」「5822 果物小売業」 「5831 食肉小売業」「5832 卵・鶏肉小売業」 「5841 鮮魚小売業」「5851 酒小売業」 「5862 菓子小売業」「5891 牛乳小売業」等 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（物販）」
物販店（生鮮食品等）	1,755	1,708	

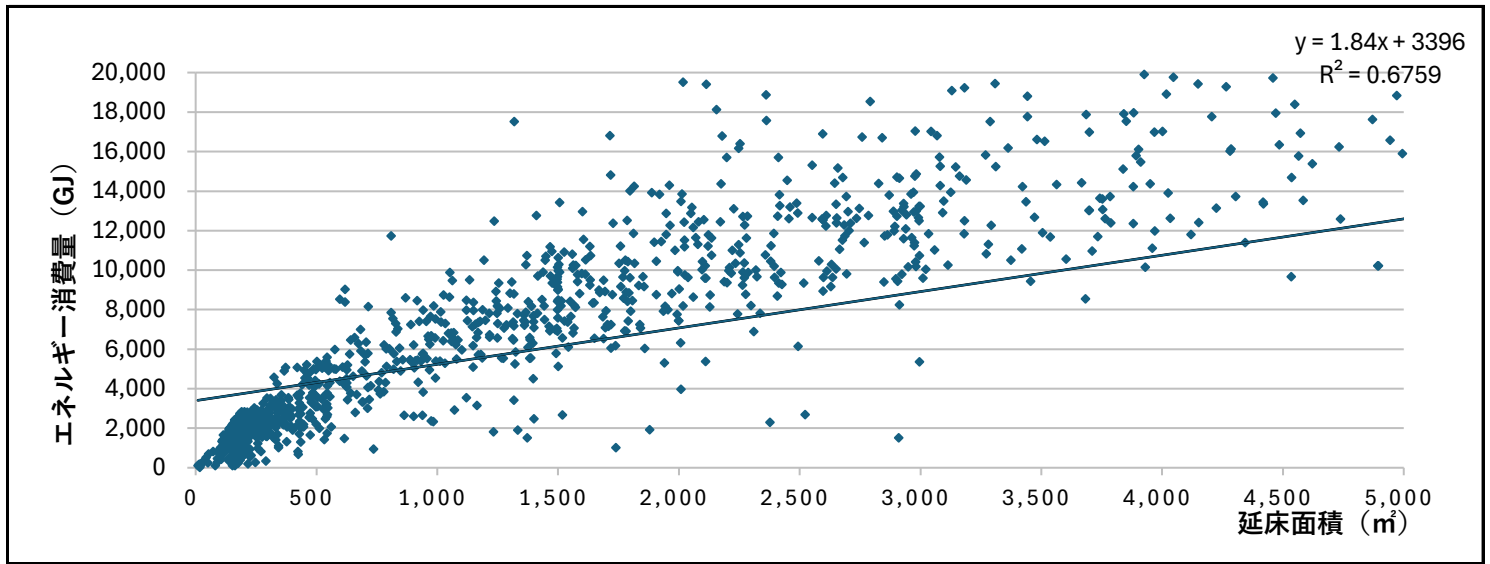
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1412)



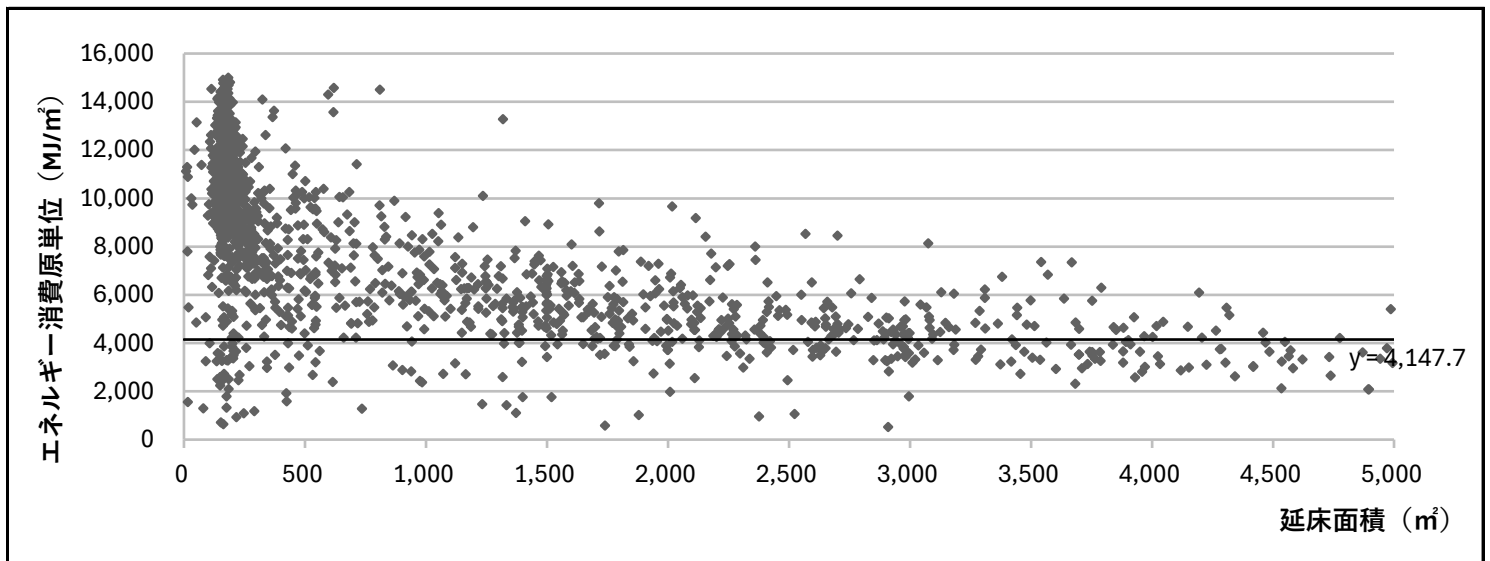
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:1303)



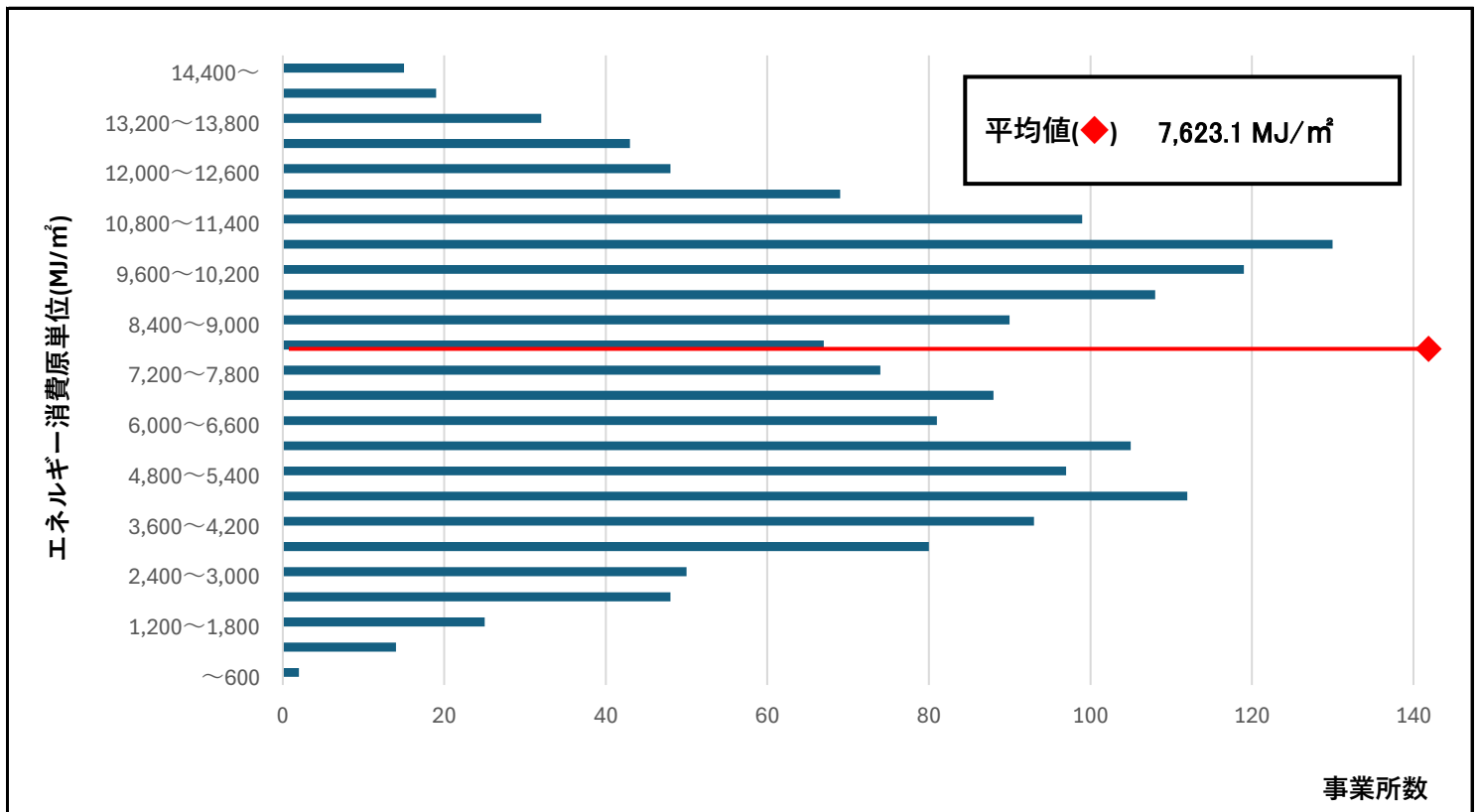
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



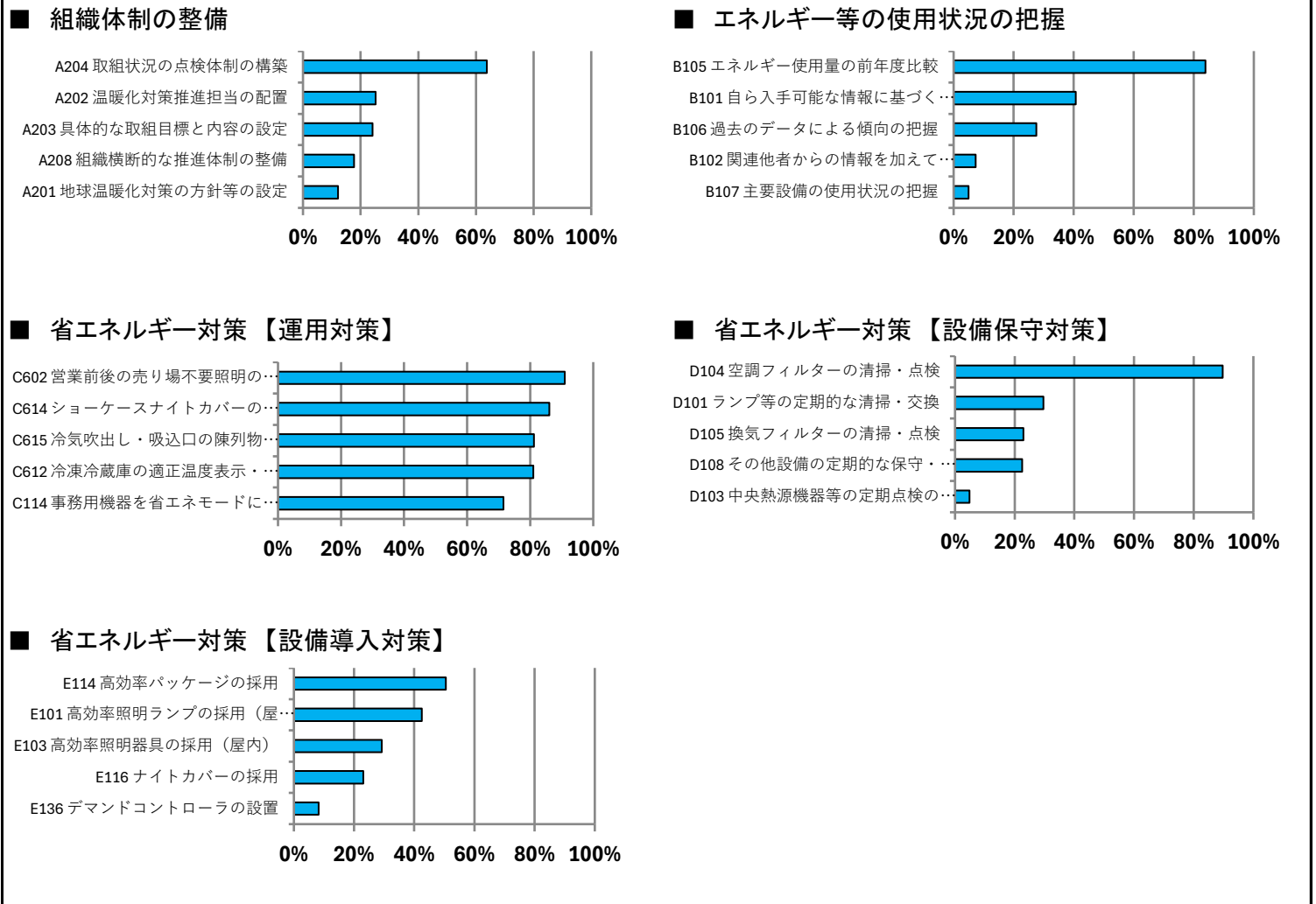
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

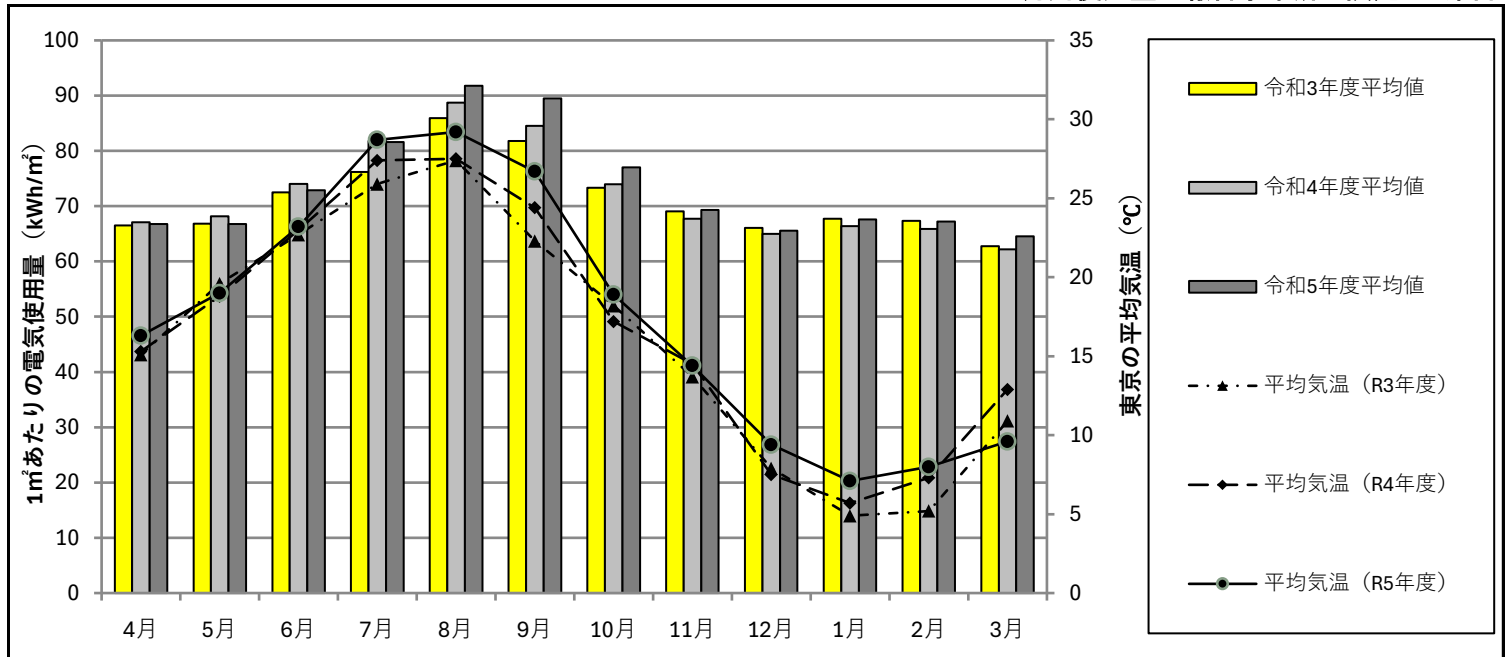


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

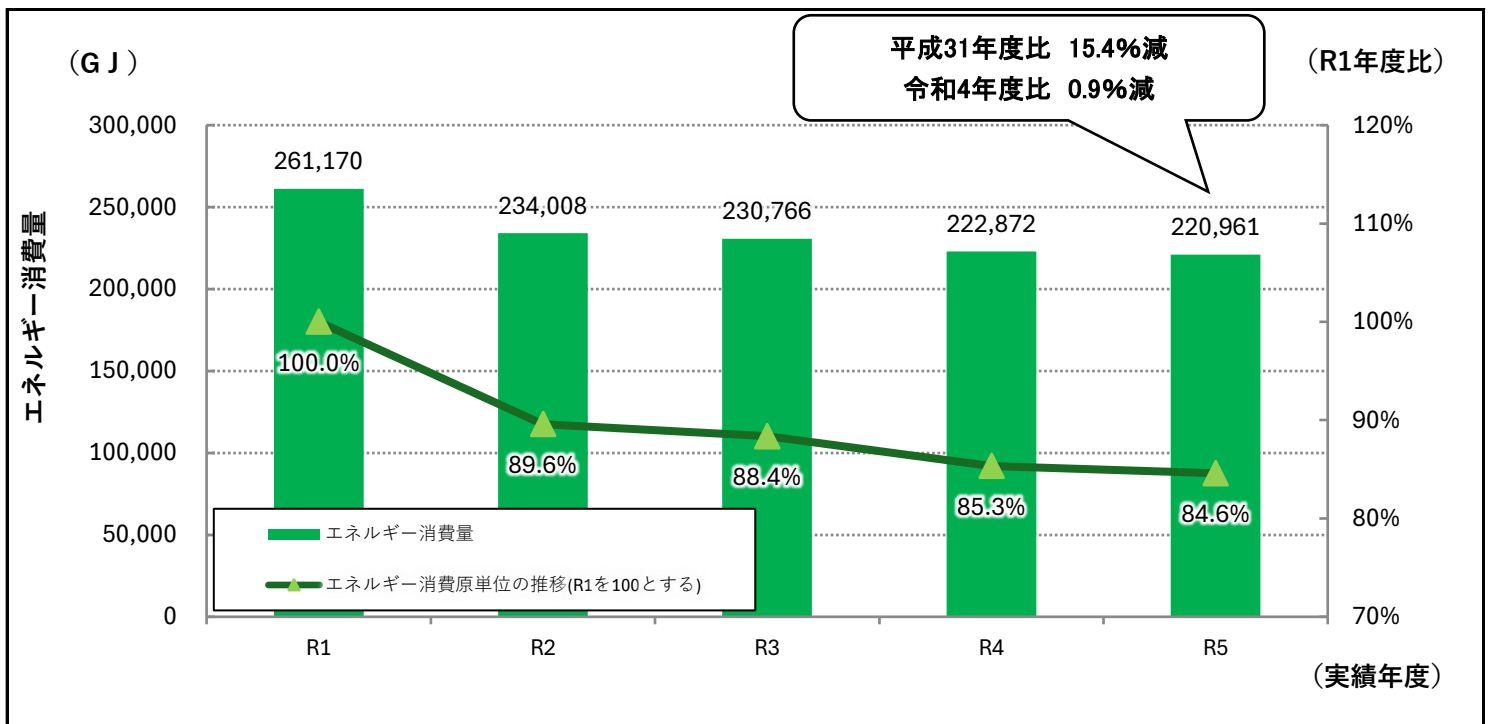
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



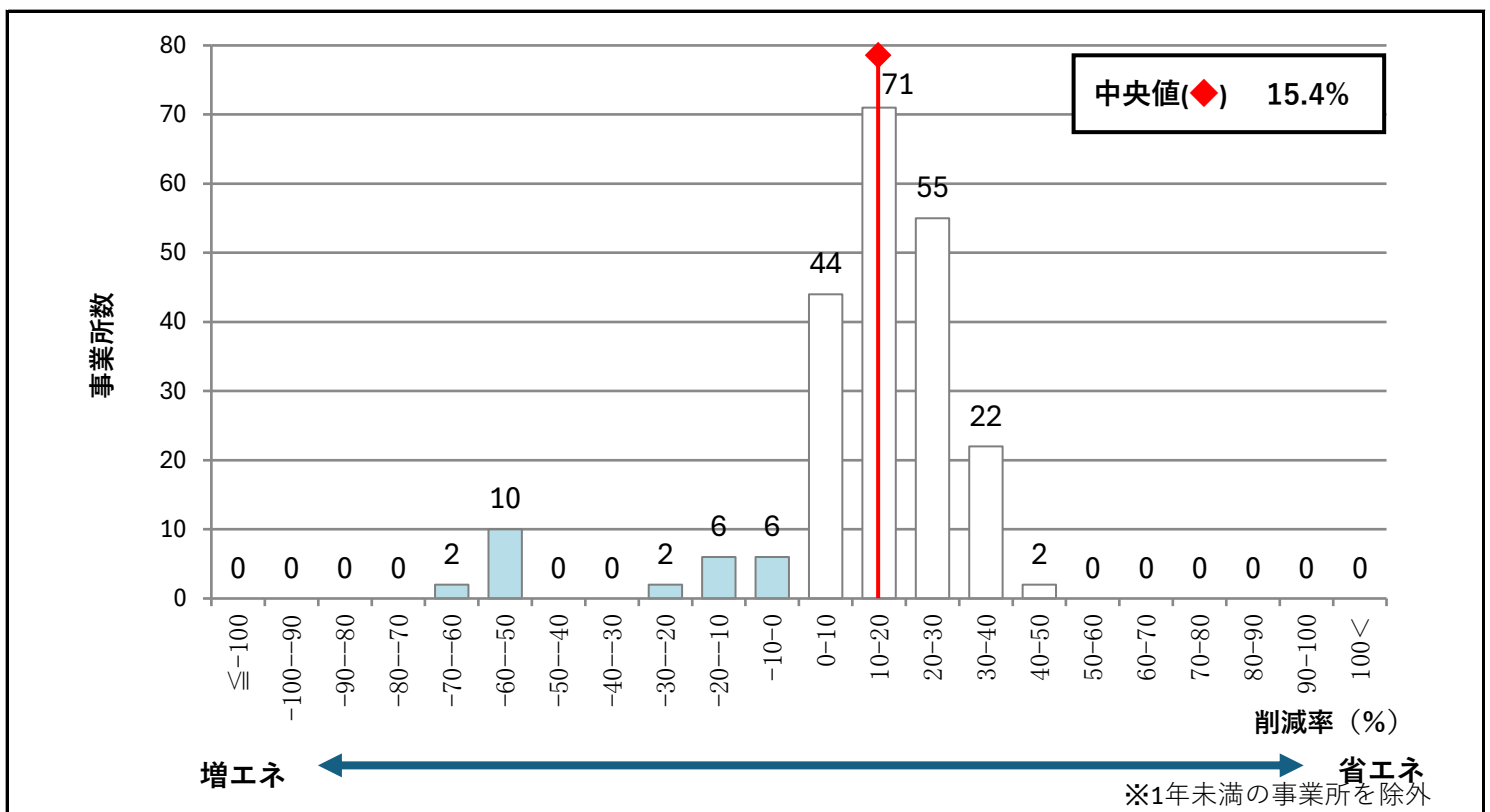
生鮮食品店のエネルギー消費は60%程度が冷蔵庫や冷凍ショーケースといわれています。冷凍冷蔵機器は庫内温度が下がるほど消費電力が増えるので、冷やし過ぎの防止がポイントになります。定期的に冷蔵庫内やショーケースの温度を記録するなどして、適正温度の保持に努めることが重要です。またショーケースから溢れた冷気が売場通路に流れ出てコールドアイルと呼ばれる寒い空間が生じるため、暖房時は天井に溜まっている暖かい空気をサーキュレータなどで床面に循環させることで暖房負荷の軽減を図りましょう。また冷蔵庫や冷凍ショーケースにはCO2冷媒などを使用したノンフロン冷凍機の採用をご検討ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5861 菓子小売(製造小売)」 「5863 パン小売(製造小売)」 「5895 料理品小売業」 「77** 持ち帰り・配達飲食サービス」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」
物販店(食料品の製造小売)	248	233	

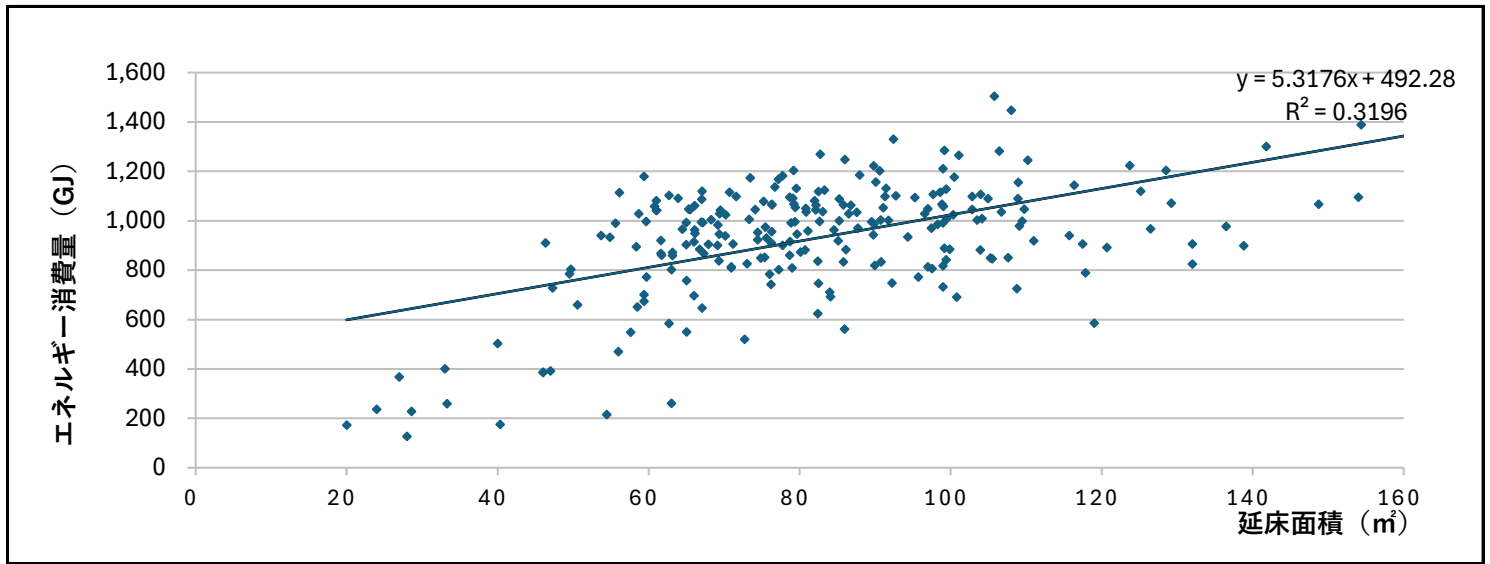
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:225)



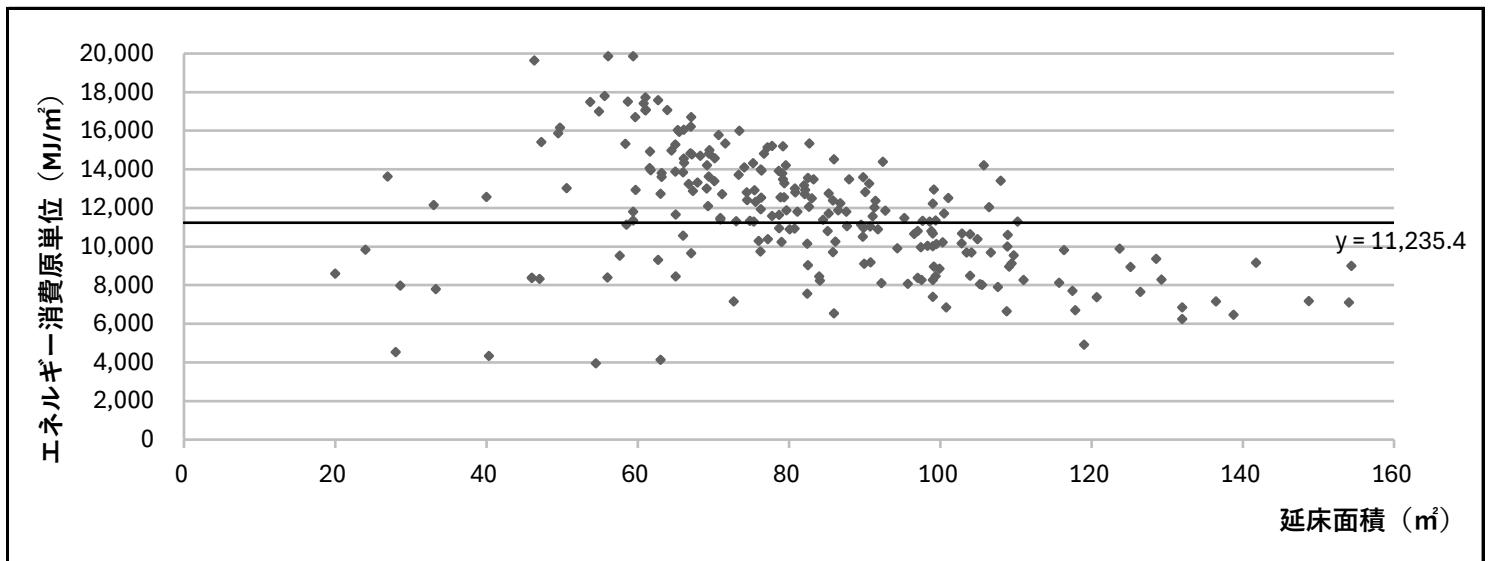
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:220)



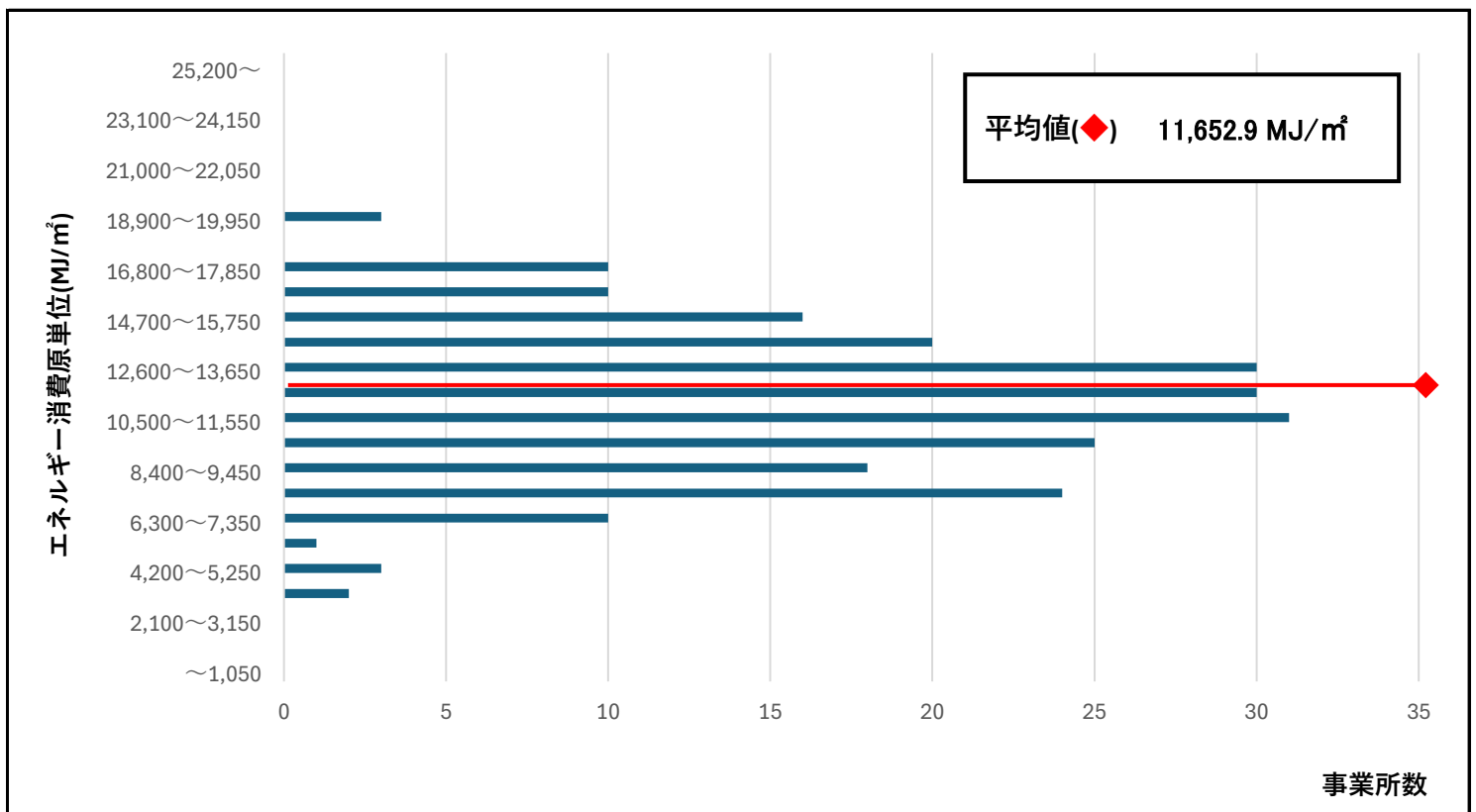
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



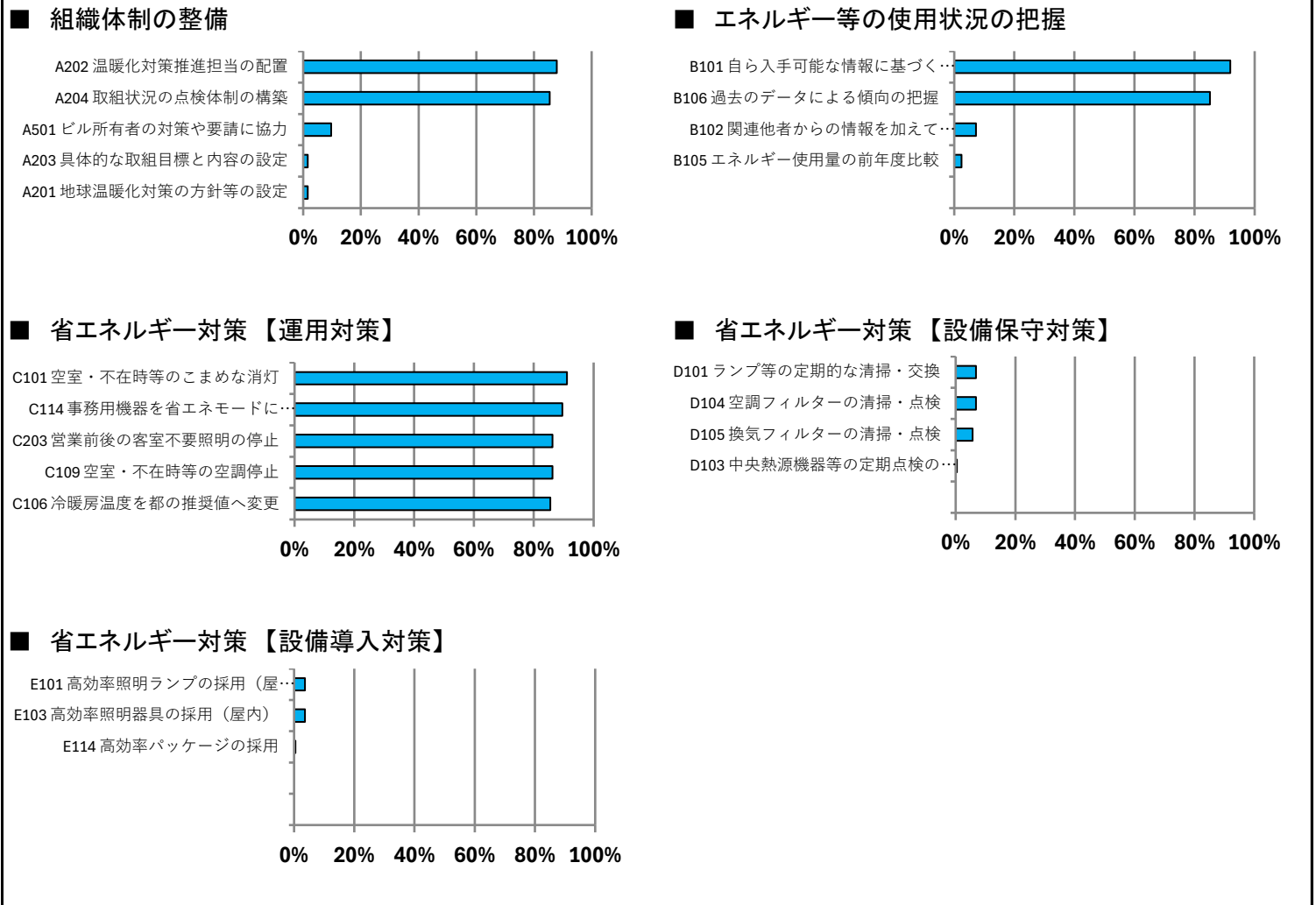
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

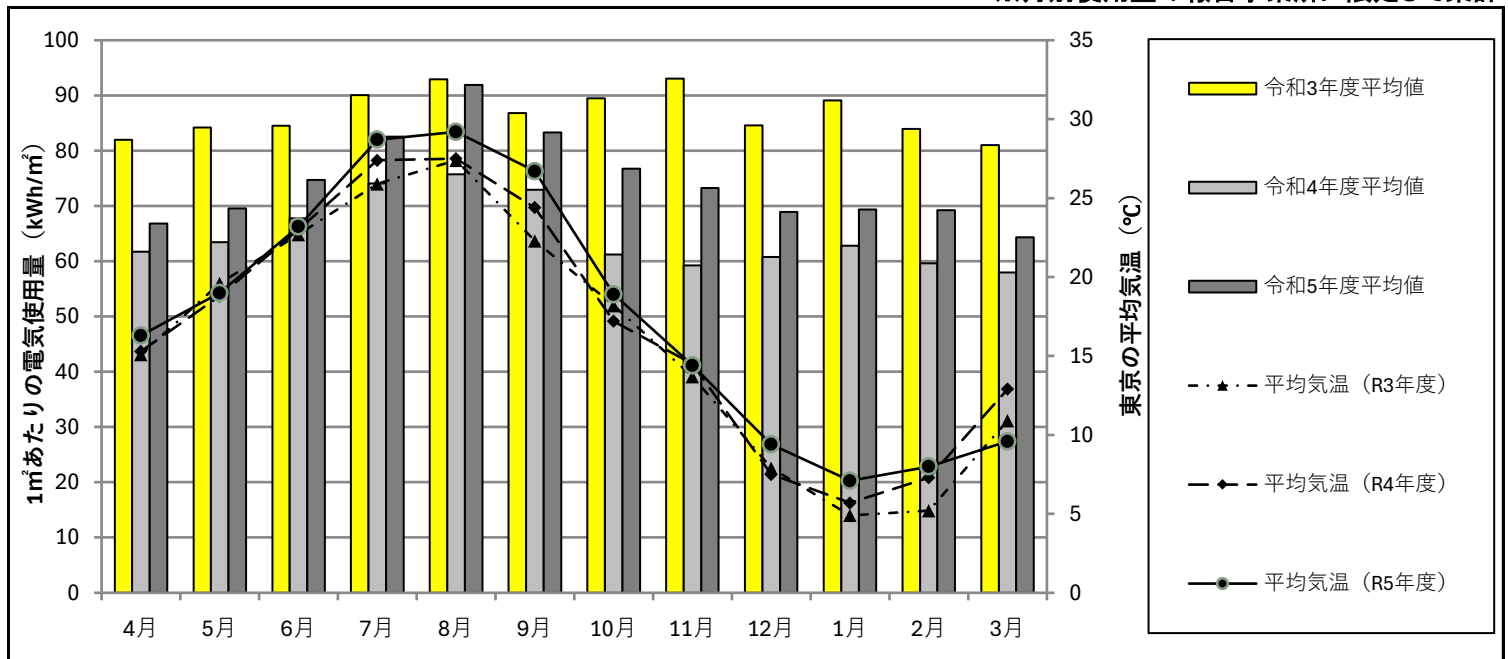


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

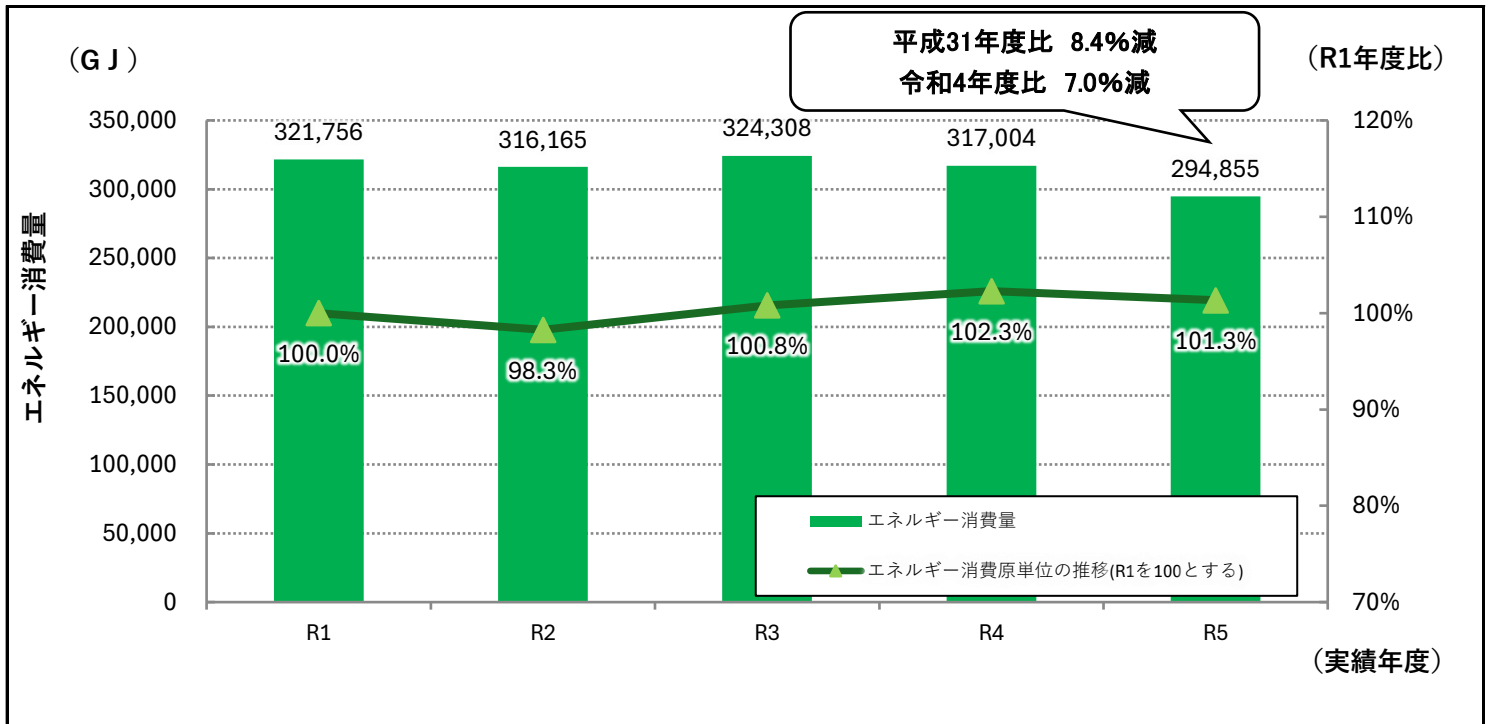
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



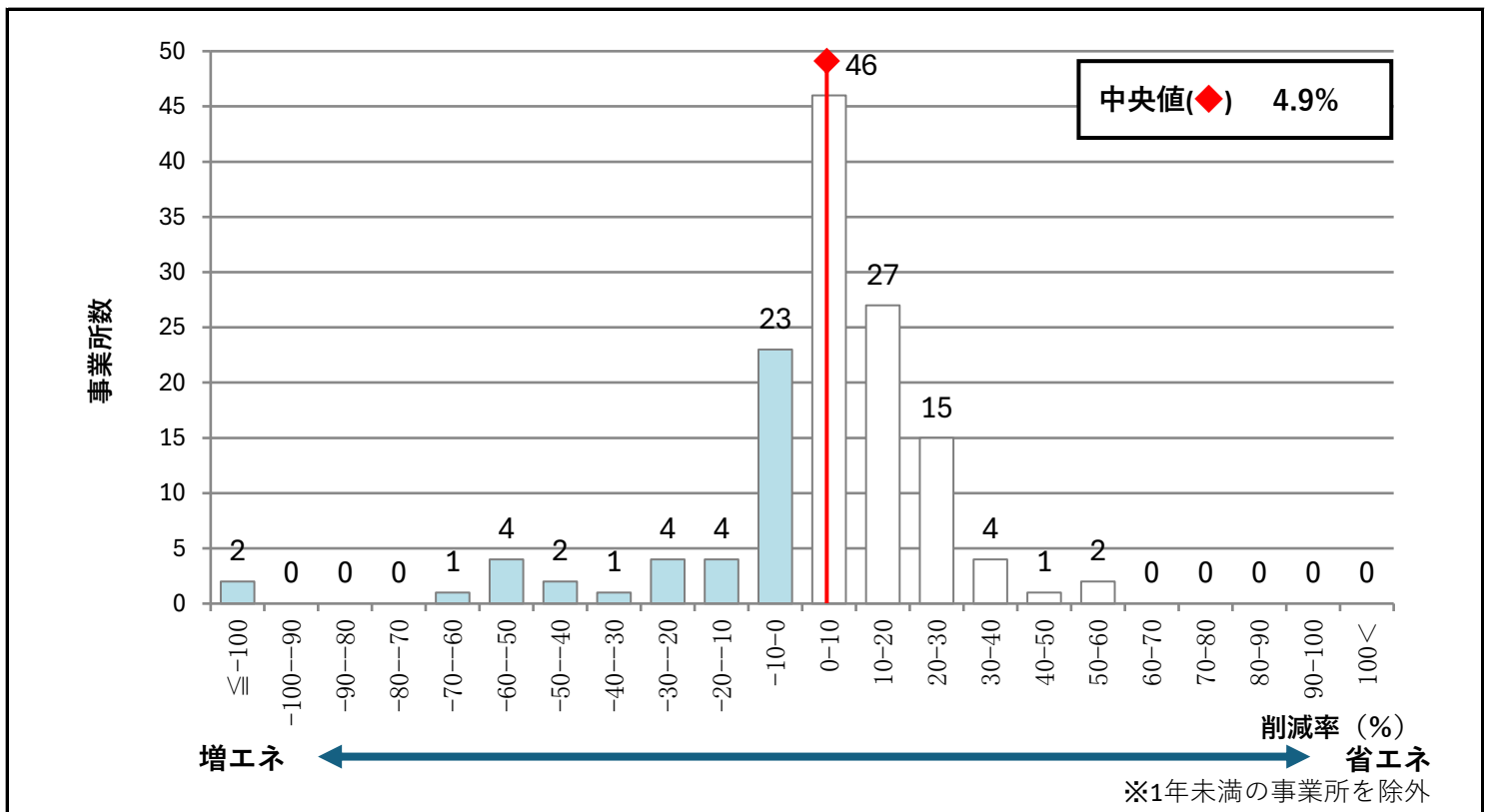
冷凍冷蔵機器は庫内温度が下がるほど消費電力が増えるので冷やし過ぎの防止がポイントになります。定期的に冷蔵庫内やショーケースの温度を記録するなどして、適正温度の保持に努めることが重要です。食品製造時のレンジ使用の際は、仕込や準備時間帯のレンジフード排気はインバータを導入して排気量の削減をする事が効果的です。また冷蔵庫や冷凍ショーケースにはCO2冷媒などを使用したノンフロン冷凍機の採用をご検討ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類 「57** 織物・衣服・身の回り品小売業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（物販）」
物販店（服飾店）	185	178	

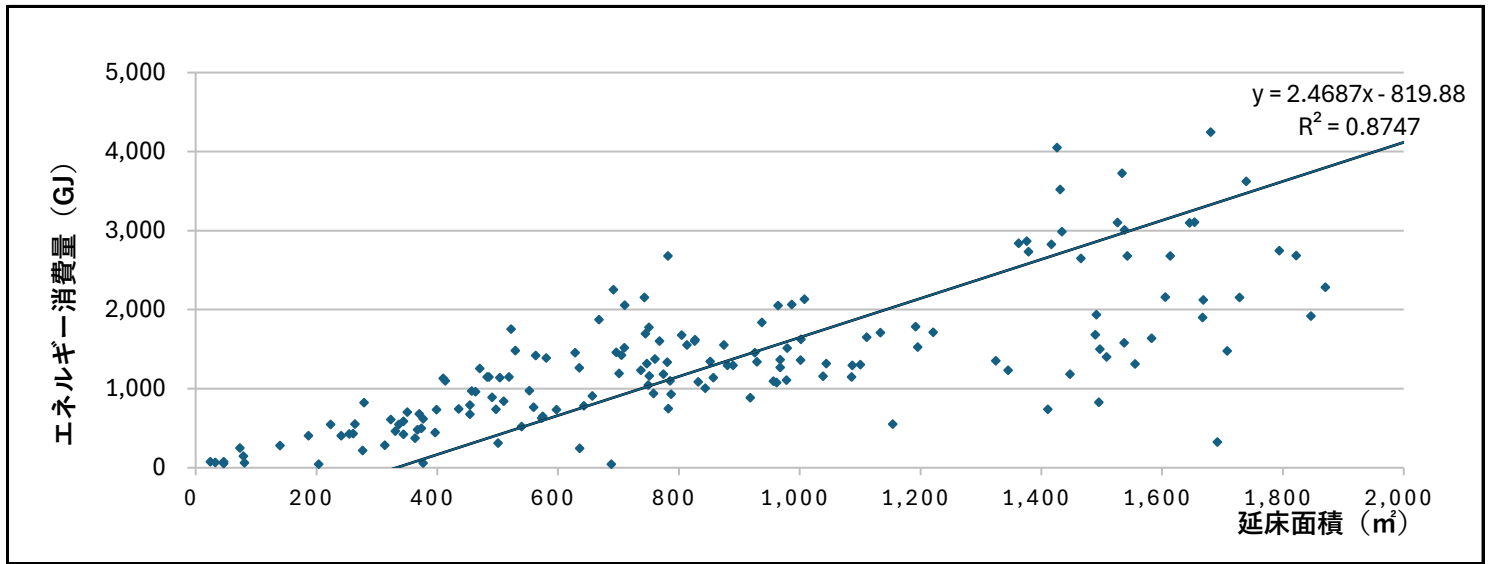
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:149)



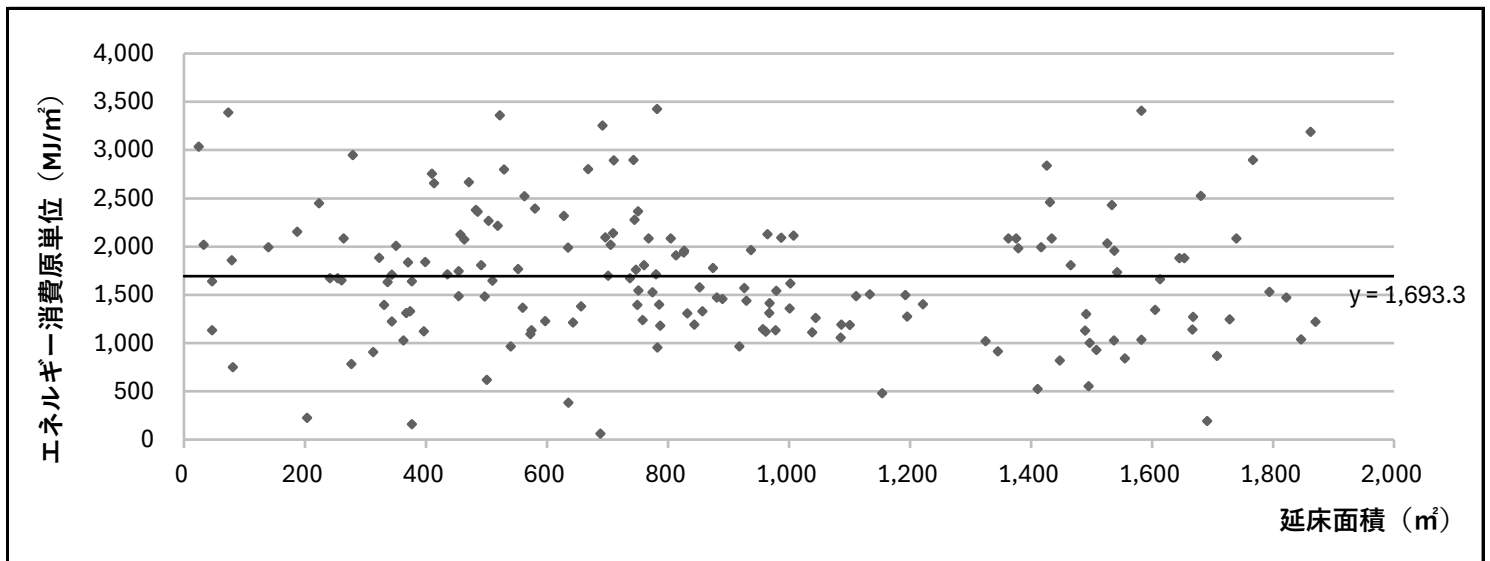
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:136)



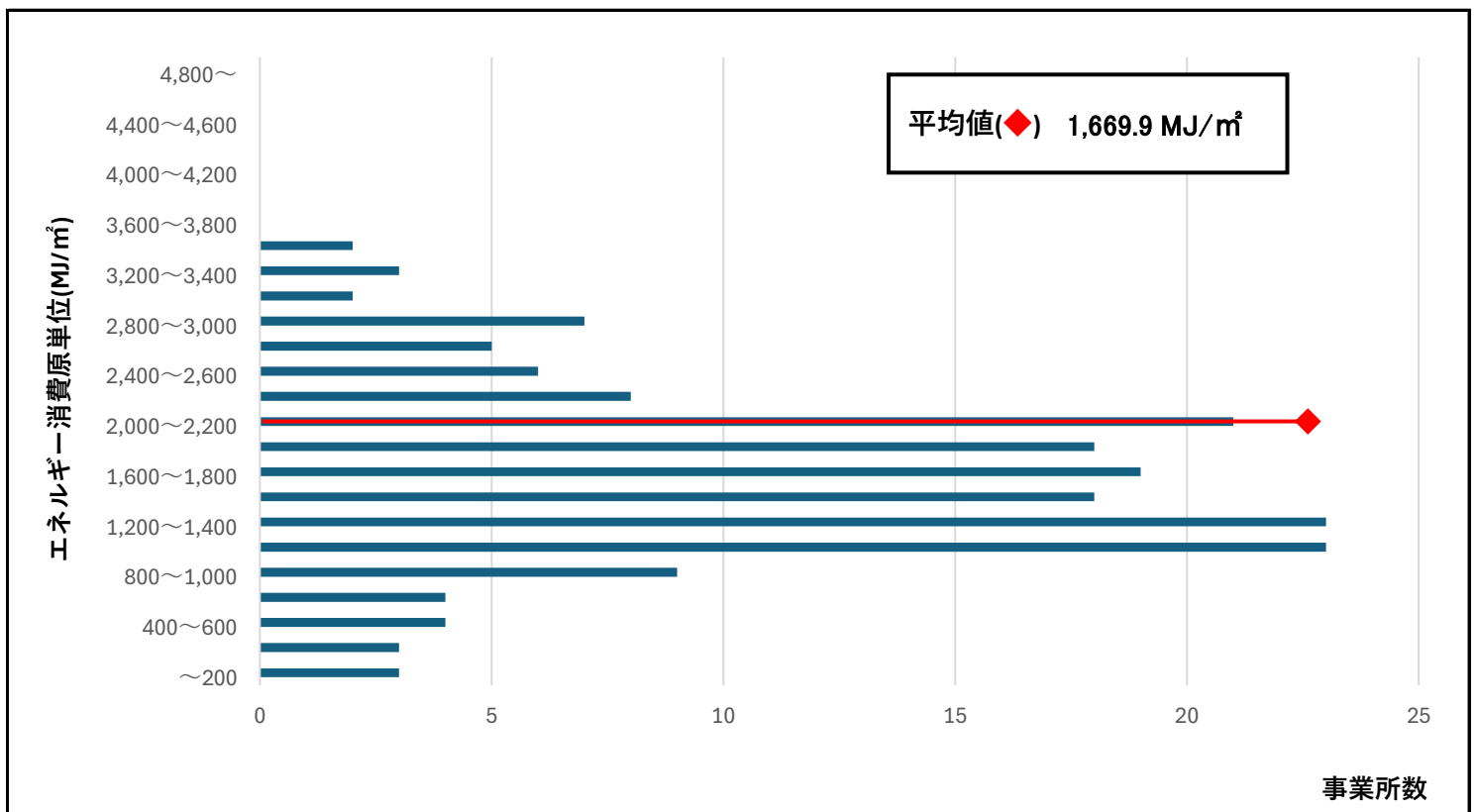
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



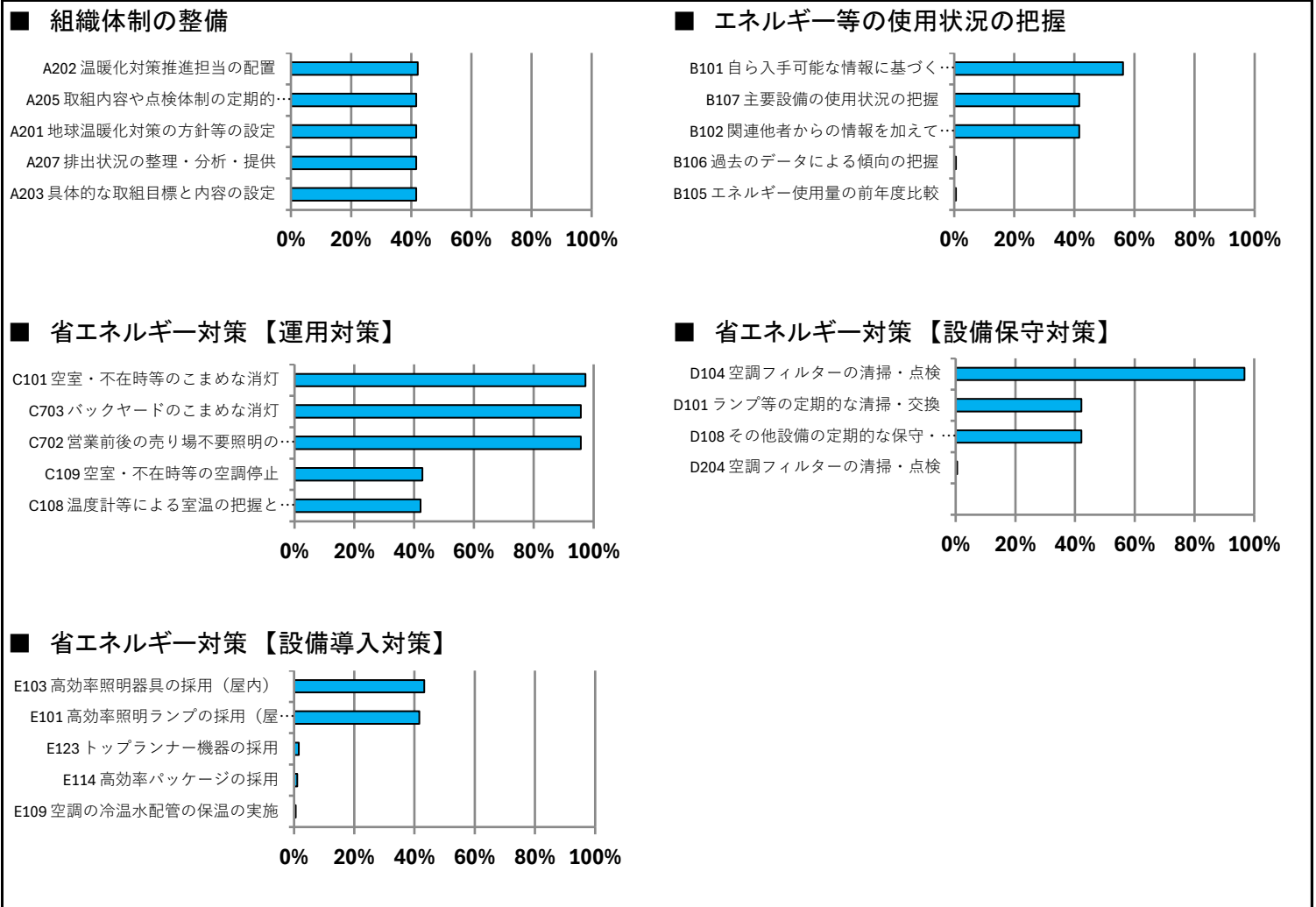
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

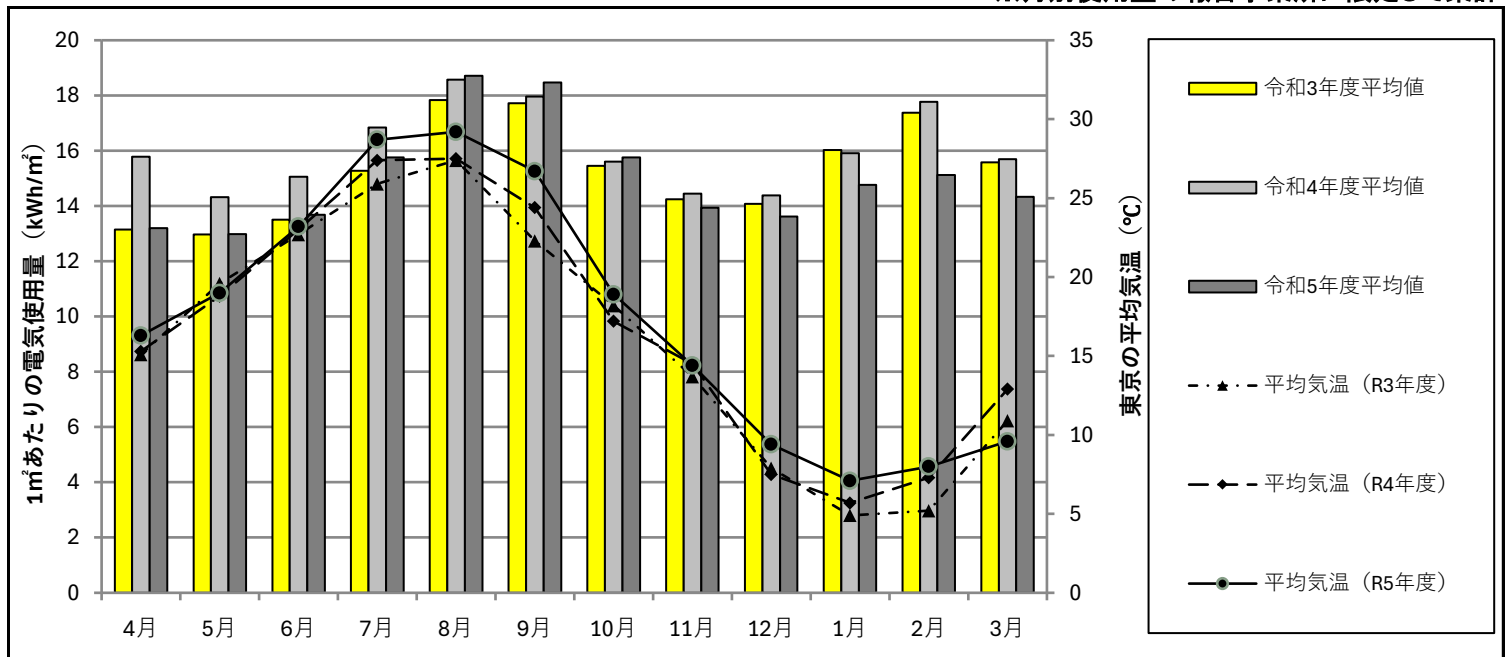


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

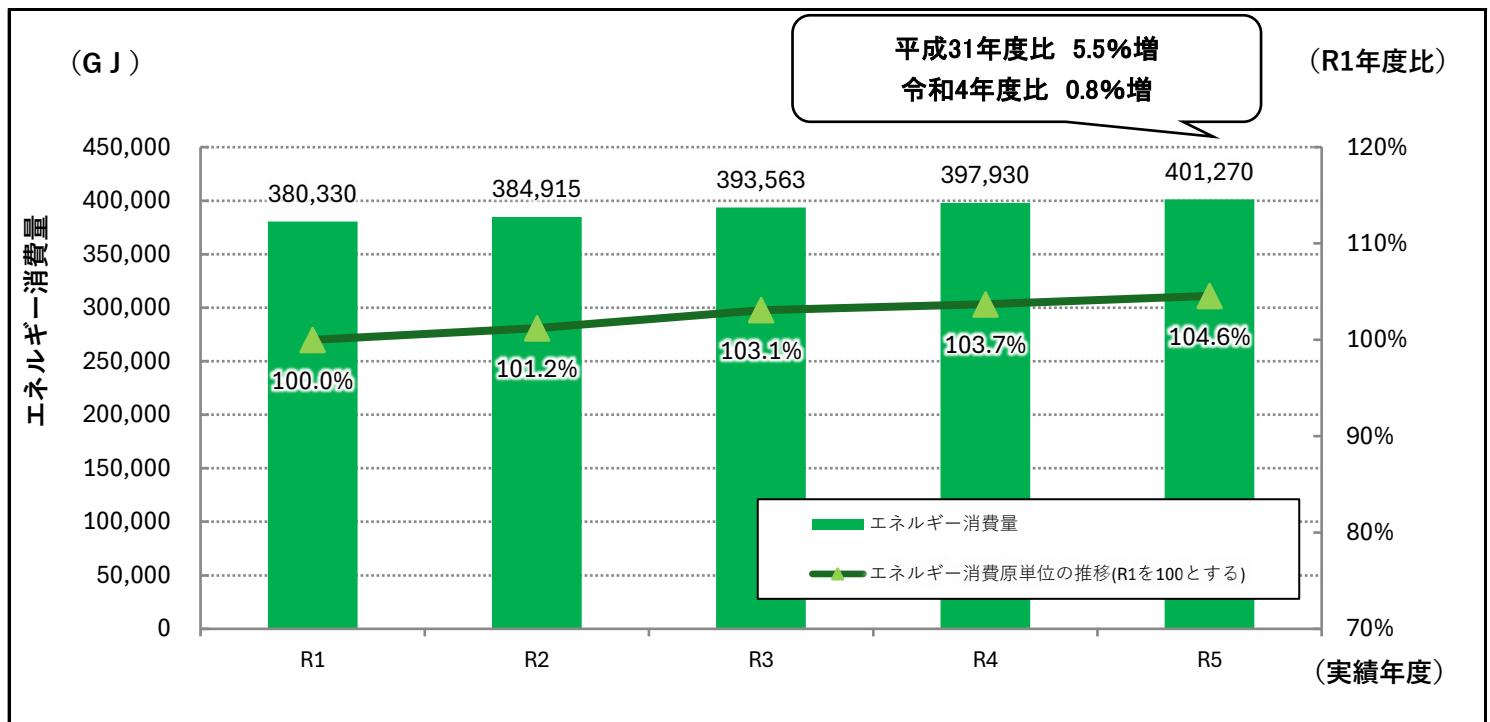
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



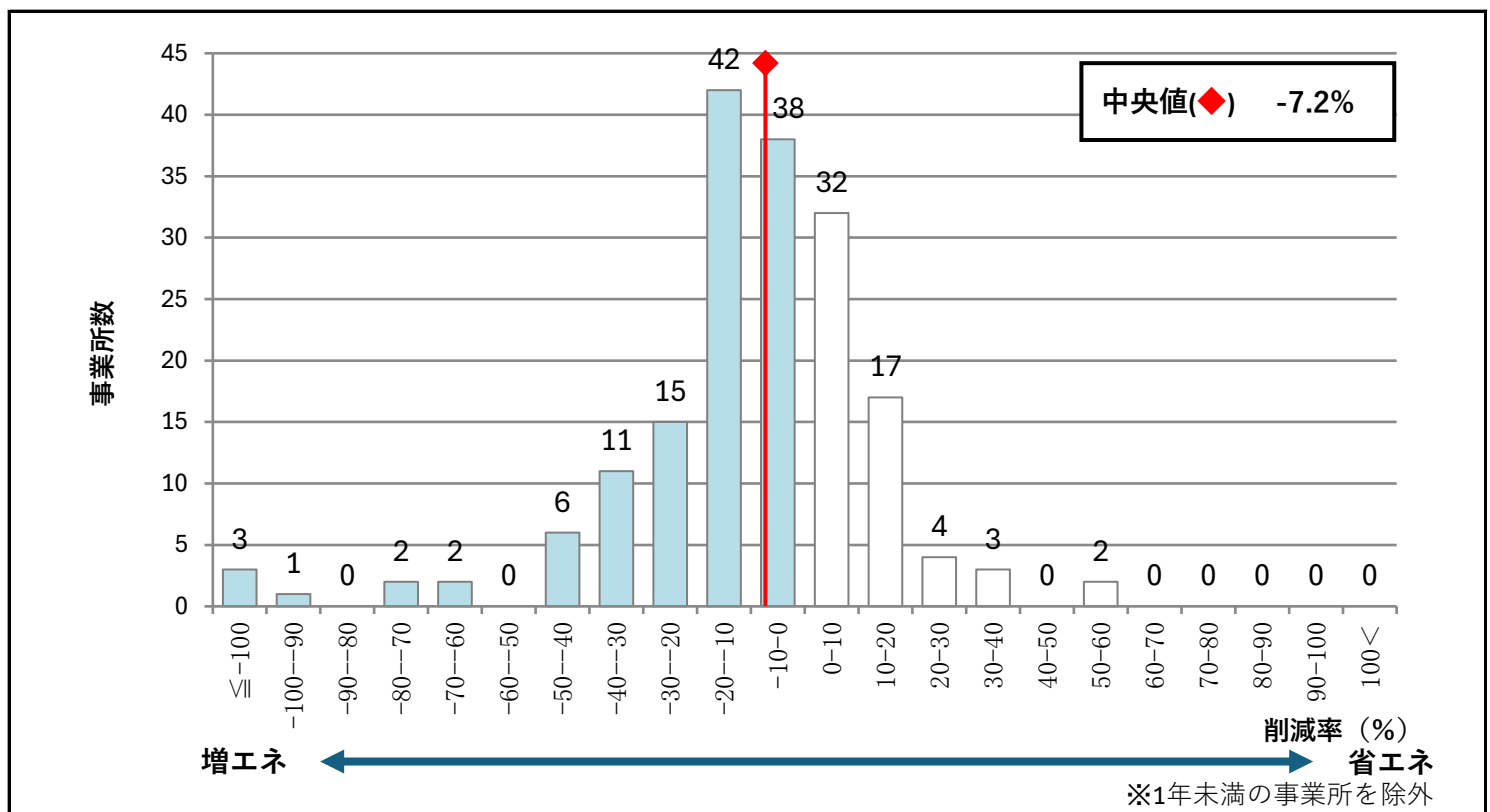
天井照明（ベースライト）のLED化を図りましょう。また衣類の販売においては、商品の材質感や高級感を際立たせるため、演色性に優れたLED照明器具を活用したスポット照明の採用がお勧めです。天井照明の照度を適正に調整して販売フロアの照度が過剰にならないように調整しましょう。古いエアコンの高効率化は積極的に実施することをお勧めします。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5911 自動車（新車）小売業」 ・報告範囲の主たる用途 「商業施設（物販）」「複合施設」
物販店（自動車小売）	185	182	

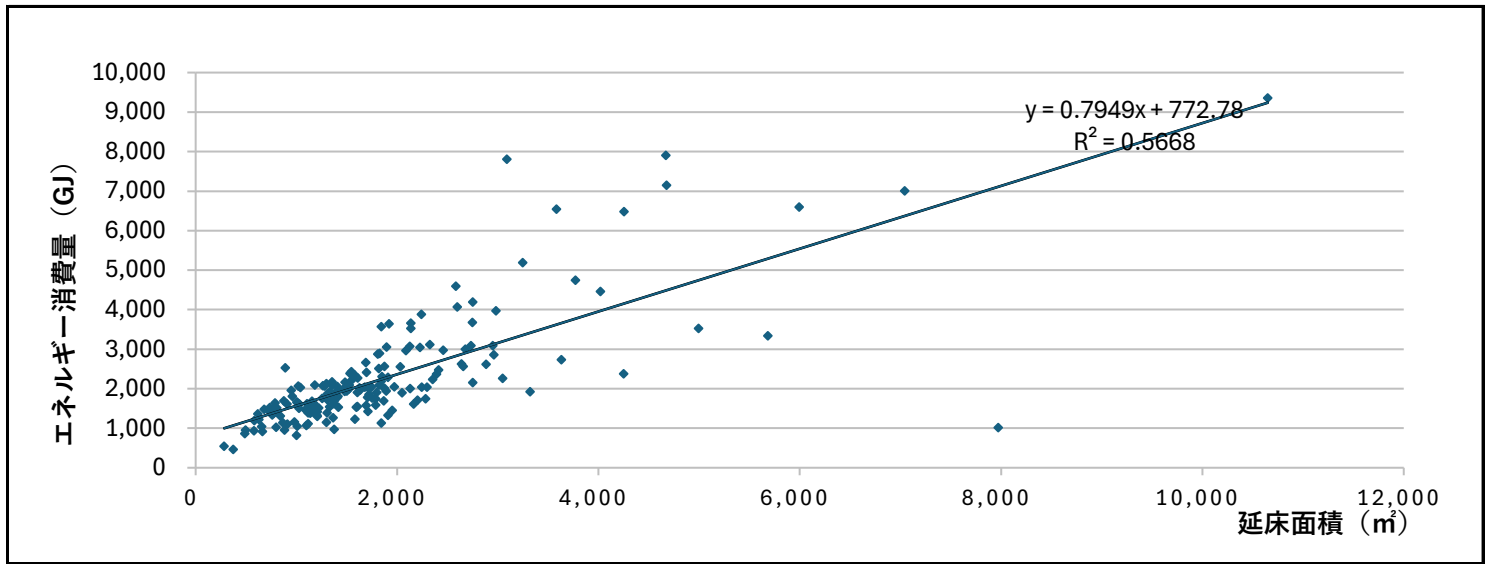
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:178)



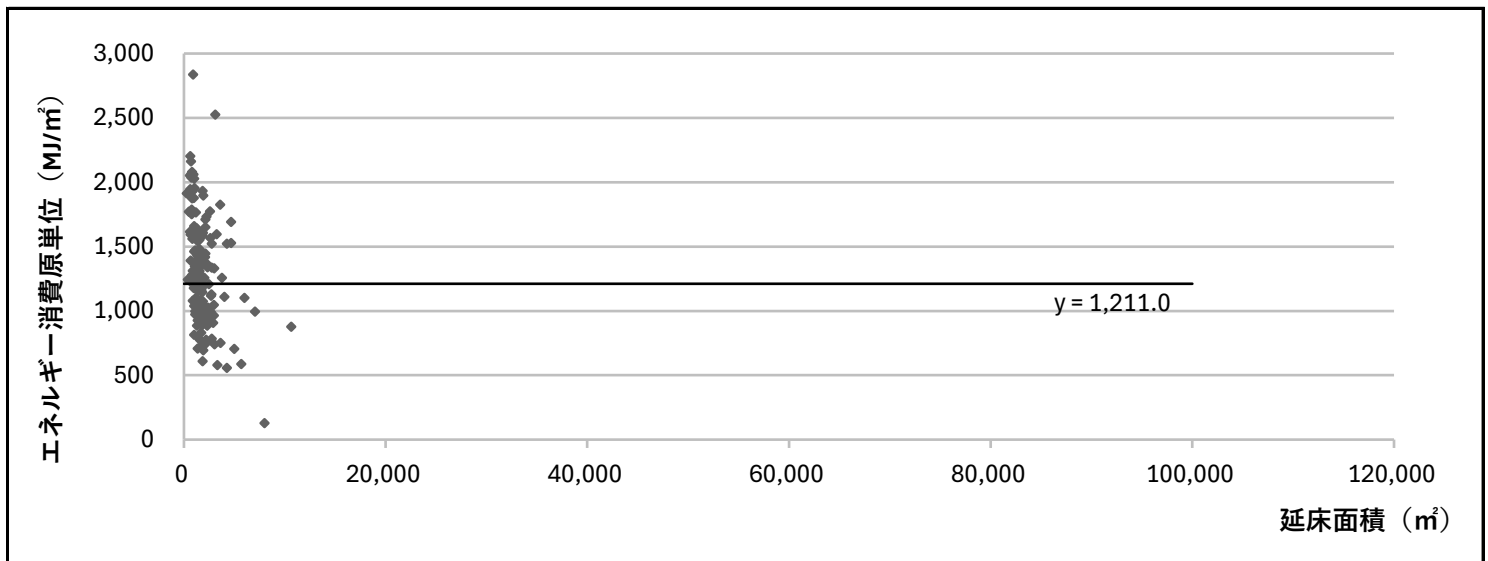
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:178)



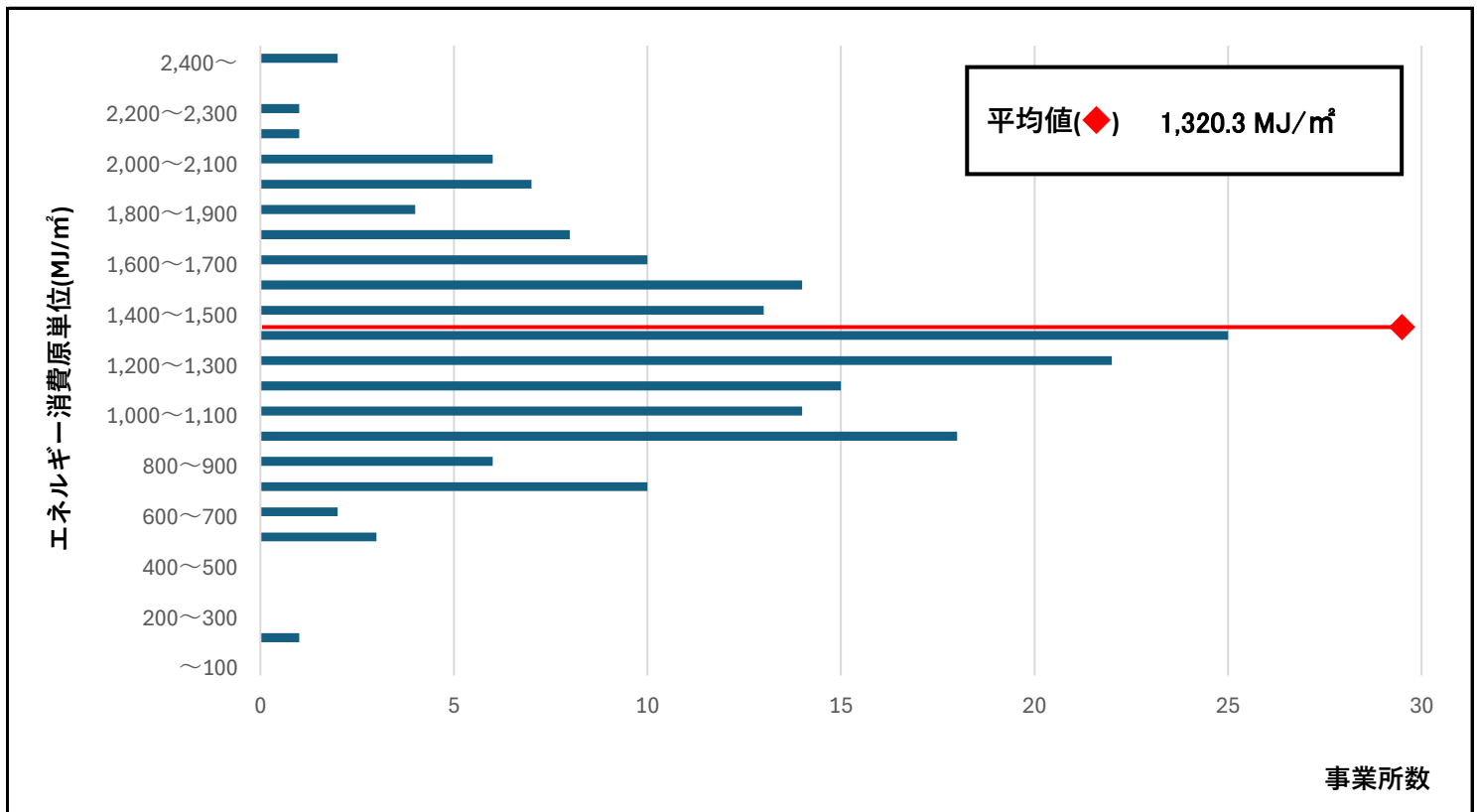
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



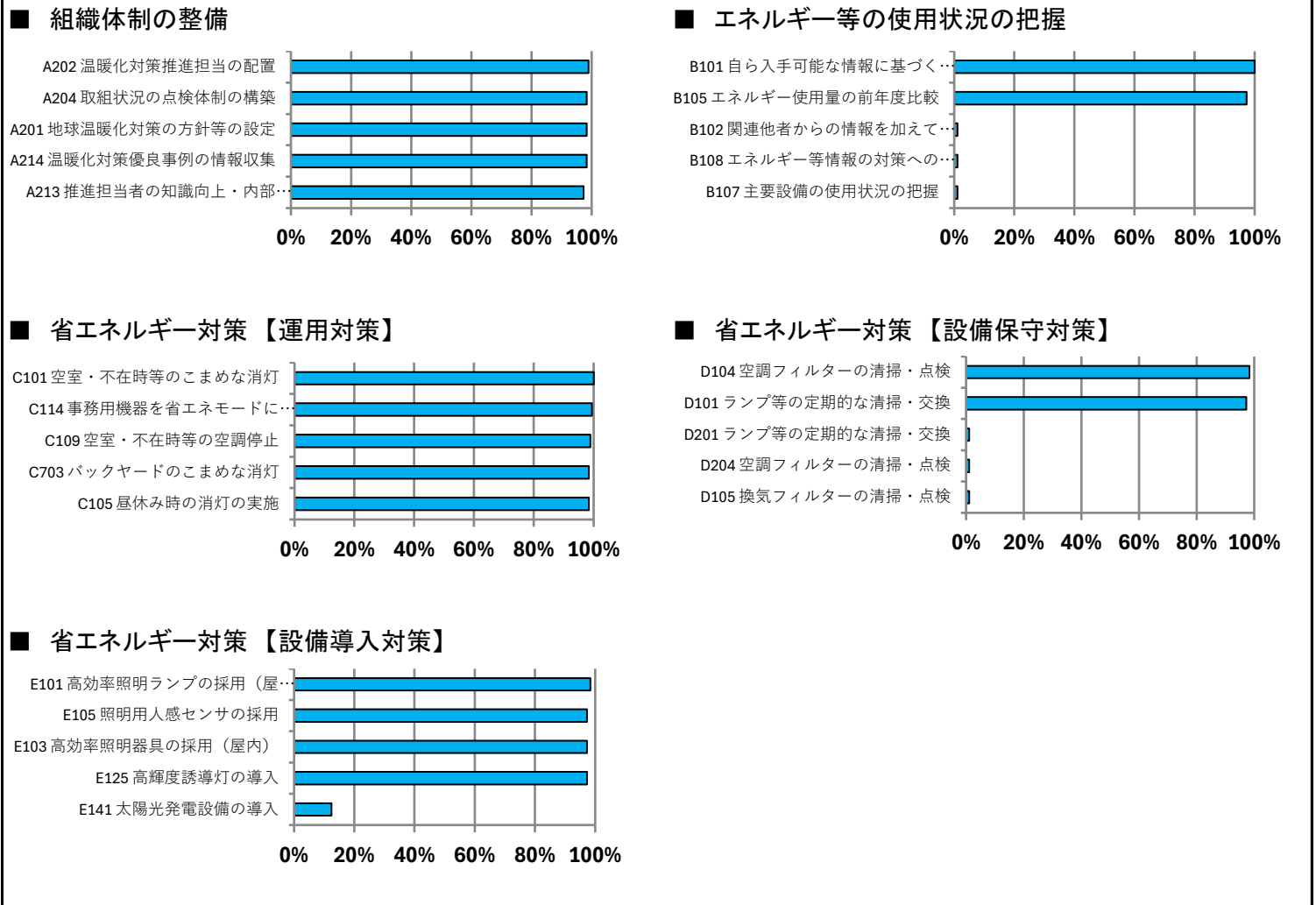
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

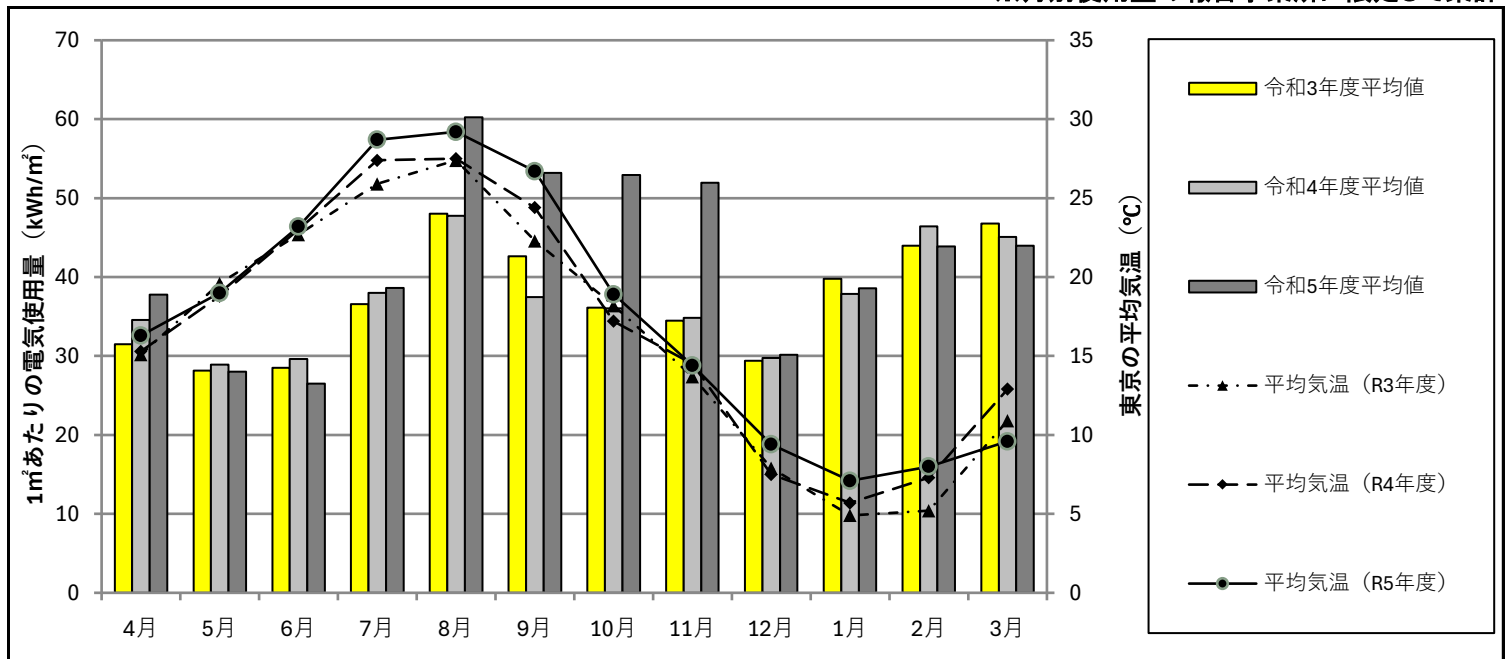


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

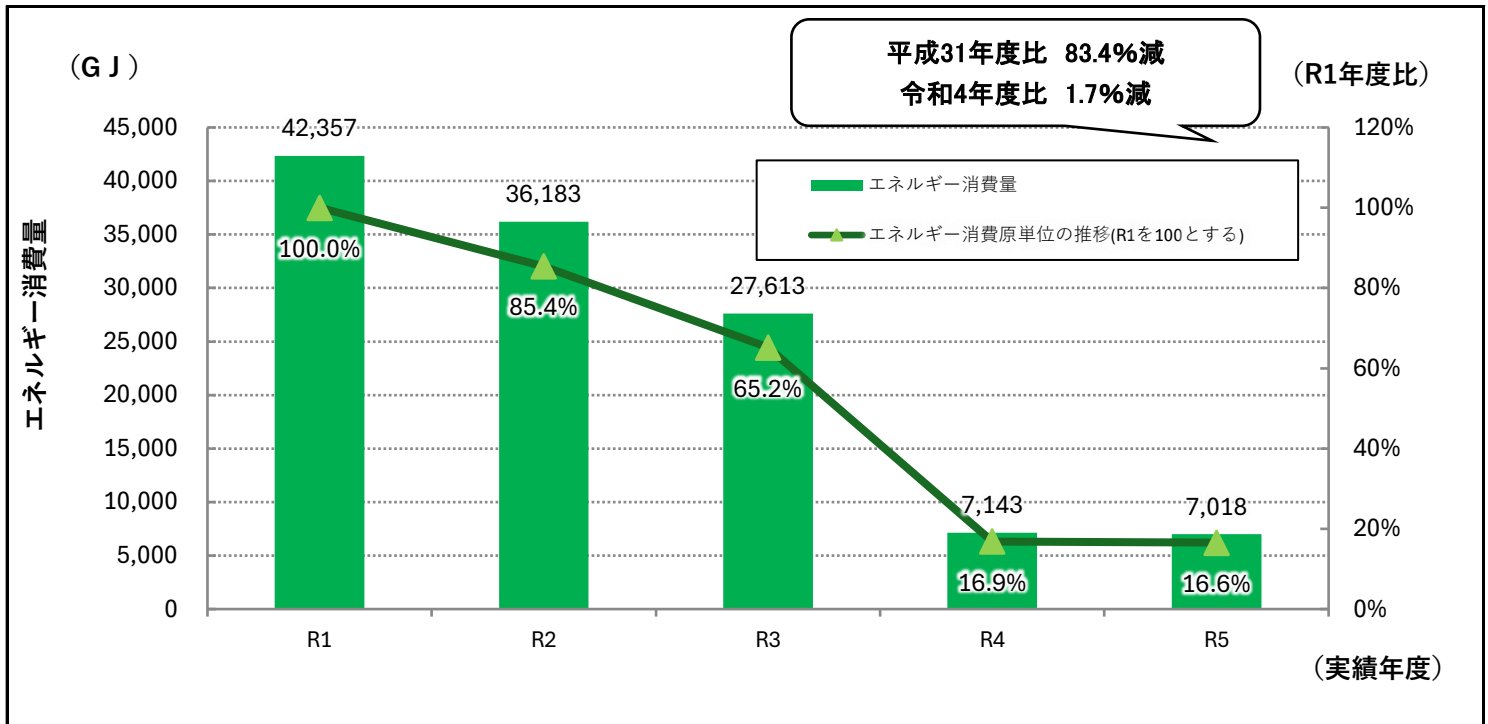
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



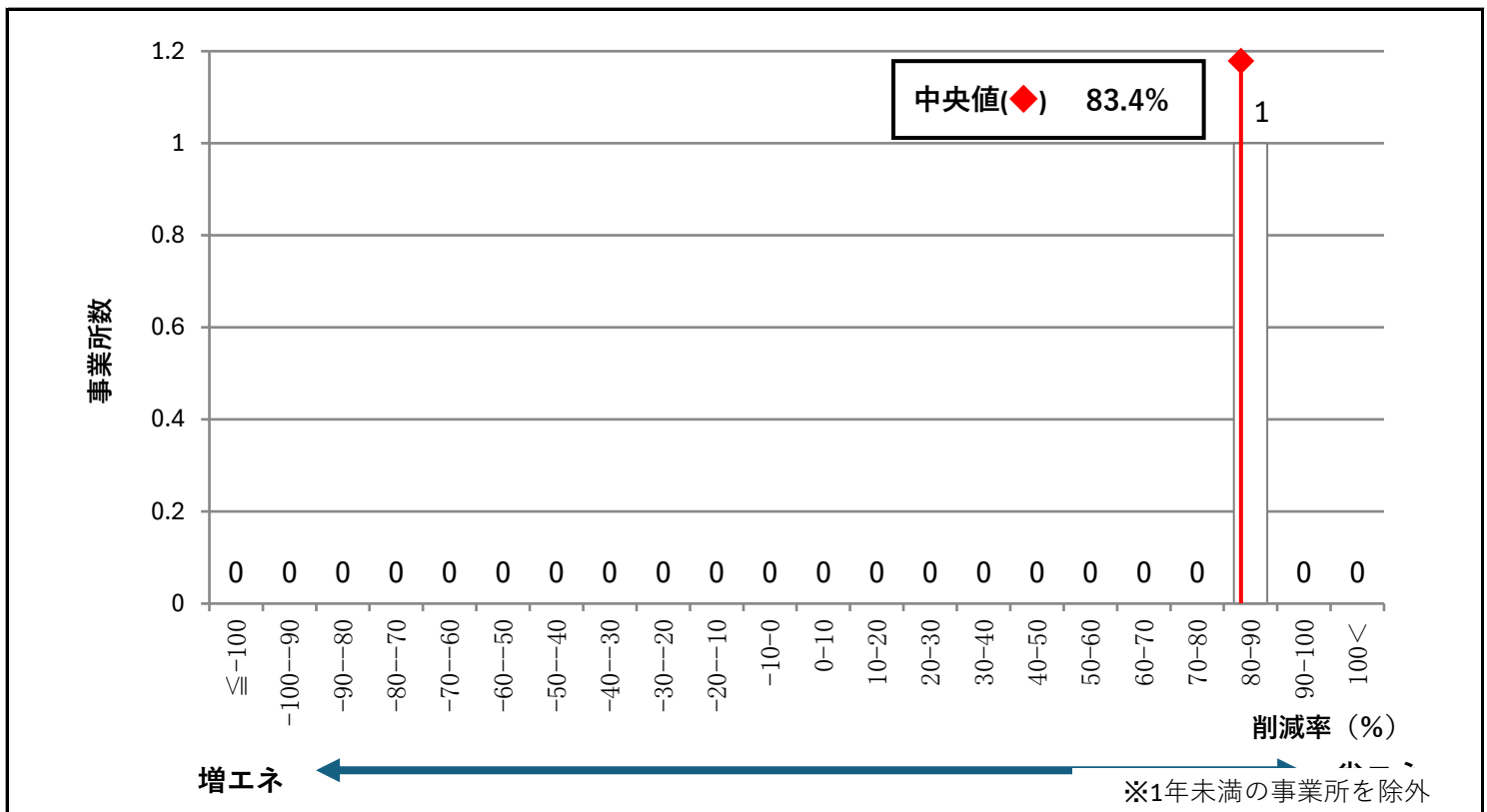
整備スペースには圧縮空気駆動のカーリフトがあります。エアコンプレッサーは吐出圧力が1MPa以上の高出力のものを採用しているケースがありますが、通常カーリフトに必要な圧力は0.7MPa～0.8MPa程度です。現状のコンプレッサー吐出圧力がカーリフトの減圧弁で設定されている圧力以上の場合、無駄な電力が消費されていますので圧力の適正化を図りましょう。また道路に面した壁は全面ガラス貼りのケースが多いですが、夏期の日射負荷や冬期の冷輻射による体感への影響を考慮して二重ガラスなどへの更新をお勧めします。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6099 他に分類されないその他の小売業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（物販）」
物販店（その他小売）	3	3	

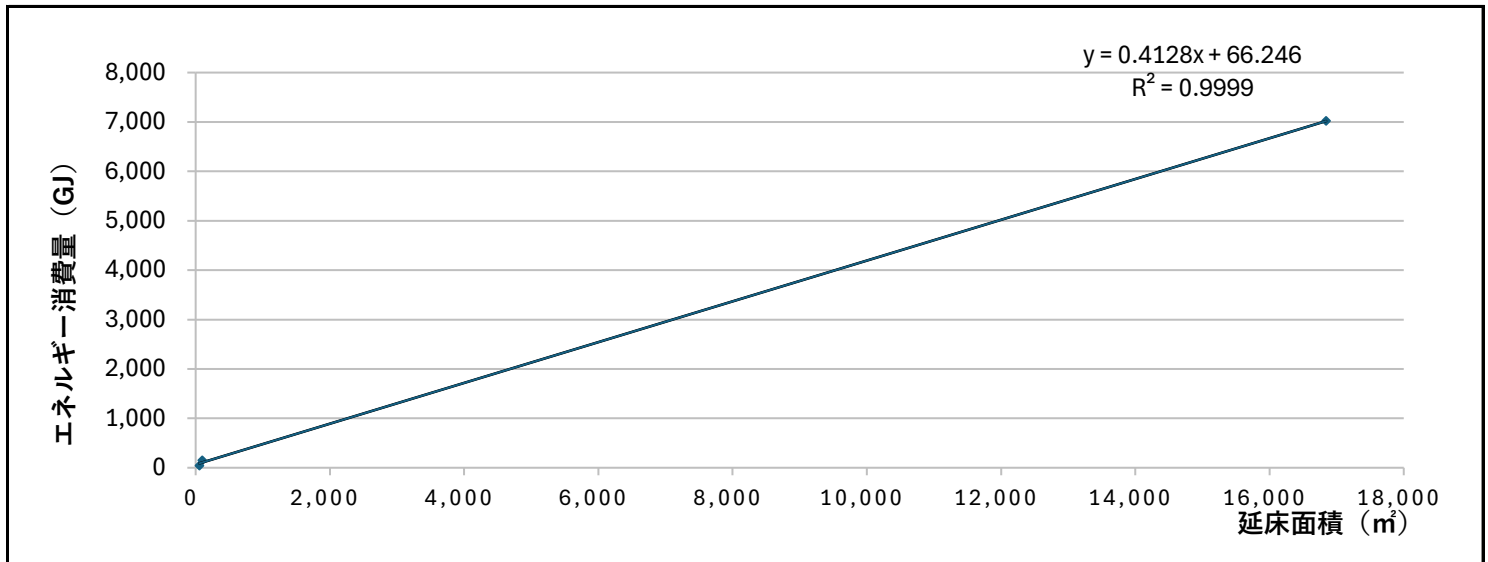
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1)



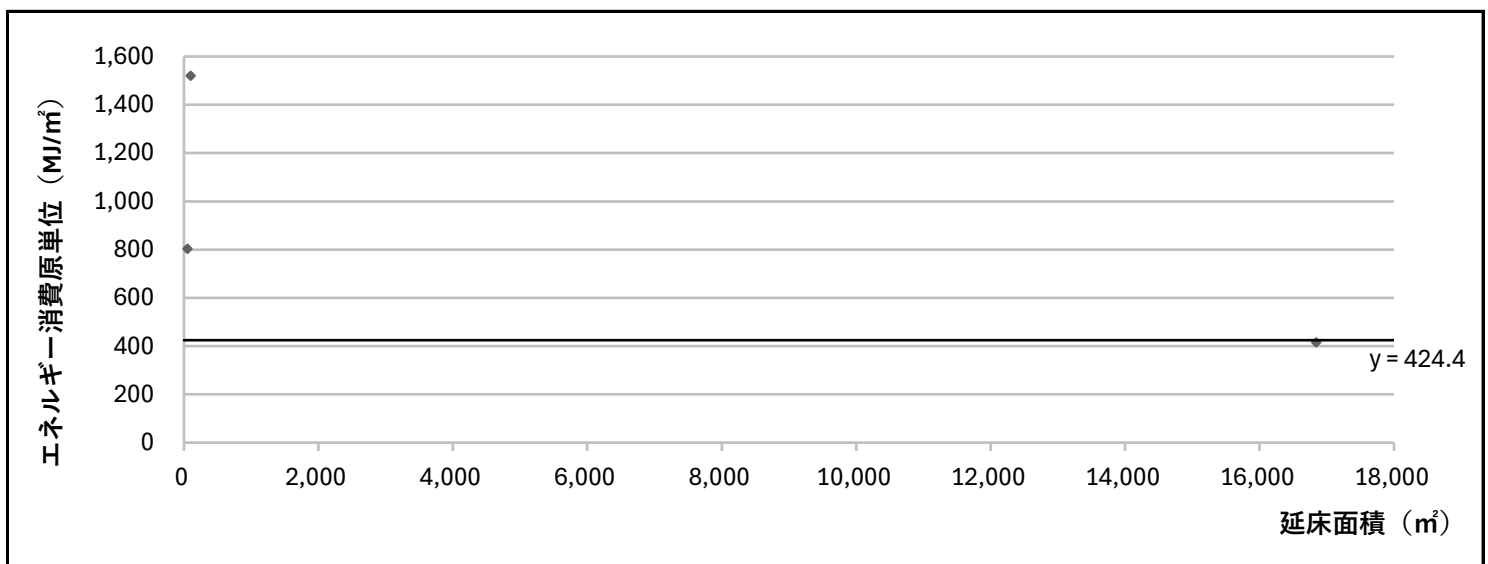
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:1)



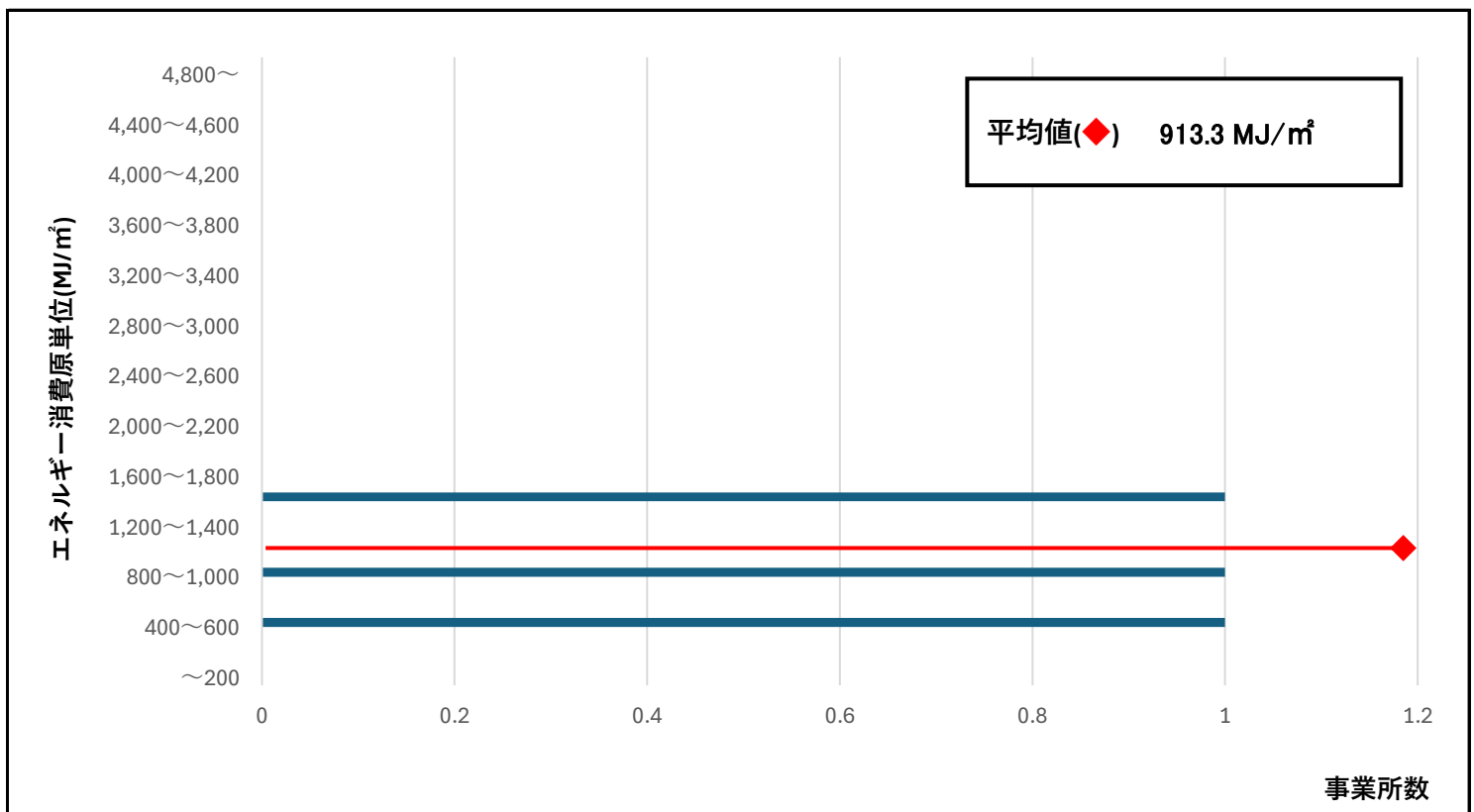
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



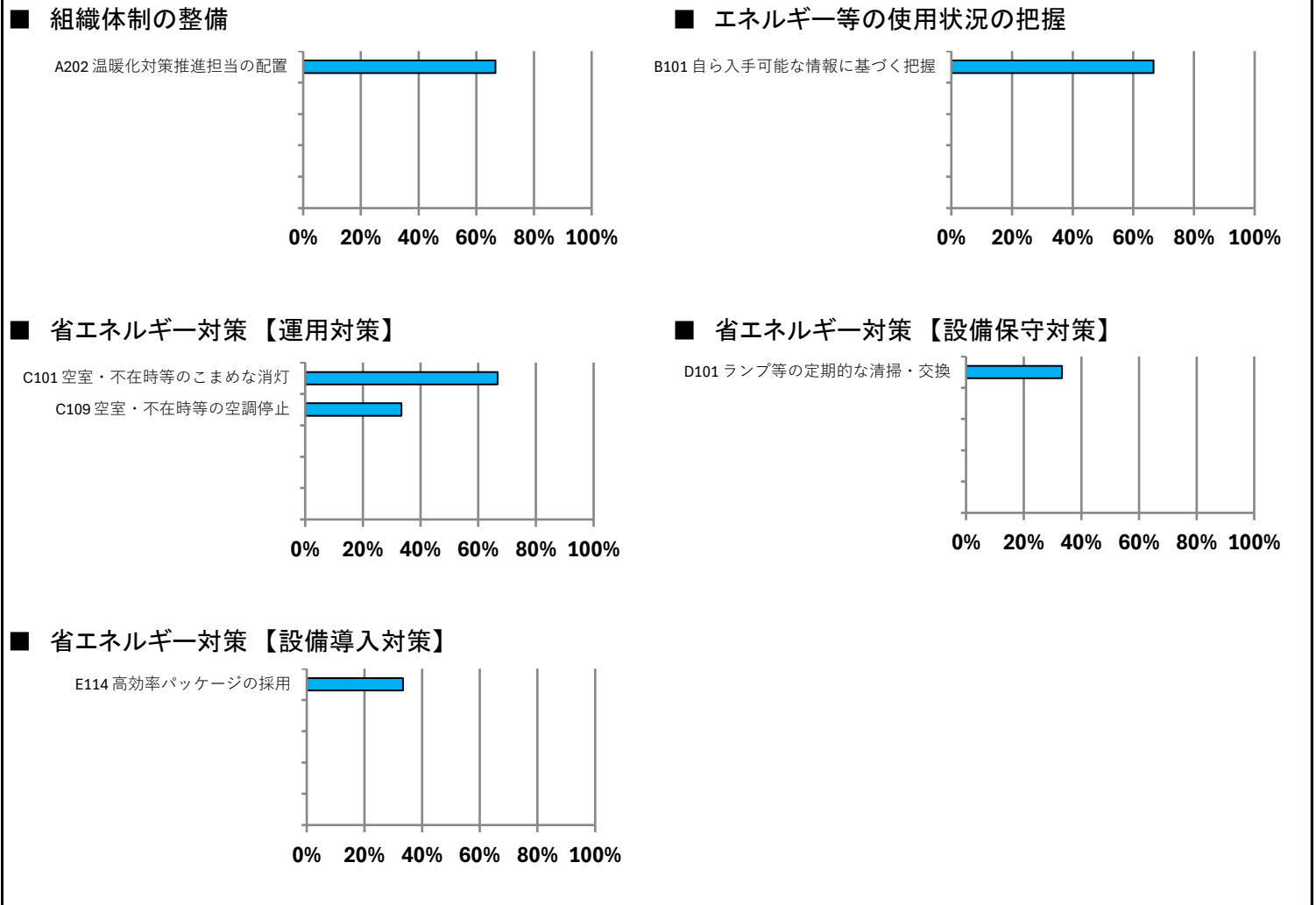
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

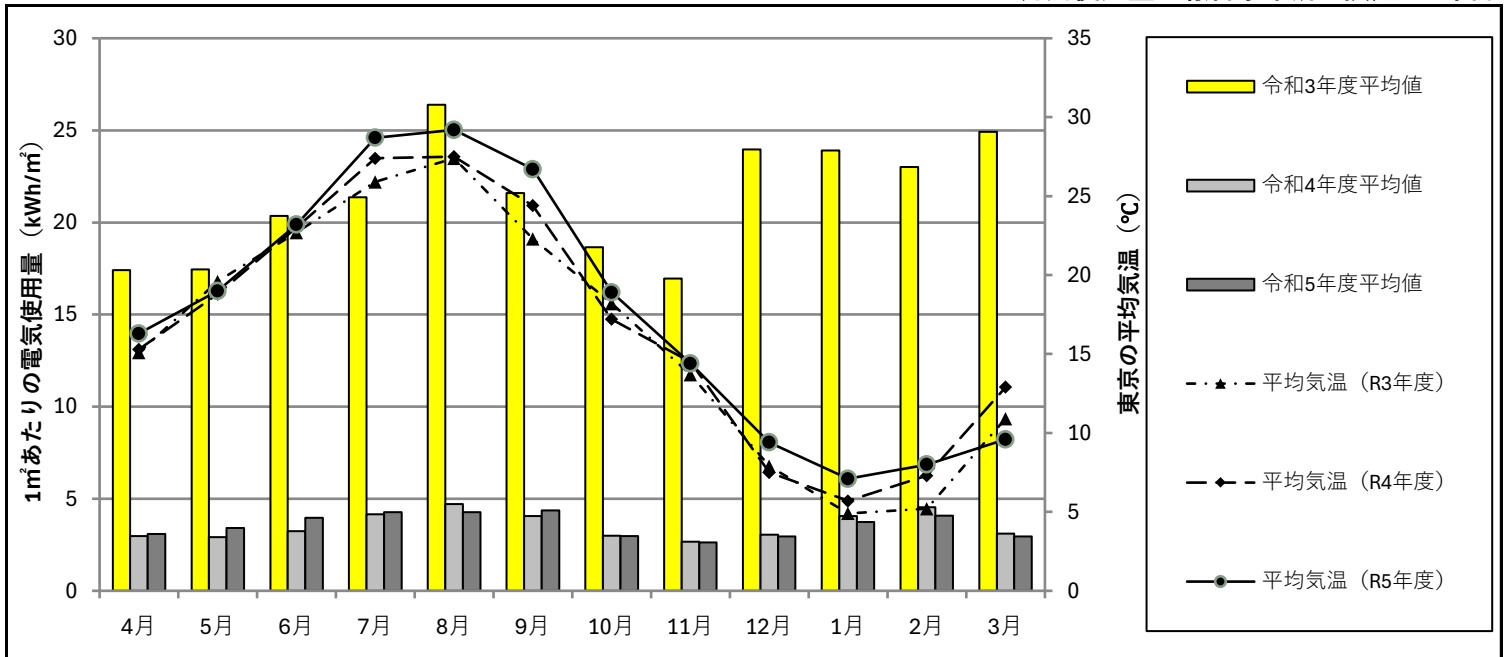


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

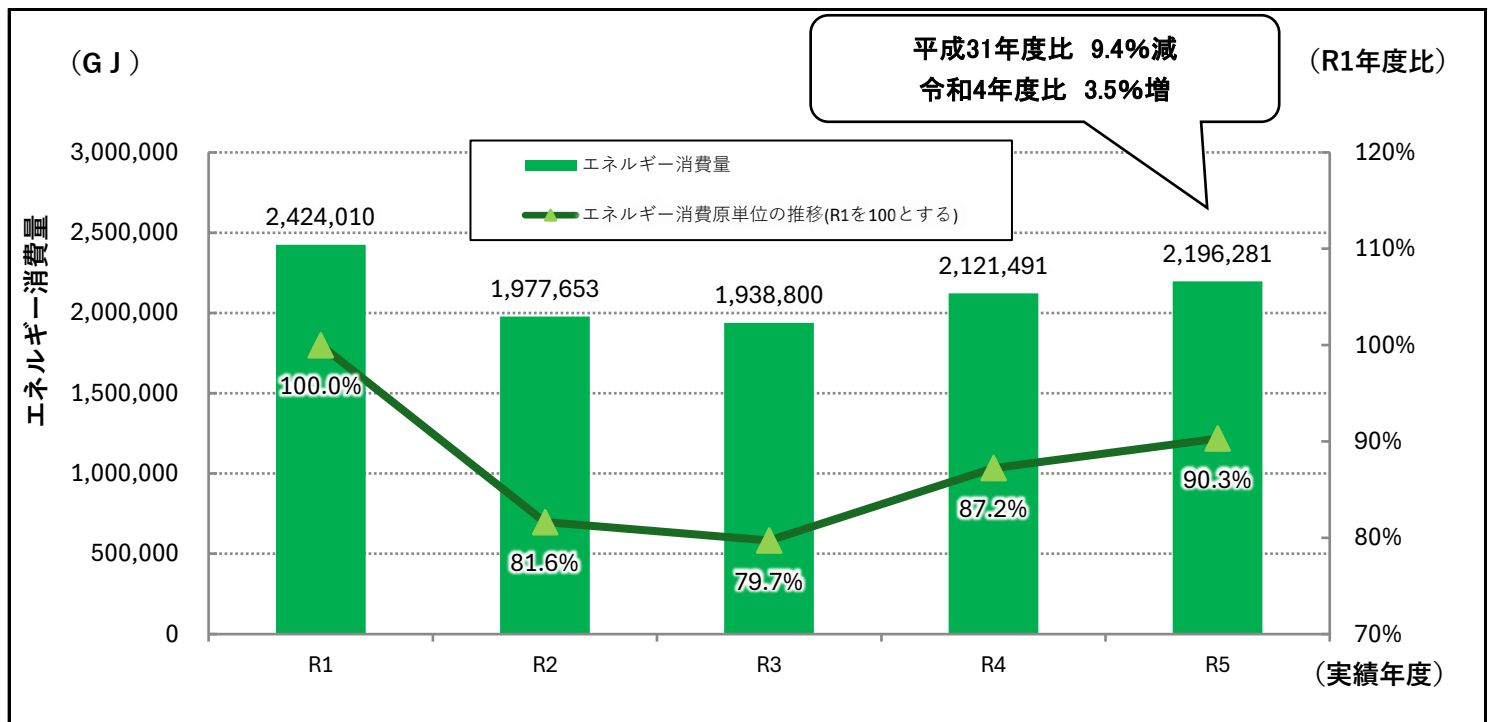
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



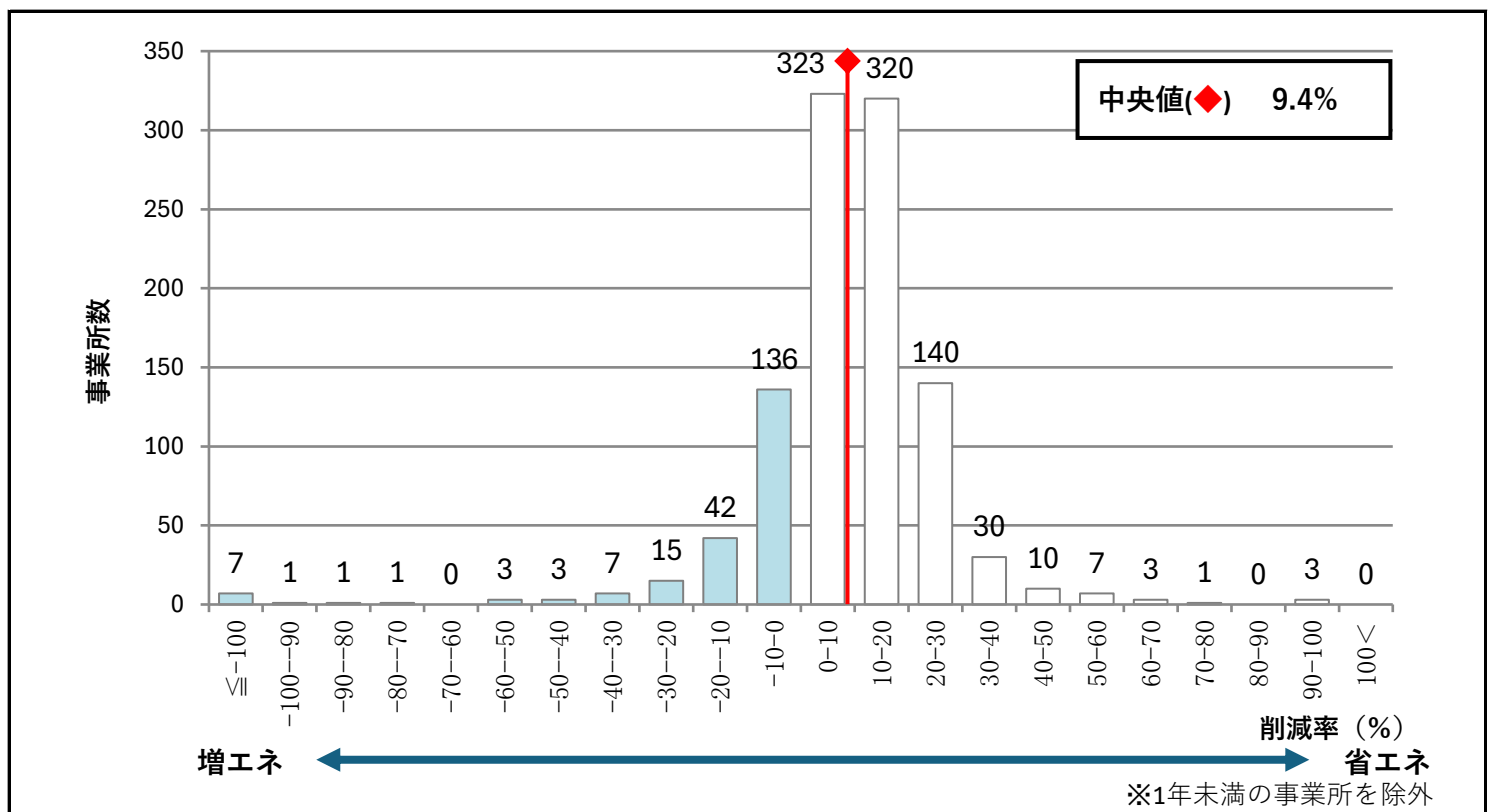
店舗の形態によって異なりますが、省エネの基本は空調と照明の高効率化です。メリハリのある照度計画や室温の緩和を心掛けて、過度な照度や室温設定を防止することが大切です。またLED照明や高効率エアコンの導入が効果的なので早めの更新計画をお勧めします。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7611 食堂・レストラン」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（食堂・レストラン）	1,405	1,367	

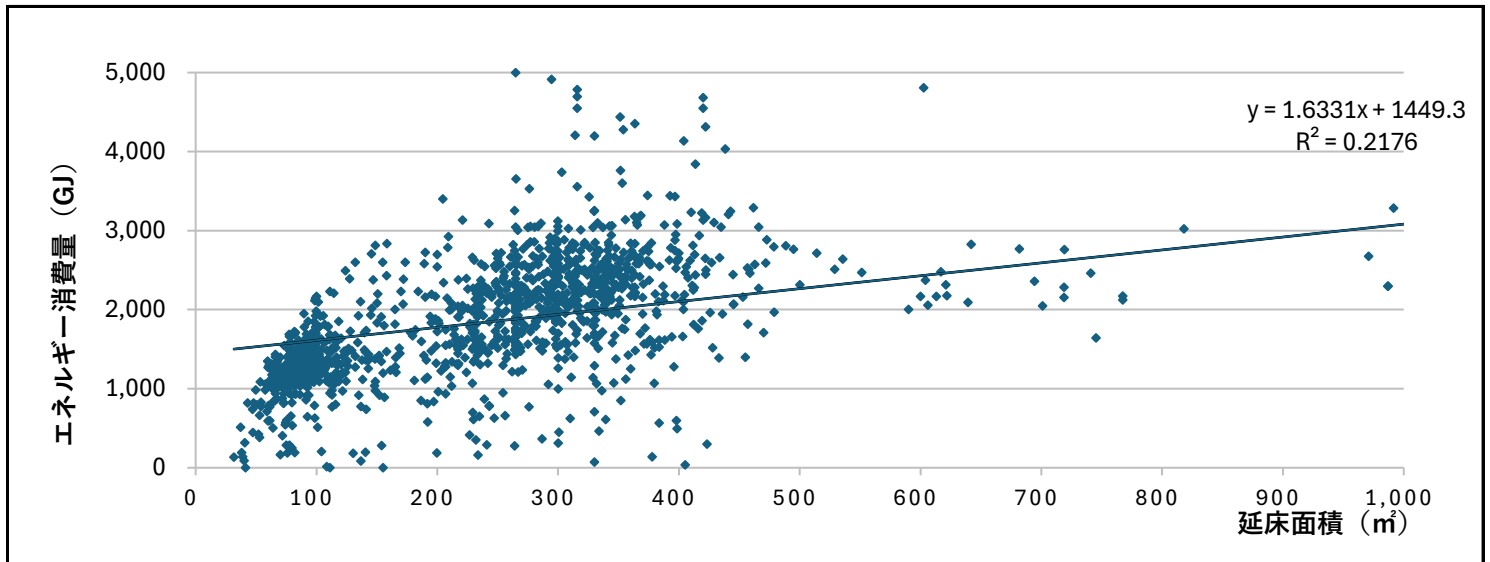
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1137)



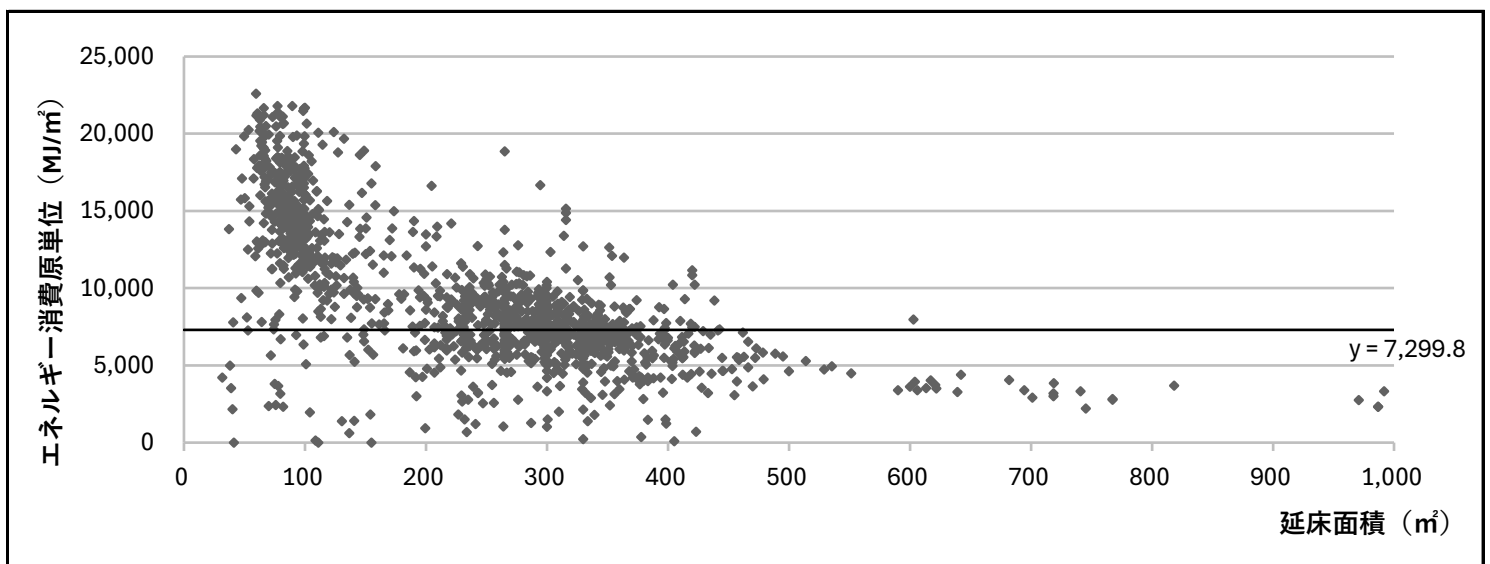
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:1053)



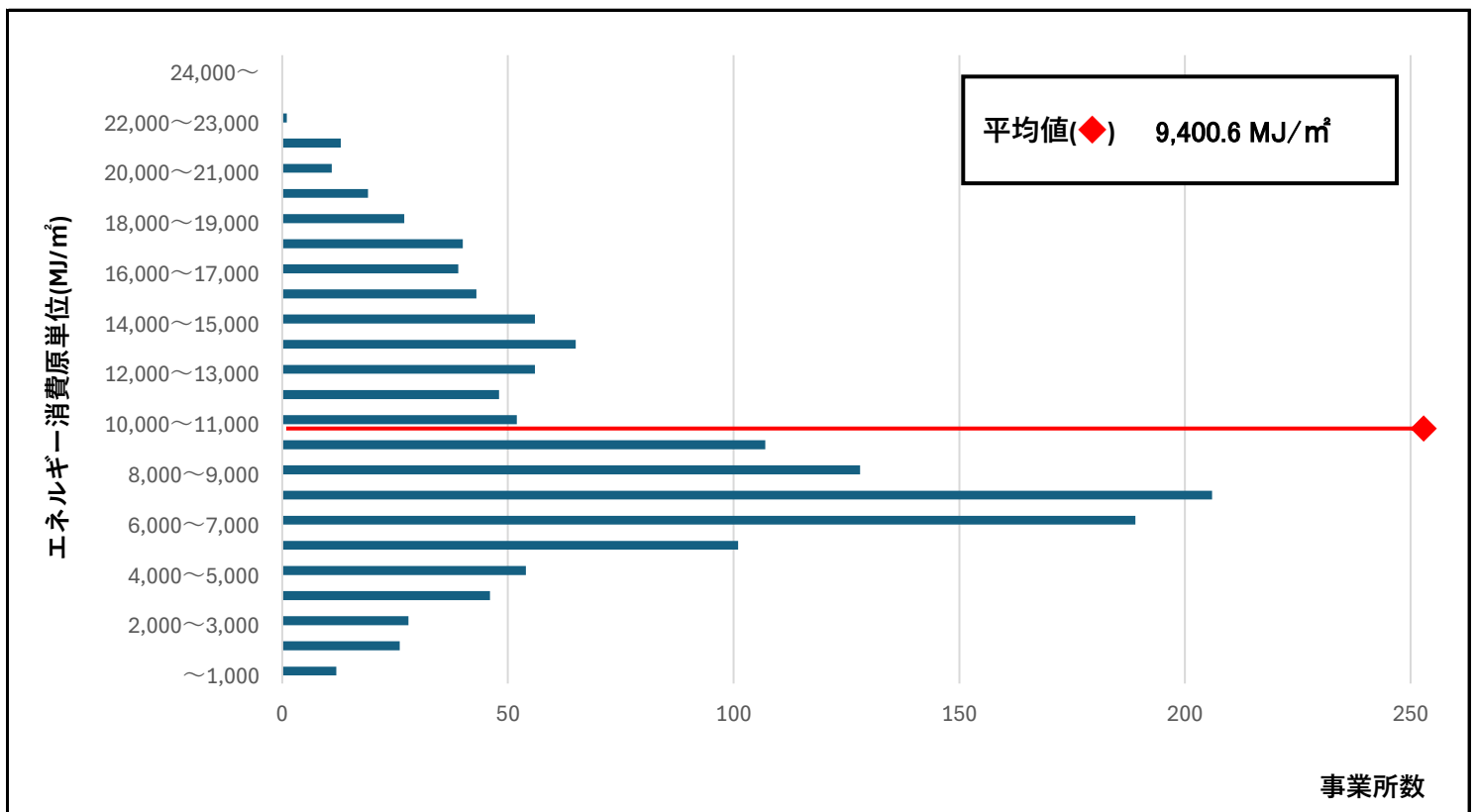
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



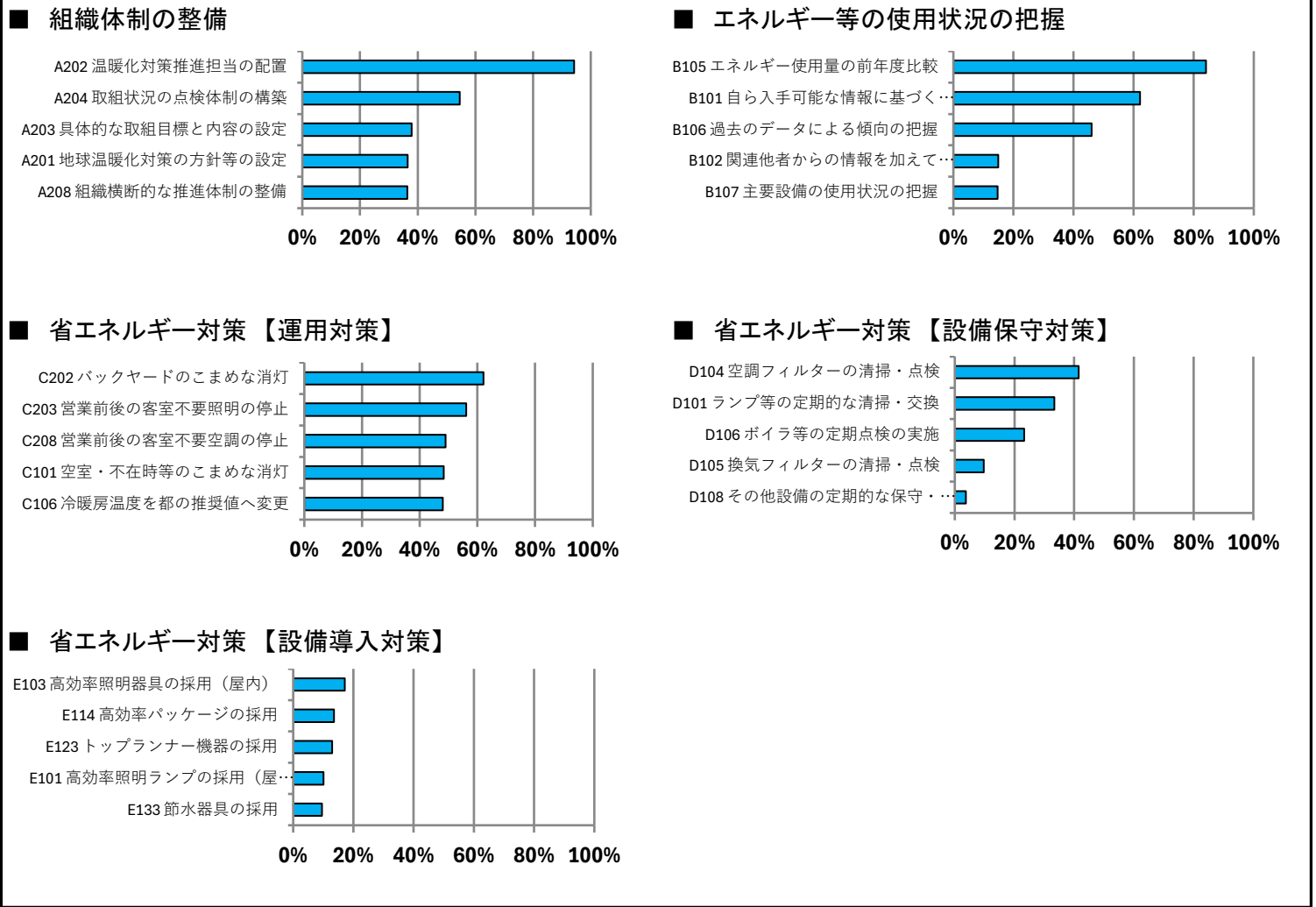
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

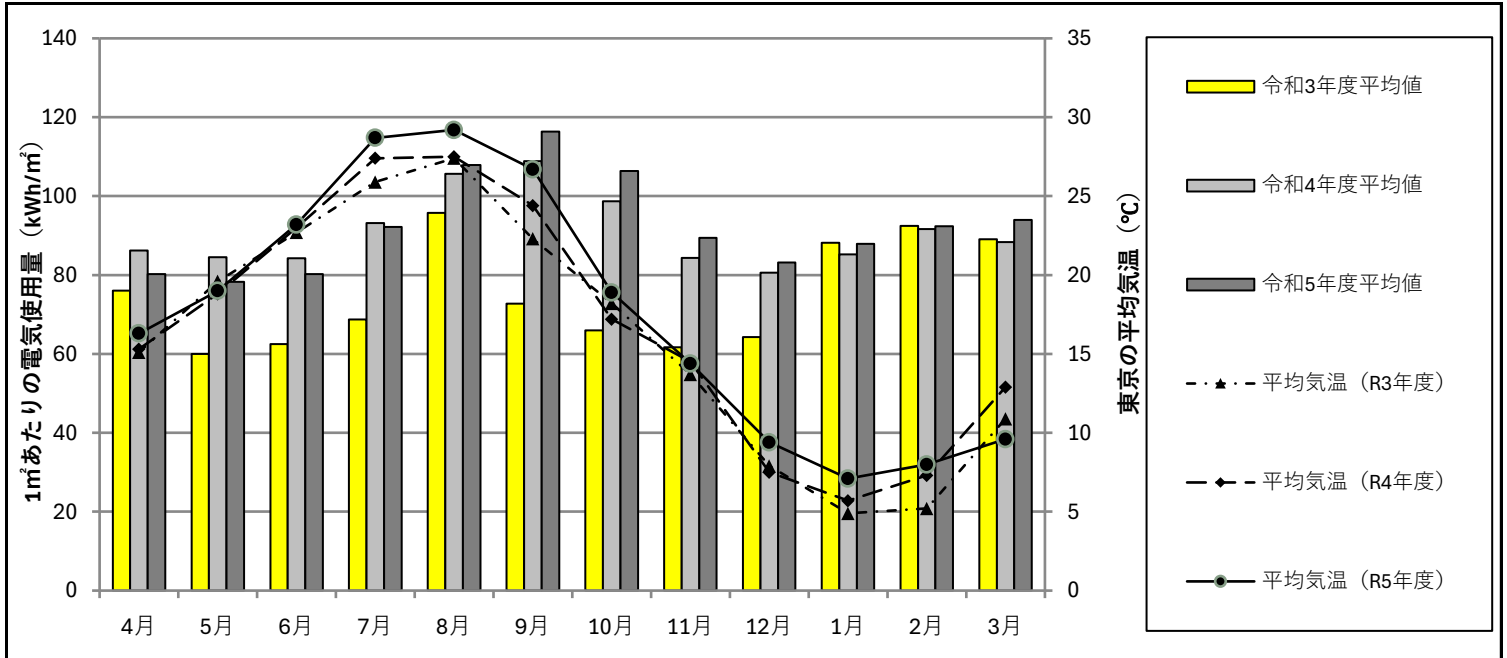


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

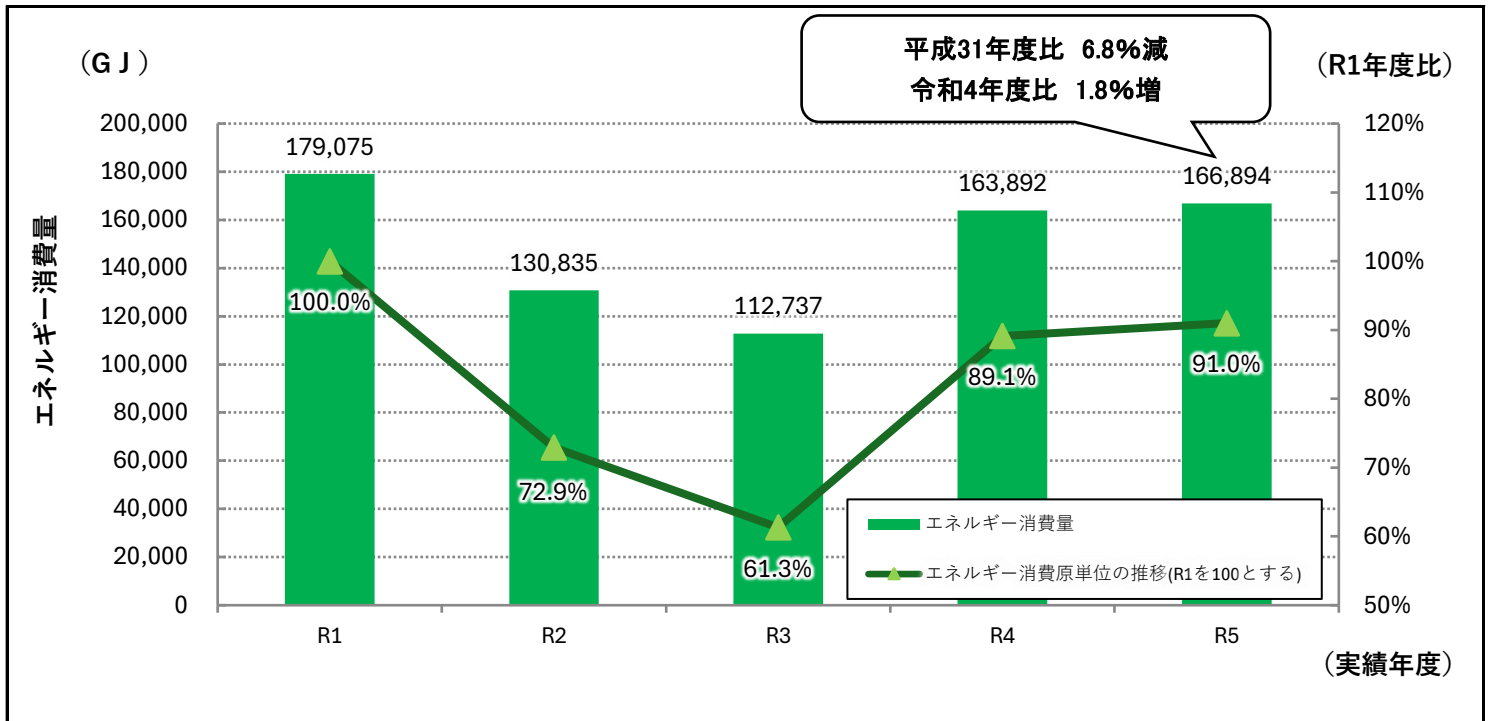
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



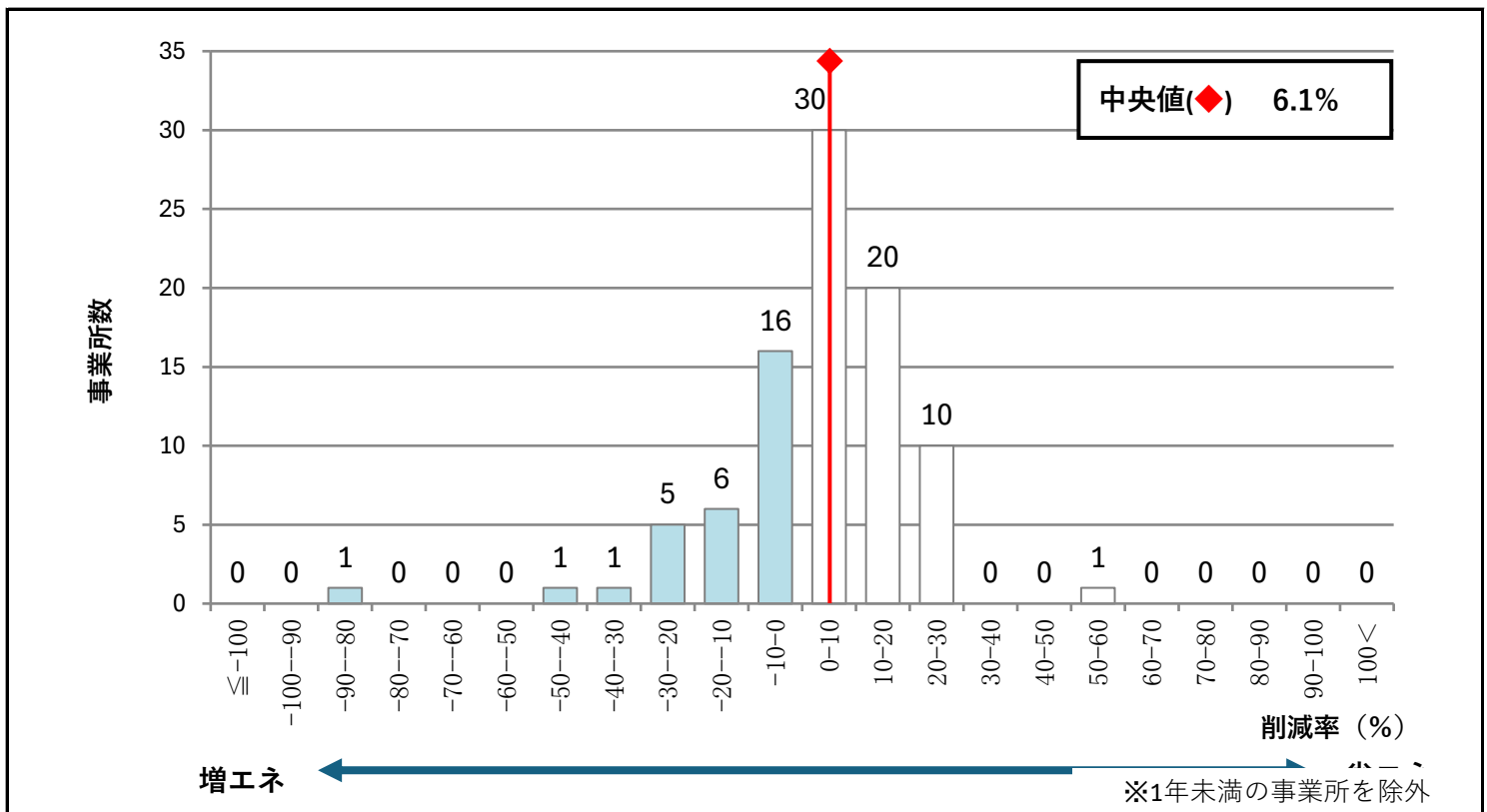
窓際の座席は晴天時には照明が不要なほど明るくなるので、スイッチを独立させ、晴天時は消灯するようにしましょう。店内の雰囲気を変えないで省エネを図るために、まず照明のLED化から始めましょう。店のコンセプトに合わせた照度・色温度に対応できる様々なLEDランプの選択が可能になっています。またエアコンの温度設定はリモコンでなく、店内に設置した温度計で行うようにしましょう。厨房の仕込み・準備時間帯ではレンジフード排気ファンの風量をインバータで絞って運転することも大きな省エネとなります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7651 酒場・ビヤホール」「7661 バー、キャバレー、ナイトクラブ」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店(居酒屋・バー)	513	484	

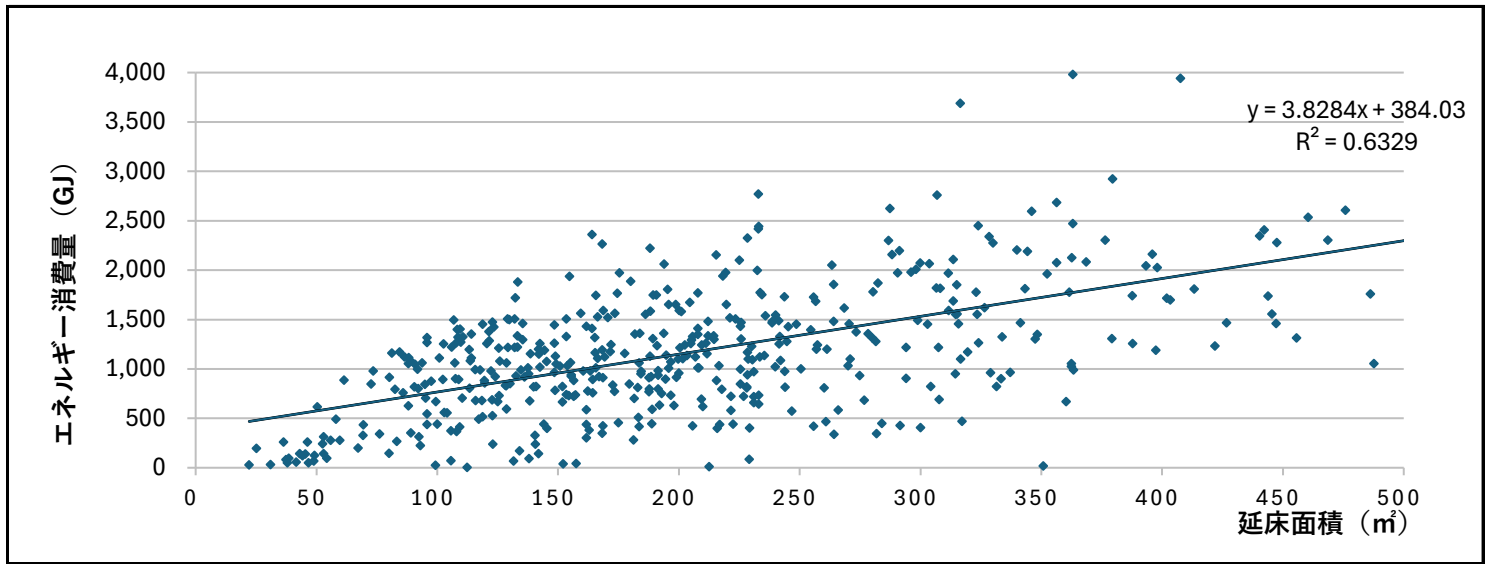
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:95)



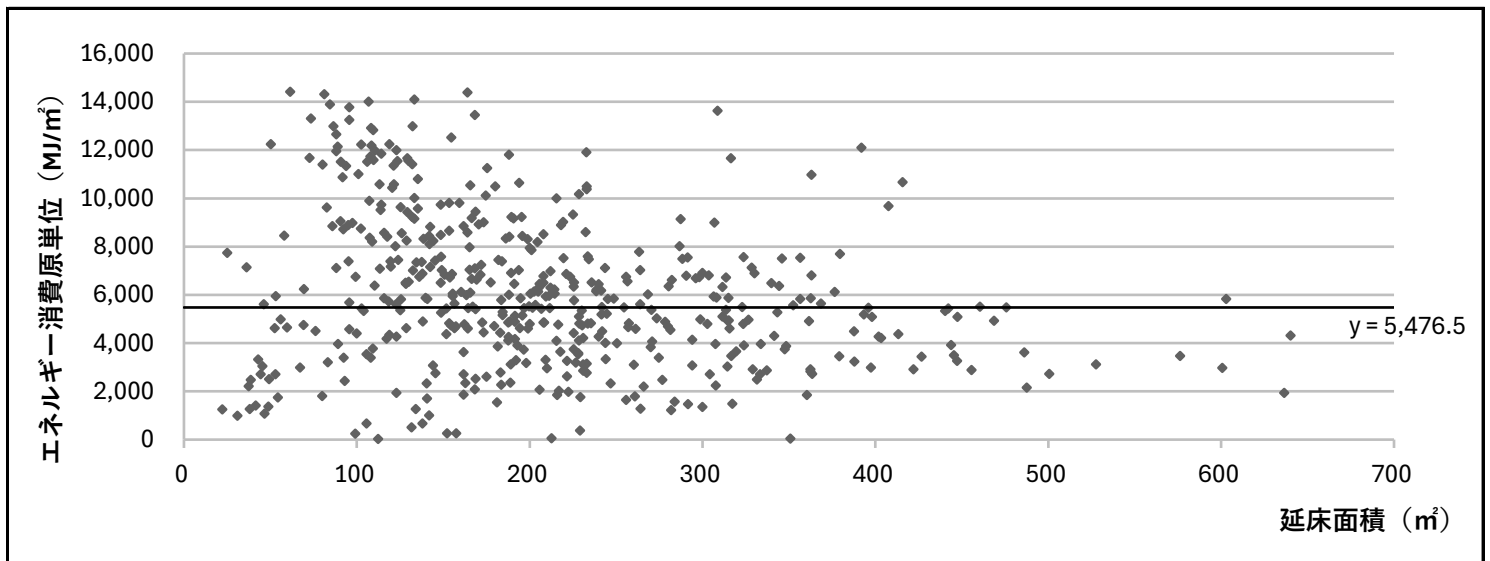
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:91)



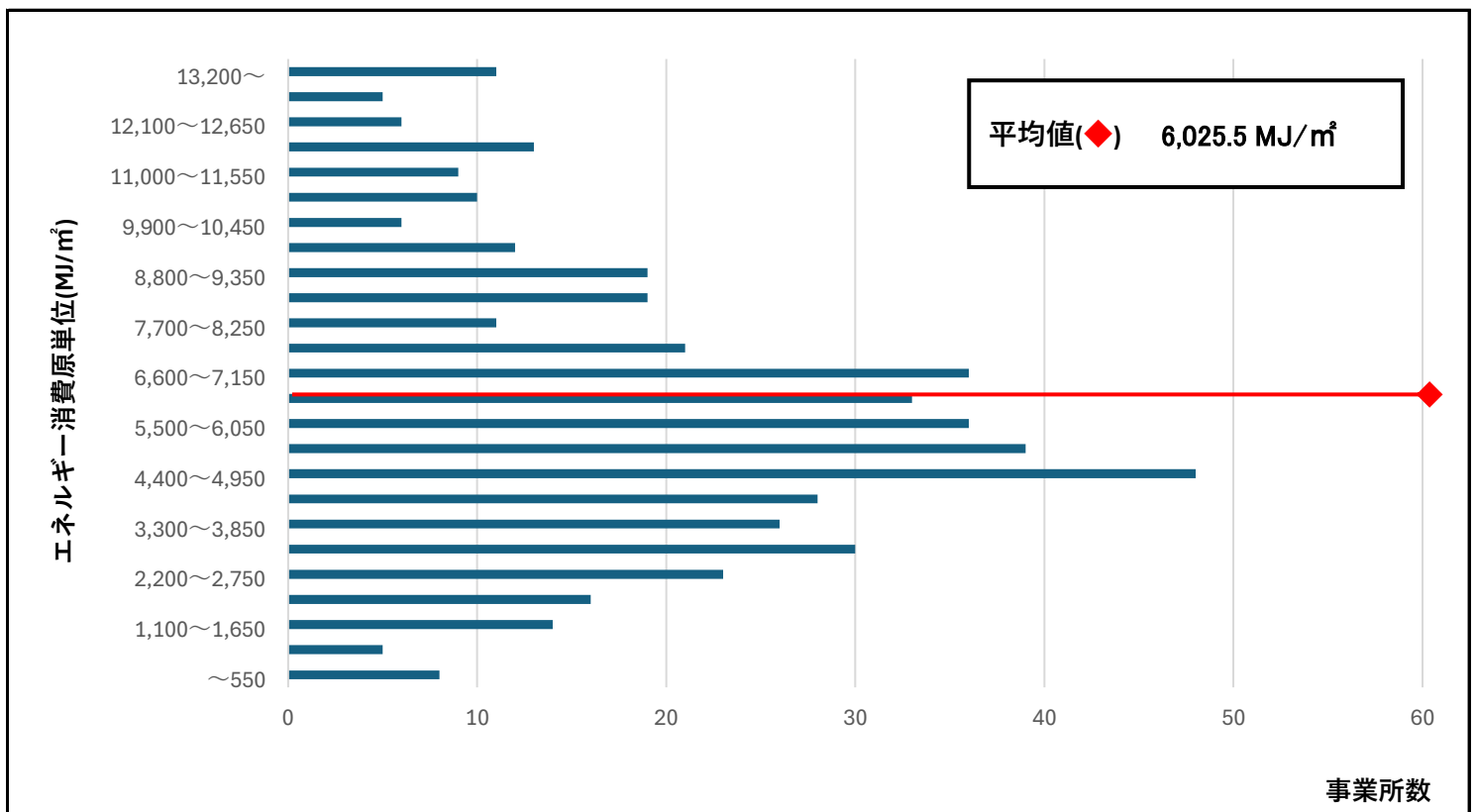
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



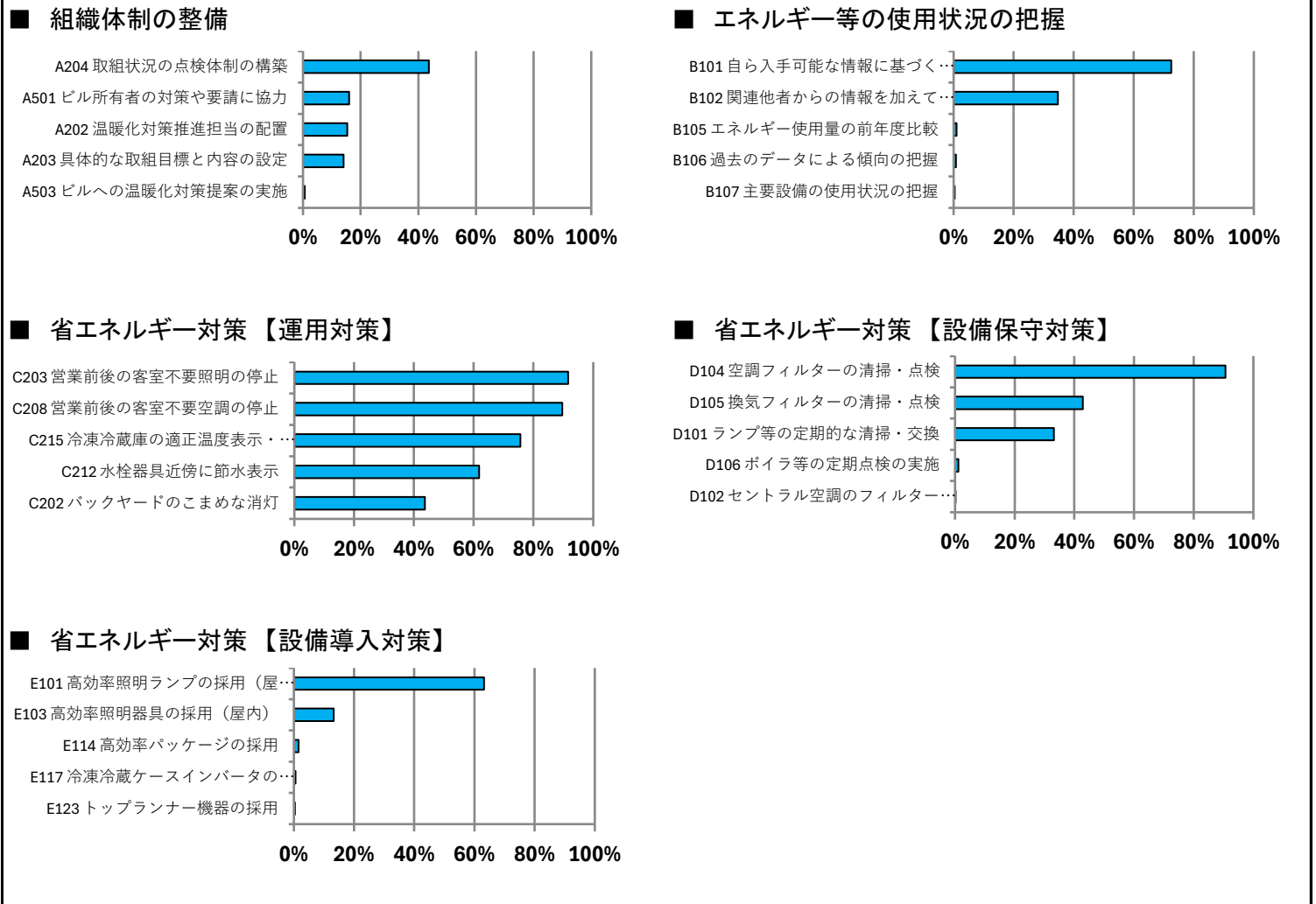
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

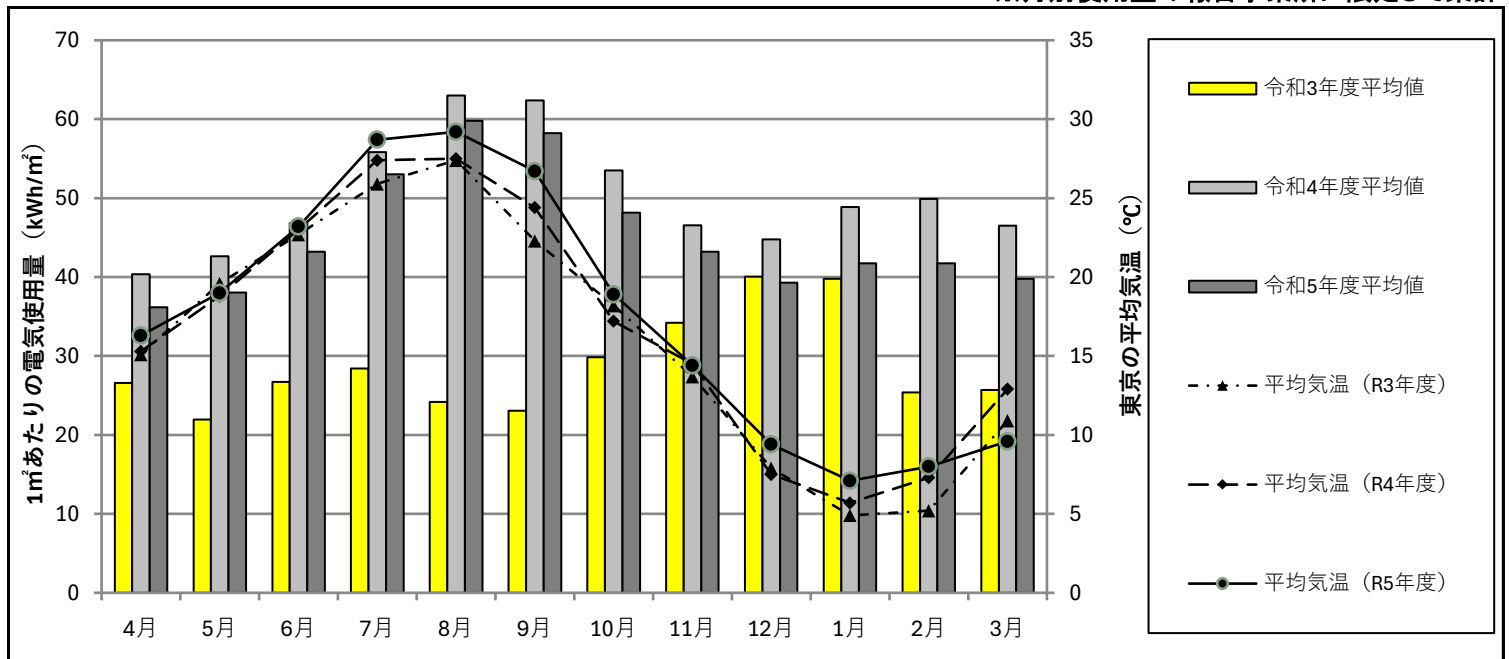


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

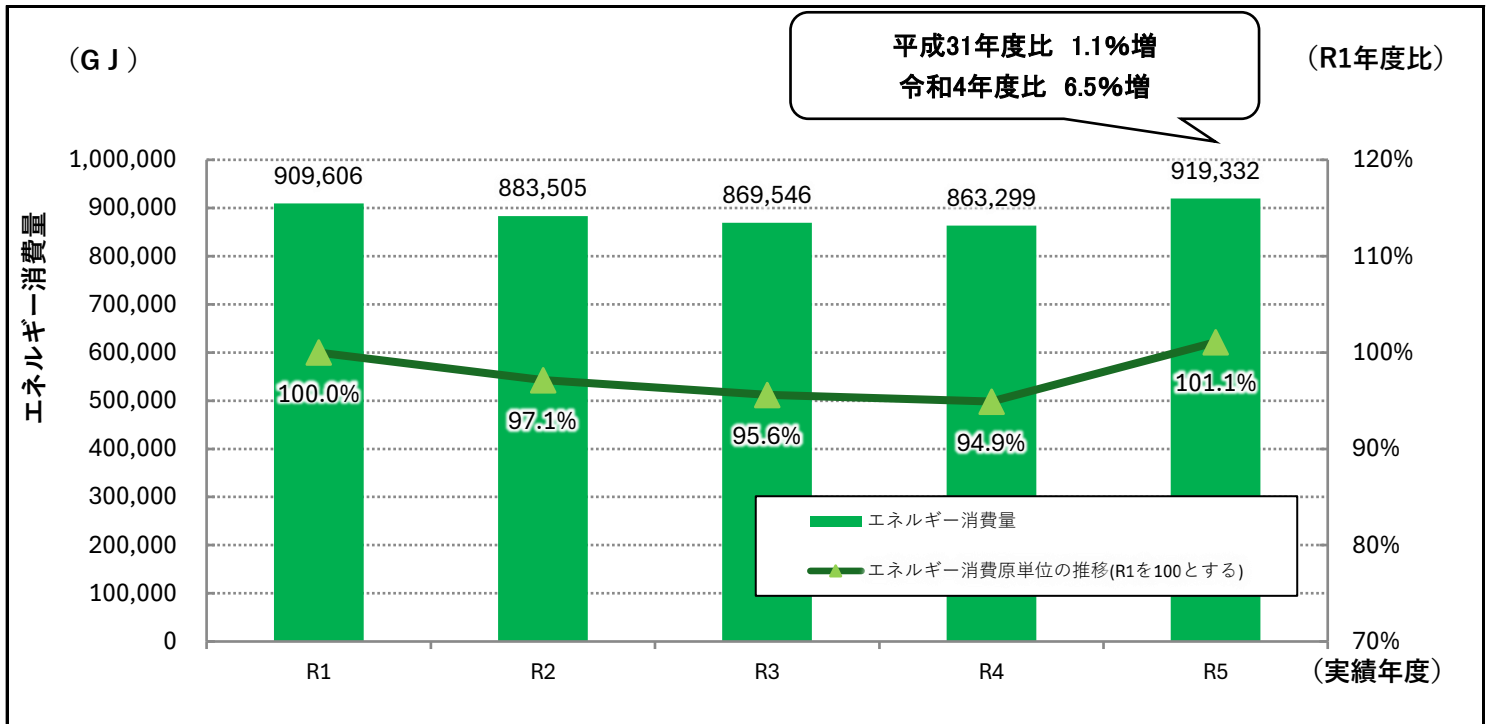
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



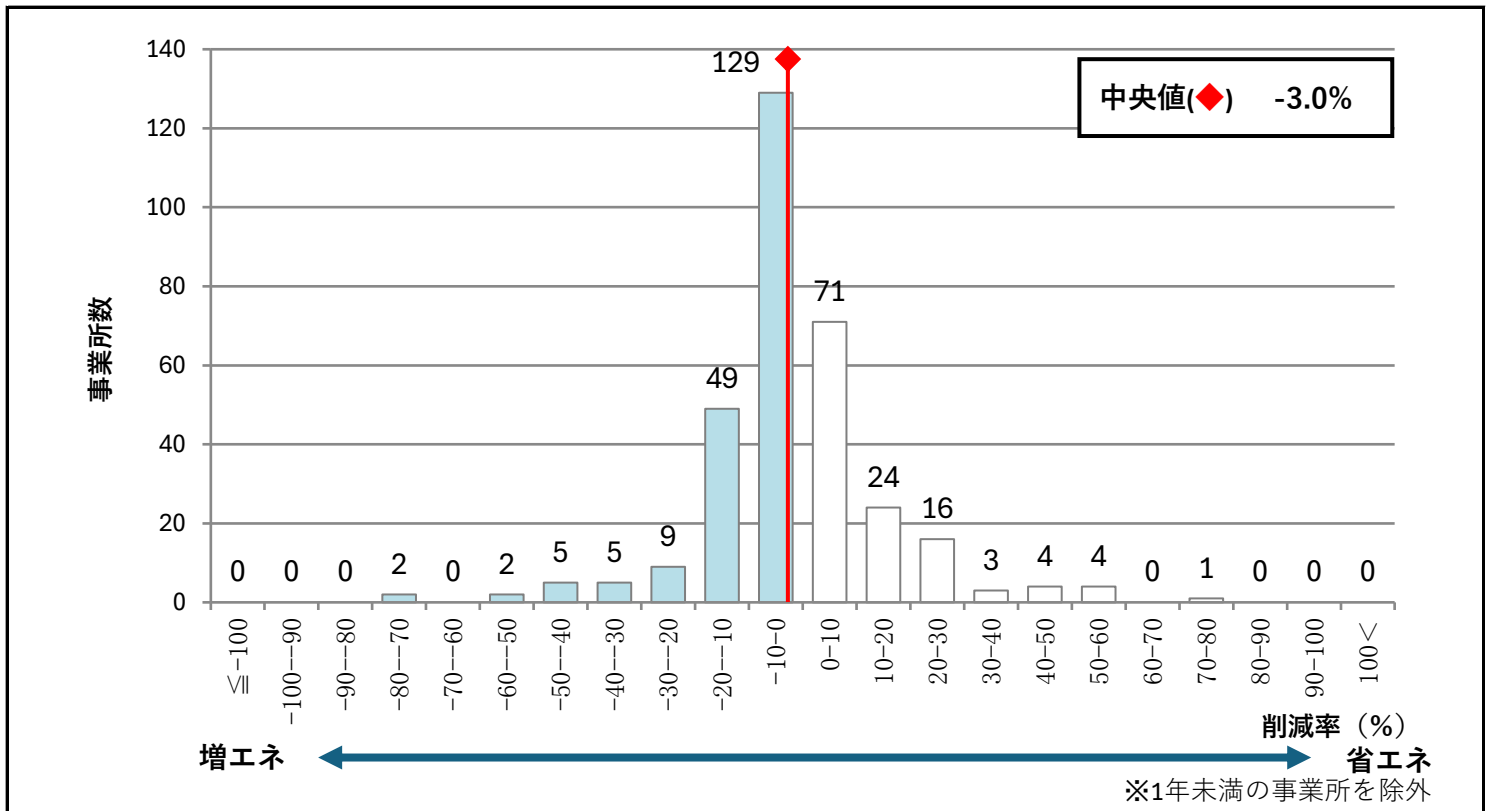
厨房内の冷凍冷蔵庫や冷蔵ショーケースは経年で劣化が進み効率が落ちて来ます。設置後10年以上経過したものは最新の高効率機に更新することで大幅な省エネが図れます。また店内はくつろげる空間が求められるため、照明はLEDを用い照度・色温度とも低めにしましょう。すべて天井照明にするよりも、客席毎にペンダントタイプの照明を多用することで雰囲気と省エネの両立が可能です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7691 ハンバーガー店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（ハンバーガー）	366	353	

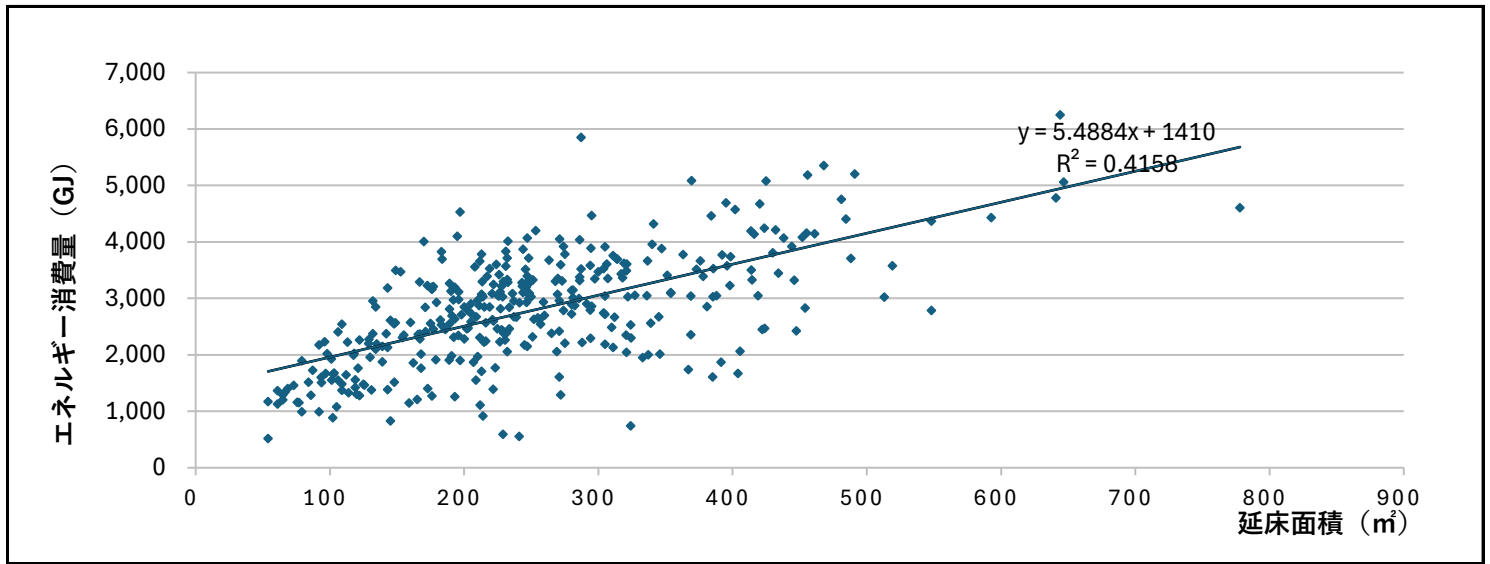
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:328)



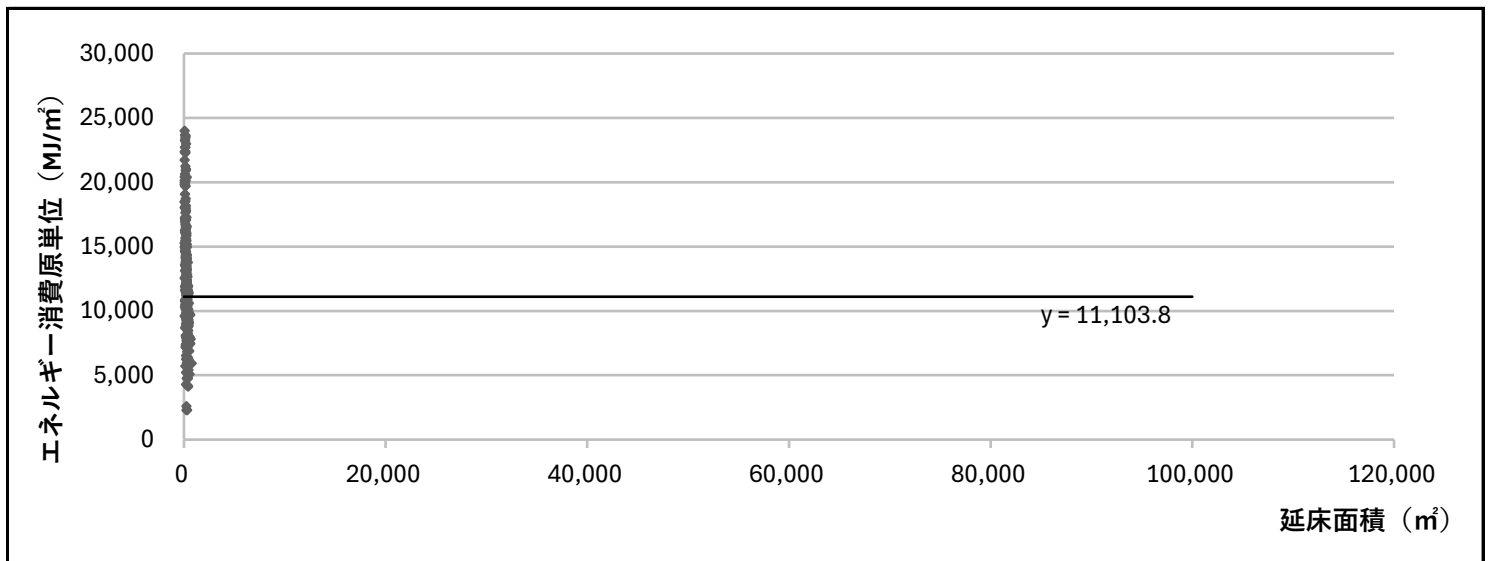
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:324)



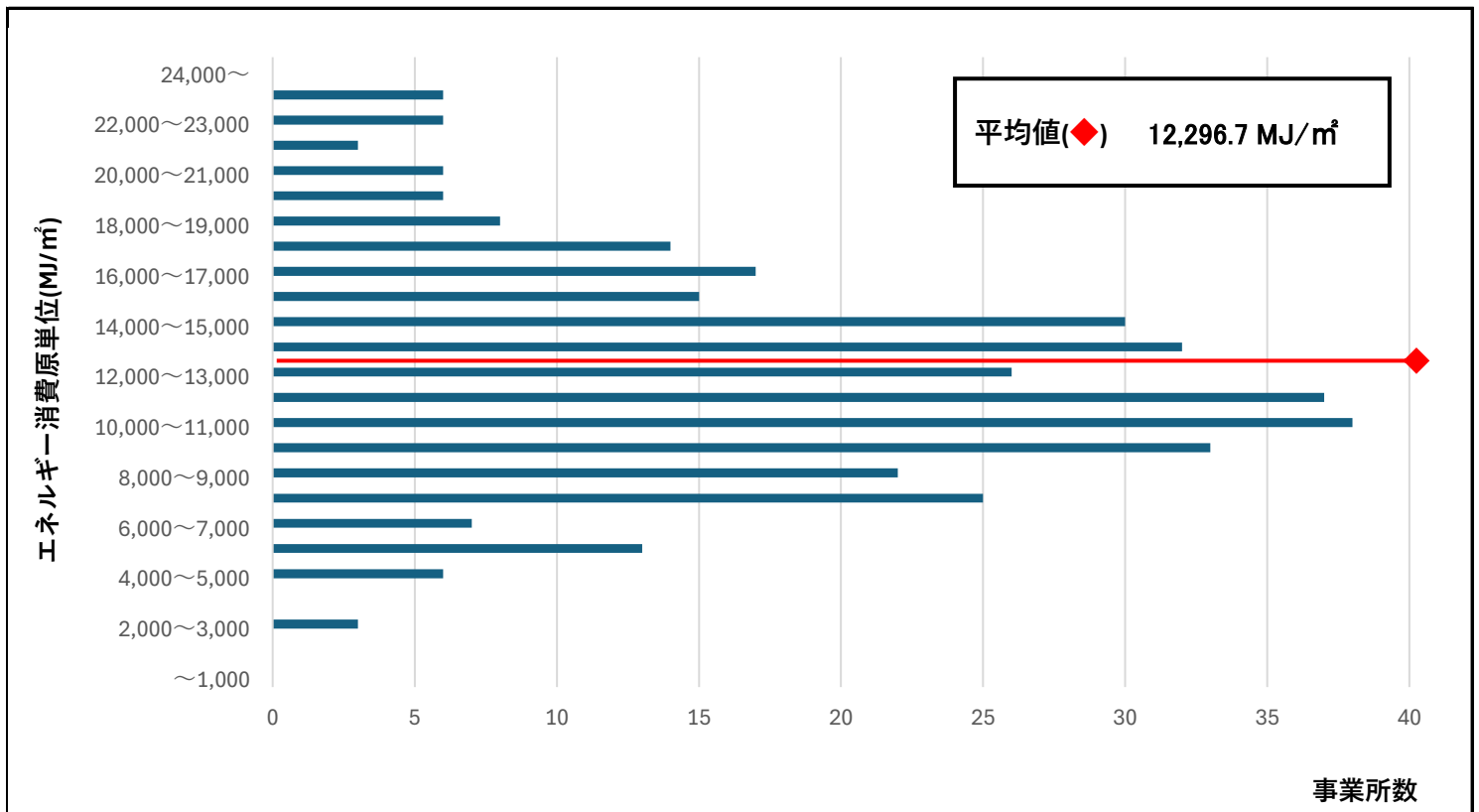
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



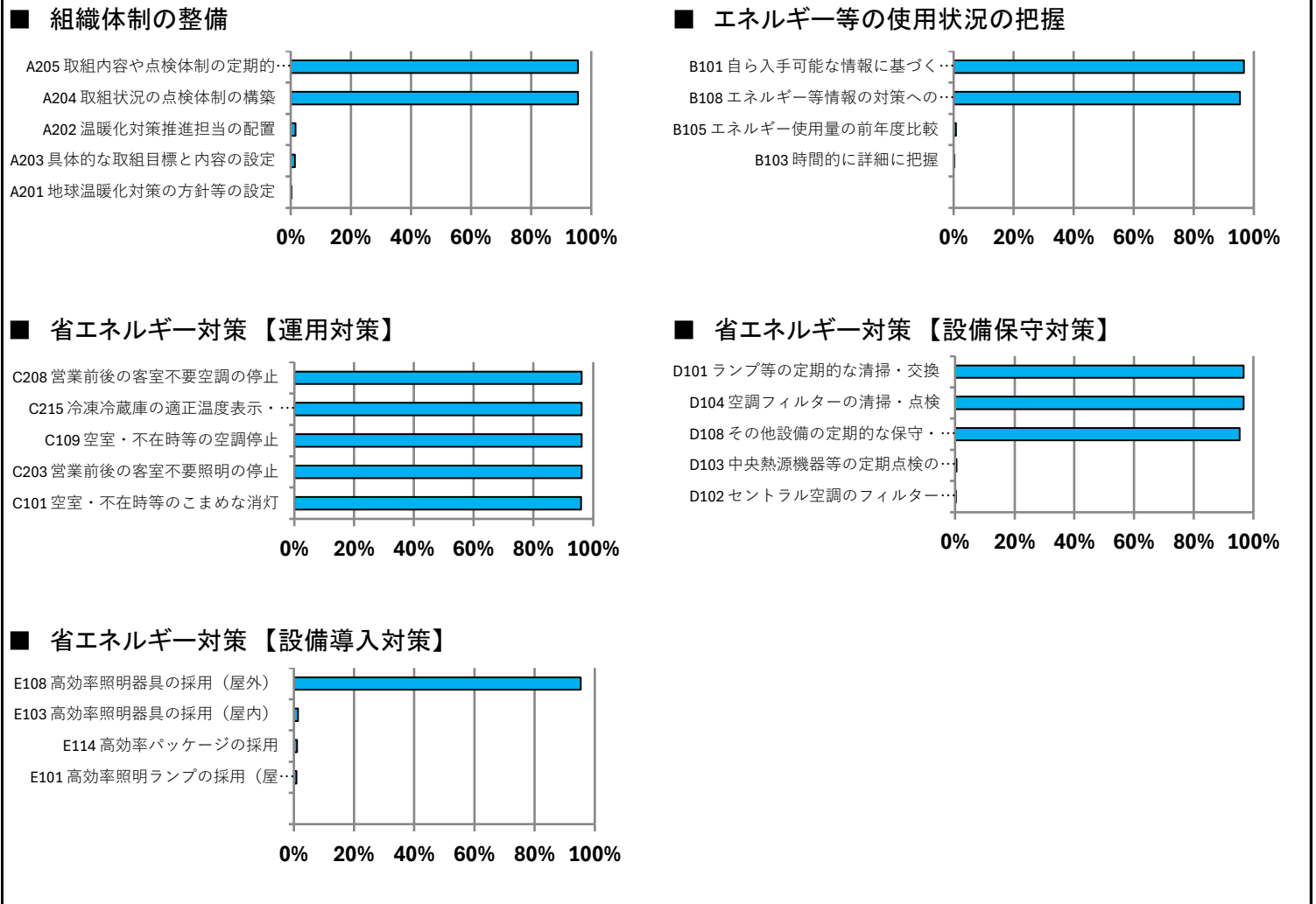
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

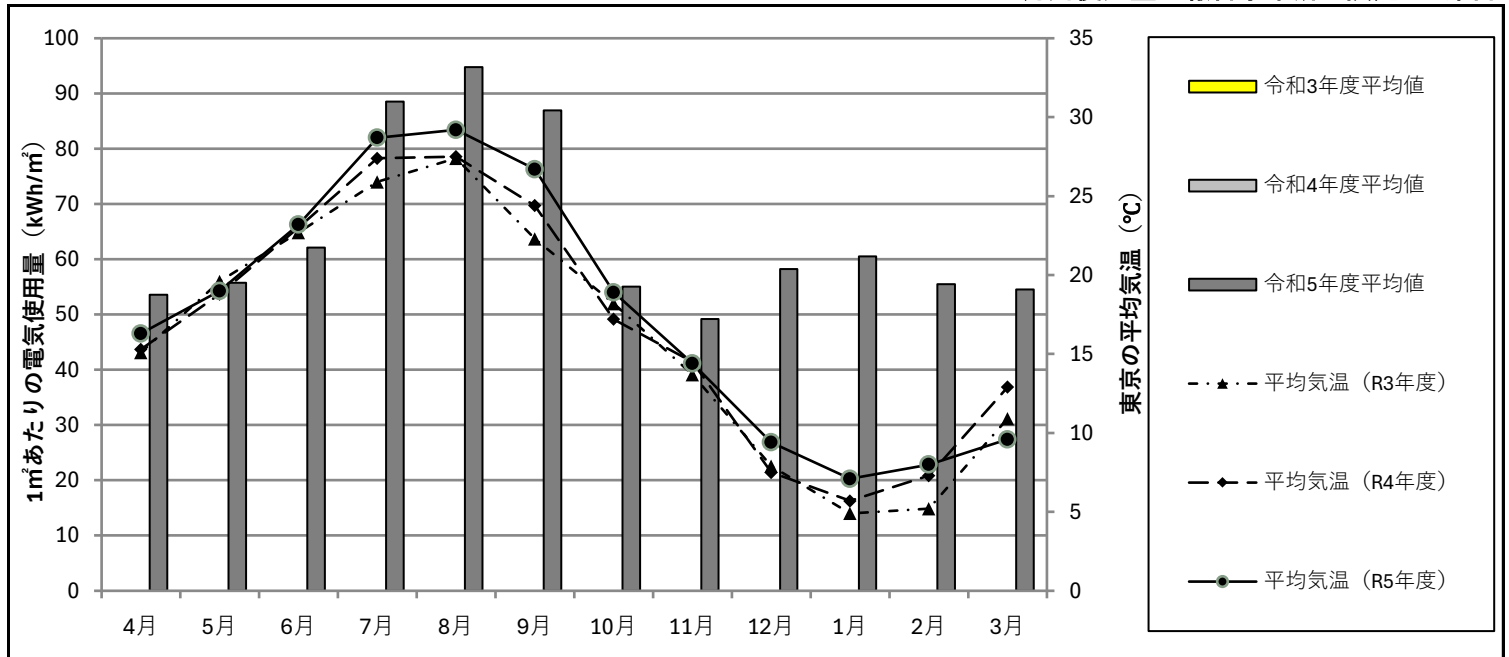


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

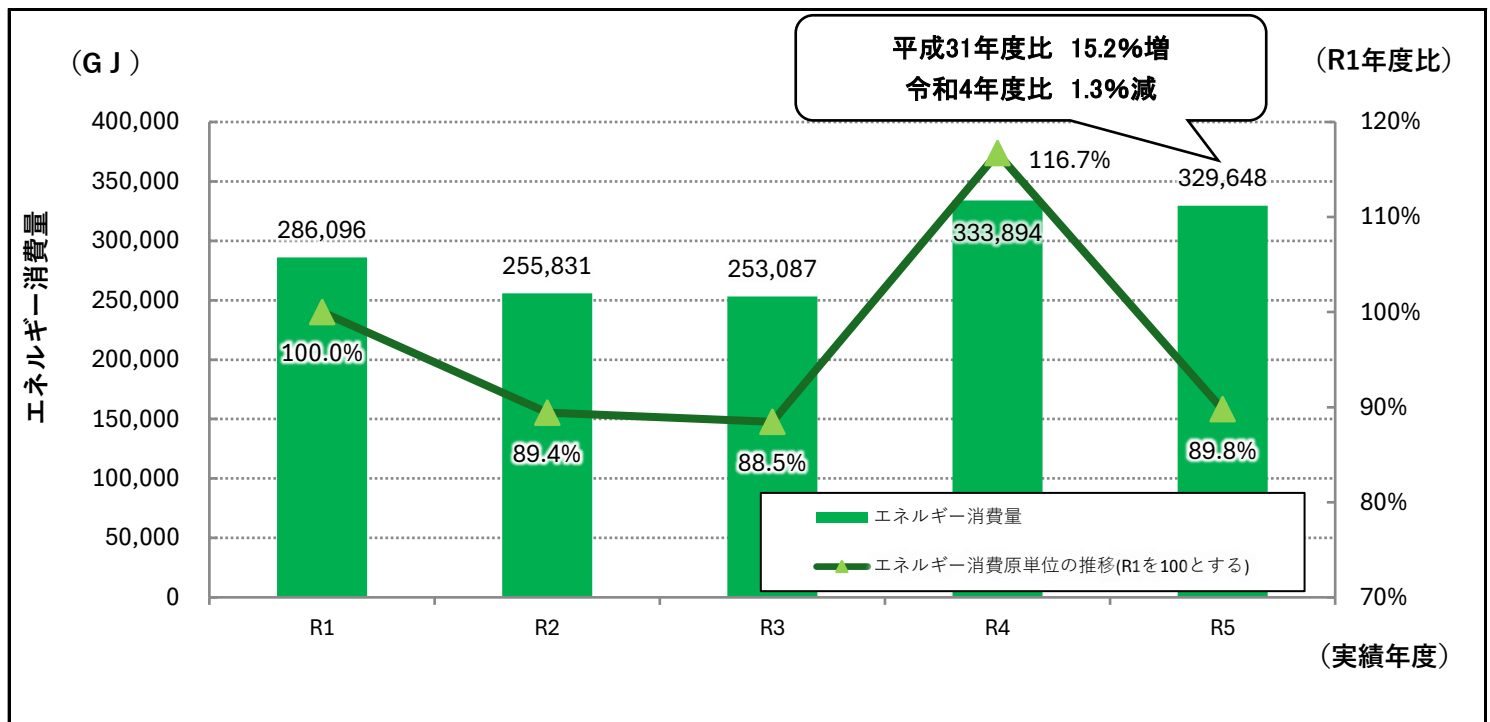
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



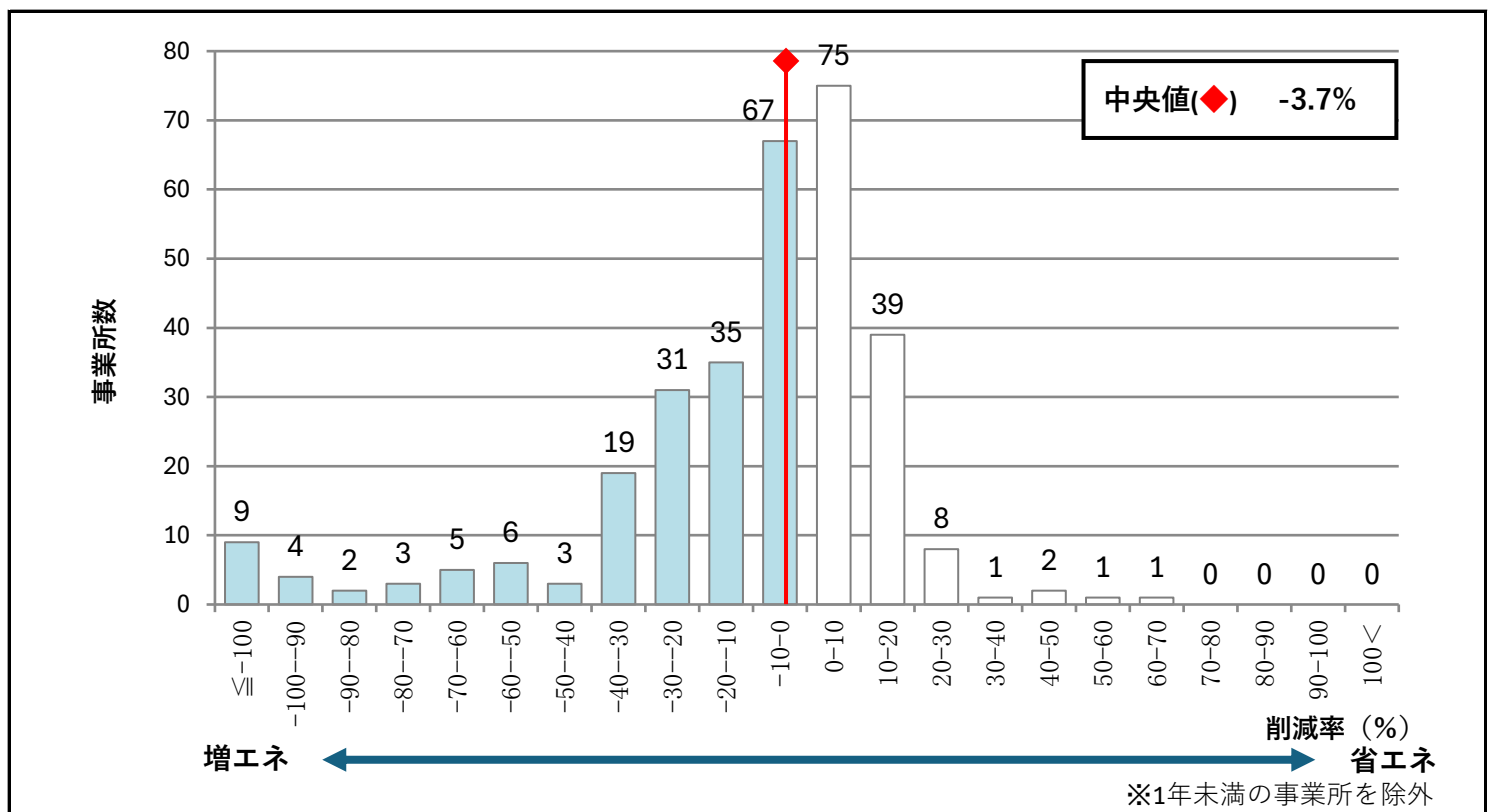
使用エネルギー原単位が極めて大きい業態です。店舗の出入口が開放になっているケースでは、外気の侵入による空調負荷の増大が課題です。自動ドアやエアカーテンの設置が効果的です。また一般に換気はレンジフード排気なので常時入り口から大量の外気が侵入し空調負荷が増大しています。レンジフードの近くに外気導入の給気ファンを設置し、給気と排気のバランスをフード周りとする二重フード(同時給排型)の採用がお勧めです。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7671 喫茶店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（喫茶）	587	570	

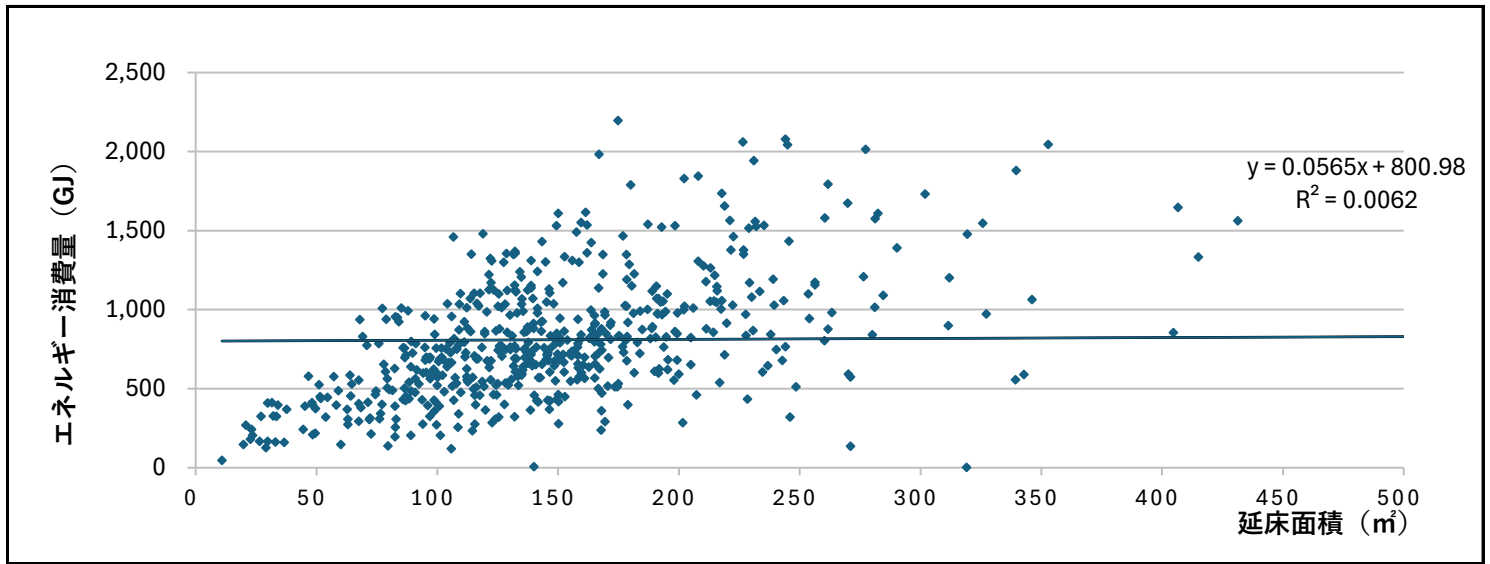
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量（実績年度）の合計の推移（事業所数：344）



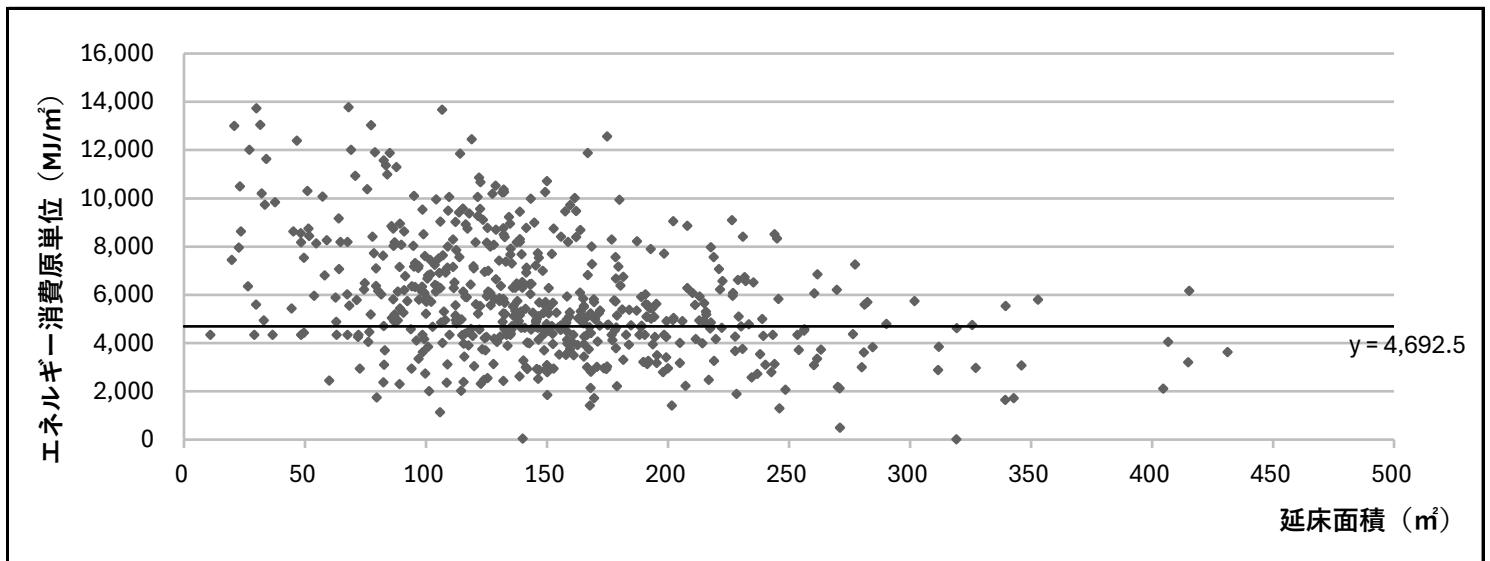
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率（R1とR5比較）の分布（事業所数：311）



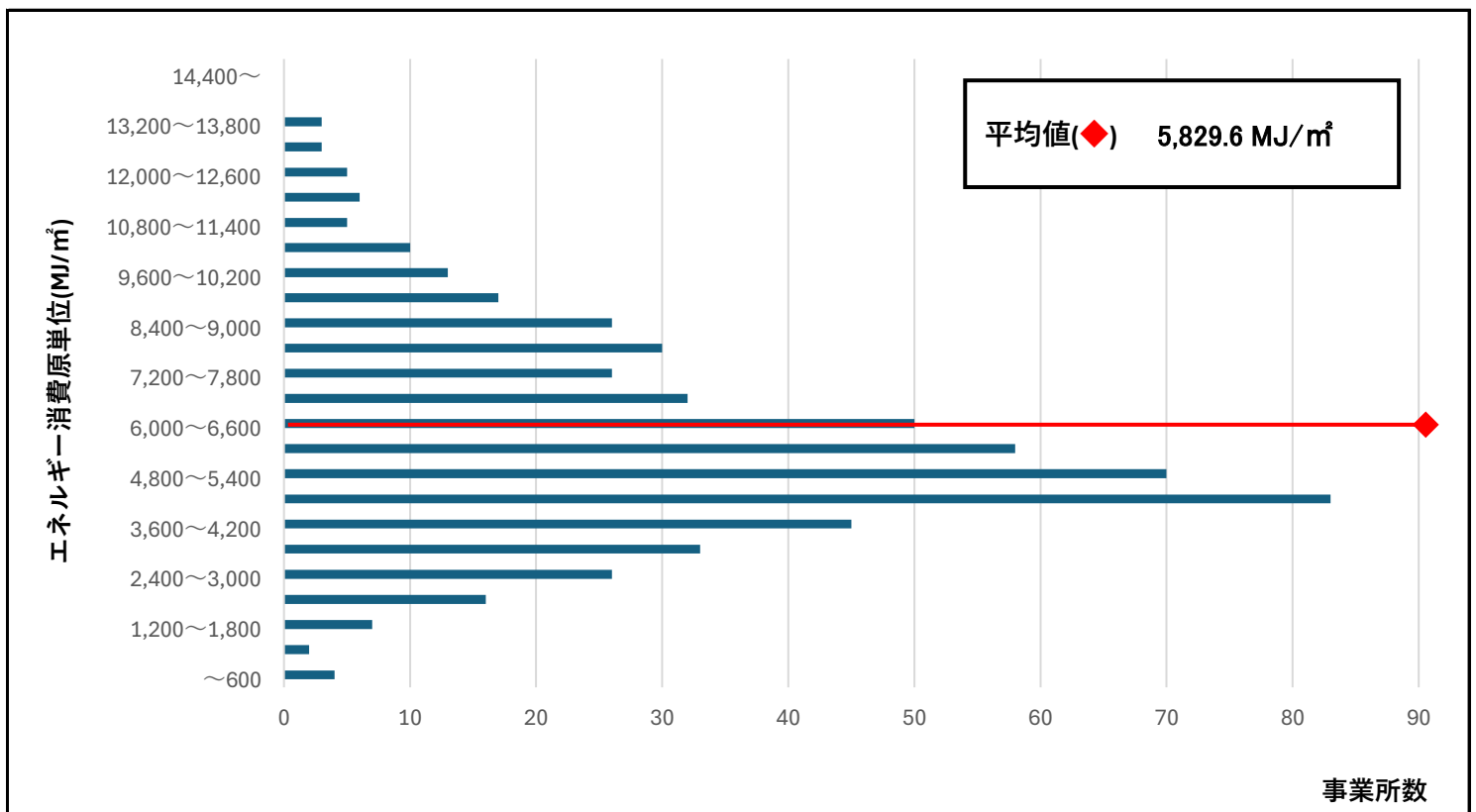
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



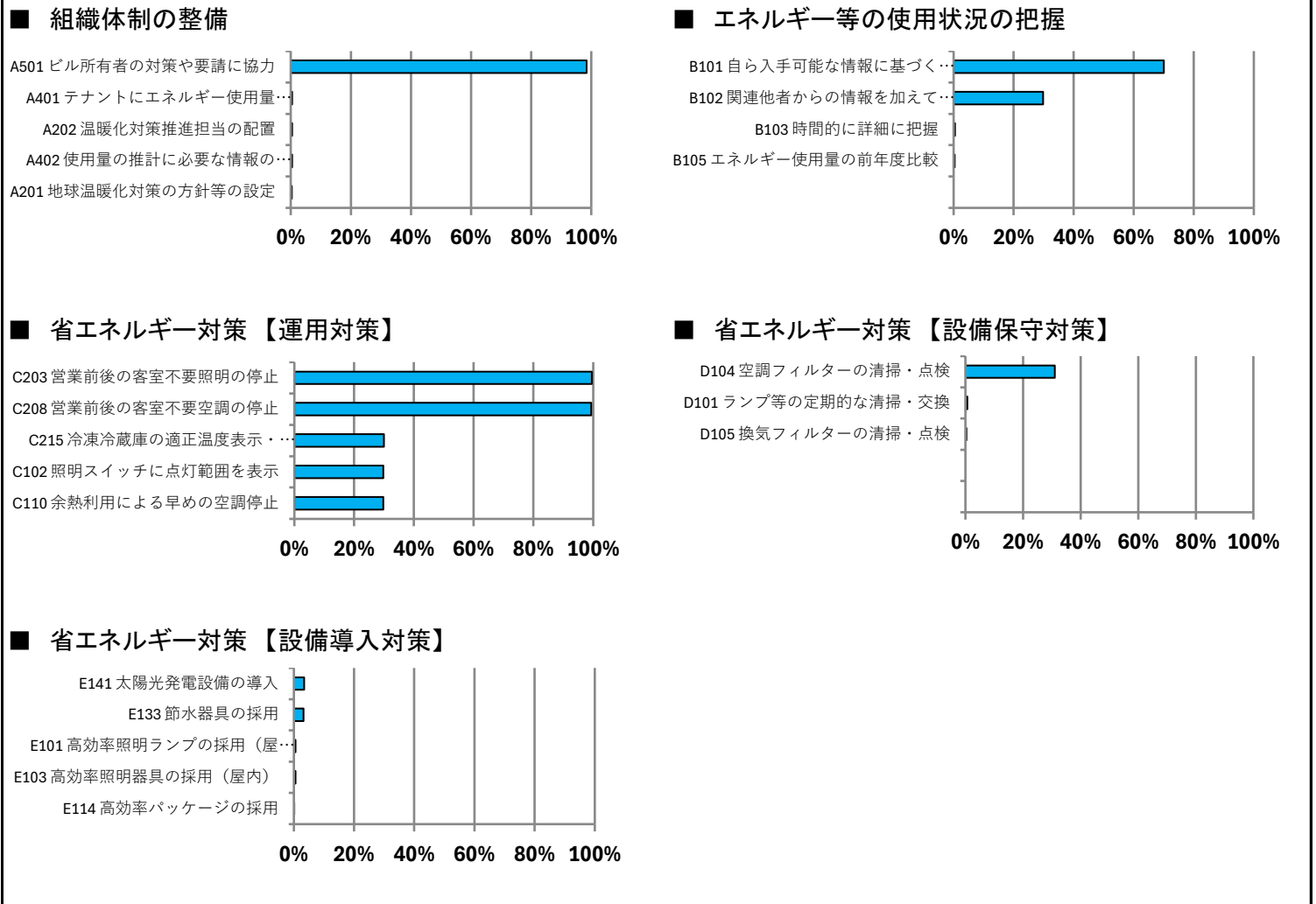
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

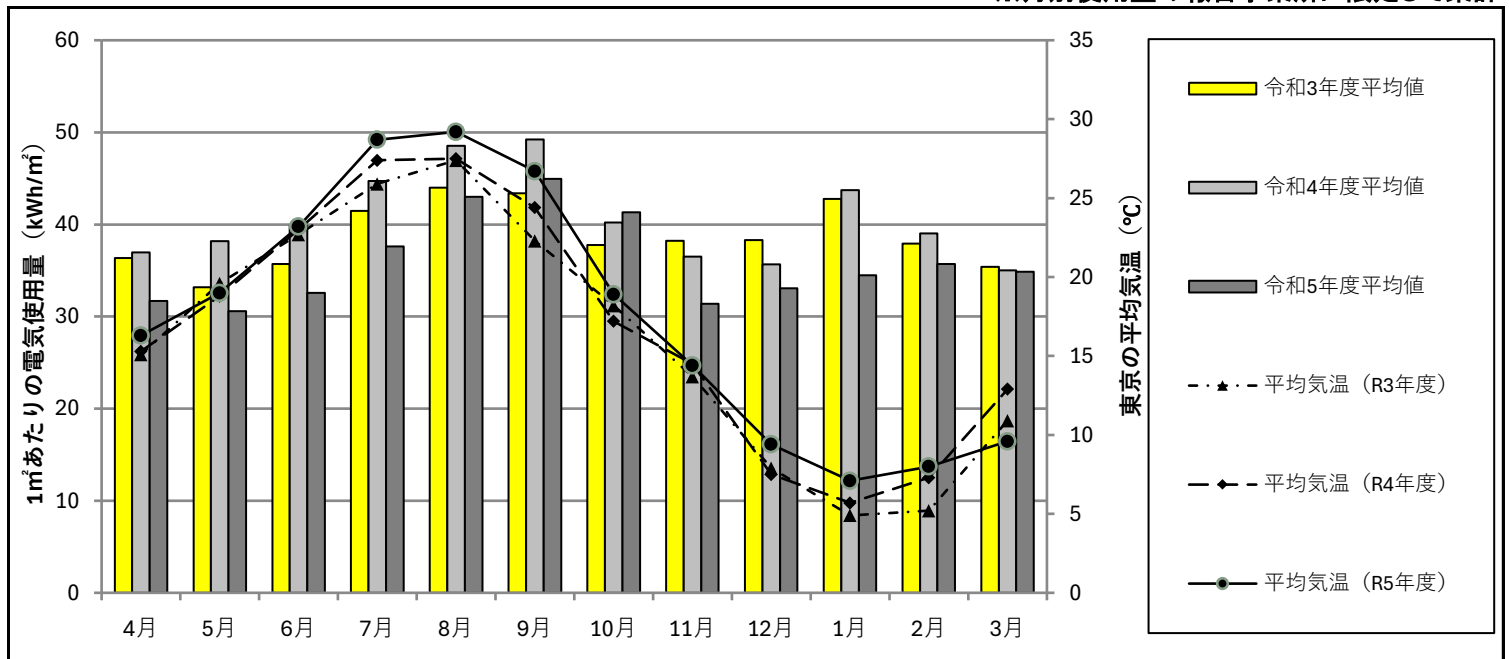


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

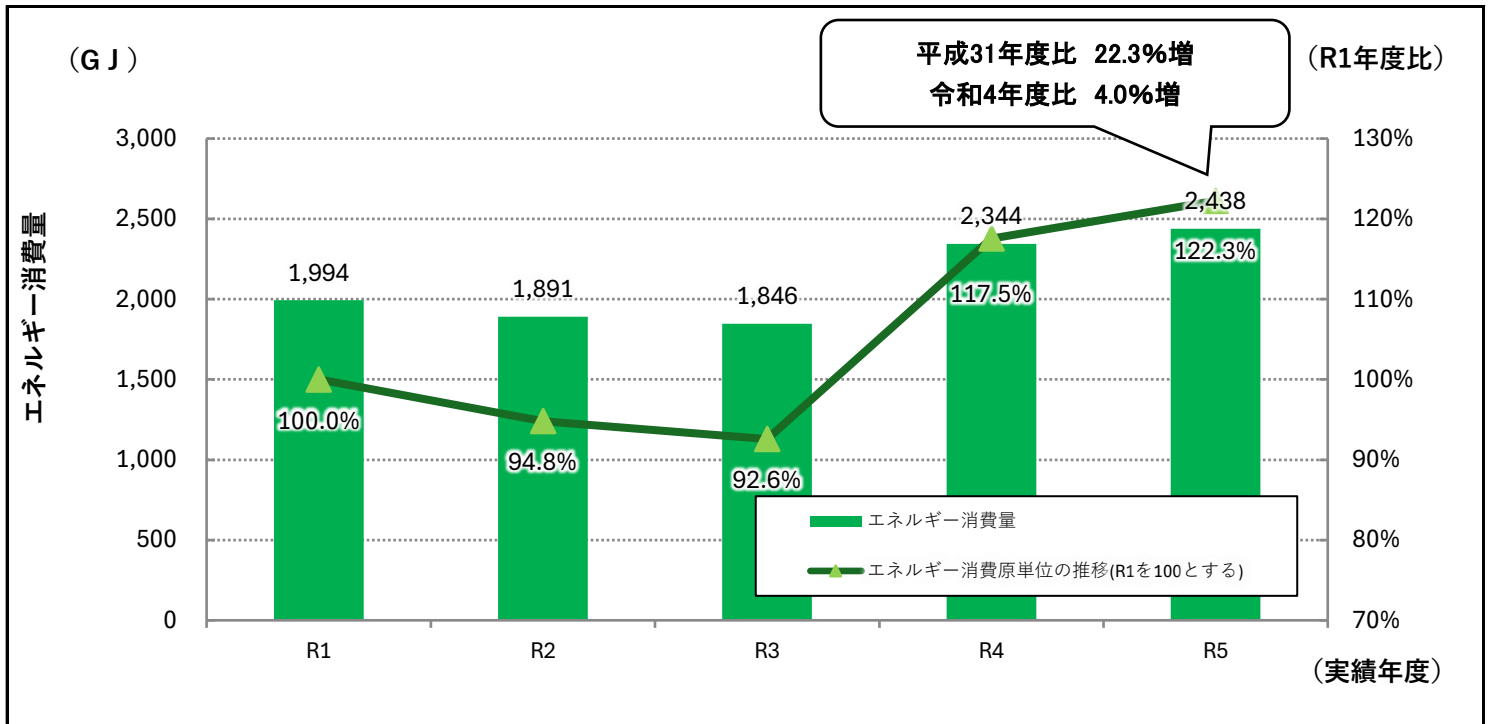
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



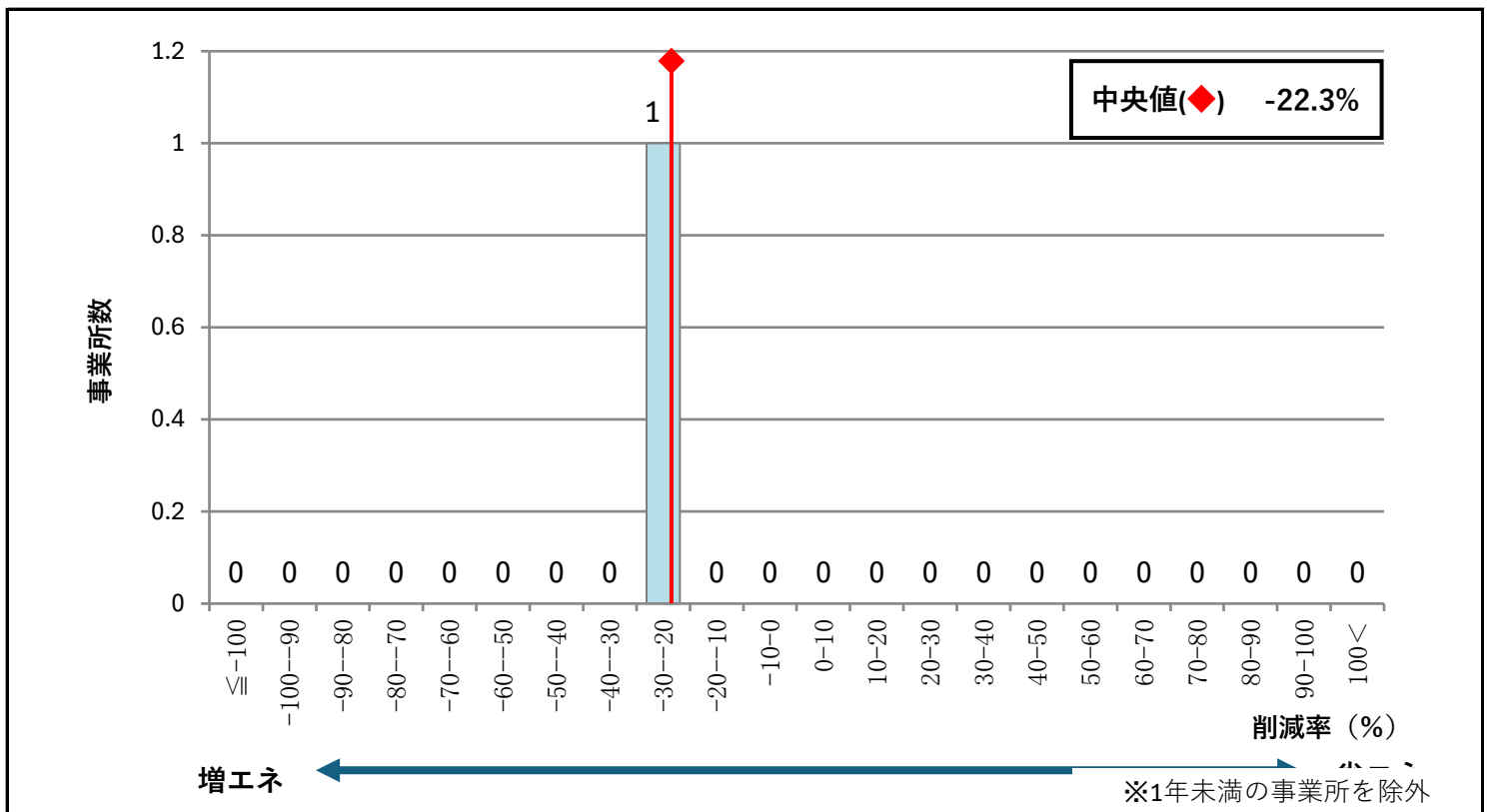
照明のLED化と看板照明の点灯時間管理が大切です。季節によって暗くなる時間が異なるので、明るい時間帯から点灯していることが無いようにタイマー等で調整しておきましょう。また窓際照明は専用スイッチを設け、晴天時など自然光で照度が確保できる時間帯は消灯しましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7625 焼肉店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（焼肉）	14	13	

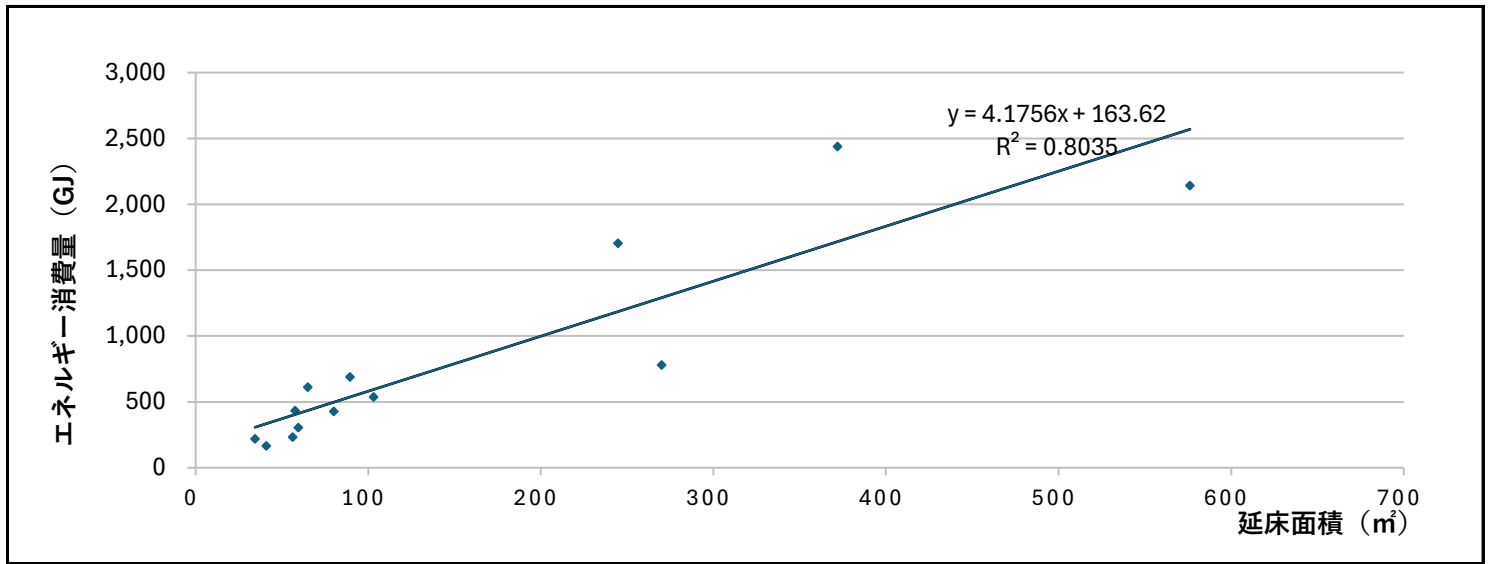
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1)



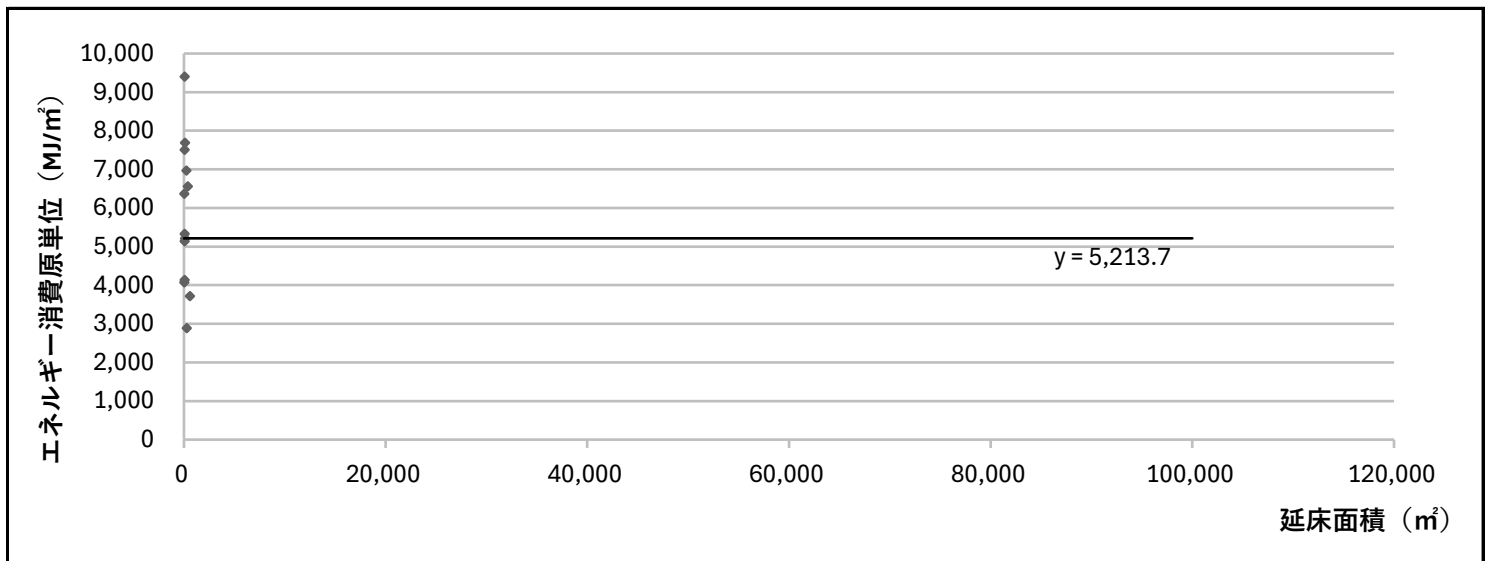
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:1)



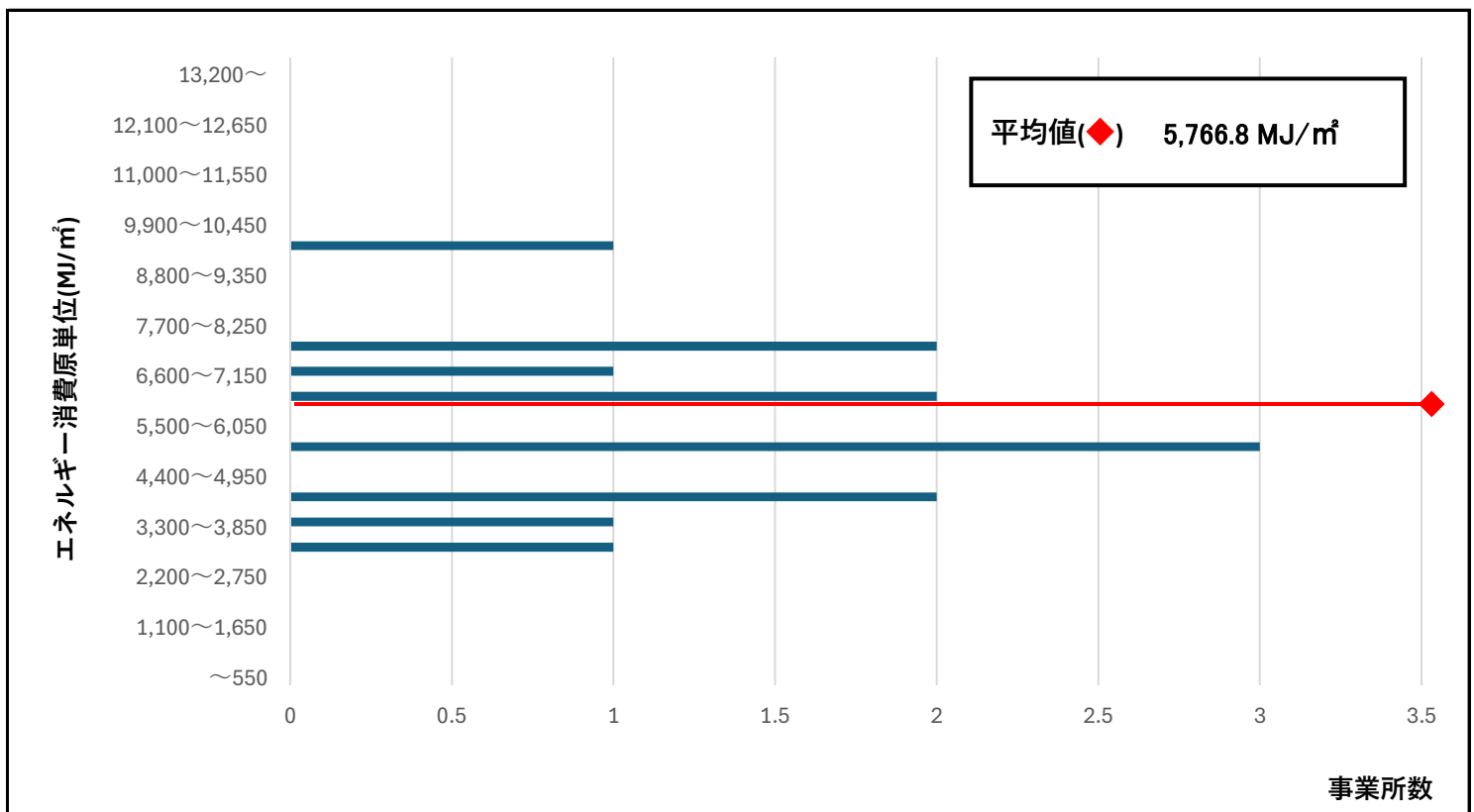
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



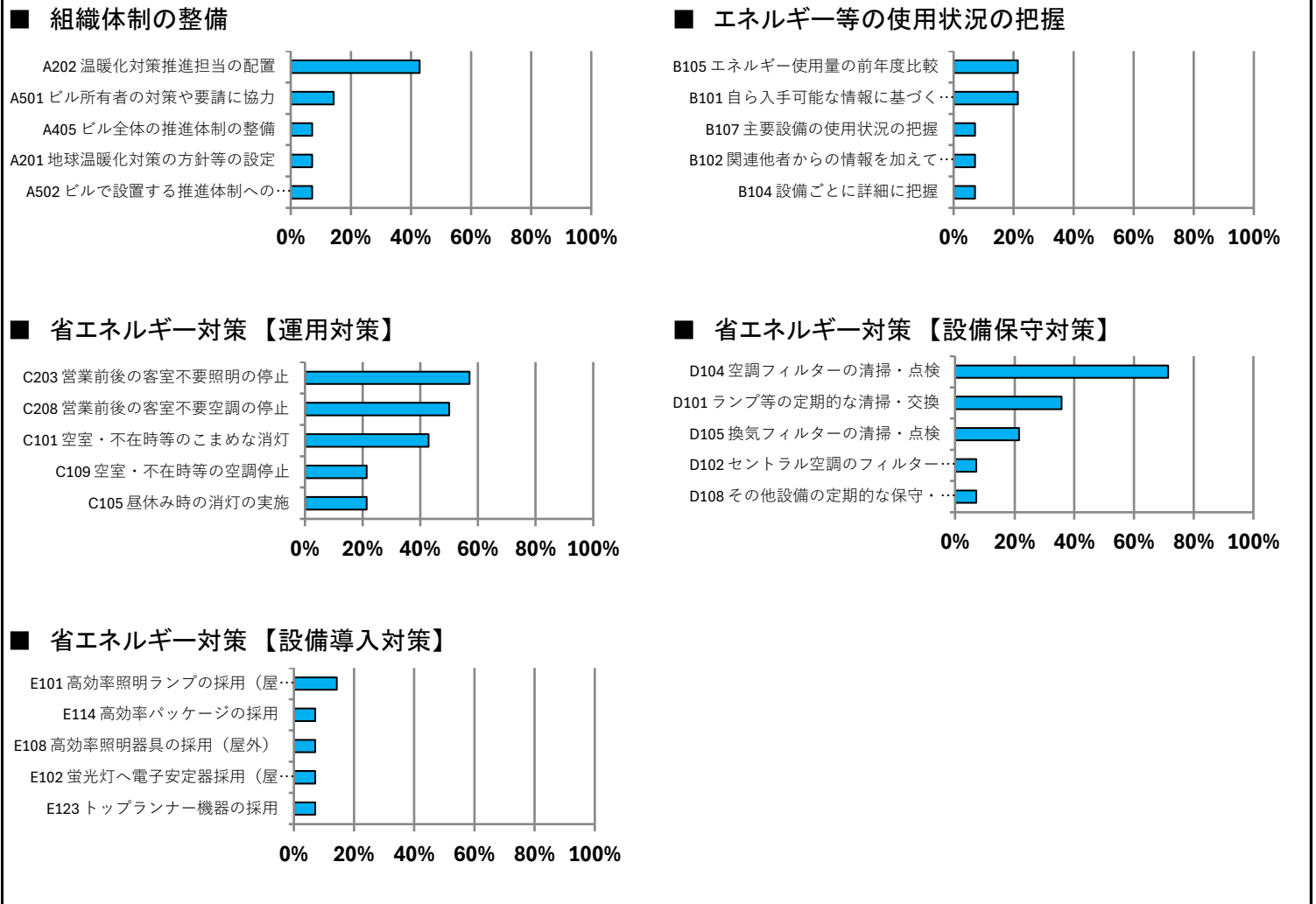
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

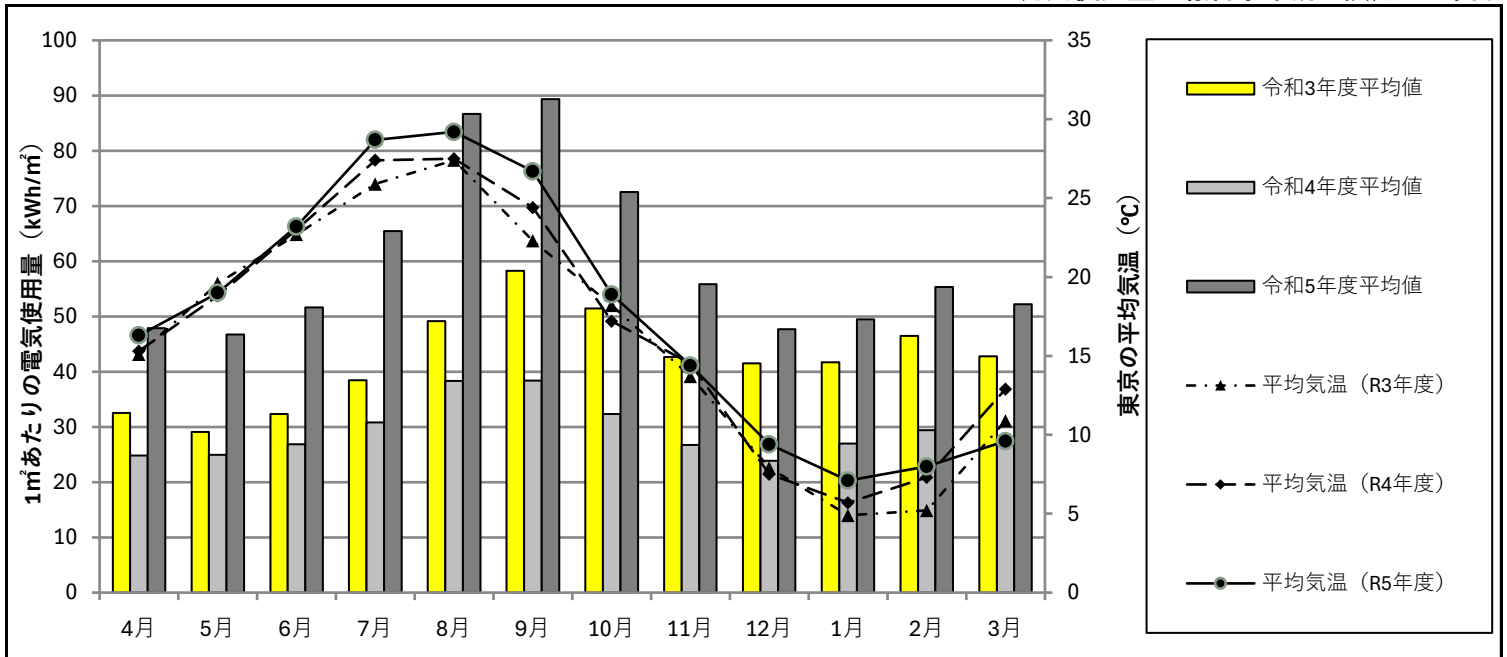


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

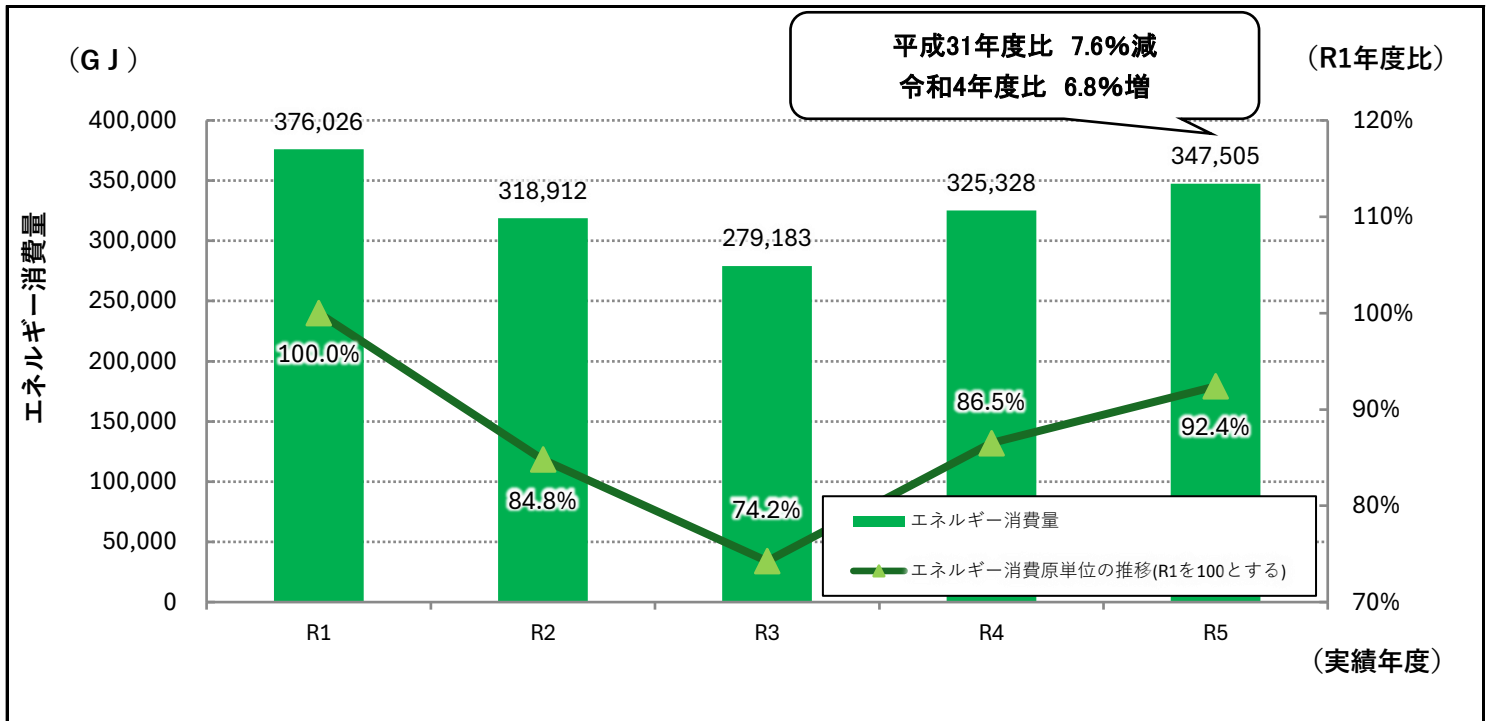
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



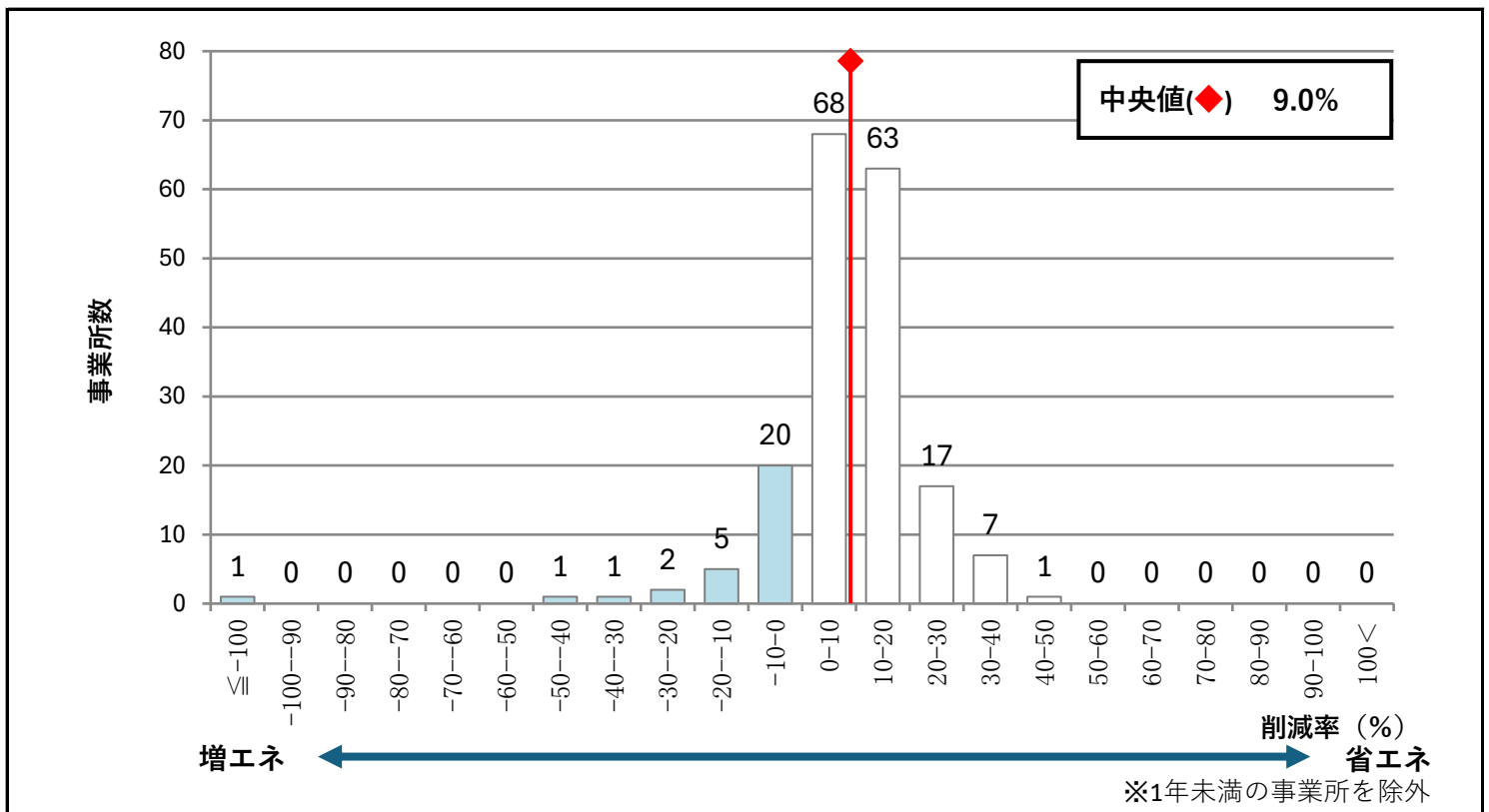
無煙ロースターからの排気量が多いため、室内へ大量の外気が侵入するのが特徴です。すべてのロースターから常時排気されていると、その分侵入外気が増加し、空調負荷が無駄に増大します。客席をゾーン分けして、ゾーン毎に排気ダクトに閉止ダンパーを設置し、不要時に閉止することで排気風量の削減が図れます。排気ファン風量の削減をインバータ制御で行うことで空調負荷の大幅な省エネが期待できます。最近では天井から各テーブルのロースターの直上にダクトを下ろして煙を吸い取る方式も多く使われています。各テーブル毎にダクトのダンパーを開閉が可能で効率的です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類 「7623 中華料理店」「7624 ラーメン店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（中華料理・ラーメン）	252	243	

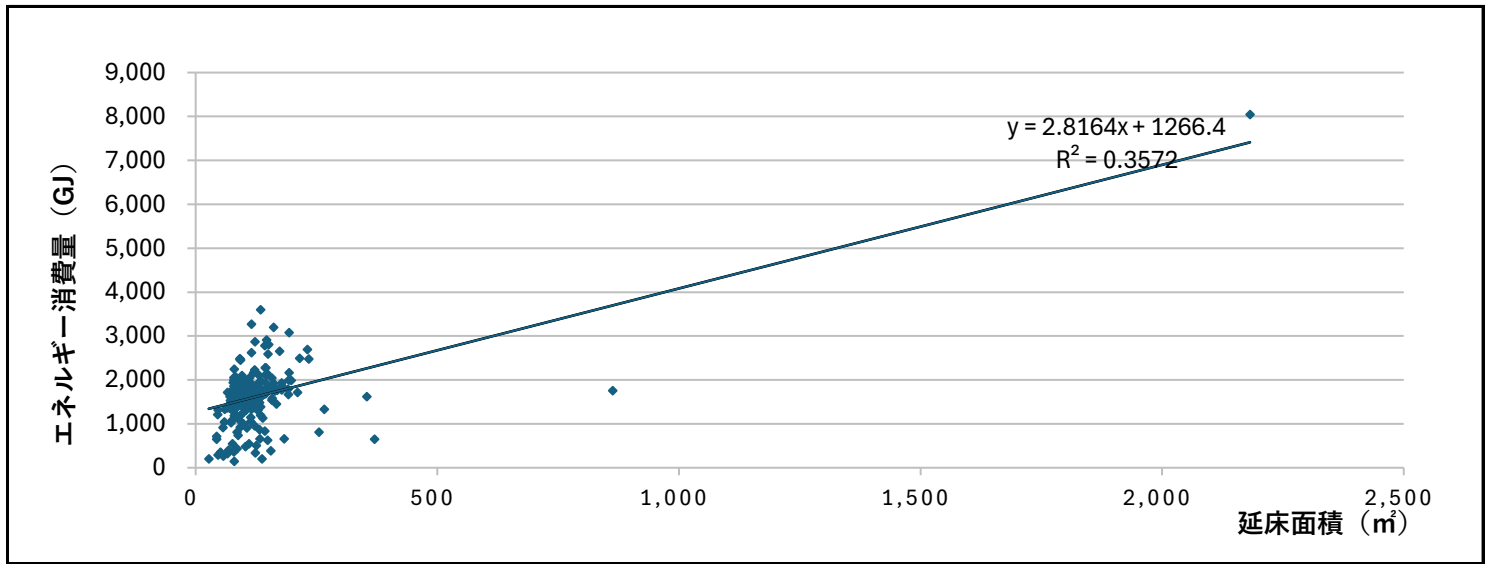
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:198)



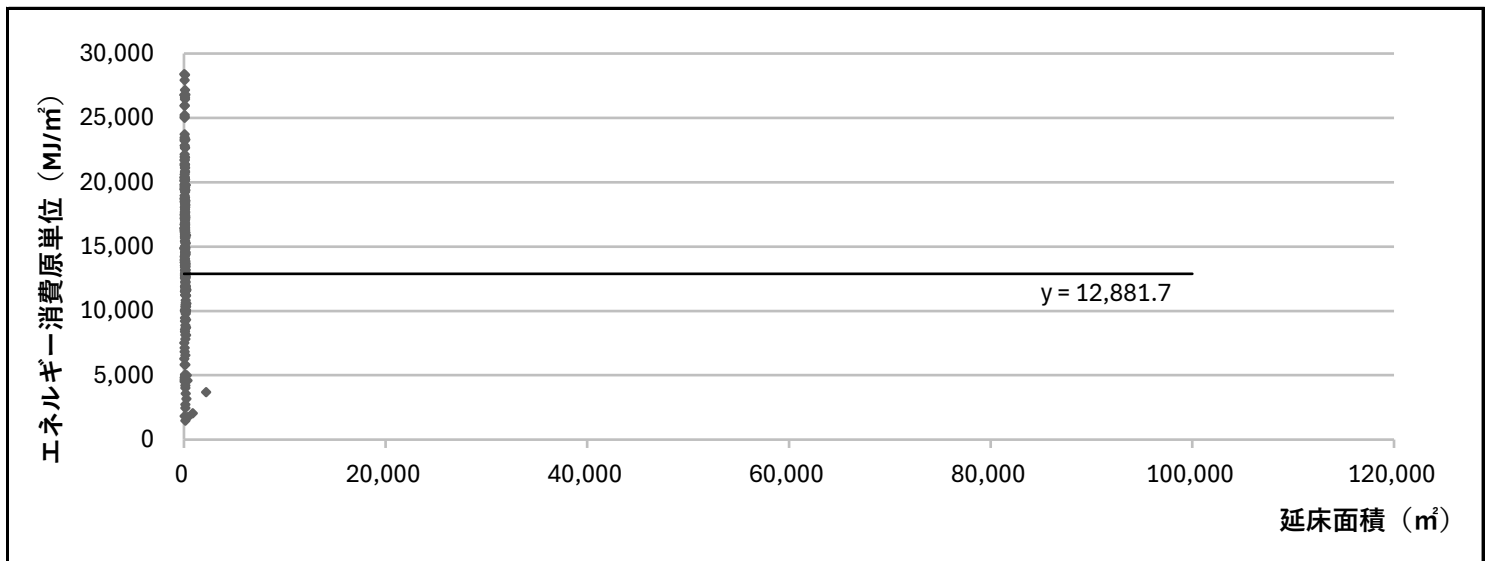
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:186)



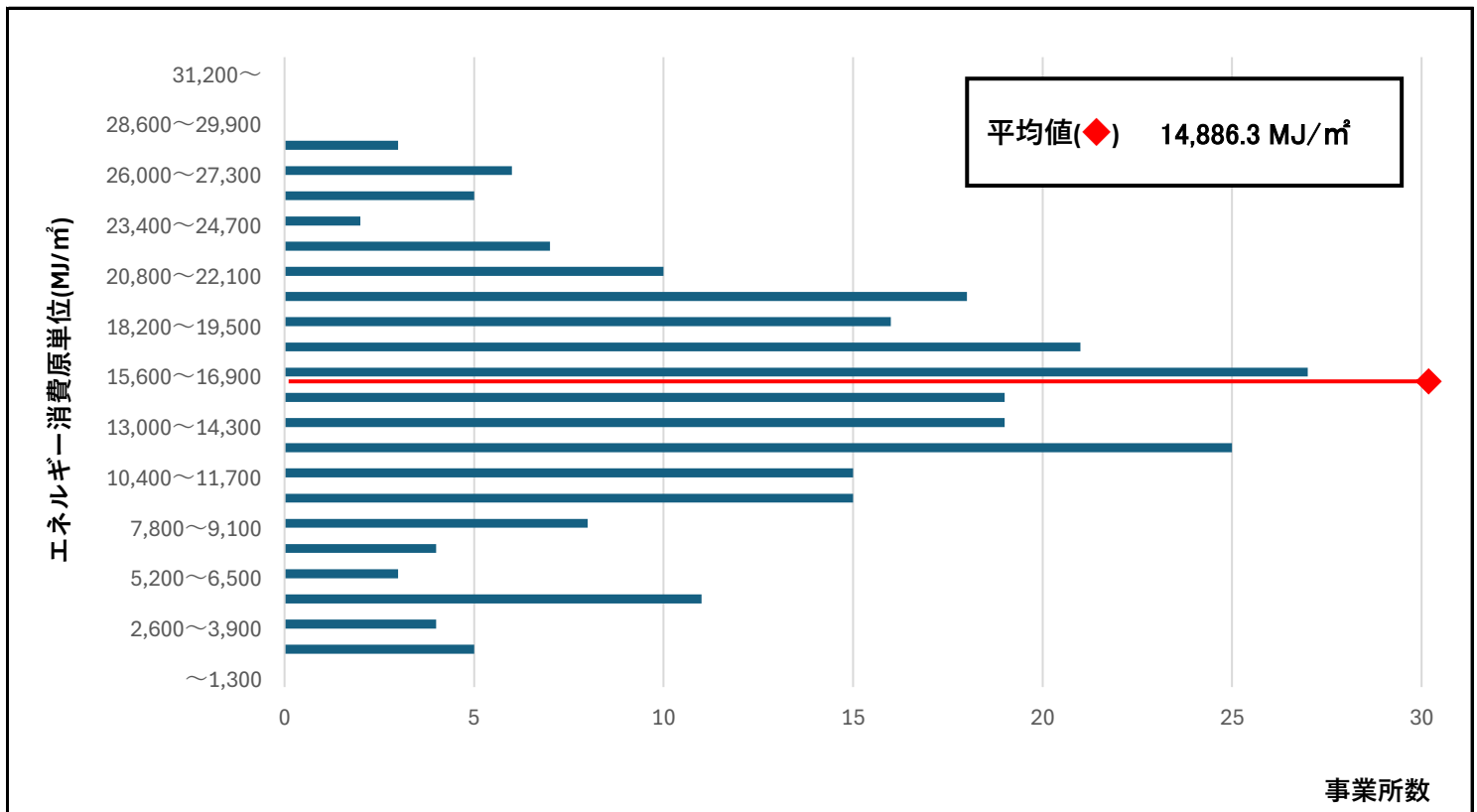
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



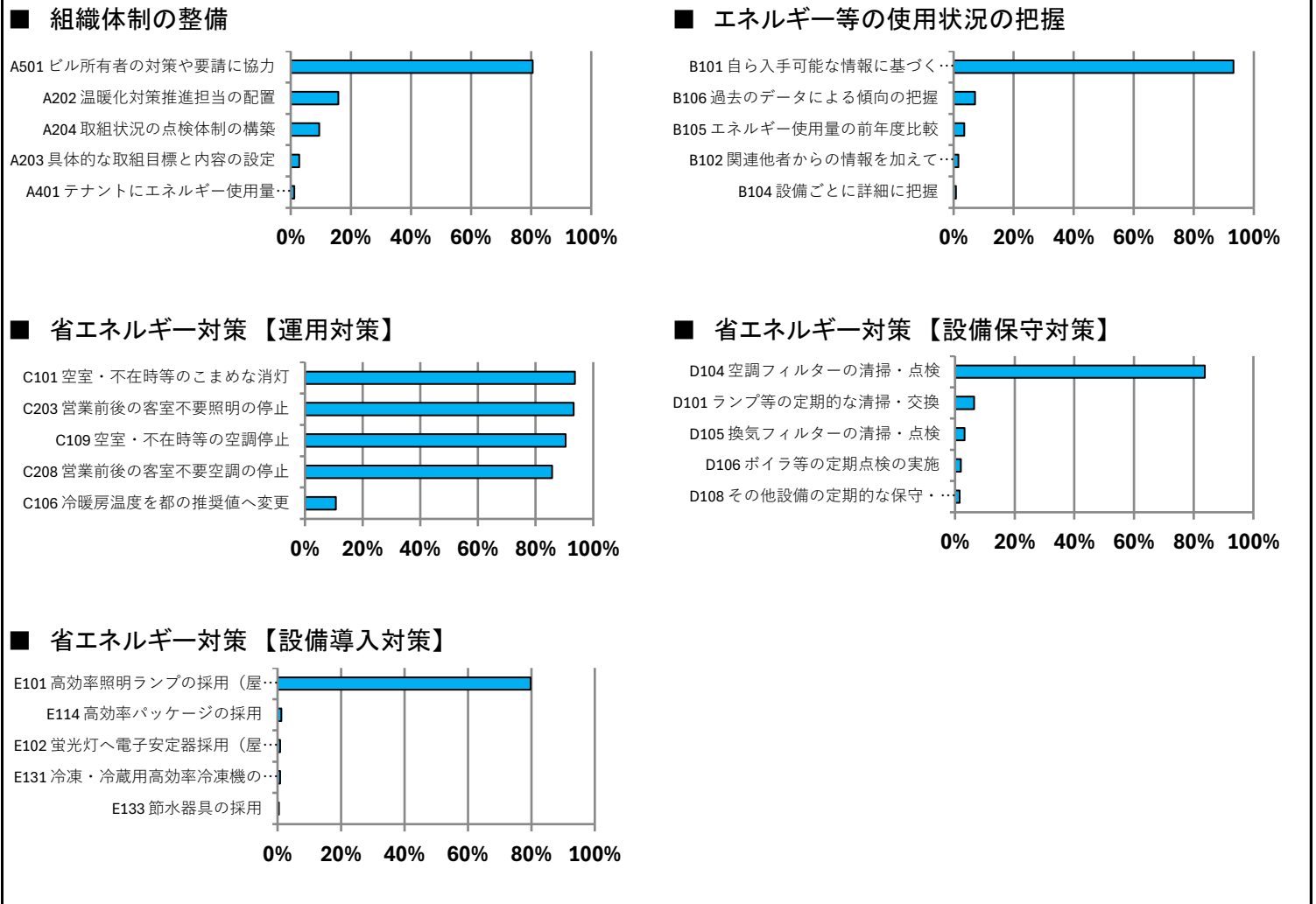
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

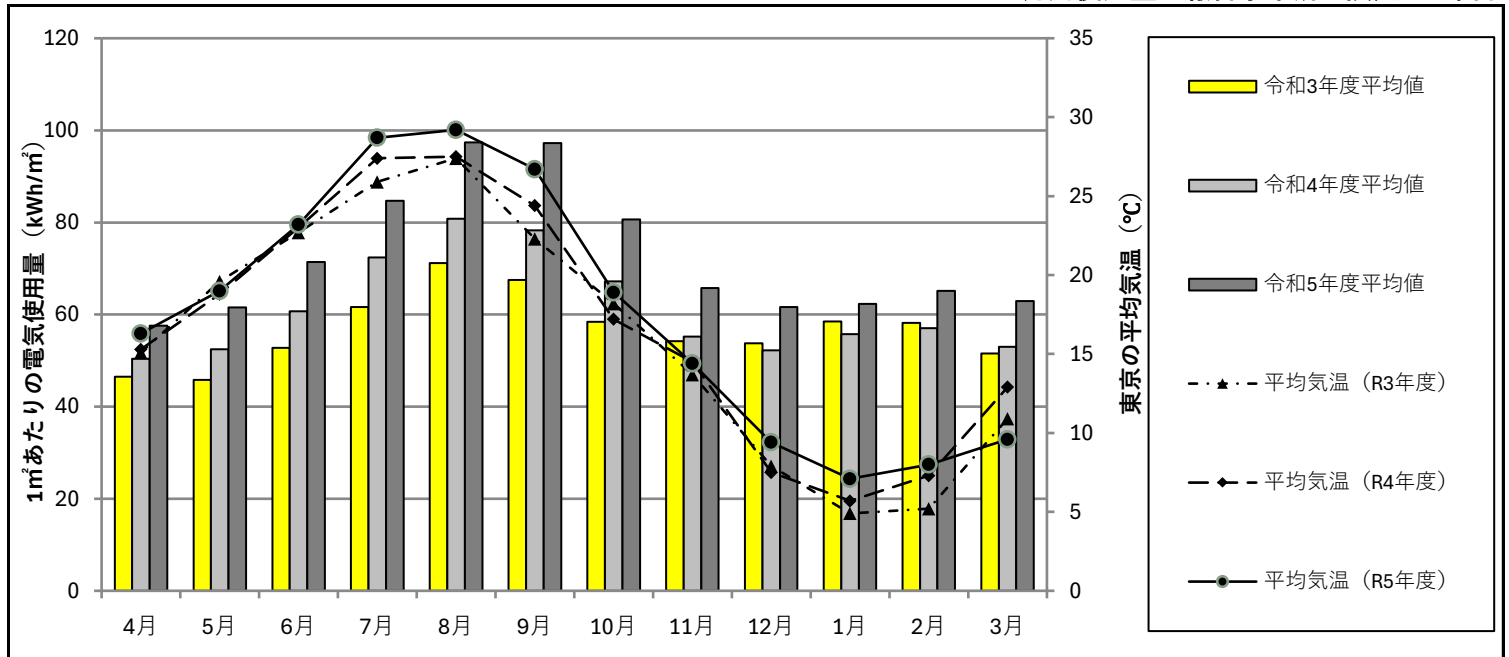


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

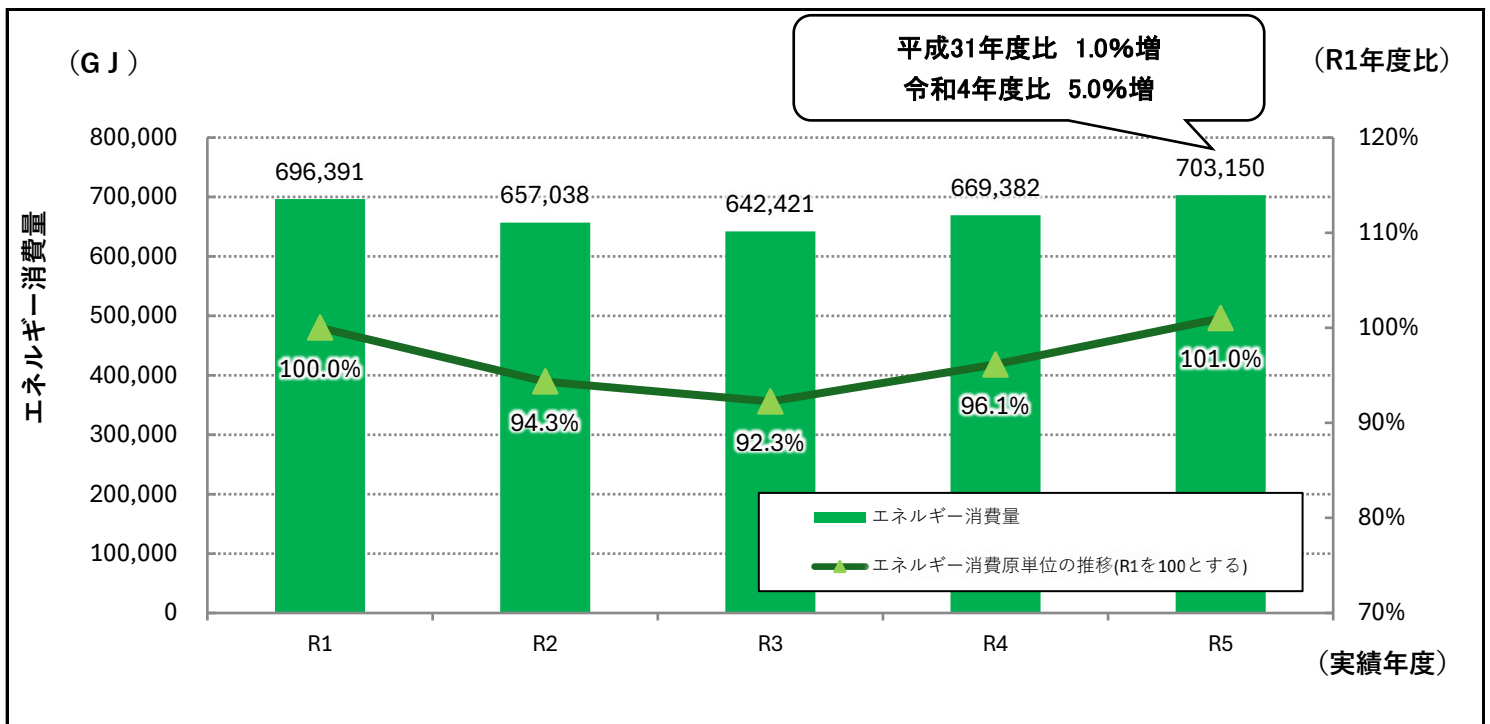
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



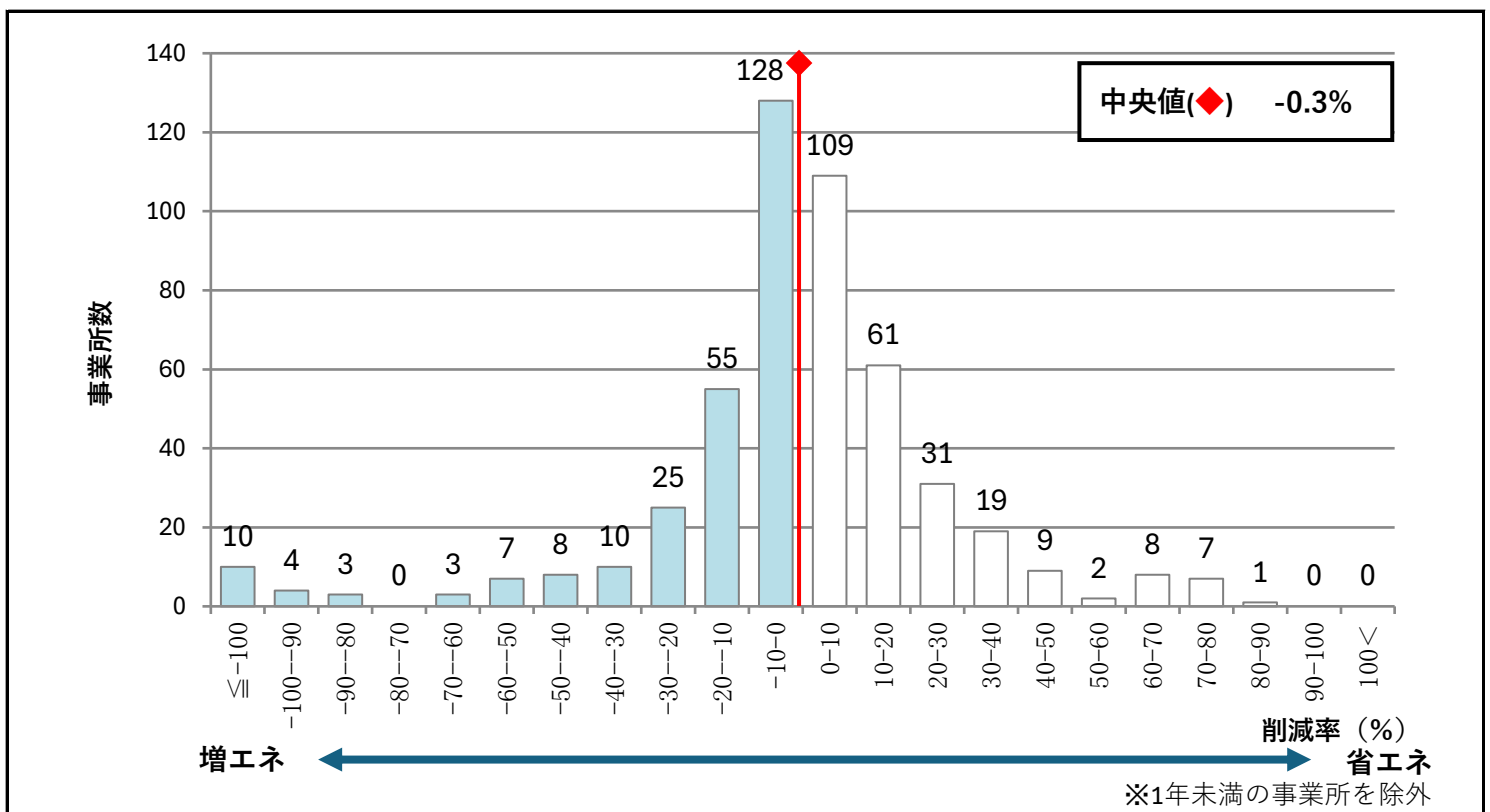
中華やラーメン類の調理には多くの湯煙や臭気が発生するので、一般の食堂と比べレンジフードの排気量が多くなっています。その分大量の外気が侵入し、空調機の外気処理のための消費エネルギーが増大しています。給気と排気のバランスをレンジ周りで行い、なるべく空調負荷とにならないよう配慮することで省エネが実現できます。また厨房内の空調フィルターは油などで詰まりやすいため、定期的な清掃が特に必要となります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7621 日本料理店」「7622 料亭」「7629 その他の専門料理店」「7631 そば・うどん店」「7641 すし店」「7692 お好み焼き・焼きそば・たこ焼店」「7699 他に分類されないその他の飲食店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(飲食)」
飲食店(その他)	639	614	

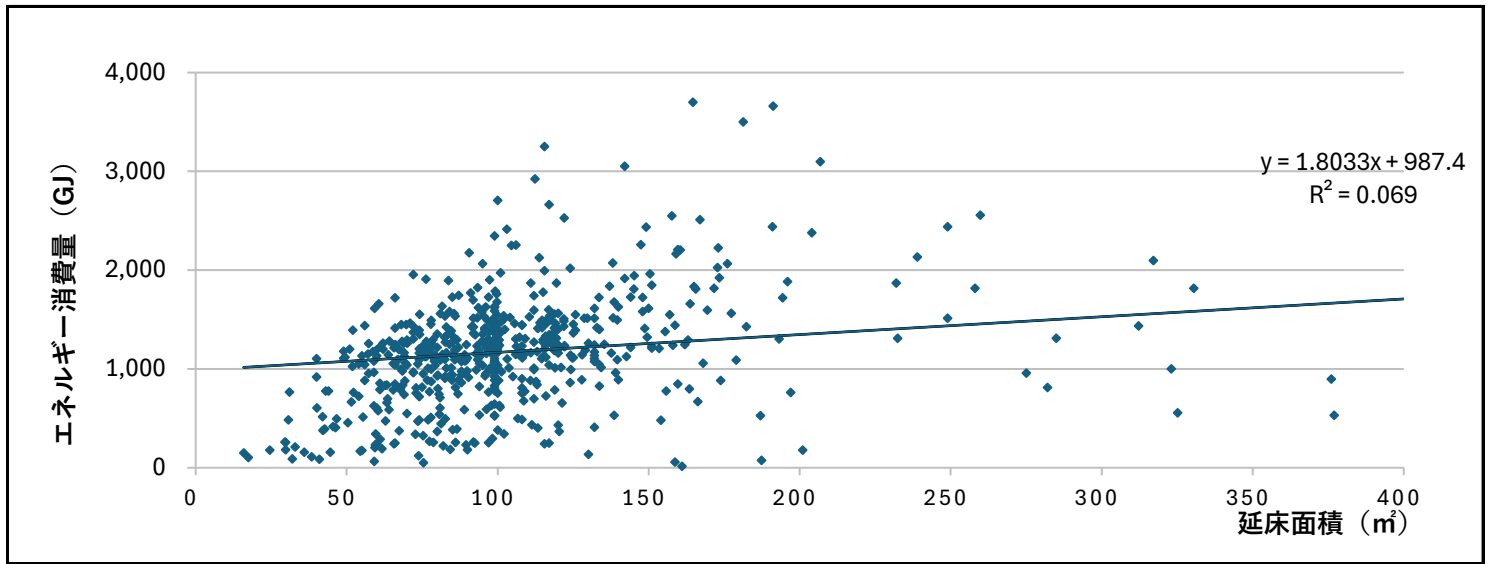
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:528)



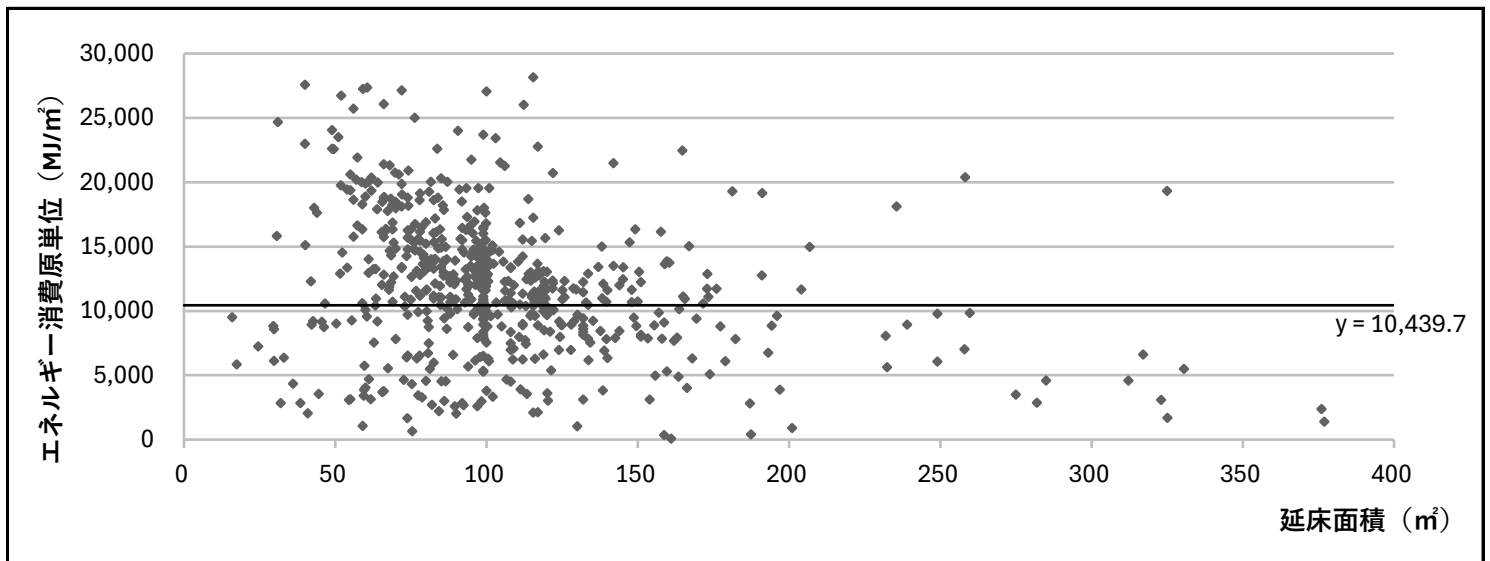
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:500)



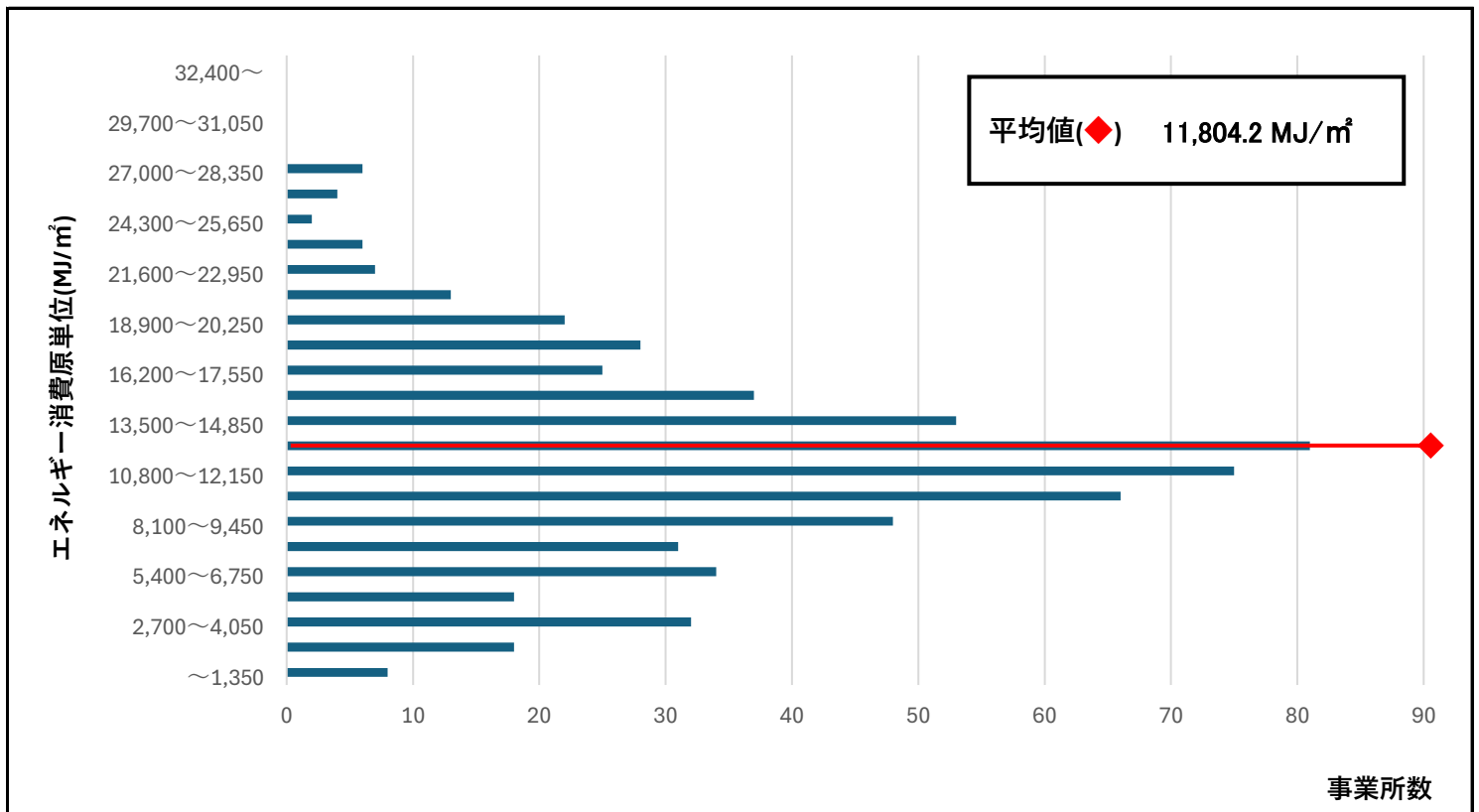
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



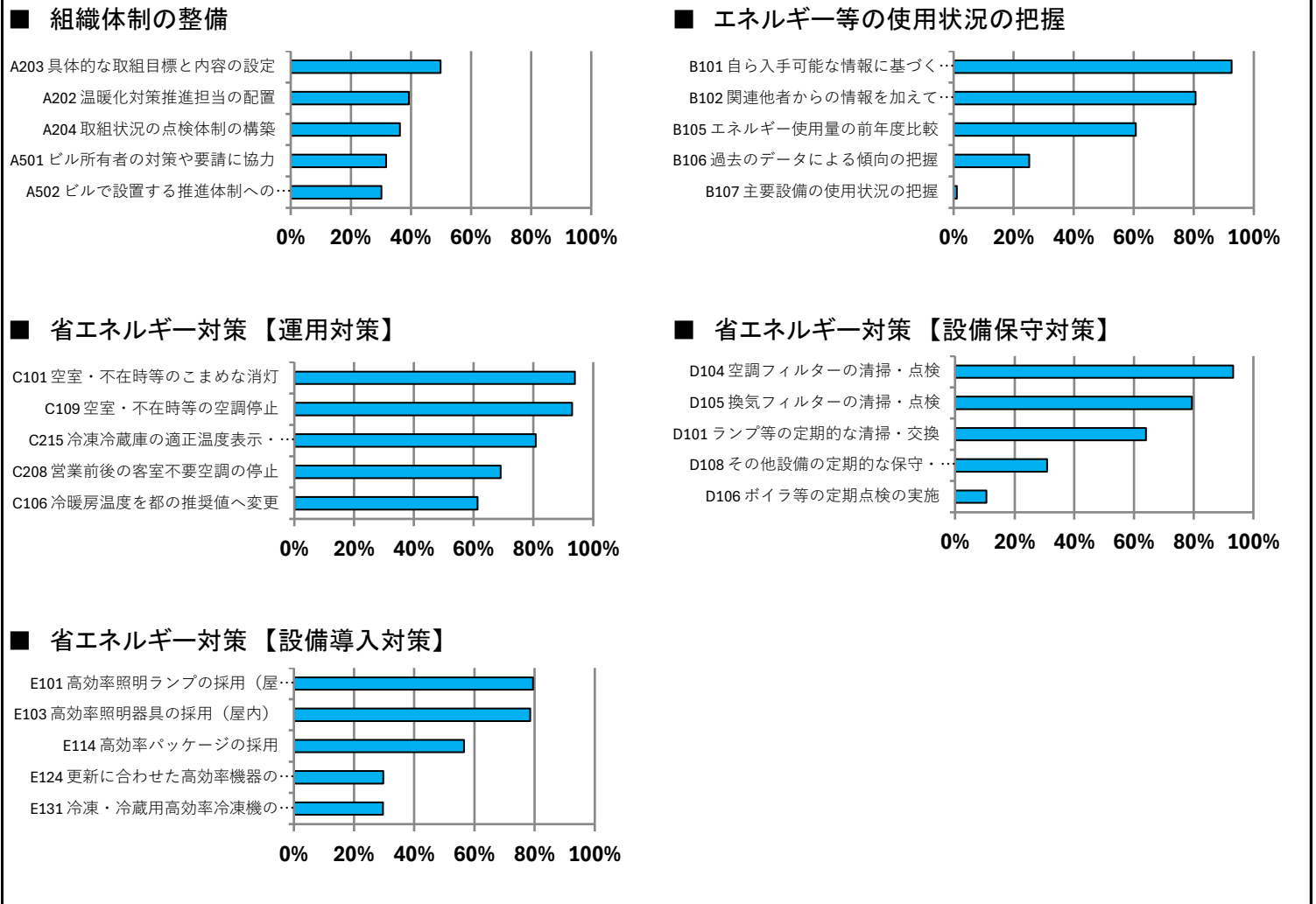
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

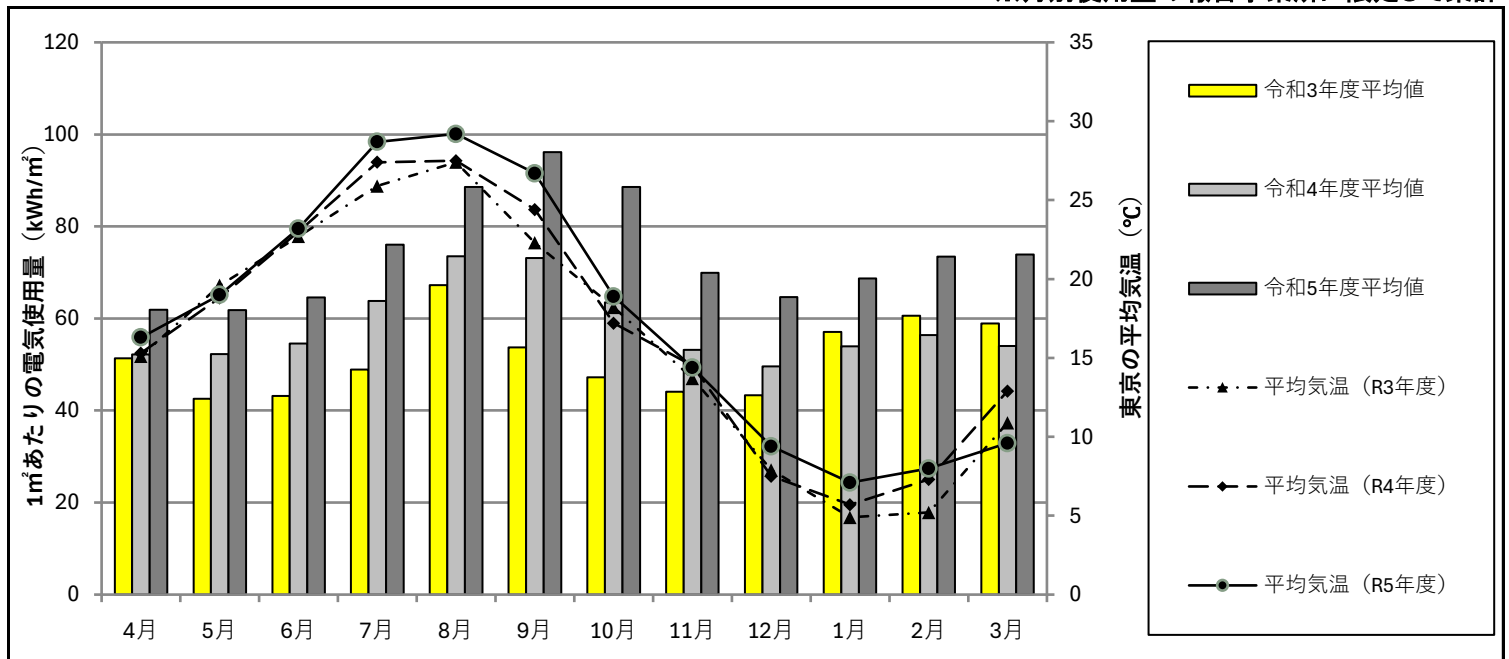


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

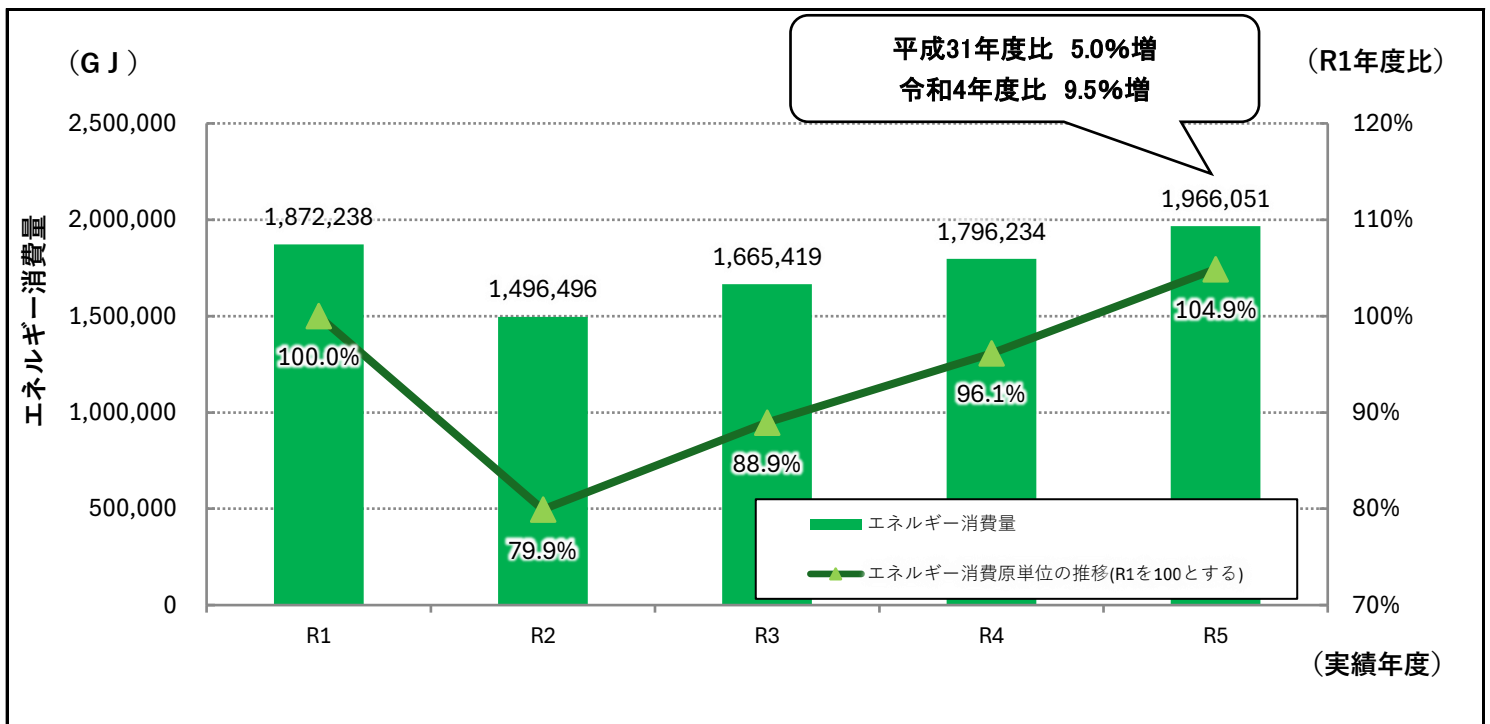
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



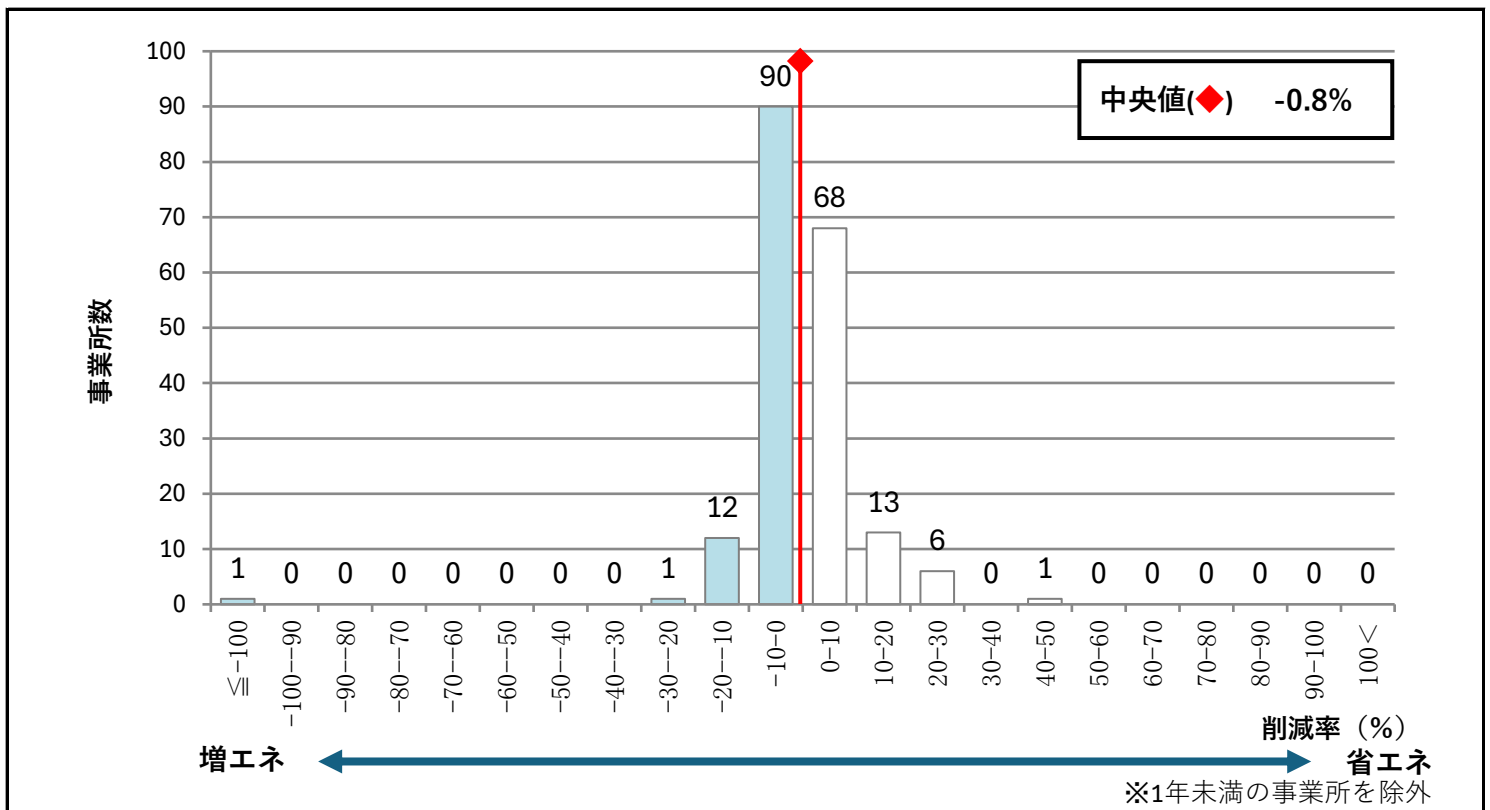
店舗の形態によって異なりますが、省エネの基本は空調と照明の高効率化です。メリハリのある照度計画や室温の緩和を心掛けて、過度な照度や室温設定を防止することが大切です。またLED照明や高効率エアコンの導入が効果的なので早めの更新計画をお勧めします。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7511 旅館・ホテル」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
旅館・ホテル	278	261	

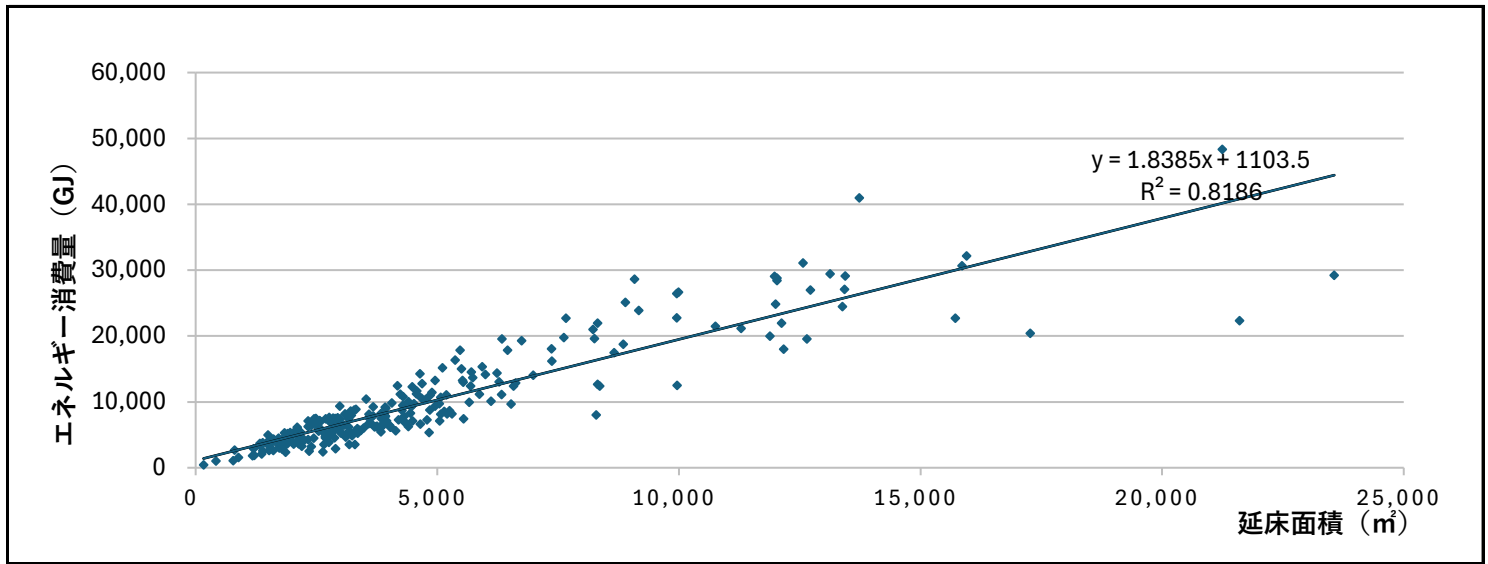
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:209)



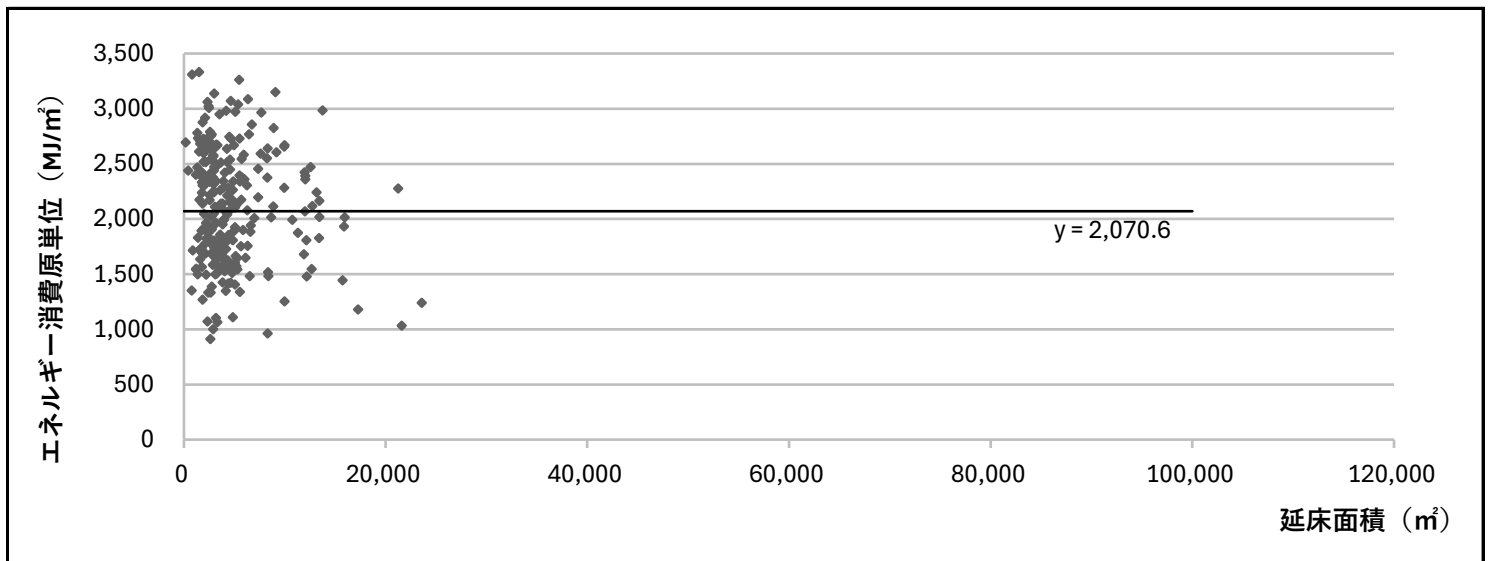
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:192)



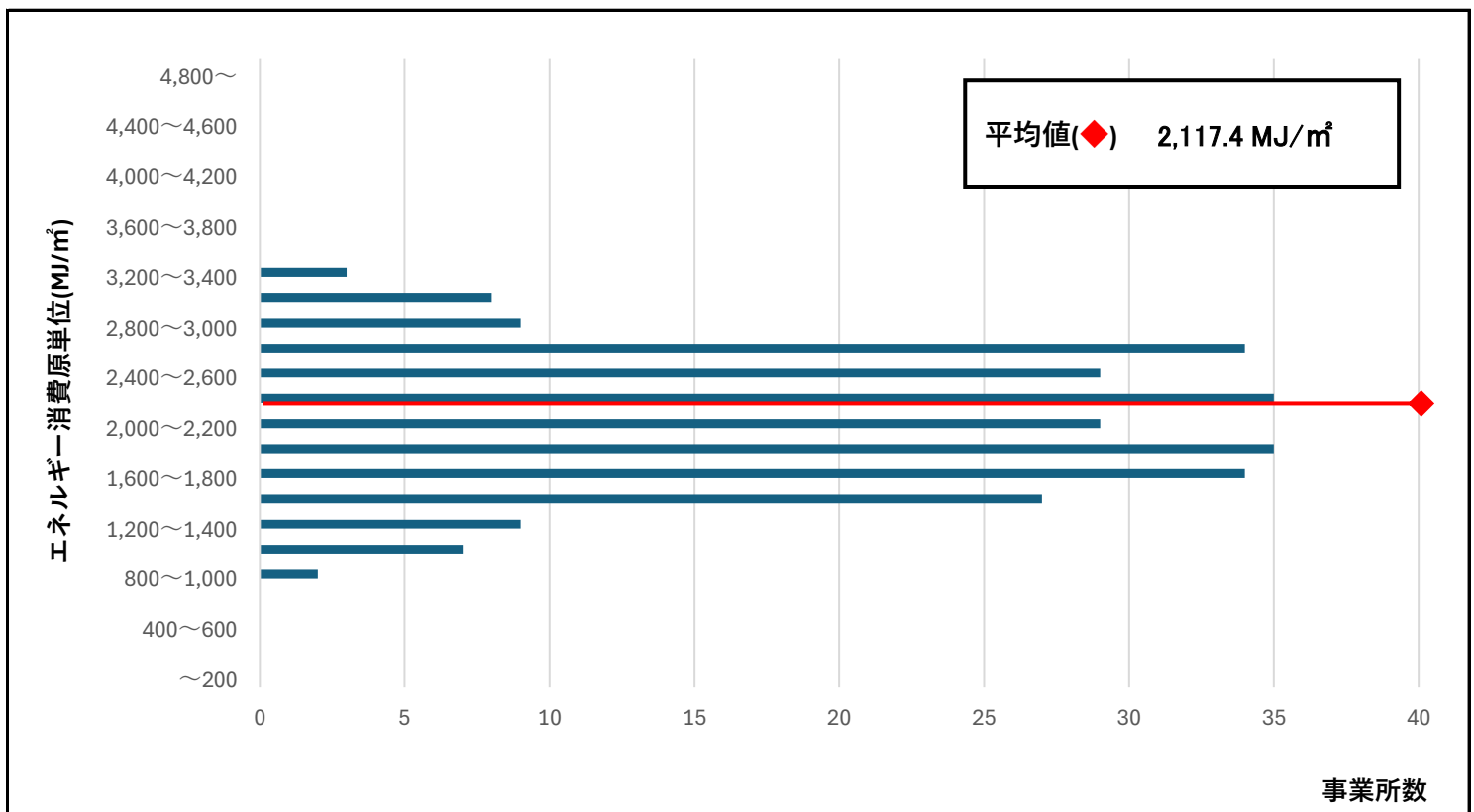
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



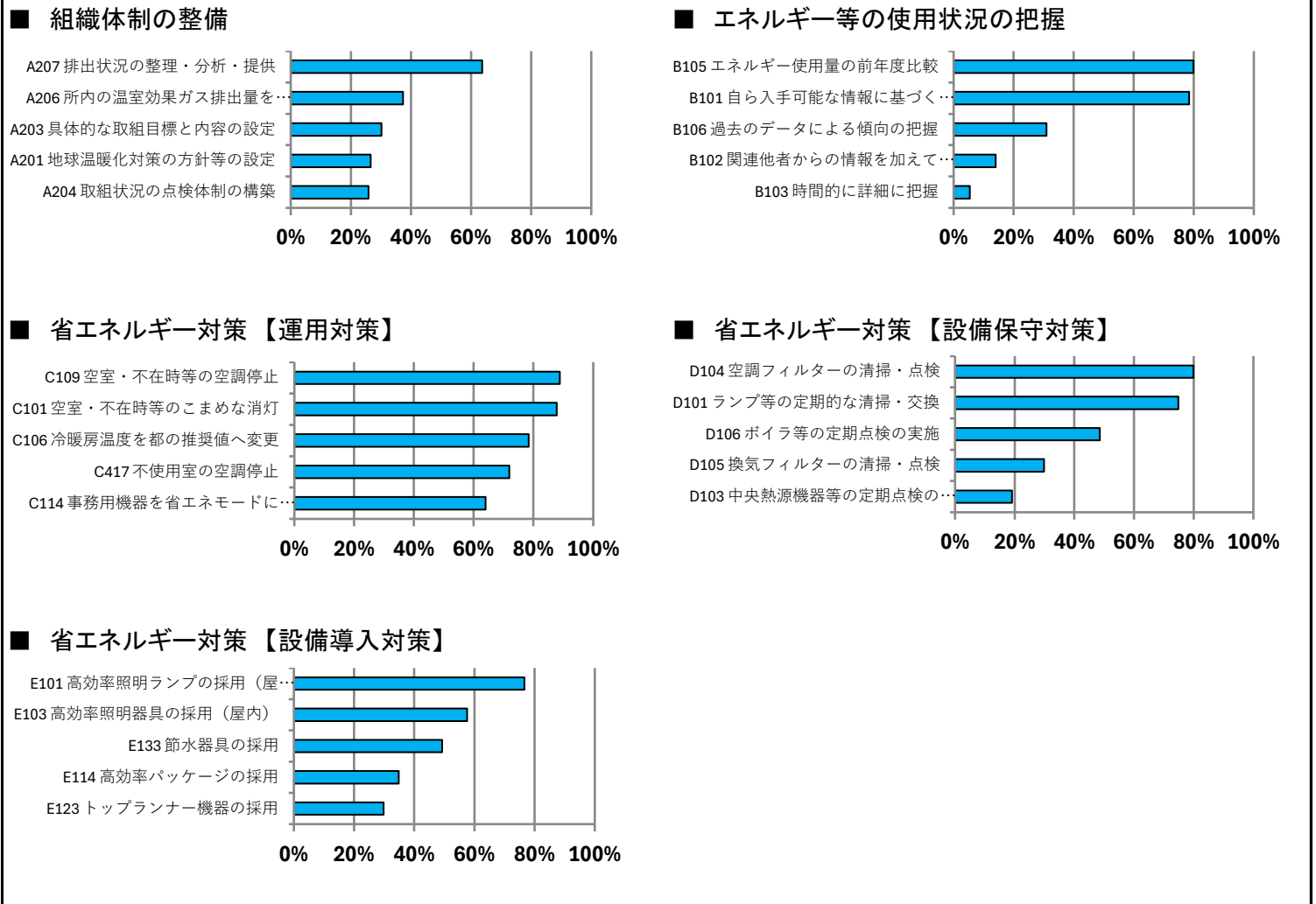
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

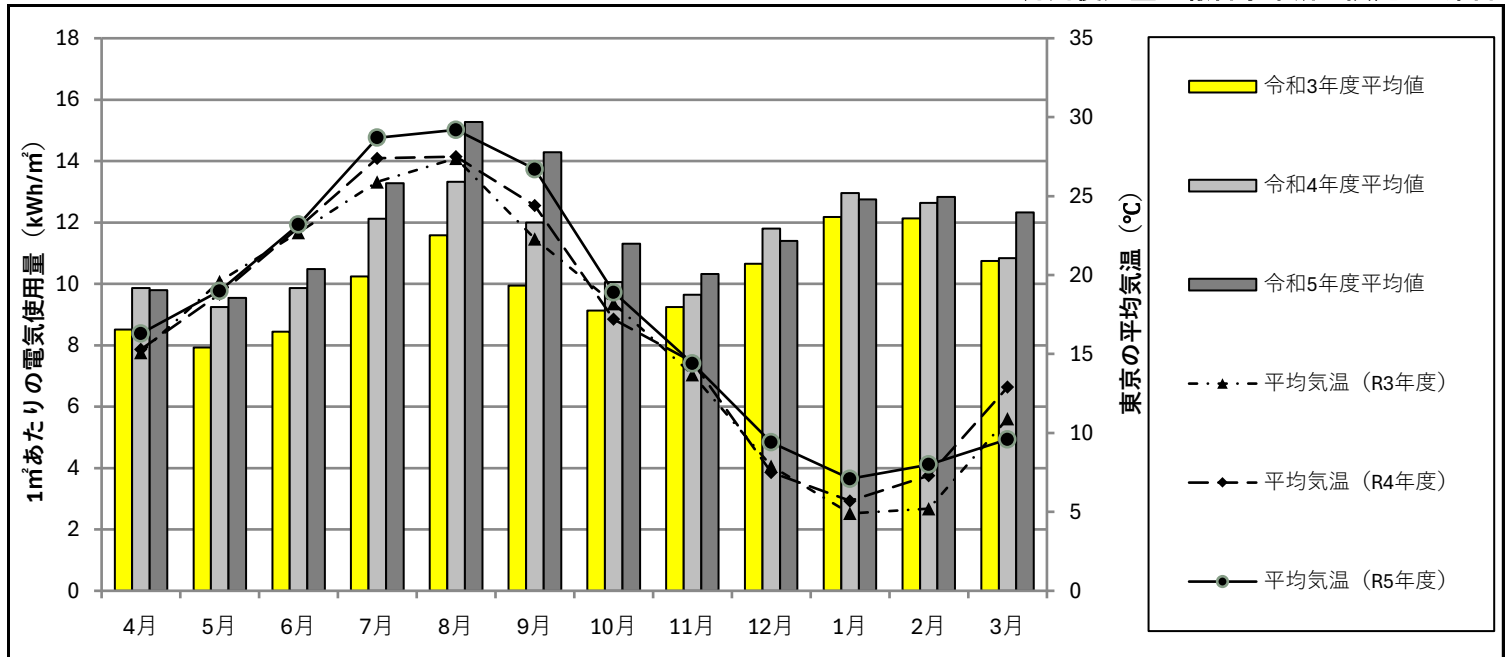


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

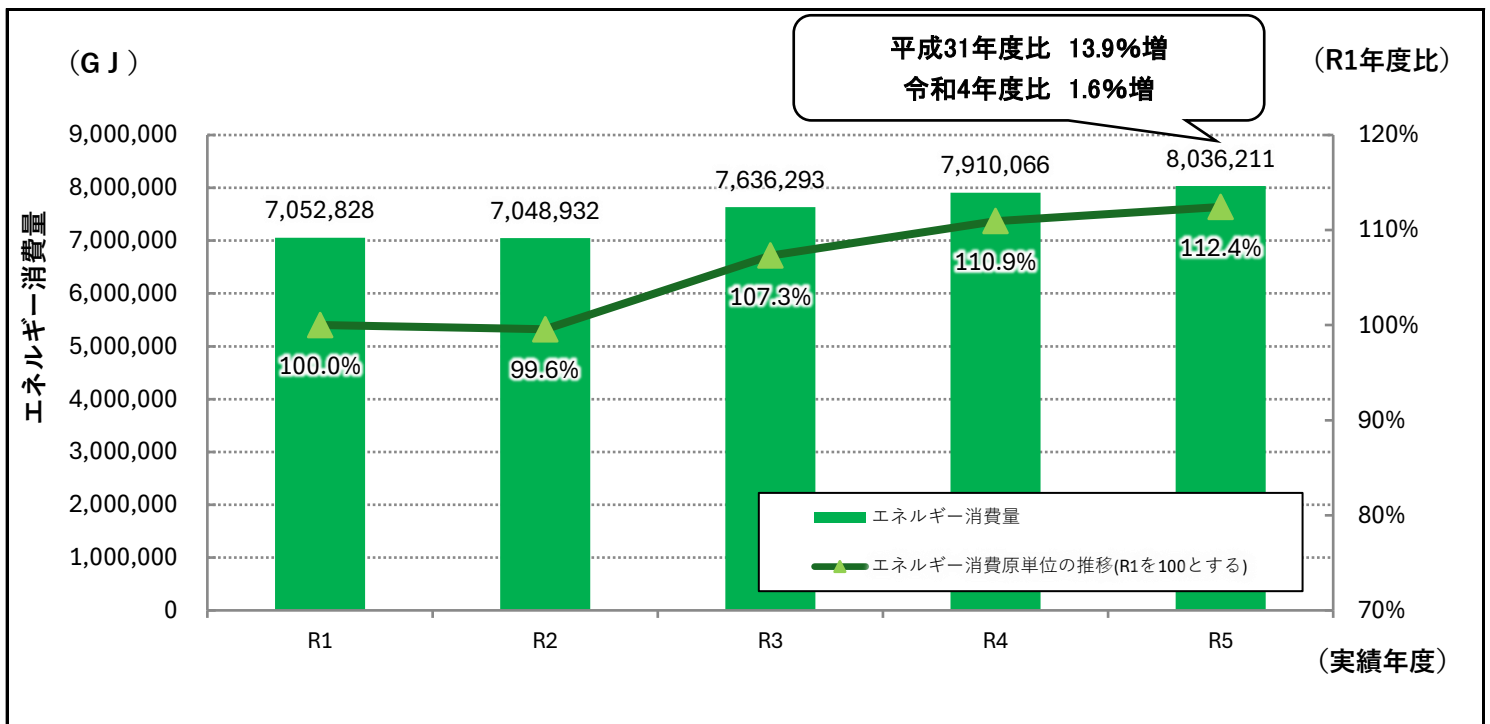
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



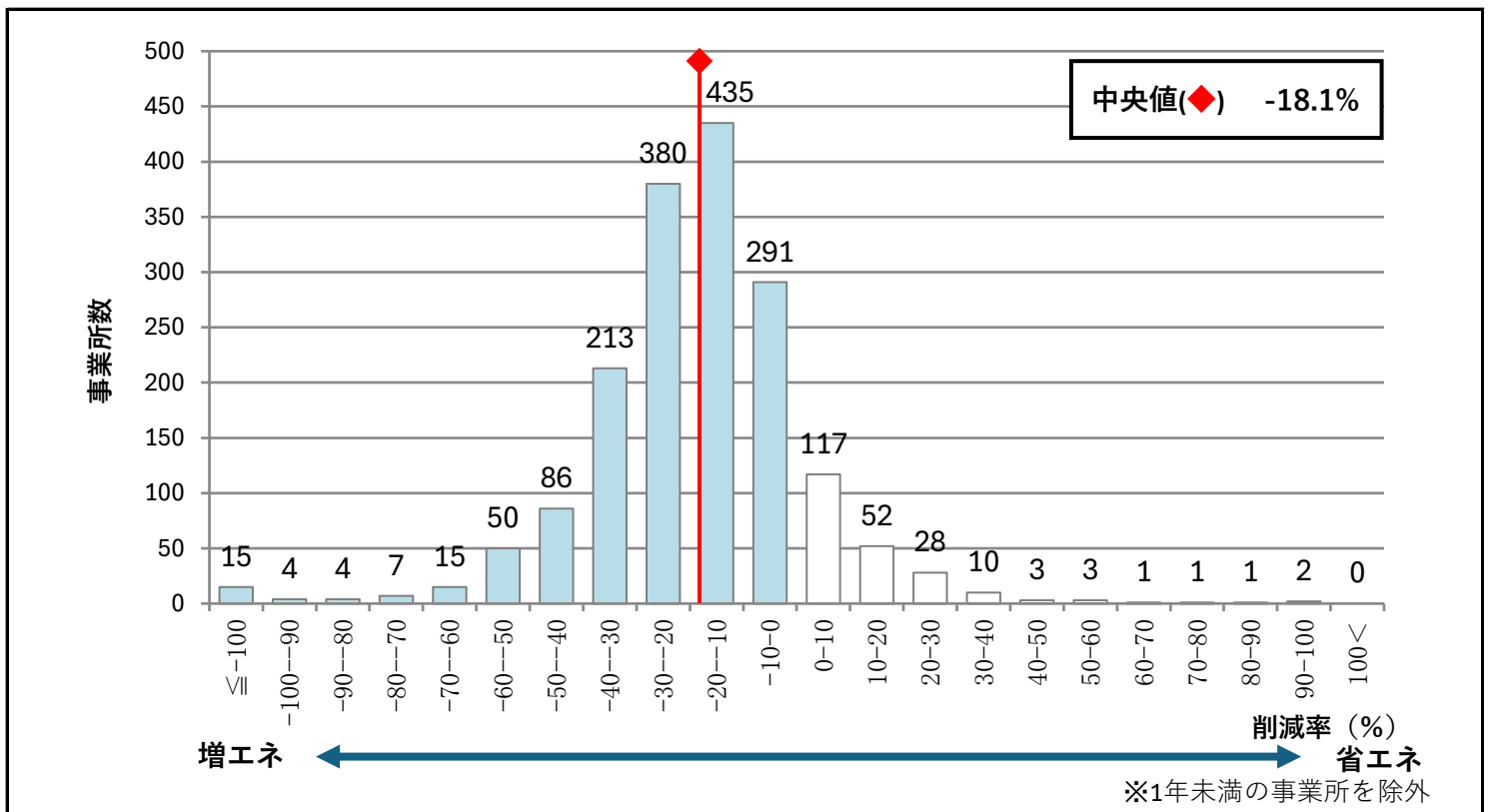
旅館・ホテルは運用改善・設備改善ともに比較的進んでいる業態です。個室のエアコン室内機やファンコイルは数が多いので、こまめにフィルターの清掃を実施してください。エントランスや食堂など時間帯によって在室人員数に大きな差が出るゾーンがあります。在室人員の少ない時間帯では、意識的にダンパやインバータなどで換気風量を絞ることで、空調の外気負荷が削減され省エネにつながります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「81** 学校教育」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
学校・教育施設	1,960	1,952	

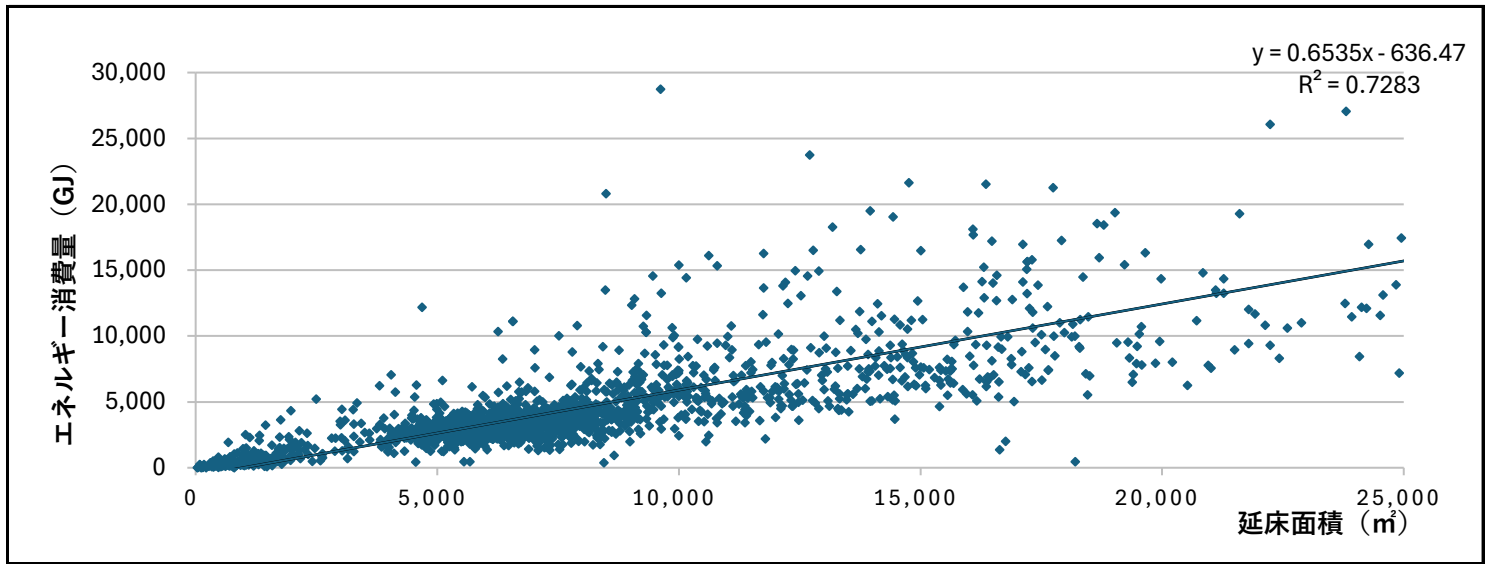
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1721)



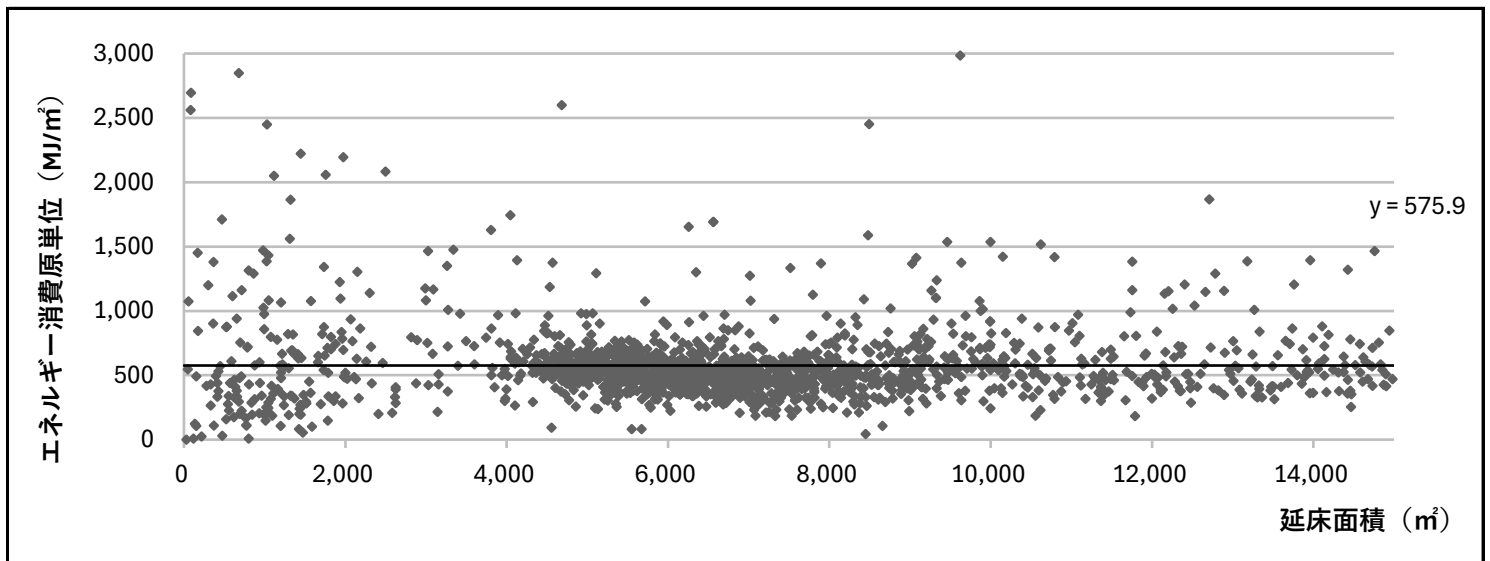
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:1718)



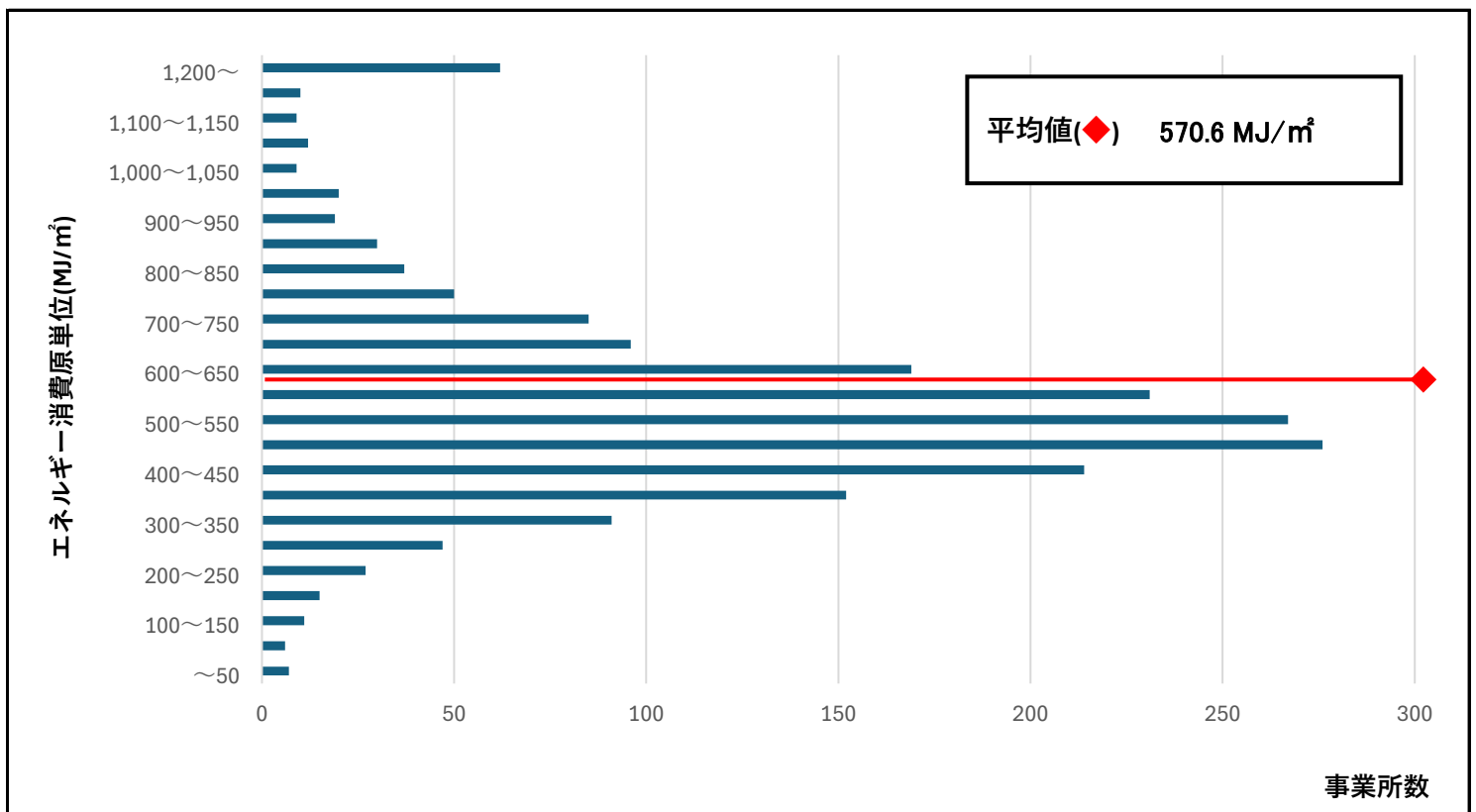
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



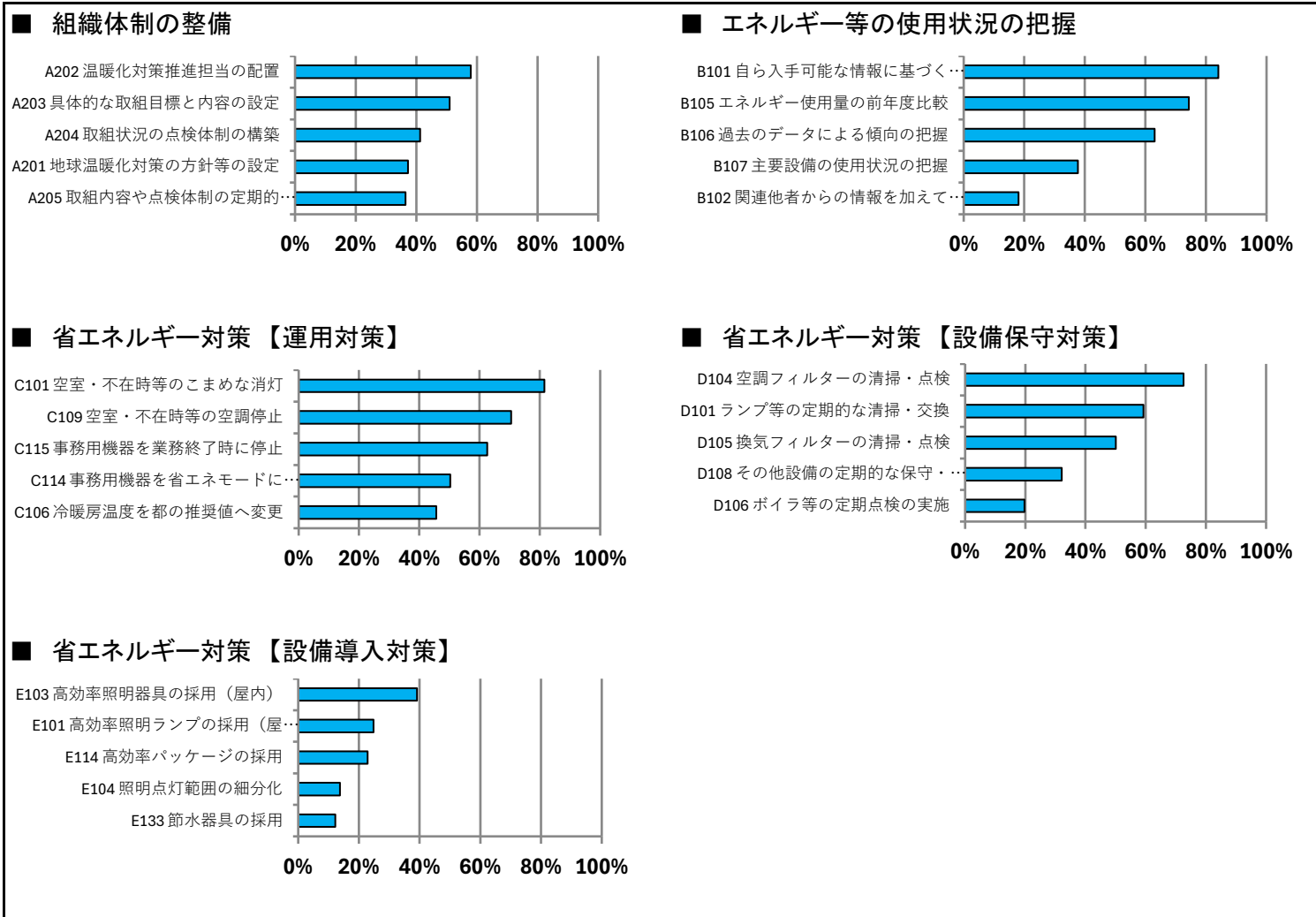
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

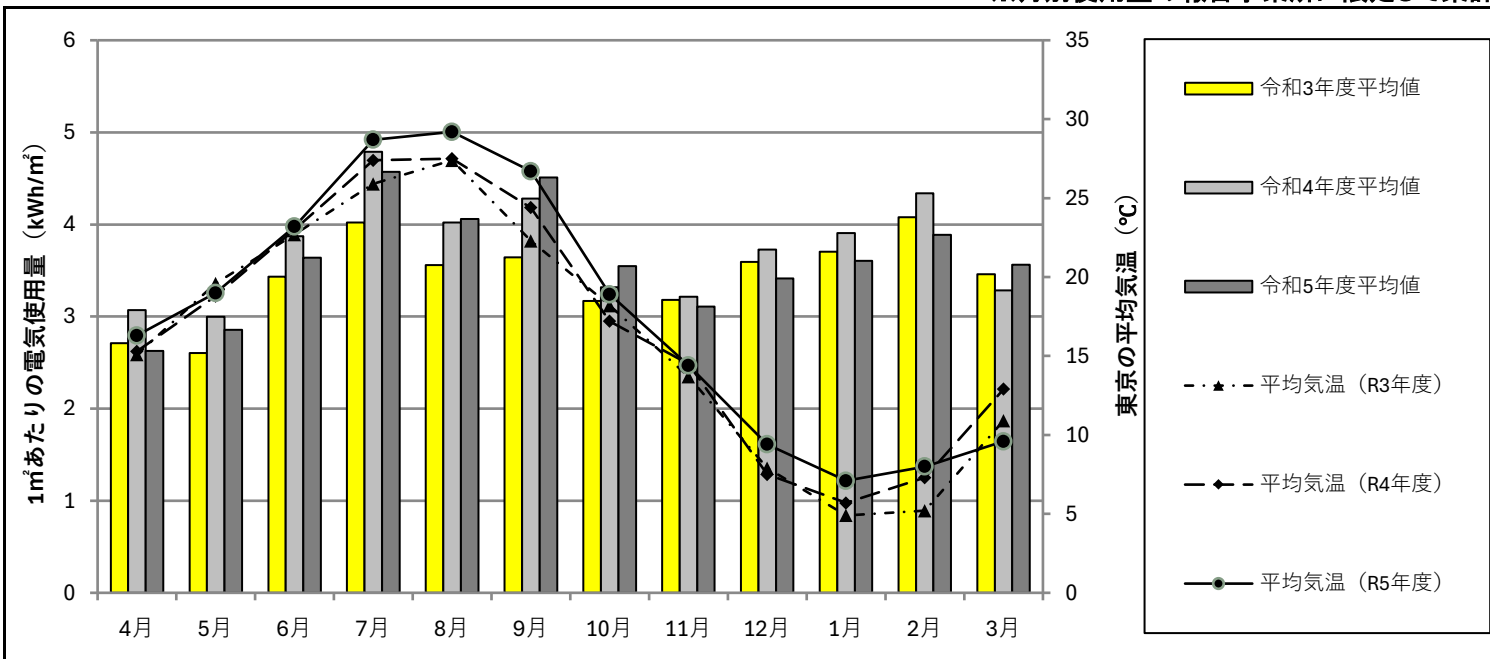


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

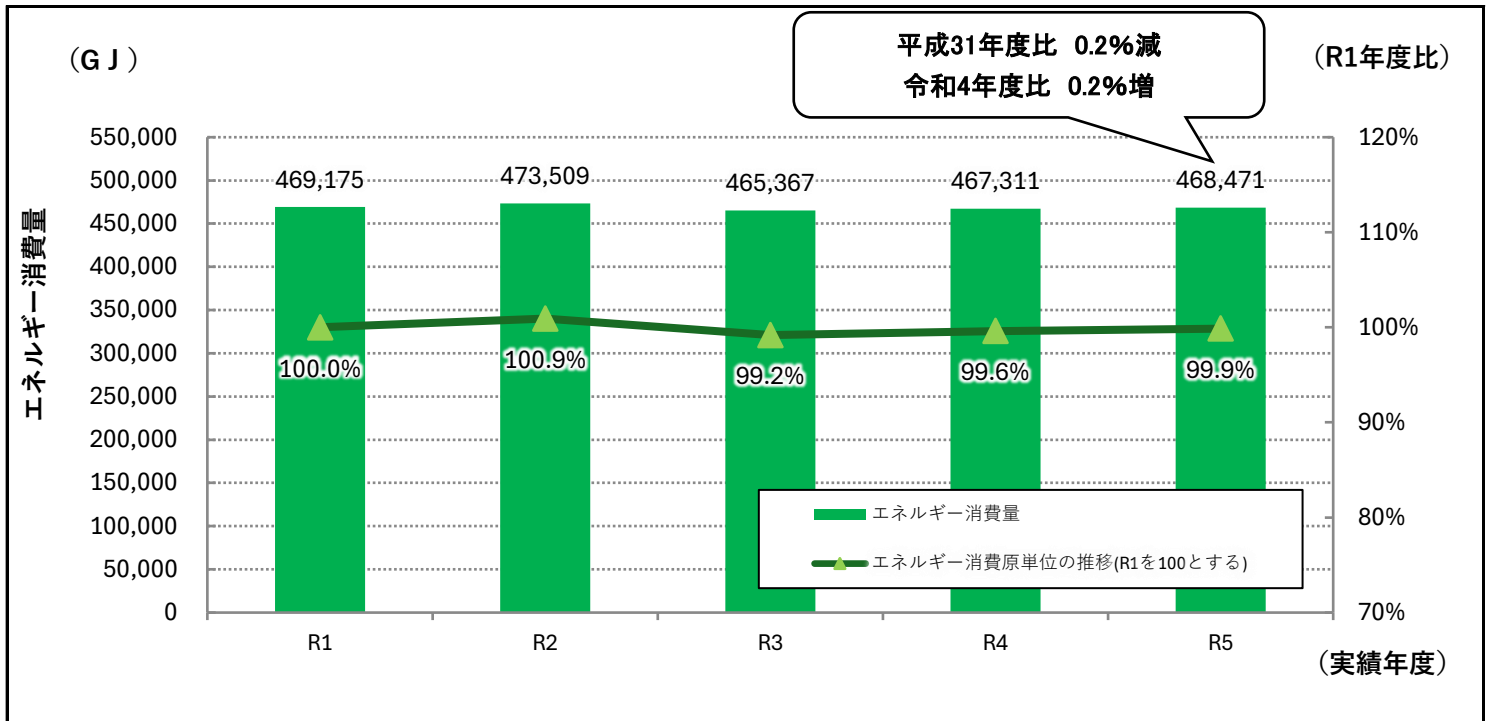
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



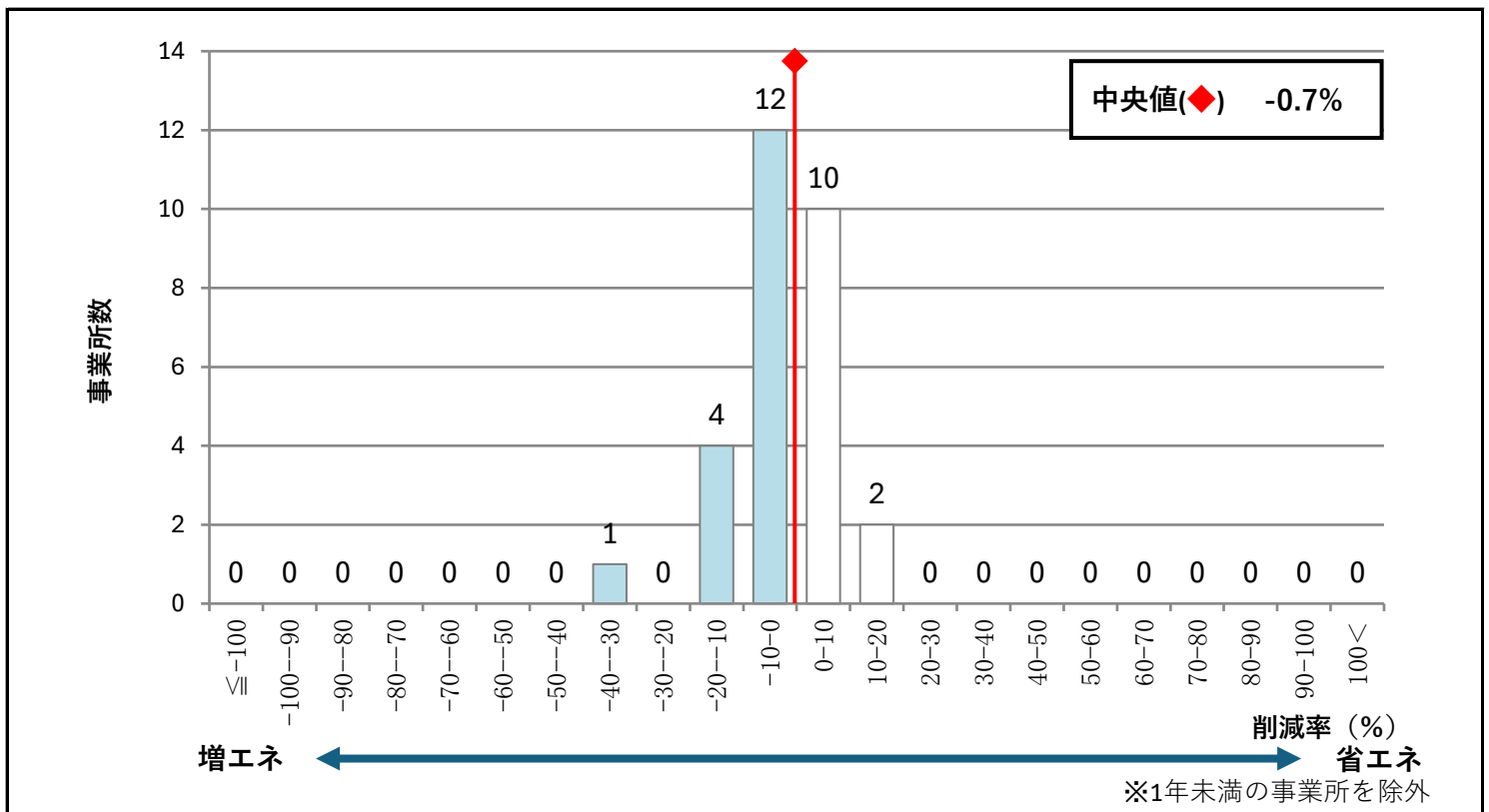
教室の窓際は晴天時2000Lxほどの照度となり、点灯の必要がありません。窓際専用のスイッチを設け晴天時はこまめに消灯することで省エネが進みます。日差しが当たる場合はブラインドの羽根を水平にすることで、日差しの遮断と照度の確保が両立できます。体育館など高天井の水銀灯は立ち上がりに時間がかかり、かつ効率が悪いので早めにLED化を計画してください。プールのある場合は、夜間の循環ろ過ポンプ停止やインバータ制御による循環水量の削減など、ポンプ動力の低減に努めましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8311 一般病院」 「8312 精神科病院」「8321 有床診療所」 「8322 無床診療所」「8331 歯科診療所」 「8351 あん摩・はり師・きゆう師・柔道整復師」 「8352 療術業」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
病院・診療所	135	134	

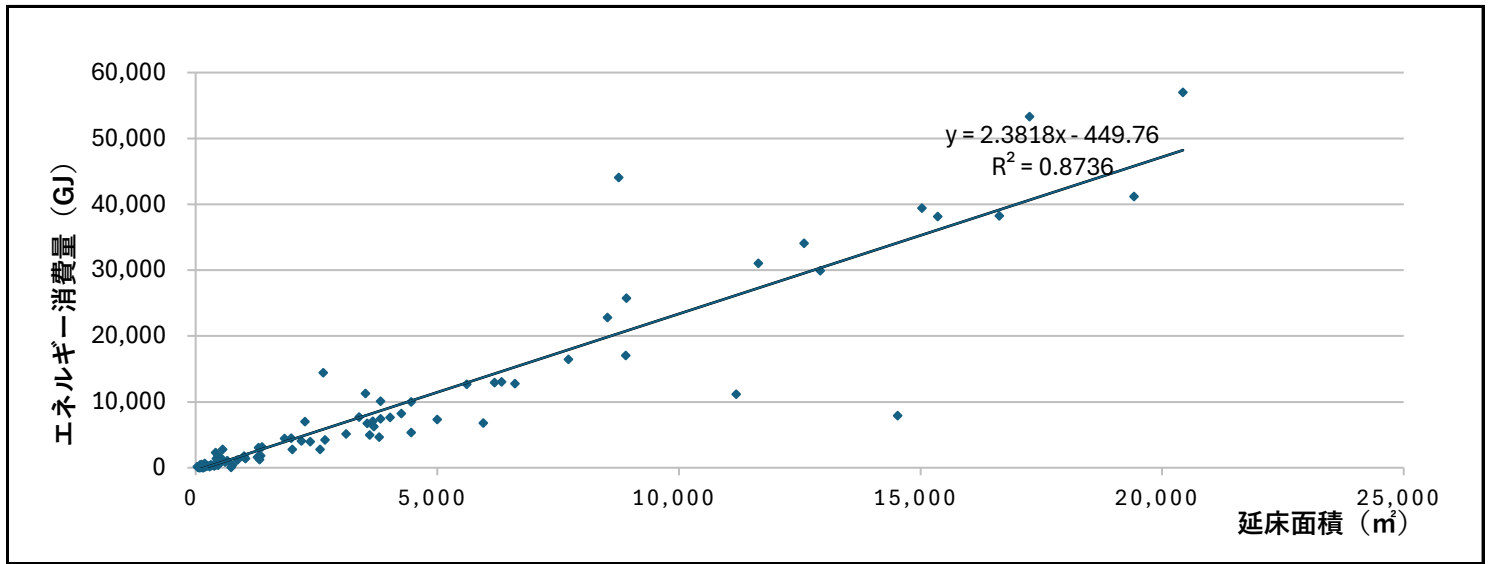
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:30)



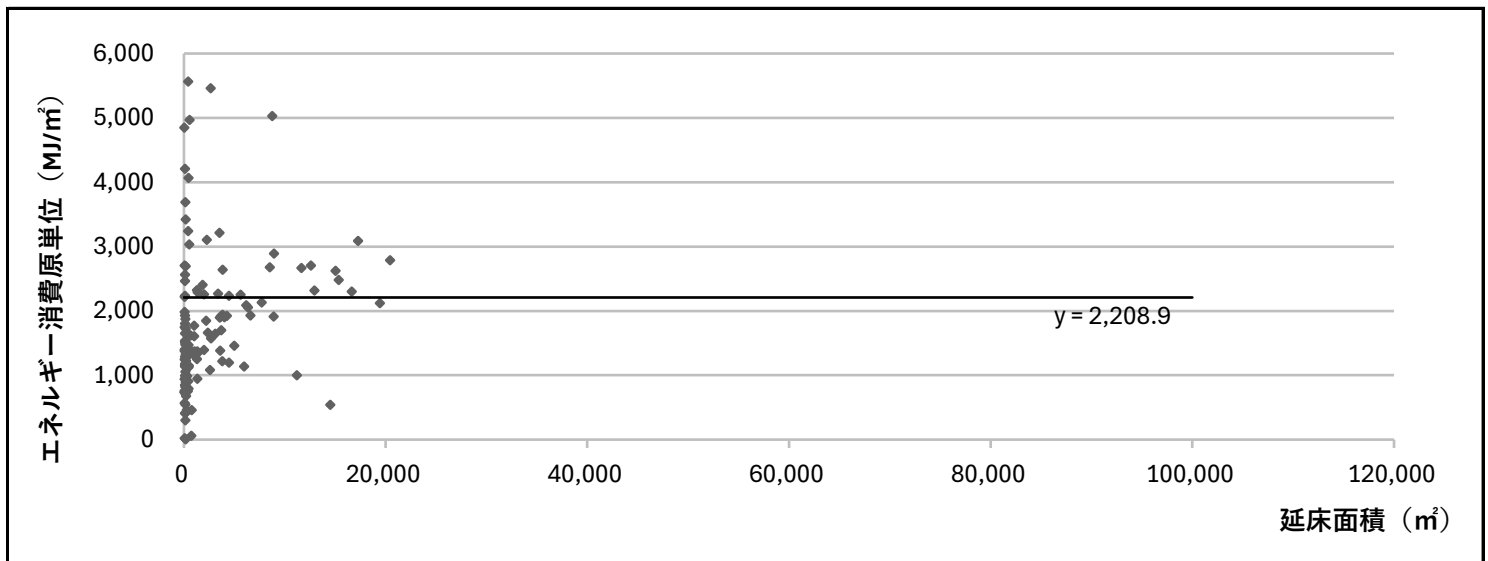
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:29)



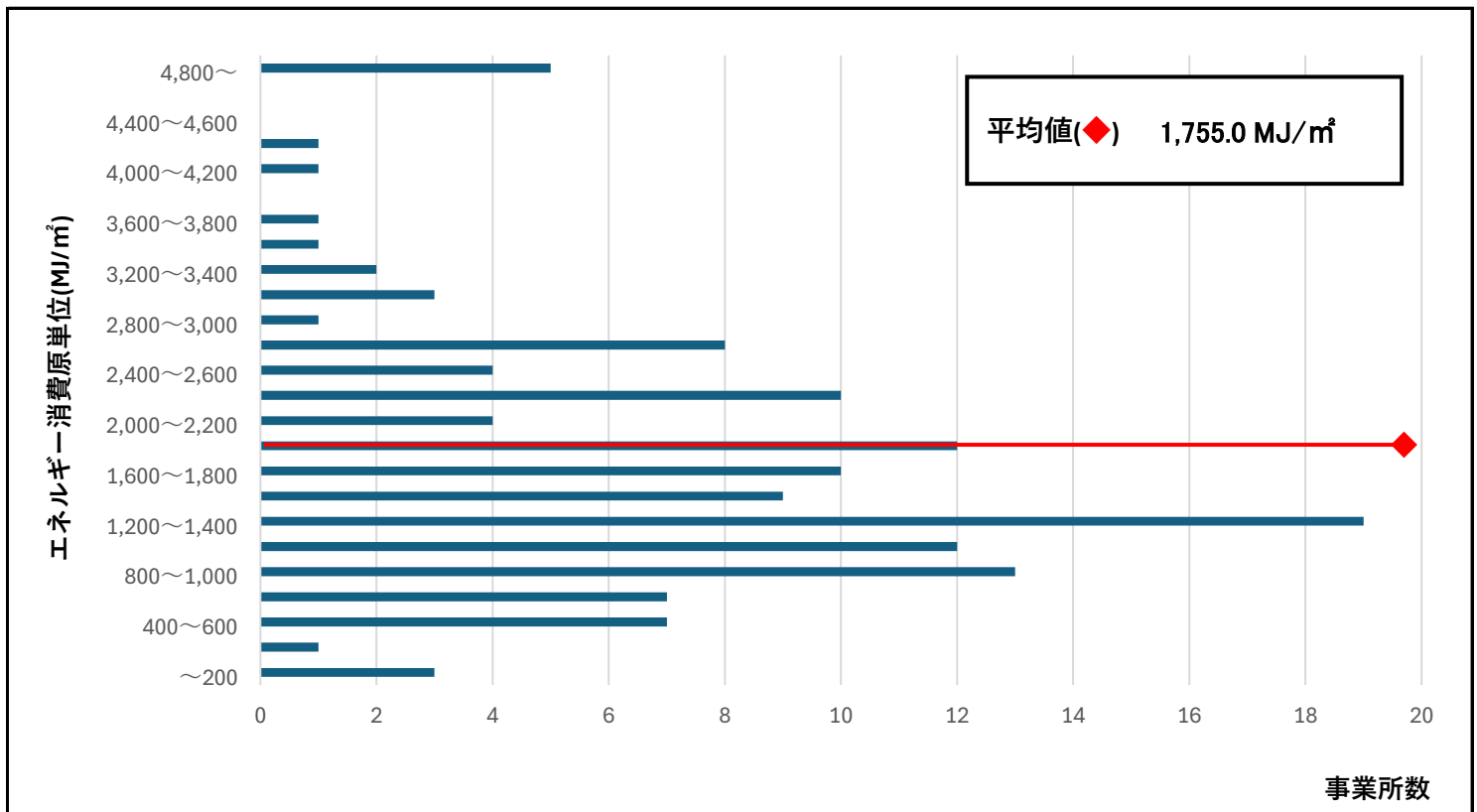
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



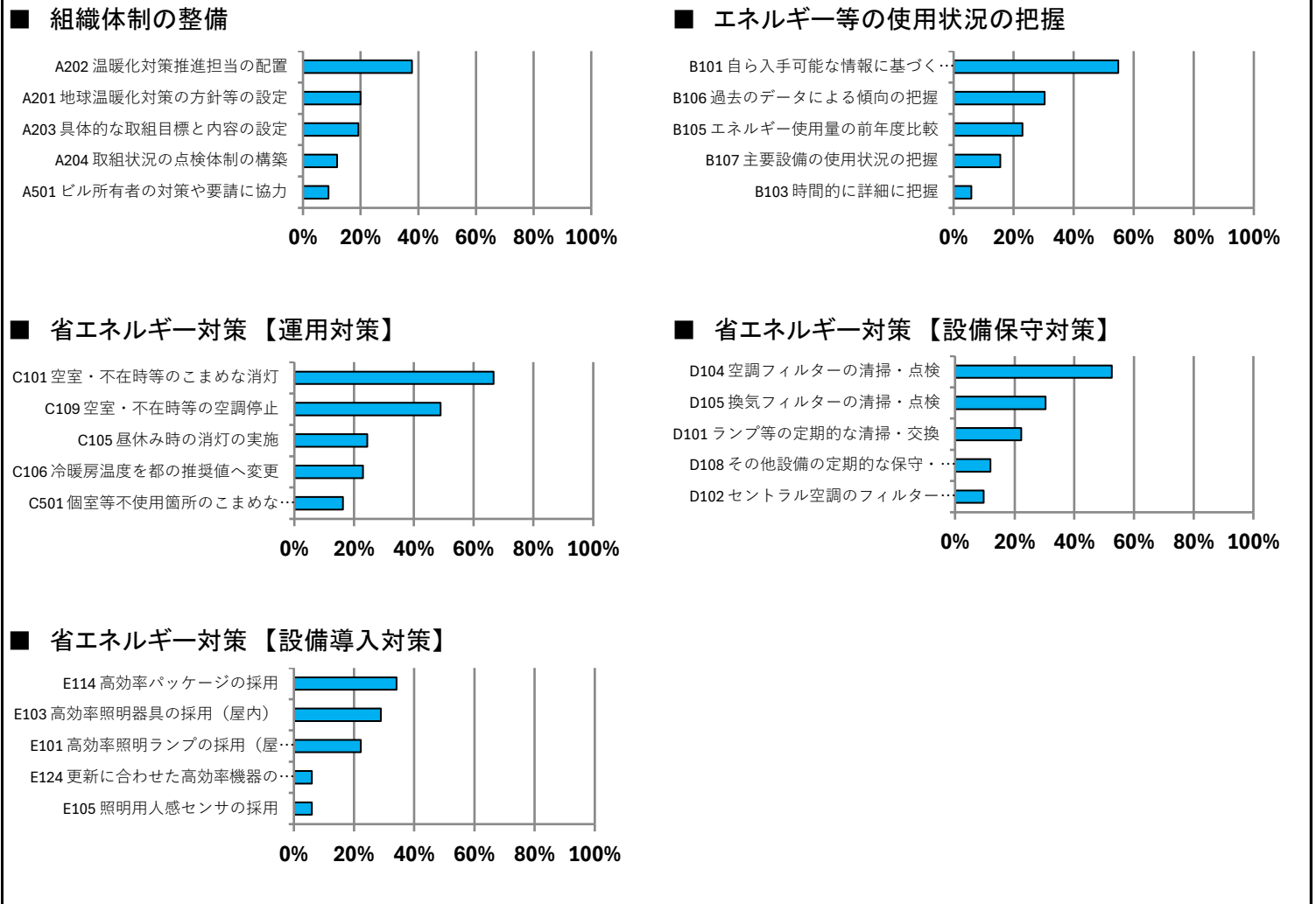
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

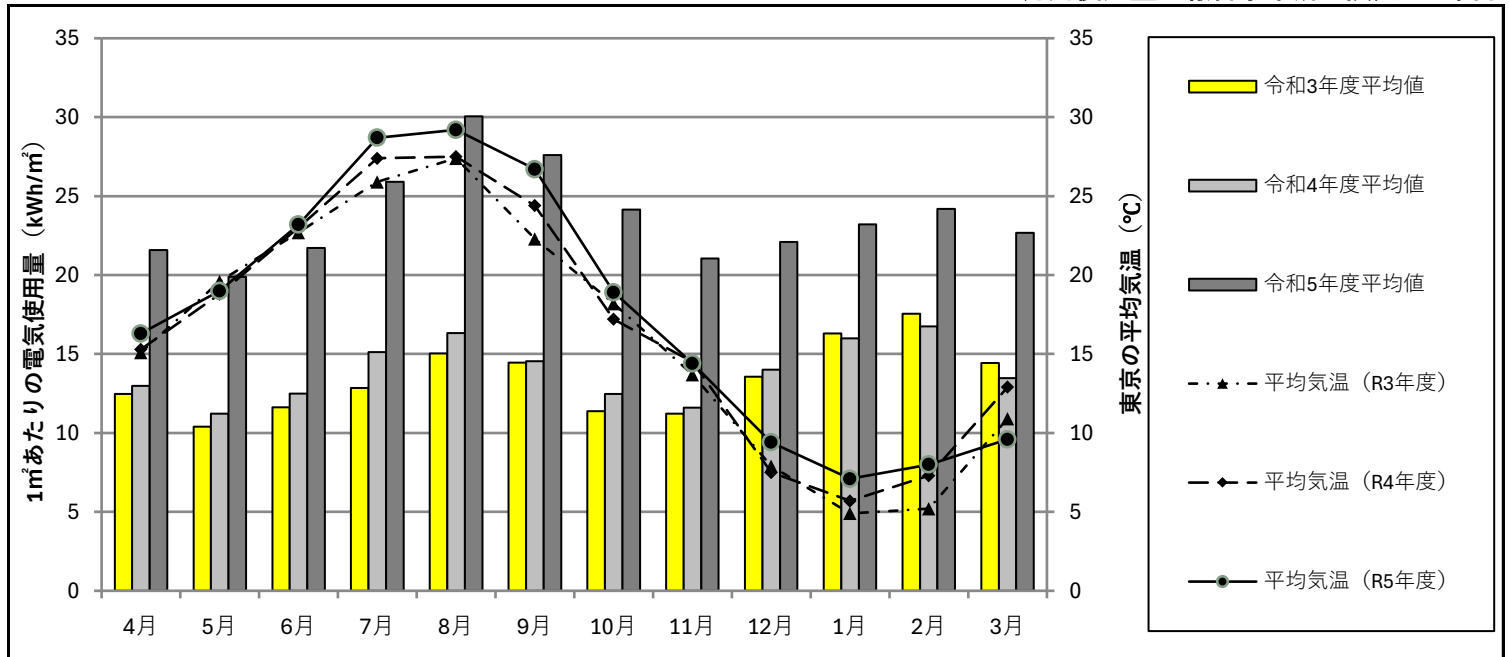


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

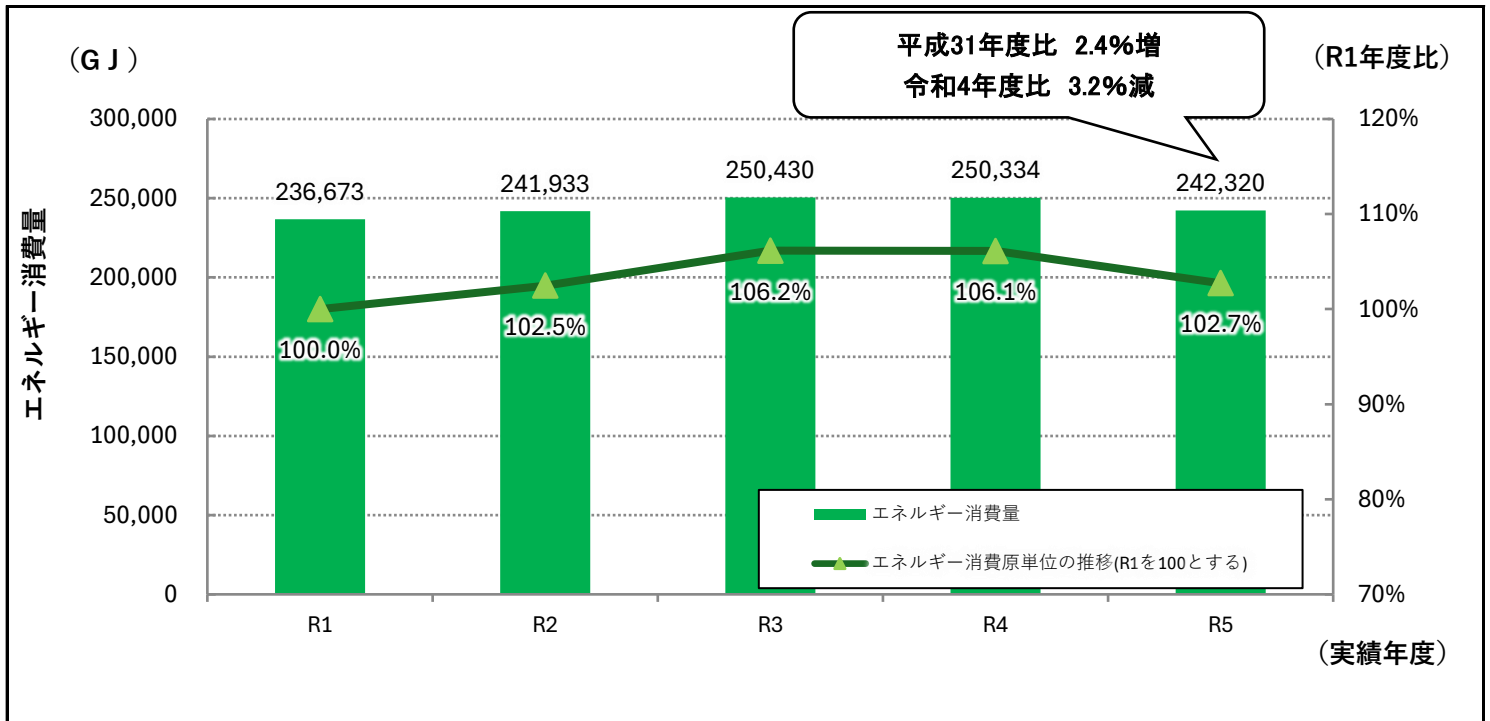
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



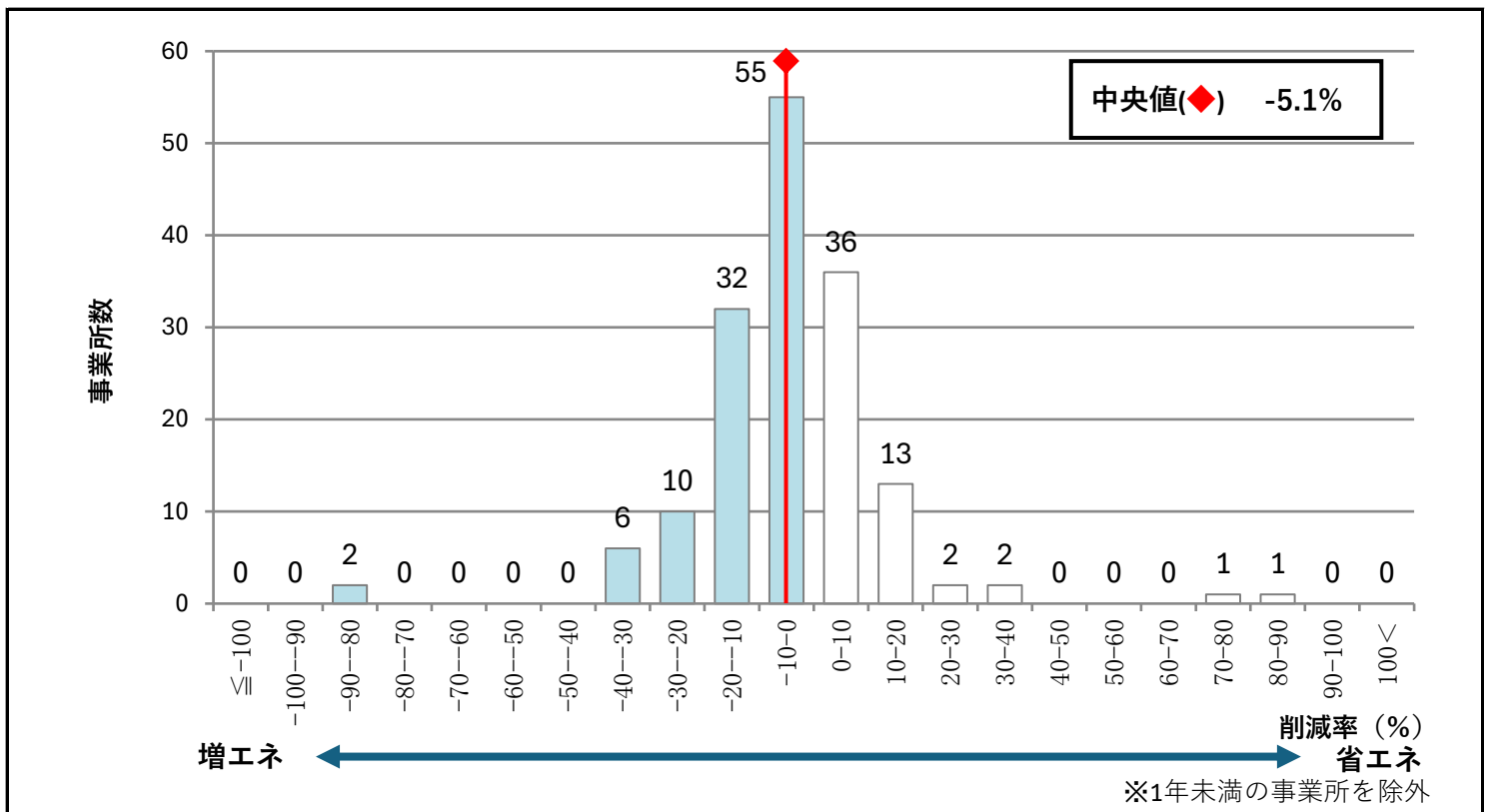
医療機器の電力や給湯のエネルギー割合が大きいので、より効率的な運用を心掛けましょう。ボイラが使われている場合は常に空気比の適正化に努めましょう。また夜間の待機電力をチェックし無駄な機器の通電が行われていないかチェックしましょう。不特定多数の患者などが出入りするためトイレや湯沸室の照明は人感センサーの導入が効果的です。また感染症が流行しているため病室などの空気が待合ゾーンなどに流入しないよう、汚染ゾーンの排気量を増やし圧力差を設け汚染空気の逆流を防止する事が重要です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8531 保育所」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
保育所	244	233	

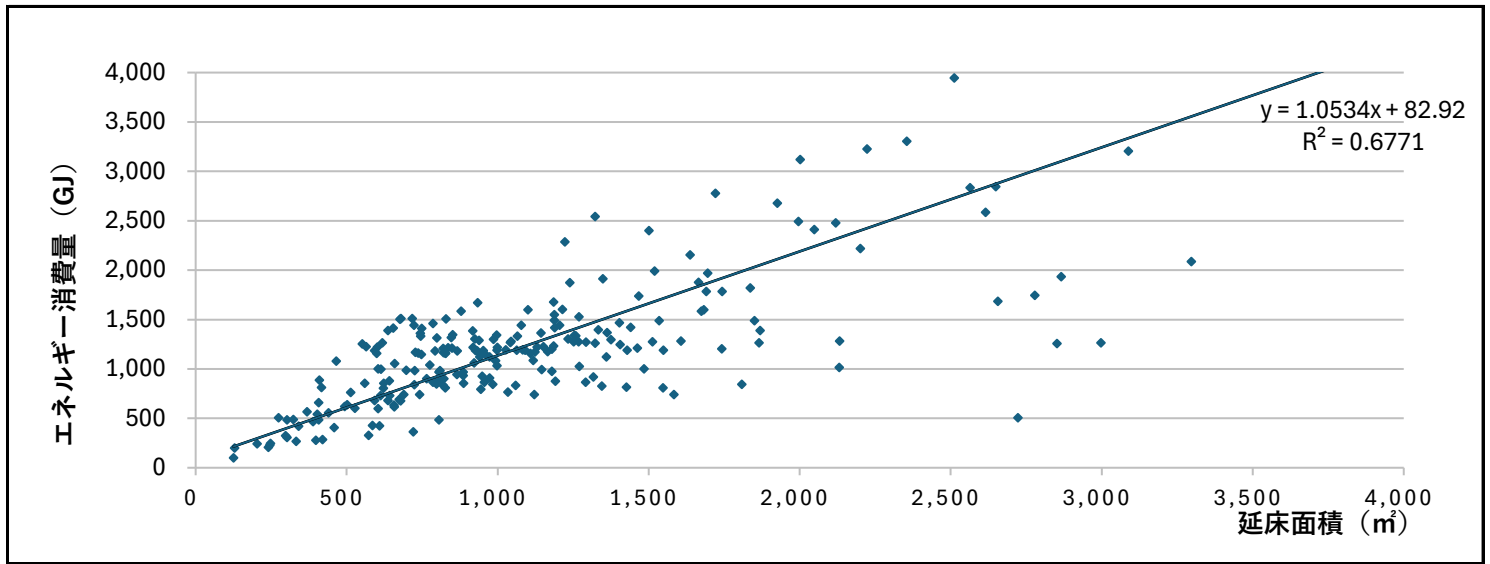
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:162)



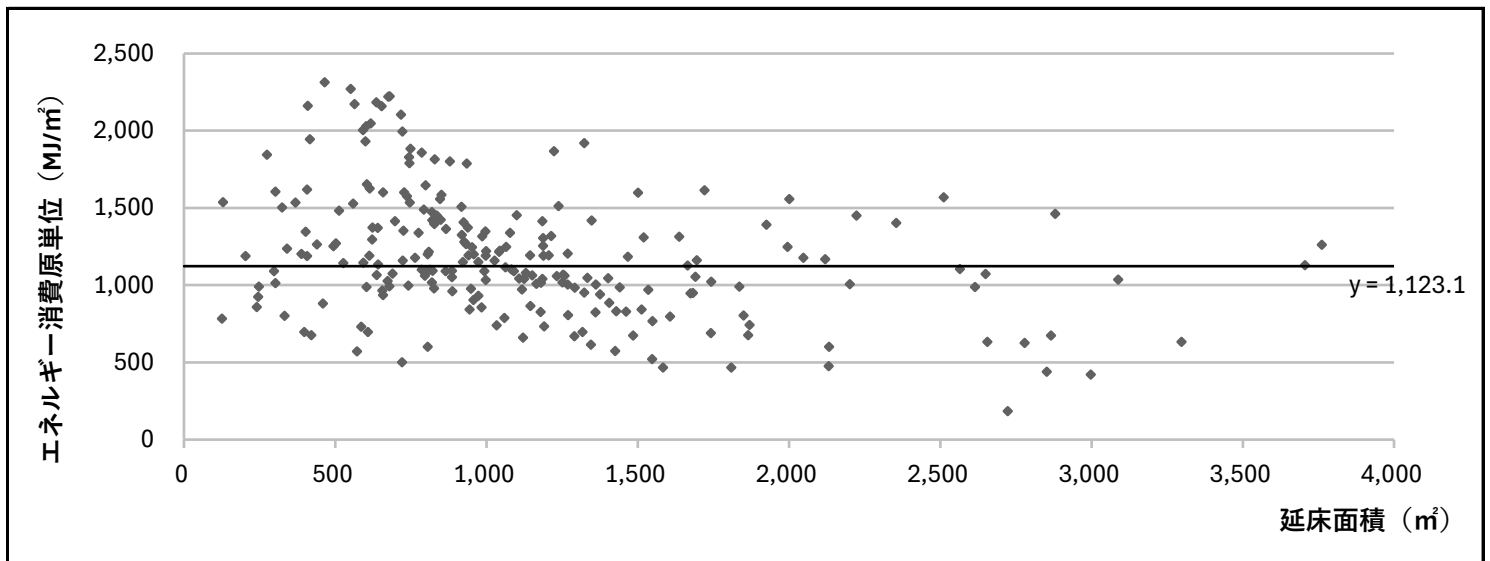
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:160)



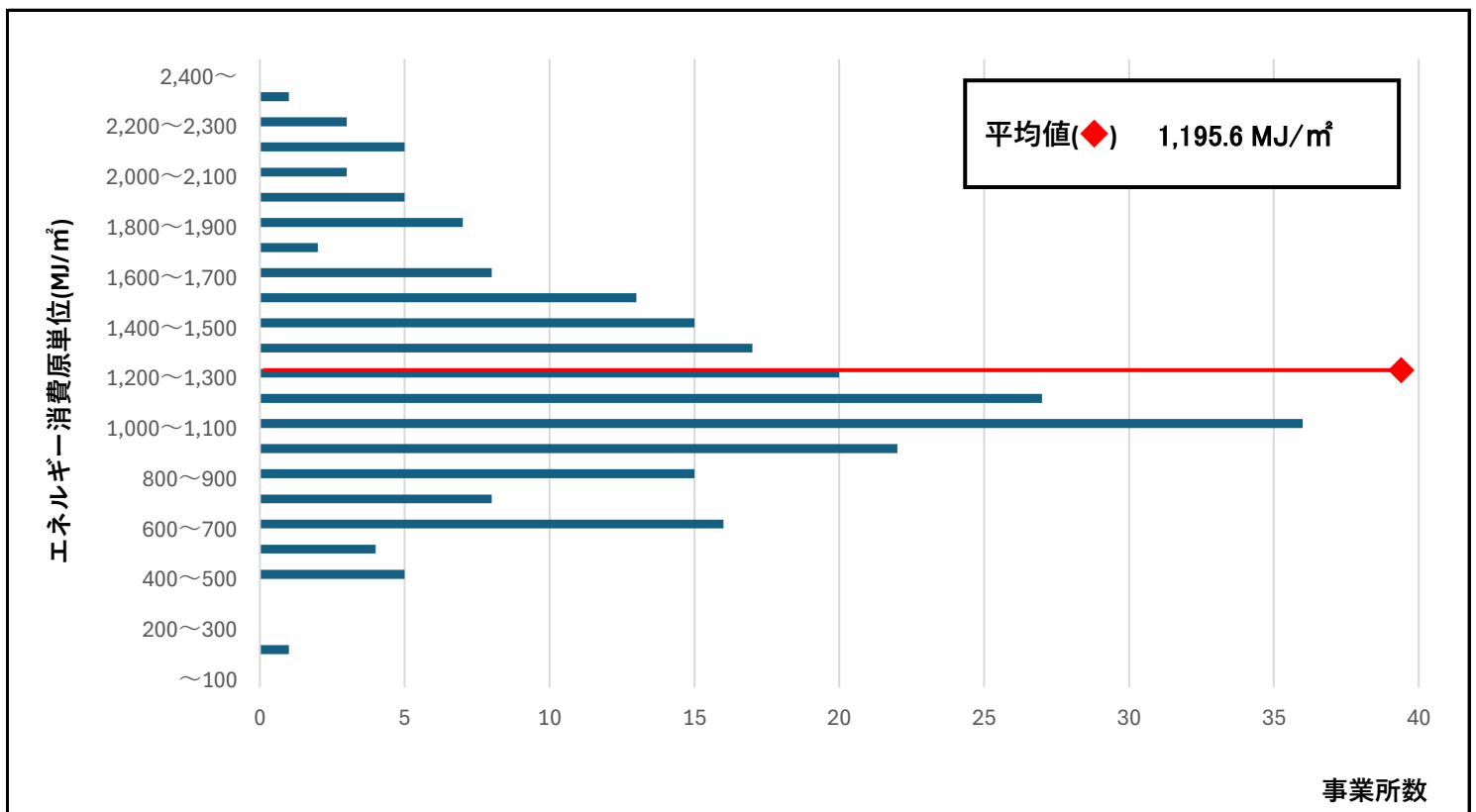
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



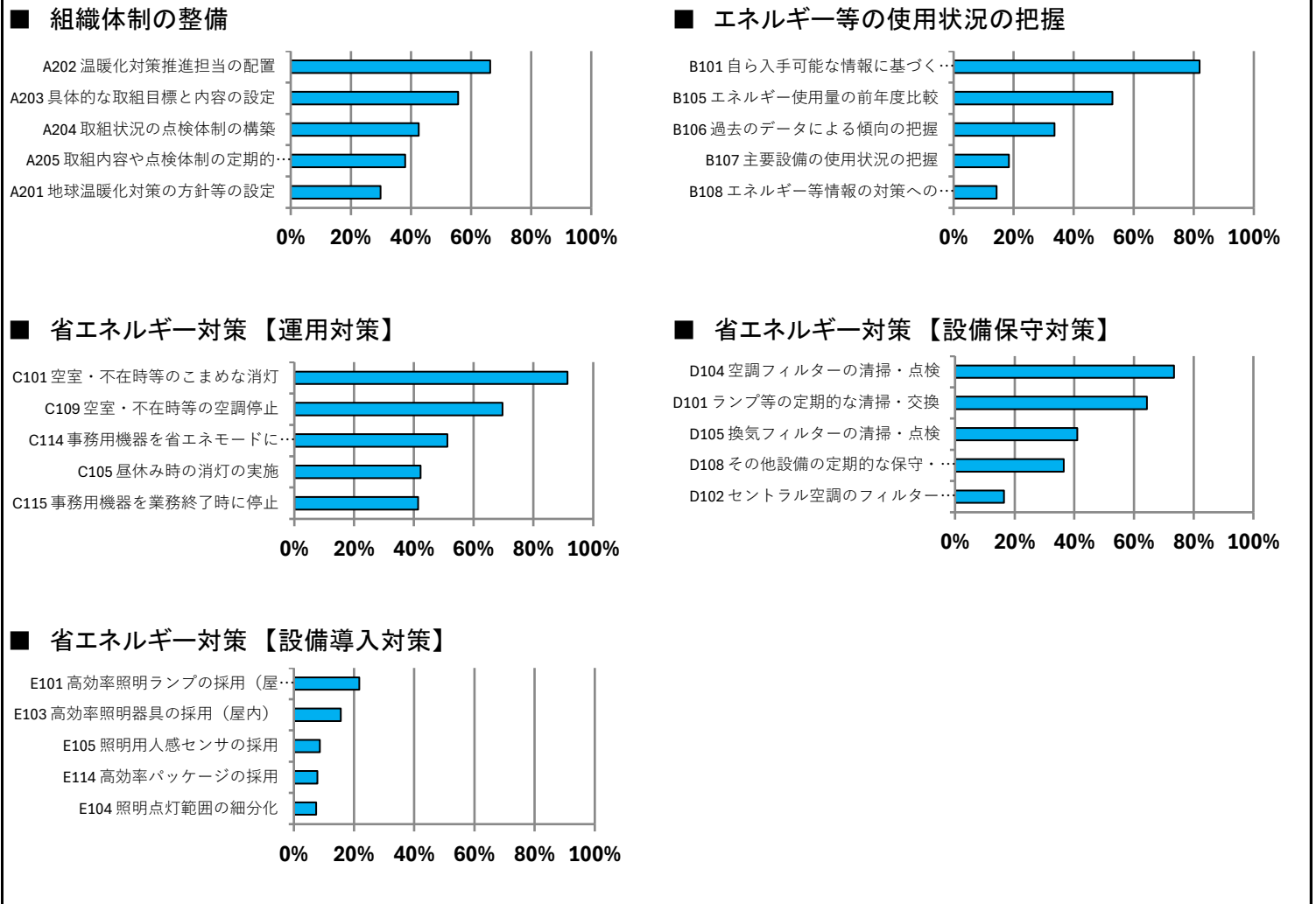
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

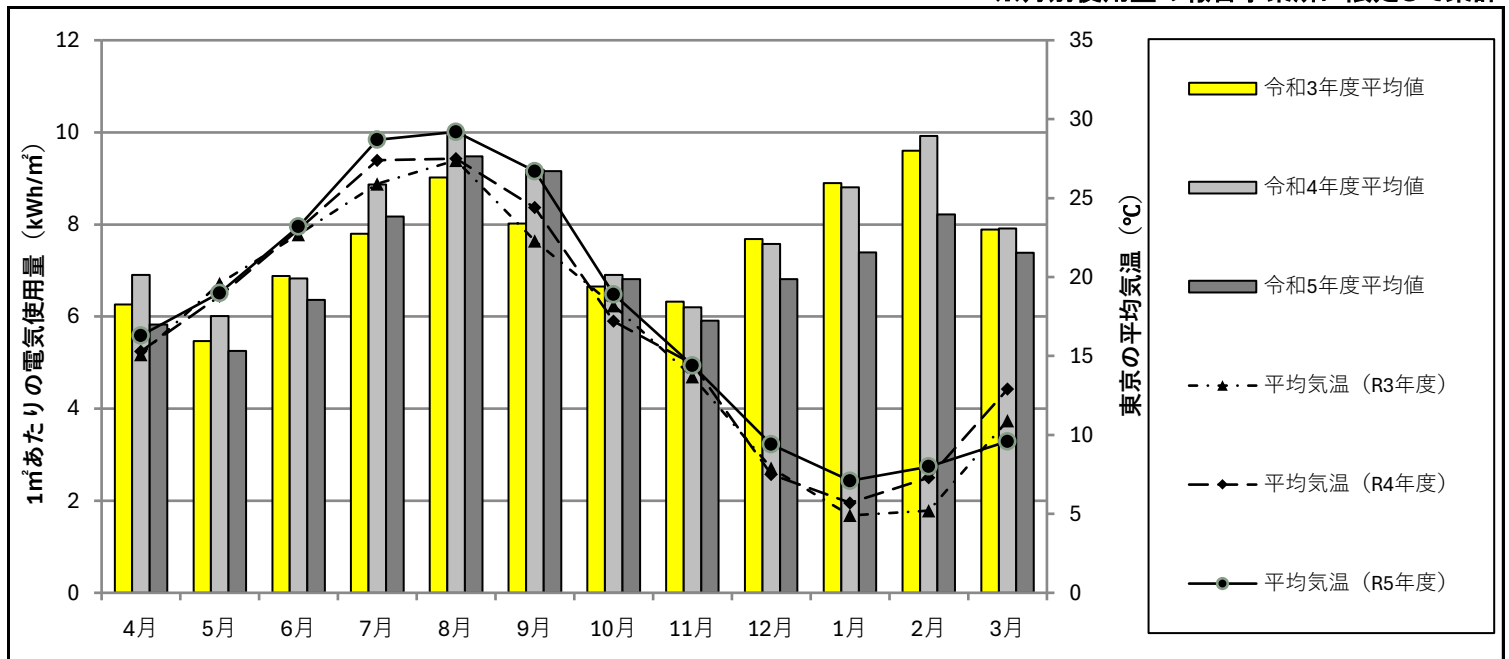


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

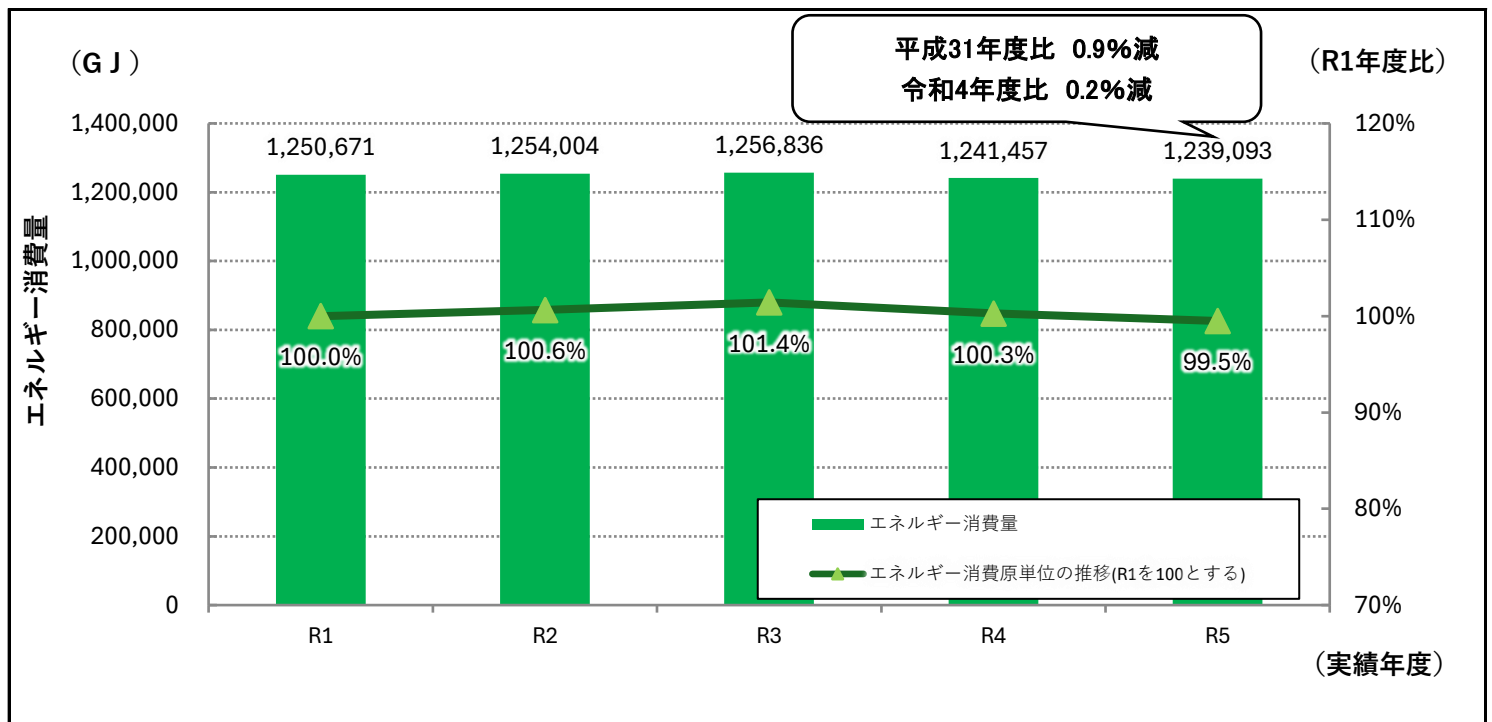
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



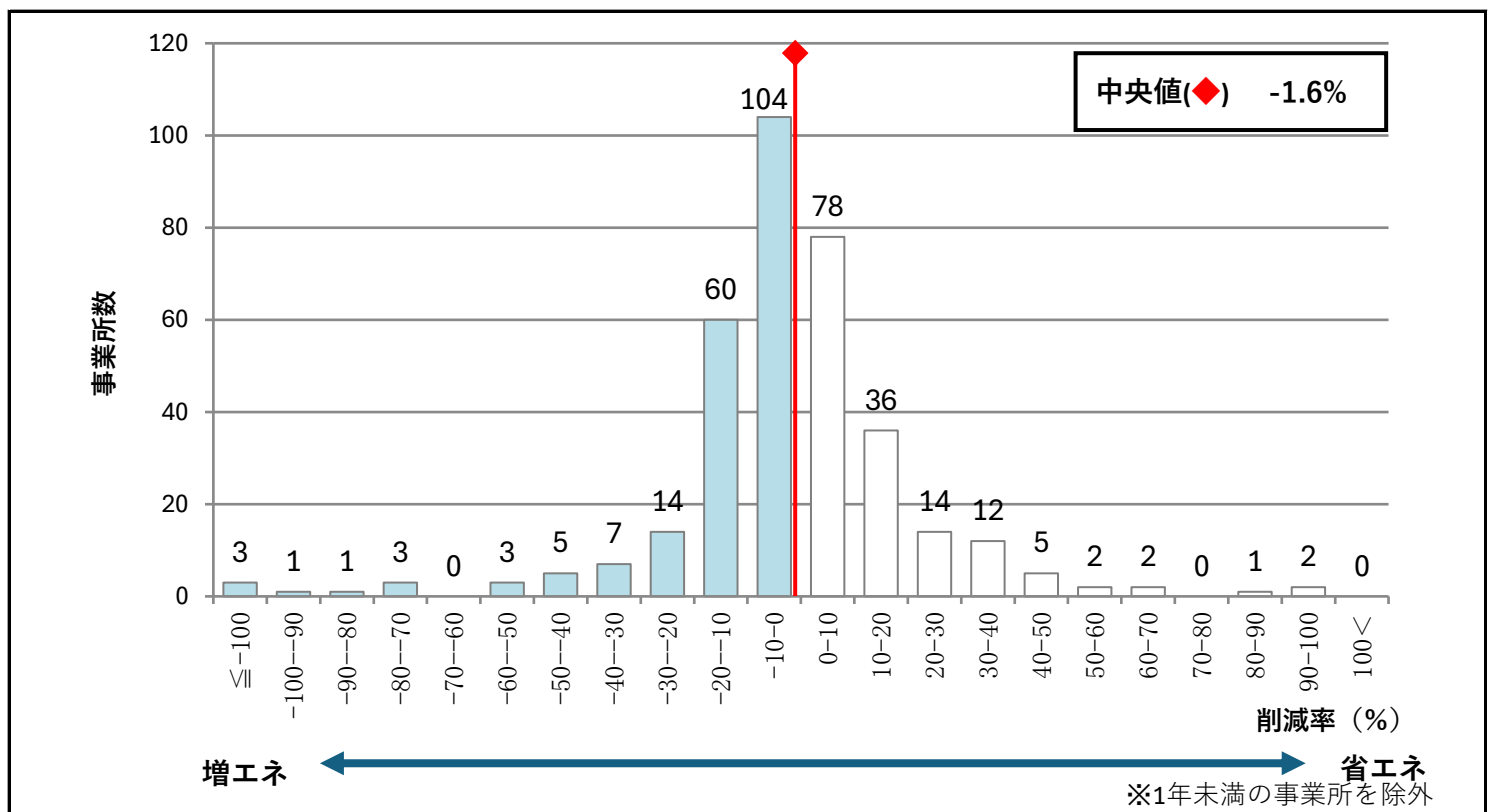
猛暑時にエアコンが故障すると、幼児の体調管理に支障が生じます。日ごろのメンテナンスと早めの更新を心掛けましょう。空調室内機のフィルターはこまめな清掃が必要で省エネ対策にもつながります。上水の使用量が多くなりますので、流し等の蛇口への節水コマ導入が効果的です。流しの下部に止水栓がある場合は、それを絞ることで同様の効果が得られます。日差しが強くエアコンの効きが悪い部屋には二重ガラス窓の導入などで、冷房負荷の軽減と快適性を両立させましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8539 その他の児童福祉事業」 「8541 特別養護老人ホーム」 「8542 介護老人保健施設」 「8544 通所・短期入所介護事業」 「8546 認知症老人グループホーム」等 ・報告範囲の主たる用途「その他」
保健・介護施設	495	473	

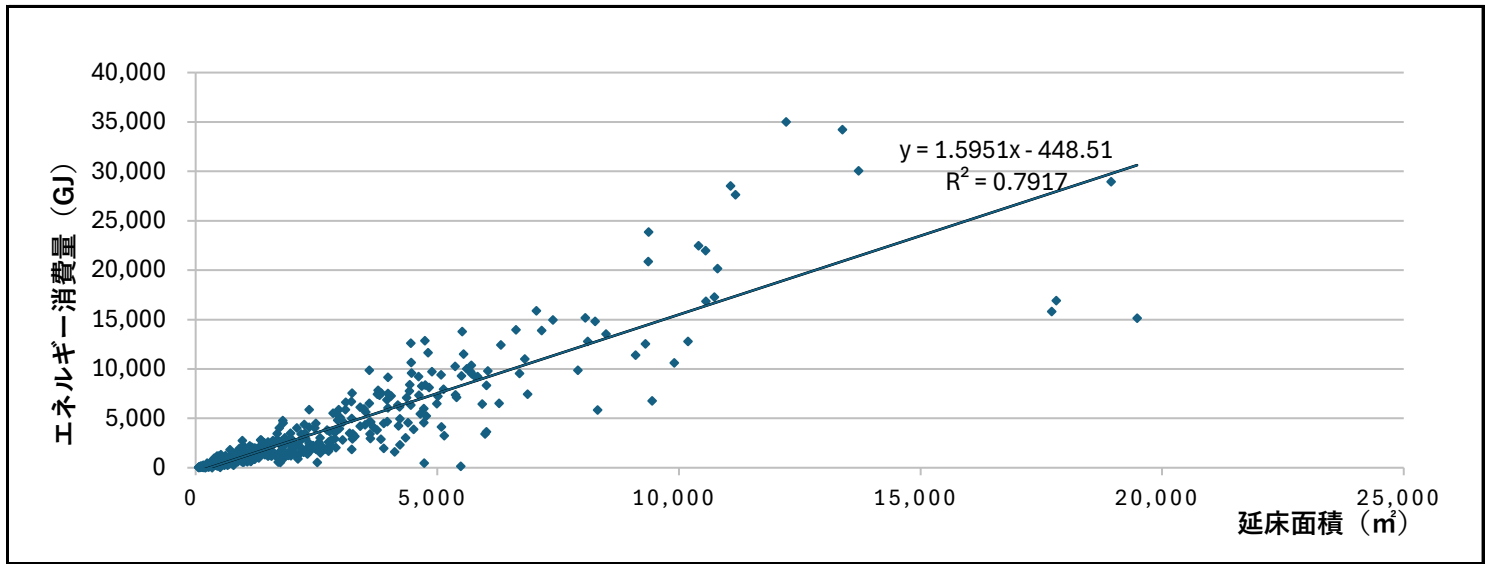
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:356)



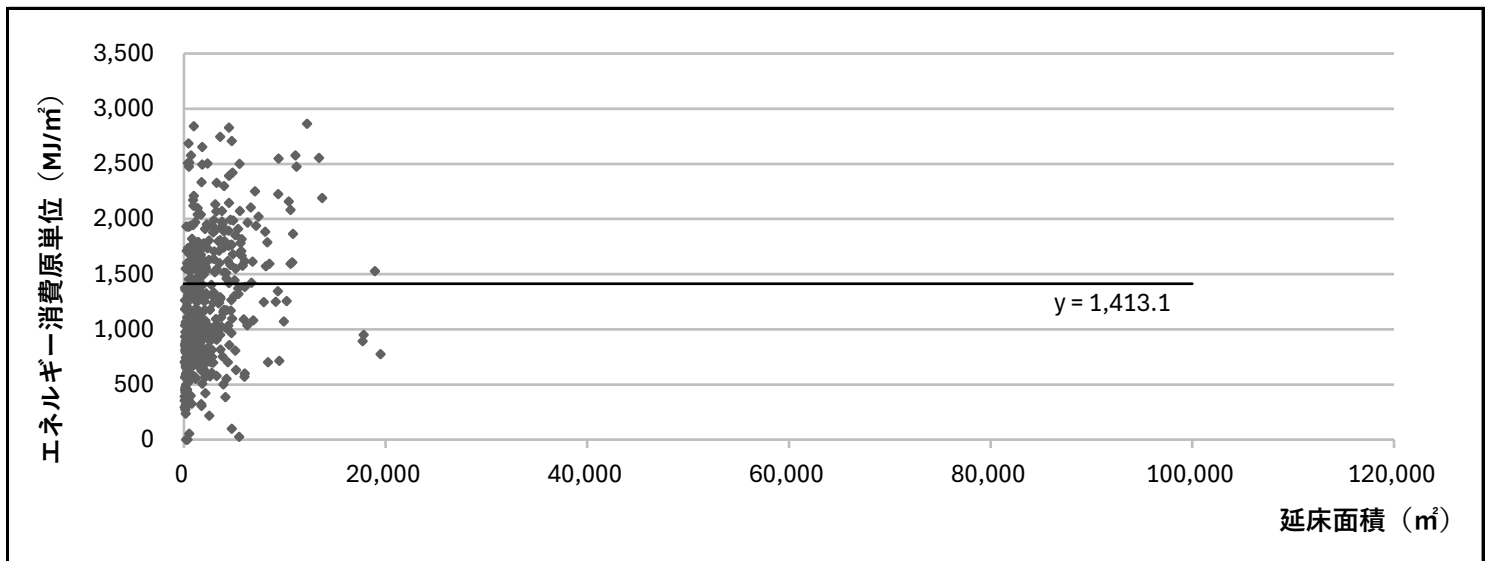
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:353)



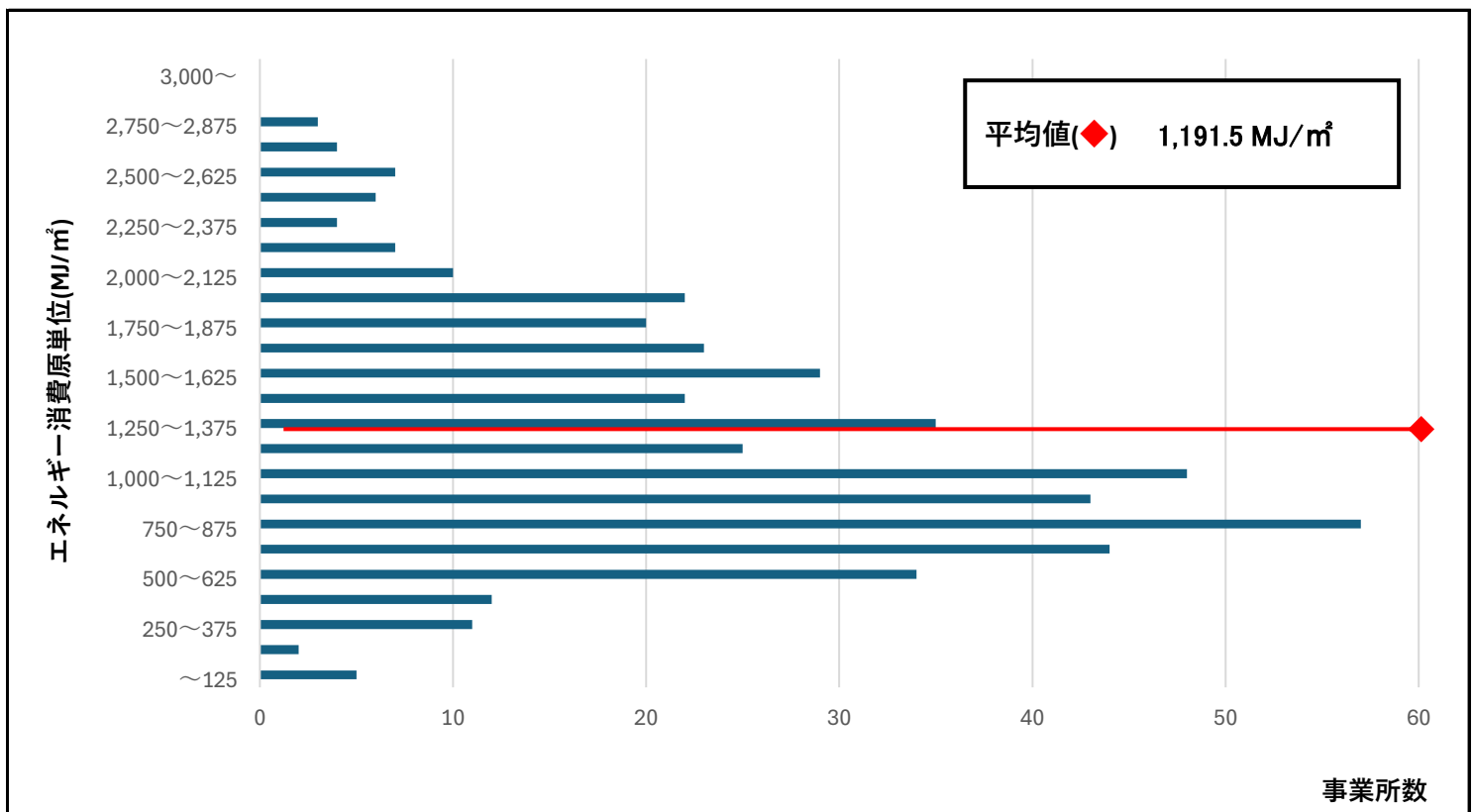
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



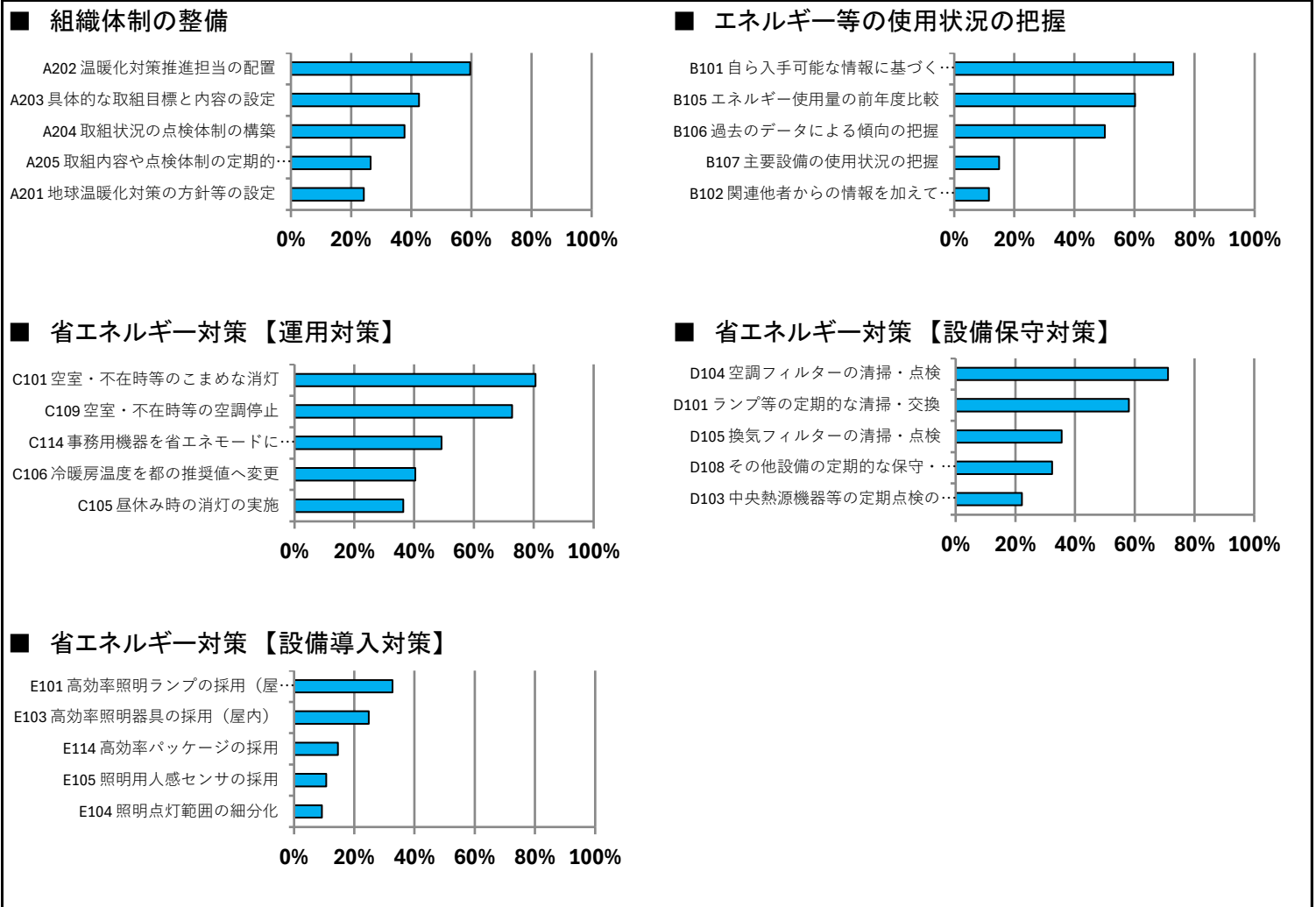
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

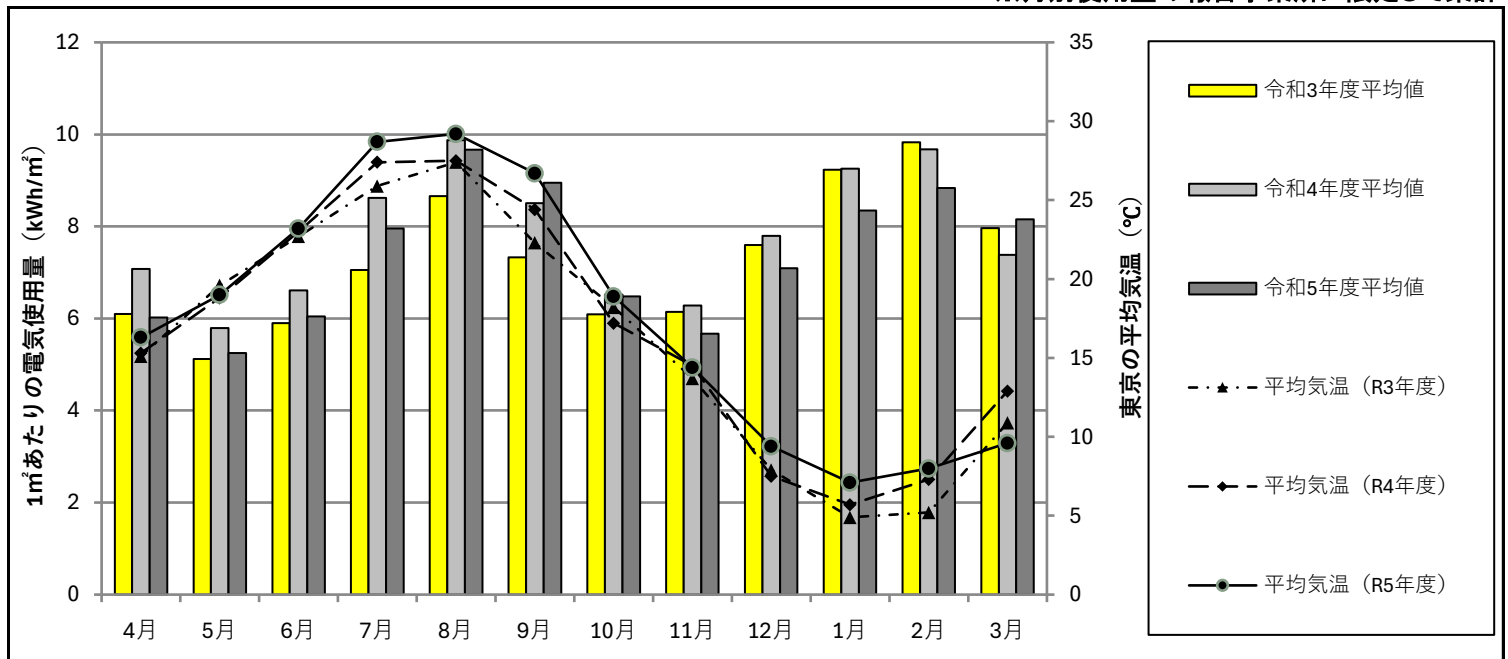


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

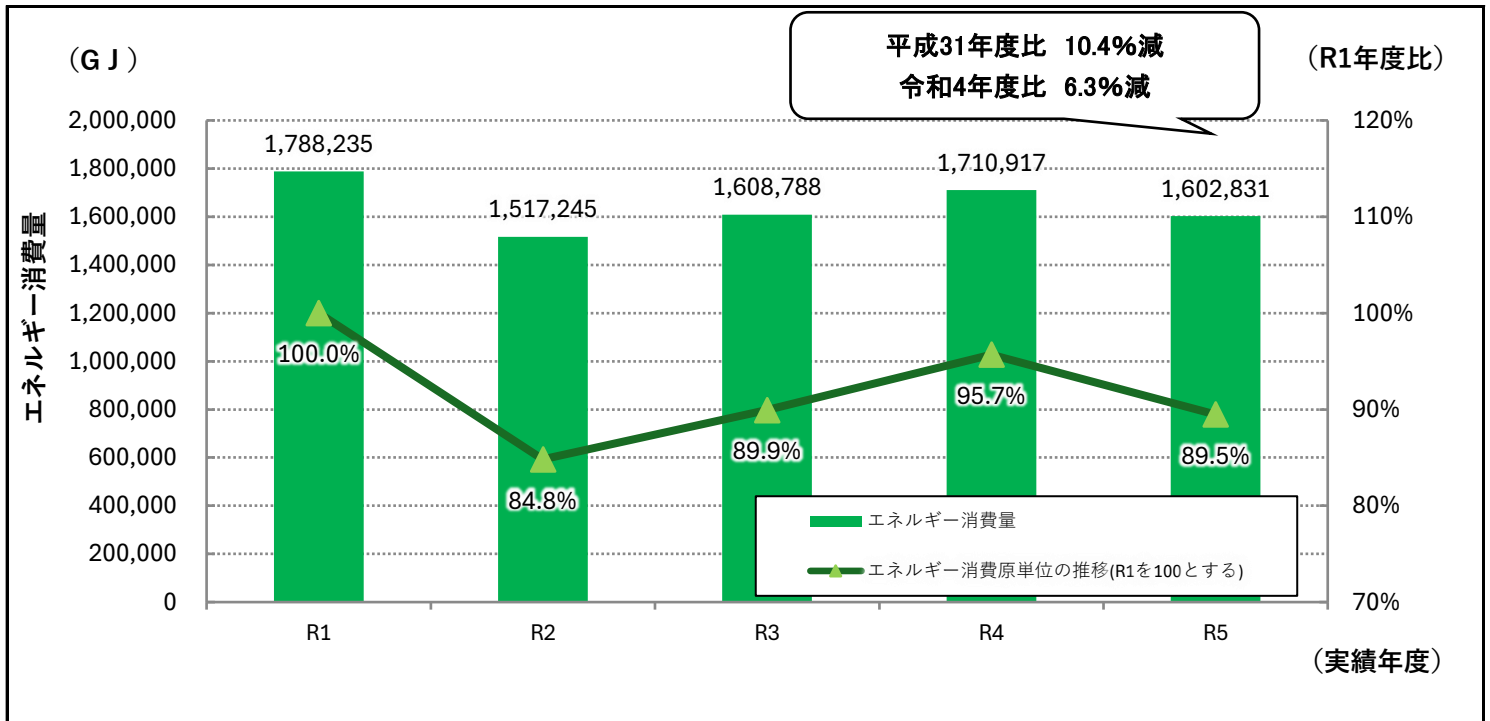
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



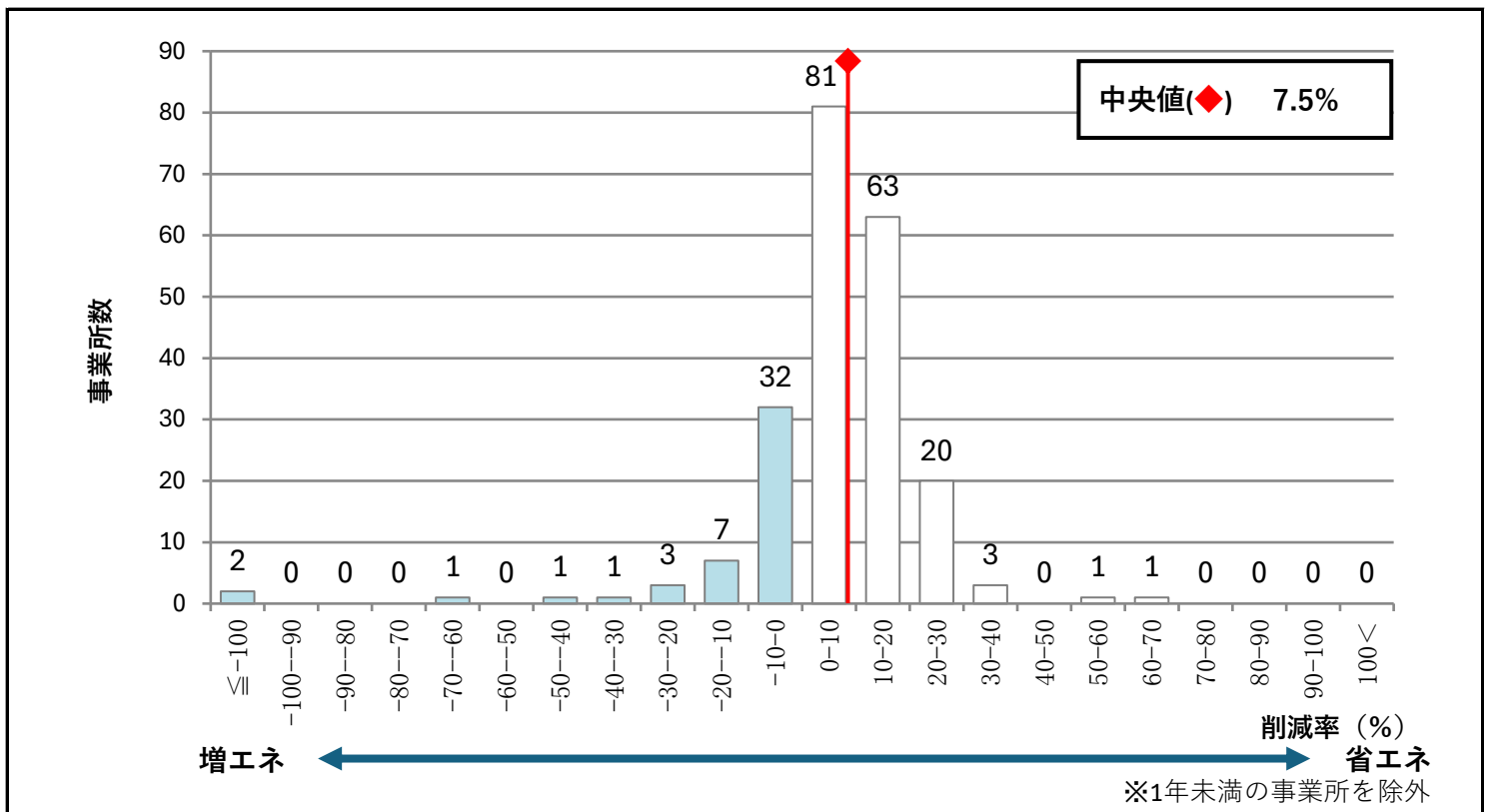
施設の稼働時間が長いので、エアコンや照明の使用時間のルールを決め、エネルギー消費の無駄を省きましょう。個室の空調はつける時間帯がバラバラなので、室毎に個別のルームクーラーを使用する方が省エネです。また厨房も朝昼晩と稼働時間が長いので、レンジフードの連続運転は避けましょう。仕込みや休憩時間では排気ファンにインバーター制御を導入して風量を減らし省エネを図りましょう。施設は365日動いているので太陽光発電設備などの創エネを計画しましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8048 フィットネスクラブ」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
フィットネス施設	247	236	

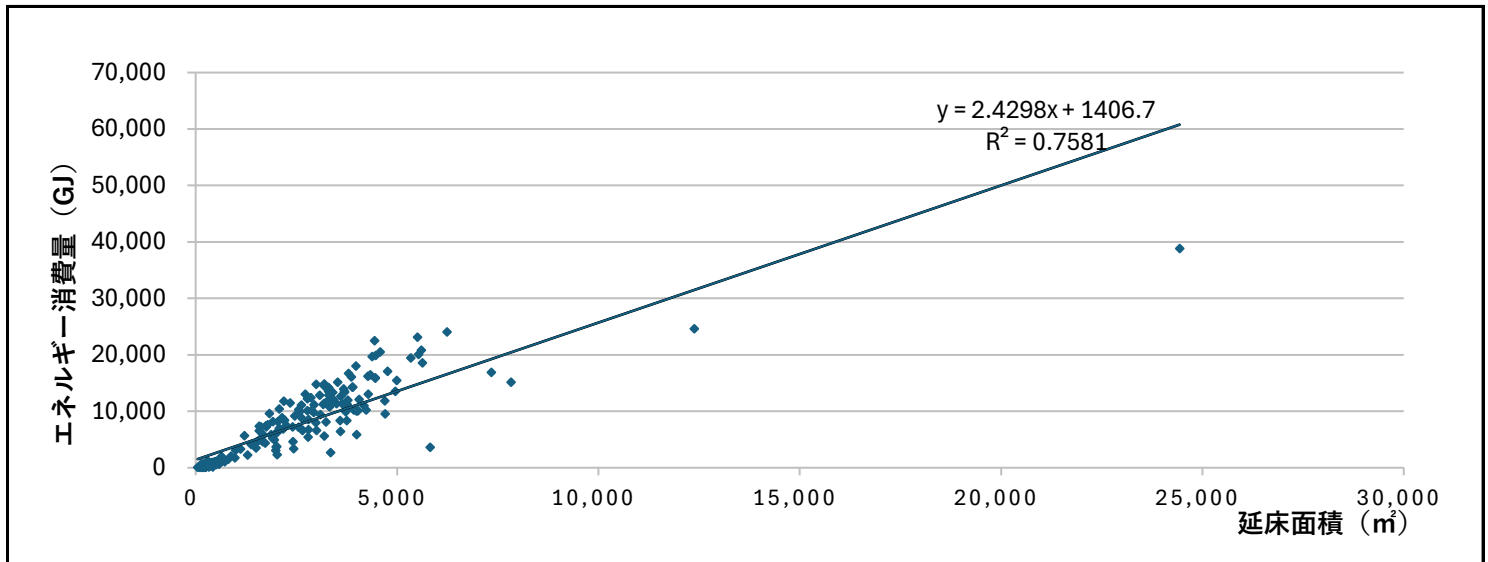
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:234)



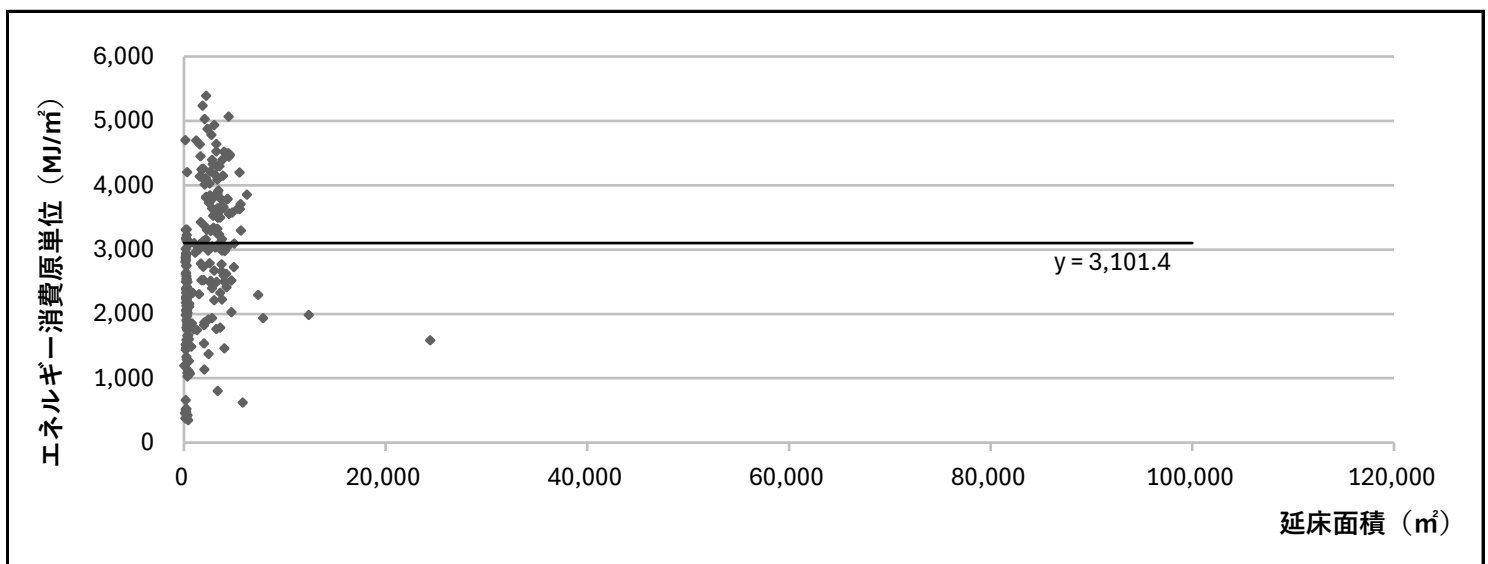
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:216)



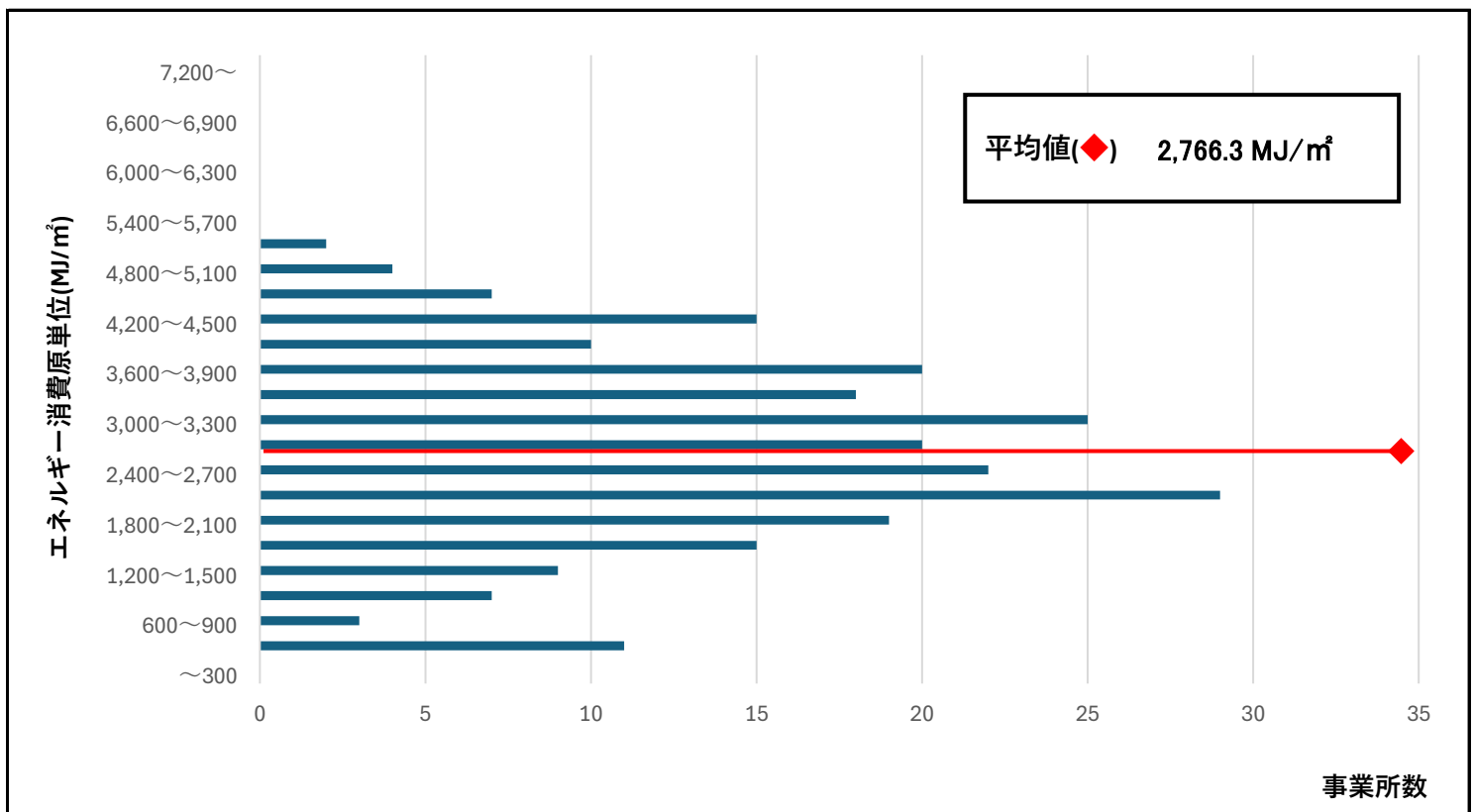
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



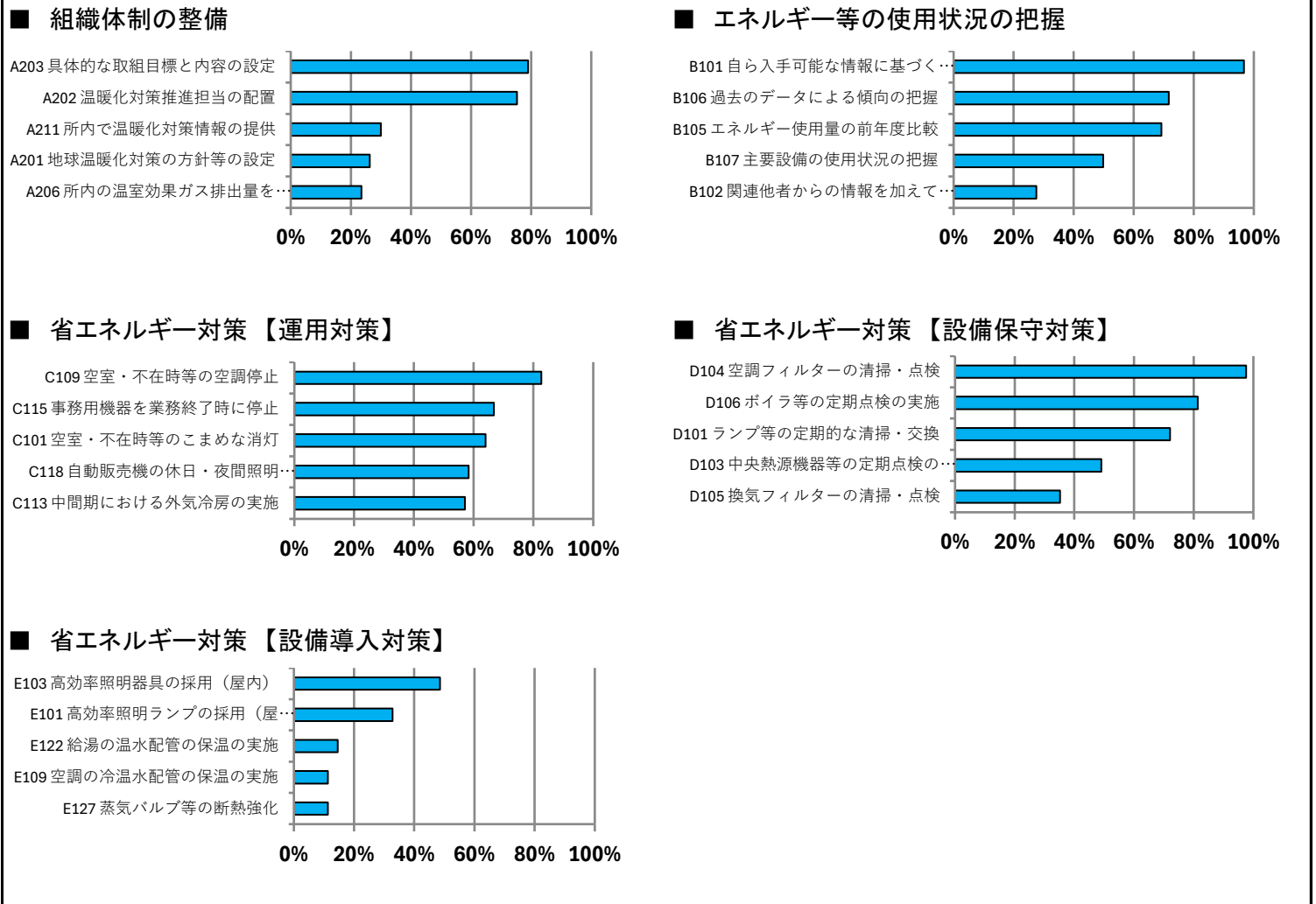
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

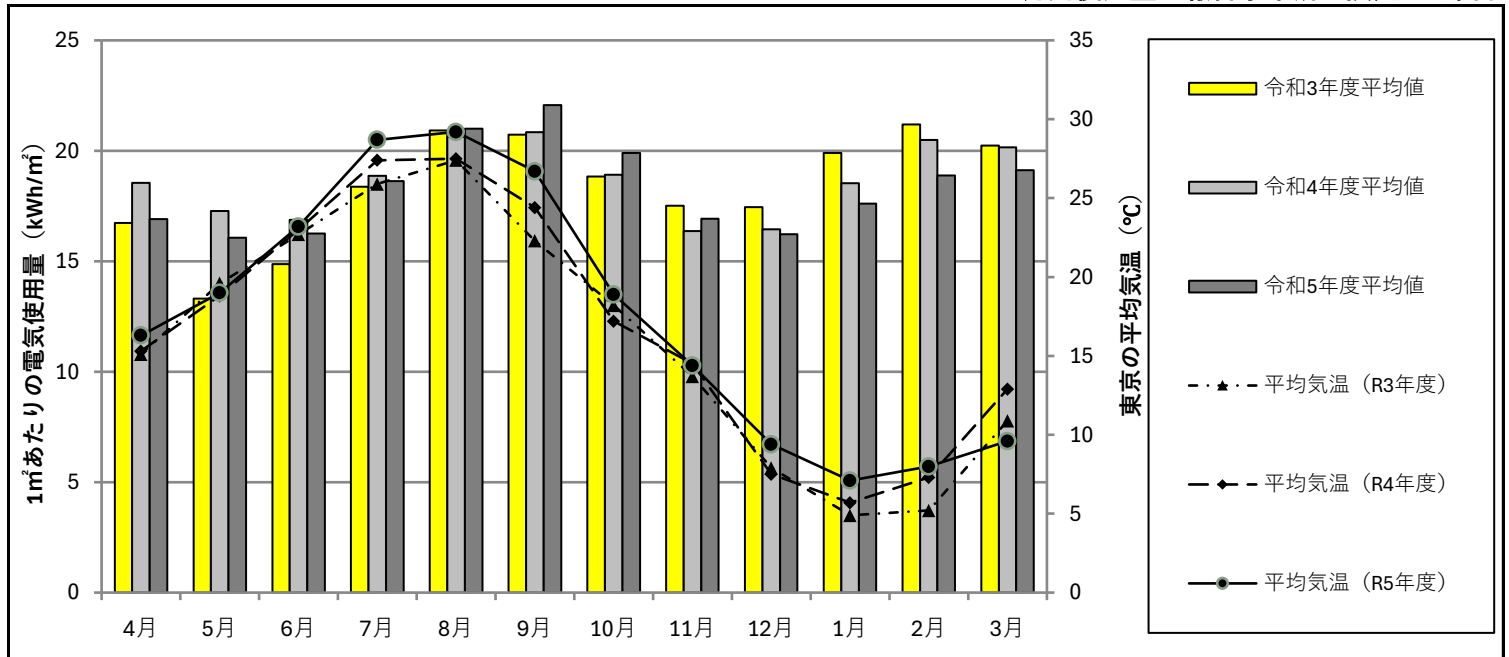


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

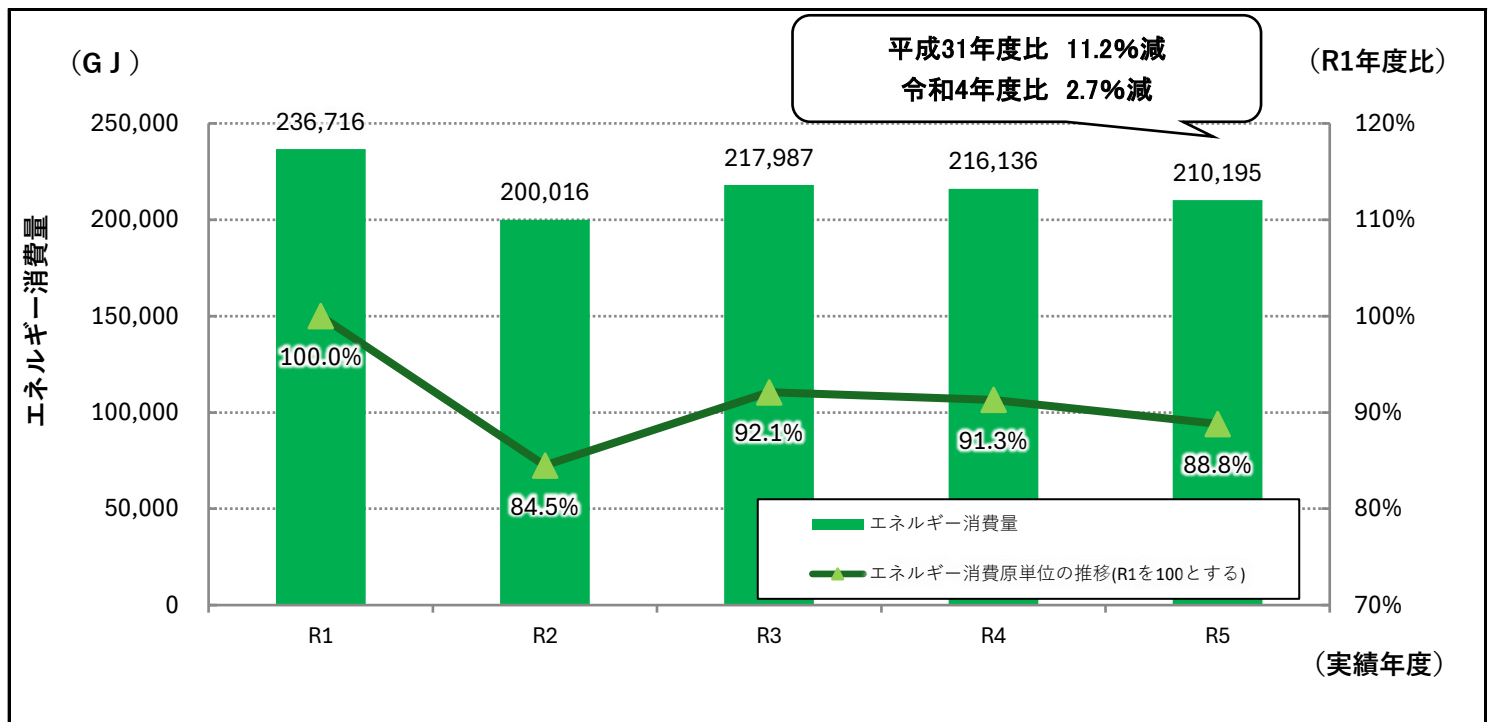
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



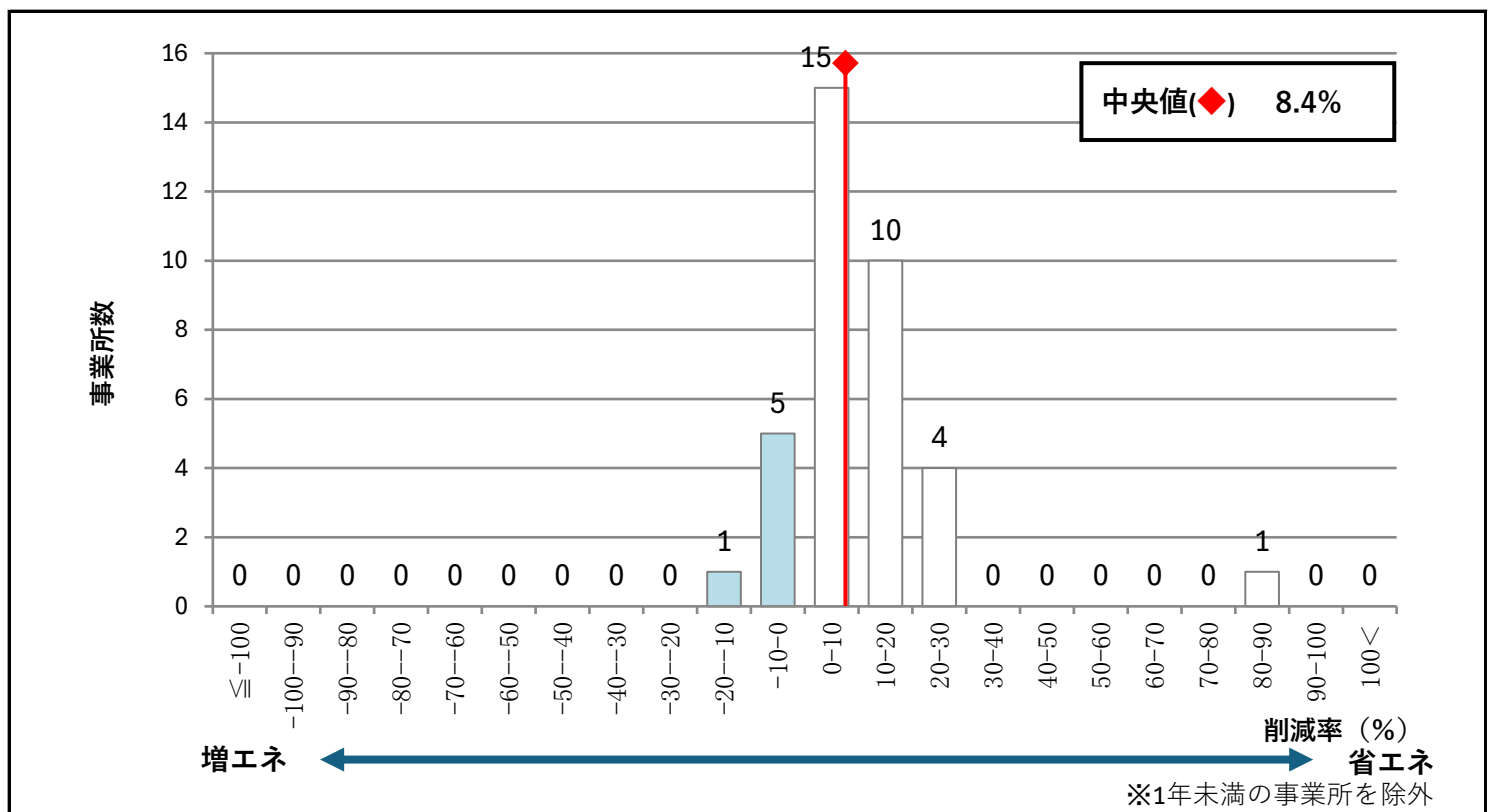
ランニングマシンやエアロバイクなどは使用頻度が高いため常時電源がONになっていますが、営業時間外や休館日には主電源を切って待機電力の削減を目指しましょう。プールがある場合は循環ろ過ポンプの運転を見直しましょう。夜間や休館日はプール内での垢やゴミの発生が無いので、循環ろ過ポンプの水量削減が可能です。インバータ制御の導入で循環水量を削減することで搬送動力が減り省エネになります。また照明器具の数が多いのでLED化を進めてください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8064 パチンコホール」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
パチンコ店舗	44	41	

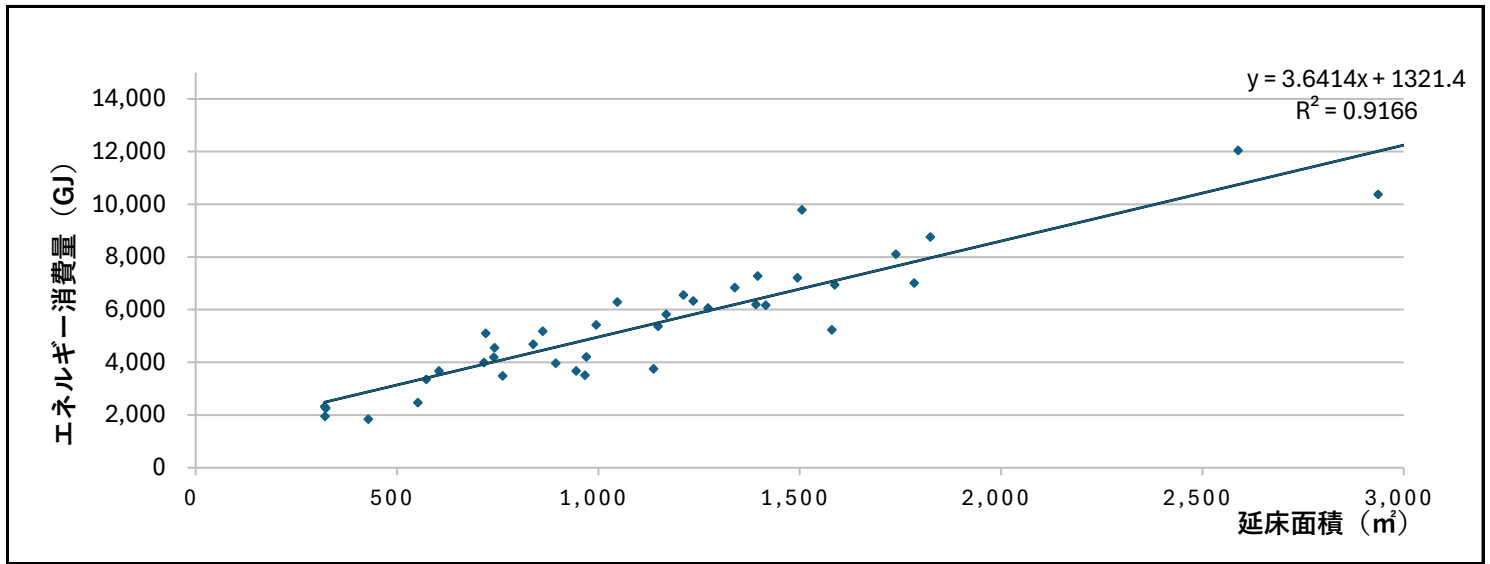
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:36)



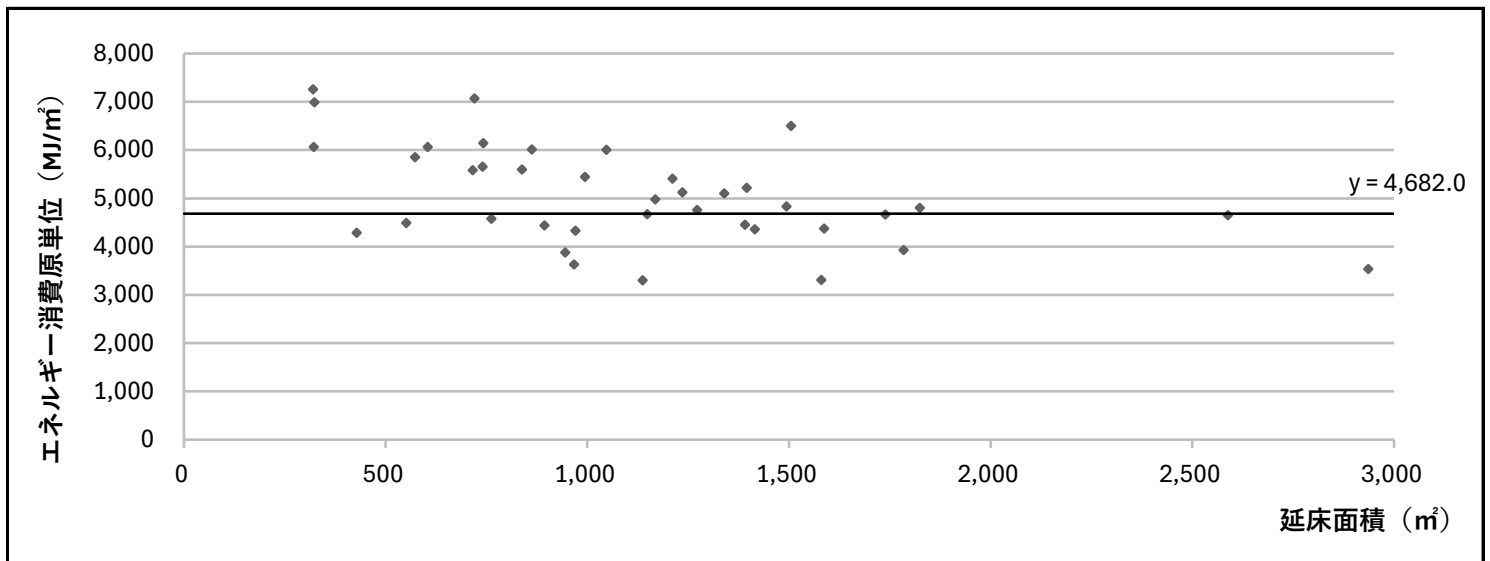
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:36)



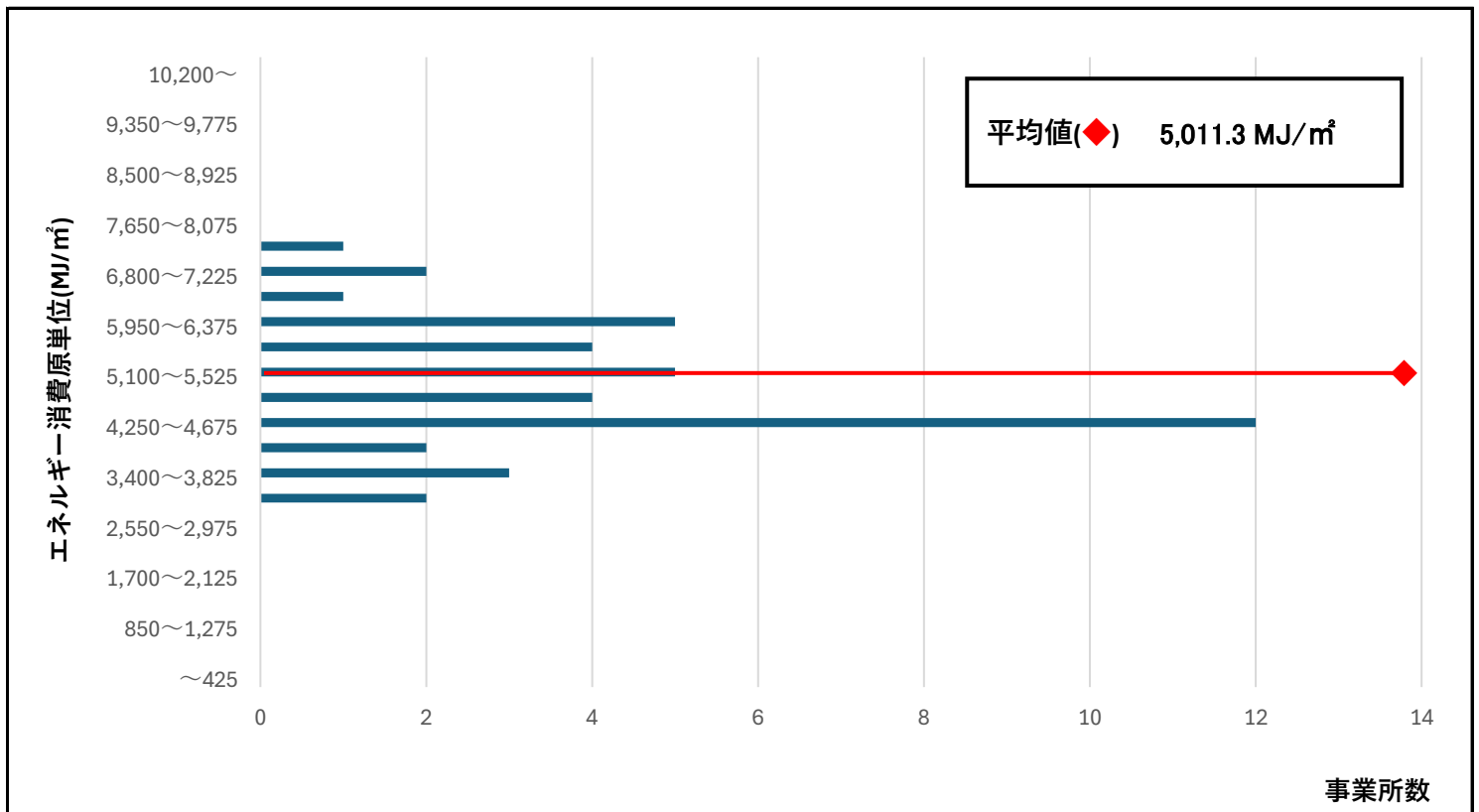
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



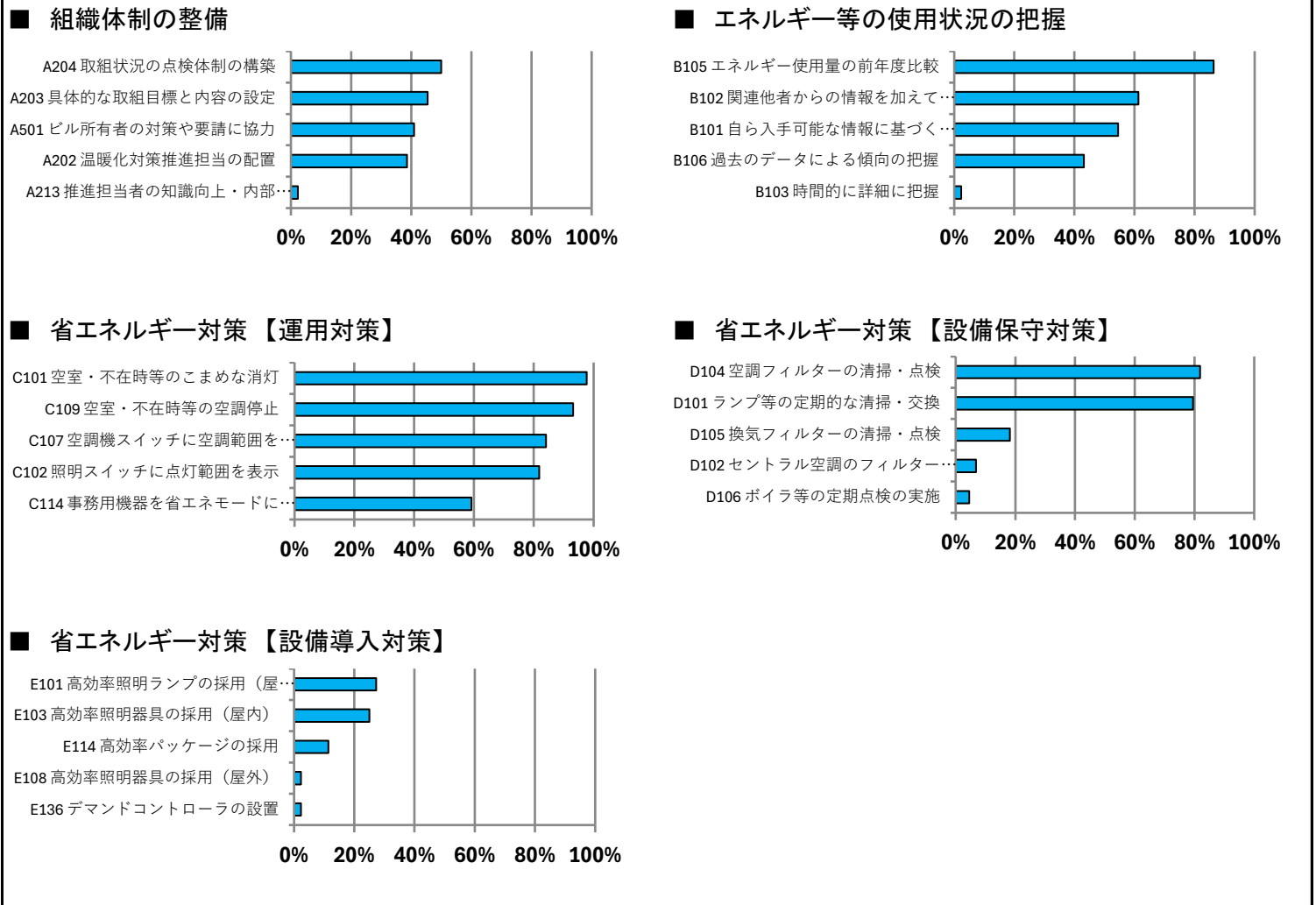
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

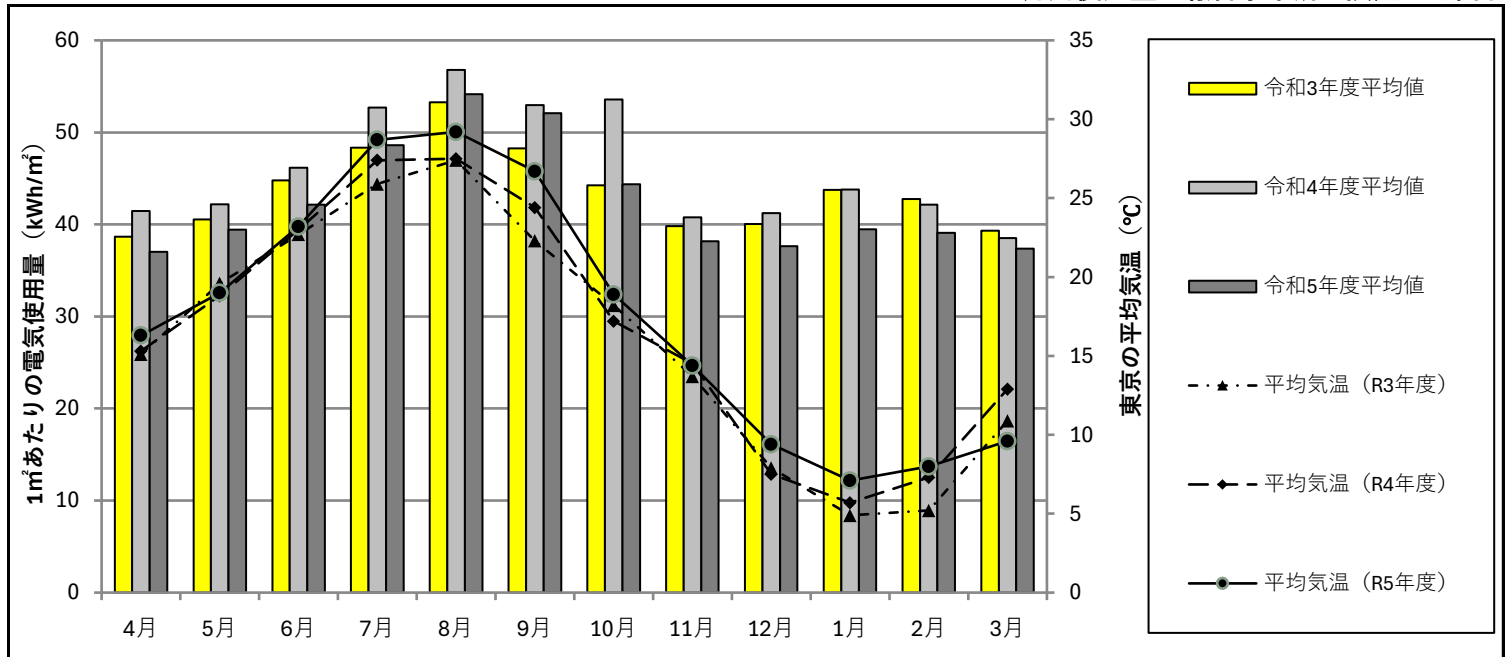


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

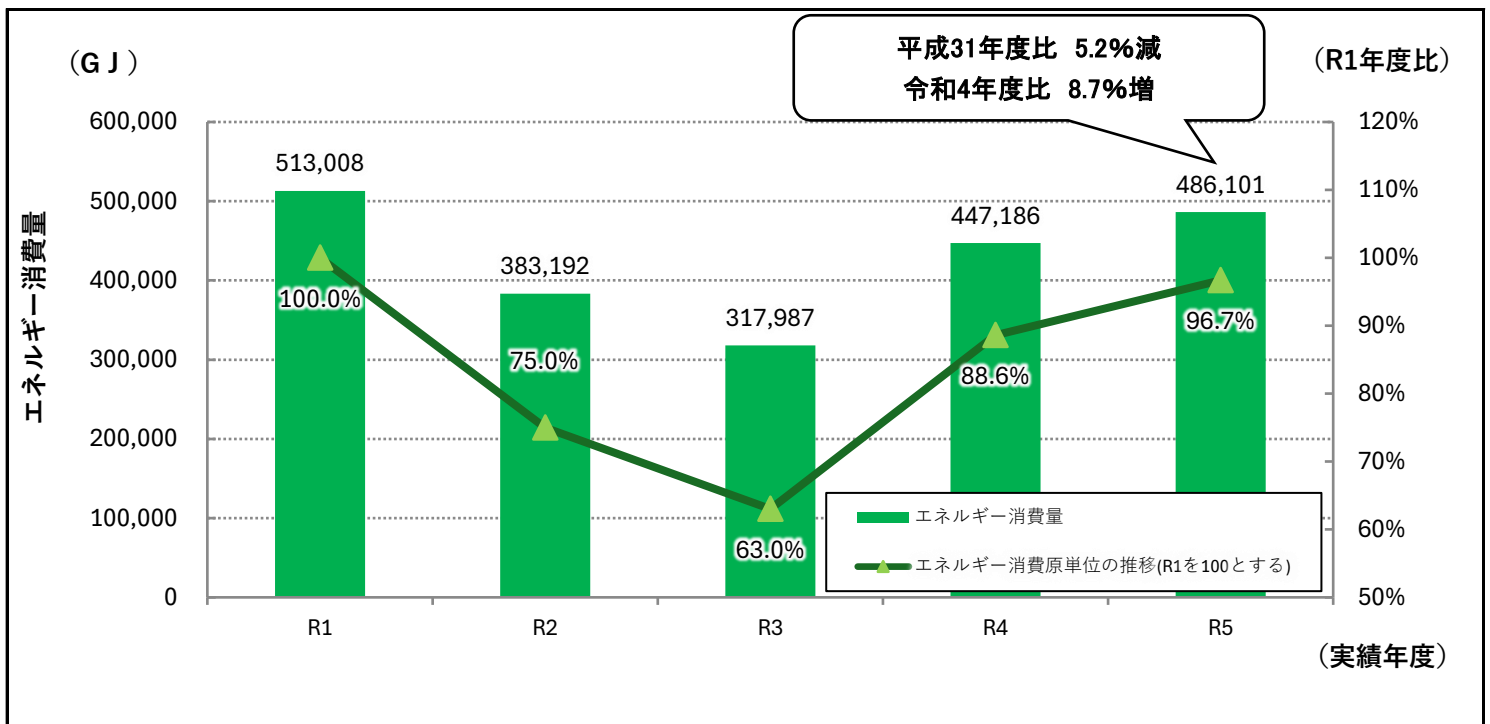
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



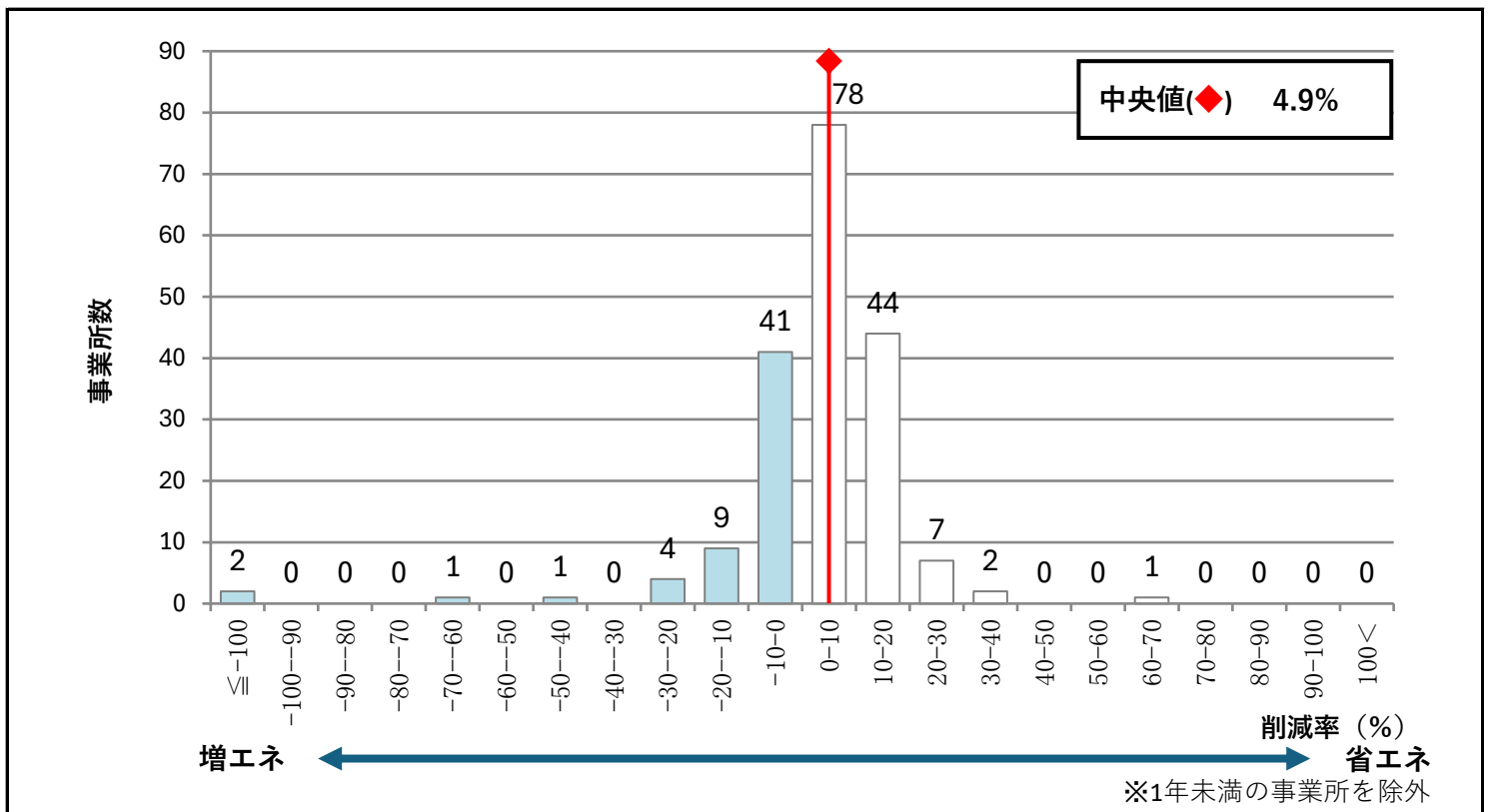
パチンコ店は人間や照明・遊具の発熱など、空調の内部負荷が大きいため暖房より冷房負荷が大きくなっています。中間期にはエアコンを止め、外気を強制的に導入する外気冷房も有効な手段です。また人員密度が高いので導入外気量が多い空調設備になっていますが、閑散時間帯には換気ファンのインバータ制御などで外気量を削減すると大きな省エネにつながります。CO2濃度が高すぎない範囲で外気導入量を絞ることで空調負荷の大幅削減につながります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8095 カラオケボックス業」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
カラオケボックス店舗	209	203	

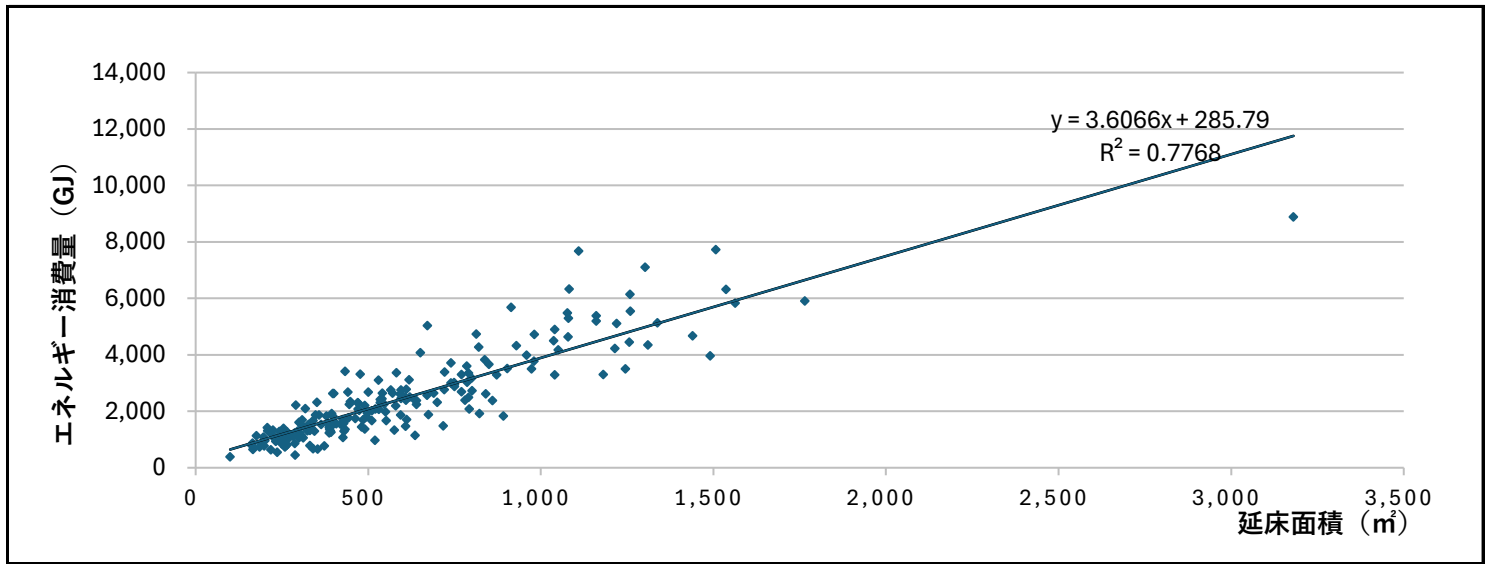
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:192)



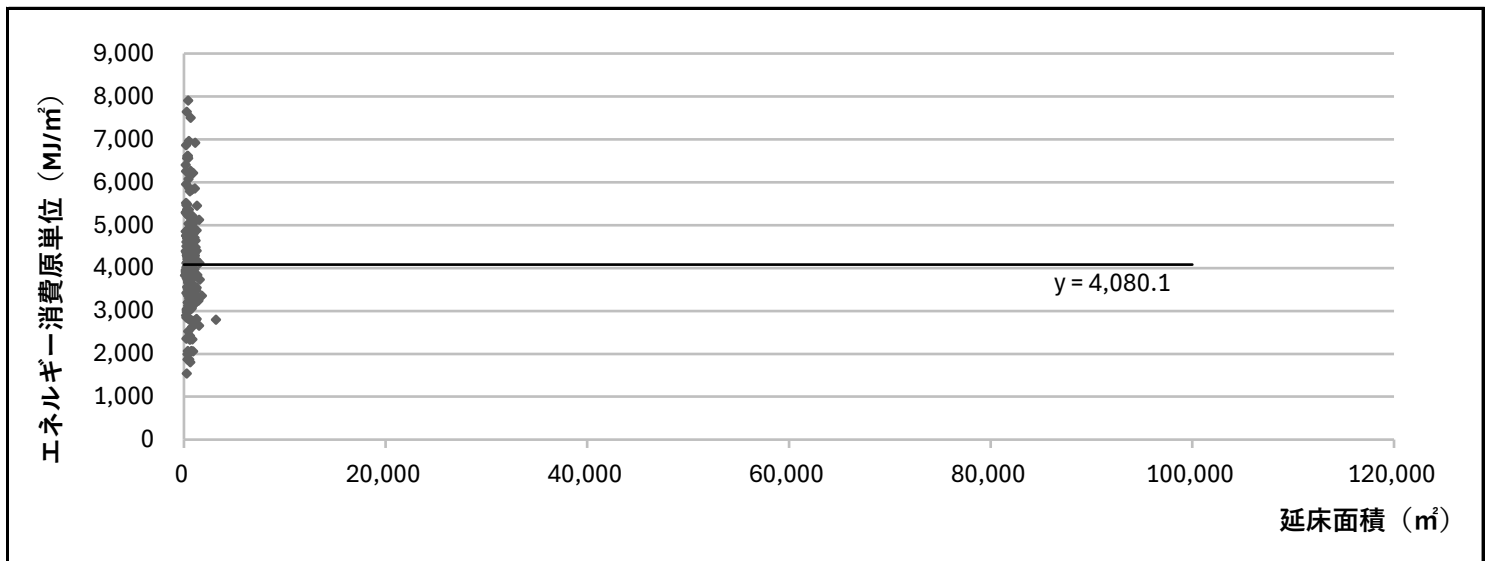
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:190)



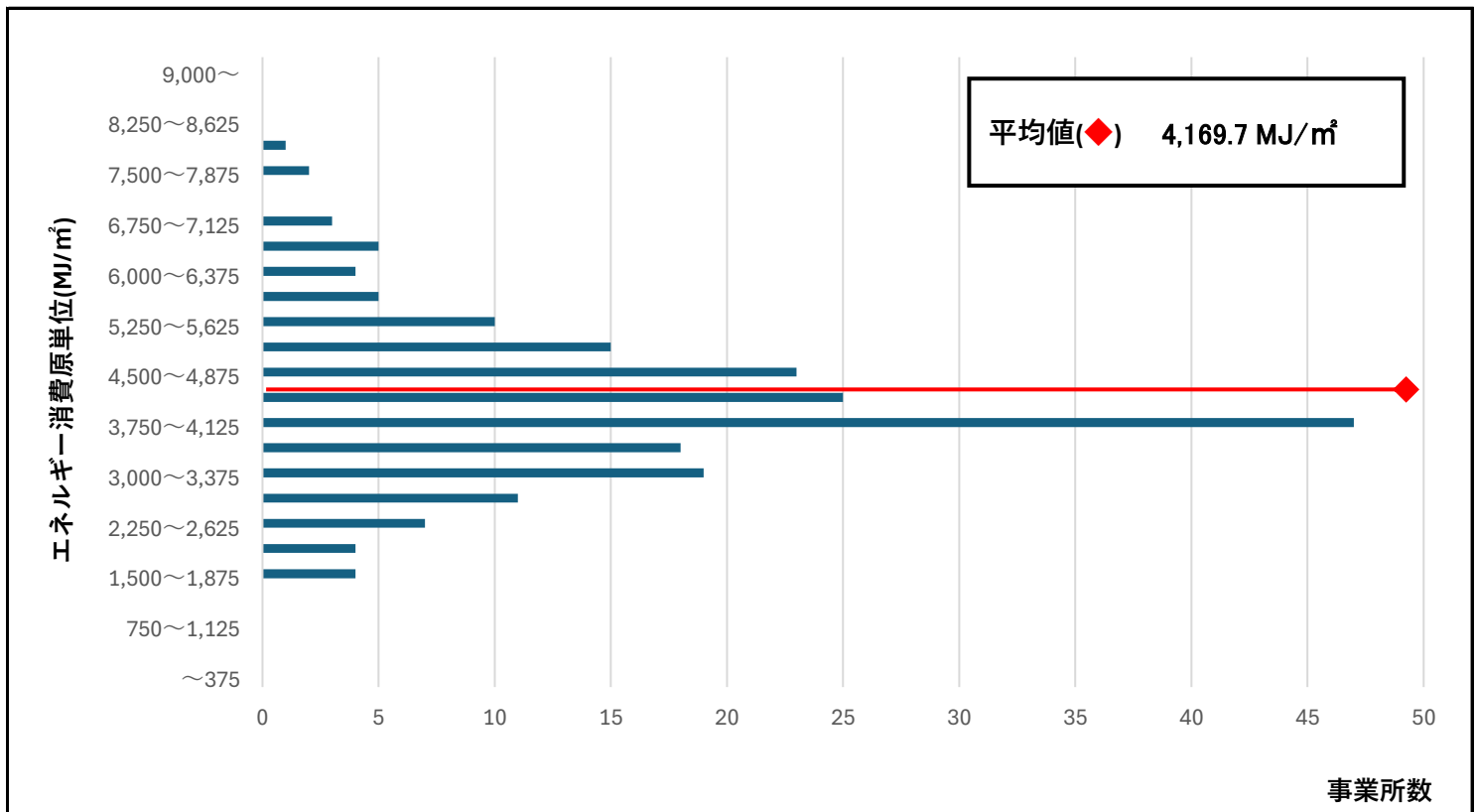
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



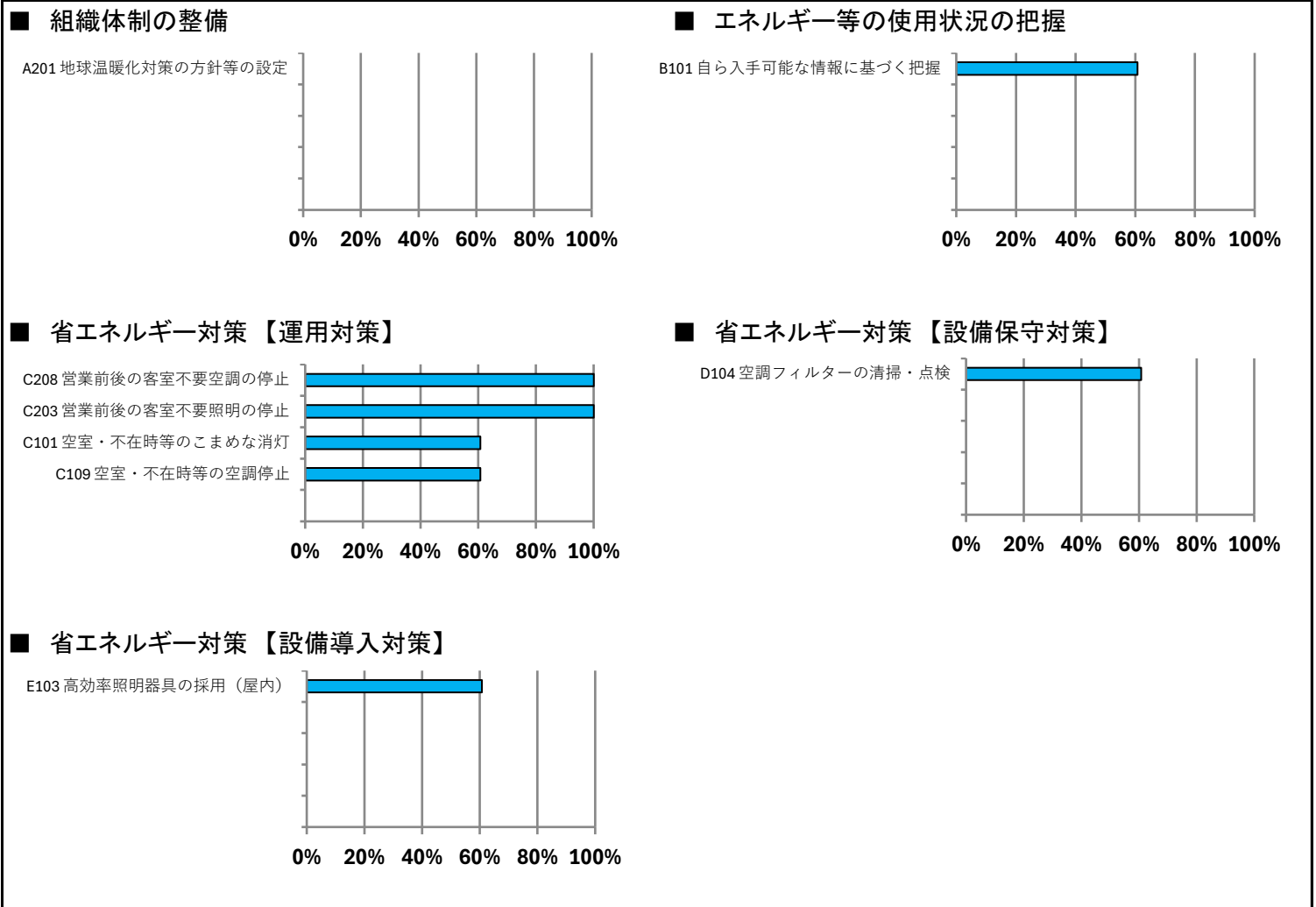
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

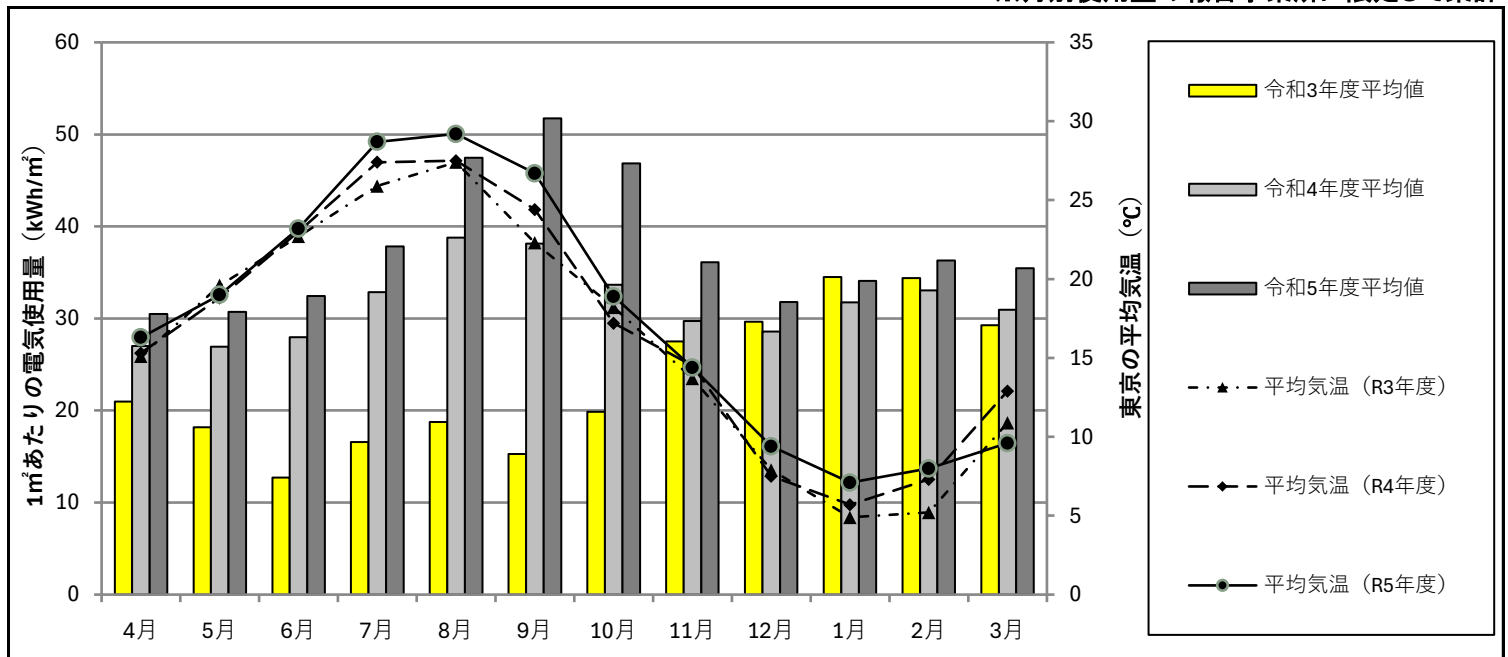


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

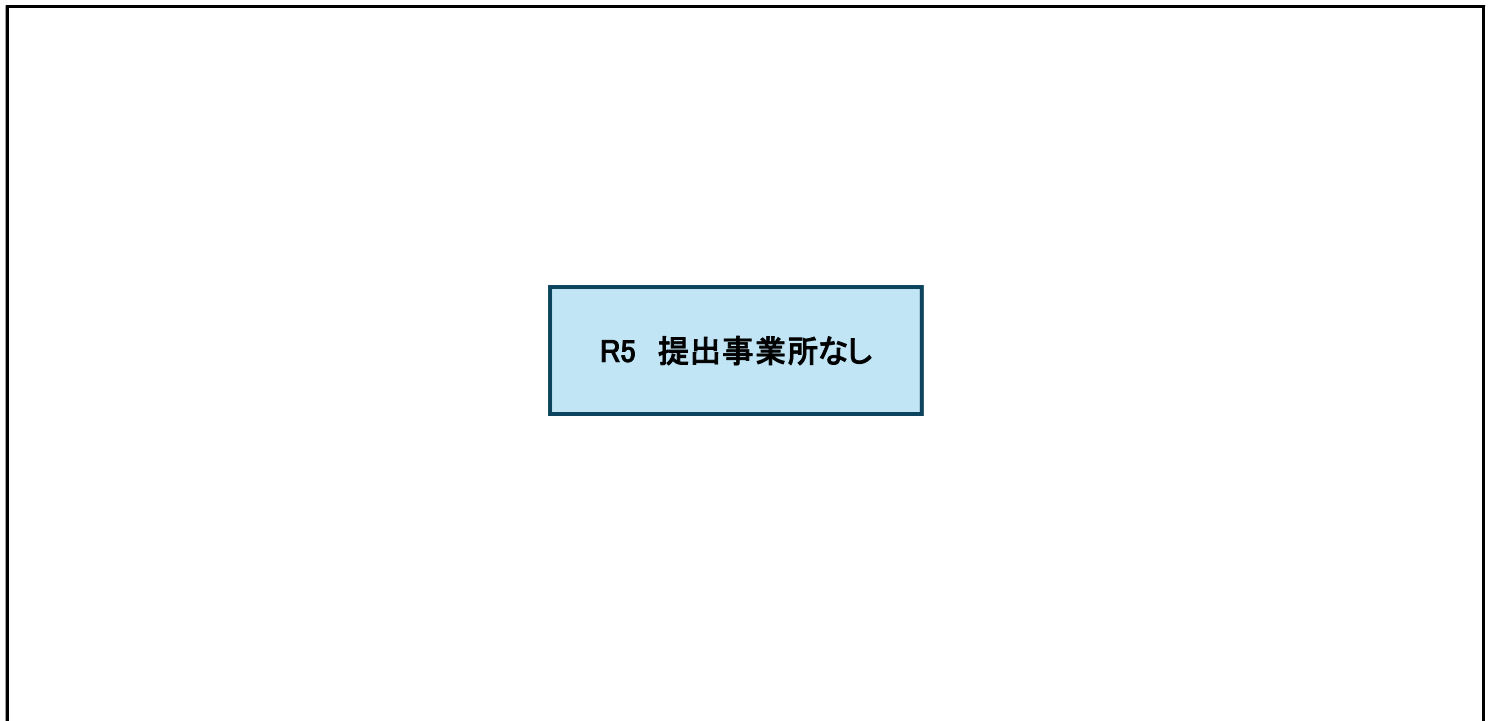
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



コロナが一段落して使用エネルギーは増加傾向です。多数の個室があり、それぞれに照明・空調・カラオケ機器(コマンダー、アンプ、モニター)が設置されていますが、お客の入っていない不使用時の室内の空調、カラオケ機器の運転をどうするかがポイントになります。混雑時間帯では個室は途切れなく使用されるので連続運転となりますが、閑散時間帯はルールを決めて照明・空調・カラオケ機器の停止を計画的に実施してください。コマンダーは切れませんが、個室の空調や照明、モニターはPOSと連動するなどして、客の入室に合わせてオンオフすることがお勧めです。トイレ照明への人感センサ導入も効果的です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8065 ゲームセンター」 主たる用途「その他」
ゲームセンター		R5 提出事業所なし	

1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:)



2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:)



3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布



6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)

■ 組織体制の整備	■ エネルギー等の使用状況の把握
■ 省エネルギー対策【運用対策】	■ 省エネルギー対策【設備保守対策】
R5 提出事業所なし	
■ 省エネルギー対策【設備導入対策】	

7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

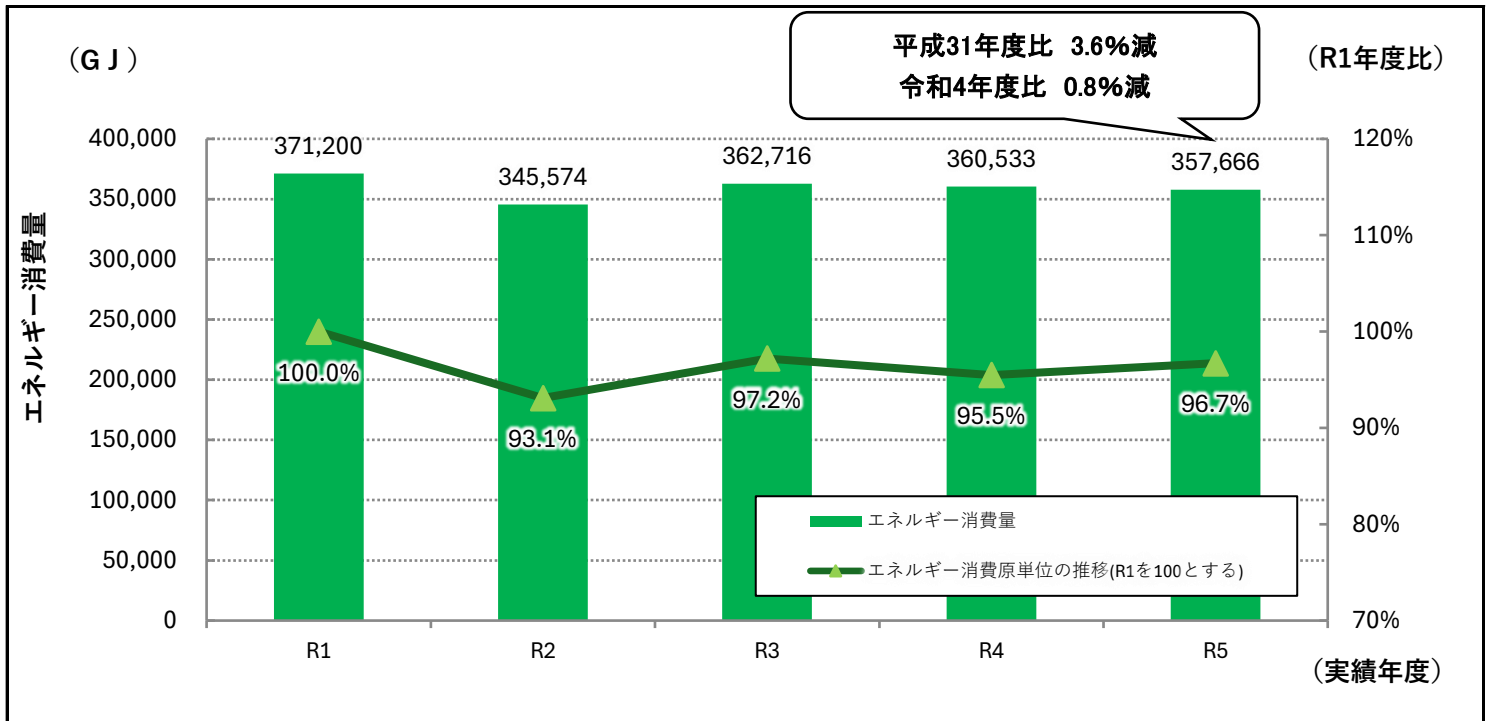
※月別使用量の報告事業所に限定して集計

R5 提出事業所なし	
-------------------	--

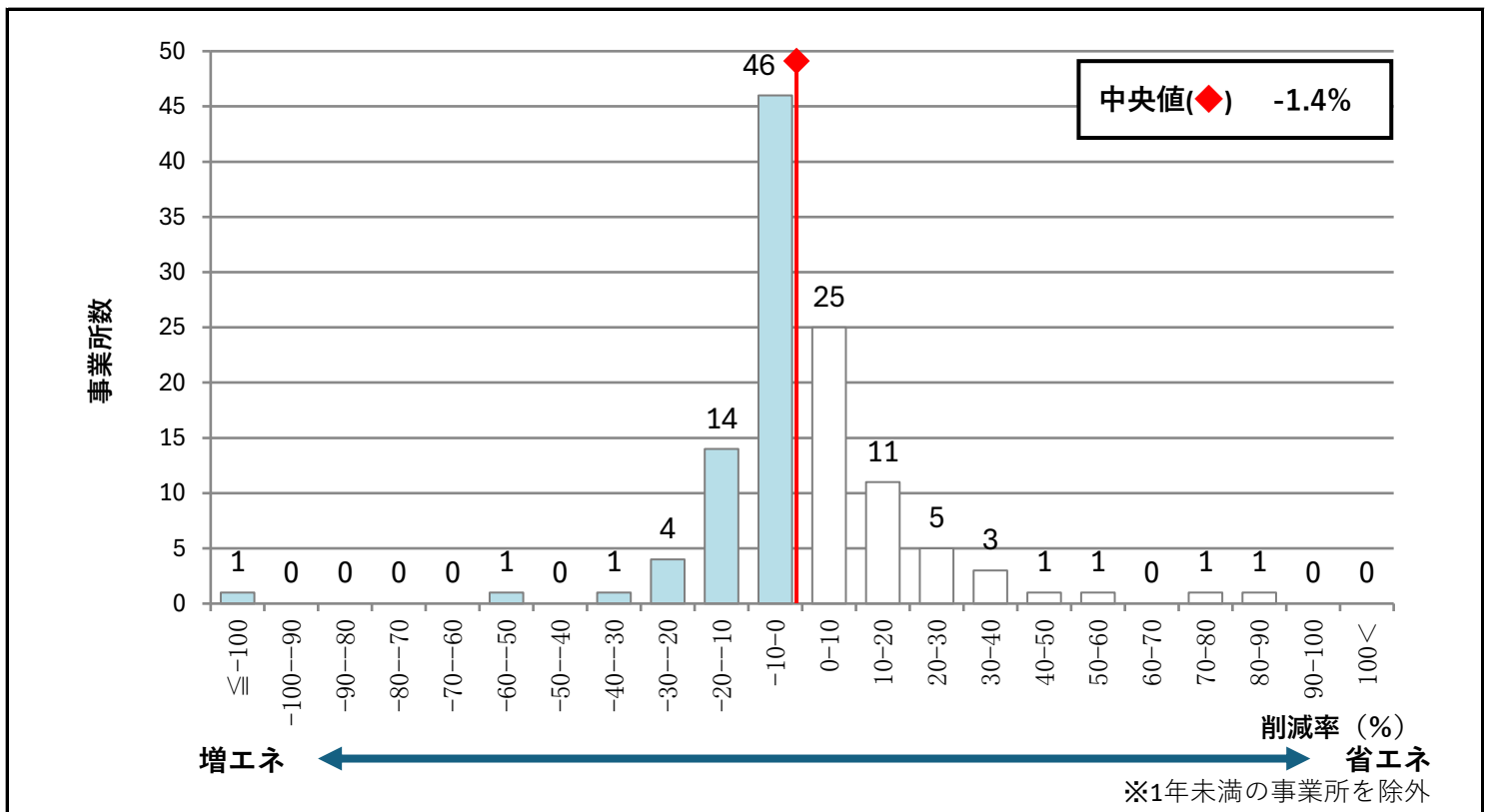
--

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8212 図書館」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
図書館	130	126	

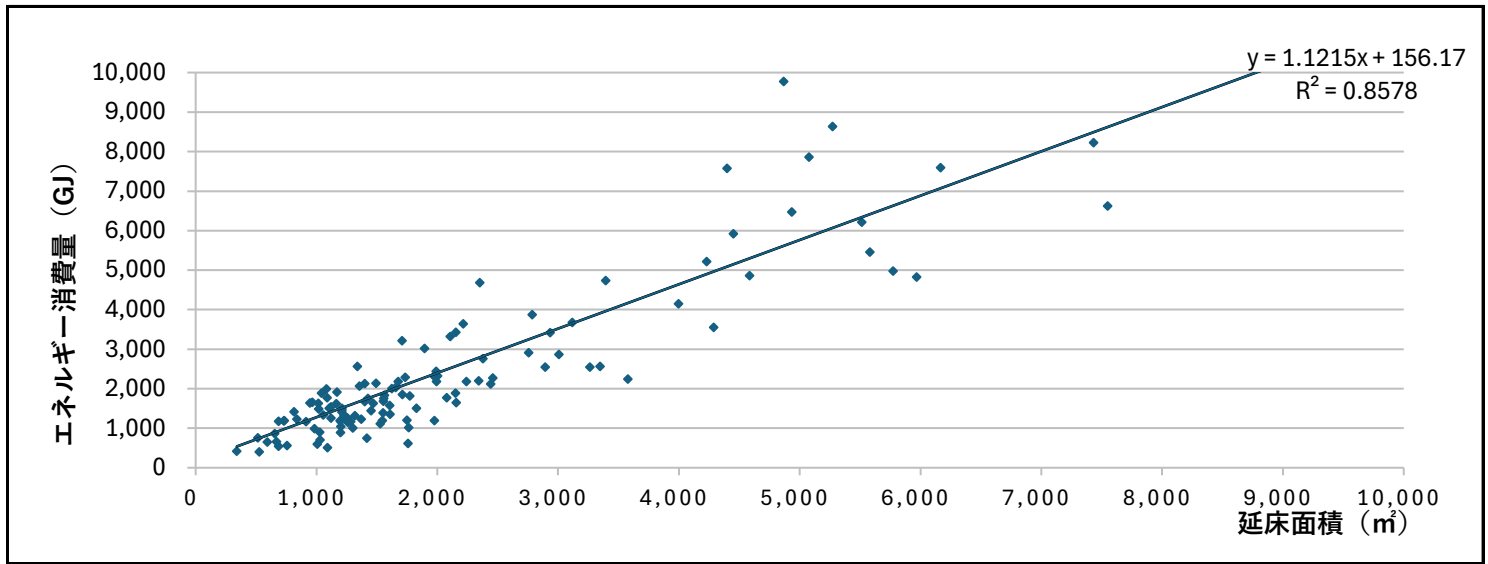
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:115)



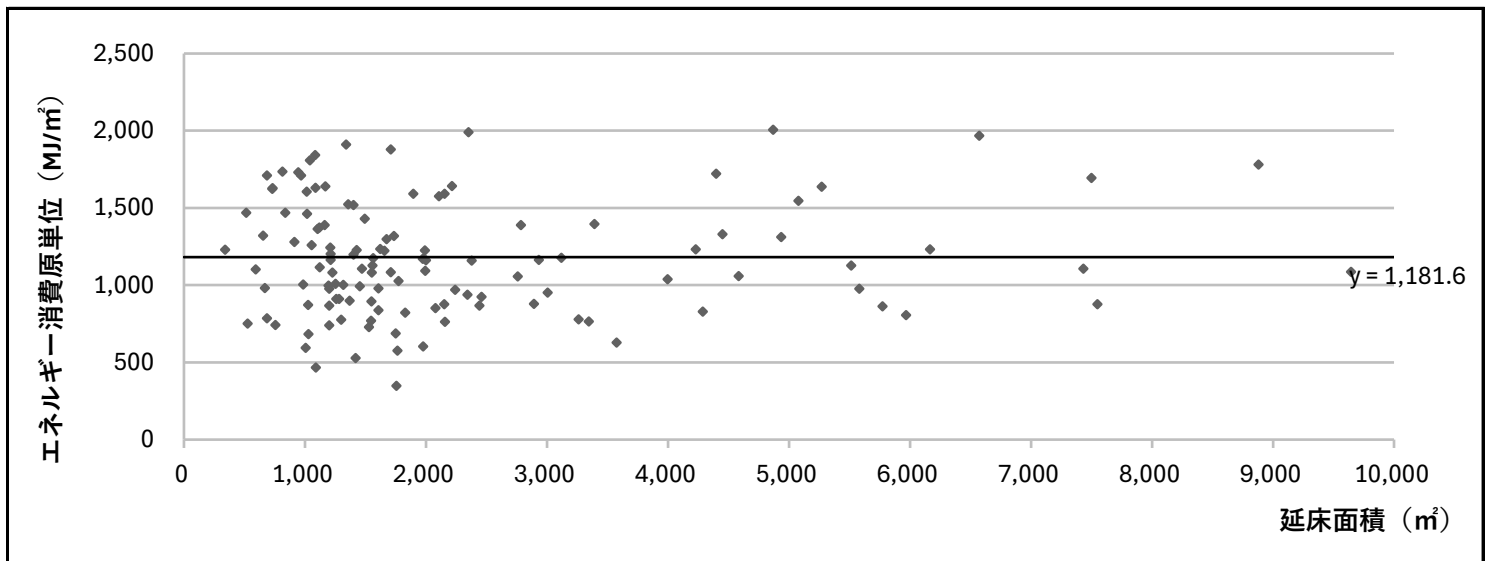
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:115)



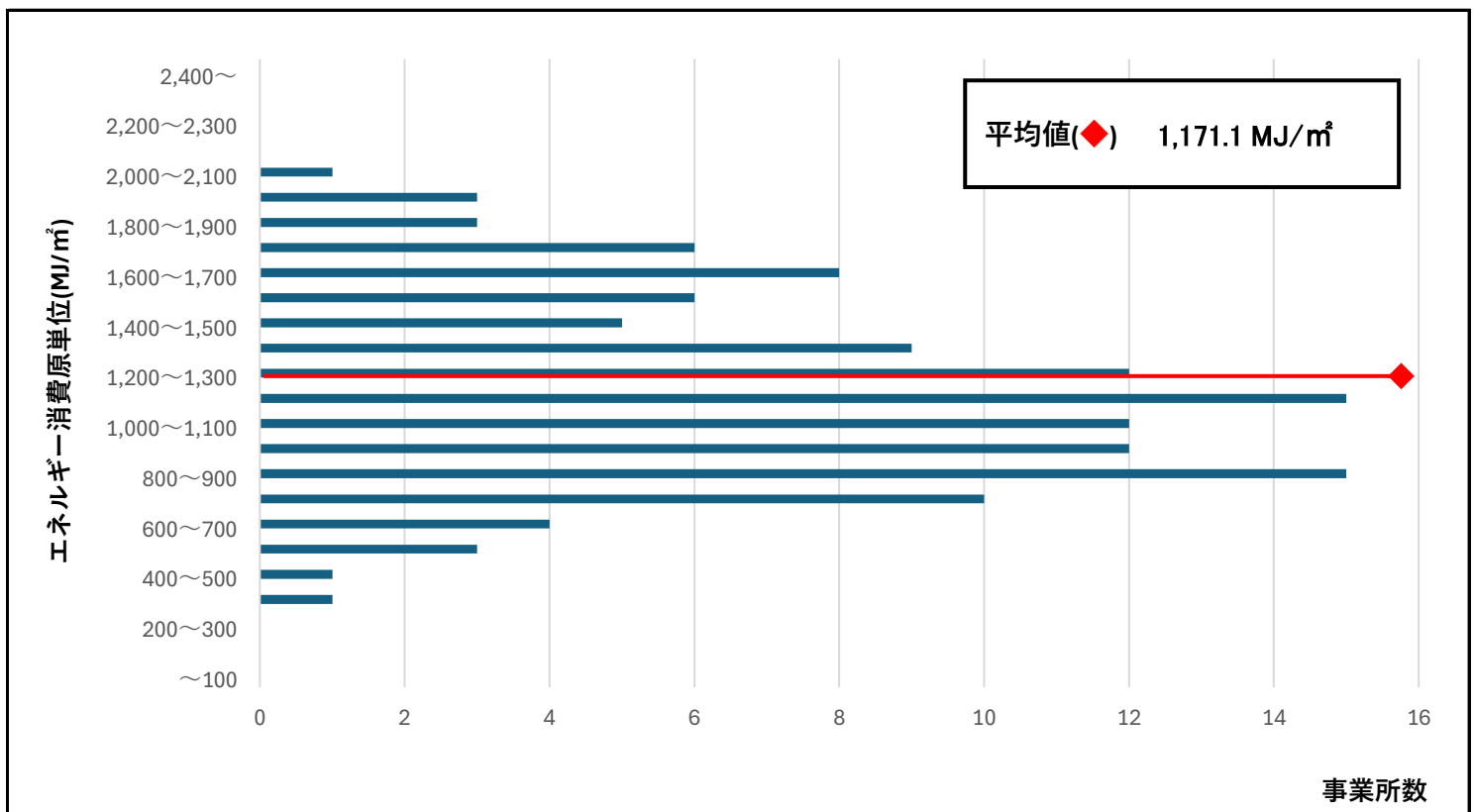
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



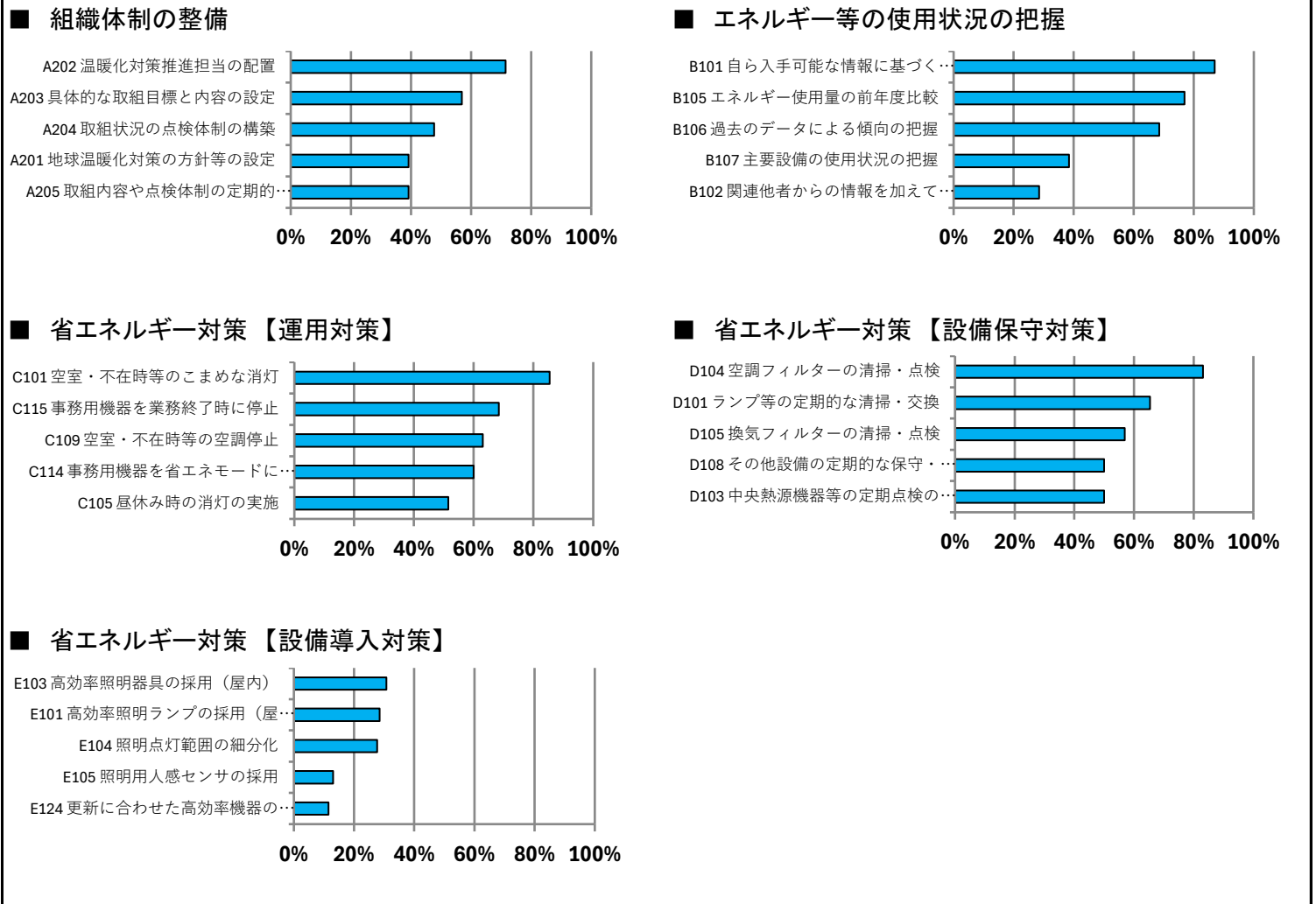
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

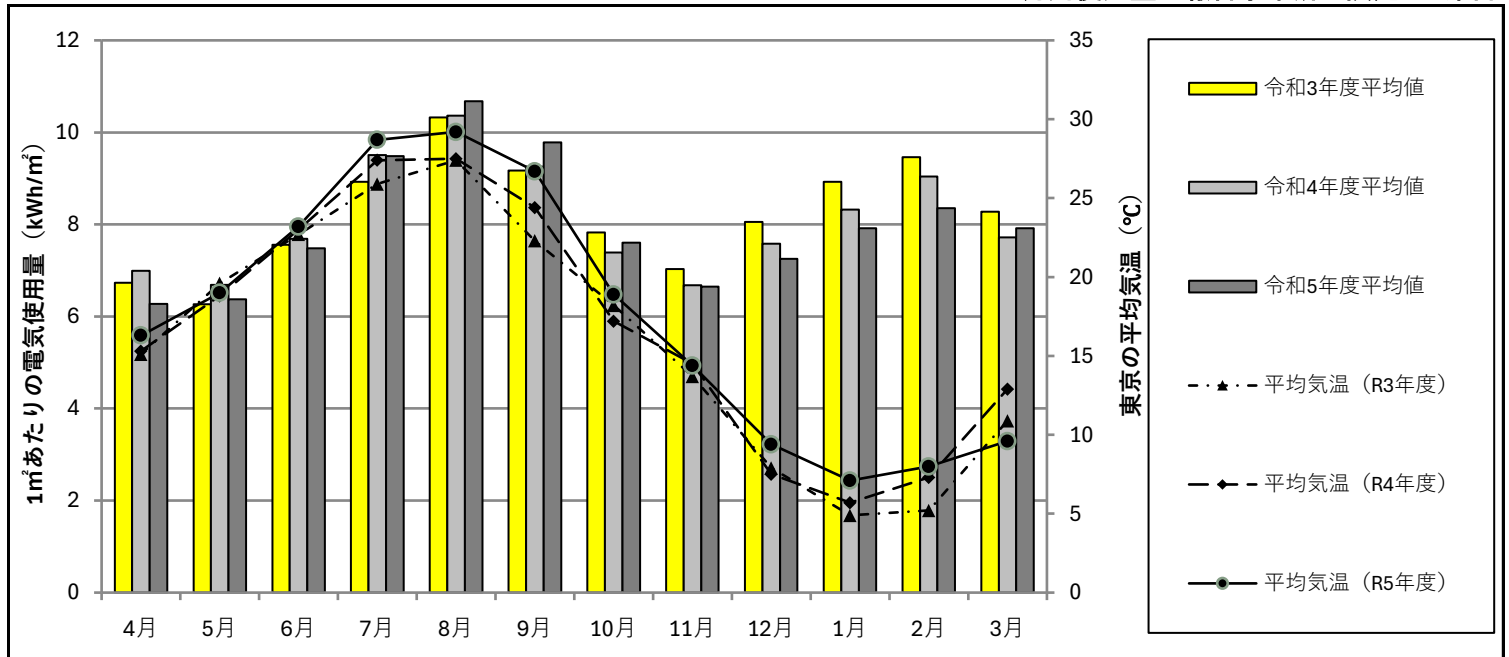


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

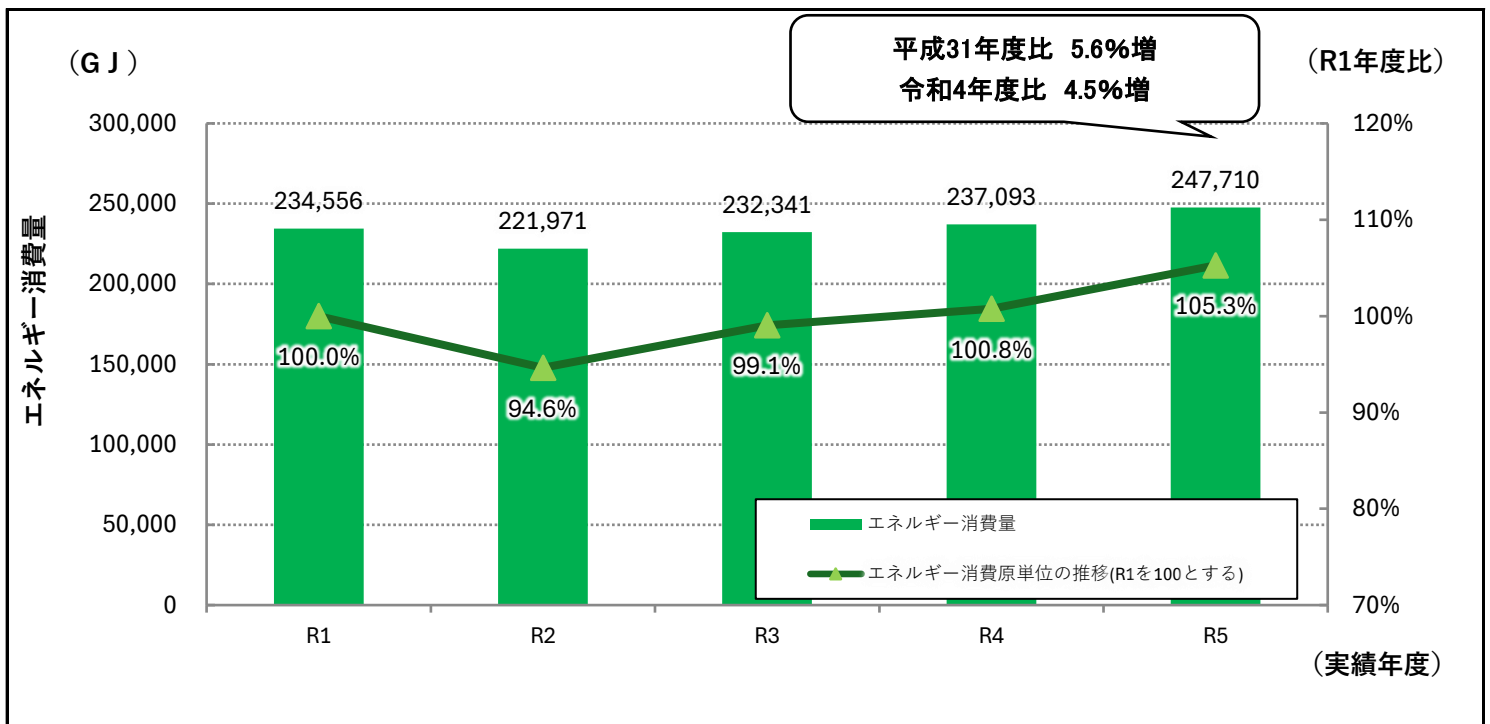
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



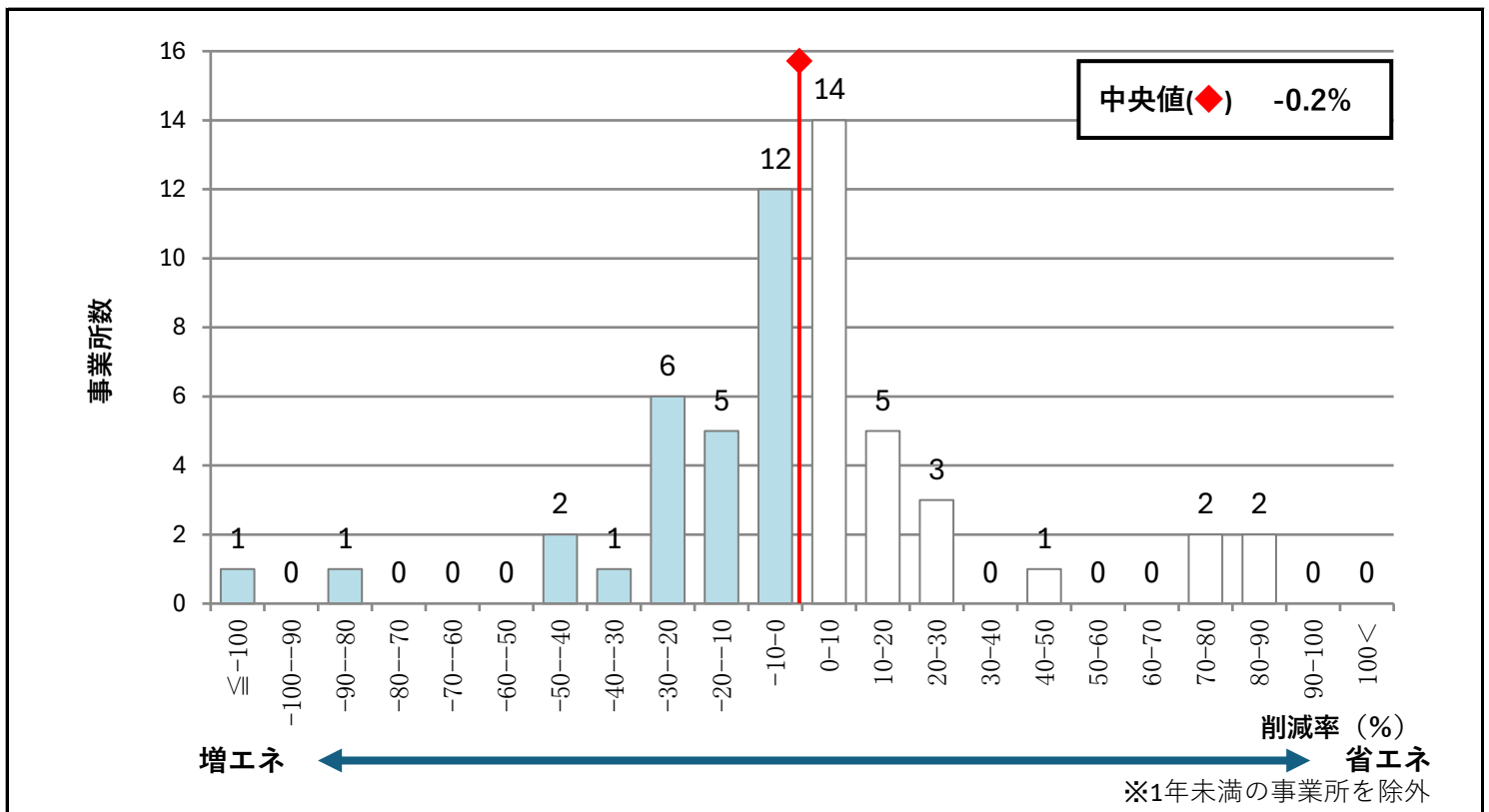
机上は明るく、書架・通路は抑えて、室内の照度にメリハリをつけましょう。照明はLED化が望まれますが、特に高天井の水銀灯等は効率が悪いので早めのLED化をお勧めします。冬期は暖気が天井に滞留し膝上が寒いなどの不快感が生じるので、サーキュレータの使用などで室内の上下温度差を緩和しましょう。定期的なエアコン屋外機の薬品洗浄も省エネとなります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8213 博物館、美術館」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
博物館・美術館	62	57	

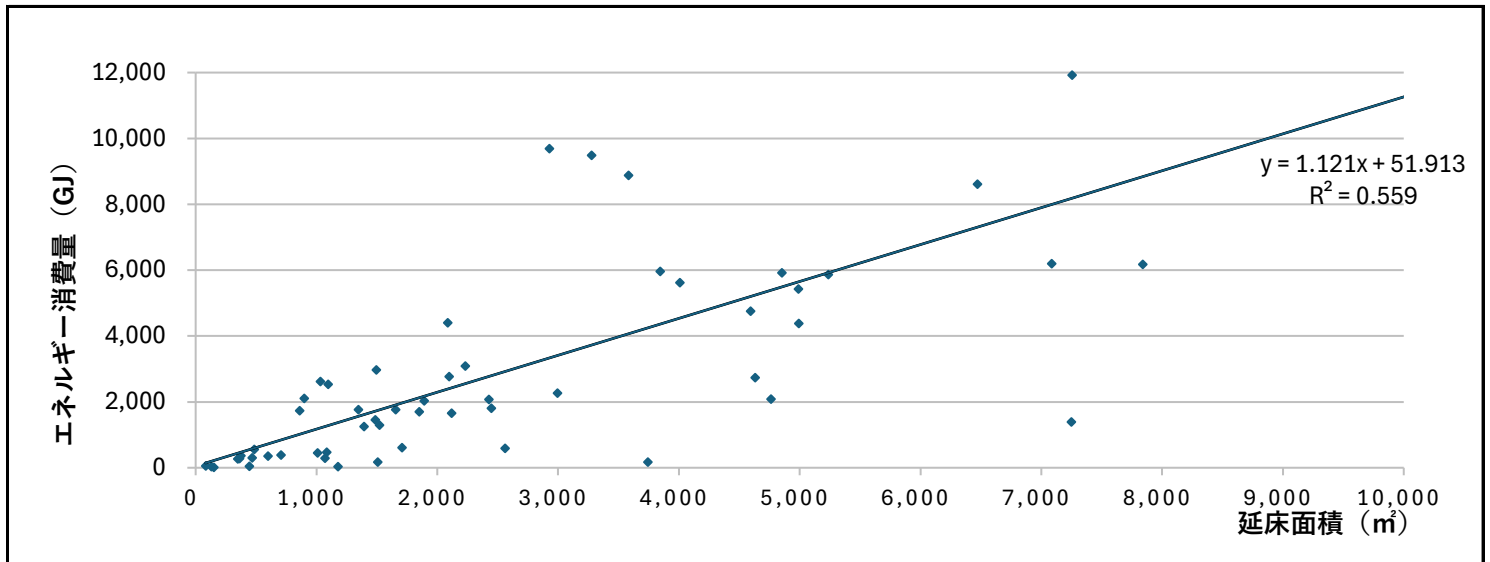
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:56)



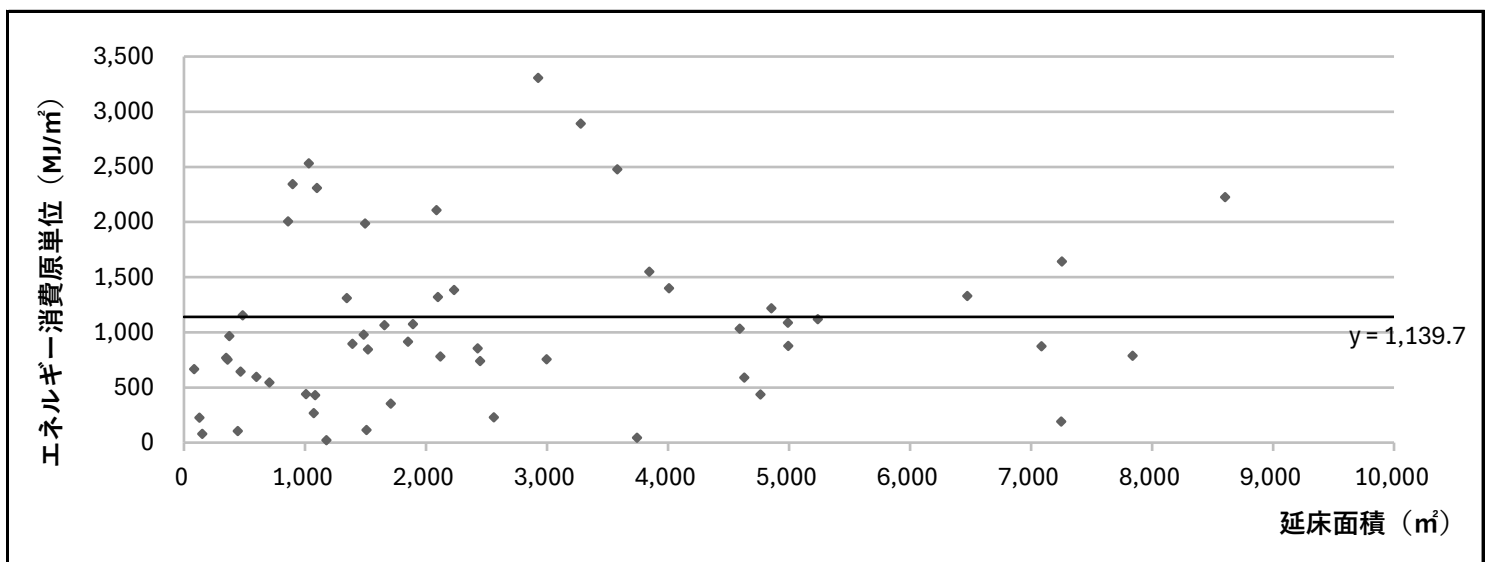
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:55)



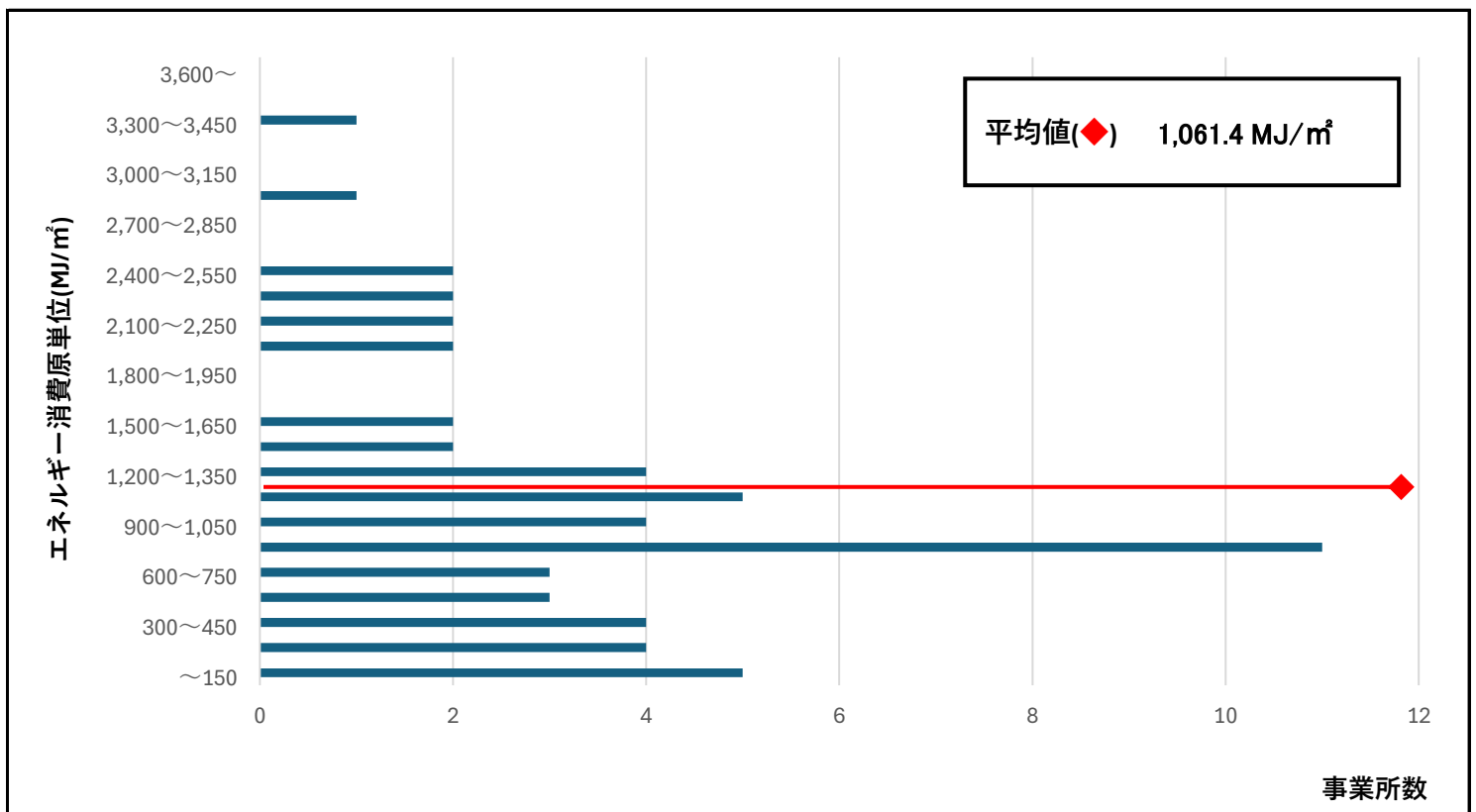
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



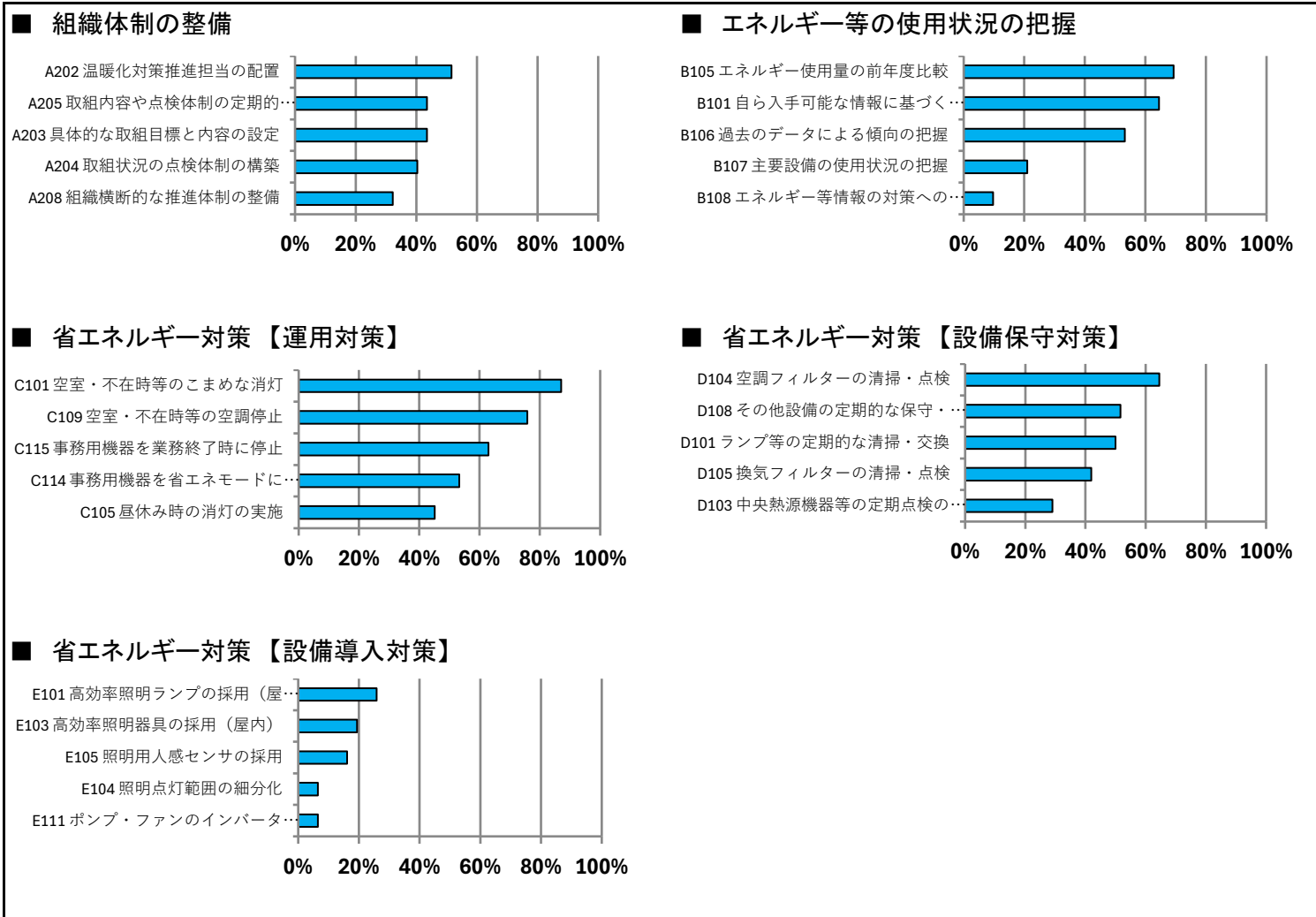
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

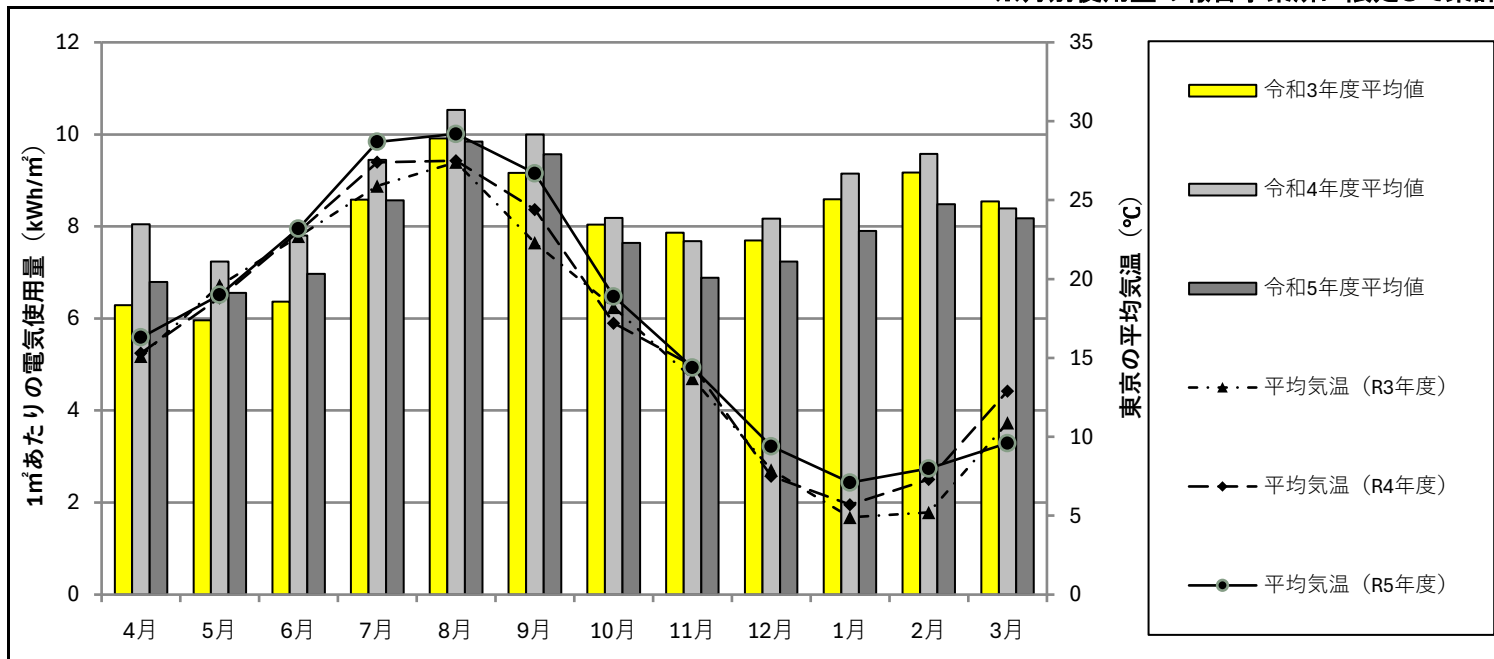


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

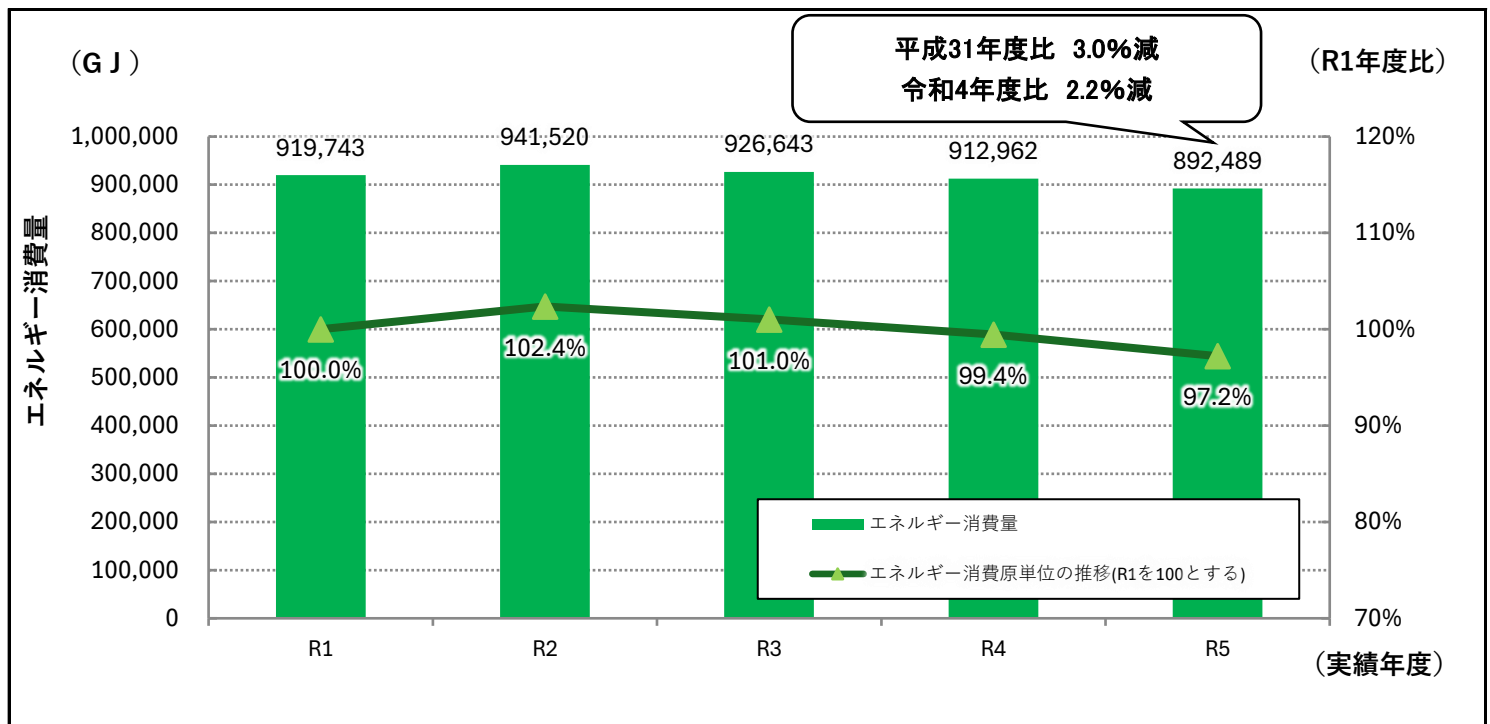
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



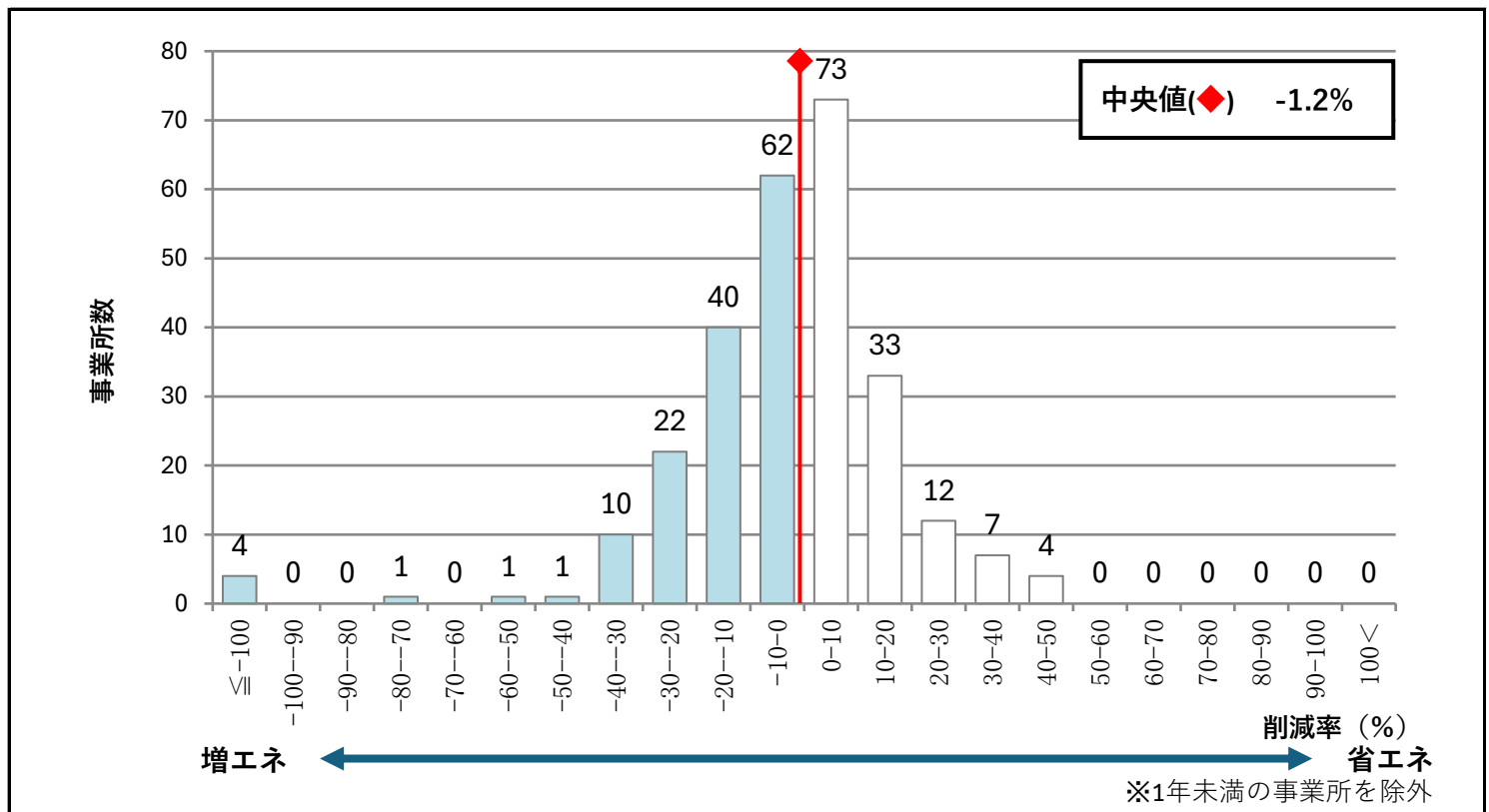
展示品は温湿度に敏感なので急変を避けるなど適切など温湿度管理を行ってください。空調では展示品に風が当たらないような吹出口の配置が求められます。また来館者の人員変動が大きいという特徴があるので階段・通路・トイレ等の照明には人体センサーをご検討ください。また地下駐車場がある場合には、CO濃度によりファン風量を自動調整する方法が有効です。LED照明は紫外線の放出が極めて微量で調光も可能なので展示物への悪影響が少なく博物館・美術館には最適な照明といえるので早めに更新しましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「9821 市町村機関」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」
区市町村庁舎等	287	285	

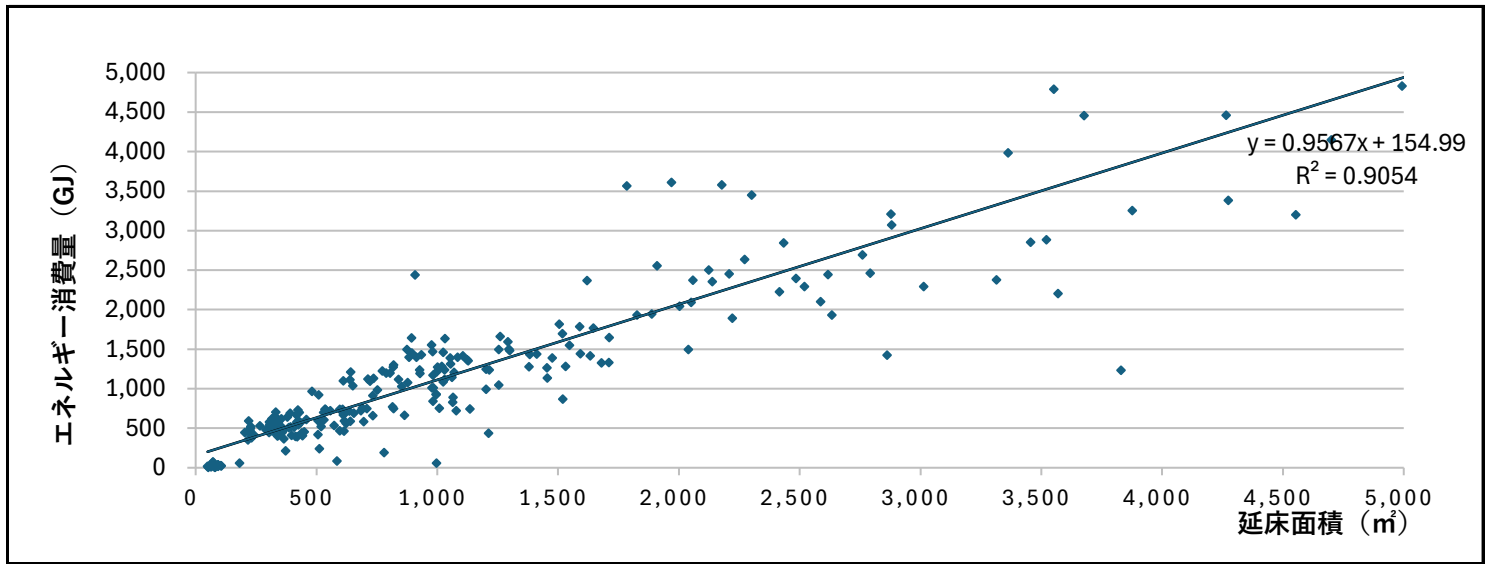
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:273)



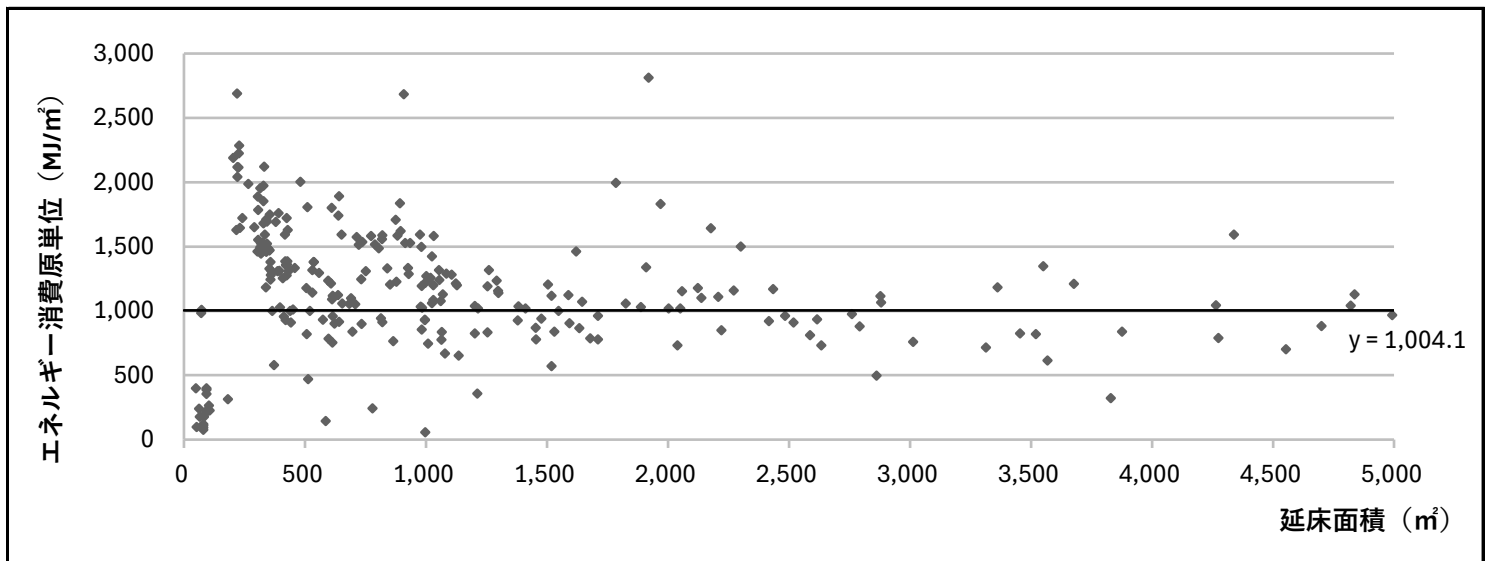
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:270)



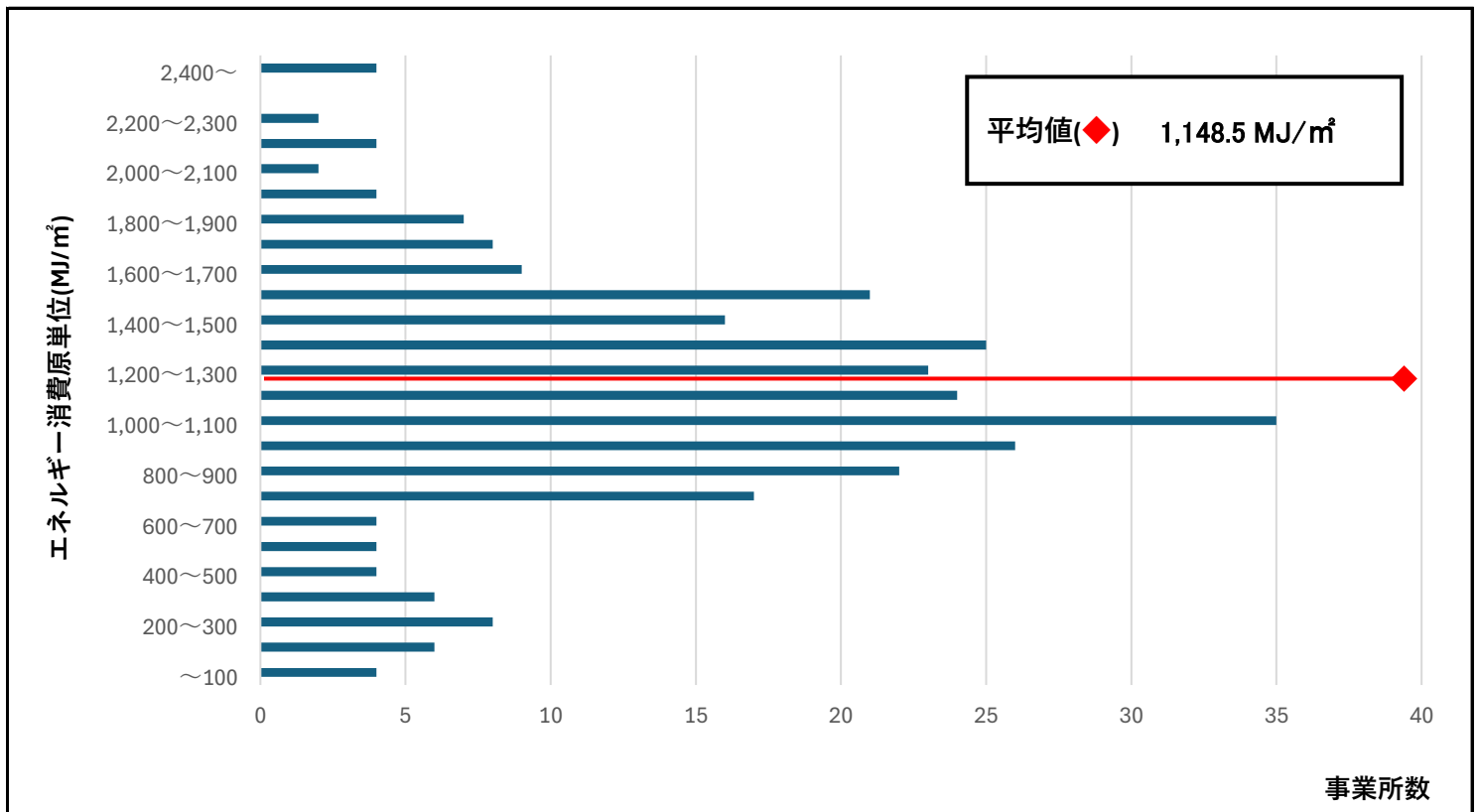
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



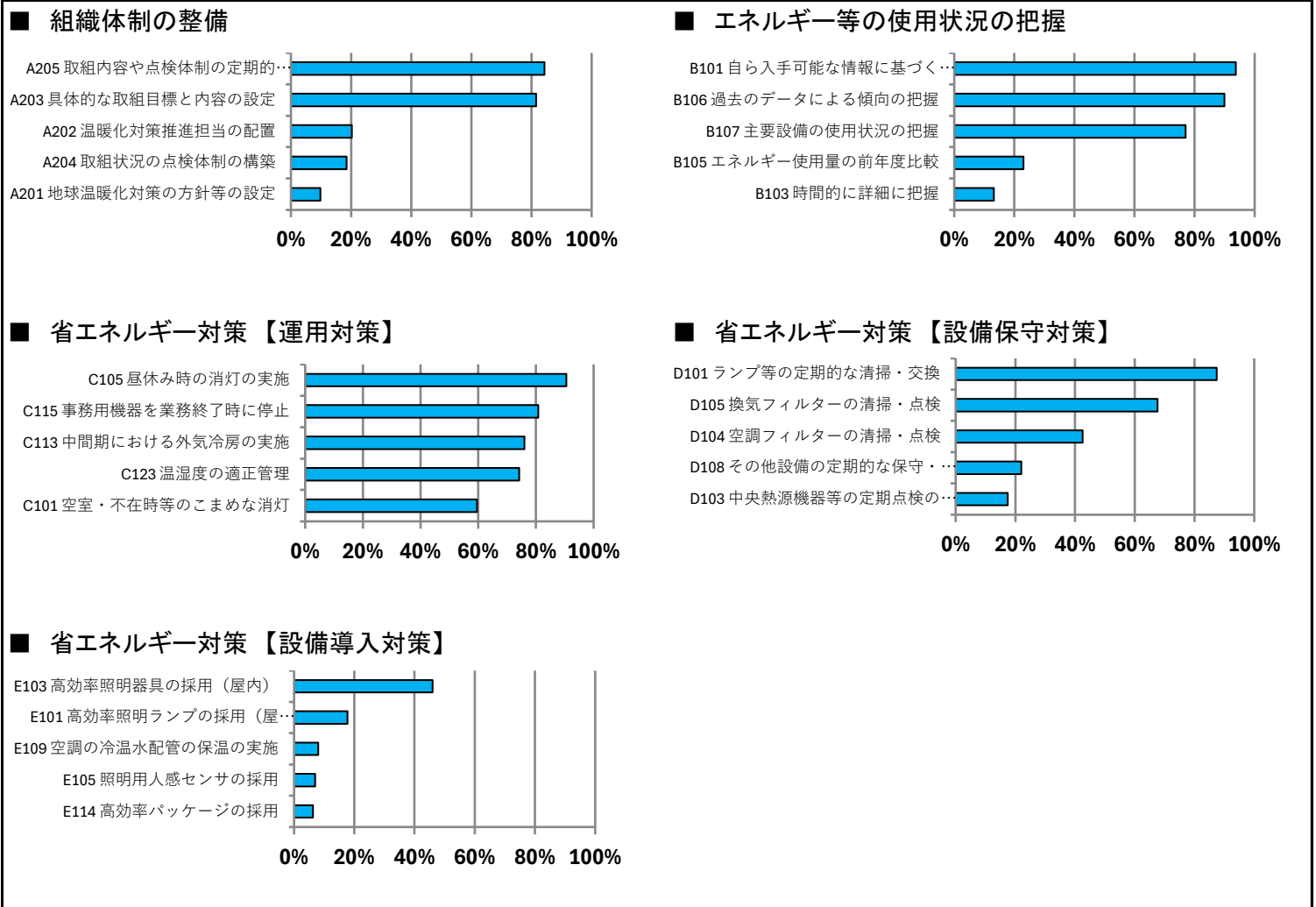
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

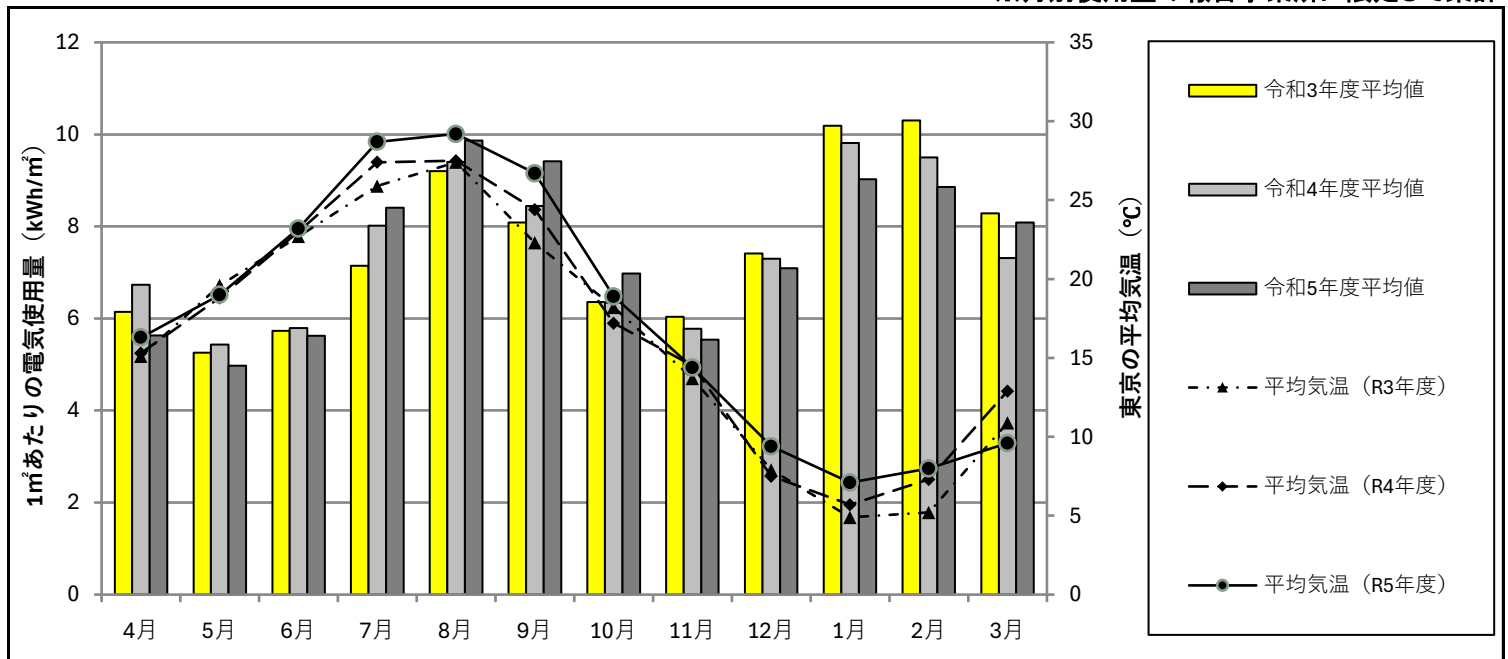


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

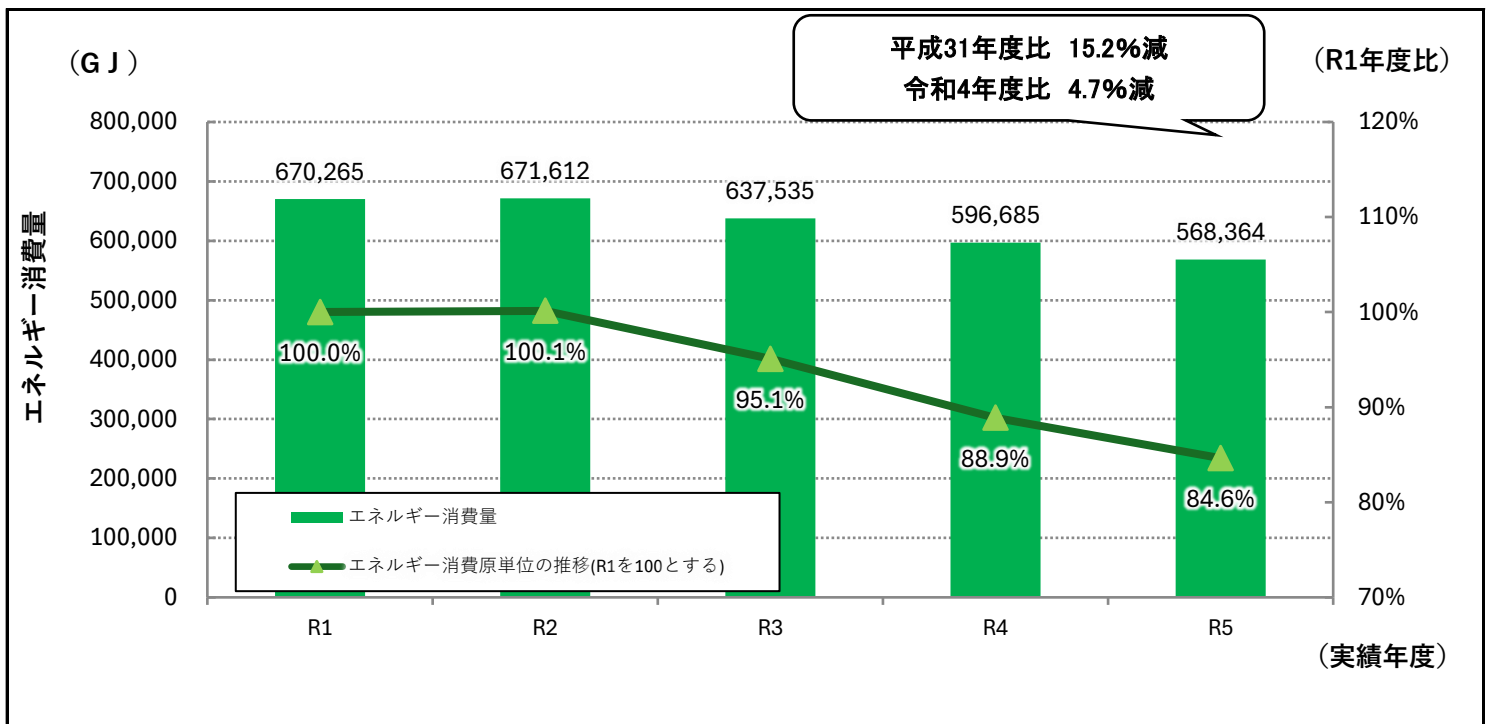
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



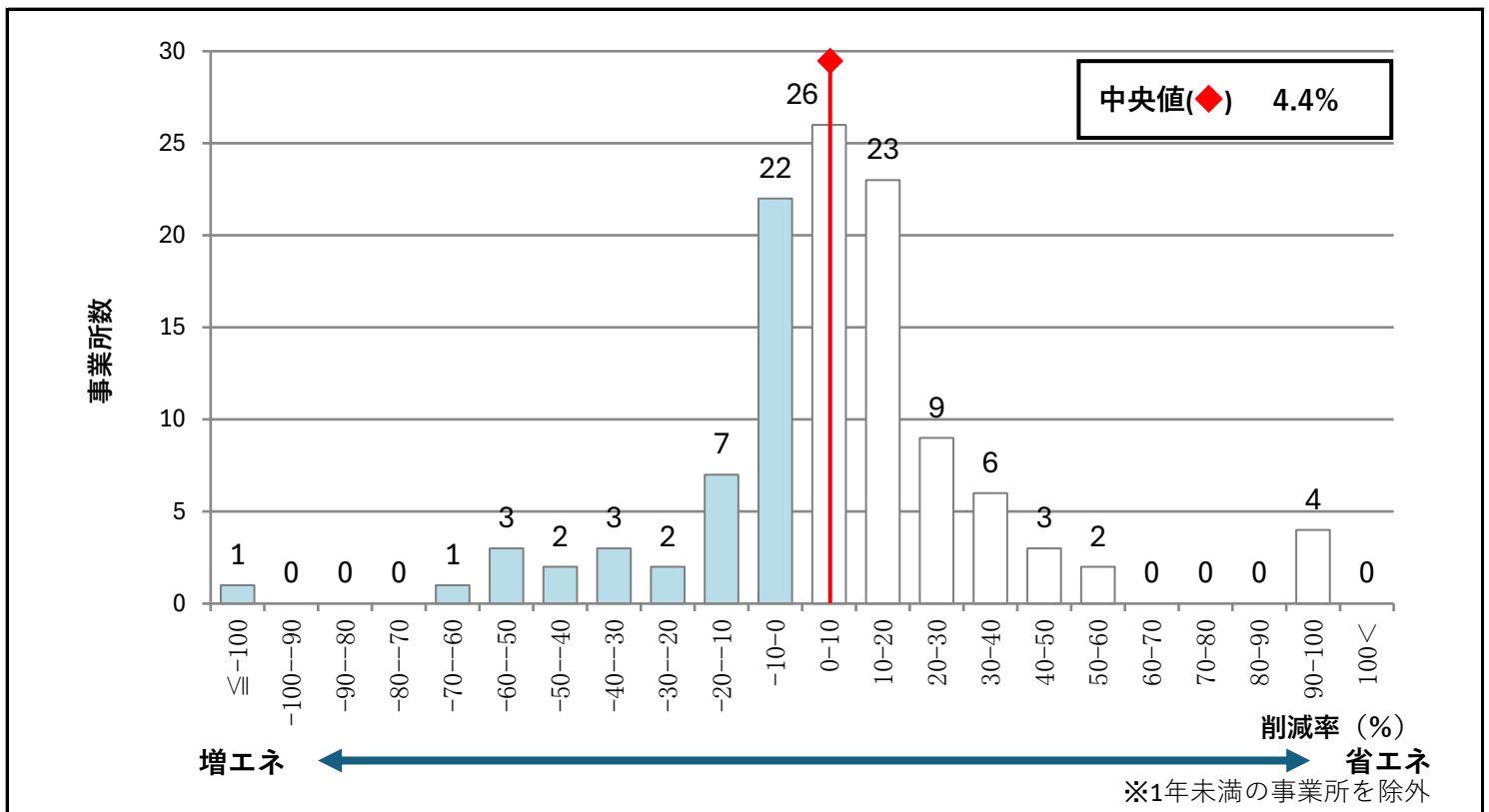
一般に運用改善は進んでいますが設備改善が遅れている傾向が見られます。予算取りが難しいためと思われるが、優先順位を決めて順次更新を計画しましょう。年間の省エネ目標を定め、PDCAを廻していく体制が望まれます。毎月の電気・ガス・水道の使用量はグラフ化することで過去年度とのトレンド比較が容易になります。通路などに貼ることで職員への啓蒙になり、庁舎全体の省エネが進み、また来庁者にも省エネ活動実績のアピールにもなります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類の大分類「E 製造業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」
製造業(工場)	285	271	

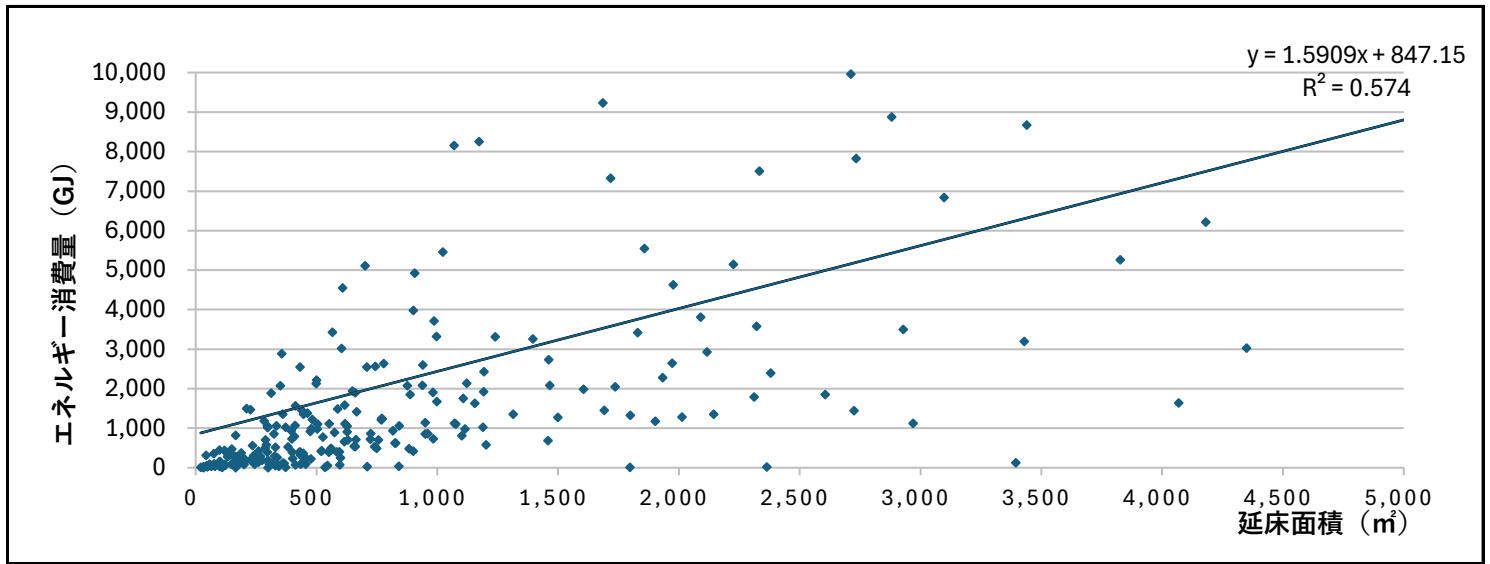
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:115)



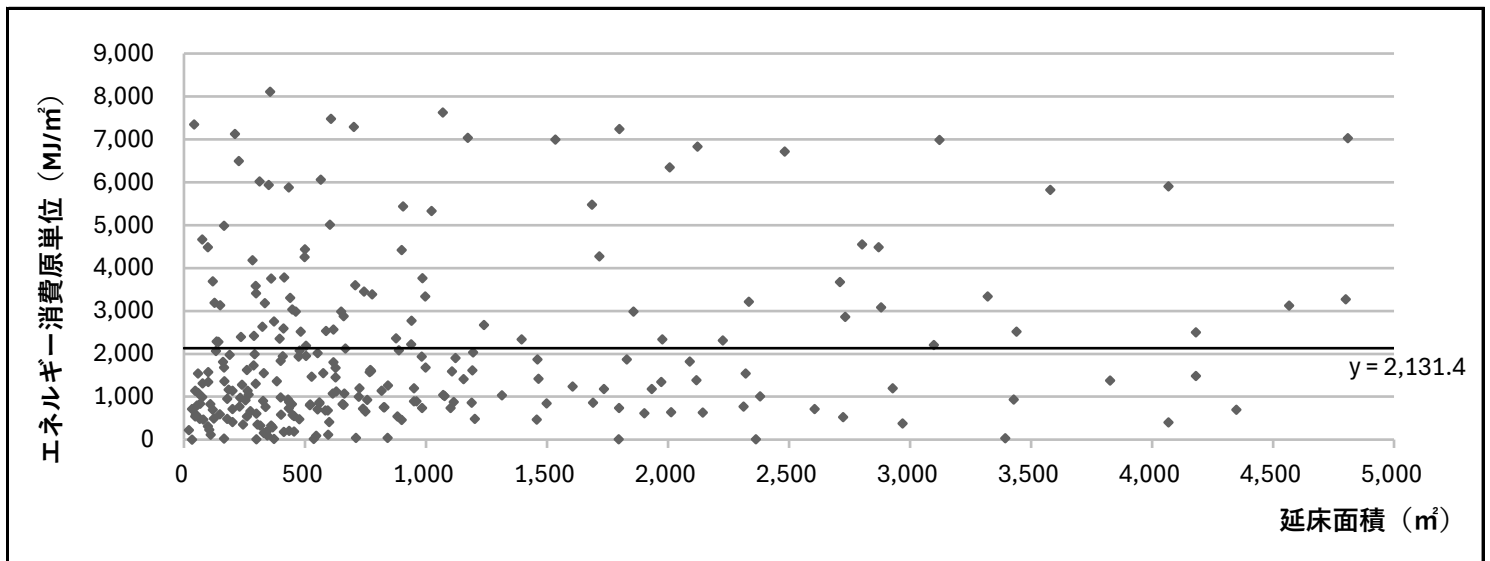
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:114)



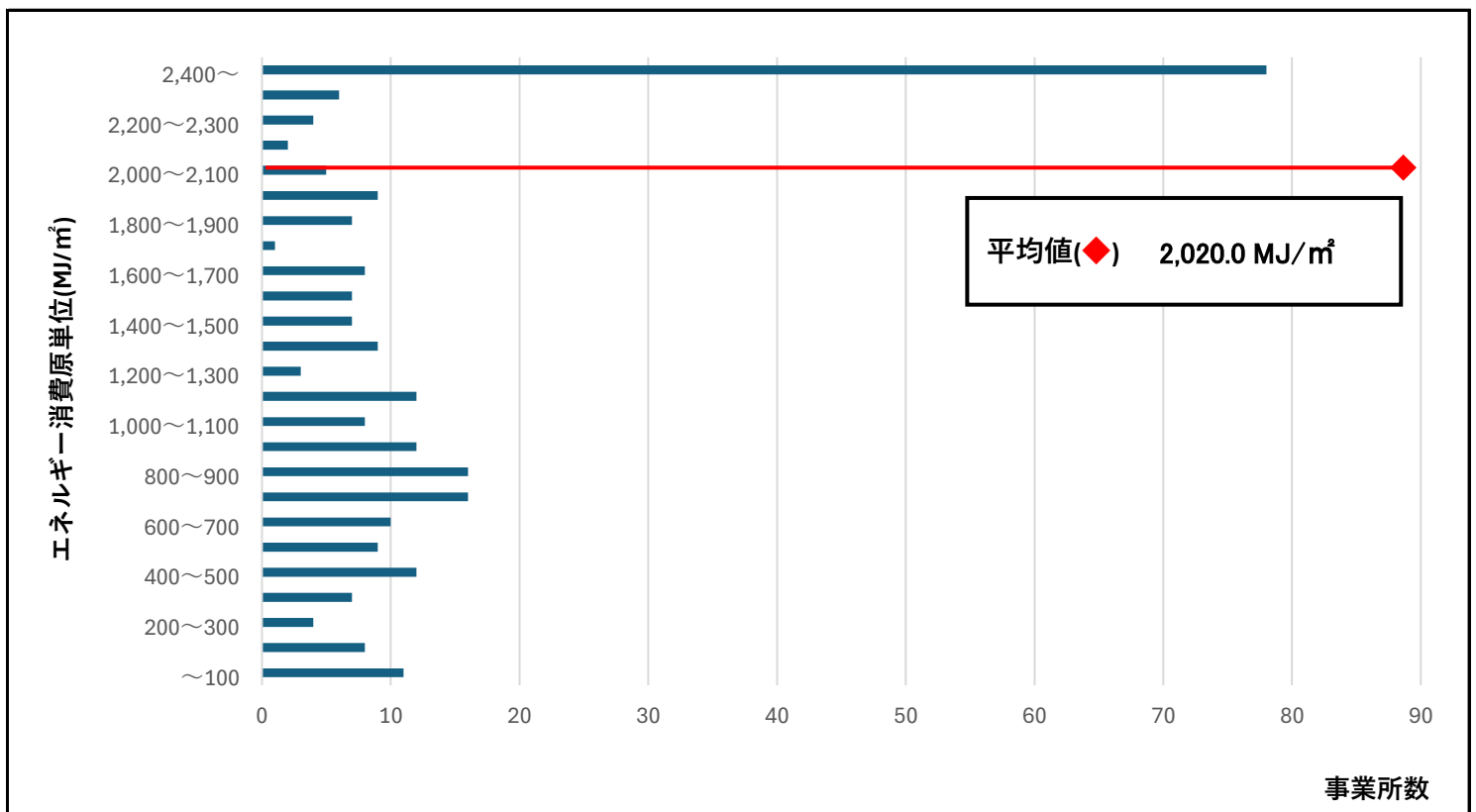
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



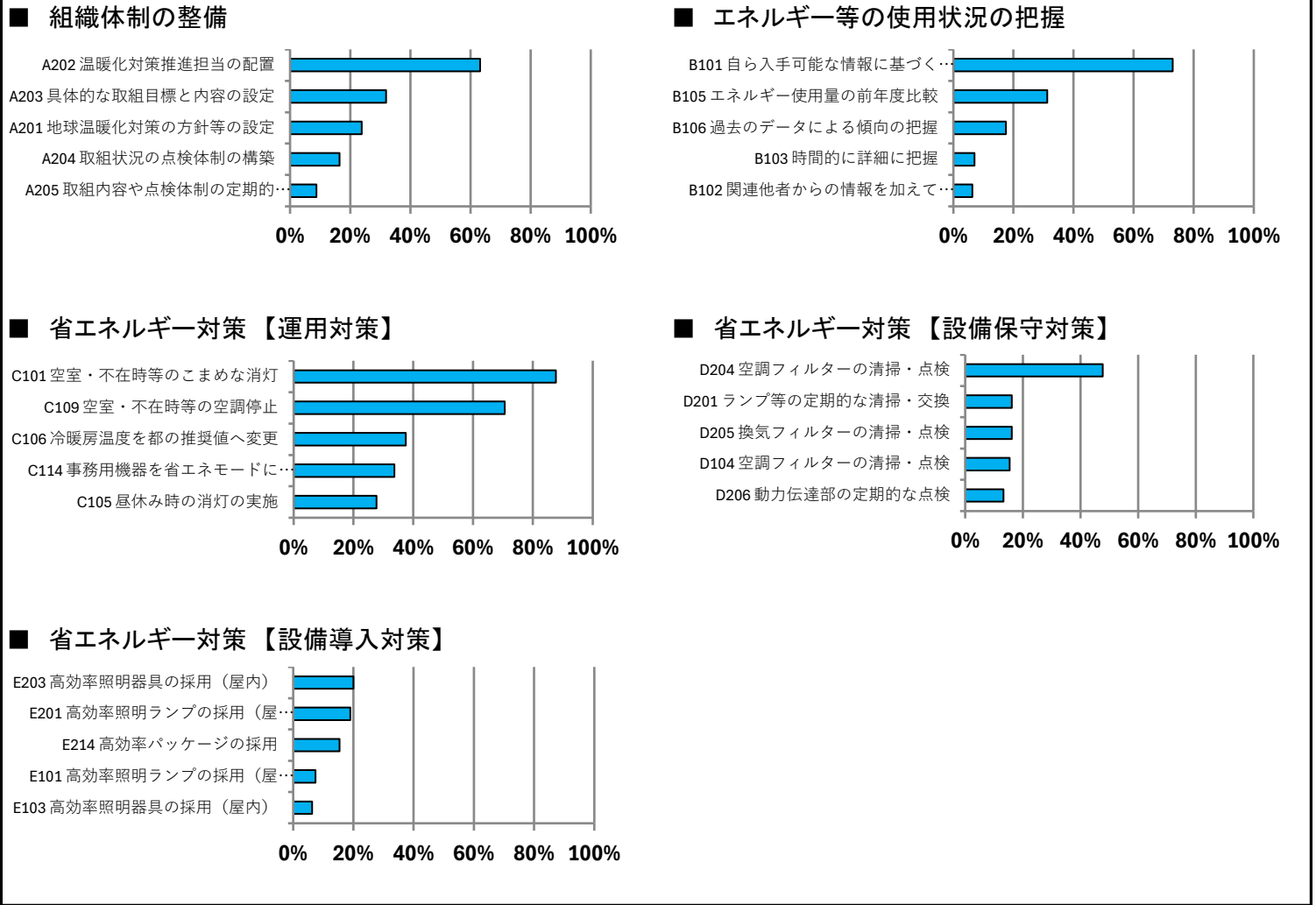
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

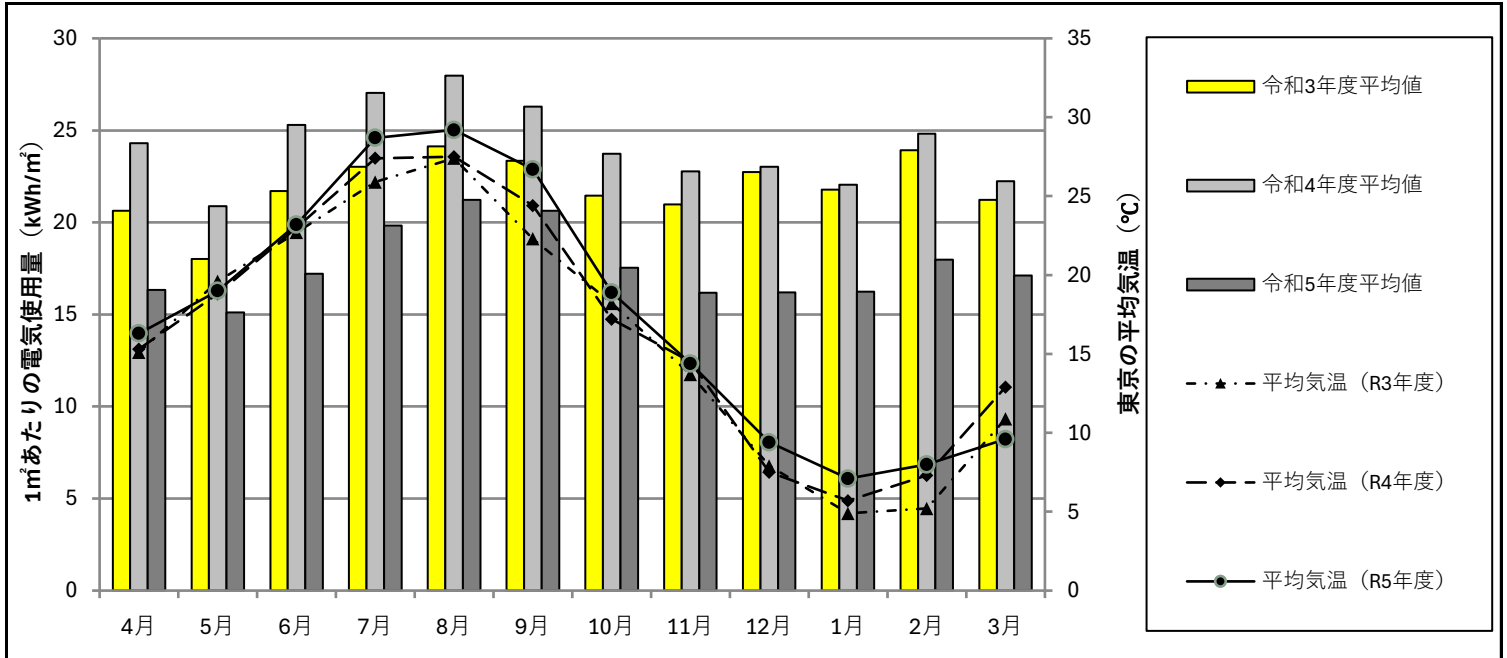


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

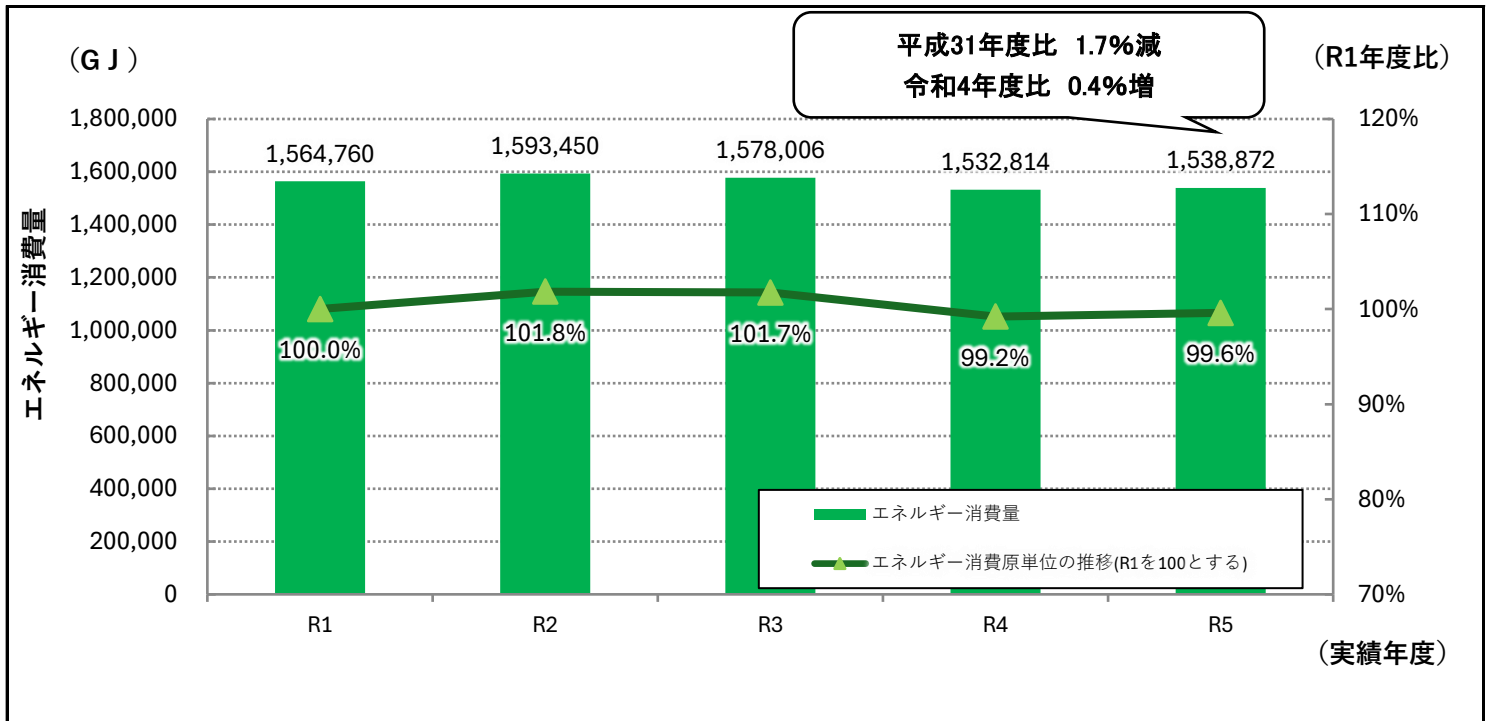
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



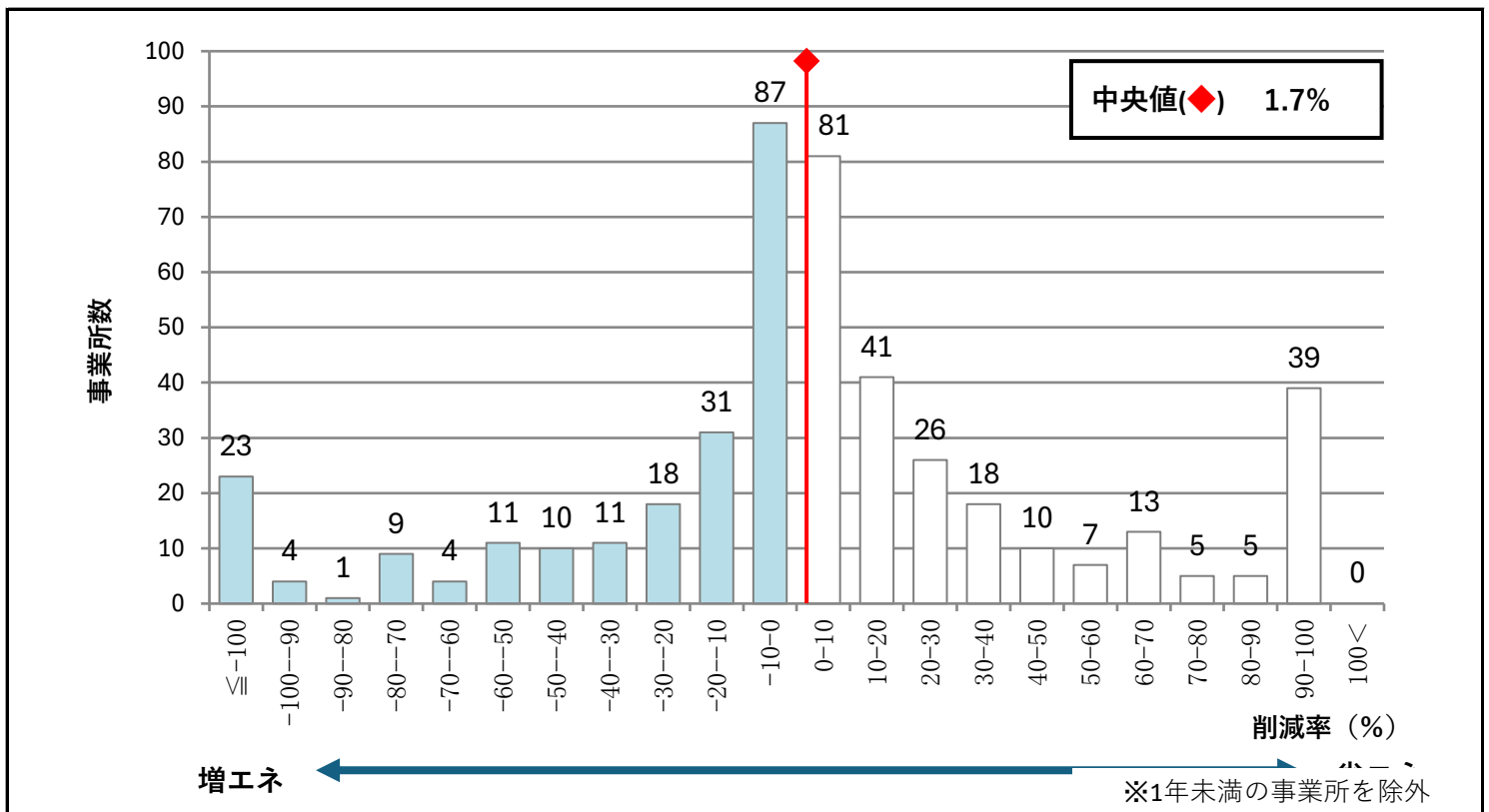
工場における省エネのポイントは業種毎で千差万別ですが、空調、照明以外に、エアコンプレッサーの省エネ、ファン・ポンプへのインバータ制御導入、ボイラの省エネ、炉・乾燥機の断熱強化、平屋屋根への遮熱塗装、太陽光発電の導入、生産のリードタイム短縮等、職種によって多岐にわたります。自社に適した対策を選定してください。使用エネルギーの原単位は増加傾向にありますので、設備更新も積極的にご計画ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類（36水道業） 「360* 管理,補助的経済活動を行う事業所」 「3611 上水道業」「3621 工業用水道業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
上水道施設	498	484	

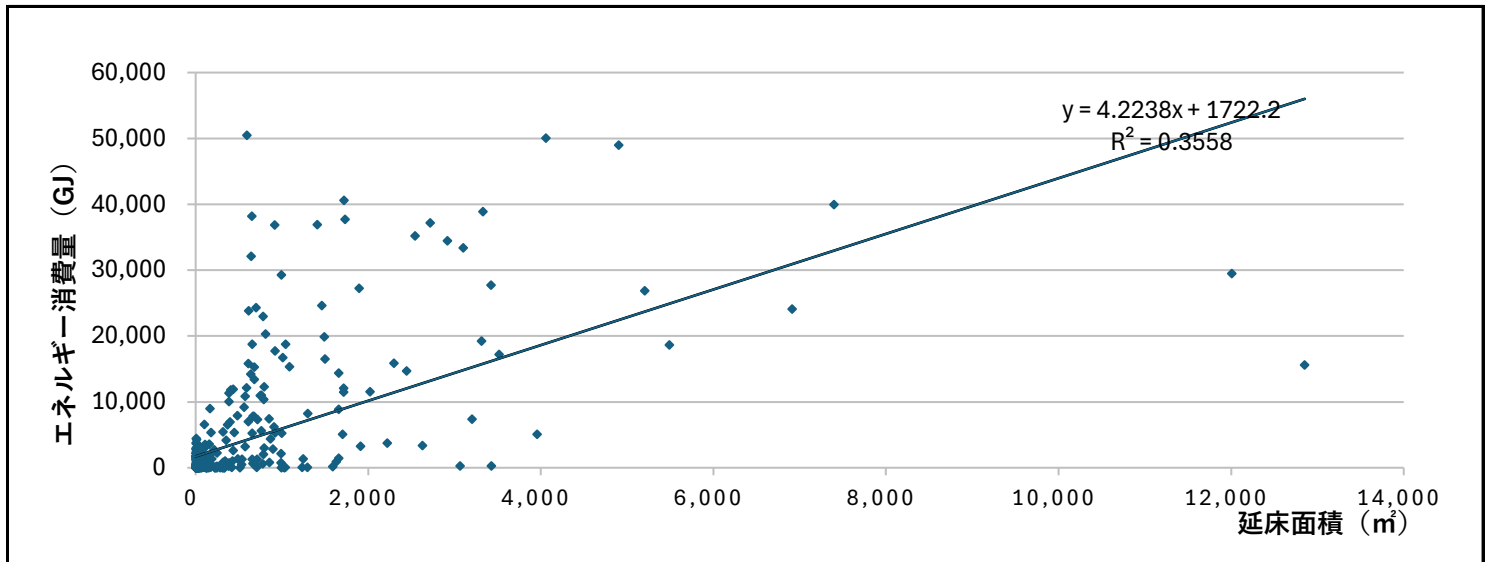
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:454)



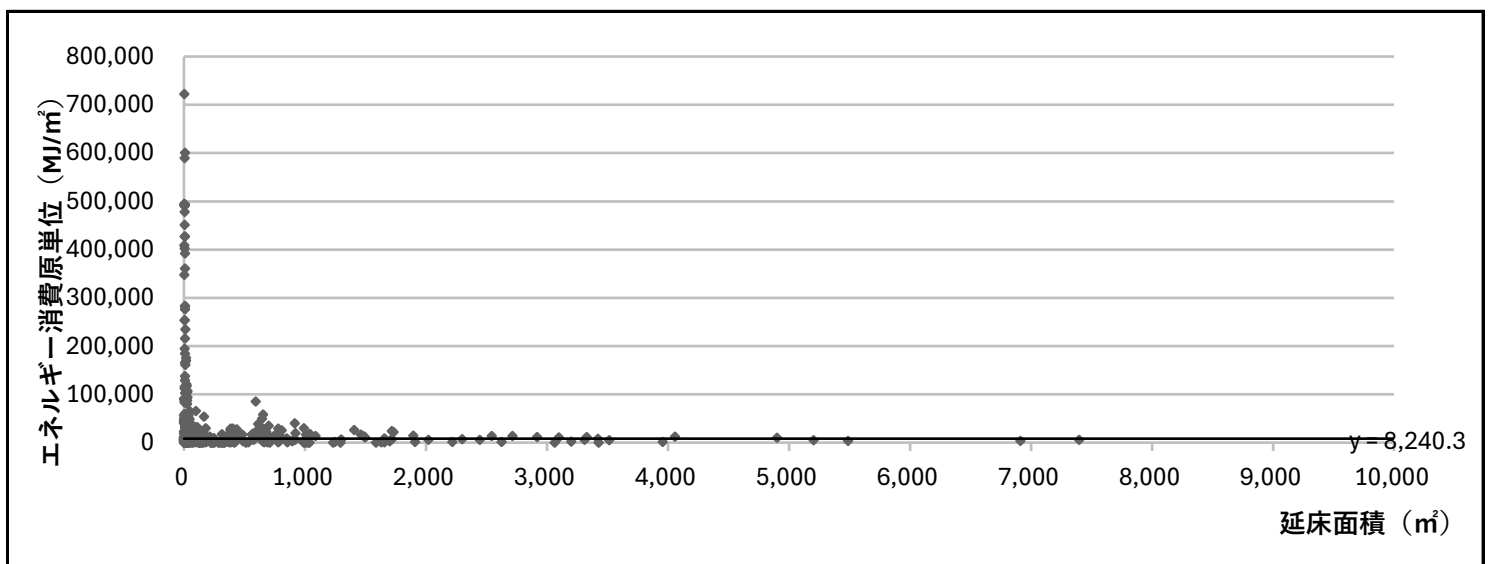
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:454)



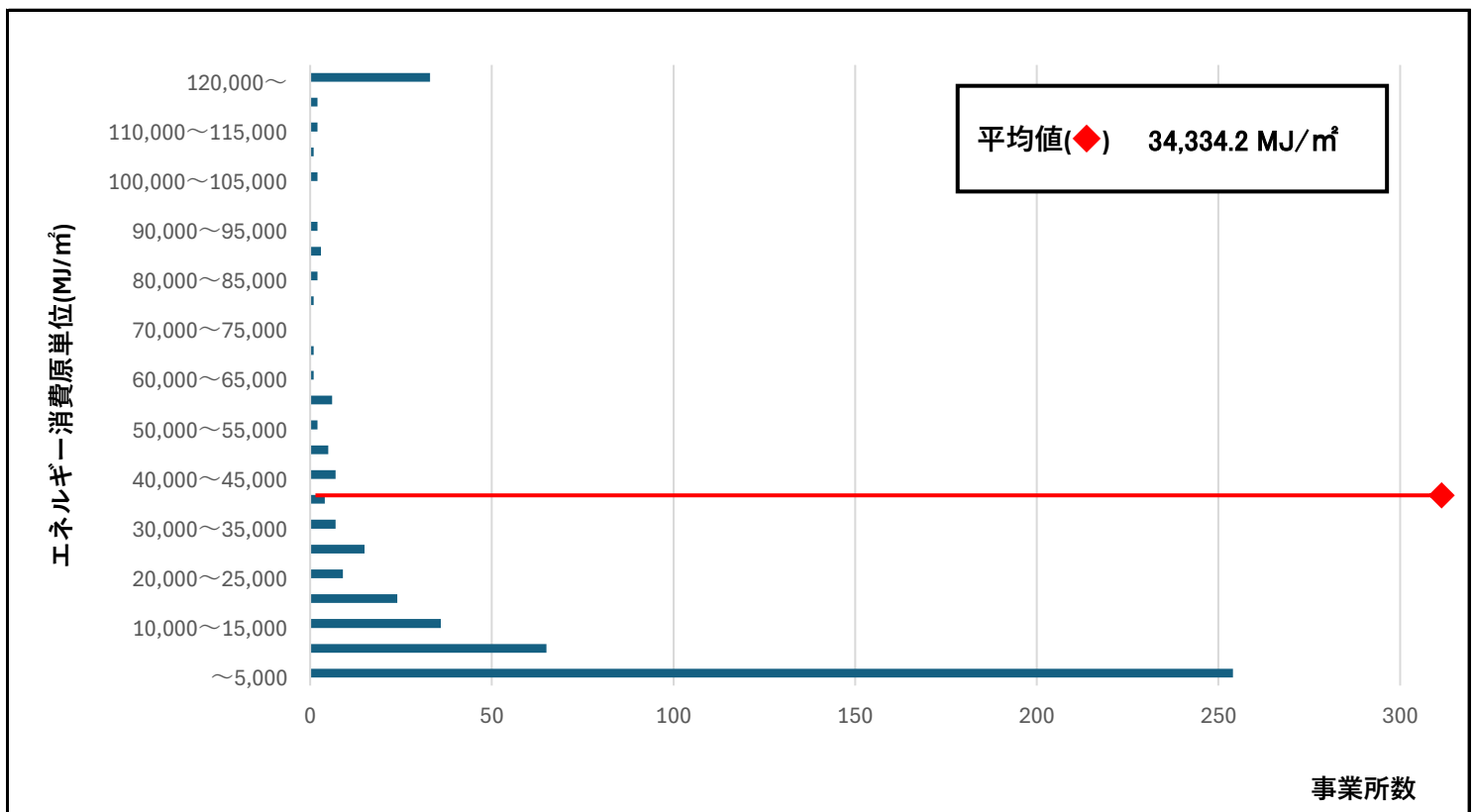
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



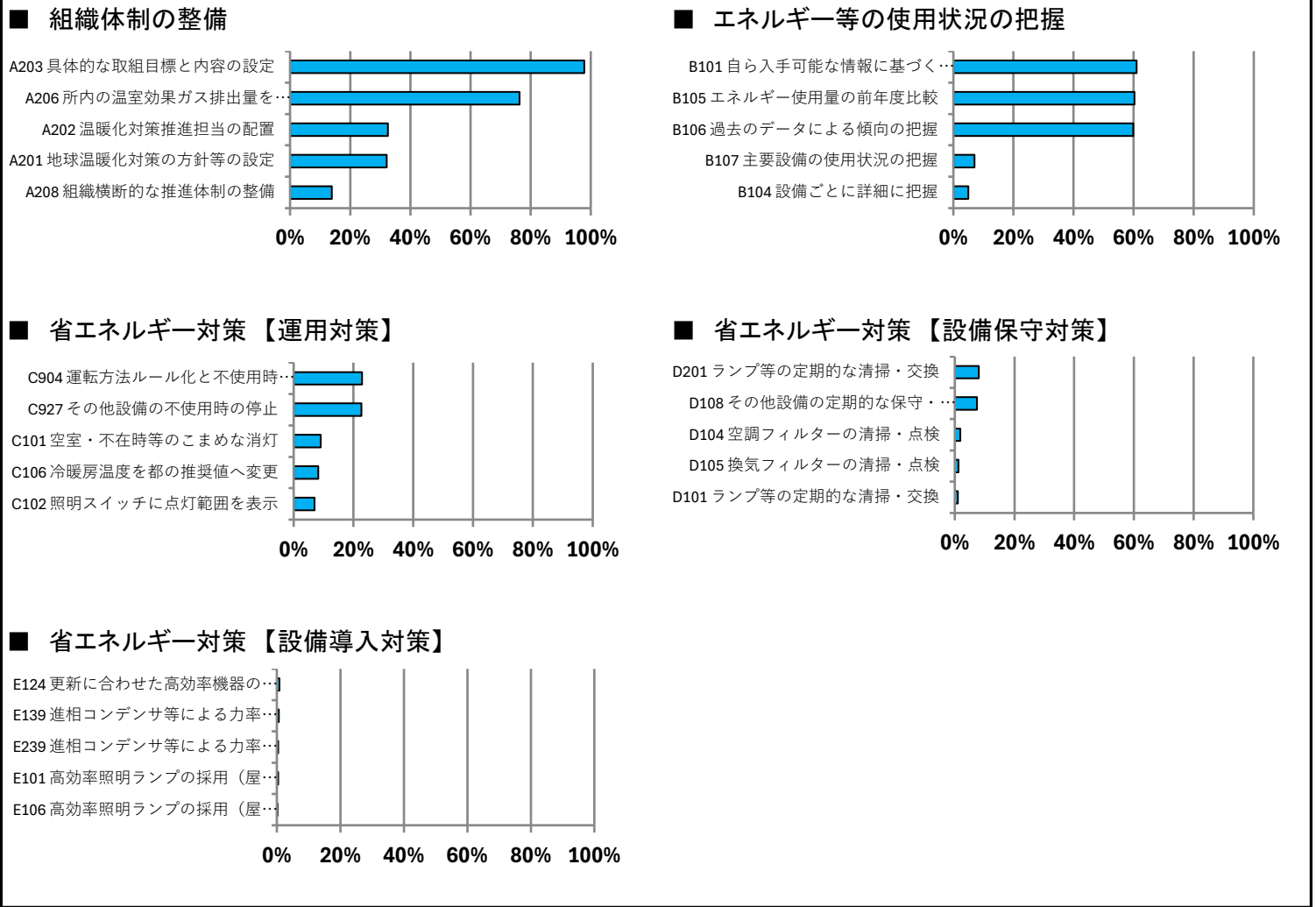
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

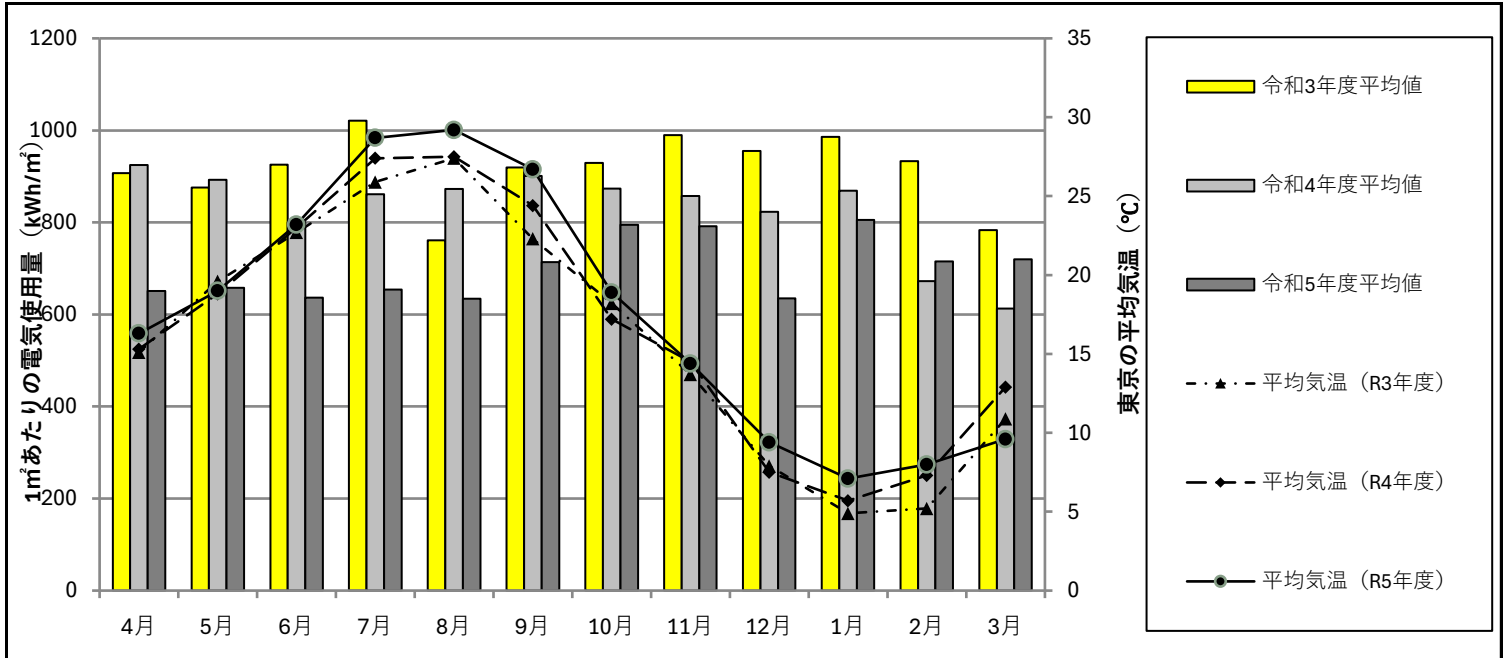


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

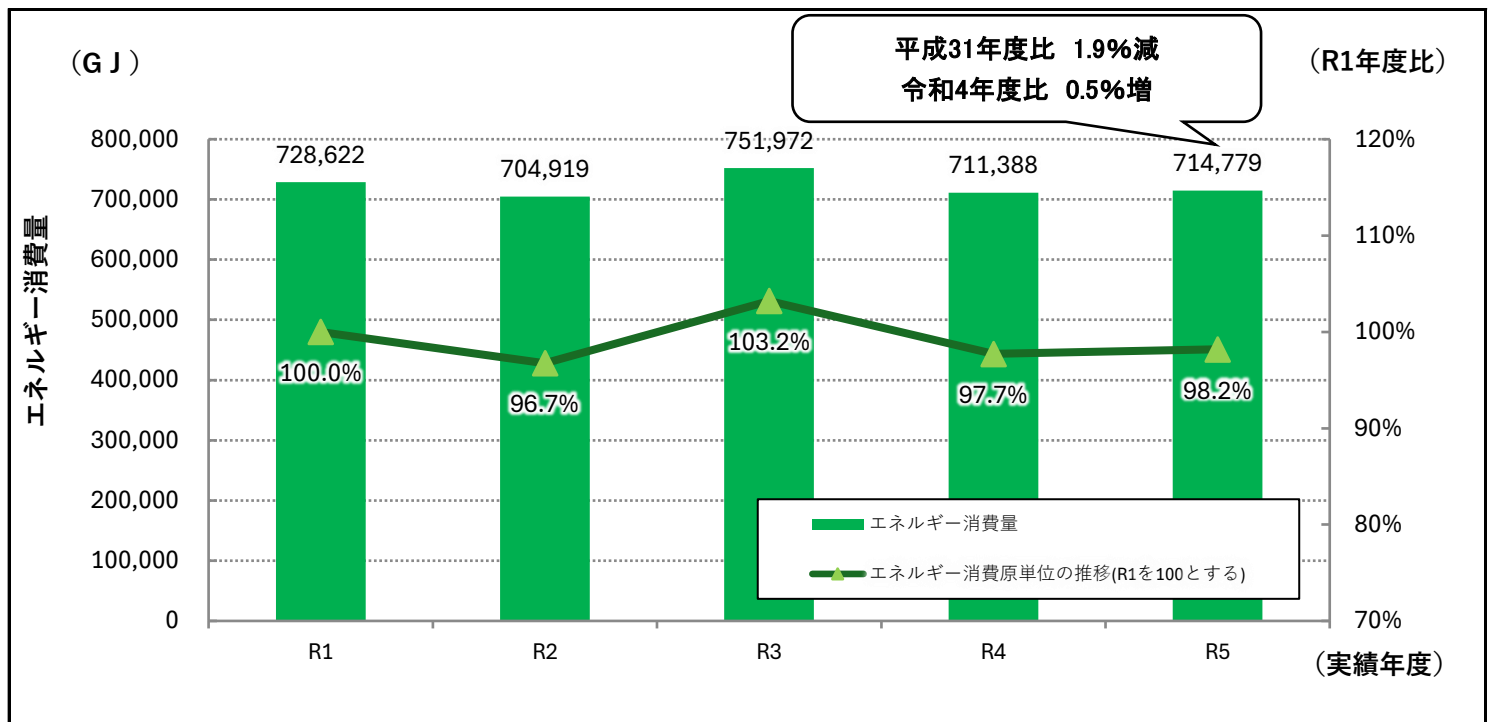
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



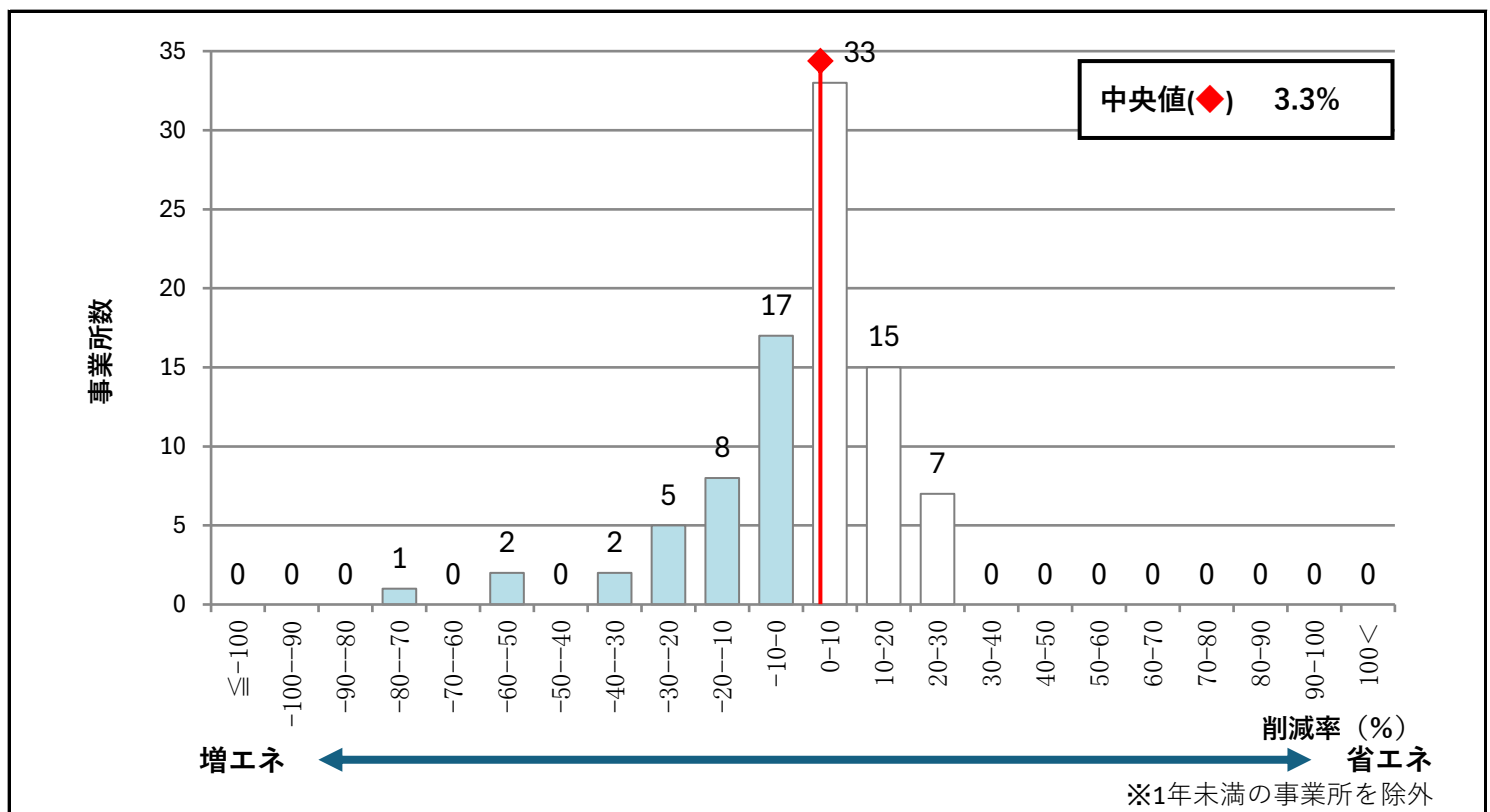
空調、照明の省エネ対策がベースになりますが、ポンプが多いので、ポンプ効率の向上やインバータ制御の導入で必要な流量に応じた省エネ運転が可能となるシステムの導入が求められます。また施設のエネルギー消費をモニタリングして分析するエネルギー管理システム(EMS)の導入も検討してください。併せて施設の稼働時間が長いので太陽光発電などの創エネルギー設備の導入をご計画ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類 「3631 下水道処理施設維持管理業」 「3632 下水道管路施設維持管理業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
下水道施設	100	95	

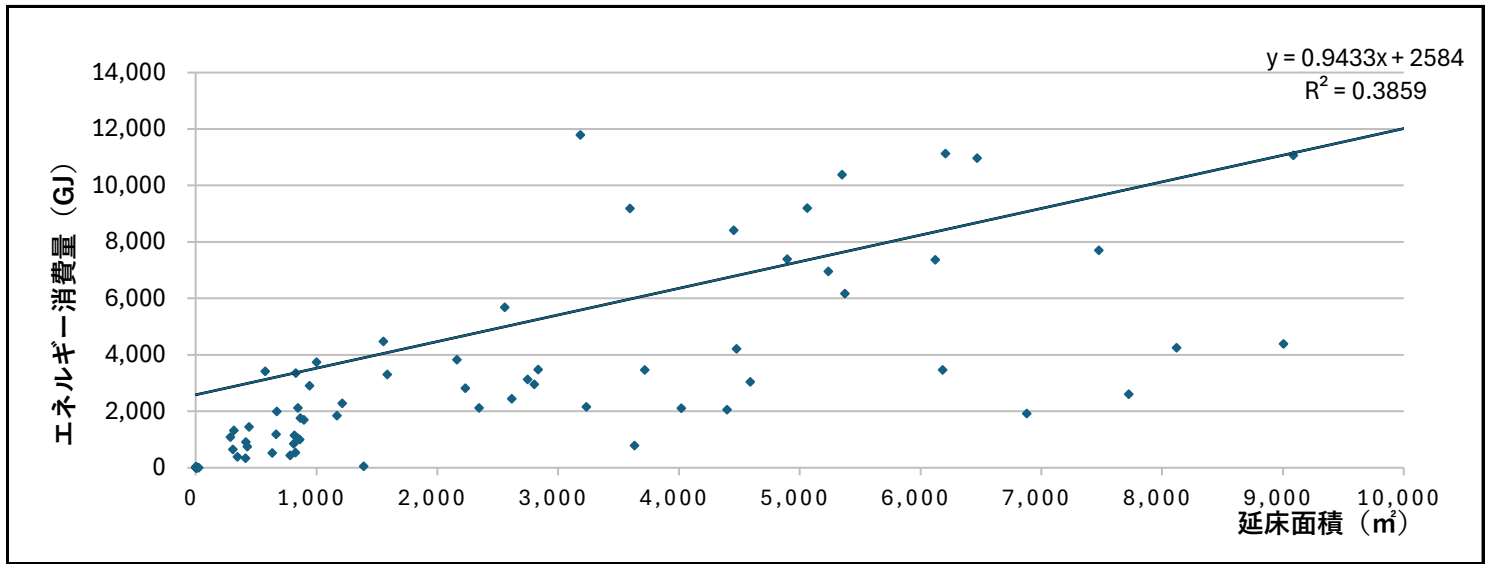
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:90)



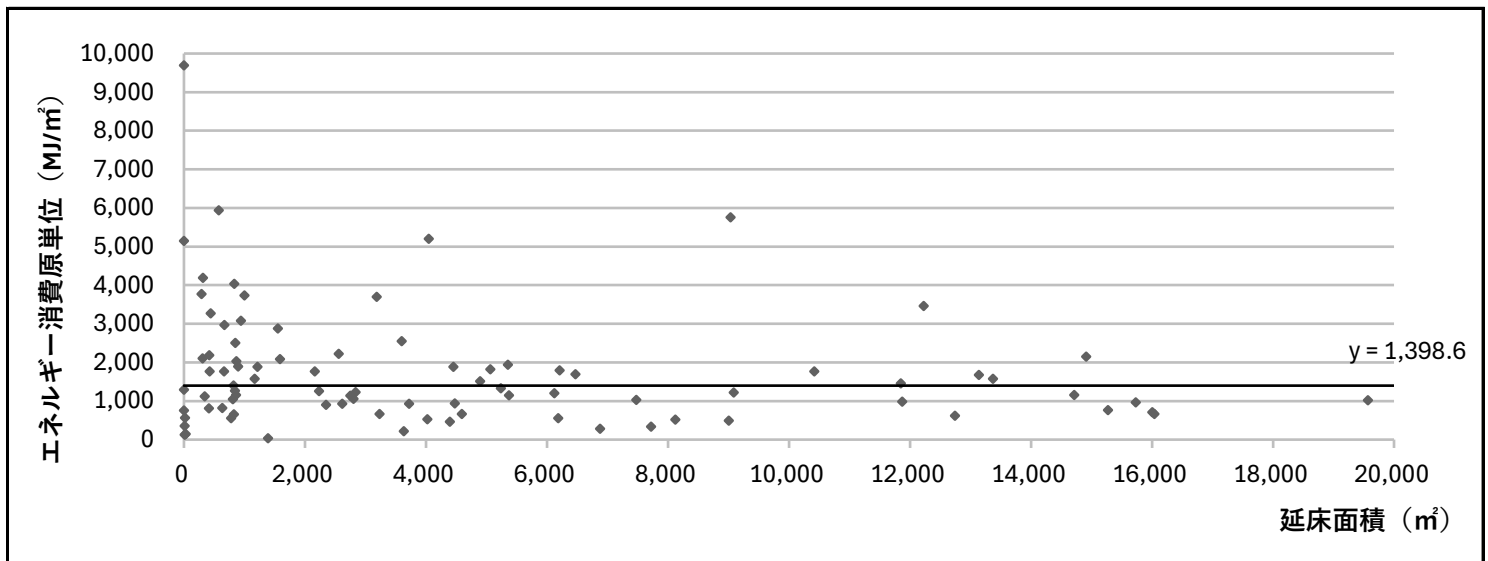
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:90)



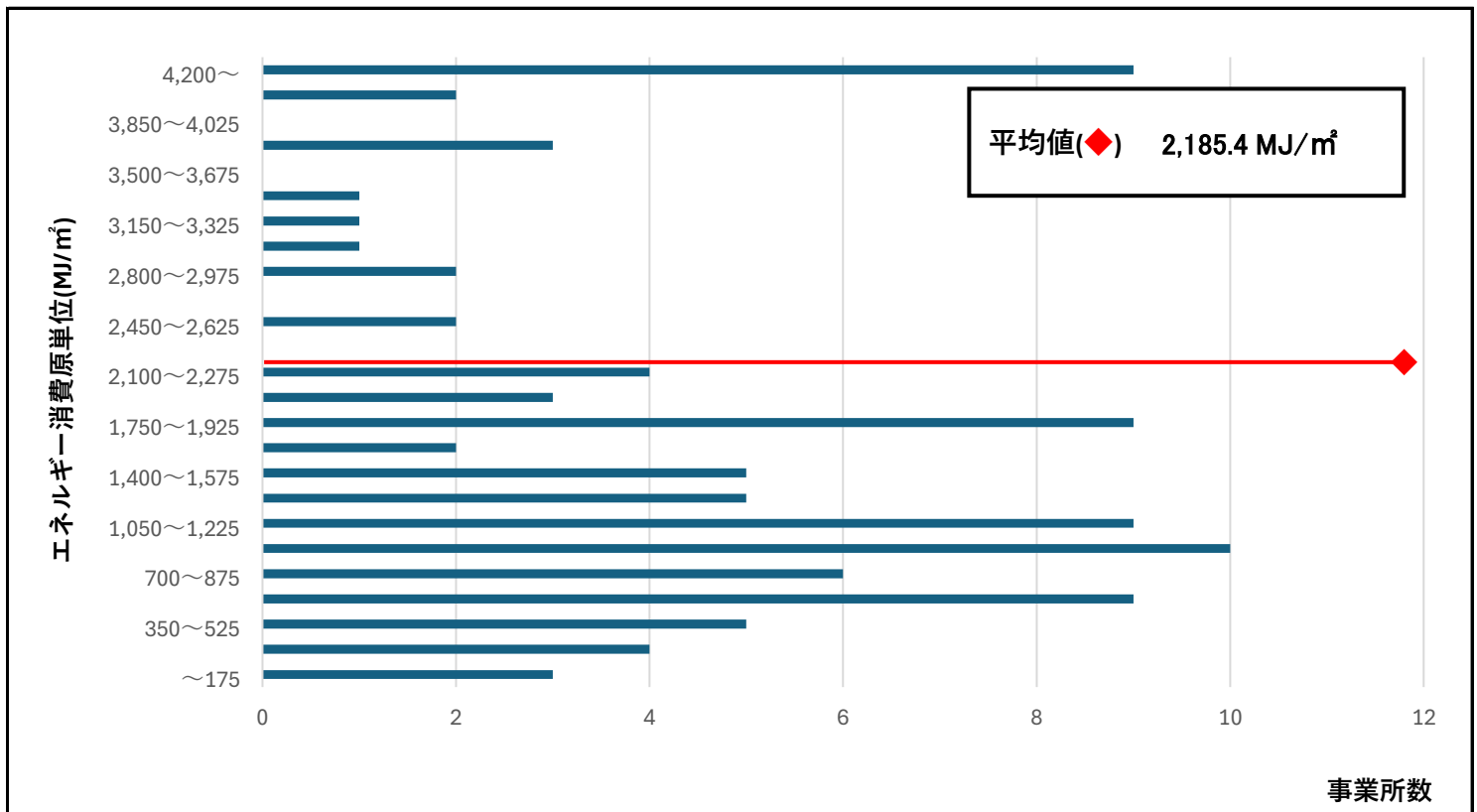
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



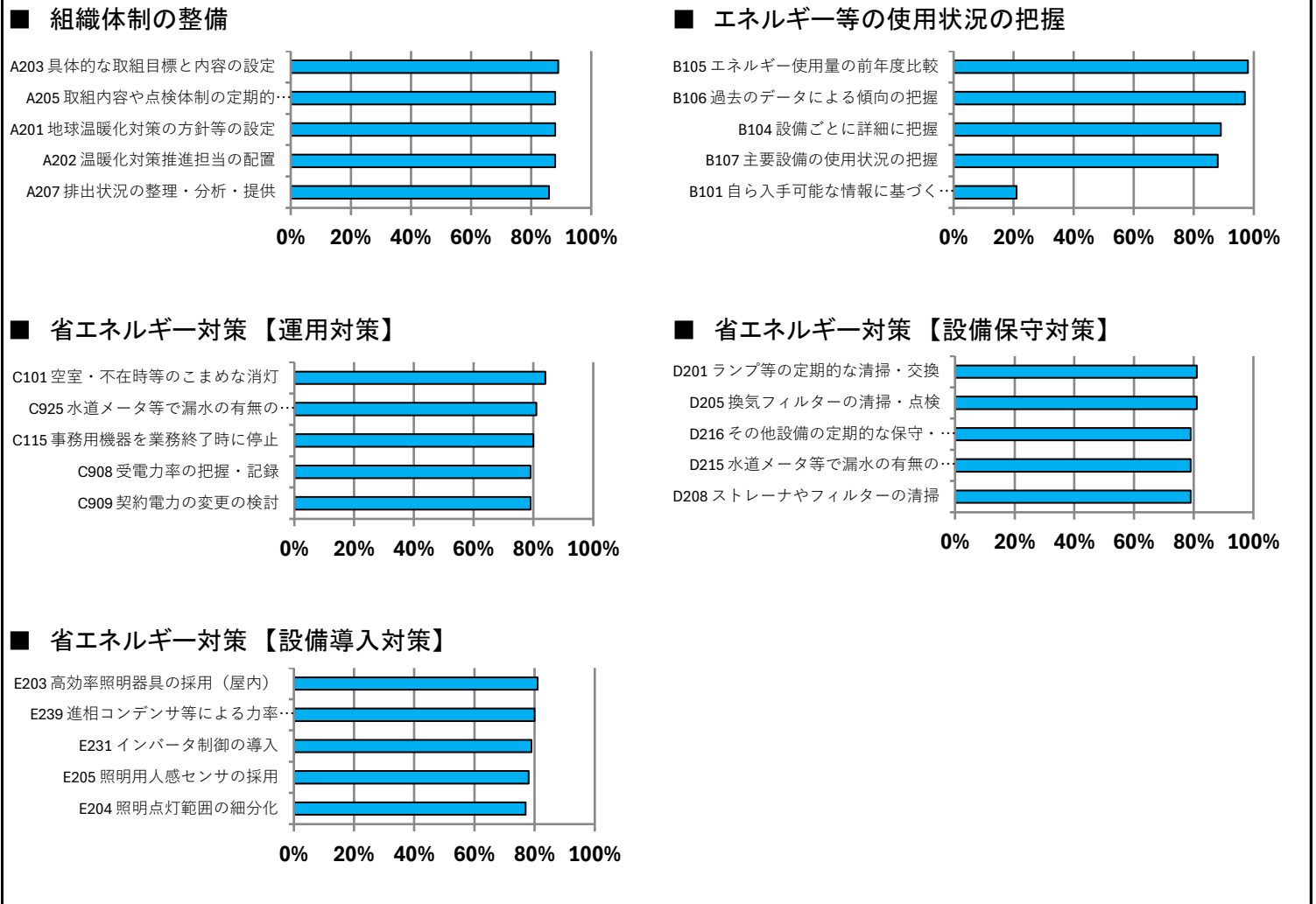
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

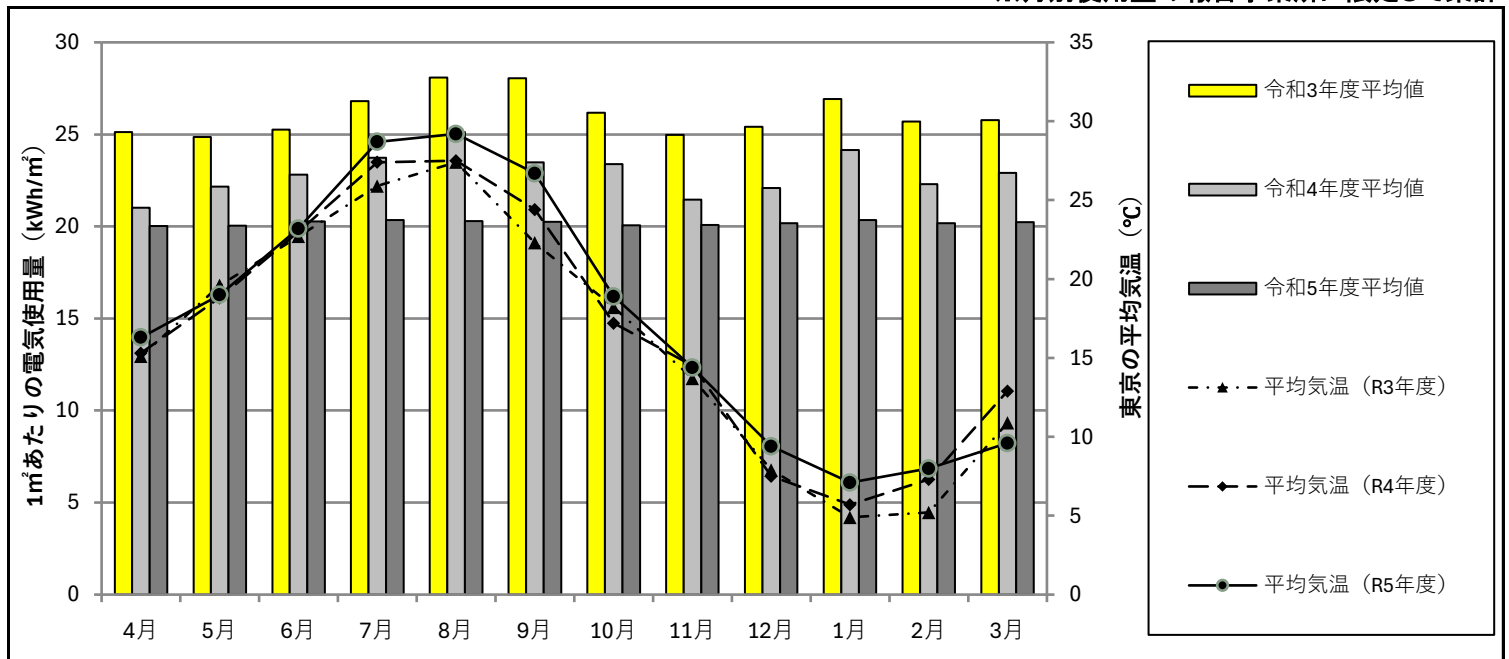


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

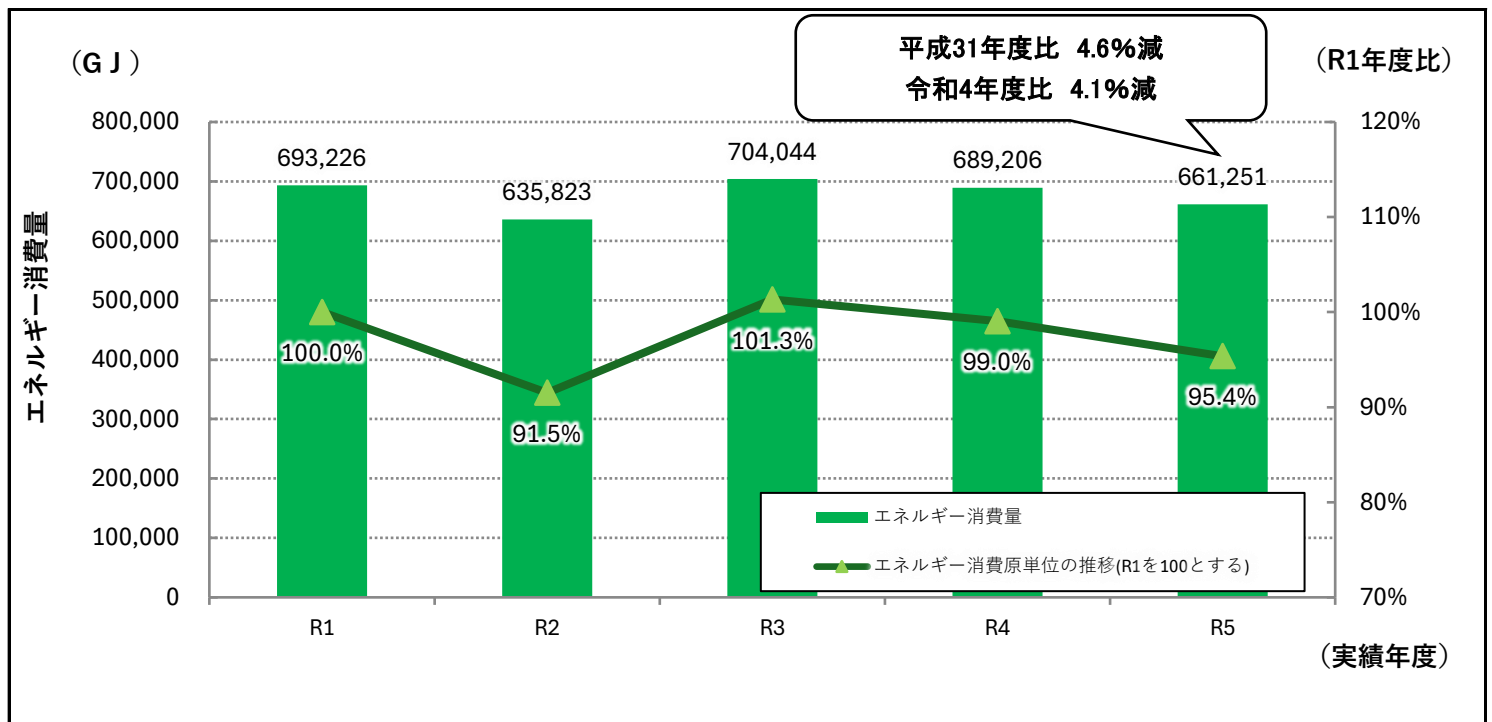
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



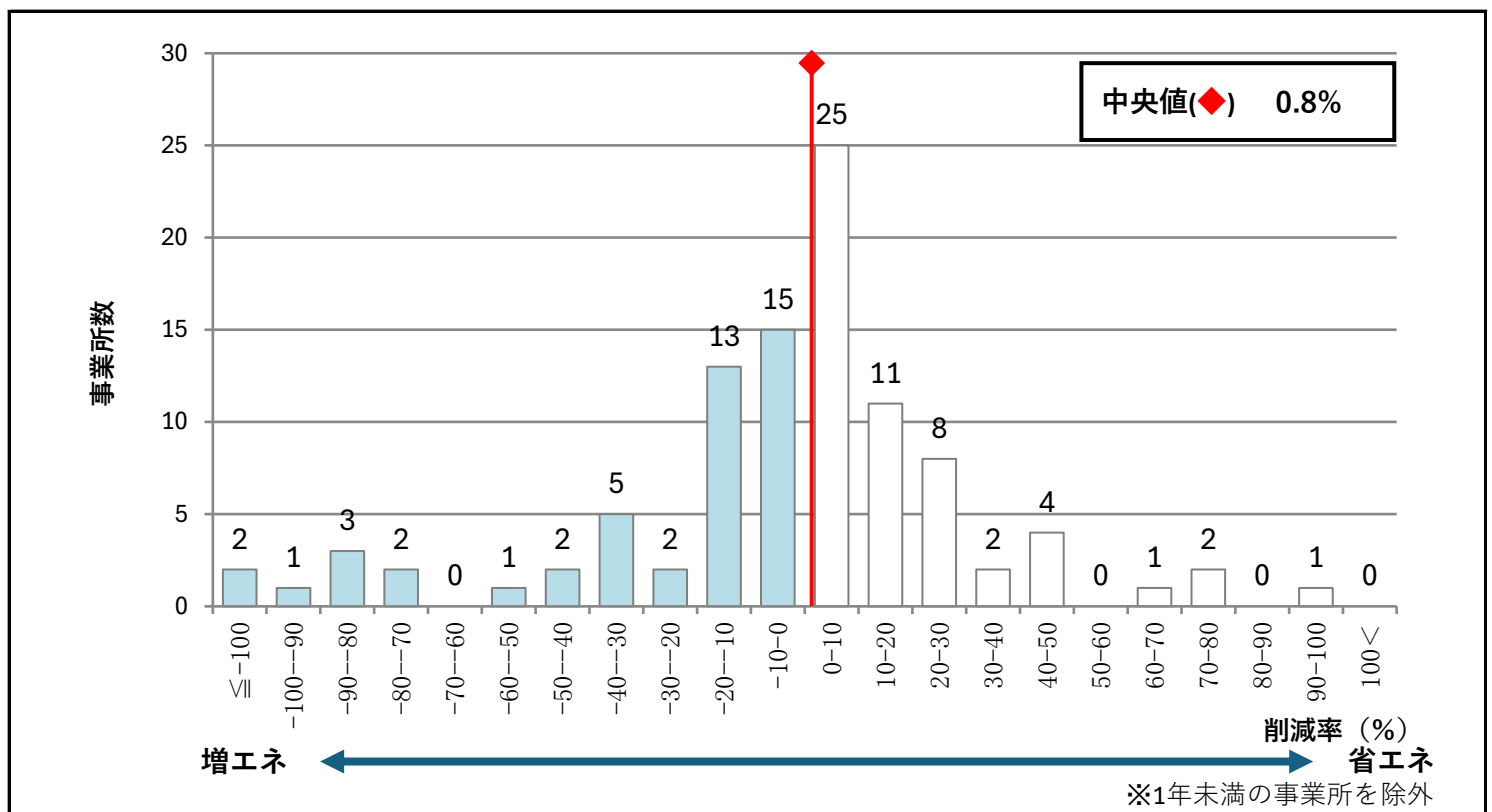
空調、照明の省エネ対策がベースになりますが、ポンプが多いので、ポンプ効率の向上やインバータ制御の導入で必要な処理負荷に応じた省エネ運転が可能となるシステムの導入が求められます。また施設のエネルギー消費をモニタリングして分析するエネルギー管理システム(EMS)の導入も検討してください。併せて施設の稼働時間が長いので太陽光発電などの創エネルギー設備の導入や下水排熱の再利用もご検討ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「88** 廃棄物処理業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
廃棄物処理施設	144	139	

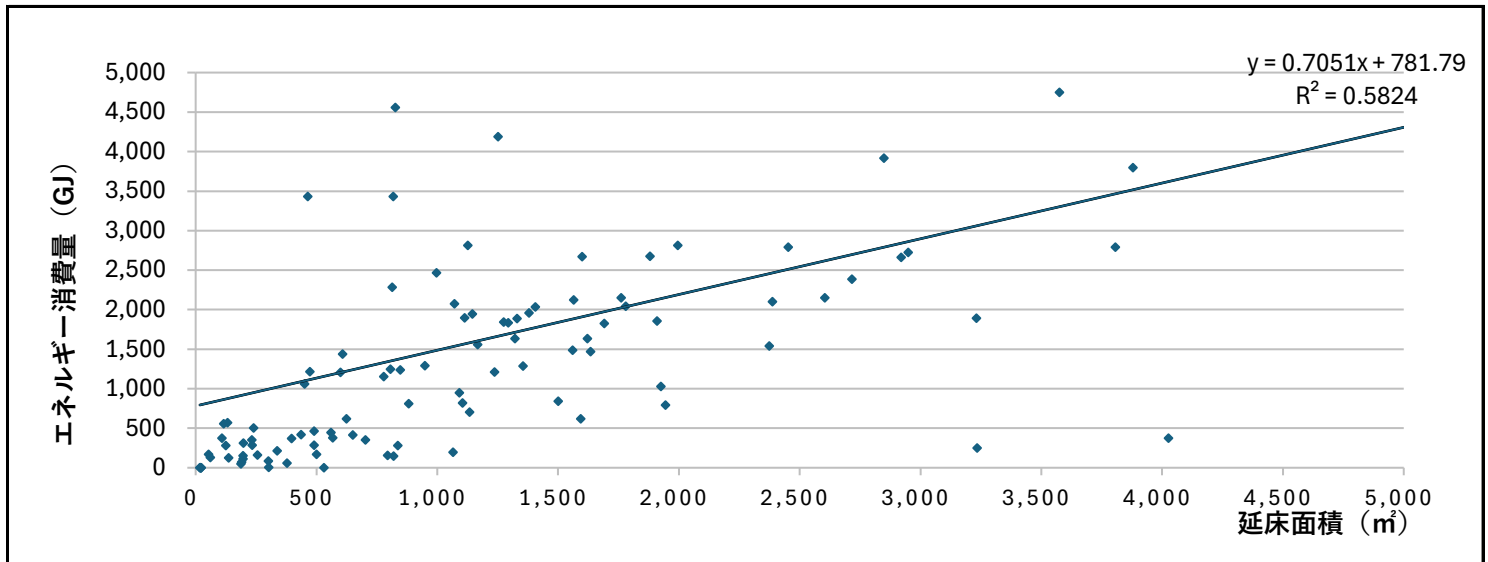
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:101)



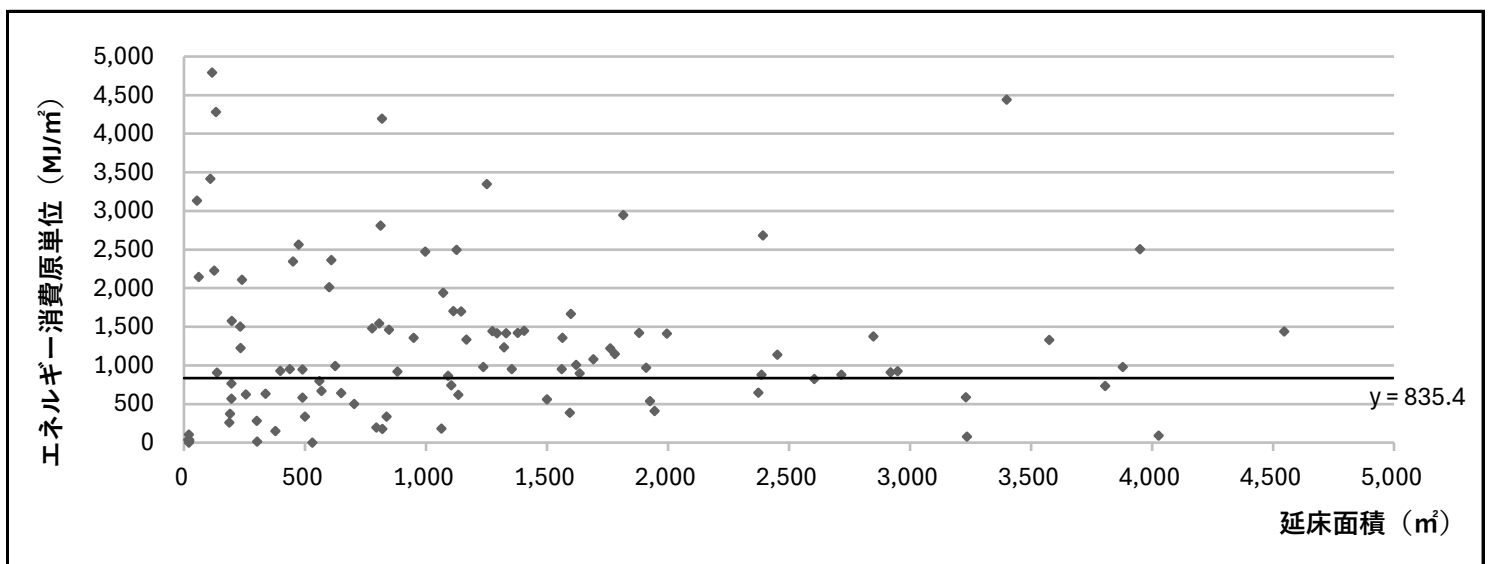
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:100)



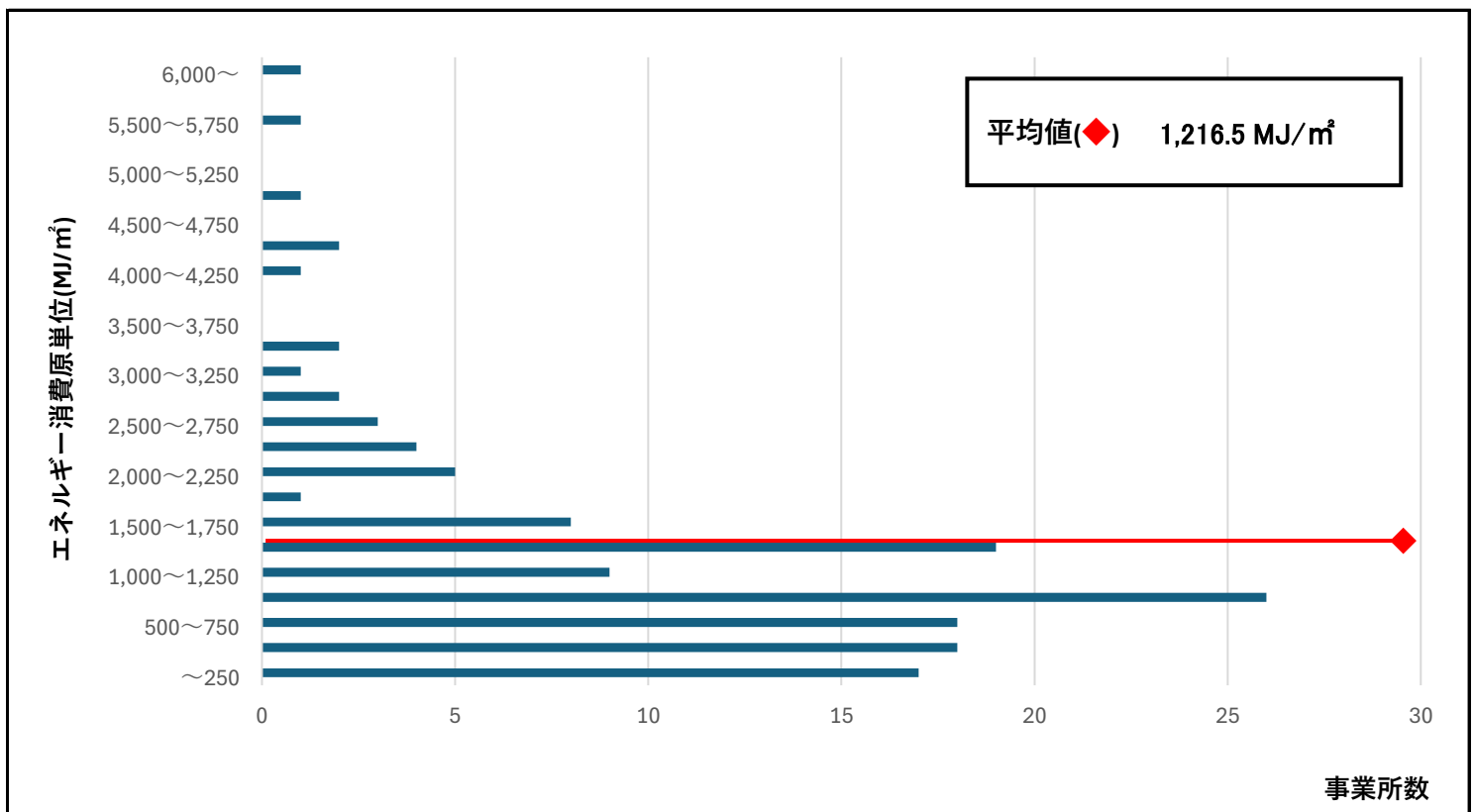
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



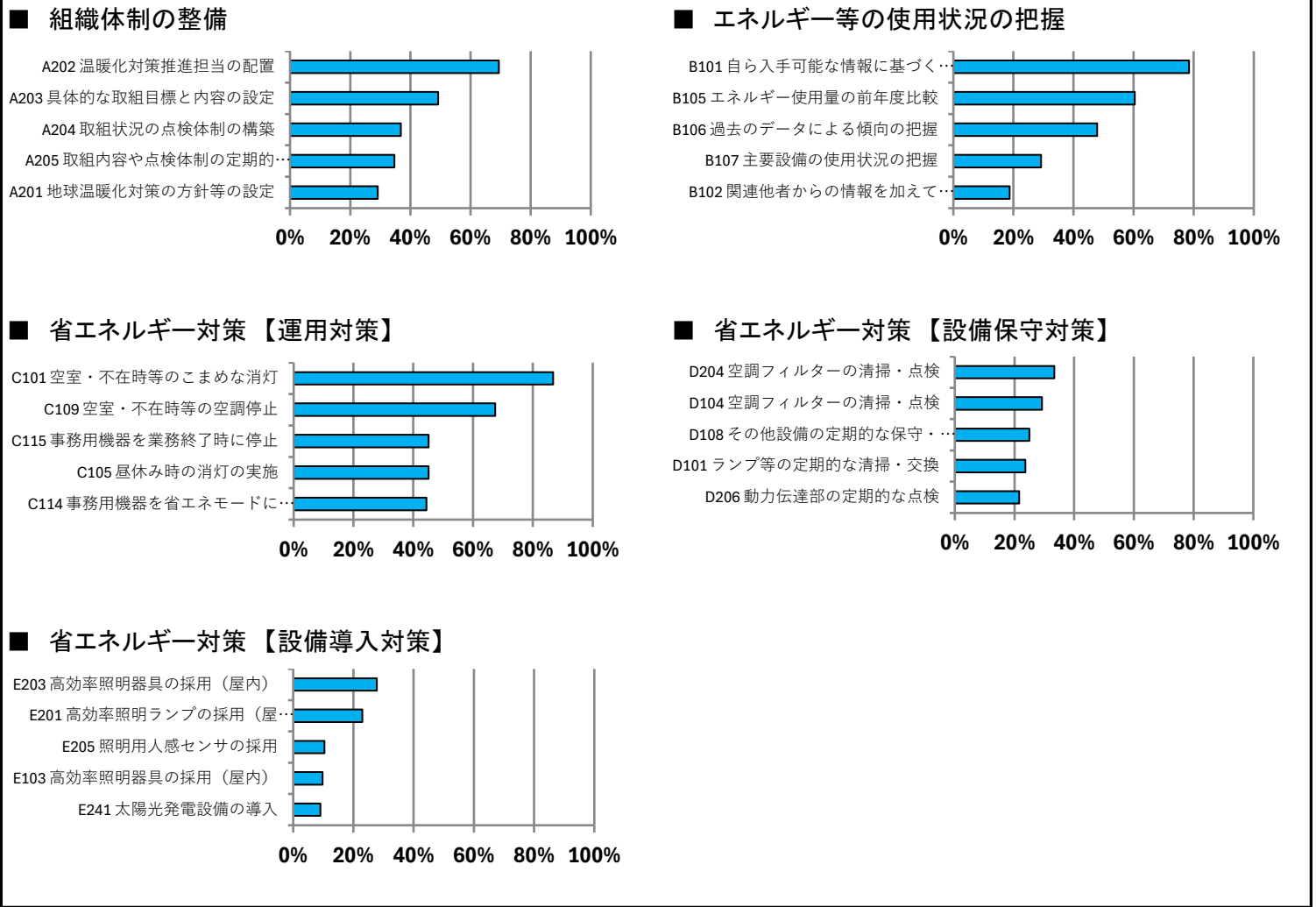
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

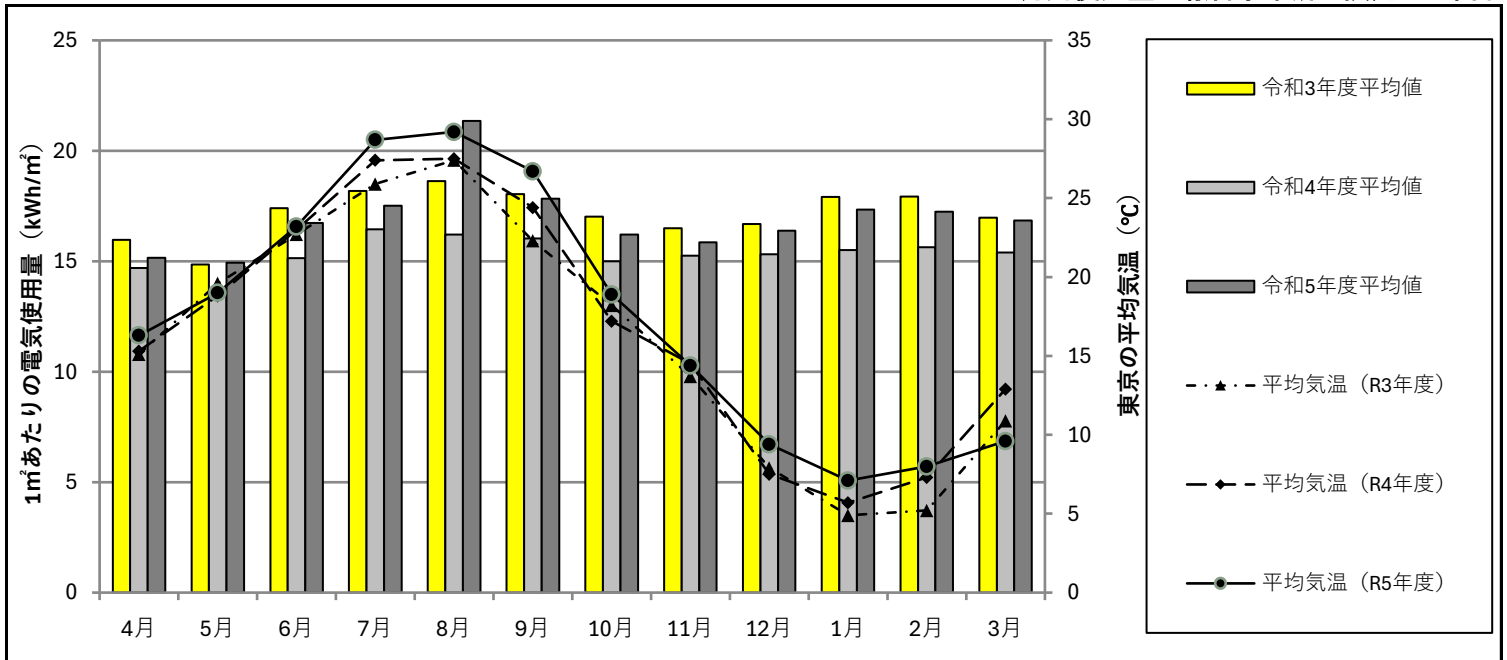


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

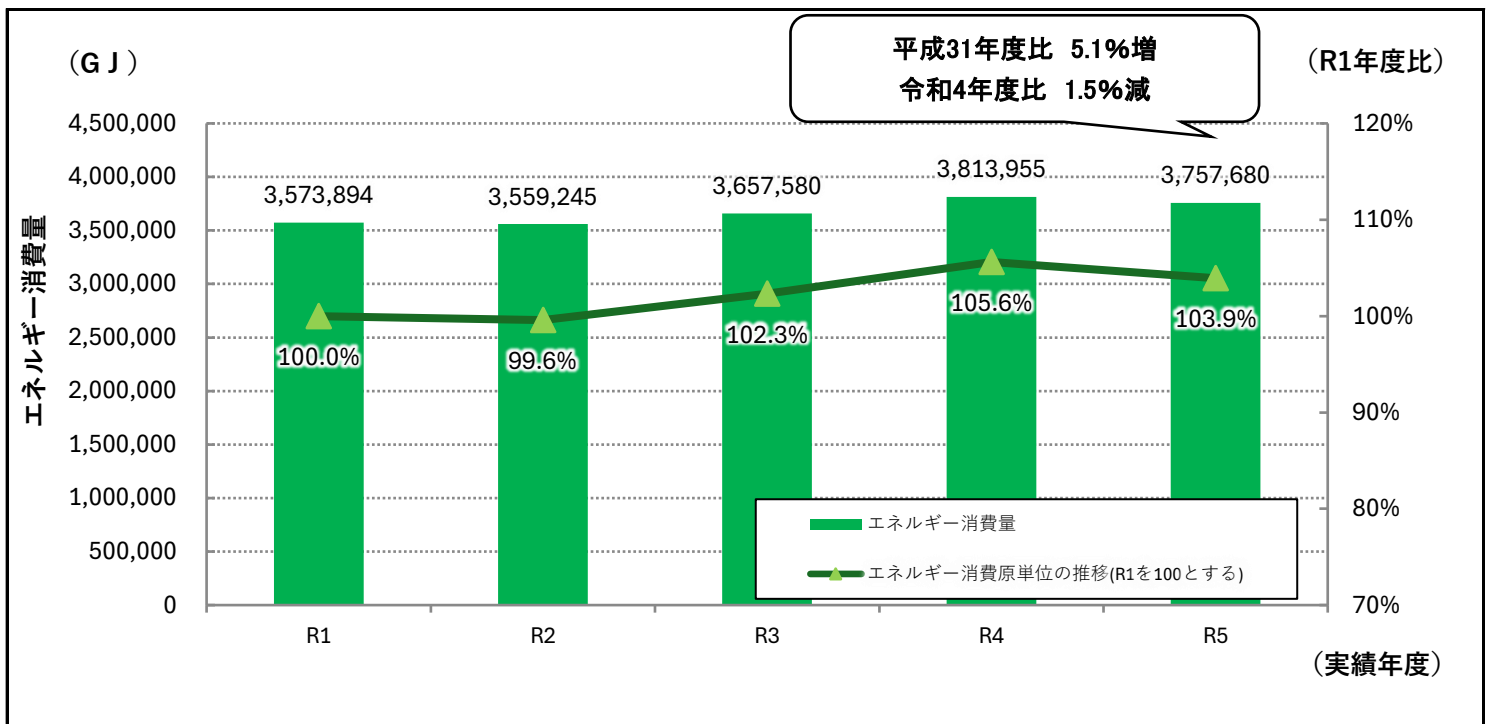
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



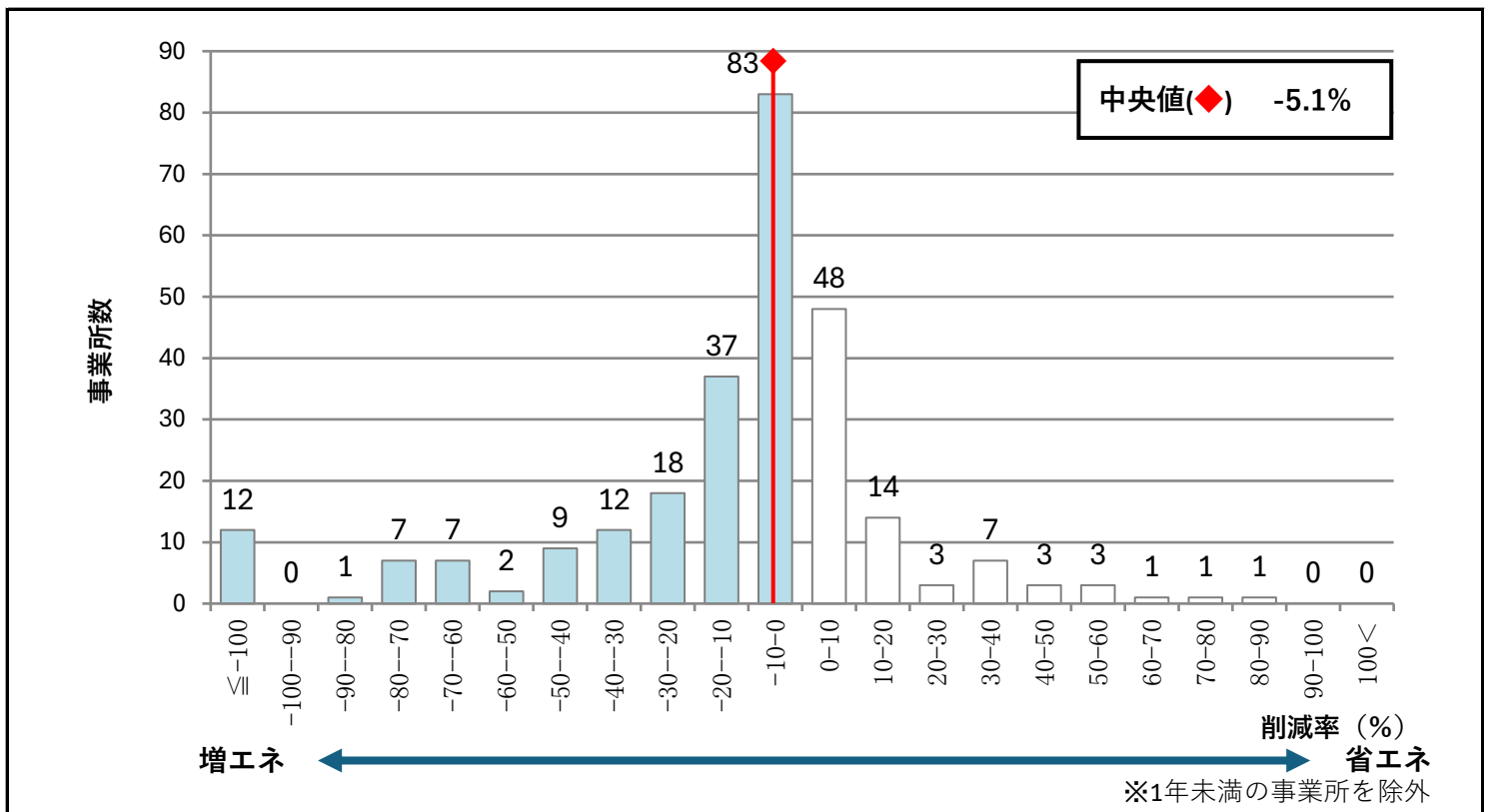
廃棄物処理過程で発生する熱エネルギーを施設内で暖房や蒸気供給、発電などに利用することで大きな省エネが図れます。高天井照明(水銀灯など)についてはLED化を進めましょう。また集塵装置や搬送コンベア等のインバータ制御が有効な場合も多いと思われます。稼働時間の長い設備から優先的に省エネ対策をご検討ください。年間を通じて連続稼働なので太陽光自家発電などの創エネが効果的です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「37** 通信業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
地域通信事業	402	394	

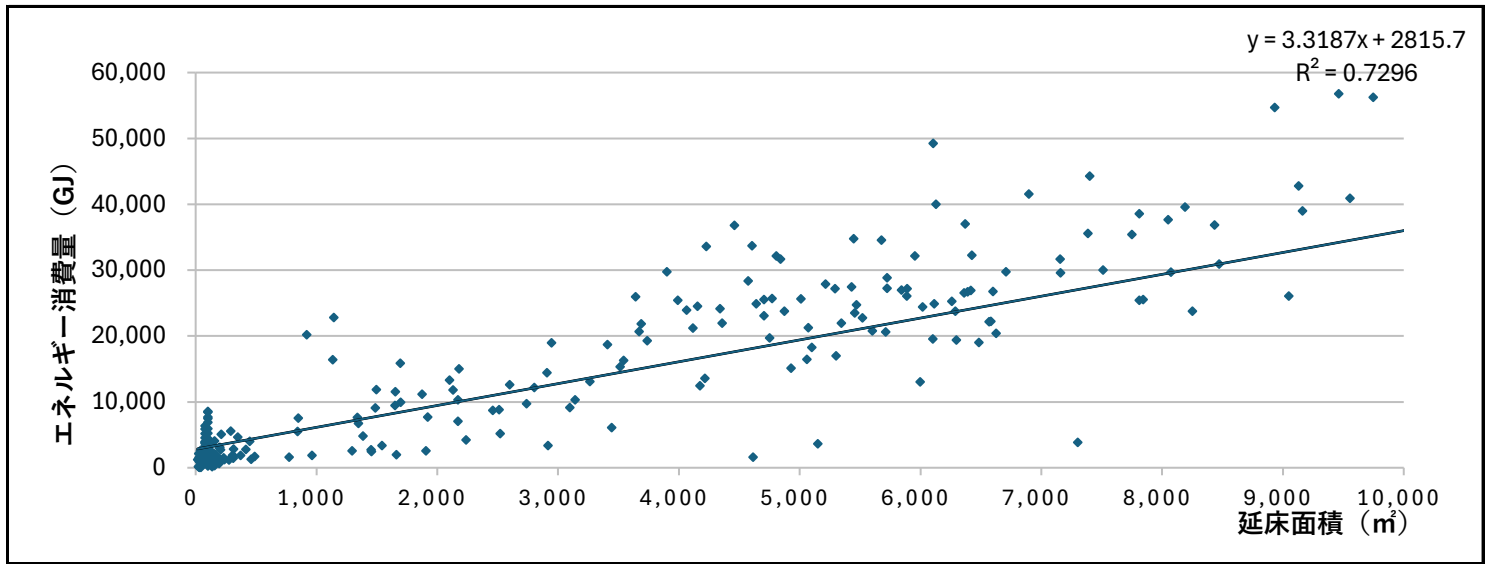
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:269)



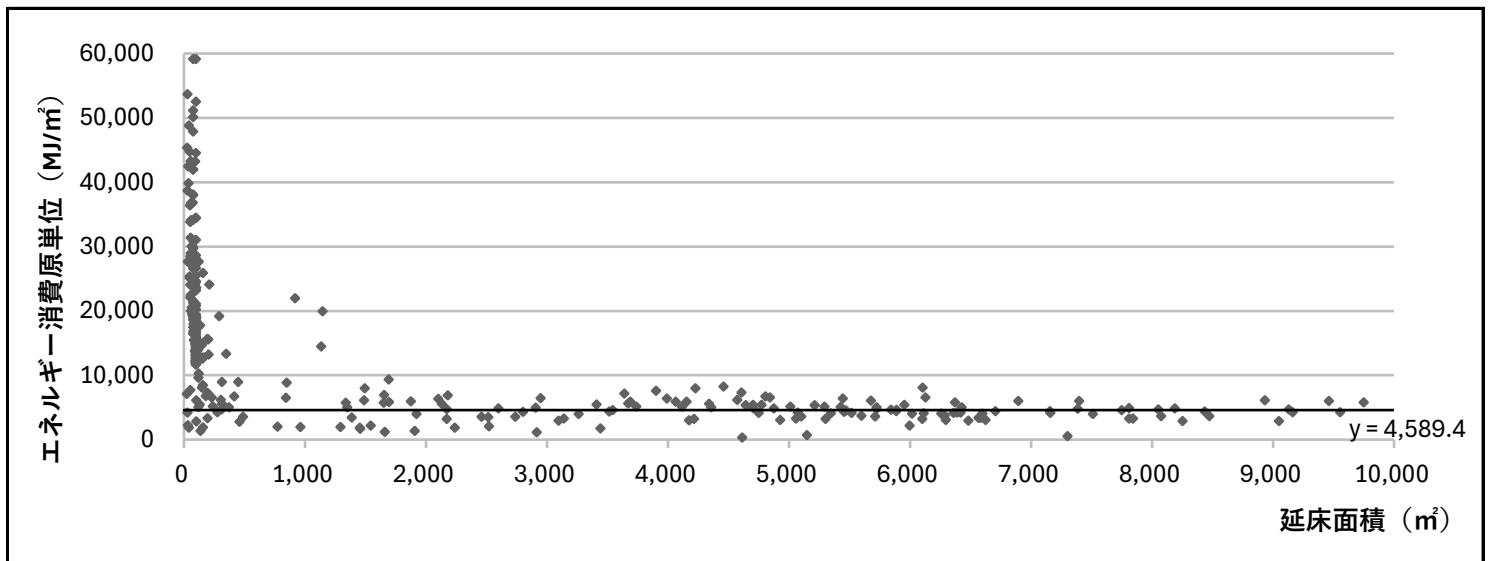
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:269)



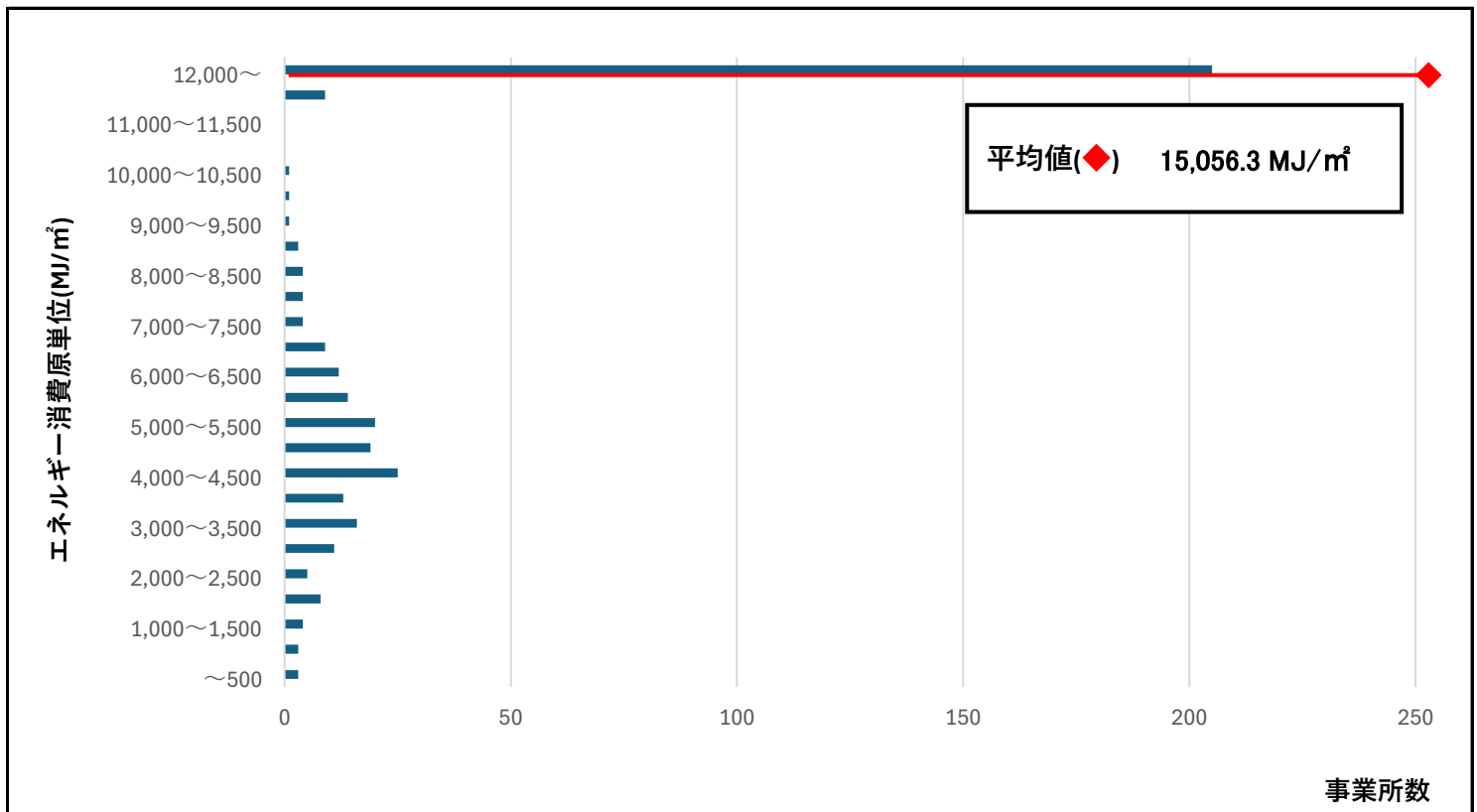
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



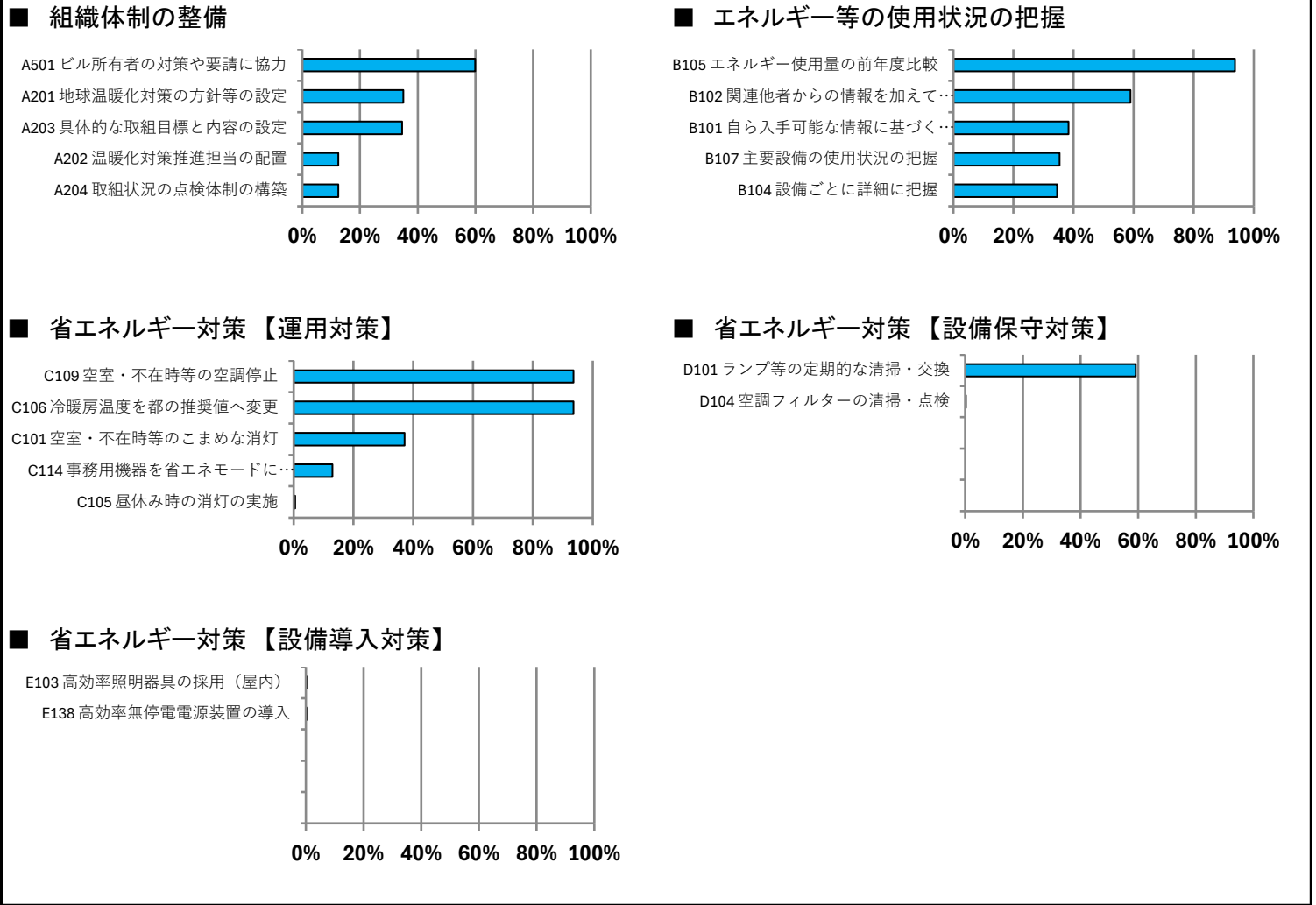
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

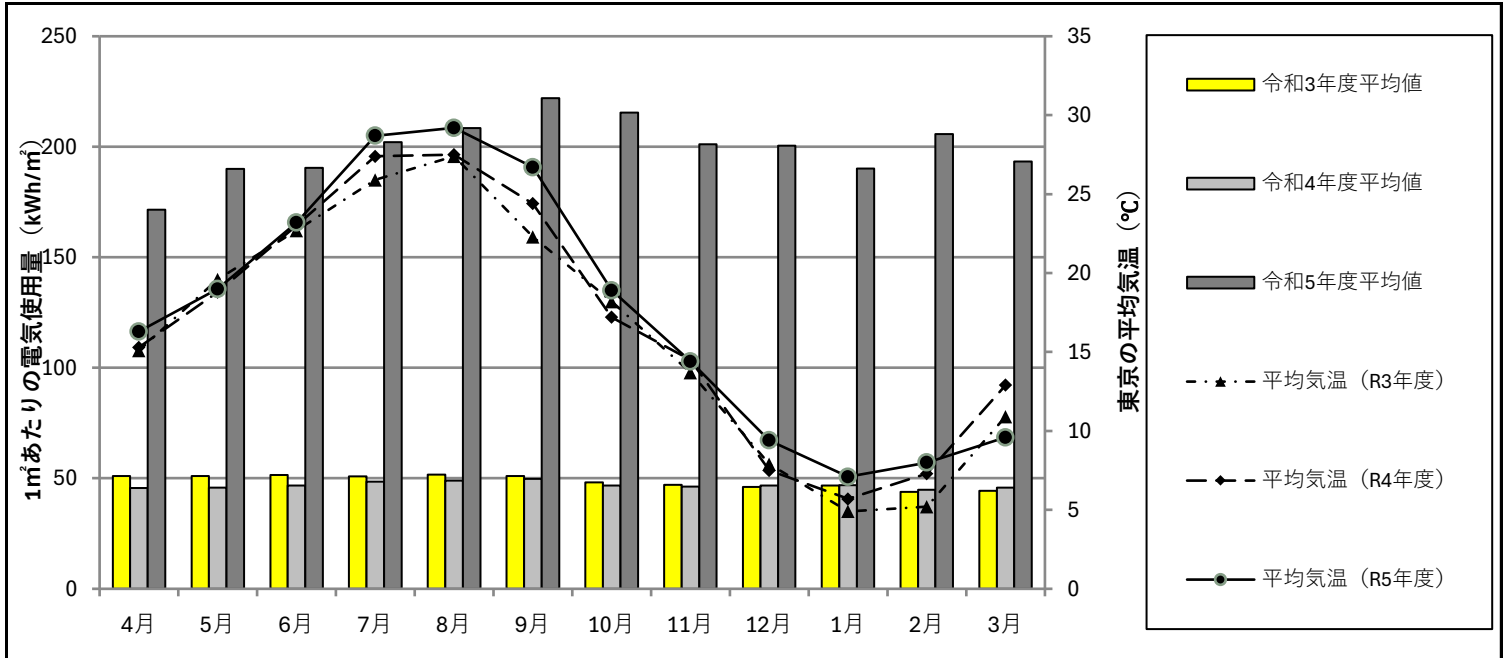


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

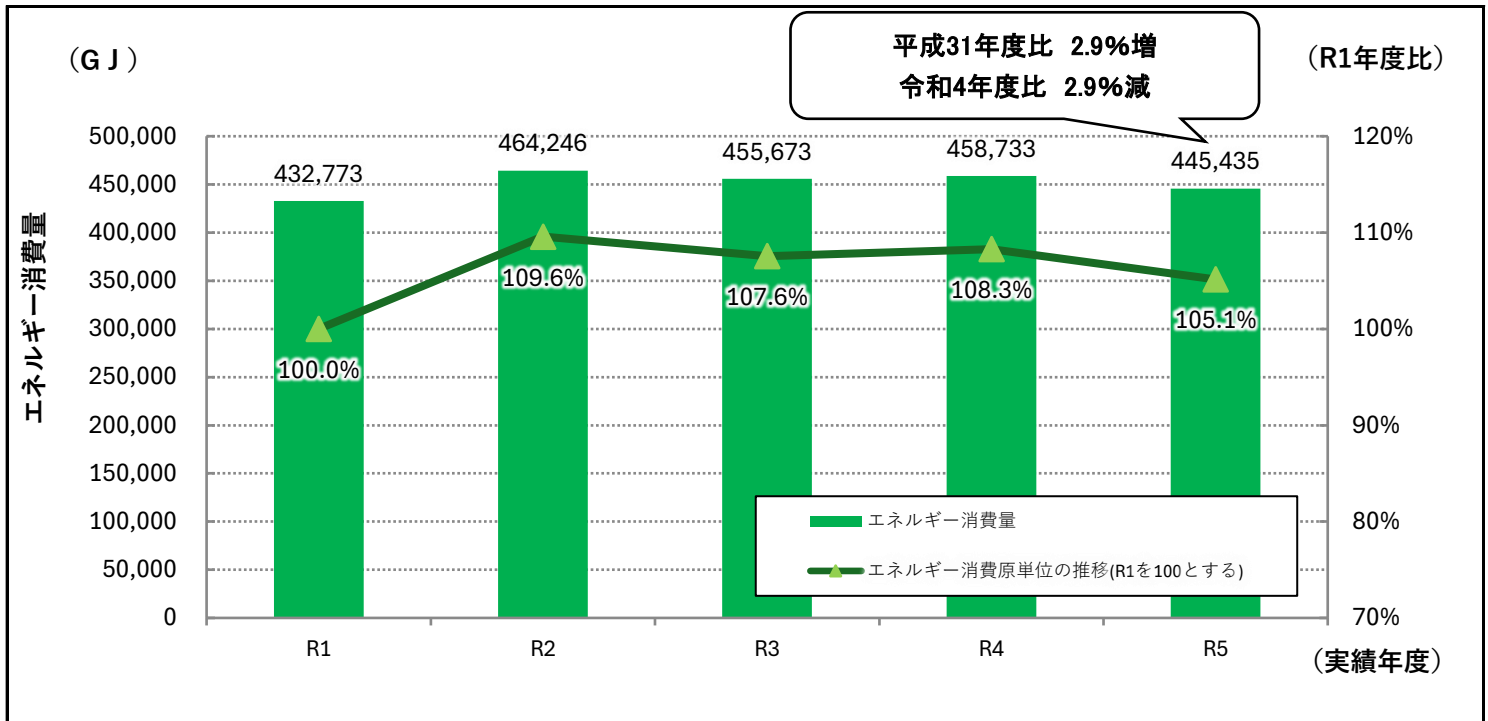
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



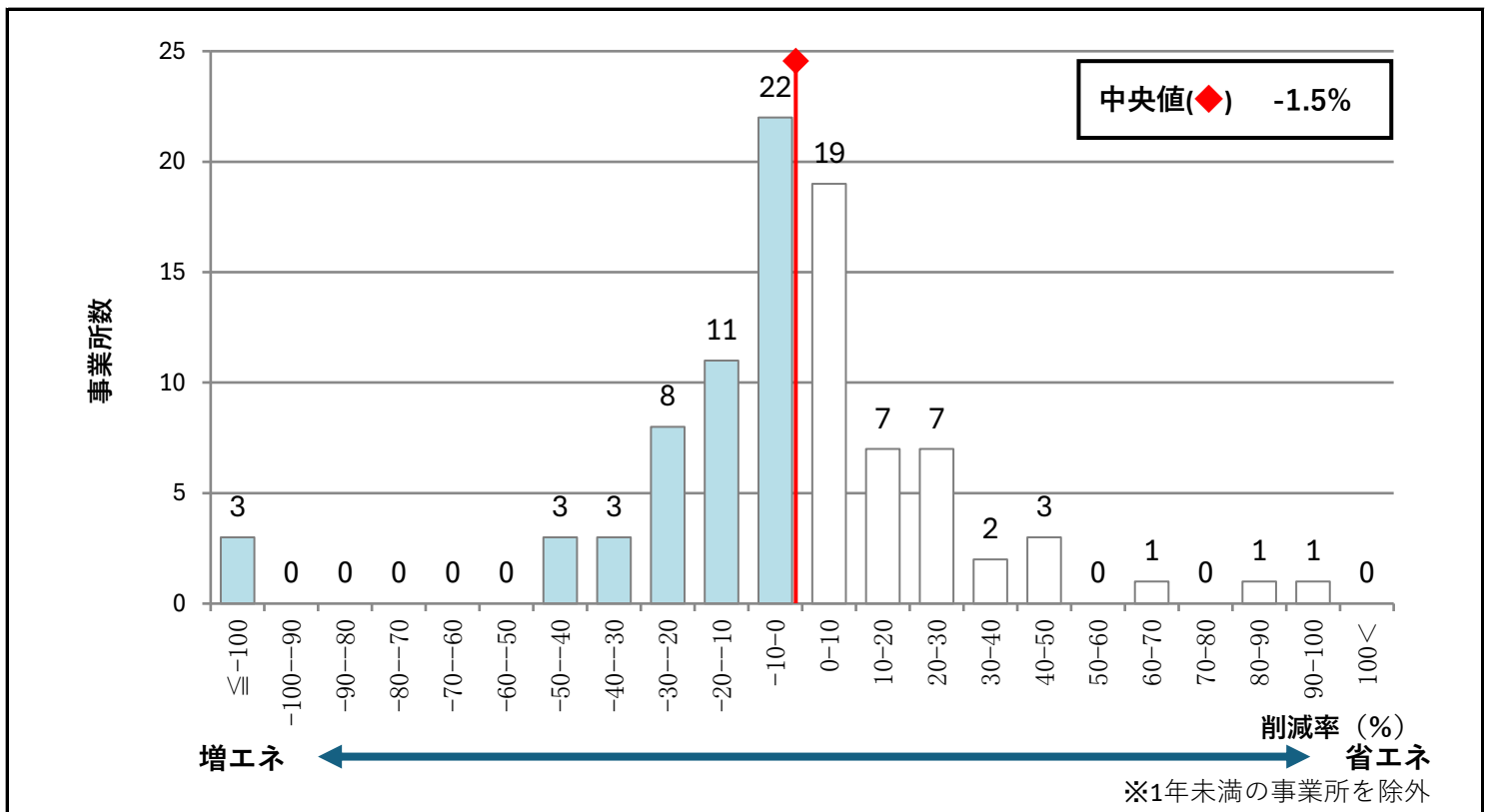
チャットGPTなどのAIの普及でデータセンター等では大量の電力が消費されるようになります。まずは冷却システムの効率化と、サーバー室内の温度を22℃～24℃程度の高めの温度に保つことが空調負荷を減らし省エネにつながります。サーバーの効率化や仮想化などの検討も必要です。給気と還気が混ざらない様に制気口の配置に注意し、ミキシングロスの低減に留意しましょう。IT機器の消費電力に対する施設全体の消費電力の割合(PUE)を把握し、現状の把握と目標の設定を行うことが重要です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「44** 道路貨物運送業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
一般貨物自動車運送業	138	136	

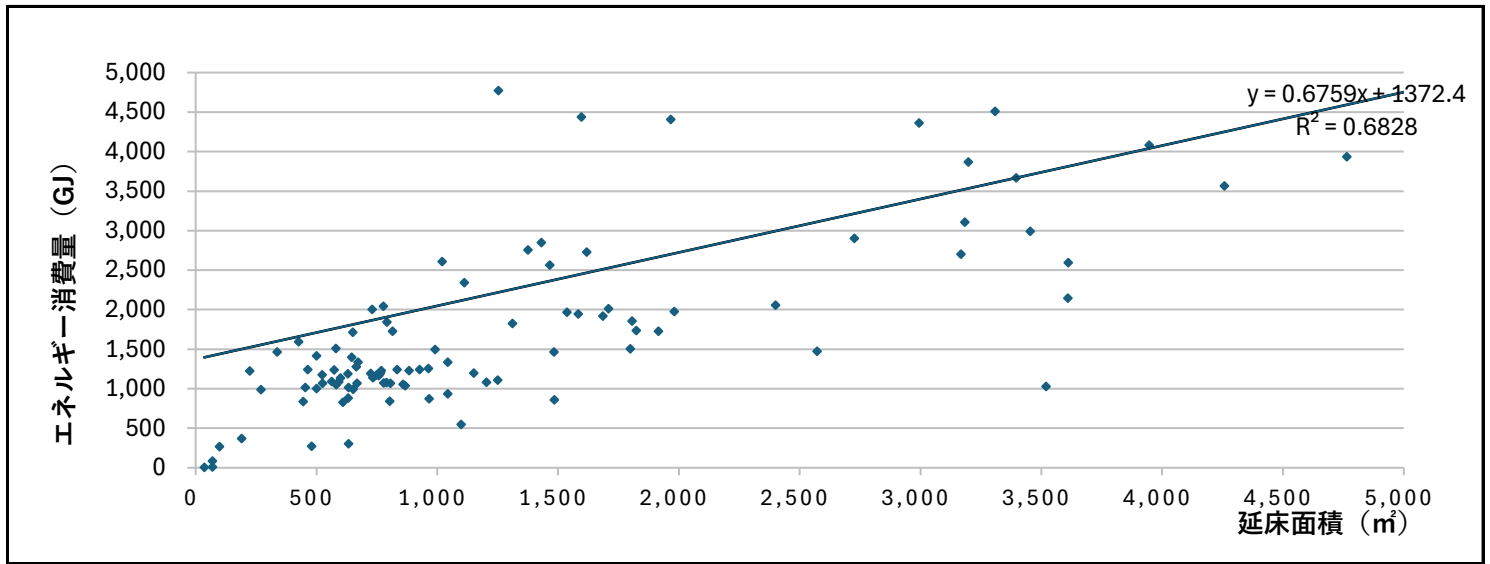
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:91)



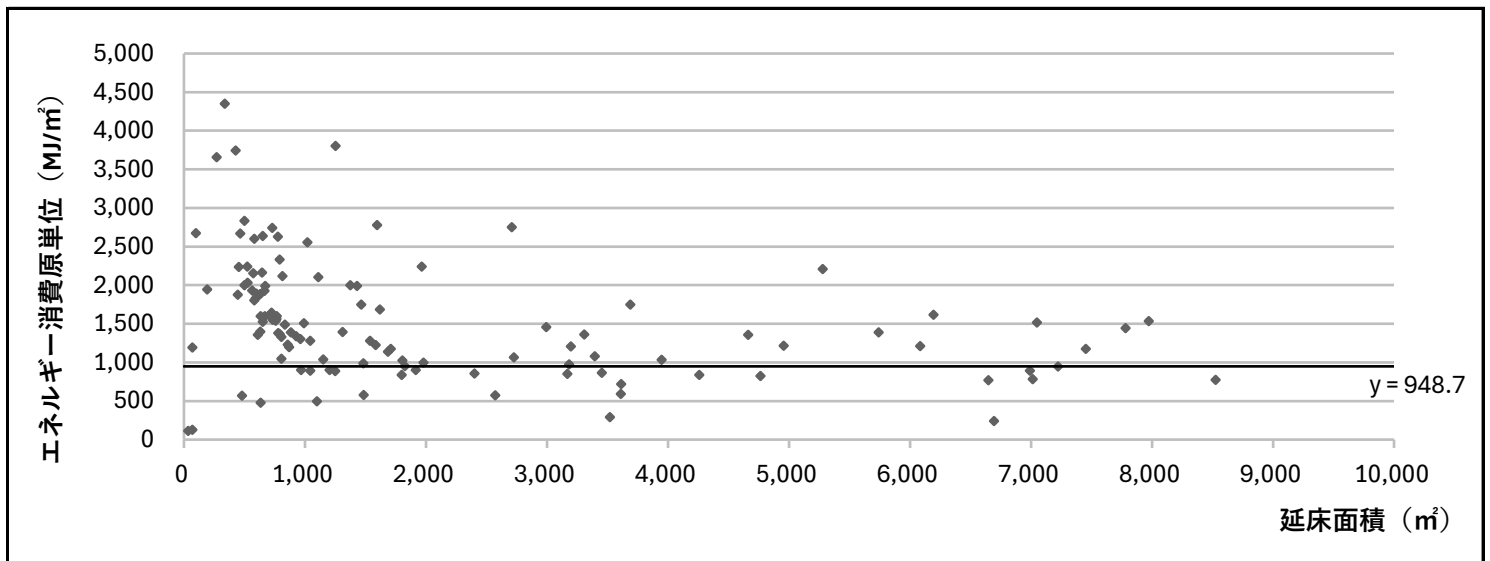
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:91)



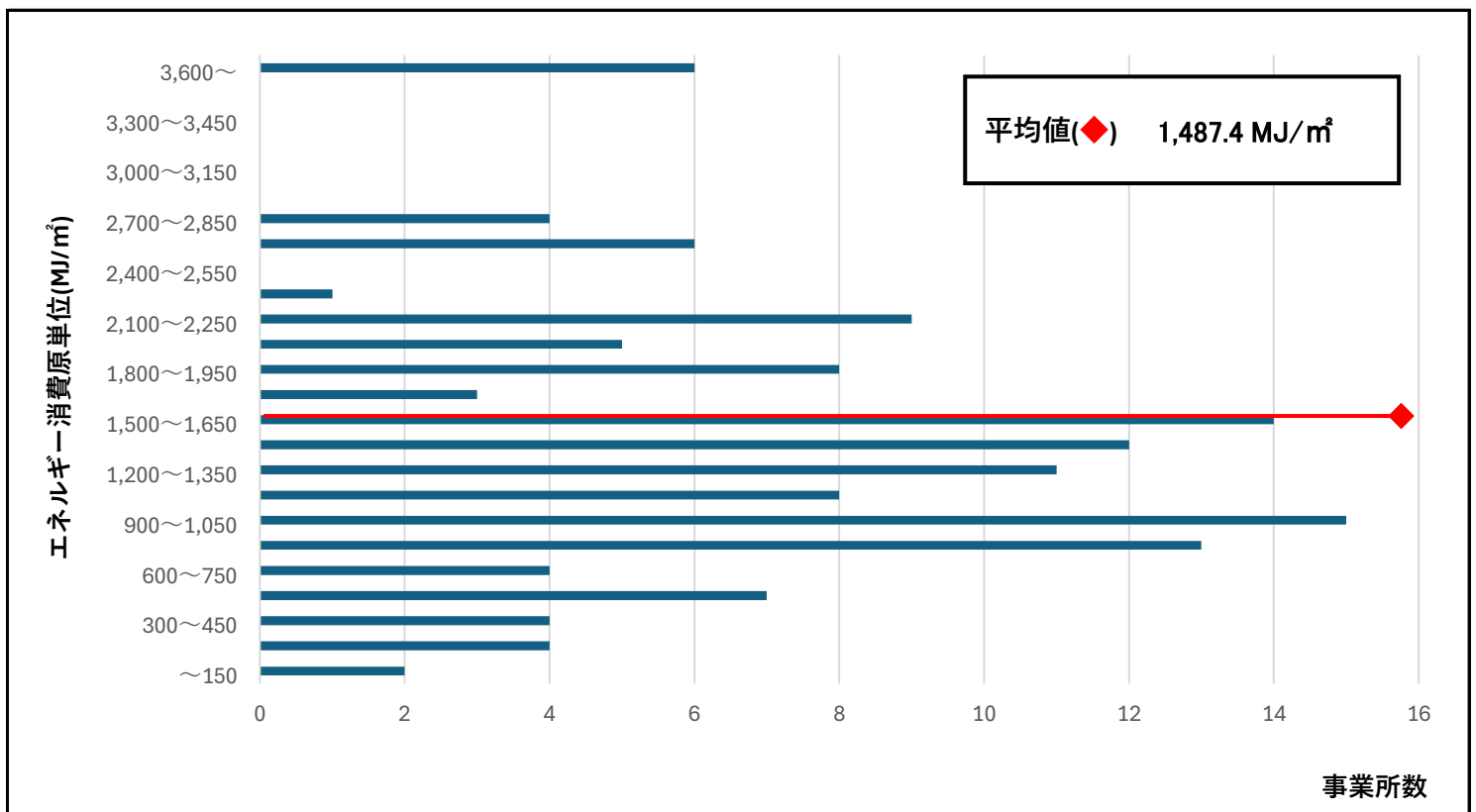
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



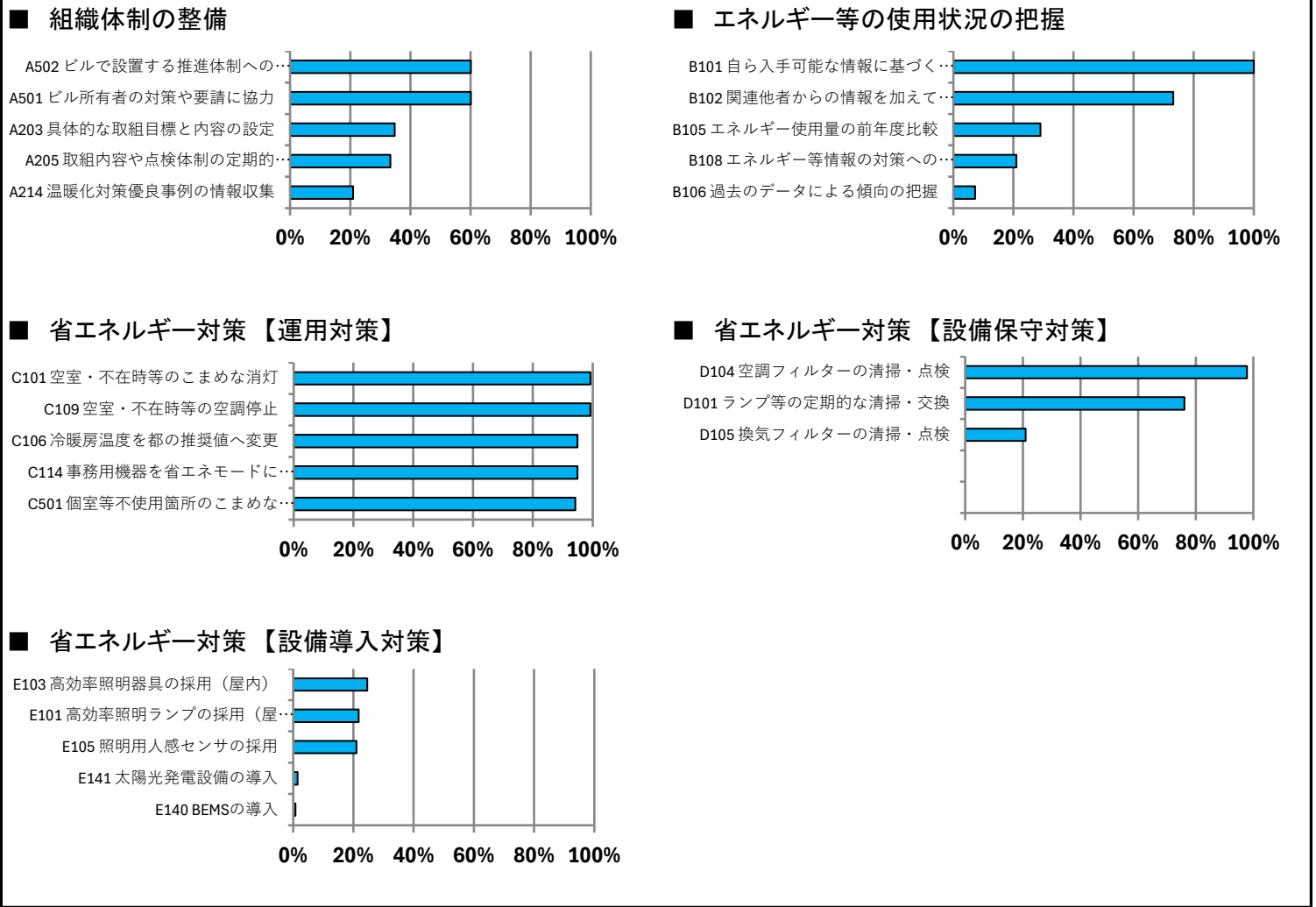
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

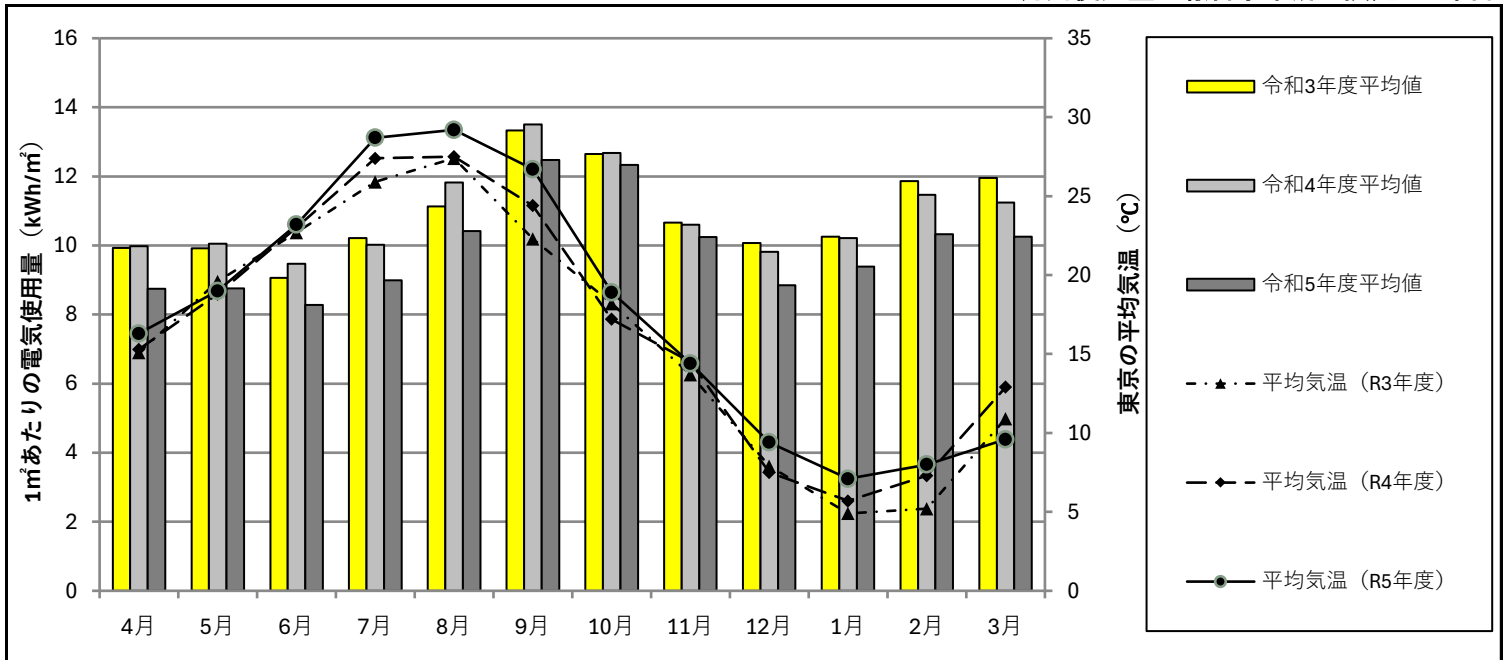


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

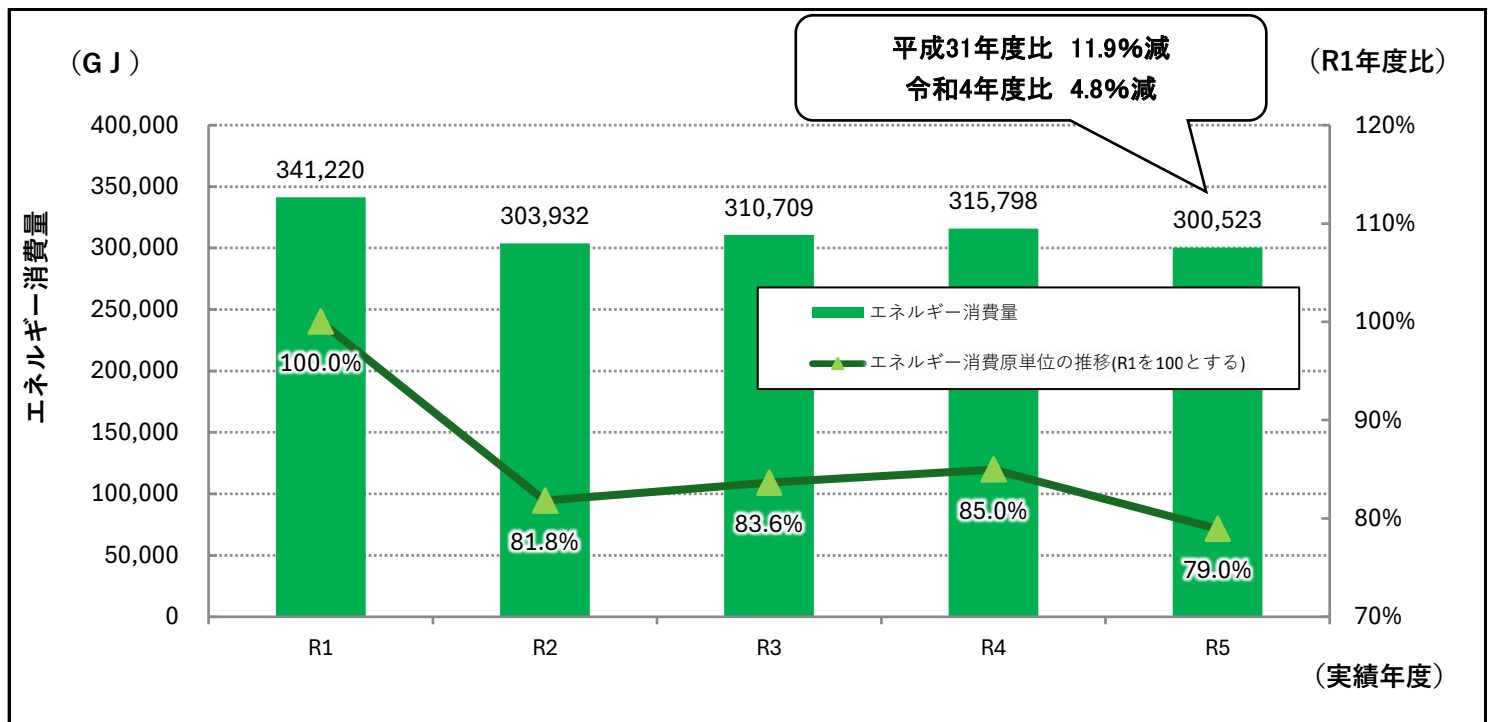
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



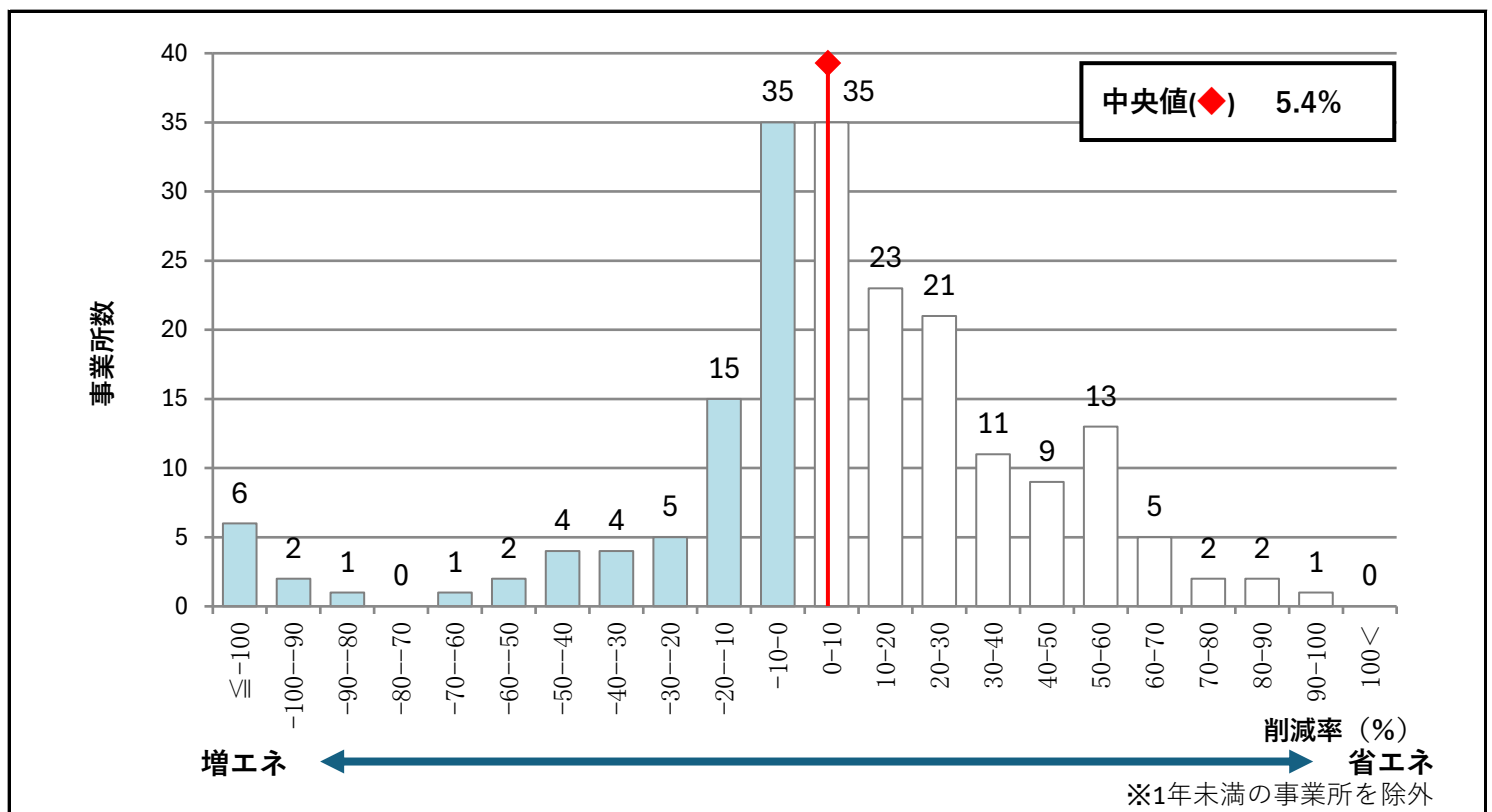
エコドライブやアイドリングの削減をルール化して確実に実施しましょう。事前の電話連絡や配達時間指定の徹底など、不在による再配達の削減に努力しましょう。また配送に使用する車両は電気自動車やハイブリッドカーに切り替えましょう。水素自動車も徐々に普及が始っています。配送センターの照明はLED化を進め、不要箇所の消灯の徹底が望まれます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8051 公園」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
公園	216	210	

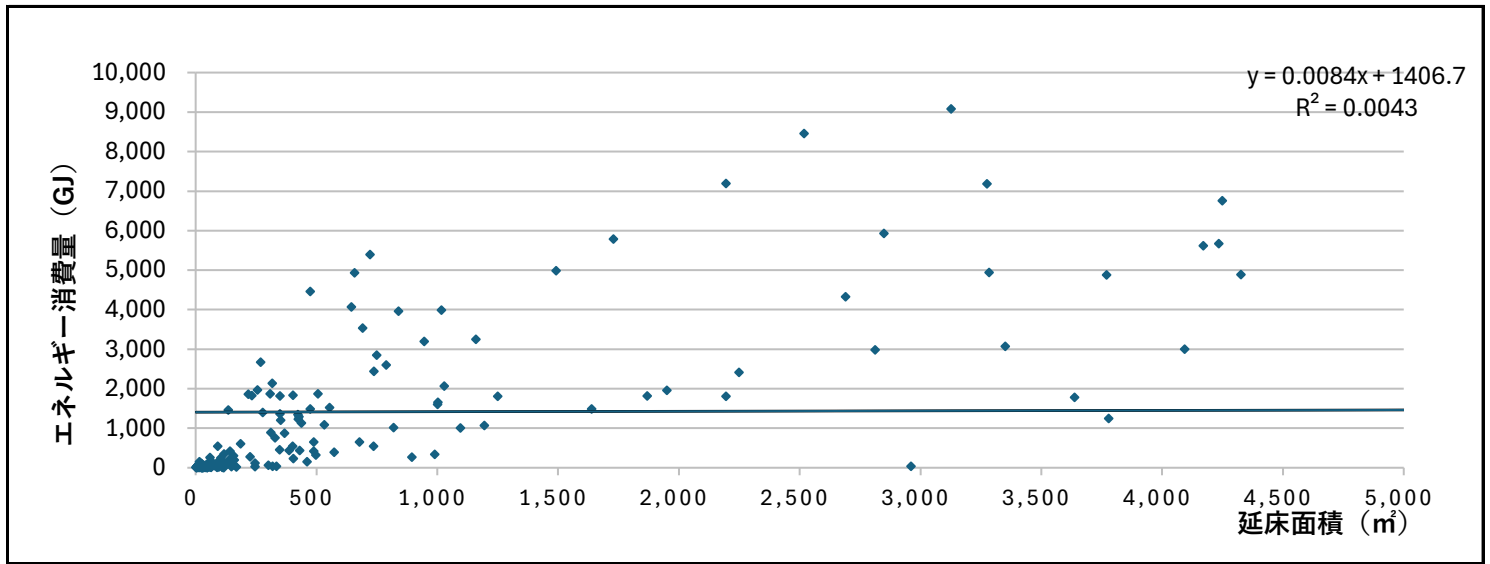
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:199)



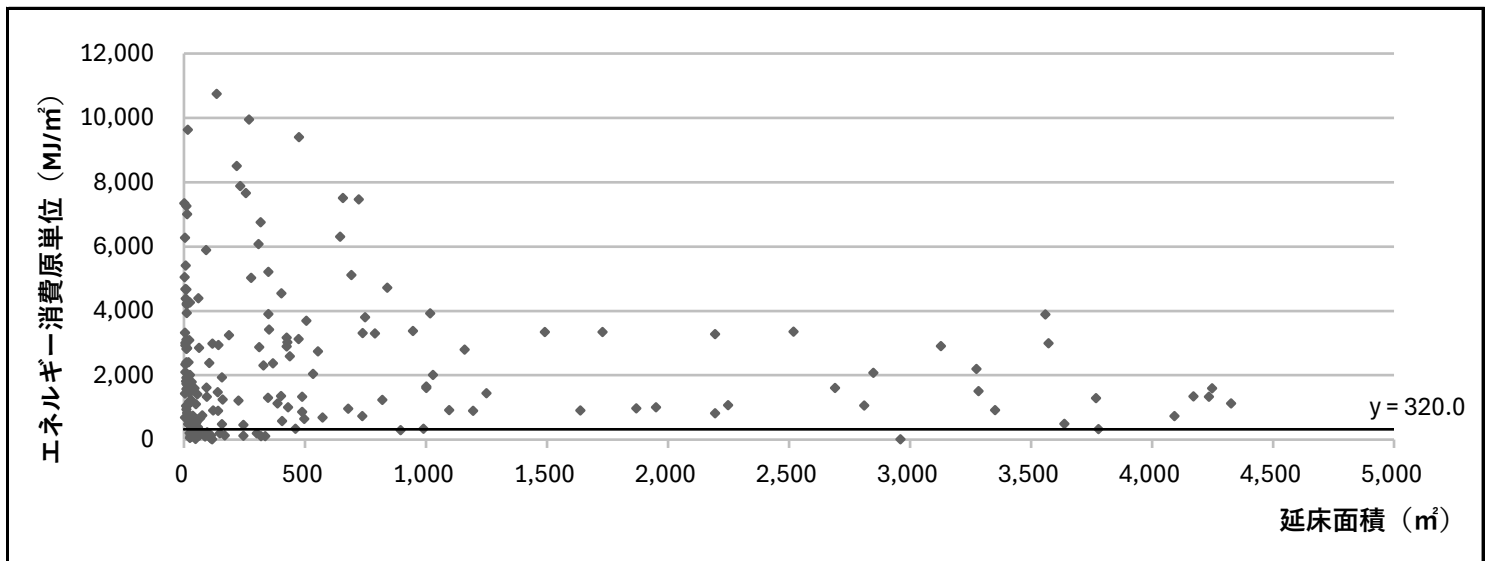
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:197)



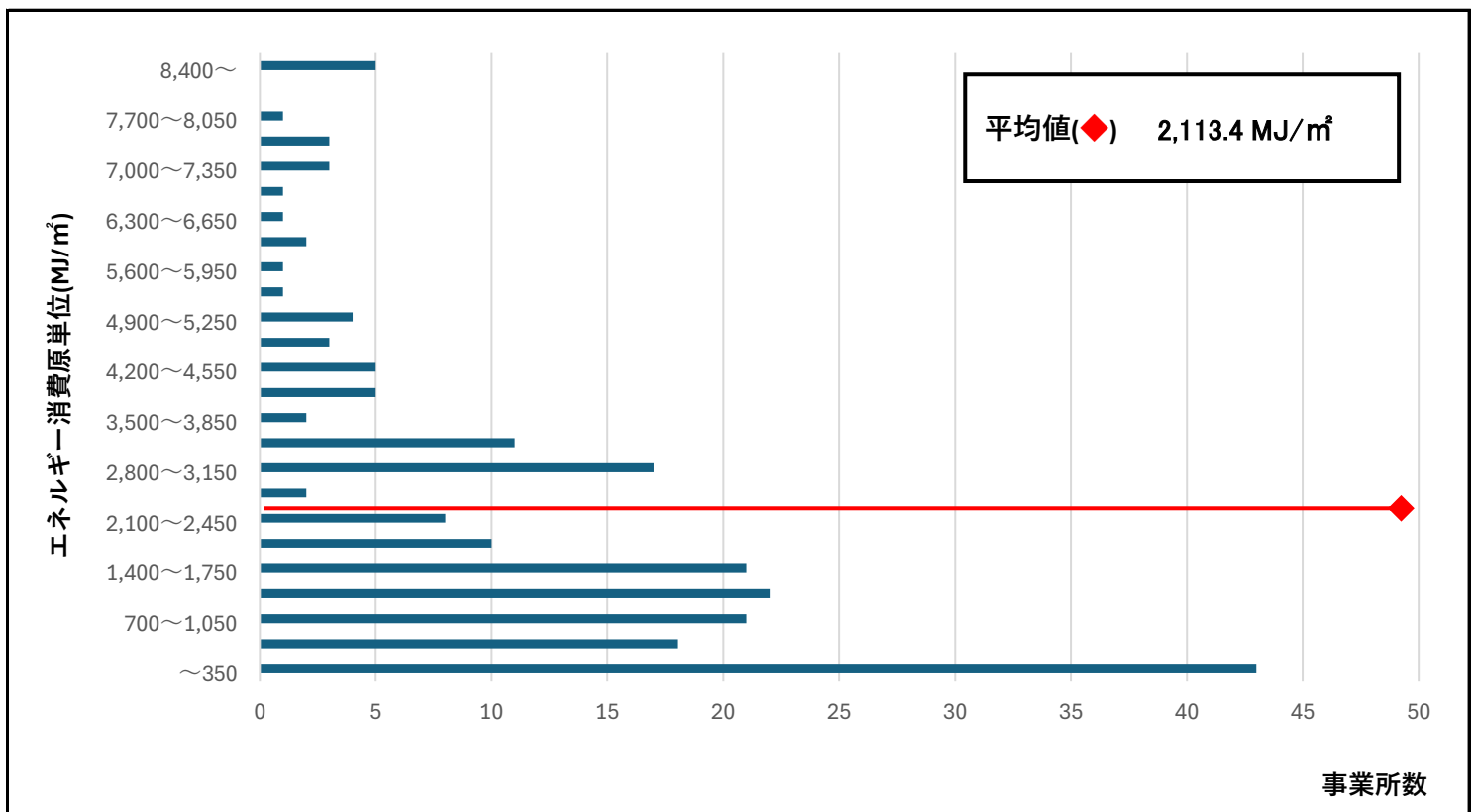
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



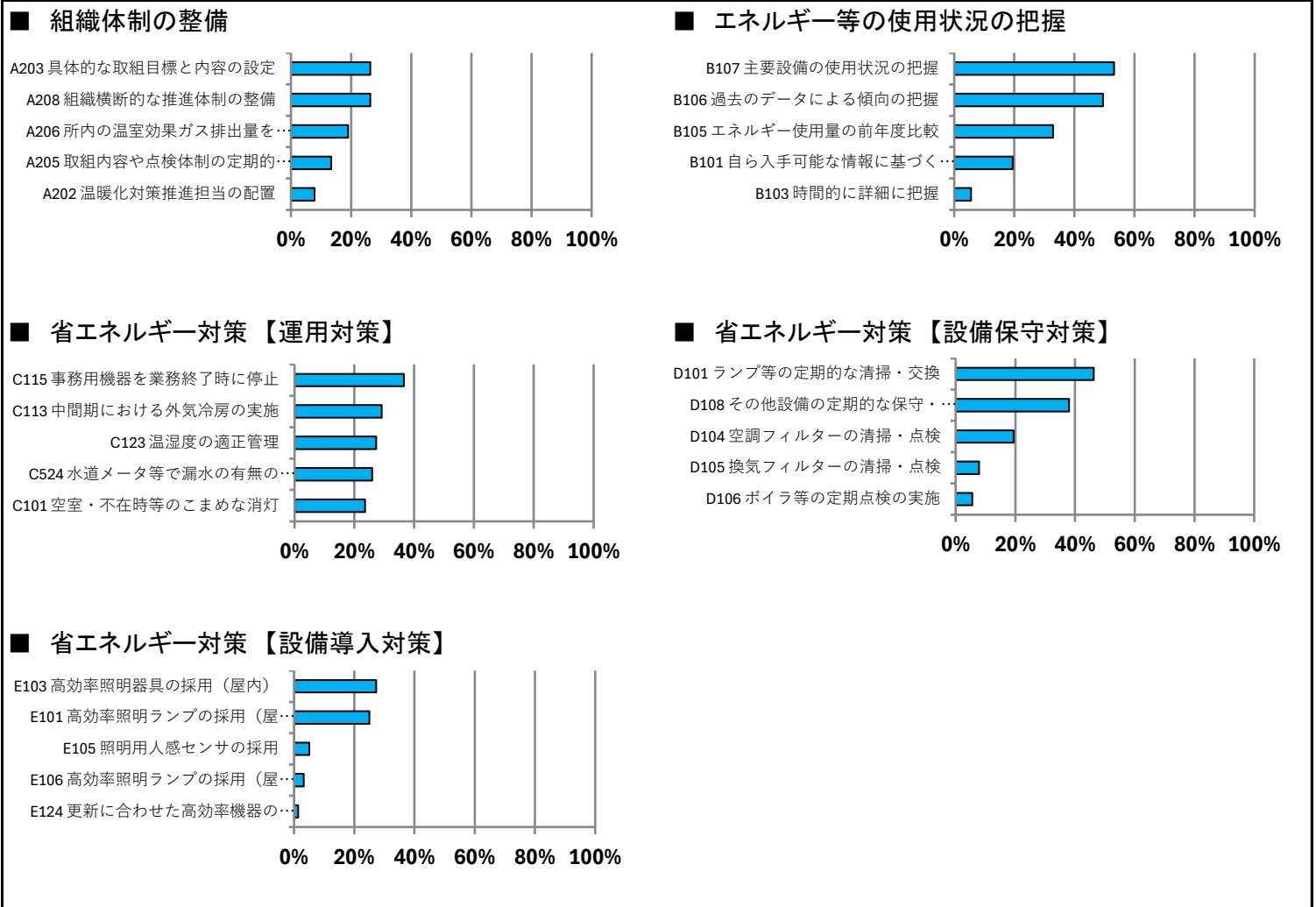
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

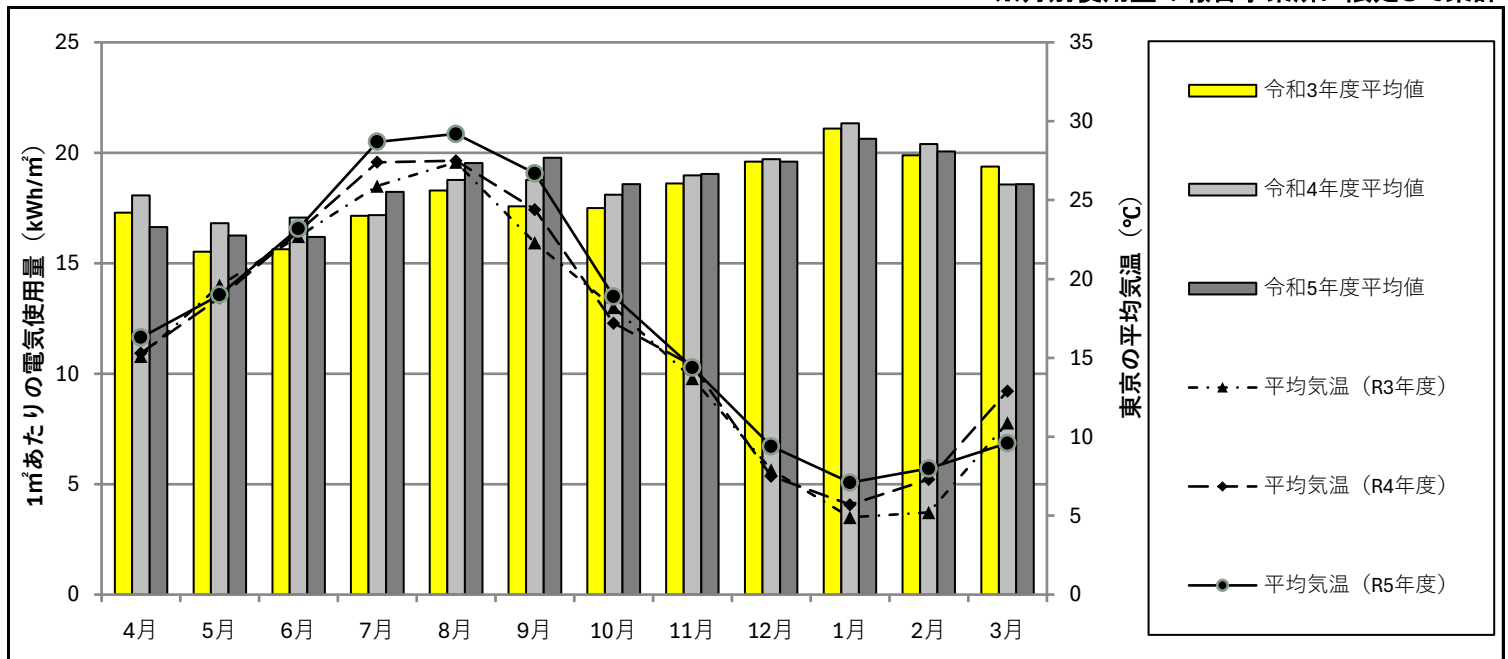


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

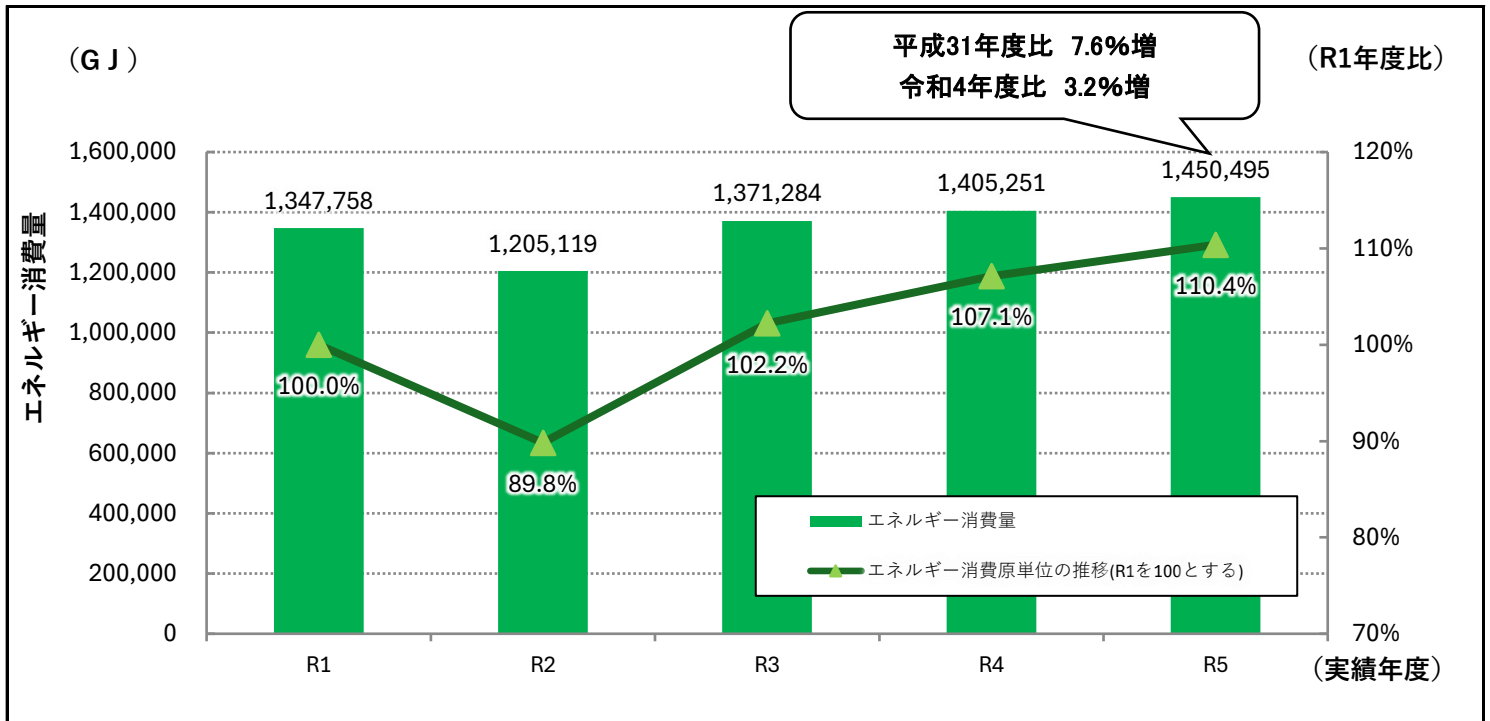
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



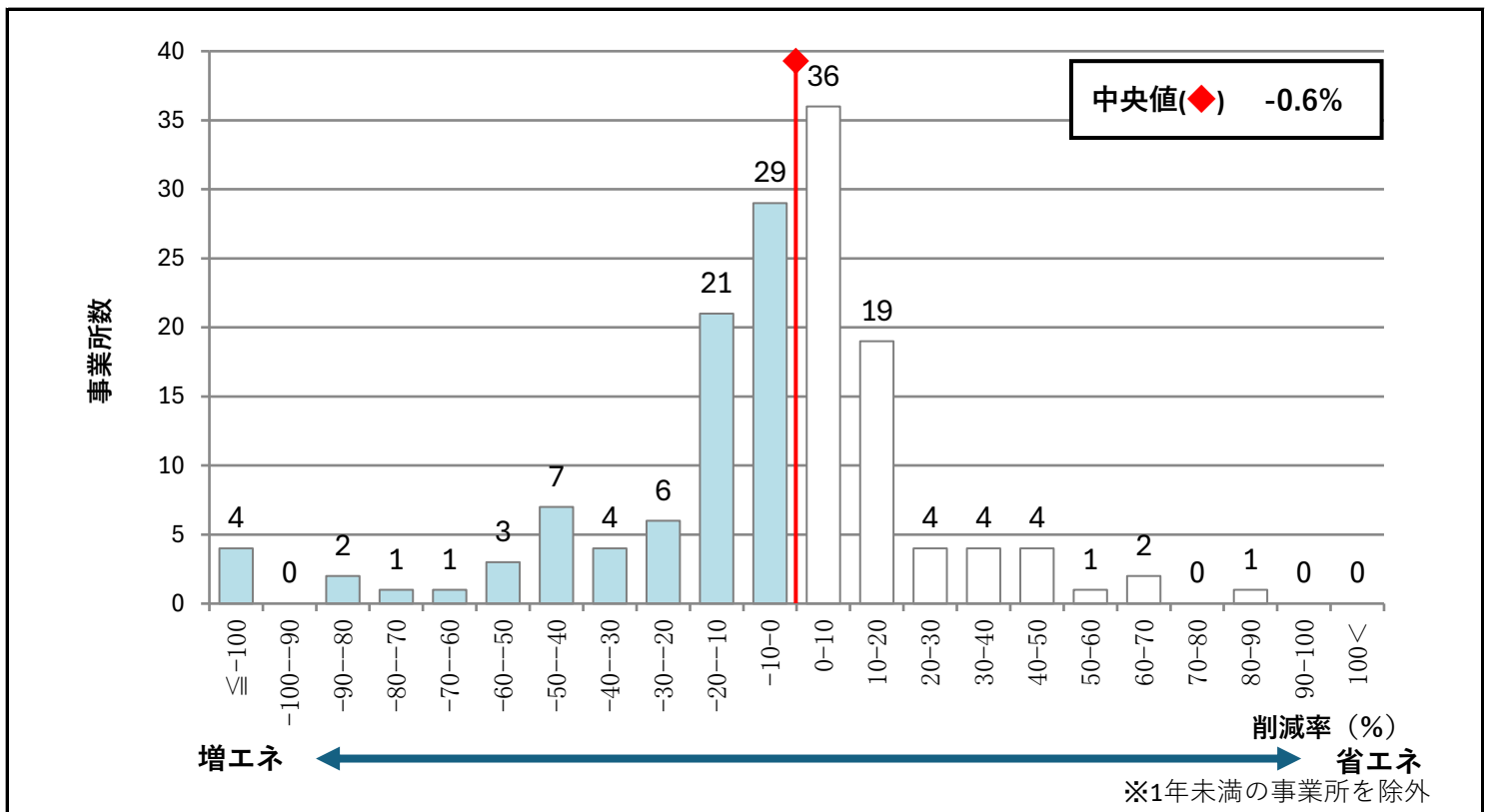
外灯のLED化を進めましょう。また照度センサーやタイマーを取り付け、防犯を考慮した上で必要最小限の点灯時間を心掛けましょう。ソーラー電源を内蔵したLED外灯の導入が効果的です。雨水を収集して公園内の散水やトイレの洗浄水として再利用する事も節水になり水道料金の節約になります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類 「8041 スポーツ施設提供業(別掲を除く)」 「8042 体育館」「8043 ゴルフ場」 「8044 ゴルフ練習場」「8045 ボウリング場」 「8046 テニス場」「8047 バッティング・テニス練習場」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
スポーツ施設	178	171	

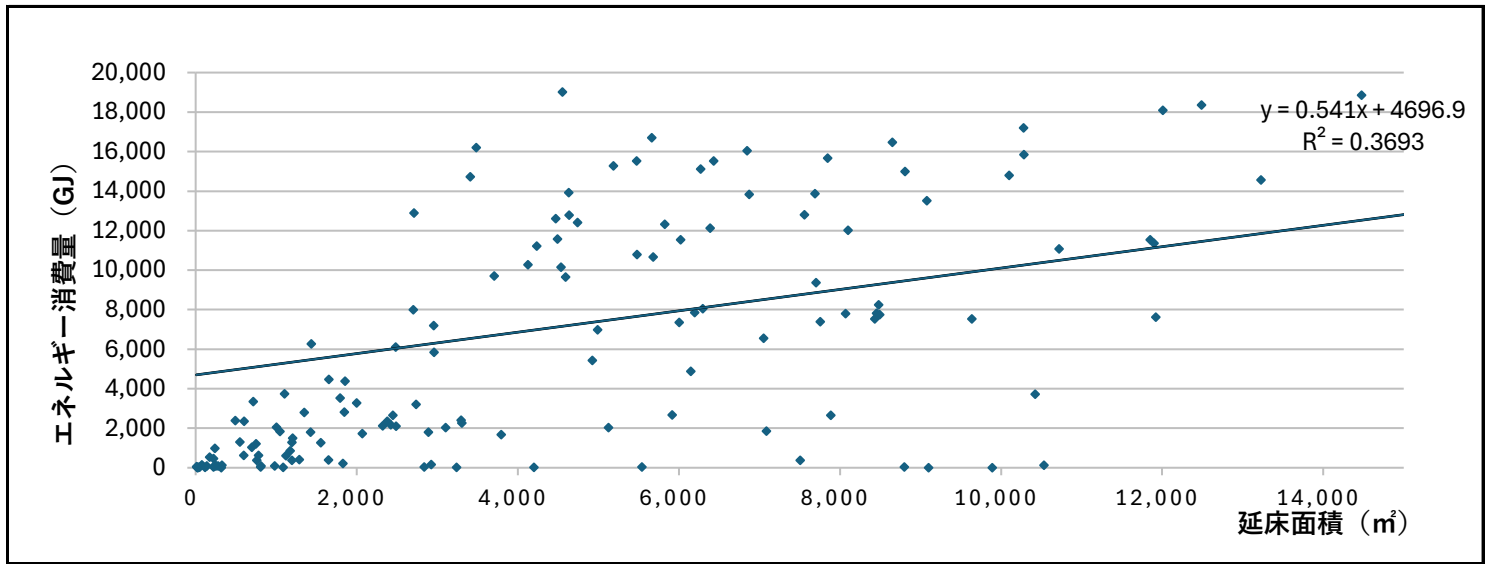
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:156)



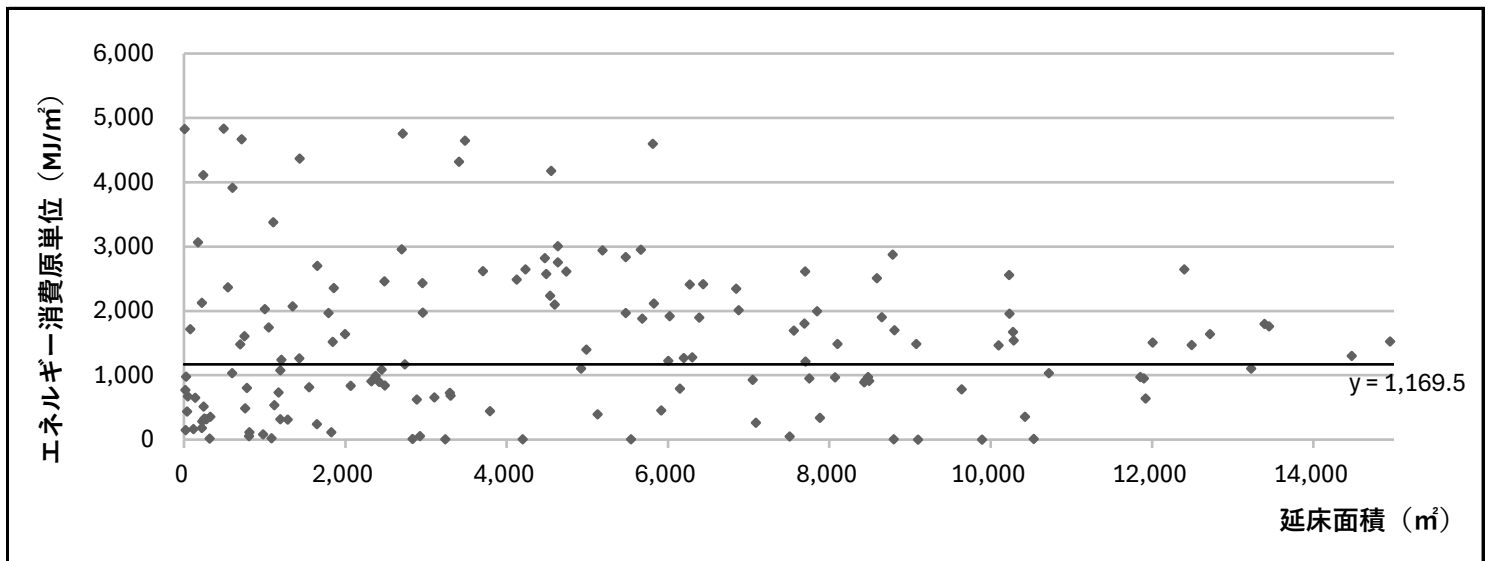
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:149)



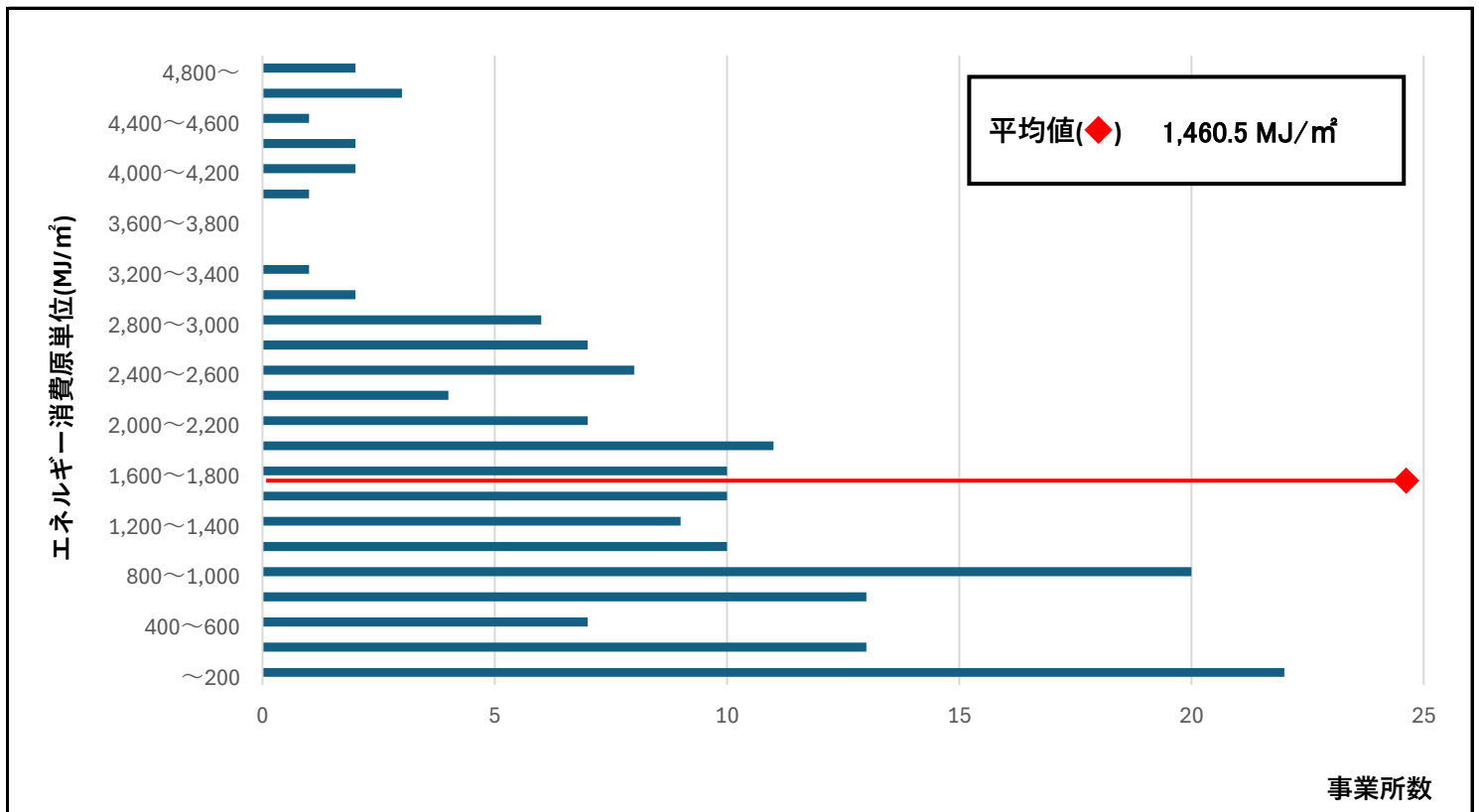
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



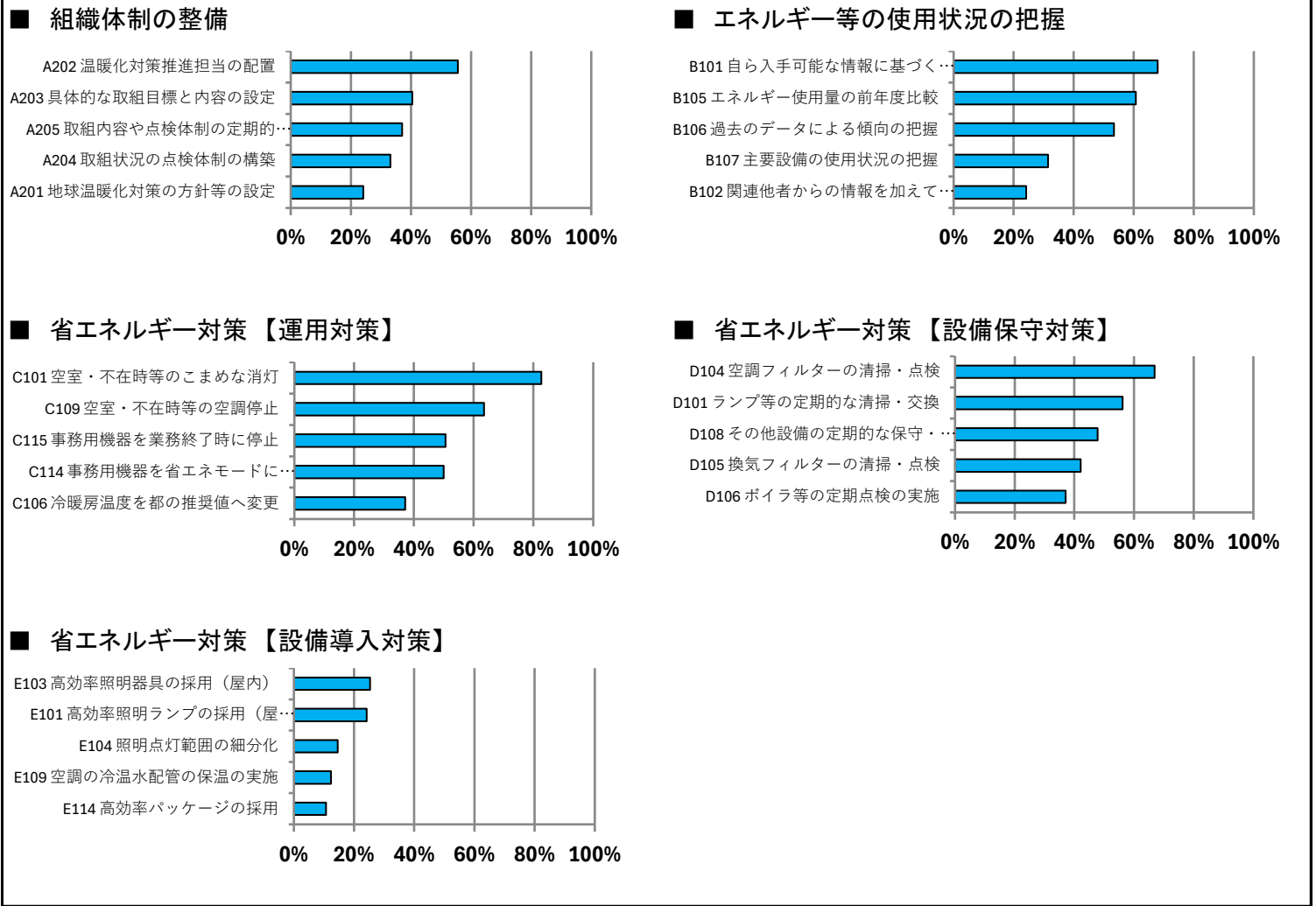
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

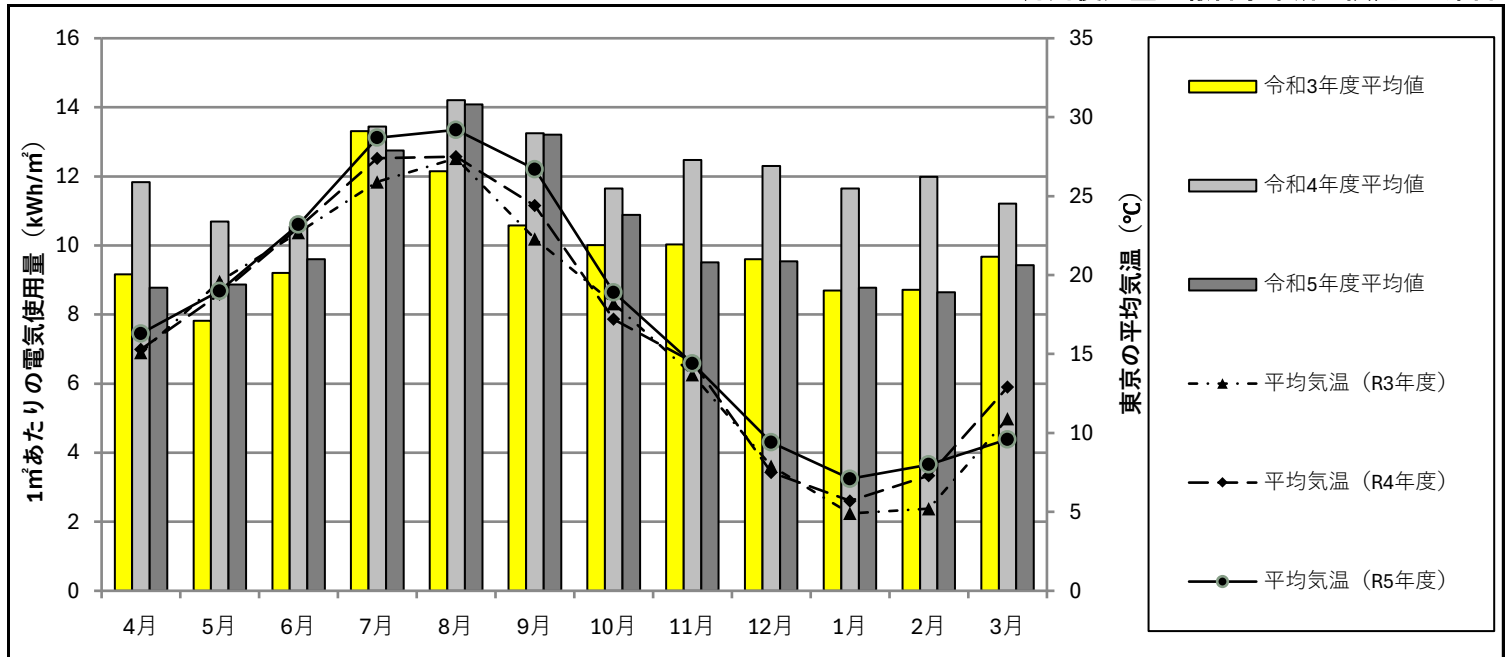


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

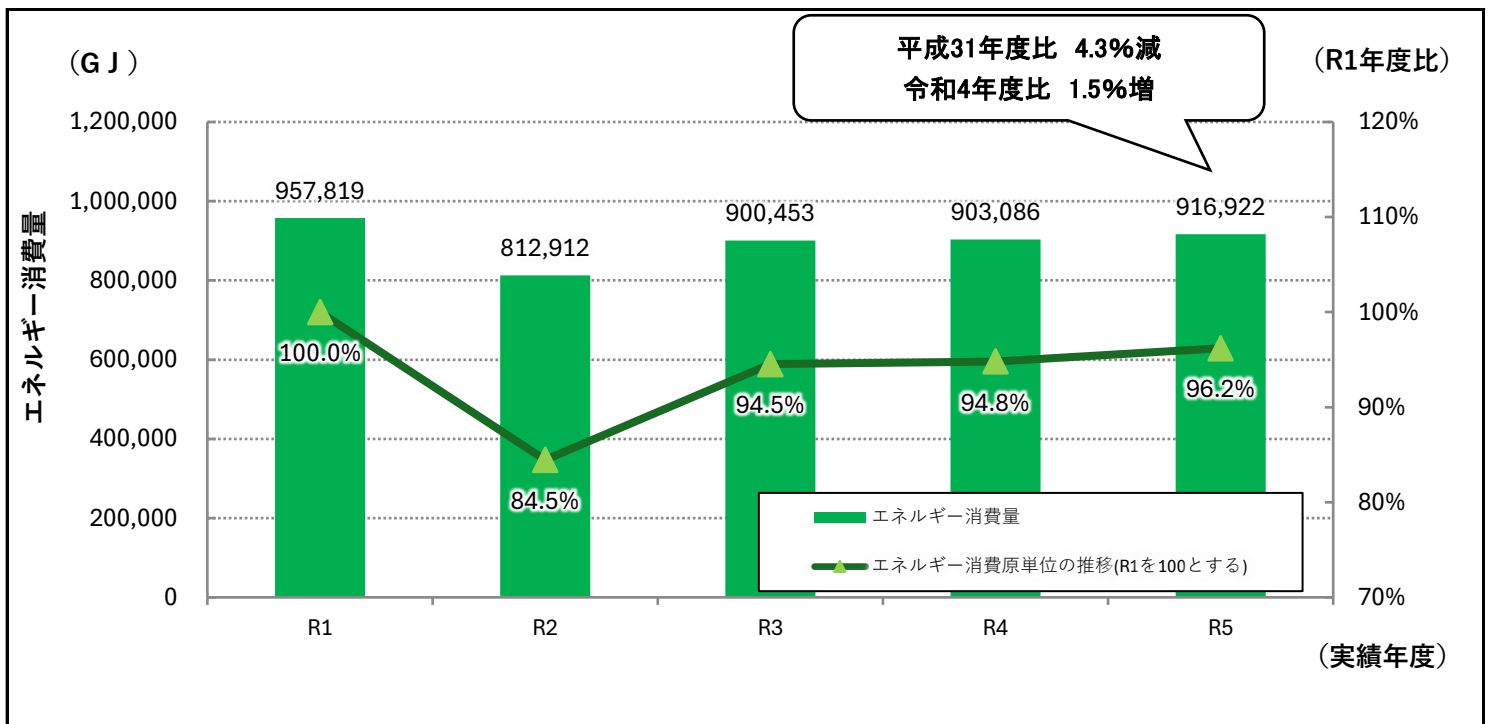
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



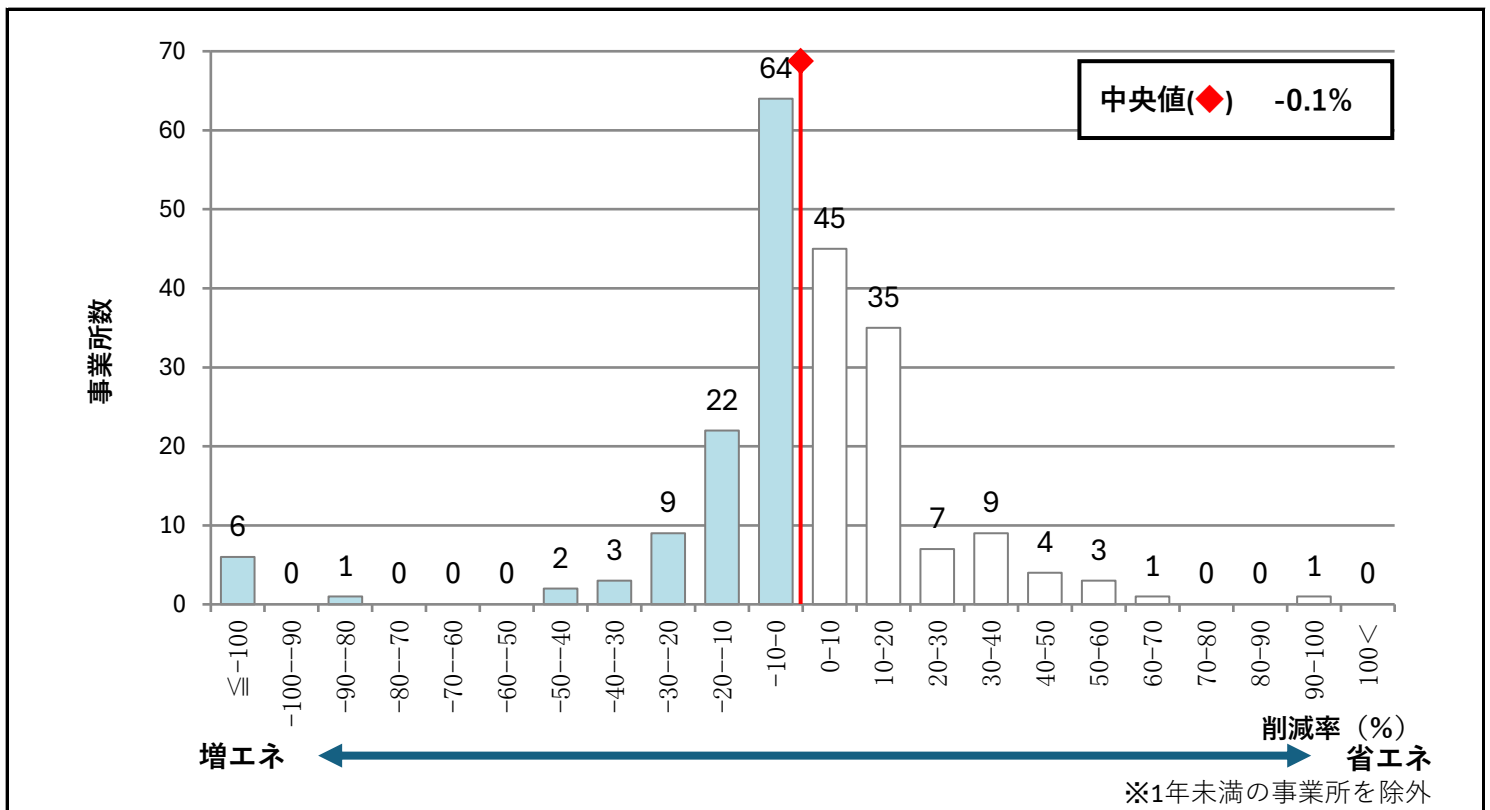
競技の種類によって照度の切り替えを可能にするため、調光式の照明器具がおすすめです。ハロゲンランプ等の白熱灯や高天井照明(水銀灯等)は早めにLED化を進めましょう。プールの循環ろ過ポンプの稼働も、閑散時や夜間など汚れの発生の少ない時間帯は、循環水量をインバータで削減する事も考えましょう。施設内の使用しないエリアや時間帯には空調を停止または弱めるゾーニング管理も行ってください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・令和5年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8211 公民館」「9511 集会場」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
公民館・集会所	244	242	

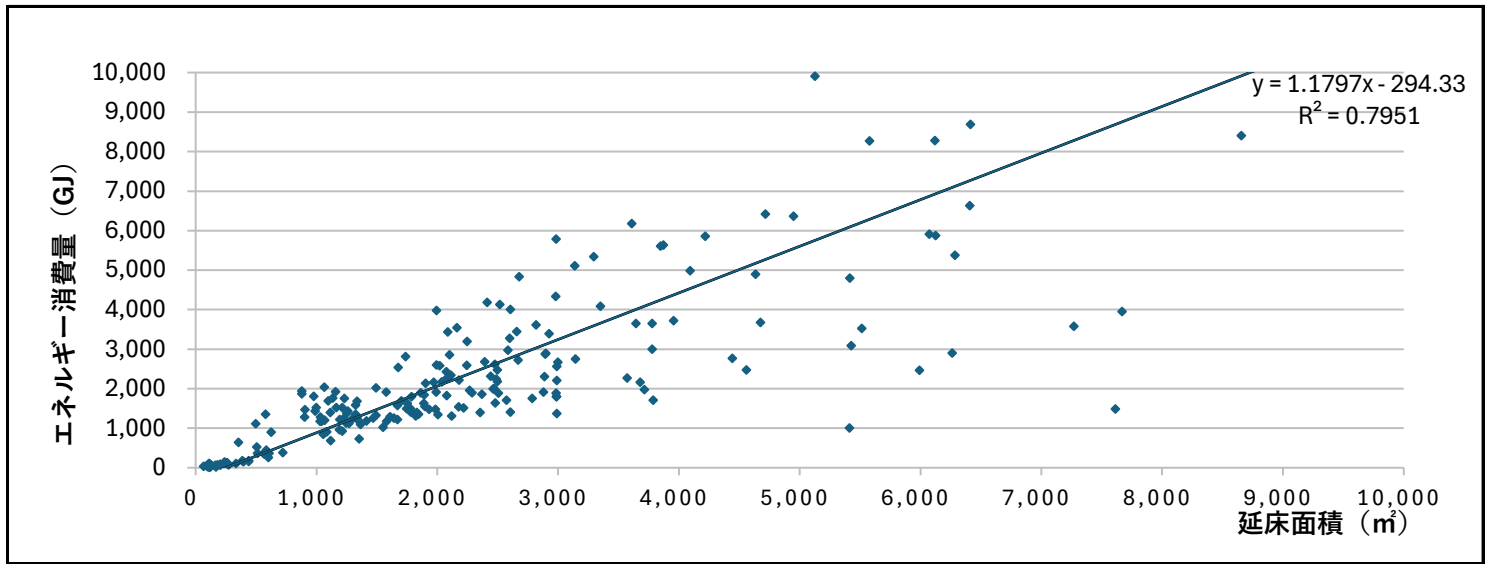
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:213)



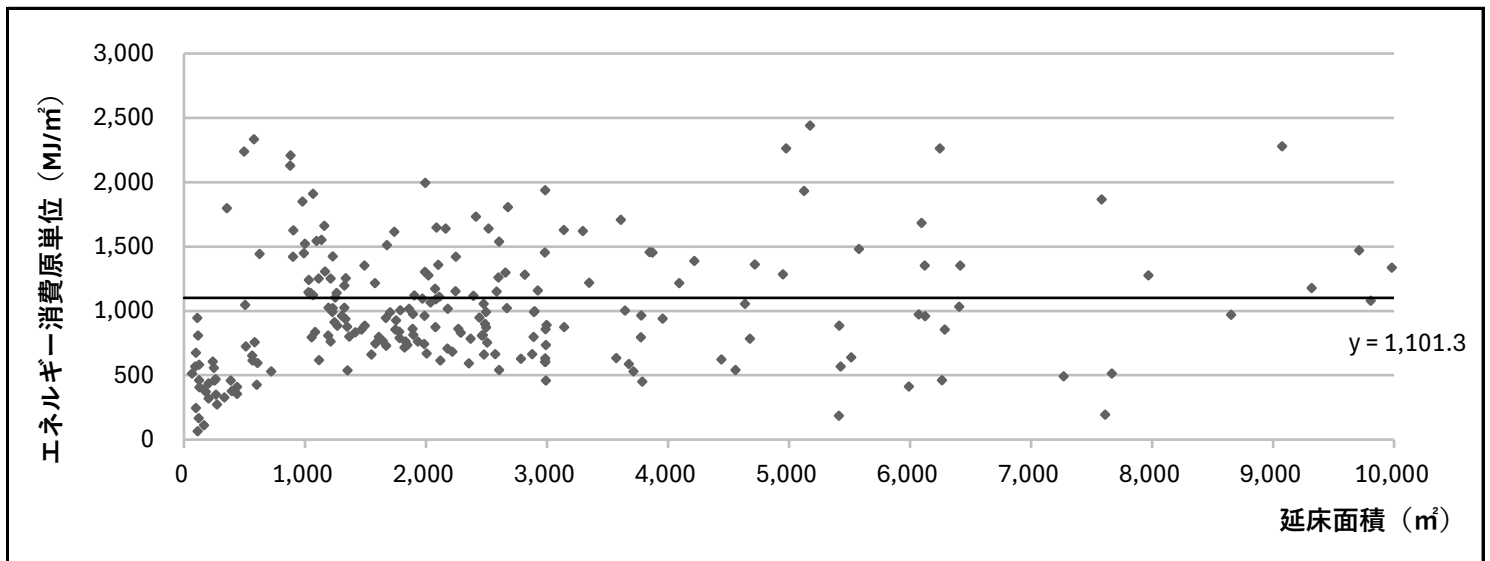
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(R1とR5比較)の分布(事業所数:212)



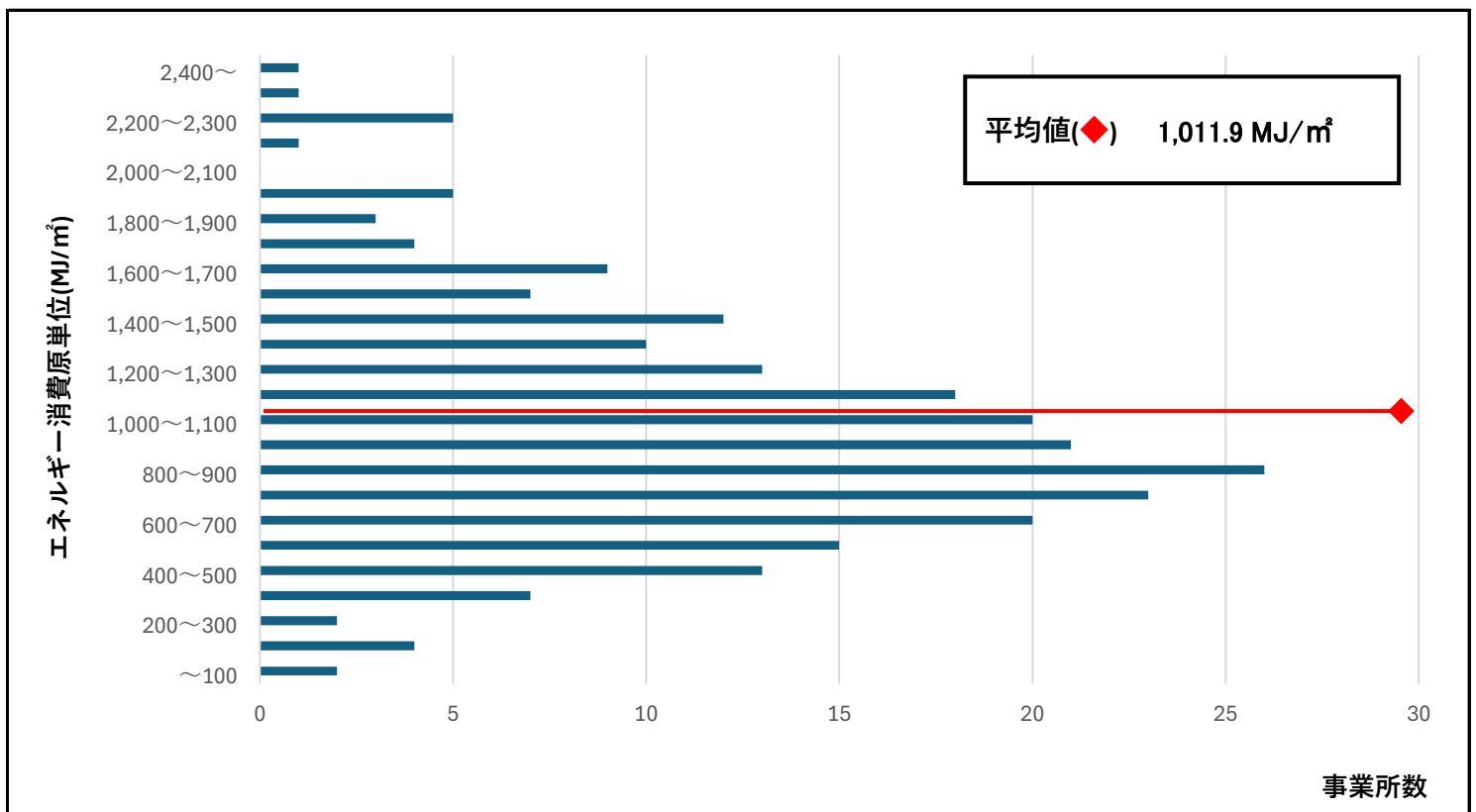
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



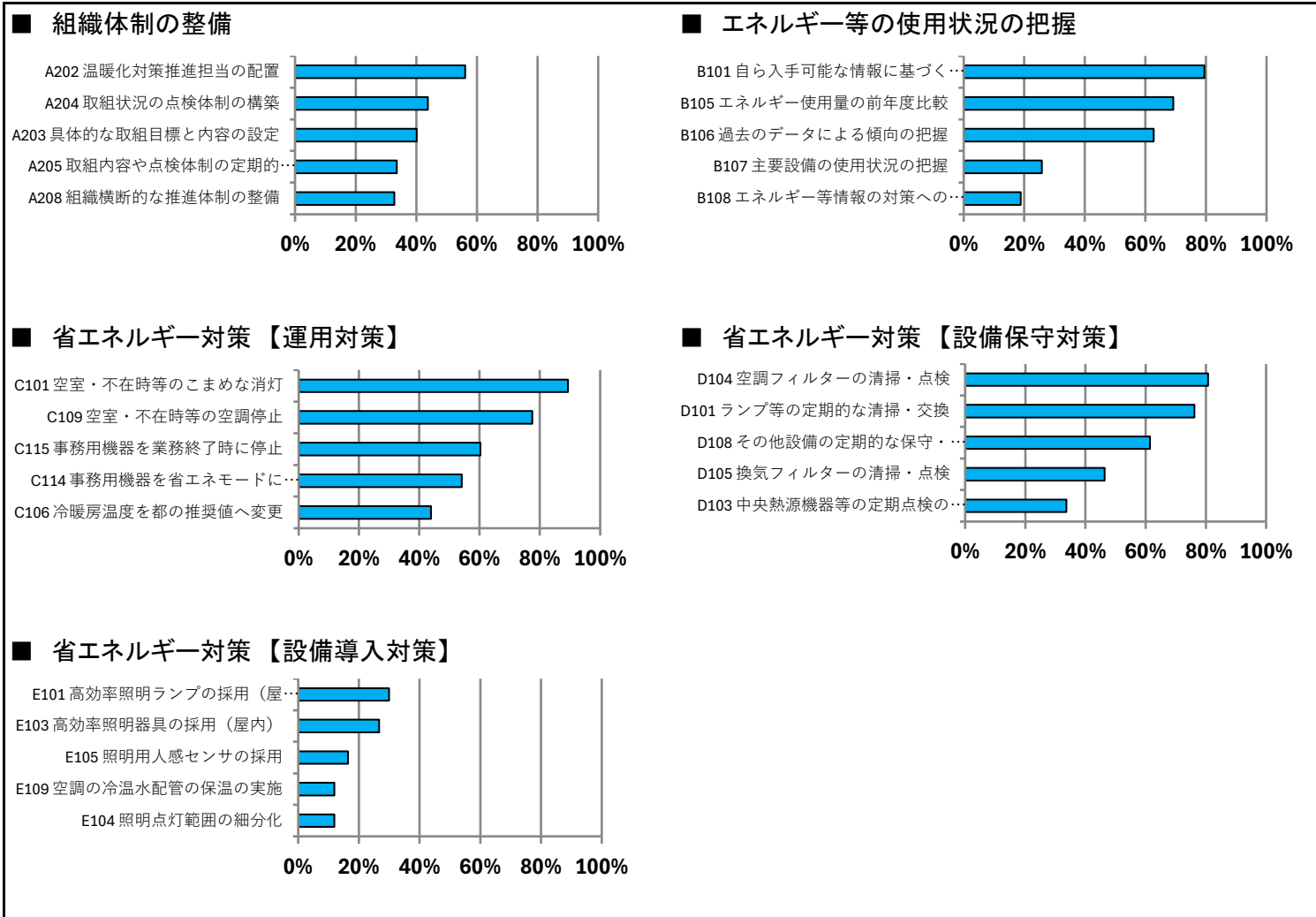
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

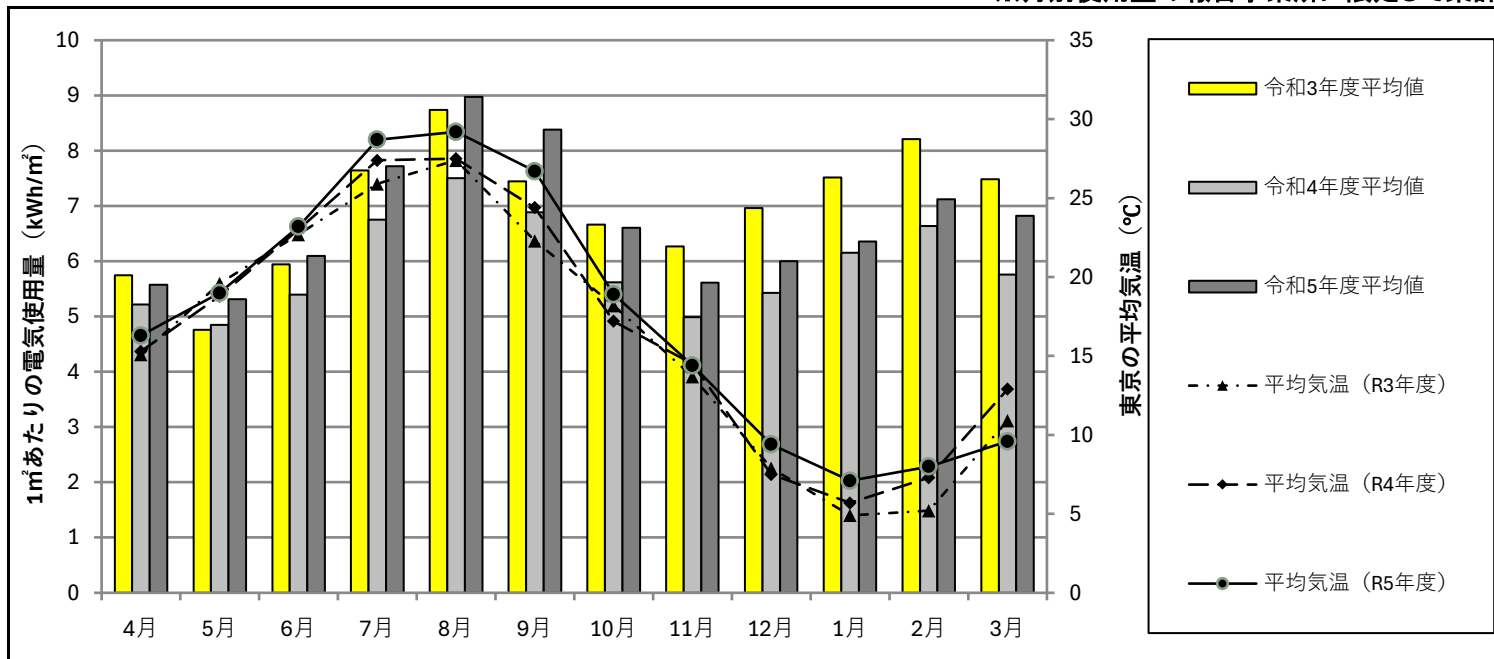


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

※月別使用量の報告事業所に限定して集計



不特定多数の都民が不定期に訪れるため、使用されていない部屋が多くあります。不要箇所の消灯・エアコン停止等をこまめに実施しましょう。また長い廊下やトイレ・非常階段等の照明は人体センサーの活用が効果的です。人手不足などで省エネの管理が難しい場合は壁天井の断熱強化や照明のLED化、空調機の高効率機導入など建物を省エネ化しておくことが効果的です。